

授業コード	T5199		
授業科目名	海外語学講座I (英語講座)		
担当者名	未定(ミテイ)		
配当年次	1・2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(集中講義)、後期(集中講義)
特記事項	受講希望者は、4月に開催する説明会に出席すること。		

講義の内容	<p>「海外語学講座 I」とは、夏期休暇中にアメリカ、カナダ、イギリス、春期休暇中にアメリカ、オーストラリアで、甲南大学の協定校に約1ヶ月間語学研修をする制度です。</p> <p>【海外語学講座 I (英語講座) 協定校】 (夏期) イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(アメリカ) カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ) ビクトリア大学(カナダ) リーズ大学(イギリス) (春期) カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ) クイーンズランド大学(オーストラリア)</p>
到達目標	その国の文化や生活習慣についての学習や英語力を伸ばすことを重点においた学習を行う。スピーキング、リスニング、リーディングの練習に加え、グループワークを中心にフィールドワークなどを通して、その国の生活や文化を経験するとともに会話力や読解力をつけることを目標とする。
講義方法	<p>講座の内容および特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外国語の聴く・話す・書く・読むの訓練を1週約20時間行います。 ②講座は、単なる語学の学習に留まらず、語学の学習を通じて、それぞれの国の生活・歴史・文化についても学ぶことができるよう工夫されています。 ③少人数制のクラスで、経験豊かな講師陣による、きめ細やかな指導を受けることができます。 ④教室で行われる授業だけでなく、講座の一環、あるいはオプションとして用意される様々なアクティビティーやフィールドトリップを通し、実践的な語学が学べます。 ⑤ホームステイでは滞在先の国の生活を直に体験することができます。また、寮生活では、各国から集まった留学生との交流が期待できます。 ⑥大学キャンパス内にある図書館をはじめとする文化・スポーツ諸施設を利用できます(一部有料)。 <p>研修旅行 講座によっては、講座終了後、2日間から5日間の研修旅行を行います。その場合は語学講座のみの参加は認めていません。</p>
準備学習	出発前に開催するオリエンテーションに参加すること。
成績評価	<p>単位認定 本講座において修得した成績は、本学で評価し、以下のとおり単位認定します。 英語講座……………「海外語学講座 I」4単位</p> <p>※修得した単位を卒業に必要な単位に充てることができるかどうかは、入学年度および学部学科によって異なります。履修要項をよく読み、間違いのないよう注意すること。</p>
講義構成	各協定校のプログラムによります。詳しくは、4月の海外語学講座 I 説明会で説明します。
教科書	各協定校の指定教材を使用します。
その他	「海外語学講座 I・II」の申込・問い合わせは、国際言語文化センター事務室(6号館3階)まで。
ホームページタイトル	国際言語文化センター ホームページ http://www.kilc.konan-u.ac.jp

授業コード	T5299		
授業科目名	海外語学講座II (第2外国語講座)		
担当者名	未定(ミテイ)		
配当年次	1・2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(集中講義)、後期(集中講義)

特記事項	受講希望者は、4月に開催する説明会に出席すること。
講義の内容	<p>「海外語学講座Ⅱ」とは、夏期休暇中にドイツ、フランス、中国または韓国で、甲南大学の協定校に約1ヶ月間語学研修をする制度です。</p> <p>【海外語学講座Ⅱ（第2外国語講座）協定校】</p> <p>ドイツ語 ヘルダー・インスティトゥート(ライプツィヒ大学)（ドイツ）</p> <p>フランス語 トゥレーヌ語学院(トゥール大学)（フランス）</p> <p>中国語 西北大学（中国）</p> <p>韓国語 漢陽大学（韓国）</p> <p>受講資格 第2(または第3)外国語の基礎科目を履修中(第3外国語の「基礎科目適性テスト」に合格した者を含む)または修得した者。</p>
到達目標	その国の文化や生活習慣についての学習や各言語能力を伸ばすことを重点においた学習を行う。スピーキング、リスニング、リーディングの練習に加え、グループワークを中心にフィールドワークなどを通して、その国の生活や文化を経験するとともに、会話力や読解力をつけることを目標とする。
講義方法	<p>講座の内容および特徴</p> <p>①外国語の聴く・話す・書く・読むの訓練を1週約20時間行います。</p> <p>②講座は、単なる語学の学習に留まらず、語学の学習を通じて、それぞれの国の生活・歴史・文化についても学ぶことができるよう工夫されています。</p> <p>③少人数制のクラスで、経験豊かな講師陣による、きめ細やかな指導を受けることができます。</p> <p>④教室内で行われる授業だけでなく、講座の一環、あるいはオプションとして用意される様々なアクティビティーやフィールドトリップを通し、実践的な語学が学べます。</p> <p>⑤ホームステイでは滞在先の国の生活を直に体験することができます。また、寮生活では、各国から集まった留学生との交流が期待できます。</p> <p>⑥大学キャンパス内にある図書館をはじめとする文化・スポーツ諸施設を利用できます(一部有料)。</p> <p>研修旅行 講座の終わりに、2日間から5日間の研修旅行を行います(漢陽大学校を除く)。語学講座のみの参加は認められません。</p>
準備学習	出発前に開催するオリエンテーションに参加すること。
成績評価	<p>単位認定 本講座において修得した成績は、本学で評価し、以下のとおり単位認定します。</p> <p>第2(または第3)外国語の講座・・・「海外語学講座Ⅱ」4単位</p> <p>※修得した単位を卒業に必要な単位に充てることができるかどうかは、入学年度および学部学科によって異なります。履修要項をよく読み、間違いのないよう注意すること。</p>
講義構成	各協定校のプログラムによります。詳しくは、4月の海外語学講座Ⅱ説明会で説明します。
教科書	各協定校の指定教材を使用します。
その他	「海外語学講座Ⅰ・Ⅱ」の申込・問い合わせは、国際言語文化センター事務室(6号館3階)まで。
ホームページタイトル	国際言語文化センター ホームページ http://www.kilc.konan-u.ac.jp

授業コード	J0101		
授業科目名	基礎英語I(文1クラス)		
担当者名	中村耕二(ナカムラ コウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday from 4:30-5:30		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Class participation (30%) Presentation (20%) Report (30%) Final Test (20%)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation: Paragraph Reading 第 3回 Cross-cultural Terms and Principles 第 4回 Cross-cultural Contact with USA 第 5回 Skimming and Scanning, Inference and Prediction 第 6回 Critical Reading and Writing 第 7回 Cross-Cultural Contact and Adjustment 第 8回 Cross-cultural Literacy 第 9回 Cultural Relativism and Orientalism 第10回 Verbal Communication The Way People Speak 第11回 Verbal Communication The Way People Speak 第12回 Non-Verbal Communication 第13回 Non-Verbal Communication 第14回 Japanese Communication Styles and that of American 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Relationships Friends and Acquaintance 第17回 Discussion and Critical Reading 第18回 Relationships Friends and Acquaintance 第19回 Obama's Speech (Critical Reading) 第20回 Obama's Speech (Critical Writing) 第21回 Family Tradition 第22回 Education Values and Expectation 第23回 Education Values and Expectation 第24回 Education Values and Expectation 第25回 Work Practice and Attitude 第26回 International Studies: Cultural Identities 第27回 International Studies: Quality of Life in UK 第28回 International Studies: Quality of Life in UK 第29回 International Studies: Quality of Life in UK 第30回 後期試験
教科書	Beyond Language: Cross-Cultural Communication: Second Edition

	by Deena R. Levine and Mara B. Adelman1993, (Prentice GHall Regents) English Newspapers Time
参考書・資料	BBC World News, CNN News 英語でグローバルな問題や日本の文化に関する自分の意見を書いたり、発表することに慣れていない人は、以下の本を参考にしてください。著者をはじめ、甲南大学の先輩達のお手本や、プロセスを追って英語のエッセイやスピーチ原稿を書く手順や手法が学べます。 グローバル時代の英語教育 Content-based Process Writing for Oral Presentation 英宝社 中村耕二著 (333 頁)。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	講義の使用言語は目標言語である英語です。 英語を訳すのではなく、英語で理解して、簡単な英語で内容に関して、自分の意見をまとめて発表したり、書けるようになりましょう。英文の内容を理解して要約することも大事です。 英語を通して、異文化と国際理解を深めましょう。
ホームページタイトル	koji@konan-u.ac.jp (E-mail) http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~koji/ (Koji's Desk On Line)

授業コード	J0102		
授業科目名	基礎英語I (文 2クラス)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席 10% 参加点 10% レポート 30%

	小テスト 50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Intro 第 3回 Unit 1 Travel 第 4回 Unit 1 Travel 第 5回 Unit 1 Travel/ Unit 2 Fashion 第 6回 Unit 2 Fashion 第 7回 Unit 2 Fashion 第 8回 Review/ Unit 4 Big Money 第 9回 Unit 4 Big Money 第10回 Unit 4 Big Money 第11回 Unit 5 Cultural Events 第12回 Unit 5 Cultural Events 第13回 Unit 5 Cultural Events 第14回 Review 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Give back grades/ Intro 第17回 Unit 7 Health 第18回 Unit 7 Health 第19回 Unit 7 Health 第20回 Unit 9 The Changing Family 第21回 Unit 9 The Changing Family 第22回 Unit 9 The Changing Family 第23回 Unit 10 Education 第24回 Unit 10 Education 第25回 Unit 10 Education 第26回 Unit 11 The Mystery of Memory 第27回 Unit 11 The Mystery of Memory 第28回 Unit 11 The Mystery of Memory 第29回 Review 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading Book 3 (Thomson) Neil J. Anderson
参考書・資料	特になし
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0103		
授業科目名	基礎英語I (文 3クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays

	<ul style="list-style-type: none"> • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席 10% レポート 20% 小テスト 20% 定期試験 30% 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期)</p> <p>第1回 CASEC受験(2010年4月6日~12日)</p> <p>第2回 Unit 1 Chapter 1 (P.11) Predicting</p> <p>第3回 Unit 1 Chapter 2 (P.17) Scanning</p> <p>第4回 Unit 2 Chapter 1 (P.23) Skimming for the Main Idea</p> <p>第5回 Unit 2 Chapter 2 (P.29) Recognizing Sequence Markers</p> <p>第6回 Unit 3 Chapter 1 (P.35) Identifying Meaning from Context</p> <p>第7回 Unit 3 Chapter 2 (P.41) Identifying Main Ideas within Paragraphs</p> <p>第8回 Review 1 (P.47)</p> <p>第9回 Unit 4 Chapter 1 (P.57) Identifying Cause and Effect</p> <p>第10回 Unit 4 Chapter 2 (P.63) Previewing</p> <p>第11回 Unit 5 Chapter 1 (P.69) Skimming for the Main Idea</p> <p>第12回 Unit 5 Chapter 2 (P.75) Predicting</p> <p>第13回 Unit 6 Chapter 1 (P.81) Identifying Fact versus Theory</p> <p>第14回 Unit 6 Chapter 2 (P.87) Identifying Meaning from Context</p>

	<p>第15回 前期試験 (後期)</p> <p>第16回 Review 2 (P.93)</p> <p>第17回 Unit 7 Chapter 1 (P.103) Scanning</p> <p>第18回 Unit 7 Chapter 2 (P.109) Predicting</p> <p>第19回 Unit 8 Chapter 1 (P.115) Identifying Main and Supporting Ideas</p> <p>第20回 Unit 8 Chapter 2 (P.121) Making Inferences</p> <p>第21回 Unit 9 Chapter 1 (P.127) Recognizing Facts</p> <p>第22回 Unit 9 Chapter 2 (P.133) Previewing</p> <p>第23回 Review 3 (P.139)</p> <p>第24回 Unit 10 Chapter 1 (P.149) Arguing For and Against a Topic</p> <p>第25回 Unit 10 Chapter 2 (P.155) Identifying Meaning from Context</p> <p>第26回 Unit 11 Chapter 1 (P.161) Skimming for the Main Idea</p> <p>第27回 Unit 11 Chapter 2 (P.167) Scanning</p> <p>第28回 Unit 12 Chapter 1 (P.173) Skimming for Opinions and Attitudes</p> <p>第29回 Unit 12 Chapter 2 (P.179) Identifying Main and Supporting Ideas</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	<p>ACTIVE Skills for Reading : Book 3</p> <p>著者: Neil J. Anderson</p> <p>出版社 : THOMSON</p>
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>毎日30分は何か英語で、特にPenguin Longman Level 3 等の本を読みましょう。 継続は力なり。読み続けることにより読書力が身につきます。</p>

授業コード	J0104
-------	-------

授業科目名	基礎英語I (文 4クラス)		
担当者名	鷺尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日 16:30-17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・講義への取り組み姿勢 20% Homework・Summary Reports etc. 20% Reading Pleasure Reports 20% 前・後期試験 40% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業の時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Unit 1 Travel Chapter 1 [Predicting] 第3回 Unit 1 Travel Chapter 1 & 2 [Scanning] 第4回 Unit 1 Travel Chapter 2 第5回 Choosing a book for your Reading Report (1) // Unit 2 Fashion Chapter 1 [Skimming for the Main Idea] 第6回 Unit 2 Fashion Chapter 1&2 [Recognizing Sequence Markers] // Summary Report (1) 第7回 Unit 2 Fashion Chapter 2 第8回 Turning in your Reading Report (1) // Unit 3 Disappearing Animals Chapter 1 [Identifying Meaning from Context] 第9回 Unit 3 Disappearing Animals Chapter 1&2 [identifying Main Ideas within Paragraphs] 第10回 Choosing a book for your Reading Report (2) //Unit 3 Disappearing Animals Chapter 2 第11回 Review Unit 1 Ecotourism [Fluency Strategy: DRTA] & Review Reading 1 Modern Fashion Trends [Fluency Practice] // Summary Report (2) 第12回 Review Reading 1 & 2 Endangered Animal Success Stories 第13回 Turning in your Reading Report (2) // Unit 4 Big cMoney Chapter 1 [Identifying Cause and Effect] 第14回 Unit 4 Big Money Chapter 1 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 4 Big Money Chapter 2 [Previewing] 第17回 Unit 5 Cultural Events Chapter 1 [Skimming for the Main Idea] 第18回 Unit 5 Cultural Events Chapter 1 & 2 [Predicting] // Summary Report (3) 第19回 Unit 5 Cultural Events Chapter 2 第20回 Choosing a book for your Reading Report (3) // Unit 6 It's a Mystery Chapter 1

	<p>[Identifying Fact versus Theory]</p> <p>第21回 Unit 6 It's a Mystery Chapter 1 & 2 [Identifying Meaning from Context]</p> <p>第22回 Unit 6 It's a Mystery Chapter 2</p> <p>第23回 Turning in your Reading Report (3) // Review Unit 2 America's Biggest Lottery Winner [Fluency Strategy: KWL] & Review Reading 3 Married in a Kimono, Happy in Switzerland [Fluency Practice]</p> <p>第24回 Review Reading 3 & 4 The Truth Behind The Da Vinci Code</p> <p>第25回 Choosing a book for your Reading Report (4) // Unit 7 Health Chapter 1 [Scanning]</p> <p>第26回 Unit 7 Health Chapter 1 & 2 [Predicting] // Summary Report (3)</p> <p>第27回 Unit 7 Health Chapter 2</p> <p>第28回 Unit 8 Space and Flight Chapter 1 [Identifying Main and Supporting Ideas]</p> <p>第29回 Unit 8 Space and Flight Chapter 2 [Making Inferences]</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Active Skills for Reading Book 3 Cengage (Thomson)
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
その他	<p>欠席とみなされる行為1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。)</p> <p>2. 講義中の居眠り</p> <p>3. 私語等による講義への不参加</p> <p>4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を讀んだりすること</p> <p>* 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。</p> <p>* 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。</p> <p>* 講義中、携帯電話の電源は必ず切して下さい。</p>

授業コード	J0105		
授業科目名	基礎英語I (文 5クラス)		
担当者名	沖野泰子(オキノ ヤスコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary 		
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		

成績評価	<p>評価の目安は原則として以下のとおり。</p> <p>前期、後期とも</p> <p>出席： 30%(ポキャブラリークイズを含む) 課題： 30%(Reading Logを毎週提出) 小テスト: 20% 定期テスト: 20%</p> <p>前期と後期の平均点で最終評価が出ます。詳しくは、最初の授業で説明します。 (欠席が年間授業の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション 第 3回 Unit 1 Chapter 1 第 4回 Unit 1 Chapter 2 第 5回 Unit 2 Chapter 1 第 6回 Unit 2 Chapter 2 小テスト 第 7回 Unit 3 Chapter 1 第 8回 Unit 3 Chapter 2 第 9回 Unit 4 Chapter 1 第10回 Unit 4 Chapter 2 第11回 Further Reading 小テスト 第12回 Unit 5 Chapter 1 第13回 Unit 5 Chapter 2 第14回 Unit 6 Chapter 1 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Unit 6 Chapter 2 第17回 Unit 7 Chapter 1 第18回 Unit 7 Chapter 2 第19回 Unit 8 Chapter 1 第20回 Unit 8 Chapter 2 第21回 Further Reading 小テスト 第22回 Unit 9 Chapter 1 第23回 Unit 9 Chapter 2 第24回 Unit 10 Chapter 1 第25回 Unit 10 Chapter 2 小テスト 第26回 Unit 11 Chapter 1 第27回 Unit 11 Chapter 2 第28回 Unit 12 Chapter 1 第29回 Unit 12 Chapter 2 第30回 後期試験</p>
教科書	Neil J. Anderson, Active Skills for Reading: Book 2 (センゲージ・ラーニング)
参考書・資料	Reading Logを行ってもらうための参考資料を開講時に詳しく指示します。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	大学受験で身につけた英語力をダウンさせてしまわないよう、少しずつでも何らかの形で英語に触れ続けてもらうことを意図としてReading Logを課題にしています。英語学習のペースメーカーとして取り組んでもらいたいと思います。例年最初はしんどいなあと感じる人がたくさんいるようですが、大丈夫！みんなそのうち生活のリズムにうまく取り込めるようになっていきます！

授業コード	J0106
-------	-------

授業科目名	基礎英語I (文 6クラス)		
担当者名	河本知子(カワモト トモコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.		
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 		
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	※定期試験の成績30% 小テストの成績20% 課題レポート30% 授業への参加態度20% 各自ご入力をお願いいたします。		
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Context 第 3回 Context 第 4回 Skimming 第 5回 Skimming 第 6回 Topic 第 7回 Guessing 第 8回 Guessing 第 9回 Scanning 第10回 Scanning 第11回 Keyword 第12回 Keyword 第13回 Theme 第14回 Theme 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Context 第17回 Context 第18回 Application 第19回 Application 第20回 Supporting Idea 第21回 Supporting Idea 第22回 Theme 第23回 Theme 第24回 Guessing		

	第25回Guessing 第26回Examples 第27回Examples 第28回Patterns 第29回Patterns 第30回 後期試験
教科書	Select Readings Intermediate(Oxford)
参考書・資料	※できるだけ英英辞典を使ってください。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	何か新しいことを覚える、新しい表現を使ってみるといったことを意識して、参加してください。こんなことがわかった、こんなことを覚えたという達成感を皆さん一人ひとりがもてるようにサポートしていきますので、気軽に質問してください。

授業コード	J0107		
授業科目名	基礎英語I (文 7クラス)		
担当者名	西山史子(ニシヤマ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	以下のような配分で、総合的に評価する。 定期試験の成績 40% 小テストの成績 20% 課題 20% 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Identifying Main and Supporting Ideas "Oh, No, Not Another Test!"

	第 3回 Understanding Cause and Effect 1 “For Better Grades—Use Your Brain!” 第 4回 Scanning 1 “Safe Travel” 第 5回 Scanning for Details “A Trip to Vietnam” 第 6回 Using Titles to Understand Main ideas “Moviemaking Behind the Scenes” 第 7回 Recognizing Sequence of Events “Great Film Directors: Ang Lee” 第 8回 Review 1: Fluency Strategy 1 第 9回 Scanning 2 “Sports History” 第10回 Predicting 1 “Sports Success: Yao Ming” 第11回 Skimming for the Main Idea 1 “You Are Amazing: You Are Human!” 第12回 Predicting Vocabulary “Beyond the Body’s Limits” 第13回 Finding Definitions “Scrapbooking” 第14回 Identifying Main Ideas within Paragraphs 1 “Work Hard, Play Hard?” 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Fluency Strategy 2 第17回 Predicting 2 “Where’s That Music Coming From?” 第18回 Scanning 3 “The Hot World of Salsa!” 第19回 Identifying Main Ideas within Paragraphs 2 “Be Your Own Boss” 第20回 Skimming for General Ideas “The Right Job for Your Personality” 第21回 Skimming to Assess a Passage 1 “The History of Chocolate” 第22回 Understanding Main Ideas within Paragraphs “Addicted to Chocolate” 第23回 Review 2: Fluency Strategy 3 第24回 Skimming for the Main Idea 2 “Ads Are Everywhere!” 第25回 Distinguishing Between Main and Supporting Ideas “How Advertising Uses Psychology” 第26回 Making Inferences “Breakfast Like a King?” 第27回 Understanding Cause and Effect 2 “Is Your Diet Destroying the Environment?” 第28回 Scanning for Numbers “Clean Up Australia, Clean Up the World” 第29回 Skimming to Assess a Passage 2 “Resources for the Future” 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading: Book 2 (Neil J. Anderson, Gengage)
参考書・資料	授業中に紹介する。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	「英語を」読むのではなく、「英語で」読む。英語の文章を通して見えてくる、より広い世界を楽しみましょう。

授業コード	J0108		
授業科目名	基礎英語I (文 8クラス)		
担当者名	川村みちよ(カワムラ ミチヨ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning

	<p>(quickly finding specific information)</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary 								
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>								
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>								
成績評価	<p>評価の目安は以下のとおりです。平常点重視とします。</p> <table> <tr> <td>小テスト</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業中の発表・提出物</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート(Book Review)</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td>15%</td> </tr> </table> <p>※欠席が全授業回数の3分の1を越えると、評価は「欠席」となります。</p>	小テスト	30%	授業中の発表・提出物	40%	課題・レポート(Book Review)	15%	期末試験	15%
小テスト	30%								
授業中の発表・提出物	40%								
課題・レポート(Book Review)	15%								
期末試験	15%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、予定なので随時変更があります。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction(教科書説明など) 第 3回 Billionaires /小テスト Unit 1 第 4回 Billionaires & Andre Agassi /小テスト Unit 1 第 5回 Andre Agassi /小テスト Unit 2 第 6回 Video Jockeys /小テストUnit 2 第 7回 Video Jockeys & Coffee Culture /小テスト Unit 3 第 8回 Coffee Culture /小テスト Unit 3 第 9回 Around the World /小テスト Unit4 第10回 Around the World & Review 1-5/小テスト Unit 4 第11回 Review 1-5/小テスト Unit 5 第12回 The Puffer Fish /小テスト Unit 5 第13回 The Puffer Fish & Getting Married/小テスト Unit6 第14回 Getting Married/小テスト Unit6 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Say it with Flowers/小テスト Unit 7 第17回 Say it with Flowers & Bollywood/小テスト Unit 7 第18回 Bollywood/小テスト Unit 8 第19回 The Nobel Priize/小テスト Unit 8 第20回 The Nobel Priize & Review 6-10/小テスト Unit 9 第21回 Review 6-10/小テスト Unit 9 第22回 A Funny Care/小テスト Unit 10 第23回 A Funny Care & Palm Reading/小テスト Unit 10 第24回 Palm Reading & Amazing Memory/小テスト Unit 11 第25回 Amazing Memory/小テスト Unit 11 第26回 Incredible Dogs/小テスト Unit 12 第27回 Diamonds/小テスト Unit 12 第28回 Review 11-15/小テスト Unit 13 第29回 Review 11-15/小テスト Unit 13 第30回 後期試験</p>								
教科書	<p>① Reading Advantage 2 (Cengage) ② My First TOEIC Test (朝日出版)</p>								
参考書・資料	<p>辞書は絶対に持って来て下さい。</p>								
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>								
担当者から一言	<p>※授業開始時刻より10分が経過すると、欠席となります。</p>								

	<p>列車・バスの延着などで遅れた場合は、証明書を貰って来て下さい。</p> <p>※病気・怪我などで長期に欠席した場合は、診断書を持って来て下さい。</p> <p>※教科書は、少なくとも2回目の授業までには購入して、毎回持って来て下さい。忘れた場合は減点します。</p> <p>※授業は、座席指定制です。</p> <p>※授業中に気分が悪くなった場合などは、担当者に申し出て下さい。黙って教室を出入りすることは、慎んで下さい。</p> <p>※授業中の飲食・私語・携帯の使用・居眠りは禁止します。目に余る場合は、退室の上、欠席扱いとします。</p> <p>※ 授業内容などで分からないことがあれば、その場で質問して下さい。</p> <p>以上、時間に関してなど厳しいこともありますが、平常点重視なので、授業中に頑張れば大丈夫です。</p>
--	--

授業コード	J0109		
授業科目名	基礎英語I (文 9クラス)		
担当者名	平出則子(ヒラデ ノリコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary 		
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	定期試験の成績	65%	
	ブックレポート	20%	
	授業への参加態度	15%	
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 self-introduction speech</p>		

第 3回 Unit 1
第 4回 Unit 2
第 5回 Unit 3
第 6回 Unit 4
第 7回 Unit 5
第 8回 Review Units 1-5

第 9回 Unit 6
第10回 Unit 7

第11回 Unit 8

第12回 Unit 9

第13回 Unit 10
第14回 Review Units 6-10
第15回 前期試験
(後期)
第16回 speech on summer vacation

第17回 Unit 11
第18回 Unit 12
第19回 Unit 13
第20回 Unit 14
第21回 Unit 15
第22回 Review Units 11-15
第23回 Unit 16
第24回 Unit 17
第25回 Unit 18
第26回 Unit 19
第27回 Unit 20
第28回 Review Units 16-20

	第29回 speech on winter vacation 第30回 後期試験
教科書	Reading Advantage 2
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	1. 三分の一以上欠席すれば失格となる。 2. 遅刻は2回で欠席となる。 3. 原則として1授業で1章を学ぶ。 4. 授業はなるべく英語を使って行う。 5. 1年で3回英語による短いスピーチをする。

授業コード	J0110		
授業科目名	基礎英語I (文 10クラス)		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 定期テストの成績 30% 小テストの成績 25% 課題及び口頭発表 30% 授業への参加態度 15%

	無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 / Chapter 1 第 3回 Unit 1 / Chapter 2 第 4回 Unit 2 / Chapter 1 第 5回 Unit 2 / Chapter 2 第 6回 Unit 3 / Chapter 1 第 7回 Unit 3 / Chapter 2 第 8回 Review 1 & Unit 4 / Chapter 1 第 9回 Unit 4 / Chapter 2 第10回 Unit 5 / Chapter 1 第11回 Unit 5 / Chapter 2 第12回 Unit 6 / Chapter 1 第13回 Unit 6 / Chapter 2 第14回 Review 2 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Unit 7 / Chapter 1 第17回 Unit 7 / Chapter 2 第18回 Unit 8 / Chapter 1 第19回 Unit 8 / Chapter 2 第20回 Unit 9 / Chapter 1 第21回 Unit 9 / Chapter 2 第22回 Review 3 第23回 Unit 10 / Chapter 1 第24回 Unit 10 / Chapter 2 第25回 Unit 11 / Chapter 1 第26回 Unit 11 / Chapter 2 第27回 Unit 12 / Chapter 1 第28回 Unit 12 / Chapter 2 第29回 Review 4 第30回 後期試験</p>
教科書	Active Skills for Reading: Book 2 2/E (Gengage)
参考書・資料	英和辞典(できれば英英辞典も)必携。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0111		
授業科目名	基礎英語I (文 11クラス)		
担当者名	甲把 昭(ガツバ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays

	<ul style="list-style-type: none"> • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	テスト 30パーセント 出席 25パーセント 小テスト 15パーセント 読書課題 20パーセント 課題 10パーセント
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Previewing 第 4回 Previewing 第 5回 Scanning 第 6回 小テスト 第 7回 Scanning 第 8回 Making Inferences 第 9回 Making Inferences 第10回 小テスト 第11回 Making Inferences 第12回 Guessing Meaning from the Context Guessing Meaning from the Context 第14回 Review for the Test 速読テスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Introduction II 第17回 Focusing on the Topic 第18回 Focusing on the Topic 第19回 Understanding Paragraphs 第20回 小テスト 第21回 Understanding Paragraphs 第22回 Identifying the Pattern 第23回 Identifying the Pattern 第24回 小テスト 第25回 Video 第26回 Identifying the Pattern 第27回 Word Parts 第28回 How words work in sentences 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Power 2 fourth Edition
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	一年間頑張って英語に触れていきましょう。
その他	上記の講義構成は予定であり、変更の場合には指示をする。

第13回

授業コード	J0112		
授業科目名	基礎英語I (文 12クラス)		
担当者名	要 素子(カナメ モトコ)、吉田佳代(ヨシダ カヨ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火5限、水・木3限		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	1) 定期試験の成績 50% 2) 小テスト・課題・レポート 30% 3) 授業への参加態度 20% (* 欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Course introduction 第 3回 U1: Billionaires 第 4回 U2: Andre Agassi 第 5回 U3: Video Jockeys 第 6回 U4: Coffee Culture 第 7回 U5: Around the World 第 8回 Review Test 1 第 9回 U6: The Puffer Fish 第10回 U7: Getting Married 第11回 U8: Say it with Flowers 第12回 U9: Bollywood 第13回 U10: The Nobel Prize 第14回 Group presentations 第15回 Review Test 2 (前期試験) (後期) 第16回 前期の復習 第17回 U11: A Funny Cure 第18回 U12: Palm Reading 第19回 U13: Amazing Memory

	第20回 U14: Incredible Dogs 第21回 U15: Diamonds 第22回 Review Test 3 第23回 U16: Space Explorers 第24回 U17: Happy New Year! 第25回 U18: Text Messaging 第26回 Presentations 第27回 Presentations 第28回 U19: Urban Legends 第29回 U20: Extreme Sports 第30回 Review Test 4 (後期試験)
教科書	Reading Advantage 2 (Cengage) Casey Malarcher
参考書・資料	・小テスト用の語彙リスト(授業で配布します) ・辞書を持参してください
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	英文をただ訳して理解するのではなく、英語で要約し、自分の意見・感想を述べる力をつけましょう！
---------	--

授業コード	J0113		
授業科目名	基礎英語I (文 13クラス)		
担当者名	井田規文(イダ ノリフミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	※成績評価方法:出席点40点(ただし、最初の2回の欠席にはそれぞれ-5点、それ以後の欠席には-10点を出席点に加える。遅刻については1回につき-3点を加える。)および小テスト(30点)と期末試験(30点)成績合計60点と授業での発表点 α 点の総合で60%以上に単位を認める。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回・・・CASEC受験

	<p>第2回・・・教科書オリエンテーション、授業のための予習の仕方およびノート作りの方法の要領・説明</p> <p>第3回・・・Chapter 1: Are Getting Enough Sleep? 文脈に即した語彙の習得</p> <p>第4回・・・Chapter 1: Are Getting Enough Sleep? #2 現在完了形と単純過去形およびテスト</p> <p>第5回・・・Chapter 2: Mika's Homestay in London 多義語の習得</p> <p>第6回・・・Chapter 2: Mika's Homestay in London #2 becauseあるいはsinceを含む理由文およびテスト</p> <p>第7回・・・Chapter 3: The Book of the Future 見通しをつけた読み方の習得</p> <p>第8回・・・Chapter 3: The Book of the Future #2 形容詞の比較級表現およびテスト</p> <p>第9回・・・Chapter 4: How to Be a Successful Businessperson 推測して読む方法の習得</p> <p>第10回・・・Chapter 4: How to Be a Successful Businessperson #2 不定詞を使った表現およびテスト</p> <p>第11回・・・Chapter 5: Tonic Water, Please スキャニング読みの習得</p> <p>第12回・・・Chapter 5: Tonic Water, Please #2 and, but,そしてhoweverを使った文章構成およびテスト</p> <p>第13回・・・Chapter 6: Cell Phones: Hang Up or Keep Talking? 事実文と意見文の違い</p> <p>第14回・・・Chapter 6: Cell Phones: Hang Up or Keep Talking? #2 代名詞を意識した読みおよびテスト</p> <p>第15回・・・前期試験 (後期)</p> <p>第16回・・・前期の復習およびアンケート</p> <p>第17回・・・Chapter 7: The Ghost Pilot 要約の仕方</p> <p>第18回・・・Chapter 7: The Ghost Pilot #2 must+過去分詞を使った表現およびテスト</p> <p>第19回・・・Chapter 8: Helping Others トピック(話題)とメイン・アイデア(主題)の区別</p> <p>第20回・・・Chapter 8: Helping Others #2 分詞表現およびテスト</p> <p>第21回・・・Chapter 9: Baseball Fans Around the World 予見を立てる読み方</p> <p>第22回・・・Chapter 9: Baseball Fans Around the World #2 知覚動詞を含む表現およびテスト</p> <p>第23回・・・Chapter 10: Vanessa-Mae: A 21st Century Musician 未習得語彙の扱い方</p> <p>第24回・・・Chapter 10: Vanessa-Mae: A 21st Century Musician #2 althoughを使った対照表現及びテスト</p> <p>第25回・・・Chapter12: Love at First Sight 自問自答しながら読む方法</p> <p>第26回・・・Chapter12: Love at First Sight #2 過去進行形およびテスト</p> <p>第27回・・・Chapter 13: A Day in the Life of a Freshman 鍵語把握</p> <p>第28回・・・Chapter 13: A Day in the Life of a Freshman #2 so+noun/adjective +that 構文による原因と効果の表現およびテスト</p> <p>第29回・・・Chapter 14: Great Places to Visit 速読の方法</p> <p>第30回・・・後期試験</p>
教科書	Linda Lee and Erik Gunderson, Select Readings: Pre-Intermediate, Oxford University Press, 2002
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0114		
授業科目名	基礎英語I (文 14クラス)		
担当者名	山口徳一(ヤマグチ ノリカズ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand

	unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	平常点(出席, 授業態度など)20% 小テスト・中間試験など30% 期末試験50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Exam Time 第 3回 // 第 4回 The Amazing Human Body 第 5回 // 第 6回 Movie Makers 第 7回 // 第 8回 Combining New and Old Medicine 第 9回 Saving the Environment 第10回 // 第11回 Leisure and Hobbies 第12回 // 第13回 Is It Time to Change Jobs? 第14回 // 第15回 前期試験 (後期) 第16回 プリント教材配布 第17回 The Story of Chocolate 第18回 // 第19回 Going Abroad 第20回 // 第21回 Career Paths 第22回 // 第23回 Are Human Beings Getting Smarter? 第24回 The Secrets of Advertising 第25回 // 第26回 Eating for Health 第27回 // 第28回 The Life of a Food Critic 第29回 プリント教材配布 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading: Book 2
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	授業開始後最初の10～15分間にその日の授業で使用する単語のテストを行う。単語テスト用の単語は、ホームページに事前にアップロードしておくので、そこにアクセスしてあらかじめチェックしておくこと。パスワードは初回の授業時に知らせる。
ホームページタイトル	次回の単語
URL	http://www18.ocn.ne.jp/~norikazu/

授業コード	J0301
-------	-------

授業科目名	基礎英語I (経済 1クラス)		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は、原則として以下の通り。 定期テストの成績 30% 小テストの成績 25% 課題及び口頭発表 30% 授業への参加態度 15% 無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 / Chapter 1 第 3回 Unit 1 / Chapter 2 第 4回 Unit 2 / Chapter 1 第 5回 Unit 2 / Chapter 2 第 6回 Unit 3 / Chapter 1 第 7回 Unit 3 / Chapter 2 第 8回 Review 1 & Unit 4 / Chapter 1 第 9回 Unit 4 / Chapter 2 第10回 Unit 5 / Chapter 1 第11回 Unit 5 / Chapter 2 第12回 Unit 6 / Chapter 1 第13回 Unit 6 / Chapter 2 第14回 Review 2 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 7 / Chapter 1 第17回 Unit 7 / Chapter 2 第18回 Unit 8 / Chapter 1 第19回 Unit 8 / Chapter 2 第20回 Unit 9 / Chapter 1 第21回 Unit 9 / Chapter 2

	第22回 Review 3 第23回 Unit 10 / Chapter 1 第24回 Unit 10 / Chapter 2 第25回 Unit 11 / Chapter 1 第26回 Unit 11 / Chapter 2 第27回 Unit 12 / Chapter 1 第28回 Unit 12 / Chapter 2 第29回 Review 4 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading: Book 3 2/E (Cengage)
参考書・資料	英和辞典(できれば英英辞典も)必携。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0302		
授業科目名	基礎英語I (経済 2クラス)		
担当者名	藤岡千伊奈(フジオカ テイナ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	1. 出席 20% 2. 授業参加度と授業態度 20% 3. 小テスト 20% 4. 宿題 20% 5. ブック・レポート 20% 「欠席」評価:総合的に見て、学生が履修を放棄したと見なす場合
講義構成	講義の構成(予定)は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 厳選したユニットを学習する。教科書の目次順に進行しないので注意すること。 (前期)

	第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Unit 14 第 4回 Unit 14 第 5回 Unit 4 第 6回 Unit 4 第 7回 Unit 7 第 8回 Unit 7 第 9回 Unit 9 第10回 Unit 9 第11回 Unit 12 第12回 Unit 12 第13回 Unit 8 第14回 Unit 8 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 6 第17回 Unit 6 第18回 Unit 15 第19回 Unit 15 第20回 Unit 10 第21回 Unit 10 第22回 Unit 13 第23回 Unit 13 第24回 Unit 1 第25回 Unit 1 第26回 Unit 2 第27回 Unit 2 第28回 Unit 11 第29回 Unit 11 第30回 後期試験
教科書	Reading Advantage 3 2nd edition
参考書・資料	辞書(電子辞書可)は毎回持参すること。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Feel free to ask me any questions about this class.

授業コード	J0303		
授業科目名	基礎英語I(経済 3クラス)		
担当者名	平出則子(ヒラデ ノリコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage

	<ul style="list-style-type: none"> ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 						
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>						
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>						
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">定期試験の成績</td> <td style="text-align: right;">65%</td> </tr> <tr> <td>ブックレポート</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> </table>	定期試験の成績	65%	ブックレポート	20%	授業への参加態度	15%
定期試験の成績	65%						
ブックレポート	20%						
授業への参加態度	15%						
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 self-introduction speech</p> <p>第 3回 Unit 1 Chapter 1 第 4回 Unit 1 Chapter 2 第 5回 Unit 2 Chapter 1 第 6回 Unit 2 Chapter 2 第 7回 Unit 3 Chapter 1 第 8回 Unit 3 Chapter 2 第 9回 Unit 4 Chapter 1 第10回 Unit 4 Chapter 2 第11回 Unit 5 Chapter1 第12回 Unit 5 Chapter 2 第13回 Unit 6 Chapter 1 第14回 Unit 6 Chapter 2</p> <p>第15回 前期試験 (後期) 第16回 speech on summer vacation</p> <p>第17回 Unit 7 Chapter 1 第18回 Unit 7 Chapter 2 第19回 Unit 8 Chapter 1 第20回 Unit 8 Chapter 2 第21回 Unit 9 Chapter 1 第22回 Unit 9 Chapter 2 第23回 Unit 10 Chapter 1</p>						

	第24回 Unit 10 Chapter 2 第25回 Unit 11 Chapter 1 第26回 Unit 11 Chapter 2 第27回 Unit 12 Chapter 1 第28回 Unit 12 Chapter 2 第29回 speech on winter vacation 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading Book 3
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	1. 三分の一以上欠席すれば失格となる。 2. 遅刻は2回で欠席となる。 3. 原則として1授業で1章を学ぶ。 4. 授業はなるべく英語を使って行う。 5. 1年で3回英語による短いスピーチをする。
---------	---

授業コード	J0304		
授業科目名	基礎英語I(経済 4クラス)		
担当者名	甲把 昭(ガツパ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	テスト 30パーセント 出席 25パーセント 小テスト 15パーセント

	読書課題 20パーセント 課題 10パーセント
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Introduction 第3回 Unit 1 Chapter 第4回 Chapter 2 第5回 Unit 2 Chapter 1 第6回小テスト 第7回 プリント教材 第8回同上 第9回 Unit 2 Chapter 2 第10回小テスト 第11回 Unit 3 Chapter 1 第12回 Chapter 2 第13回 プリント教材 第14回 Review for the test 速読テスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Introduction II 第17回 Unit 4 Chapter 1 第18回 Chapter 2 第19回 プリント教材 第20回 小テスト 第21回 Unit 5 Chapter 1 第22回 Chapter 2 第23回 プリント教材 第24回 小テスト 第25回 Video 第26回 Unit 9 Chapter 1 第27回 Chapter 2 第28回 プリント教材 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading Book 3
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	一年間頑張って英語に触れていきましょう。
その他	授業構成は予定であり、変更が生じる場合は指示をする。

授業コード	J0305		
授業科目名	基礎英語I(経済 5クラス)		
担当者名	要 素子(カナメ モトコ)、吉田佳代(ヨシダ カヨ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火5限、水・木3限		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
-------	--

到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>1) 定期試験の成績 50%</p> <p>2) 小テスト・課題・レポート 30%</p> <p>3) 授業への参加態度 20%</p> <p>(* 欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Course introduction</p> <p>第 3回 U1: Billionaires</p> <p>第 4回 U2: Andre Agassi</p> <p>第 5回 U3: Video Jockeys</p> <p>第 6回 U4: Coffee Culture</p> <p>第 7回 U5: Around the World</p> <p>第 8回 Review Test 1</p> <p>第 9回 U6: The Puffer Fish</p> <p>第10回 U7: Getting Married</p> <p>第11回 U8: Say it with Flowers</p> <p>第12回 U9: Bollywood</p> <p>第13回 U10: The Nobel Prize</p> <p>第14回 Group presentations</p> <p>第15回 Review Test 2 (前期試験)</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 前期の復習</p> <p>第17回 U11: A Funny Cure</p> <p>第18回 U12: Palm Reading</p> <p>第19回 U13: Amazing Memory</p> <p>第20回 U14: Incredible Dogs</p> <p>第21回 U15: Diamonds</p> <p>第22回 Review Test 3</p> <p>第23回 U16: Space Explorers</p> <p>第24回 U17: Happy New Year!</p> <p>第25回 U18: Text Messaging</p> <p>第26回 Presentations</p> <p>第27回 Presentations</p> <p>第28回 U19: Urban Legends</p> <p>第29回 U20: Extreme Sports</p> <p>第30回 Review Test 4 (後期試験)</p>
教科書	<p>Reading Advantage 2 (Cengage) Casey Malarcher</p>
参考書・資料	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト用の語彙リスト(授業で配布します) ・辞書を持参してください
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエ</p>

	<p>ティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>英文をただ訳して理解するのではなく、英語で要約し、自分の意見・感想を述べる力をつけましょう！</p>

授業コード	J0306		
授業科目名	基礎英語I (経済 6クラス)		
担当者名	井田規文(イダ ノリフミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>※成績評価方法:出席点40点(ただし、最初の2回の欠席にはそれぞれ-5点、それ以後の欠席には-10点を出席点に加える。遅刻については1回につき-3点を加える。)および小テスト(30点)と期末試験(30点)成績合計60点と授業での発表点α点の総合で60%以上に単位を認める。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回・・・CASEC受験</p> <p>第2回・・・教科書オリエンテーション、授業のための予習の仕方およびノート作りの方法の要領・説明</p> <p>第3回・・・Chapter 1: Are Getting Enough Sleep? 文脈に即した語彙の習得</p> <p>第4回・・・Chapter 1: Are Getting Enough Sleep? #2 現在完了形と単純過去形およびテスト</p> <p>第5回・・・Chapter 2: Mika's Homestay in London 多義語の習得</p> <p>第6回・・・Chapter 2: Mika's Homestay in London #2 becauseあるいはsinceを含む理由文およびテスト</p> <p>第7回・・・Chapter 3: The Book of the Future 見通しをつけた読み方の習得</p> <p>第8回・・・Chapter 3: The Book of the Future #2 形容詞の比較級表現およびテスト</p> <p>第9回・・・Chapter 4: How to Be a Successful Businessperson 推測して読む方法の習得</p> <p>第10回・・・Chapter 4: How to Be a Successful Businessperson #2 不定詞を使った表現およびテスト</p> <p>第11回・・・Chapter 5: Tonic Water, Please スキャニング読みの習得</p> <p>第12回・・・Chapter 5: Tonic Water, Please #2 and, but,そしてhoweverを使った文章構成およびテスト</p> <p>第13回・・・Chapter 6: Cell Phones: Hang Up or Keep Talking? 事実文と意見文の違い</p> <p>第14回・・・Chapter 6: Cell Phones: Hang Up or Keep Talking? #2 代名詞を意識した読みおよびテスト</p> <p>第15回・・・前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回・・・前期の復習およびアンケート</p> <p>第17回・・・Chapter 7: The Ghost Pilot 要約の仕方</p>

	第18回・・ Chapter 7: The Ghost Pilot #2 must+過去分詞を使った表現およびテスト 第19回・・ Chapter 8: Helping Others トピック(話題)とメイン・アイデア(主題)の区別 第20回・・ Chapter 8: Helping Others #2 分詞表現およびテスト 第21回・・ Chapter 9: Baseball Fans Around the World 予見を立てる読み方 第22回・・ Chapter 9: Baseball Fans Around the World #2 知覚動詞を含む表現およびテスト 第23回・・ Chapter 10: Vanessa-Mae: A 21st Century Musician 未習得語彙の扱い方 第24回・・ Chapter 10: Vanessa-Mae: A 21st Century Musician #2 althoughを使った対照表現及びテスト 第25回・・ Chapter12: Love at First Sight 自問自答しながら読む方法 第26回・・ Chapter12: Love at First Sight #2 過去進行形およびテスト 第27回・・ Chapter 13: A Day in the Life of a Freshman 鍵語把握 第28回・・ Chapter 13: A Day in the Life of a Freshman #2 so+noun/adjective +that 構文による原因と効果の表現およびテスト 第29回・・ Chapter 14: Great Places to Visit 速読の方法 第30回・・後期試験
教科書	Linda Lee and Erik Gunderson, Select Readings: Pre-Intermediate, Oxford University Press, 2002
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0307		
授業科目名	基礎英語I (経済 7クラス)		
担当者名	山口徳一(ヤマグチ ノリカズ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	平常点(出席、授業態度など)20% 小テスト・中間試験など30% 期末試験50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Exam Time

	第 3回 “ 第 4回 The Amazing Human Body 第 5回 “ 第 6回 Movie Makers 第 7回 “ 第 8回 Combining New and Old Medicine 第 9回 Saving the Environment 第10回 “ 第11回 Leisure and Hobbies 第12回 “ 第13回 Is It Time to Change Jobs? 第14回 “ 第15回 前期試験 (後期) 第16回 プリント教材配布 第17回 The Story of Chocolate 第18回 “ 第19回 Going Abroad 第20回 “ 第21回 Career Paths 第22回 “ 第23回 Are Human Beings Getting Smarter? 第24回 The Secrets of Advertising 第25回 “ 第26回 Eating for Health 第27回 “ 第28回 The Life of a Food Critic 第29回 プリント教材配布 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading: Book 2
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	授業開始後最初の10～15分間にその日の授業で使用する単語のテストを行う。単語テスト用の単語は、ホームページに事前にアップロードしておくので、そこにアクセスしてあらかじめチェックしておくこと。パスワードは初回の授業時に知らせる。
ホームページタイトル	次回の単語
URL	http://www18.ocn.ne.jp/~norikazu/

授業コード	J0308		
授業科目名	基礎英語I (経済 8クラス)		
担当者名	鷲尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日 16:30-17:00(3号館2F非常勤講師控室(北(山)側))		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays

	<ul style="list-style-type: none"> • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	レポート、小テストの成績、講義時間中の課題への対応等で、総合的に評価する。また、出席や授業態度を重視する。出席・講義や宿題等への取り組み姿勢 40% Reading Report 20% 前・後期試験 40%
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Introduction for each Part</p> <p>第 3回 Vocabulary Building, Previewing, etc.</p> <p>第 4回 Vocabulary Building, Previewing, etc.</p> <p>第 5回 Vocabulary Building, Previewing, etc. // Choosing books for your Pleasure Reading Report (1)</p> <p>第 6回 Vocabulary Building, Scanning, etc.</p> <p>第 7回 Vocabulary Building, Scanning, etc.</p> <p>第 8回 Vocabulary Building, Scanning, etc. // Turning in your Pleasure Reading Report (1)</p> <p>第 9回 Vocabulary Building, Making Inferences, etc.</p> <p>第10回 Vocabulary Building, Making Inferences, etc. // Choosing books for your Pleasure Reading Report (2)</p> <p>第11回 Vocabulary Building, Making Inferences, etc.</p> <p>第12回 Vocabulary Building, Making Inferences, etc.</p> <p>第13回 Vocabulary Building, Focusing on the Topic, etc. // Turning in your Pleasure Reading Report (2)</p> <p>第14回 Vocabulary Building, Focusing on the Topic, etc.</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Vocabulary Building, Focusing on the Topic, etc.</p> <p>第17回 Vocabulary Building, Focusing on the Topic, etc.</p> <p>第18回 Vocabulary Building, Understanding Paragraphs, etc. // Choosing books for your Pleasure Reading Report (3)</p> <p>第19回 Vocabulary Building, Understanding Paragraphs, etc.</p> <p>第20回 Vocabulary Building, Understanding Paragraphs, etc.</p> <p>第21回 Vocabulary Building, Understanding Paragraphs, etc. // Turning in your Pleasure Reading Report (3)</p> <p>第22回 Vocabulary Building, Identifying the Pattern, etc.</p> <p>第23回 Vocabulary Building, Identifying the Pattern, etc. // Choosing books for your Pleasure Reading Report (4)</p> <p>第24回 Vocabulary Building, Identifying the Pattern, etc.</p> <p>第25回 Vocabulary Building, Identifying the Pattern, etc.</p> <p>第26回 Vocabulary Building, Identifying the Pattern, etc. // Turning books for your Pleasure Reading Report (4)</p> <p>第27回 Vocabulary Building, Thinking in English, etc.</p> <p>第28回 Vocabulary Building, Thinking in English, etc.</p> <p>第29回 Vocabulary Building, Thinking in English, etc.</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Reading Power 2 (4th ed.) Longman
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

その他	<p>* 欠席とみなされる行為</p> <ol style="list-style-type: none"> 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 講義中の居眠り 私語等による講義への不参加 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を読んだりすること <p>* 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。</p> <p>* 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。</p> <p>* 講義中、携帯電話の電源は必ず切って下さい。</p>
-----	--

授業コード	J0309		
授業科目名	基礎英語I(経済9クラス)		
担当者名	甲把 昭(ガツパ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) identify the main idea and the most important information of a passage learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary learn how to outline and summarize a passage in English improve reading speed increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>テスト 30パーセント</p> <p>出席 25パーセント</p> <p>小テスト 15パーセント</p> <p>読書課題 20パーセント</p> <p>課題 10パーセント</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 CASEC受験</p> <p>第2回 Introduction</p> <p>第3回 Previewing</p> <p>第4回 Previewing</p> <p>第5回 Scanning</p> <p>第6回 小テスト</p> <p>第7回 Scanning</p> <p>第8回 Making Inferences</p> <p>第9回 Making Inferences</p> <p>第10回 小テスト</p> <p>第11回 Making Inferences</p>

	第12回 Guessing Meaning from the Context 第13回 Guessing Meaning from the Context 第14回 Review for the Test 速読テスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Introduction II 第17回 Focusing on the Topic 第18回 Focusing on the Topic 第19回 Understanding Paragraphs 第20回 小テスト 第21回 Understanding Paragraphs 第22回 Identifying the Pattern 第23回 Identifying the Pattern 第24回 小テスト 第25回 Video 第26回 Identifying the Pattern 第27回 Word Parts 第28回 How words work in sentences 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Power 2 fourth Edition
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	一年間頑張って英語に触れていきましょう。
その他	上記の講義構成は予定であり、変更の場合には指示をする。

授業コード	J0310		
授業科目名	基礎英語I (経済 10クラス)		
担当者名	井貫富美子(イヌキ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日 昼休み 12:30-12:50 3号館 2階 非常勤講師控室		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>

準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 30% 小テストの成績 20% 課題、レポート 20% 授業態度 30%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Part 1 Extensive Reading Unit 1, 2 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 3回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 4回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 5回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 6回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 7回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2 第 8回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2 第 9回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2 第10回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2 第11回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 2 第12回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 2 3 第13回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3 第14回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3 第17回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3 第18回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3 第19回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3 第20回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3 第21回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3 第22回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 3 第23回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 第24回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第25回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第26回 Part 2 Vocabulary Building Unit 4 第27回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第28回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第29回 Part 2 Vocabulary Building Unit 6

	第30回 後期試験
教科書	Reading Power Fourth Edition
参考書・資料	英語の辞書を持参すること
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	内容が分からないときはいつでも質問してください。

授業コード	J0311		
授業科目名	基礎英語I (経済 11クラス)		
担当者名	山本路恵(ヤマモト ミチエ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.										
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary 										
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">定期試験の成績(前期・後期2回)</td> <td style="width: 50%;">60%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td>10%</td> </tr> </table> (授業中の私語、いねむり、教科書忘れ等は厳しく減点する。) (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)			定期試験の成績(前期・後期2回)	60%	小テスト	20%	課題・レポート	10%	授業への参加態度	10%
定期試験の成績(前期・後期2回)	60%										
小テスト	20%										
課題・レポート	10%										
授業への参加態度	10%										
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 クラス編成のために各自自主学习(2010年4月6日から12日) 第 2回 Identifying Main and Supporting Ideas を学習し、“Oh, No, Not Another Test!” を読む。 第 3回 Understanding Cause and Effect を学習し、“For Better Grades – Use Your Brain!” を読む。 第 4回 これまでの内容の復習・小テスト 第 5回 Scanning を学習し、“Safe Travel” を読む。 第 6回 Scanning for Details を学習し、“A Trip to Vietnam” を読む。 第 7回 Using Titles to Understand Main Ideas を学習し、“Moviemaking Behind the Scece” を読む。 第 8回 これまでの内容の復習・小テスト										

	<p>第 9回 Recognizing Sequence of Events を学習し、“Great Film Directors: Ang Lee” を読む。 第10回 Scanning を学習し、“Sports History” を読む。 第11回 Predicting を学習し、“Yao Ming” を読む。 第12回 これまでの内容の復習・小テスト 第13回 Skimming for the Main Idea を学習し、“You Are Amazing” を読む。 第14回 Predicting を学習し、“Beyond the Body’s Limits” を読む。 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Finding Definitions を学習し、“Scrapbooking” を読む。 第17回 Identifying Main Ideas を学習し、“Work Hard, Play Hard?” を読む。 第18回 Predicting を学習し、“Where’s That Music Coming From?” を読む。 第19回 これまでの内容の復習・小テスト 第20回 Scanning を学習し、“The Hot World of Salsa!” を読む。 第21回 Identifying Main Ideas を学習し、“Be Your Own Boss” を読む。 第22回 Skimming for General Ideas を学習し、“The Right Job for Your Personality” を読む。 第23回 Skimming to Assess a Passage を学習し、“The History of Chocolate” を読む。 第24回 Understanding Main Ideas を学習し、“Addicted to Chocolate” を読む。 第25回 これまでの内容の復習・小テスト 第26回 Skimming for the Main Idea を学習し、“Ads Are Everywhere!” を読む。 第27回 Distinguishing Between Main & Supporting Ideas を学習し、“How Advertising Uses Psychology” を読む。 第28回 Making Inferences を学習し、“Breakfast Like a King?” を読む。 第29回 Understanding Cause and Effect” を学習し、“Is your Diet Destroying the Environment?” を読む。 第30回 後期試験</p>
教科書	“Active Skills for Reading, 2nd Edition, Student Book 2”
参考書・資料	文法の参考書(これまで使用してきた文法書を、必要に応じて各自で参照すること)
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	難しい構文は詳しく説明します。英語が苦手な人も、また得意な人も、授業を重ねるごとに、また努力すればするだけ、英文が楽に読めるようになります。教科書には、ファッション、医学、異文化、エコ問題、娯楽、芸術、スポーツなど、私たちが興味を持つ身近で楽しい話題を読み易い英文で書いたエッセイが満載されています。読むことで英語読解力が向上することはもちろん、知的好奇心がほど良く満たされることでしょう。楽しみながら英語を学習しましょう。

授業コード	J0312		
授業科目名	基礎英語I(経済 12クラス)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning

	(quickly finding specific information) <ul style="list-style-type: none"> • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・受講態度・課題の消化:50% 小テスト・レポートおよび期末試験の得点:50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 テキスト 第3回 テキスト 第4回 テキスト 第5回 テキスト 読書課題 第6回 テキスト 第7回 テキスト 第8回 テキスト 第9回 テキスト 第10回 テキスト 読書課題 第11回 テキスト 第12回 テキスト 第13回 テキスト 第14回 テキスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 テキスト 第17回 テキスト 第18回 テキスト 第19回 テキスト 読書課題 第20回 テキスト 第21回 テキスト 第22回 テキスト 第23回 テキスト 第24回 テキスト 読書課題 第25回 テキスト 第26回 テキスト 第27回 テキスト 第28回 テキスト 第29回 テキスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Advantage 2 (Cengage)
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0313
授業科目名	基礎英語I(経済 13クラス)
担当者名	川村みちよ(カワムラ ミチヨ)

配当年次	1年次	単位数	2								
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時間	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)								
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。										
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.										
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 										
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。										
成績評価	<p>評価の目安は以下のとおりです。平常点重視とします。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">小テスト</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業中の発表・提出物</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート(Book Review)</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> </table> <p>※欠席が全授業回数の3分の1を越えると、評価は「欠席」となります。</p>			小テスト	30%	授業中の発表・提出物	40%	課題・レポート(Book Review)	15%	期末試験	15%
小テスト	30%										
授業中の発表・提出物	40%										
課題・レポート(Book Review)	15%										
期末試験	15%										
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、予定なので随時変更があります。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction(教科書説明など) 第 3回 Up, up, up and away /小テスト Week 1 第 4回 Up, up, up and away /小テスト Week 2 第 5回 Diamond ring found by child/小テスト Week 3 第 6回 Diamond ring found by child/小テスト Week 4 第 7回 Snake on the loose/小テスト Week 5 第 8回 Snake on the loose/小テスト Week 6 第 9回 Building a bridge between generations/小テスト Week 7 第10回 Building a bridge between generations/小テスト Week 8 第11回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 9 第12回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 10 第13回 Mother Nautre shows her strength/小テスト Week 11 第14回 Mother Nautre shows her strength 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 12 第17回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 13 第18回 A smelly surprise/小テスト Week 14 第19回 A smelly surprise/小テスト Week 15 第20回 復習/小テスト Week 16 第21回 Painting for pay/小テスト Week 17 第22回 Painting for pay/小テスト Week 18 第23回 Soccer on the rise/小テスト Week 19</p>										

	第24回 Soccer on the rise／小テスト Week 20 第25回 Overseas students teach art of origami／小テスト Week 21 第26回 Overseas students teach art of origami／小テスト Week 22 第27回 Rabbits for dinner／小テスト Week 23 第28回 Rabbits for dinner／小テスト Week 24 第29回 復習 第30回 後期試験
教科書	① News for Now 1 (Cengage) ② Basic Listening for the TOEIC Test (成美堂)
参考書・資料	辞書は絶対に持って来て下さい。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	<p>※授業開始時刻より10分が経過すると、欠席となります。 列車・バスの延着などで遅れた場合は、証明書を貰って来て下さい。</p> <p>※病気・怪我などで長期に欠席した場合は、診断書を持って来て下さい。</p> <p>※教科書は、少なくとも2回目の授業までには購入して、毎回持って来て下さい。忘れた場合は減点します。</p> <p>※授業は、座席指定制です。</p> <p>※授業中に気分が悪くなった場合などは、担当者に申し出て下さい。黙って教室を出入りすることは、慎んで下さい。</p> <p>※授業中の飲食・私語・携帯の使用・居眠りは禁止します。目に余る場合は、退室の上、欠席扱いとします。</p> <p>※ 授業内容などで分からないことがあれば、その場で質問して下さい。</p> <p>以上、時間に関してなど厳しいこともありますが、平常点重視なので、授業中に頑張れば大丈夫です。</p>
---------	--

授業コード	J0314		
授業科目名	基礎英語I (経済 14クラス)		
担当者名	吉田一穂(ヨシダ カズホ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary

	<ul style="list-style-type: none"> • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <p>定期試験の成績 60%</p> <p>レポート 20%</p> <p>口頭発表＋授業態度 20%</p> <p>(欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 授業の説明＋プリント教材)</p> <p>第 3回 Chapter 1 (Understanding the Text)</p> <p>第 4回 Chapter 1 (Reading Skill)</p> <p>第 5回 Chapter 2 (Understanding the Text)</p> <p>第 6回 Chapter 2 (Reading Skill)</p> <p>第 7回 Chapter 3 (Understanding the Text)</p> <p>第 8回 Chapter 3 (Reading Skill)</p> <p>第 9回 Chapter 4 (Understanding the Text)</p> <p>第10回 Chapter 4 (Reading Skill)</p> <p>第11回 Chapter 4 (Building Vocabulary)</p> <p>第12回 Chapter 5 (Understanding the Text)</p> <p>第13回 Chapter 5 (Reading Skill)</p> <p>第14回 Chapter 5 (Building Vocabulary)</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 プリント教材</p> <p>第17回 Chapter 6 (Understanding the Text)</p> <p>第18回 Chapter 6 (Reading Skill)</p> <p>第19回 Chapter 7 (Understanding the Text)</p> <p>第20回 Chapter 7 (Reading Skill)</p> <p>第21回 Chapter 8 (Understanding the Text)</p> <p>第22回 Chapter 8 (Reading Skill)</p> <p>第23回 Chapter 9 (Understanding the Text)</p> <p>第24回 Chapter 9 (Reading Skill)</p> <p>第25回 Chapter 10 (Understanding the Text)</p> <p>第26回 Chapter 10 (Reading Skill)</p> <p>第27回 Chapter 11 (Understanding the Text)</p> <p>第28回 Chapter 11 (Reading Skill)</p> <p>第29回 Chapter 11 (Building Vocabulary)</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	<p>Select Readings: Pre-Intermediate</p> <p>(著者)Linda Lee, Erik Gundersen</p> <p>(出版社)Oxford University Press</p>
参考書・資料	<p>特になし。</p>
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>英語に慣れるため、英語に接する機会を増やしましょう。</p>

授業コード	J0401		
授業科目名	基礎英語I (法 1クラス)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	1)テスト50%(2)Reading Log 30% (4)出席点10%、 (5)授業への参加10%(上記以外の宿題を含む)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Orientation Pre-Test 第3回 Unit 1 第4回 Unit 1 第5回 Spotlight 1 第6回 Quiz #1 Unit 2 第7回 Unit 2 第8回 Unit 3 第9回 Spotlight 2 第10回 Quiz #2 Reading Activity 第11回 Unit 4 第12回 Unit 4 第13回 Unit 5 第14回 Spotlight 2 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 6 第17回 Unit 6 第18回 Spotlight 5 第19回 Quiz #4 Unit 7 第20回 Unit 7 第21回 Unit 9 第22回 Unit 9

	第23回 Spotlight 6 第24回 Quiz #5 Reading Activity 第25回 Unit 10 第26回 Unit 10 第27回 Unit 11 第28回 Spotlight 7 第29回 Review 第30回 後期試験
教科書	Active Skills For Reading Book 3 2/E Neil J. Anderson, In The Spotlight Volume 2 H-J Henry & Melissa Billings
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Reading Logというアサイメントを通して、常日頃英語に慣れ親しむように望んでいます。読解力とスピードをアップできるように自ら進んでいろんな英語の書物にふれてください もう高校生ではありませんので、自分の意見や考えを発表するように努力してください。英語でディスカッションもします。積極的に参加するよう期待しています。1年間、いっしょに楽しく授業に参加しましょう！

授業コード	J0402		
授業科目名	基礎英語I (法 2クラス)		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 定期テストの成績 30% 小テストの成績 25% 課題及び口頭発表 30% 授業への参加態度 15% 無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。

講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Unit 1 / Chapter 1 第3回 Unit 1 / Chapter 2 第4回 Unit 2 / Chapter 1 第5回 Unit 2 / Chapter 2 第6回 Unit 3 / Chapter 1 第7回 Unit 3 / Chapter 2 第8回 Review 1 & Unit 4 / Chapter 1 第9回 Unit 4 / Chapter 2 第10回 Unit 5 / Chapter 1 第11回 Unit 5 / Chapter 2 第12回 Unit 6 / Chapter 1 第13回 Unit 6 / Chapter 2 第14回 Review 2 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 7 / Chapter 1 第17回 Unit 7 / Chapter 2 第18回 Unit 8 / Chapter 1 第19回 Unit 8 / Chapter 2 第20回 Unit 9 / Chapter 1 第21回 Unit 9 / Chapter 2 第22回 Review 3 第23回 Unit 10 / Chapter 1 第24回 Unit 10 / Chapter 2 第25回 Unit 11 / Chapter 1 第26回 Unit 11 / Chapter 2 第27回 Unit 12 / Chapter 1 第28回 Unit 12 / Chapter 2 第29回 Review 4 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading: Book 3 2/E (Cengage)
参考書・資料	英和辞典(できれば英英辞典も)必携。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0403		
授業科目名	基礎英語I (法 3クラス)		
担当者名	西山史子(ニシヤマ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast)

	<ul style="list-style-type: none"> • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	以下のような配分で、総合的に評価する。 定期試験の成績 40% 小テストの成績 20% 課題 20% 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Predicting 1 "Selling India's Rainy Season" 第3回 Scanning 1 "Avoiding Cultural Taboos" 第4回 Skimming for the Main Idea 1 "Fashionable Decisions" 第5回 Recognizing Sequence Markers "Tom Ford---Master Designer" 第6回 Identifying Meaning from Context 1 "Endangered Species" 第7回 Identifying Main Ideas within Paragraphs "Bring Back the Woolly Mammoth?" 第8回 Review 1: Fluency Strategy 1 第9回 Identifying Cause and Effect "What Does a Million Dollars Buy?" 第10回 Previewing 1 "Lottery Winners---Rich, but Happy?" 第11回 Skimming for the Main Idea 2 "Wedding Customs" 第12回 Predicting 2 "That Unique Japanese Holiday Called ... Christmas!" 第13回 Identifying Fact versus Theory "Mystery Tours" 第14回 Identifying Meaning from Context 2 "Is 'Spontaneous Human Combustion' Possible?" 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Fluency Strategy 2 第17回 Scanning 2 "Successful Dieting" 第18回 Predicting 3 "Survival at the South Pole" 第19回 Identifying Main and Supporting Ideas 1 "Human Adaptation to Space" 第20回 Making Inferences "Pioneers of Flight" 第21回 Recognizing Facts "Is an Only Child a Lonely Child?" 第22回 Previewing 2 "Changing Roles: Stay-at-Home Dads" 第23回 Review 2: Fluency Strategy 3 第24回 Arguing For and Against a Topic "Homeschooling---A Better Way to Learn?" 第25回 Identifying Meaning from Context 3 "Suggestopedia" 第26回 Skimming for the Main Idea 3 "How Good Is Your Memory?" 第27回 Scanning 3 "Words to Remember" 第28回 Skimming for Opinions and Attitudes "Zorro: A Review" 第29回 Identifying Main and Supporting Ideas 2 "From Comic Books to Graphic Novels" 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading: Book 3 (Neil J. Anderson, Cengage)
参考書・資料	授業中に紹介する。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	「英語を」読むのではなく、「英語で」読む。英語の文章を通して見えてくる、より広い世界を楽しみましょう。
---------	---

授業コード	J0404		
授業科目名	基礎英語I (法 4クラス)		
担当者名	山本路恵(ヤマモト ミチエ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.										
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary 										
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">定期試験の成績(前期・後期2回)</td> <td style="text-align: right;">60%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>(授業中の私語、いねむり、教科書忘れ等は厳しく減点する。) (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>			定期試験の成績(前期・後期2回)	60%	小テスト	20%	課題・レポート	10%	授業への参加態度	10%
定期試験の成績(前期・後期2回)	60%										
小テスト	20%										
課題・レポート	10%										
授業への参加態度	10%										
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日) 第 2回 Predicting を学習し、“Selling India's Rainy Season”を読む。 第 3回 Scanning を学習し、“Avoiding Cultural Taboos”を読む。 第 4回 Skimming for the Main Idea を学習し、“Fashionable Decisions”を読む。 第 5回 これまでの内容の復習・小テスト 第 6回 Recognizing Sequence Markers を学習し、“Tom Ford – Master Designer”を読む。 第 7回 Identifying Meaning from Context を学習し、“Endangered Species”を読む。 第 8回 Identifying Main Ideas within Paragraphsを学習し、“Bring Back the Woolly Mammoth?”を読む。 第 9回 Identifying Cause and Effect を学習し、“What Does a Million Dollars Buy?”を読む。 第10回 これまでの内容の復習・小テスト 第11回 Previewing を学習し、“Lottery Winners – Rich, but Happy?”を読む。 第12回 Skimming for the Main Idea を学習し、“Wedding Customs”を読む。 第13回 Predicting を学習し、“That Unique Japanese Holiday Called Christmas!”を読む。 第14回 これまでの内容の復習・小テスト 第15回 前期試験 (後期)										

	<p>第16回 Identifying Fact versus Theoryを学習し、“Mystery Tours Travel Brochure”を読む。</p> <p>第17回 Identifying Meaning from Context を学習し、“Is Spontaneous Human Combustion Possible”を読む。</p> <p>第18回 Scanning を学習し、“Successful Dieting”を読む。</p> <p>第19回 Predicting を学習し、“Survival at the South Pole”を読む。</p> <p>第20回 これまでの内容の復習・小テスト</p> <p>第21回 Identifying Main and Supporting Ideas を学習し、“Human Adaption to Space”を読む。</p> <p>第22回 Making Inferences を学習し、“Pioneers of Flight”を読む。</p> <p>第23回 Recognizing Facts を学習し、“Is an Only Child a Lonely Child?”を読む。</p> <p>第24回 Previewing を学習し、“Changing Roles: Stay-at-Home Dads”を読む。</p> <p>第25回 これまでの内容の復習・小テスト</p> <p>第26回 Arguing For and Against a Topic を学習し、“Homeschooling – A Better Way to Learn?”を読む。</p> <p>第27回 Identifying Meaning from Context を学習し、“Suggestopedia”を読む。</p> <p>第28回 Skimming for the Main Idea を学習し、“How Good Is Your Memory?”を読む。</p> <p>第29回 これまでの内容の復習・小テスト</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	“Active Skills for Reading, 2nd Edition, Student Book 3”
参考書・資料	文法の参考書(これまで使用してきた文法書を、必要に応じて各自で参照すること)
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	この教科書には、ファッション、医学、異文化、エコ問題、娯楽、芸術、スポーツなど私たちが興味を持つ身近な心温まる話題を、すばらしい英文で読み易く書き上げたエッセイが満載されています。読むことにより英語読解力が向上することはもちろん、知的好奇心がほど良く満たされると思います。楽しみながら英語の読解力を養いましょう。

授業コード	J0405		
授業科目名	基礎英語I (法 5クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>

準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席 10% レポート 20% 小テスト 20% 定期試験 30% 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験(2010年4月6日～12日) 第2回 Extensive Reading Introduction pp. 2～3 Guidelines for Learning Vocabulary pp.30～34 Previewing pp. 101～103 Reading Faster Unit 1 ex.1 第3回 New Vocabulary in Your Reading p. 4 Guidelines for Learning Vocabulary pp.35～37 Previewing pp. 104～107 Reading Faster Unit 1 ex.2 第4回 New Vocabulary in Your Reading p. 5 Guidelines for Learning Vocabulary pp.38～40 Previewing pp. 107～111 Reading Faster Unit 1 ex.3 第5回 New Vocabulary in Your Reading p. 6 Guidelines for Learning Vocabulary pp.41～43 Previewing pp. 112～116 Reading Faster Unit 1 ex.4 第6回 New Vocabulary in Your Reading p. 7 Learning New Words from Your Reading pp.44～46 Scanning pp. 117～121 Reading Faster Unit 1 ex.5 第7回 Fiction and Nonfiction p. 8 Learning New Words from Your Reading pp.47～48 Scanning pp. 122～125 Reading Faster Unit 1 ex.6 第8回 Fiction and Nonfiction p. 9～11 Learning New Words from Your Reading pp.48～49 Scanning pp. 126～127 Reading Faster Unit 1 ex.7 第9回 Fiction and Nonfiction p. 11～12 Guessing Meaning from Context pp.50～52 Scanning pp. 128～130 Reading Faster Unit 1 ex.8 第10回 Fiction and Nonfiction p. 12～15 Guessing Meaning from Context pp.53～56 Scanning pp. 131～134 Reading Faster Unit 1 ex.9 第11回 Fiction and Nonfiction p. 15 Guessing Meaning from Context pp.57 Making Inferences pp. 135～138 Reading Faster Unit 1 ex.10

- 第12回
 Fiction and Nonfiction p. 15
 Guessing Meaning from Context pp.58~60
 Making Inferences pp. 139~140
 Reading Faster Unit 2 ex.1
- 第13回
 Books pp. 16~19
 Word Parts pp.61~63
 Making Inferences pp. 141~142
 Reading Faster Unit 2 ex.2
- 第14回
 Books pp. 20~28
 Word Parts pp.64~66
 Making Inferences pp. 143~144
 Reading Faster Unit 2 ex.3
- 第15回
 後期試験
 (後期)
- 第16回
 Thinking in English pp. 205~206
 Word Parts pp.67~68
 Making Inferences pp. 145~150
 Reading Faster Unit 2 ex.4
- 第17回
 Thinking in English ex.1
 Word Parts pp.69
 Focusing on the Topic pp. 150~157
 Reading Faster Unit 2 ex.5
- 第18回
 Thinking in English ex.2
 How Words Are Used Together pp.70~73
 Focusing on the Topic pp. 158~161
 Reading Faster Unit 2 ex.6
- 第19回
 Thinking in English ex.3
 How Words Are Used Together pp.74~75
 Understanding Paragraphs pp. 162~167
 Reading Faster Unit 2 ex.7
- 第20回
 Thinking in English ex.4
 How Words Are Used Together pp.76~77
 Understanding Paragraphs pp. 167~170
 Reading Faster Unit 2 ex.8
- 第21回
 Thinking in English ex.5
 How Words Are Used Together pp.78~79
 Understanding Paragraphs pp. 170~175
 Reading Faster Unit 2 ex.9
- 第22回
 Thinking in English ex.6
 How Words Are Used Together pp.80~81
 Understanding Paragraphs pp. 176~179
 Reading Faster Unit 2 ex.10
- 第23回
 Thinking in English ex.7
 How Words Work in Sentences pp.82~84
 Understanding Paragraphs pp. 180~183
 Reading Faster Unit 3 ex.1
- 第24回
 Thinking in English ex.8
 How Words Work in Sentences pp.85~87
 Identifying the Pattern pp. 184~186
 Reading Faster Unit 3 ex.2

	<p>第25回 Thinking in English ex.9 How Words Work in Sentences pp.87～89 Identifying the Pattern pp. 187～189 Reading Faster Unit 3 ex.3</p> <p>第26回 Thinking in English ex.10 How Words Work in Sentences pp.90～92 Identifying the Pattern pp. 190～193 Reading Faster Unit 3 ex.4</p> <p>第27回 Thinking in English ex.11 How Words Work in Sentences pp.93～95 Identifying the Pattern pp. 193～196 Reading Faster Unit 3 ex.5&6</p> <p>第28回 Thinking in English ex.12 How Words Work in Sentences pp.96～97 Identifying the Pattern pp. 196～199 Reading Faster Unit 3 ex.7&8</p> <p>第29回 Thinking in English ex.13～15 Identifying the Pattern pp. 200～204 Reading Faster Unit 3 ex.9&10</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	<p>READING POWER 2</p> <p>著者:Linda Jeffries, Beatrice S. Mikulecky</p> <p>出版社: PEARSON/Longman</p>
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>毎日30分は何か英語で、特にPenguin Longman Level 2 等の本を読みましょう。継続は力なり。読み続けることにより読書力が身につきます。</p>

授業コード	J0406		
授業科目名	基礎英語I (法 6クラス)		
担当者名	川村みちよ(カワムラ ミチヨ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)

特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。								
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.								
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 								
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	評価の目安は以下のとおりです。平常点重視とします。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">小テスト</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業中の発表・提出物</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート(Book Review)</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> </table> <p>※欠席が全授業回数の3分の1を越えると、評価は「欠席」となります。</p>	小テスト	30%	授業中の発表・提出物	40%	課題・レポート(Book Review)	15%	期末試験	15%
小テスト	30%								
授業中の発表・提出物	40%								
課題・レポート(Book Review)	15%								
期末試験	15%								
講義構成	講義の構成は以下の通りですが、予定なので随時変更があります。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction(教科書説明など) 第 3回 Billionaires /小テスト Unit 1 第 4回 Billionaires & Andre Agassi /小テスト Unit 1 第 5回 Andre Agassi /小テスト Unit 2 第 6回 Video Jockeys /小テストUnit 2 第 7回 Video Jockeys & Coffee Culture /小テスト Unit 3 第 8回 Coffee Culture /小テスト Unit 3 第 9回 Around the World /小テスト Unit4 第10回 Around the World & Review 1-5/小テスト Unit 4 第11回 Review 1-5/小テスト Unit 5 第12回 The Puffer Fish /小テスト Unit 5 第13回 The Puffer Fish & Getting Married/小テスト Unit6 第14回 Getting Married/小テスト Unit6 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Say it with Flowers/小テスト Unit 7 第17回 Say it with Flowers & Bollywood/小テスト Unit 7 第18回 Bollywood/小テスト Unit 8 第19回 The Nobel Priize/小テスト Unit 8 第20回 The Nobel Priize & Review 6-10/小テスト Unit 9 第21回 Review 6-10/小テスト Unit 9 第22回 A Funny Care/小テスト Unit 10 第23回 A Funny Care & Palm Reading/小テスト Unit 10 第24回 Palm Reading & Amazing Memory/小テスト Unit 11 第25回 Amazing Memory/小テスト Unit 11 第26回 Incredible Dogs/小テスト Unit 12								

	第27回 Diamonds／小テスト Unit 12 第28回 Review 11-15／小テスト Unit 13 第29回 Review 11-15／小テスト Unit 13 第30回 後期試験
教科書	① Reading Advantage 2 (Cengage) ② My First TOEIC Test (朝日出版)
参考書・資料	辞書は絶対に持って来て下さい。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	<p>※授業開始時刻より10分が経過すると、欠席となります。 列車・バスの延着などで遅れた場合は、証明書を貰って来て下さい。</p> <p>※病気・怪我などで長期に欠席した場合は、診断書を持って来て下さい。</p> <p>※教科書は、少なくとも2回目の授業までには購入して、毎回持って来て下さい。忘れた場合は減点します。</p> <p>※授業は、座席指定制です。</p> <p>※授業中に気分が悪くなった場合などは、担当者に申し出て下さい。黙って教室を出入りすることは、慎んで下さい。</p> <p>※授業中の飲食・私語・携帯の使用・居眠りは禁止します。目に余る場合は、退室の上、欠席扱いとします。</p> <p>※ 授業内容などで分からないことがあれば、その場で質問して下さい。</p> <p>以上、時間に関してなど厳しいこともありますが、平常点重視なので、授業中に頑張れば大丈夫です。</p>
---------	--

授業コード	J0407		
授業科目名	基礎英語I (法 7クラス)		
担当者名	沖野泰子(オキノ ヤスコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary

講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下のとおり。 前期、後期とも 出席：30%(ボキャブラリークイズを含む) 課題：30%(Reading Logを毎週提出) 小テスト:20% 定期テスト:20% 前期と後期の平均点で最終評価が出ます。詳しくは、最初の授業で説明します。 (欠席が年間授業の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 オリエンテーション 第3回 Unit 1 第4回 Unit 2 第5回 Unit 3 第6回 Unit 4 小テスト 第7回 Unit 5 第8回 Review Unit 第9回 Unit 6 第10回 Unit 7 第11回 Unit 8 小テスト 第12回 Unit 9 第13回 Unit 10 第14回 Review Unit 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 11 第17回 Unit 12 第18回 Unit 13 第19回 Unit 14 第20回 Unit 15 小テスト 第21回 Review Unit 第22回 Unit 16 第23回 Unit 17 第24回 Unit 18 第25回 Unit 19 小テスト 第26回 Unit 20 第27回 Review Unit 第28回 Further Reading 第29回 Further Reading 第30回 後期試験
教科書	Casey Malarcher, Reading Advantage 2 (センゲージ・ラーニング)
参考書・資料	Reading Logの参考資料を開講時に詳しく説明します。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	大学受験で身につけた英語力をダウンさせてしまわないよう、少しずつでも何らかの形で英語に触れ続けてもらうことを意図してReading Logを課題にしています。英語学習のペースメーカーとして取り組んでもらいたと思います。例年最初はしんどいなあと感じる人がたくさんいるようですが、大丈夫！みんなそのうち生活のリズムにうまく取り込めるようになっていきます！

授業コード	J0408		
授業科目名	基礎英語I (法 8クラス)		
担当者名	井貫富美子(イヌキ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日 昼休み 12:30-12:50 3号館 2階 非常勤講師控室		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 30% 小テストの成績 20% 課題、レポート 20% 授業態度 30%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Part 1 Extensive Reading Unit 1, 2 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 3回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 4回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 5回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 6回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 7回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2 第 8回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2 第 9回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2 第10回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2 第11回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 2 第12回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 3

	第13回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第14回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第15回 前期試験 (後期)
	第16回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第17回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第18回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第19回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第20回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第21回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第22回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 3
	第23回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2
	第24回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3
	第25回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3
	第26回 Part 2 Vocabulary Building Unit 4
	第27回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5
	第28回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5
	第29回 Part 2 Vocabulary Building Unit 6
	第30回 後期試験
教科書	Reading Power Fourth Edition
参考書・資料	英語の辞書を持参すること
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	内容がわからない時にはいつでも気軽に質問してください。

授業コード	J0409		
授業科目名	基礎英語I (法 9クラス)		
担当者名	吉田 桂子(ヨシダ ケイコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will:

	<ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 30% 小テストの成績 20% 課題・レポート 20% 授業への参加 30%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Exam Time 第 3回 第 4回 Going Abroad 第 5回 第 6回 Movie Makers 第 7回 第 8回 Review 1 第 9回 第10回 The Amazing Human Body 第11回 第12回 Review 2 第13回 第14回 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Career Paths 第17回 第18回 Review 3 第19回 第20回 The Secrets of Advertising 第21回 第22回 Eating for Health 第23回 第24回 Saving the Environment 第25回 第26回 Review 4 第27回 第28回 Other Reading Skills 第29回 第30回 後期試験
教科書	ACTIVE Skills for Reading: Book 2 Neil J. Anderson THOMSON ISBN 13:978-1-4240-0208-5
参考書・資料	Reading Power Linda Jeffries & Beatrice S. Mikulecky Pearson Longman
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエ

	ティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎回学ぶ内容が異なるので、必ず出席すること

授業コード	J0410		
授業科目名	基礎英語I (法 10クラス)		
担当者名	坂本晴美(サカモト ハルミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	レポート課題20%、小テスト20%、講義時間中の課題40%、定期テスト20%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction Pre-Test 第 3回 Extensive Reading Vocabulary Building 第 4回 Comprehension Skills Reading Faster 第 5回 Extensive Reading Vocabulary Building 第 6回 Comprehension Skills Reading Faster 第 7回 Extensive Reading Vocabulary Building 第 8回 Comprehension Skills

Reading Faster

第 9回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第10回 Comprehension Skills
Reading Faster

第11回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第12回 Comprehension Skills
Reading Faster

第13回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第14回 Comprehension Skills
Reading Faster

第15回 前期試験

(後期)

第16回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第17回 Comprehension Skills
Reading Faster

第18回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第19回 Comprehension Skills
Reading Faster

第20回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第21回 Comprehension Skills
Reading Faster

第22回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第23回 Comprehension Skills
Reading Faster

第24回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第25回 Comprehension Skills
Reading Faster

第26回 Extensive Reading
Vocabulary Building

第27回 Comprehension Skills
Reading Faster

第28回 Extensive Reading
Vocabulary Building

	第29回 Comprehension Skills Reading Faster 第30回 後期試験
教科書	READING POWER 2 PEARSON LONGMAN by Linda Jerrries etc
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	出席は不可欠です。必ず70%以上は出席してください。 自分の出席率、テストの点数などは自分で管理してください。「何回休みましたか?」「今までの合計点は何点ですか」などの質問には答えられません。

授業コード	J0411		
授業科目名	基礎英語I (法 11クラス)		
担当者名	山本路恵(ヤマモト ミチエ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.		
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 		
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	定期試験の成績(前期・後期2回)	60%	
	小テスト	20%	
	課題・レポート	10%	
	授業への参加態度	10%	
	(授業中の私語、いねむり、教科書忘れ等は厳しく減点する。) (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)		
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 クラス編成のために各自自主学习(2010年4月6日から12日) 第 2回 Identifying Main and Supporting Ideas を学習し、“Oh, No, Not Another Test!” を読む。 第 3回 Understanding Cause and Effect を学習し、“For Better Grades – Use Your Brain!” を読む 第 4回 これまでの内容の復習・小テスト		

	<p>第 5回 Scanning を学習し、“Safe Travel” を読む。 第 6回 Scanning for Details を学習し、“A Trip to Vietnam” を読む。 第 7回 Using Titles to Understand Main Ideas を学習し、“Moviemaking Behind the Scece”読む 第 8回 これまでの内容の復習・小テスト 第 9回 Recognizing Sequence of Events を学習し、“Great Film Directors: Ang Lee” を読む。 第10回 Scanning を学習し、“Sports History” を読む。 第11回 Predicting を学習し、“Yao Ming” を読む。 第12回 これまでの内容の復習・小テスト 第13回 Skimming for the Main Idea を学習し、“You Are Amazing” を読む。 第14回 Predicting を学習し、“Beyond the Body’s Limits” を読む。 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Finding Definitions を学習し、“Scrapbooking” を読む。 第17回 Identifying Main Ideas を学習し、“Work Hard, Play Hard?” を読む。 第18回 Predicting を学習し、“Where’s That Music Coming From?” を読む。 第19回 これまでの内容の復習・小テスト 第20回 Scanning を学習し、“The Hot World of Salsa!” を読む。 第21回 Identifying Main Ideas を学習し、“Be Your Own Boss” を読む。 第22回 Skimming for General Ideas を学習し、“The Right Job for Your Personality” を読む。 第23回 Skimming to Assess a Passage を学習し、“The History of Chocolate” を読む。 第24回 Understanding Main Ideas を学習し、“Addicted to Chocolate” を読む。 第25回 これまでの内容の復習・小テスト 第26回 Skimming for the Main Idea を学習し、“Ads Are Everywhere!” を読む。 第27回 Distinguishing Between Main & Supporting Ideas を学習し、“How Advertising Uses Psychology” を読む。 第28回 Maiking Inferences を学習し、“Breakfast Like a King?” を読む。 第29回 Understanding Cause and Effect” を学習し、“Is your Diet Destroying the Environment?” を読む。 第30回 後期試験</p>
教科書	“Active Skills for Reading, 2nd Edition, Student Book 2”
参考書・資料	文法の参考書(これまで使用してきた文法書を、必要に応じて各自で参照すること)
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	難しい構文は詳しく説明します。英語が苦手な人も、また得意な人も、授業を重ねるごとに、また努力すればするだけ、英文が楽に読めるようになります。教科書には、ファッション、医学、異文化、エコ問題、娯楽、芸術、スポーツなど、私たちが興味を持つ身近で楽しい話題を読み易い英文で書いたエッセイが満載されています。読むことで英語読解力が向上することはもちろん、知的好奇心がほど良く満たされることでしょう。楽しみながら英語を学習しましょう。

授業コード	J0412		
授業科目名	基礎英語I (法 12クラス)		
担当者名	川村みちよ(カワムラ ミチヨ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays

	<ul style="list-style-type: none"> • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary 								
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<p>評価の目安は以下のとおりです。平常点重視とします。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">小テスト</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業中の発表・提出物</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート(Book Review)</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> </table> <p>※欠席が全授業回数の3分の1を越えると、評価は「欠席」となります。</p>	小テスト	30%	授業中の発表・提出物	40%	課題・レポート(Book Review)	15%	期末試験	15%
小テスト	30%								
授業中の発表・提出物	40%								
課題・レポート(Book Review)	15%								
期末試験	15%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、予定なので随時変更があります。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction(教科書説明など) 第 3回 Up, up, up and away /小テスト Week 1 第 4回 Up, up, up and away /小テスト Week 2 第 5回 Diamond ring found by child/小テスト Week 3 第 6回 Diamond ring found by child/小テスト Week 4 第 7回 Snake on the loose/小テスト Week 5 第 8回 Snake on the loose/小テスト Week 6 第 9回 Building a bridge between generations/小テスト Week 7 第10回 Building a bridge between generations/小テスト Week 8 第11回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 9 第12回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 10 第13回 Mother Nautre shows her strength/小テスト Week 11 第14回 Mother Nautre shows her strength 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 12 第17回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 13 第18回 A smelly surprise/小テスト Week 14 第19回 A smelly surprise/小テスト Week 15 第20回 復習/小テスト Week 16 第21回 Painting for pay/小テスト Week 17 第22回 Painting for pay/小テスト Week 18 第23回 Soccer on the rise/小テスト Week 19 第24回 Soccer on the rise/小テスト Week 20 第25回 Overseas students teach art of origami/小テスト Week 21 第26回 Overseas students teach art of origami/小テスト Week 22 第27回 Rabbits for dinner/小テスト Week 23 第28回 Rabbits for dinner/小テスト Week 24 第29回 復習 第30回 後期試験</p>								
教科書	<p>① News for Now 1 (Cengage)</p> <p>② Basic Listening for the TOEIC Test (成美堂)</p>								
参考書・資料	辞書は絶対に持って来て下さい。								
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期に								

	もCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	<p>※授業開始時刻より10分が経過すると、欠席となります。 列車・バスの延着などで遅れた場合は、証明書を貰って来て下さい。</p> <p>※病気・怪我などで長期に欠席した場合は、診断書を持って来て下さい。</p> <p>※教科書は、少なくとも2回目の授業までには購入して、毎回持って来て下さい。忘れた場合は減点します。</p> <p>※授業は、座席指定制です。</p> <p>※授業中に気分が悪くなった場合などは、担当者に申し出て下さい。黙って教室を出入りすることは、慎んで下さい。</p> <p>※授業中の飲食・私語・携帯の使用・居眠りは禁止します。目に余る場合は、退室の上、欠席扱いとします。</p> <p>※ 授業内容などで分からないことがあれば、その場で質問して下さい。</p> <p>以上、時間に関してなど厳しいこともありますが、平常点重視なので、授業中に頑張れば大丈夫です。</p>

授業コード	J0413		
授業科目名	基礎英語I (法 13クラス)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席・受講態度・課題の消化:50%</p> <p>小テスト・レポートおよび期末試験の得点:50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p>

	第 2回 テキスト 第 3回 テキスト 第 4回 テキスト 第 5回 テキスト 読書課題 第 6回 テキスト 第 7回 テキスト 第 8回 テキスト 第 9回 テキスト 第10回 テキスト 読書課題 第11回 テキスト 第12回 テキスト 第13回 テキスト 第14回 テキスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 テキスト 第17回 テキスト 第18回 テキスト 第19回 テキスト 読書課題 第20回 テキスト 第21回 テキスト 第22回 テキスト 第23回 テキスト 第24回 テキスト 読書課題 第25回 テキスト 第26回 テキスト 第27回 テキスト 第28回 テキスト 第29回 テキスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Advantage 2 (Cengage)
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0414		
授業科目名	基礎英語I(法 14クラス)		
担当者名	甲把 昭(ガツパ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand

	unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	テスト 30パーセント 出席 25パーセント 小テスト 15パーセント 読書課題 20パーセント 課題 10パーセント
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Previewing 第 4回 Previewing 第 5回 Scanning 第 6回 小テスト 第 7回 Scanning 第 8回 Making Inferences 第 9回 Making Inferences 第10回 小テスト 第11回 Making Inferences 第12回 Guessing Meaning from the Context 第13回 Guessing Meaning from the Context 第14回 Review for the Test 速読テスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Introduction II 第17回 Focusing on the Topic 第18回 Focusing on the Topic 第19回 Understanding Paragraphs 第20回 小テスト 第21回 Understanding Paragraphs 第22回 Identifying the Pattern 第23回 Identifying the Pattern 第24回 小テスト 第25回 Video 第26回 Identifying the Pattern 第27回 Word Parts 第28回 How words work in sentences 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Power 2 fourth Edition
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	一年間頑張って英語に触れていきましょう。
その他	上記の講義構成は予定であり、変更の場合には指示をする。

授業コード	J0415
-------	-------

授業科目名	基礎英語I (法 15クラス)		
担当者名	吉田一穂(ヨシダ カズホ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 定期試験の成績 60% レポート 20% 口頭発表・授業態度 20% (欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 授業の説明+プリント教材 第 3回 Chapter 1(Understanding the Text) 第 4回 Chapter1 (Reading Skill) 第 5回 Chapter 2 (Understanding the Text) 第 6回 Chapter 2 (Reading Skill) 第 7回 Chapter 3 (Understanding the Text) 第 8回 Chapter 3 (Reading Skill) 第 9回 Chapter 4 (Understanding the Text) 第10回 Chapter 4 (Reading Skill) 第11回 Chapter 4 (Building Vocabulary) 第12回 Chapter 5 (Understanding the Text) 第13回 Chapter 5 (Reading Skill) 第14回 Chapter 5 (Building Vocabulary) 第15回 前期試験 (後期) 第16回 プリント教材 第17回 Chapter 6 (Understanding the Text) 第18回 Chapter 6 (Reading Skill) 第19回 Chapter 7 (Understanding the Text) 第20回 Chapter 7 (Reading Skill) 第21回 Chapter 8 (Understanding the Text)

	第22回 Chapter 8 (Reading Skill) 第23回 Chapter 9 (Understanding the Text) 第24回 Chapter 9 (Reading Skill) 第25回 Chapter 10 (Understanding the Text) 第26回 Chapter 10 (Reading Skill) 第27回 Chapter 11 (Understanding the Text) 第28回 Chapter 11 (Reading Skill) 第29回 Chapter 11 (Building Vocabulary) 第30回 後期試験
教科書	Select Readings: Pre-Intermediate (著者)Linda Lee, Erik Gundersen (出版社)Oxford University Press
参考書・資料	特になし。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語に慣れるため、英語に接する機会を増やしましょう。

授業コード	J0501		
授業科目名	基礎英語I (経営 1クラス)		
担当者名	鷺尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30-17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	レポート、小テストの成績、講義時間中の課題への対応等で、総合的に評価する。また、出席や授業態度を重視する。 出席・講義への取り組み姿勢 20% Homework・Summary Reports etc. 20% Reading Pleasure Reports 20% 前・後期試験 40%

講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Chapter 1 A Long Walk Home [Using context]</p> <p>第 3回 Chapter 1 A Long Walk Home</p> <p>第 4回 Chapter 1 A Long Walk Home // Chapter 2 Student Learning Teams [Skimming]</p> <p>第 5回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (1) // Chapter 2 Student Learning Teams</p> <p>第 6回 Chapter 2 Student Learning Teams // Chapter 3 Culture Shock [Topic vs. Main idea]</p> <p>第 7回 Chapter 3 Culture Shock// Summary Report (1)</p> <p>第 8回 Turing in your Reading Pleasure Report (1) // Chapter 3 Culture Shock</p> <p>第 9回 Chapter 4 A Young Blind Whiz [Inferencing]</p> <p>第10回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (2) // Chapter 4 A Young Blind Whiz</p> <p>第11回 Chapter 5 Pop Group's Use of Folk Song Stirrs Debate [Scanning] //Summary Report(2)</p> <p>第12回 Chapter 5 Pop Group's Use of Folk Song Stirrs Debate</p> <p>第13回 Turning in your Reading Pleasure Report (2) //Chapter 6 How to Make a Speech [Using headings]</p> <p>第14回 Chapter 6 How to Make a Speech</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Chapter 7 Private Lives [Supporting main ideas]</p> <p>第17回 Chapter 7 Private Lives</p> <p>第18回 Chapter 7 Private Lives // Summary Report (3)</p> <p>第19回 Chapter 9 Letters of Application [Reading instructional materials]</p> <p>第20回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (3) // Chapter 9 Letters of Application</p> <p>第21回 Chapter 9 Letters of Application</p> <p>第22回 Chapter 10 Out To Lunch [Finding details]</p> <p>第23回 Turing in your Reading Pleasure Report (3) // Chapter 10 Out To Lunch</p> <p>第24回 Chapter 10 Out To Lunch</p> <p>第25回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (4) // Chapter 10 Out To Lunch</p> <p>第26回 Chapter 11 Public Attitudes Toward Science [Main ideas] // Summary Report (4)</p> <p>第27回 Chapter 11 Public Attitudes Toward Science</p> <p>第28回 Chapter 12 John's Taiwanese Wedding [Inferencing]</p> <p>第29回 Chapter 12 John's Taiwanese Wedding</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Select Readings Intermediate Oxford UP
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

その他	<p>* 欠席とみなされる行為</p> <ol style="list-style-type: none"> 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 講義中の居眠り 私語等による講義への不参加 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を讀んだりすること <p>* 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。</p> <p>* 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。</p> <p>* 講義中、携帯電話の電源は必ず切って下さい。</p>
-----	--

授業コード	J0502		
授業科目名	基礎英語I(経営 2クラス)		
担当者名	野谷啓二(ノタニ ケイジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>小テストの成績 30% 読書レポート 20% 授業への参加度 20% 定期試験の成績 30%</p> <p>なお、欠席回数が年間授業時間数の3分の1を超える場合、最終成績評価は「欠席」となります。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 座席指定 インTRODクシヨン Chapter 1 第 3回 Ch. 1続き Using Context 第 4回 Ch. 2 Skimming 小テスト 第 5回 Ch. 2 Post-reading Activities 第 6回 Ch. 2 Vacabulary Building 小テスト 第 7回 Ch. 3 Topic vs Main Idea 第 8回 Ch. 3 Post-reading Activities 小テスト 第 9回 Ch. 3 Vacabulary Building Pleasure Reading 第10回 Ch. 4 Inferencing 第11回 Ch. 4 Post-reading Activities 小テスト 第12回 Ch. 4 Vacabulary Building 第13回 Ch. 5 Scanning Pleasure Reading 第14回 Ch. 5 Post-reading Activities 小テスト 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Ch. 6 Paying Attention to Headings 第17回 Ch. 6 Post-reading Activities 小テスト 第18回 Ch. 7 Supporting Main Ideas 第19回 Ch. 7 Post-reading Activities 小テスト 第20回 Ch. 8 Using Context 第21回 Ch. 8 Post-reading Activities 小テスト 第22回 Ch. 9 Reading Instructional Materials Pleasure Reading 第23回 Ch. 9 Post-reading Activities 小テスト 第24回 Ch. 10 Supporting Details 第25回 Ch. 10 Post-reading Activities 小テスト 第26回 Ch. 11 Finding Main Ideas Pleasure Reading 第27回 Ch. 11 Post-reading Activities 小テスト 第28回 Ch. 12 Inferencing 第29回 Ch. 12 Post-reading Activities 小テスト 第30回 後期試験</p>

教科書	Linda Lee, et. al., Select Readings Intermediate (Oxford University Press)
参考書・資料	辞書を使う際には、Longman Dictionary of Contemporary Englishなど英語を母語としない人のために作られた英英辞典を使用するようにするといいいでしょう。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	とにかく英語にできるだけ触れるようにしましょう。言語活動を活発に。日本語で読まない人は英語も読みません。ですから日本語でも本を読みましょう。いや、本だけではありません。ネットの時代ですから、無料で優良なニュースを提供しているサイトを訪問するのも英語学習の面だけではなく、大変役立ちます。オススメはイギリスのBBCのホームページです。毎日一回は訪問してみてください。

授業コード	J0503		
授業科目名	基礎英語I (経営 3クラス)		
担当者名	藤岡千伊奈(フジオカ チイナ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	1. 出席 20% 2. 授業参加度と授業態度 20% 3. 小テスト 20% 4. 宿題 20% 5. ブック・レポート 20% 「欠席」評価:総合的に見て、学生が履修を放棄したと見なす場合
講義構成	講義の構成(予定)は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 厳選したユニットを学習する。教科書の目次順に進行しないので注意すること。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Unit 14 第 4回 Unit 14

	第 5回 Unit 4 第 6回 Unit 4 第 7回 Unit 7 第 8回 Unit 7 第 9回 Unit 9 第10回 Unit 9 第11回 Unit 12 第12回 Unit 12 第13回 Unit 8 第14回 Unit 8 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 6 第17回 Unit 6 第18回 Unit 15 第19回 Unit 15 第20回 Unit 10 第21回 Unit 10 第22回 Unit 13 第23回 Unit 13 第24回 Unit 1 第25回 Unit 1 第26回 Unit 2 第27回 Unit 2 第28回 Unit 11 第29回 Unit 11 第30回 後期試験
教科書	Reading Advantage 3 2nd edition
参考書・資料	辞書(電子辞書可)は毎回持参すること。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Feel free to ask me any questions about this class.

授業コード	J0504		
授業科目名	基礎英語I(経営 4クラス)		
担当者名	白木智士(シラキ サトシ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary

	<ul style="list-style-type: none"> ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 30% 授業内発表 20% 課題・レポート 15% 出席数 20% 授業への参加態度 15%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回CASEC受験 第2回 授業の説明 & Preface 第3回 Unit 1 第4回Unit 2 第5回Unit 3 第6回Unit 4 第7回Unit 5 第8回Review 1-5 第9回Unit 6 第10回Unit 7 第11回Unit 8 第12回Unit 9 第13回Unit 10 第14回前期まとめ 第15回 前期試験 (後期) 第16回Review 6-10 第17回Unit 11 第18回Unit 12 第19回Unit 13 第20回Unit 14 第21回Unit 15 第22回Review 11-15 第23回Unit 16 第24回Unit 17 第25回Unit 18 第26回Unit 19 第27回Unit 20 第28回Review 16-20 第29回一年のまとめ
教科書	"Reading Advantage 3" Cengage Learning
参考書・資料	英和辞書を必ず携帯して出席してください。できれば英々辞書も携帯してください。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0505		
授業科目名	基礎英語I(経営 5クラス)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	2

開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.		
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 		
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	(1)テスト50%(2)Reading Log & Report 30% (4)出席点10%、 (5)授業への参加10%(上記以外の宿題を含む)		
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Orientation Pre-Test 第3回 Unit 1 第4回 Unit 1 第5回 Spotlight 1 第6回 Quiz #1 Unit 2 第7回 Unit 3 第8回 Unit 3 第9回 Spotlight 2 第10回 Quiz #2 Reading Activity 第11回 Unit 4 第12回 Unit 5 第13回 Unit 6 第14回 Spotlight 4 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 7 第17回 Unit 7 第18回 Spotlight 5 第19回 Quiz #4 Unit 8 第20回 Unit 8 第21回 Unit 9 第22回 Unit 9 第23回 Spotlight 6 第24回 Quiz #5 Reading Activity 第25回 Unit 10 第26回 Unit 11 第27回 Unit 12 第28回 Spotlight 7 第29回 Review 第30回 後期試験		

教科書	Active Skills For Reading Book 2 2/E Neil J. Anderson, In The Spotlight Levels H-J (Volume 2) Henry & Melissa Billings
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Reading Logというアサイメントを通して、常日頃英語に慣れ親しむように望んでいます。読解力とスピードをアップできるように自ら進んでいろんな英語の書物にふれてください もう高校生ではありませんので、自分の意見や考えを発表するように努力してください。英語でディスカッションもします。積極的に参加するよう期待しています。1年間、いっしょに楽しく授業に参加しましょう！

授業コード	J0506		
授業科目名	基礎英語I(経営 6クラス)		
担当者名	井貫富美子(イヌキ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日 昼休み 12:30-12:50 3号館 2階 非常勤講師控室		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.		
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 		
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	定期試験の成績	30%	
	小テストの成績	20%	
	課題、レポート	20%	
	授業態度	30%	
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Part 1 Extensive Reading Unit 1, 2 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 3回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 4回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1		

	第 5回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4Reading Faster Unit 1 第 6回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 7回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4Reading Faster Unit 2 第 8回 Part 3 Comprehenson Skills Unit 2 Part 4Reading Faster Unit 2 第 9回 Part 3 Comprehension Skills Unit3 Part 4Reading Faster Unit 2 第10回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2 第11回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 2 第12回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 3 第13回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3 第14回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3 第17回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3 第18回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3 第19回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3 第20回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3 第21回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3 第22回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 3 第23回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 第24回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第25回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第26回 Part 2 Vocabulary Building Unit 4 第27回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第28回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第29回 Part 2 Vocabulary Building Unit 6 第30回 後期試験
教科書	Reading Power Fourth Edition
参考書・資料	英語の辞書を持参すること。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	内容がわからない時は質問してください。

授業コード	J0507
-------	-------

授業科目名	基礎英語I (経営 7クラス)										
担当者名	上藤礼子(ウエフジ レイコ)										
配当年次	1年次	単位数	2								
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)								
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。										
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.										
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 										
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">定期試験の成績</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績および口頭発表</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> (無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)			定期試験の成績	40%	小テストの成績および口頭発表	20%	課題・レポート	20%	授業への参加態度	20%
定期試験の成績	40%										
小テストの成績および口頭発表	20%										
課題・レポート	20%										
授業への参加態度	20%										
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態等により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 ガイダンスとイントロダクション 第 3回 Chapter 1 第 4回 Chapter 1 第 5回 Chapter 2 第 6回 Chapter 2 第 7回 Chapter 3 第 8回 Chapter 3 第 9回 Chapter 4 第10回 Chapter 4 第11回 Chapter 5 第12回 Chapter 5 第13回 Chapter 6 第14回 Chapter 6 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Chapter 7 第17回 Chapter 7 第18回 Chapter 8 第19回 Chapter 8 第20回 Chapter 9 第21回 Chapter 9 第22回 Chapter 10 第23回 Chapter 10										

	第24回 Chapter 11 第25回 Chapter 11 第26回 Chapter 12 第27回 Chapter 12 第28回 Chapter 13 第29回 Chapter 13 第30回 後期試験
教科書	Select Readings Intermediate
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	授業への積極的な参加(発言・発表を含む)を歓迎します。ただし、テキストを持参しないということは積極参加の意思がないものと判断します。なお、授業中の携帯電話の使用は、たとえ辞書としての使用であっても、禁止します。

授業コード	J0508		
授業科目名	基礎英語I (経営 8クラス)		
担当者名	鷺尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30～17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	レポート、小テストの成績、講義時間中の課題への対応等で、総合的に評価する。また、出席や授業態度を重視する。 出席・講義への取り組み姿勢 20%Homework・Summary Reports etc. 20% Reading Pleasure Reports 20%前・後期試験 40%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 Exam Time Chapter 1 [Identifying Main and Supporting Ideas] 第 3回 Unit 1 Chapter 1 & 2 [Understanding Cause and Effect]

	<p>第 4回 Unit 1 Chapter 2</p> <p>第 5回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (1) // Unit 2 Going Abroad Chapter 1 [Scanning]</p> <p>第 6回 Unit 2 Chapter 1 & 2 [Scanning for Details]</p> <p>第 7回 Unit 2 Chapter 2 & Unit 3 Movie Makers Chapter 1 [Using Titles to Understand Main Ideas] // Summary Report (1)</p> <p>第 8回 Turning in your Reading Pleasure Report (1) // Unit 3 Chapter 1 & 2 [Recognizing Sequence of Events]</p> <p>第 9回 Unit 3 Chapter 2</p> <p>第10回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (2) // Review Unit 1 Are Human Beings Getting Smarter? [Fluency Strategy; PRO]</p> <p>第11回 Review Reading 1 Fair Trade Chocolate [Fluency Practice] // Summary Report (2)</p> <p>第12回 Review Reading 2 A Different Kind of Spring Break & Unit 4 Sports Heroes Chapter 1 [Scanning]</p> <p>第13回 Turing in your Reading Pleasure Report (2) // Unit 4 Chapter 1& 2 [Predicting]</p> <p>第14回 Unit 4 Chapter 2</p> <p>第15回 前期試験 (後期)</p> <p>第16回 Unit 5 The Amazing Human Body Chapter 1[Skimming for the Main Idea]</p> <p>第17回 Unit 5 Chapter 2 [Predicting Vocabulary]</p> <p>第18回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (3) // Unit 6 Leisure and hobbies Chapter 1 [Finding Definitions]</p> <p>第19回 Unit 6 Chapter 1 & 2 [Identifying Main Ideas within Paragraphs] // Summary Report (3)</p> <p>第20回 Unit 6 Chapter 2</p> <p>第21回 Turning in your Reading Pleasure Report (3) // Review Unit 2 Movies for the Blind? [Fluency Strategy: PQR+E]</p> <p>第22回 Review Reading 3 Meet Freddy Adu, Soccer Sensation & 4 Combining New and Old Medicine [Fluency Practice]</p> <p>第23回 Choosing a book for your Reading Pleasure Report (4) // Review Reading 4 & Unit 7 A World of Music Chapter 1 [Predicting]</p> <p>第24回 Unit 7 Chapter 1 & 2 [Scanning] // Summary Report (4)</p> <p>第25回 Unit 7 Chapter 2 & Unit 8 Career Paths [Identifying Main Ideas within paragraphs] Chapter 1</p> <p>第26回 Turning in your Reading Pleasure Report (4) // Unit 8 Chapter 1 & 2 [Skimming for General Ideas]</p> <p>第27回 Unit 8 Chapter 2</p> <p>第28回 Unit 9 The Story of Chocolate Chapter 1 [Skimming to Assess a Passage]</p> <p>第29回 Unit 9 Chapter 2 [Understanding Main Ideas within Paragraphs]</p> <p>第30回 後期試験</p>
--	--

教科書	Active Skills for Reading Book 2: 2nd edition Cengage(Thomson)
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

その他	<p>欠席とみなされる行為</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を読んだりすること <p>小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。講義中、携帯電話の電源は必ず切して下さい。</p>
-----	--

授業コード	J0509		
授業科目名	基礎英語I(経営 9クラス)		
担当者名	吉田桂子(ヨシダ ケイコ)		
配当年次	1年次	単位数	2

開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 		
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	<p>定期試験の成績 30%</p> <p>小テストの成績 20%</p> <p>課題・レポート 20%</p> <p>授業への参加 30%</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Exam Time</p> <p>第 3回</p> <p>第 4回 Going Abroad</p> <p>第 5回</p> <p>第 6回 Movie Makers</p> <p>第 7回</p> <p>第 8回 Review 1</p> <p>第 9回</p> <p>第10回 The Amazing Human Body</p> <p>第11回</p> <p>第12回 Review 2</p> <p>第13回</p> <p>第14回</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Career Paths</p> <p>第17回</p> <p>第18回 Review 3</p> <p>第19回</p> <p>第20回 The Secrets of Advertising</p> <p>第21回</p> <p>第22回 Eating for Health</p> <p>第23回</p> <p>第24回 Saving the Environment</p> <p>第25回</p> <p>第26回 Review 4</p> <p>第27回</p> <p>第28回 Other Reading Skills</p> <p>第29回</p>		

	第30回 後期試験
教科書	ACTIVE Skills for Reading: Book 2 Neil J. Anderson THOMSON ISBN 13:978-1-4240-0208-5
参考書・資料	Reading Power Linda Jeffries & Beatrice S. Mikulecky Pearson Longman
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎回学ぶ内容が異なるので、必ず出席すること

授業コード	J0510		
授業科目名	基礎英語I (経営 10クラス)		
担当者名	甲把 昭(ガツパ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	テスト 30パーセント 出席 25パーセント 小テスト 15パーセント 読書課題 20パーセント 課題 10パーセント
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Previewing 第 4回 Previewing 第 5回 Scanning

	第 6回 小テスト 第 7回 Scanning 第 8回 Makng Inferences 第 9回 Making Inferences 第10回 小テスト 第11回 Making Inferences 第12回 Guessing Meaning from the Context 第13回 Guessing Meaning from the Context 第14回 Review for the Test 速読テスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Introduction II 第17回 Focusing on the Topic 第18回 Focusing on the Topic 第19回 Understanding Paragraphs 第20回 小テスト 第21回 Understanding Paragraphs 第22回 Identifying the Pattern 第23回 Identifying the Pattern 第24回 小テスト 第25回 Video 第26回 Identifying the Pattern 第27回 Word Parts 第28回 How words work in sentences 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Power 2 fourth Edition
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	一年間頑張って英語に触れていきましょう。
その他	上記の講義構成は予定であり、変更の場合には指示をする。

授業コード	J0511		
授業科目名	基礎英語I(経営 11クラス)		
担当者名	川村みちよ(カワムラ ミチヨ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English

	<ul style="list-style-type: none"> • improve reading speed • increase vocabulary 								
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>								
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>								
成績評価	<p>評価の目安は以下のとおりです。平常点重視とします。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">小テスト</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業中の発表・提出物</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート(Book Review)</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> </table> <p>※欠席が全授業回数の3分の1を越えると、評価は「欠席」となります。</p>	小テスト	30%	授業中の発表・提出物	40%	課題・レポート(Book Review)	15%	期末試験	15%
小テスト	30%								
授業中の発表・提出物	40%								
課題・レポート(Book Review)	15%								
期末試験	15%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、予定なので随時変更があります。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Introduction(教科書説明など)</p> <p>第 3回 Up, up, up and away /小テスト Week 1</p> <p>第 4回 Up, up, up and away /小テスト Week 2</p> <p>第 5回 Diamond ring found by child/小テスト Week 3</p> <p>第 6回 Diamond ring found by child/小テスト Week 4</p> <p>第 7回 Snake on the loose/小テスト Week 5</p> <p>第 8回 Snake on the loose/小テスト Week 6</p> <p>第 9回 Building a bridge between generations/小テスト Week 7</p> <p>第10回 Building a bridge between generations/小テスト Week 8</p> <p>第11回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 9</p> <p>第12回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 10</p> <p>第13回 Mother Nautre shows her strength/小テスト Week 11</p> <p>第14回 Mother Nautre shows her strength</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 12</p> <p>第17回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 13</p> <p>第18回 A smelly surprise/小テスト Week 14</p> <p>第19回 A smelly surprise/小テスト Week 15</p> <p>第20回 復習/小テスト Week 16</p> <p>第21回 Painting for pay/小テスト Week 17</p> <p>第22回 Painting for pay/小テスト Week 18</p> <p>第23回 Soccer on the rise/小テスト Week 19</p> <p>第24回 Soccer on the rise/小テスト Week 20</p> <p>第25回 Overseas students teach art of origami/小テスト Week 21</p> <p>第26回 Overseas students teach art of origami/小テスト Week 22</p> <p>第27回 Rabbits for dinner/小テスト Week 23</p> <p>第28回 Rabbits for dinner/小テスト Week 24</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回 後期試験</p>								
教科書	<p>① News for Now 1 (Cengage)</p> <p>② Basic Listening for the TOEIC Test (成美堂)</p>								
参考書・資料	<p>辞書は絶対に持って来て下さい。</p>								
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>								
担当者から一言	<p>※授業開始時刻より10分が経過すると、欠席となります。</p> <p>列車・バスの延着などで遅れた場合は、証明書を貰って来て下さい。</p> <p>※病気・怪我などで長期に欠席した場合は、診断書を持って来て下さい。</p>								

	<p>※教科書は、少なくとも2回目の授業までには購入して、毎回持って来て下さい。忘れた場合は減点します。</p> <p>※授業は、座席指定制です。</p> <p>※授業中に気分が悪くなった場合などは、担当者に申し出て下さい。黙って教室を出入りすることは、慎んで下さい。</p> <p>※授業中の飲食・私語・携帯の使用・居眠りは禁止します。目に余る場合は、退室の上、欠席扱いとします。</p> <p>※ 授業内容などで分からないことがあれば、その場で質問して下さい。</p> <p>以上、時間に関してなど厳しいこともありますが、平常点重視なので、授業中に頑張れば大丈夫です。</p>
--	--

授業コード	J0512		
授業科目名	基礎英語I (経営 12クラス)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席・受講態度・課題の消化 : 50%</p> <p>小テスト・レポートおよび期末試験の得点 : 50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 テキスト</p> <p>第 3回 テキスト</p> <p>第 4回 テキスト</p> <p>第 5回 テキスト 読書課題</p> <p>第 6回 テキスト</p> <p>第 7回 テキスト</p> <p>第 8回 テキスト</p>

	第 9回 テキスト 第10回 テキスト 読書課題 第11回 テキスト 第12回 テキスト 第13回 テキスト 第14回 テキスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 テキスト 第17回 テキスト 第18回 テキスト 第19回 テキスト 読書課題 第20回 テキスト 第21回 テキスト 第22回 テキスト 第23回 テキスト 第24回 テキスト 読書課題 第25回 テキスト 第26回 テキスト 第27回 テキスト 第28回 テキスト 第29回 テキスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Advantage 2 (Cengage)
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0513		
授業科目名	基礎英語I (経営 13クラス)		
担当者名	高松ひろみ(タカマツ ヒロミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して</p>

	reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 50% 小テストの成績 50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 New Vocabulary in Your Reading 第3回 同上 第4回 Fiction and Nonfiction 第5回 同上 第6回 Books 第7回 同上 第8回 Guidelines for Learning Vocabulary 第9回 同上 第10回 Learning New Words from Your Reading 第11回 同上 第12回 Guessing Meaning from Context 第13回 同上 第14回 Word Parts 第15回 前期試験 (後期) 第16回 How Words are Used Together 第17回 同上 第18回 How Words Work in Sentences 第19回 同上 第20回 Previewing 第21回 同上 第22回 Scanning 第23回 同上 第24回 Making Inferences 第25回 同上 第26回 Focusing on the Topic 第27回 同上 第28回 Understanding Paragraphs 第29回 同上 第30回 後期試験
教科書	Reading Power 2 Fourth Edition Pearson Longman
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0601		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 1クラス)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
-------	--

到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席 10%</p> <p>参加点 10%</p> <p>レポート 30%</p> <p>小テスト 50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Intro</p> <p>第 3回 Unit 1 Travel</p> <p>第 4回 Unit 1 Travel</p> <p>第 5回 Unit 1 Travel/ Unit 2 Fashion</p> <p>第 6回 Unit 2 Fashion</p> <p>第 7回 Unit 2 Fashion</p> <p>第 8回 Review/ Unit 4 Big Money</p> <p>第 9回 Unit 4 Big Money</p> <p>第10回 Unit 4 Big Money</p> <p>第11回 Unit 5 Cultural Events</p> <p>第12回 Unit 5 Cultural Events</p> <p>第13回 Unit 5 Cultural Events</p> <p>第14回 Review</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Give back grades/ Intro</p> <p>第17回 Unit 7 Health</p> <p>第18回 Unit 7 Health</p> <p>第19回 Unit 7 Health</p> <p>第20回 Unit 9 The Changing Family</p> <p>第21回 Unit 9 The Changing Family</p> <p>第22回 Unit 9 The Changing Family</p> <p>第23回 Unit 10 Education</p> <p>第24回 Unit 10 Education</p> <p>第25回 Unit 10 Education</p> <p>第26回 Unit 11 The Mystery of Memory</p> <p>第27回 Unit 11 The Mystery of Memory</p> <p>第28回 Unit 11 The Mystery of Memory</p> <p>第29回 Review</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	<p>Active Skills for Reading Book 3 (Thomson) Neil J. Anderson</p>
参考書・資料	<p>特になし</p>
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期に</p>

	もCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	--------------------------------

授業コード	J0602		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 2クラス)		
担当者名	藤岡千伊奈(フジオカ テイナ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	1. 出席 20% 2. 授業参加度と授業態度 20% 3. 小テスト 20% 4. 宿題 20% 5. ブック・レポート 20% 「欠席」評価:総合的に見て、学生が履修を放棄したと見なす場合
講義構成	講義の構成(予定)は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 厳選したユニットを学習する。教科書の目次順に進行しないので注意すること。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Unit 14 第 4回 Unit 14 第 5回 Unit 4 第 6回 Unit 4 第 7回 Unit 7 第 8回 Unit 7 第 9回 Unit 9 第10回 Unit 9 第11回 Unit 12 第12回 Unit 12 第13回 Unit 8 第14回 Unit 8 第15回 前期試験

	(後期) 第16回 Unit 6 第17回 Unit 6 第18回 Unit 15 第19回 Unit 15 第20回 Unit 10 第21回 Unit 10 第22回 Unit 13 第23回 Unit 13 第24回 Unit 1 第25回 Unit 1 第26回 Unit 2 第27回 Unit 2 第28回 Unit 11 第29回 Unit 11 第30回 後期試験
教科書	Reading Advantage 3 2nd edition
参考書・資料	辞書(電子辞書可)は毎回持参すること。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Feel free to ask me any questions about this class.

授業コード	J0603		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 3クラス)		
担当者名	西山史子(ニシヤマ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	以下のような配分で、総合的に評価する。 定期試験の成績 40%

	<p>小テストの成績 20%</p> <p>課題 20%</p> <p>授業への参加態度 20%</p> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 CASEC受験</p> <p>第2回 Predicting 1 "Selling India's Rainy Season"</p> <p>第3回 Scanning 1 "Avoiding Cultural Taboos"</p> <p>第4回 Skimming for the Main Idea 1 "Fashionable Decisions"</p> <p>第5回 Recognizing Sequence Markers "Tom Ford---Master Designer"</p> <p>第6回 Identifying Meaning from Context 1 "Endangered Species"</p> <p>第7回 Identifying Main Ideas within Paragraphs "Bring Back the Woolly Mammoth?"</p> <p>第8回 Review 1: Fluency Strategy 1</p> <p>第9回 Identifying Cause and Effect "What Does a Million Dollars Buy?"</p> <p>第10回 Previewing 1 "Lottery Winners---Rich, but Happy?"</p> <p>第11回 Skimming for the Main Idea 2 "Wedding Customs"</p> <p>第12回 Predicting 2 "That Unique Japanese Holiday Called ... Christmas!"</p> <p>第13回 Identifying Fact versus Theory "Mystery Tours"</p> <p>第14回 Identifying Meaning from Context 2 "Is 'Spontaneous Human Combustion' Possible?"</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Fluency Strategy 2</p> <p>第17回 Scanning 2 "Successful Dieting"</p> <p>第18回 Predicting 3 "Survival at the South Pole"</p> <p>第19回 Identifying Main and Supporting Ideas 1 "Human Adaptation to Space"</p> <p>第20回 Making Inferences "Pioneers of Flight"</p> <p>第21回 Recognizing Facts "Is an Only Child a Lonely Child?"</p> <p>第22回 Previewing 2 "Changing Roles: Stay-at-Home Dads"</p> <p>第23回 Review 2: Fluency Strategy 3</p> <p>第24回 Arguing For and Against a Topic "Homeschooling---A Better Way to Learn?"</p> <p>第25回 Identifying Meaning from Context 3 "Suggestopedia"</p> <p>第26回 Skimming for the Main Idea 3 "How Good Is Your Memory?"</p> <p>第27回 Scanning 3 "Words to Remember"</p> <p>第28回 Skimming for Opinions and Attitudes "Zorro: A Review"</p> <p>第29回 Identifying Main and Supporting Ideas 2 "From Comic Books to Graphic Novels"</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Active Skills for Reading: Book 3 (Neil J. Anderson, Gengage)
参考書・資料	授業中に紹介する。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	「英語を」読むのではなく、「英語で」読む。英語の文章を通して見えてくる、より広い世界を楽しみましょう。

授業コード	J0604		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 4クラス)		
担当者名	鷲尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日 16:30-17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディング		

	<p>の技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>レポート、小テストの成績、講義時間中の課題への対応等で、総合的に評価する。また、出席や授業態度を重視する。 出席・講義への取り組み姿勢 20% Homework・Summary Reports etc. 20% Reading Pleasure Reports 20% 前・後期試験 40% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 Spiders 第 3回 Unit 1 Spiders // Unit 2 The Sphinx 第 4回 Unit 2 The Sphinx // Unit 3 Blogging 第 5回 Choosing a book for your Reading Report (1) // Unit 4 Blockbuster Movies 第 6回 Unit 4 Blockbuster Movies // Summary Report (1) 第 7回 Unit 5 The Tour de France 第 8回 Turning in your Reading Report (1) // Review Units 1-5 第 9回 Unit 6 Left-Handedness 第10回 Choosing a book for your Reading Report (2) // Unit 7 Jennifer Lopez 第11回 Unit 8 Body Language 第12回 Summary Report (2) // Unit 9 Cosmetic Surgery 第13回 Turning in your Reading Report (2) // Unit 9 Cosmetic Surgery // Unit 10 Oil Spills 第14回 Unit 10 Oil Spills // Review Units 6-10 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Unit 11 Delivering the Mail 第17回 Unit 11 Delivering the Mail // Unit 12 Speed Dating 第18回 Unit 12 Speed Dating // Summary Report (3) 第19回 Unit 13 Mystery Mansion 第20回 Choosing a book for your Reading Report (3) // Unit 14 International Baseball 第21回 Unit 14 International Baseball 第22回 Unit 15 Strange Foods 第23回 Turning in your Reading Report (3) // Review Units 11-15 第24回 Unit 16 Secret Stations 第25回 Choosing a book for your Reading Report (4) // Unit 16 Secret Stations 第26回 Unit 17 Taekwondo // Summary Report (4) 第27回 Unit 18 White Sands 第28回 Turning in your Reading Report (4) // Unit 19 The Great Pretender 第29回 Unit 20 Modern Art // Review Units 16-20 第30回 後期試験</p>
教科書	<p>Reading Advantage 3 Cengage (Thomson)</p>
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすこと</p>

	を目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
その他	<p>* 欠席とみなされる行為</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を讀んだりすること <p>* 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。</p> <p>* 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。</p> <p>* 講義中、携帯電話の電源は必ず切して下さい。</p>

授業コード	J0605		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 5クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席 10% レポート 20% 小テスト 20% 定期試験 30% 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験(2010年4月6日～12日) 第2回 Extensive Reading Introduction pp. 2～3 Guidelines for Learning Vocabulary pp.30～34 Previewing pp. 101～103 Reading Faster Unit 1 ex.1

- 第3回
New Vocabulary in Your Reading p. 4
Guidelines for Learning Vocabulary pp.35~37
Previewing pp. 104~107
Reading Faster Unit 1 ex.2
- 第4回
New Vocabulary in Your Reading p. 5
Guidelines for Learning Vocabulary pp.38~40
Previewing pp. 107~111
Reading Faster Unit 1 ex.3
- 第5回
New Vocabulary in Your Reading p. 6
Guidelines for Learning Vocabulary pp.41~43
Previewing pp. 112~116
Reading Faster Unit 1 ex.4
- 第6回
New Vocabulary in Your Reading p. 7
Learning New Words from Your Reading pp.44~46
Scanning pp. 117~121
Reading Faster Unit 1 ex.5
- 第7回
Fiction and Nonfiction p. 8
Learning New Words from Your Reading pp.47~48
Scanning pp. 122~125
Reading Faster Unit 1 ex.6
- 第8回
Fiction and Nonfiction p. 9~11
Learning New Words from Your Reading pp.48~49
Scanning pp. 126~127
Reading Faster Unit 1 ex.7
- 第9回
Fiction and Nonfiction p. 11~12
Guessing Meaning from Context pp.50~52
Scanning pp. 128~130
Reading Faster Unit 1 ex.8
- 第10回
Fiction and Nonfiction p. 12~15
Guessing Meaning from Context pp.53~56
Scanning pp. 131~134
Reading Faster Unit 1 ex.9
- 第11回
Fiction and Nonfiction p. 15
Guessing Meaning from Context pp.57
Making Inferences pp. 135~138
Reading Faster Unit 1 ex.10
- 第12回
Fiction and Nonfiction p. 15
Guessing Meaning from Context pp.58~60
Making Inferences pp. 139~140
Reading Faster Unit 2 ex.1
- 第13回
Books pp. 16~19
Word Parts pp.61~63
Making Inferences pp. 141~142
Reading Faster Unit 2 ex.2
- 第14回
Books pp. 20~28
Word Parts pp.64~66
Making Inferences pp. 143~144
Reading Faster Unit 2 ex.3
- 第15回
後期試験
(後期)

- 第16回
Thinking in English pp. 205~206
Word Parts pp.67~68
Making Inferences pp. 145~150
Reading Faster Unit 2 ex.4
- 第17回
Thinking in English ex.1
Word Parts pp.69
Focusing on the Topic pp. 150~157
Reading Faster Unit 2 ex.5
- 第18回
Thinking in English ex.2
How Words Are Used Together pp.70~73
Focusing on the Topic pp. 158~161
Reading Faster Unit 2 ex.6
- 第19回
Thinking in English ex.3
How Words Are Used Together pp.74~75
Understanding Paragraphs pp. 162~167
Reading Faster Unit 2 ex.7
- 第20回
Thinking in English ex.4
How Words Are Used Together pp.76~77
Understanding Paragraphs pp. 167~170
Reading Faster Unit 2 ex.8
- 第21回
Thinking in English ex.5
How Words Are Used Together pp.78~79
Understanding Paragraphs pp. 170~175
Reading Faster Unit 2 ex.9
- 第22回
Thinking in English ex.6
How Words Are Used Together pp.80~81
Understanding Paragraphs pp. 176~179
Reading Faster Unit 2 ex.10
- 第23回
Thinking in English ex.7
How Words Work in Sentences pp.82~84
Understanding Paragraphs pp. 180~183
Reading Faster Unit 3 ex.1
- 第24回
Thinking in English ex.8
How Words Work in Sentences pp.85~87
Identifying the Pattern pp. 184~186
Reading Faster Unit 3 ex.2
- 第25回
Thinking in English ex.9
How Words Work in Sentences pp.87~89
Identifying the Pattern pp. 187~189
Reading Faster Unit 3 ex.3
- 第26回
Thinking in English ex.10
How Words Work in Sentences pp.90~92
Identifying the Pattern pp. 190~193
Reading Faster Unit 3 ex.4
- 第27回
Thinking in English ex.11
How Words Work in Sentences pp.93~95
Identifying the Pattern pp. 193~196
Reading Faster Unit 3 ex.5&6
- 第28回
Thinking in English ex.12
How Words Work in Sentences pp.96~97

	Identifying the Pattern pp. 196～199 Reading Faster Unit 3 ex.7&8 第29回 Thinking in English ex.13～15 Identifying the Pattern pp. 200～204 Reading Faster Unit 3 ex.9&10 第30回 後期試験
教科書	READING POWER 2 著者:Linda Jeffries, Beatrice S. Mikulecky 出版社: PEARSON/Longman
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎日30分は何か英語で、特にPenguin Longman Level 2 等の本を読みましょう。継続は力なり。読み続けることにより読書力が身につきます。

授業コード	J0606		
授業科目名	基礎英語I(理工・知能6クラス)		
担当者名	河本知子(カワモト トモコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	※定期試験の成績30% 小テストの成績20% 課題レポート30% 授業への参加態度20% 各自ご入力をお願いいたします。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。

	(前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Context 第 3回Context 第 4回Skimming 第 5回Skimming 第 6回Topic 第 7回Guessing 第 8回Guessing 第 9回Scanning 第10回Scanning 第11回Keyword 第12回Keyword 第13回 Theme 第14回 Theme 第15回 前期試験 (後期) 第16回Context 第17回Context 第18回Application 第19回Application 第20回Supporting Idea 第21回Supporting Idea 第22回Theme 第23回Theme 第24回Guessing 第25回Guessing 第26回Examples 第27回Examples 第28回Patterns 第29回Patterns 第30回 後期試験
教科書	Select Readings Intermediate(Oxford)
参考書・資料	※できるだけ英英辞典を使ってください。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	何か新しいことを覚える、新しい表現を使ってみるといったことを意識して、参加してください。こんなことがわかった、こんなことを覚えたという達成感を皆さん一人ひとりがもてるようにサポートしていきますので、気軽に質問してください。

授業コード	J0607		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 7クラス)		
担当者名	井貫富美子(イヌキ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日 昼休み 12:30-12:50 3号館2階 講師室		
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.		
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。		

	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>定期試験の成績 30% 小テストの成績 20% 課題、レポート 20% 授業の参加態度 30%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Part 1 Extensive Reading Unit 1, 2 Part 4 Reading Faster Unit 1</p> <p>第 3回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1</p> <p>第 4回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1</p> <p>第 5回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1</p> <p>第 6回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1</p> <p>第 7回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2</p> <p>第 8回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2</p> <p>第 9回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2</p> <p>第10回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2</p> <p>第11回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 2</p> <p>第12回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第13回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第14回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期) 第16回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第17回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第18回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第19回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第20回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3</p> <p>第21回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3</p>

	第22回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 3 第23回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 第24回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第25回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第26回 Part 2 Vocabulary Building Unit 4 第27回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第28回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第29回 Part 2 Vocabulary Building Unit 6 第30回 後期試験
教科書	Reading Power Fourth Edition
参考書・資料	英語の辞書を持参すること
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	内容がわからない場合は質問してください。

授業コード	J0608		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 8クラス)		
担当者名	上藤礼子(ウエフジ レイコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。

成績評価	定期試験の成績 40% 小テストの成績と口頭発表 20% 課題・レポートなど 20% 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態等により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 ガイダンスとイントロダクション 第3回 Chapter 1 第4回 Chapter 1 第5回 Chapter 2 第6回 Chapter 2 第7回 Chapter 3 第8回 Chapter 3 第9回 Chapter 4 第10回 Chapter 4 第11回 Chapter 5 第12回 Chapter 5 第13回 Chapter 6 第14回 Chapter 6 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Chapter 7 第17回 Chapter 7 第18回 Chapter 8 第19回 Chapter 8 第20回 Chapter 9 第21回 Chapter 9 第22回 Chapter 10 第23回 Chapter 10 第24回 Chapter 11 第25回 Chapter 11 第26回 Chapter 12 第27回 Chapter 12 第28回 Chapter 13 第29回 Chapter 13 第30回 後期試験
教科書	Select Readings Intermediate
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	授業への積極的な参加を歓迎します。なお、教科書を持参しないものは積極参加の意思がないと判断します。授業中の携帯電話の使用は、辞書としての使用であっても、禁止します。

授業コード	J0609		
授業科目名	基礎英語I(理工・知能9クラス)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully		

	both in their major field of study and for general interest.
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>1)テスト50%(2)Reading Log & Report 30% (4)出席点10%、 (5)授業への参加10%(上記以外の宿題を含む)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation Pre-Test 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 1 第 5回 Spotlight 1 第 6回 Quiz #1 Unit 2 第 7回 Unit 3 第 8回 Unit 3 第 9回 Spotlight 2 第10回 Quiz #2 Reading Activity 第11回 Unit 4 第12回 Unit 5 第13回 Unit 6 第14回 Spotlight 4 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Unit 7 第17回 Unit 7 第18回 Spotlight 5 第19回 Quiz #4 Unit 8 第20回 Unit 8 第21回 Unit 9 第22回 Unit 9 第23回 Spotlight 6 第24回 Quiz #5 Reading Activity 第25回 Unit 10 第26回 Unit 11 第27回 Unit 12 第28回 Spotlight 7 第29回 Review 第30回 後期試験</p>
教科書	<p>Active Skills For Reading Book 2 2/E Neil J. Anderson, In The Spotlight Levels H-J (Volume 2) Henry & Melissa Billings</p>
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

担当者から一言	Reading Logというアサメントを通して、常日頃英語に慣れ親しむように望んでいます。読解力とスピードをアップできるように自ら進んでいるような英語の書物にふれてください。もう高校生ではありませんので、自分の意見や考えを発表するように努力してください。英語でディスカッションもします。積極的に参加するよう期待しています。1年間、いっしょに楽しく授業に参加しましょう！
---------	--

授業コード	J0610		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 10クラス)		
担当者名	甲把 昭(ガツパ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	テスト 30パーセント 出席 25パーセント 小テスト 15パーセント 読書課題 20パーセント 課題 10パーセント
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Introduction 第3回 Previewing 第4回 Previewing 第5回 Scanning 第6回 小テスト 第7回 Scanning 第8回 Making Inferences 第9回 Making Inferences 第10回 小テスト 第11回 Making Inferences 第12回 Guessing Meaning from the Context 第13回 Guessing Meaning from the Context 第14回 Review for the Test 速読テスト 第15回 前期試験

	(後期) 第16回 Introduction II 第17回 Focusing on the Topic 第18回 Focusing on the Topic 第19回 Understanding Paragraphs 第20回 小テスト 第21回 Understanding Paragraphs 第22回 Identifying the Pattern 第23回 Identifying the Pattern 第24回 小テスト 第25回 Video 第26回 Identifying the Pattern 第27回 Word Parts 第28回 How words work in sentences 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期試験
教科書	Reading Power 2 fourth Edition
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	一年間頑張って英語に触れていきましょう。
その他	上記の講義構成は予定であり、変更の場合には指示をする。

授業コード	J0611		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 11クラス)		
担当者名	吉田桂子(ヨシダ ケイコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 30% 小テストの成績 20%

	課題・レポート 20% 授業への参加 30%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Exam Time 第3回 第4回 Going Abroad 第5回 第6回 Movie Makers 第7回 第8回 Review 1 第9回 第10回 The Amazing Human Body 第11回 第12回 Review 2 第13回 第14回 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Career Paths 第17回 第18回 Review 3 第19回 第20回 The Secrets of Advertising 第21回 第22回 Eating for Health 第23回 第24回 Saving the Environment 第25回 第26回 Review 4 第27回 第28回 Other Reading Skills 第29回 第30回 後期試験
教科書	ACTIVE Skills for Reading: Book 2 Neil J. Anderson THOMSON ISBN 13:978-1-4240-0208-5
参考書・資料	Reading Power Linda Jeffries & Beatrice S. Mikulecky Pearson Longman
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎回学ぶ内容が異なるので、必ず出席すること

授業コード	J0612		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 12クラス)		
担当者名	井貫富美子 (イヌキ フミコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日 昼休み 12:30-12:50 3号館 2階 非常勤講師控室		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 30% 小テストの成績 20% 課題、レポート 20% 授業態度 30%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Part 1 Extensive Reading Unit 1, 2 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 3回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 4回 Part 1 Extensive Reading Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 5回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 6回 Part 3 Comprehension Skills Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 1 第 7回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2 第 8回 Part 3 Comprehension Skills Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 2 第 9回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2 第10回 Part 3 Comprehension Skills Unit 3 Part 4 Reading Faster Unit 2 第11回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 2 第12回 Part 3 Comprehension Skills Unit 4 Part 4 Reading Faster Unit 3 第13回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3 第14回 Part 3 Comprehension Skills Unit 5 Part 4 Reading Faster Unit 3 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3 第17回 Part 3 Comprehension Skills Unit 6 Part 4 Reading Faster Unit 3 第18回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3 第19回 Part 3 Comprehension Skills Unit 7 Part 4 Reading Faster Unit 3

	第20回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3 第21回 Part 2 Vocabulary Building Unit 1 Part 4 Reading Faster Unit 3 第22回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 Part 4 Reading Faster Unit 3 第23回 Part 2 Vocabulary Building Unit 2 第24回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第25回 Part 2 Vocabulary Building Unit 3 第26回 Part 2 Vocabulary Building Unit 4 第27回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第28回 Part 2 Vocabulary Building Unit 5 第29回 Part 2 Vocabulary Building Unit 6 第30回 後期試験
教科書	Reading Power Fourth Edition
参考書・資料	英語の辞書を持参すること
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	内容がわからないときにはいつでも質問してください。

授業コード	J0613		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 13クラス)		
担当者名	川村みちよ(カワムラ ミチヨ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。

準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<p>評価の目安は以下のとおりです。平常点重視とします。</p> <table border="0"> <tr> <td>小テスト</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業中の発表・提出物</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート(Book Review)</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td>15%</td> </tr> </table> <p>※欠席が全授業回数の3分の1を越えると、評価は「欠席」となります。</p>	小テスト	30%	授業中の発表・提出物	40%	課題・レポート(Book Review)	15%	期末試験	15%
小テスト	30%								
授業中の発表・提出物	40%								
課題・レポート(Book Review)	15%								
期末試験	15%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、予定なので随時変更があります。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction(教科書説明など) 第 3回 Up, up, up and away /小テスト Week 1 第 4回 Up, up, up and away /小テスト Week 2 第 5回 Diamond ring found by child/小テスト Week 3 第 6回 Diamond ring found by child/小テスト Week 4 第 7回 Snake on the loose/小テスト Week 5 第 8回 Snake on the loose/小テスト Week 6 第 9回 Building a bridge between generations/小テスト Week 7 第10回 Building a bridge between generations/小テスト Week 8 第11回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 9 第12回 Hot peppers cause problems/小テスト Week 10 第13回 Mother Nature shows her strength/小テスト Week 11 第14回 Mother Nature shows her strength 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 12 第17回 Bank Robberies on the increase/小テスト Week 13 第18回 A smelly surprise/小テスト Week 14 第19回 A smelly surprise/小テスト Week 15 第20回 復習/小テスト Week 16 第21回 Painting for pay/小テスト Week 17 第22回 Painting for pay/小テスト Week 18 第23回 Soccer on the rise/小テスト Week 19 第24回 Soccer on the rise/小テスト Week 20 第25回 Overseas students teach art of origami/小テスト Week 21 第26回 Overseas students teach art of origami/小テスト Week 22 第27回 Rabbits for dinner/小テスト Week 23 第28回 Rabbits for dinner/小テスト Week 24 第29回 復習 第30回 後期試験</p>								
教科書	<p>① News for Now 1 (Cengage) ② Basic Listening for the TOEIC Test (成美堂)</p>								
参考書・資料	辞書は絶対に持って来て下さい。								
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。								
担当者から一言	<p>※授業開始時刻より10分が経過すると、欠席となります。 列車・バスの延着などで遅れた場合は、証明書を貰って来て下さい。</p> <p>※病気・怪我などで長期に欠席した場合は、診断書を持って来て下さい。</p> <p>※教科書は、少なくとも2回目の授業までには購入して、毎回持って来て下さい。忘れた場合は減点します。</p> <p>※授業は、座席指定制です。</p>								

	<p>※授業中に気分が悪くなった場合などは、担当者に申し出て下さい。黙って教室を出入りすることは、慎んで下さい。</p> <p>※授業中の飲食・私語・携帯の使用・居眠りは禁止します。目に余る場合は、退室の上、欠席扱いとします。</p> <p>※ 授業内容などで分からないことがあれば、その場で質問して下さい。</p> <p>以上、時間に関してなど厳しいこともありますが、平常点重視なので、授業中に頑張れば大丈夫です。</p>
--	--

授業コード	J0614		
授業科目名	基礎英語I (理工・知能 14クラス)		
担当者名	高松ひろみ(タカマツ ヒロミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary 		
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	定期試験の成績	50%	
	小テストの成績	50%	
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 New Vocabulary in Your Reading</p> <p>第 3回 同上</p> <p>第 4回 Fiction and Nonfiction</p> <p>第 5回 同上</p> <p>第 6回 Books</p> <p>第 7回 同上</p> <p>第 8回 Guidelines for Learning Vocabulary</p> <p>第 9回 同上</p> <p>第10回 Learning New Words from Your Reading</p> <p>第11回 同上</p> <p>第12回 Guessing Meaning from Context</p> <p>第13回 同上</p>		

	第14回 Word Parts 第15回 前期試験 (後期) 第16回 How Words are Used Together 第17回 同上 第18回 How Words Work in Sentences 第19回 同上 第20回 Previewing 第21回 同上 第22回 Scanning 第23回 同上 第24回 Making Inferences 第25回 同上 第26回 Focusing on the Topic 第27回 同上 第28回 Understanding Paragraphs 第29回 同上 第30回 後期試験
教科書	Reading Power 2 Fourth Edition Pearson Longman
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0701		
授業科目名	基礎英語I(留P 文経 1クラス)(前)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限 木曜3限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	

	(1)小テスト50%(2)Home Work 30% (3)Vocabulary Quiz 10% (4)授業への参加10% (Be a proactive student)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 CASEC受験 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 1 第 5回 Spotlight 1 第 6回 Quiz #1 Unit 2 第 7回 Unit 2 第 8回 Unit 3 第 9回 Spotlight 2 第10回 Quiz #2 Reading Activity 第11回 Unit 4 第12回 Unit 4 第13回 Unit 5 第14回 Spotlight 2 第15回 Quiz#3 Reading Activity 第16回 Unit 6 第17回 Unit 6 第18回 Spotlight 5 第19回 Quiz #4 Unit 7 第20回 Unit 7 第21回 Unit 9 第22回 Unit 9 第23回 Spotlight 6 第24回 Quiz #5 Reading Activity 第25回 Unit 10 第26回 Unit 10 第27回 Unit 11 第28回 Spotlight 7 第29回 期末試験
教科書	Active Skills For Reading Book 3 2/E Neil J. Anderson, In The Spotlight Level H-J (Volume 2) Henry & Melissa Billings
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Reading Logというアサイメントを通して、常日頃英語に慣れ親しむように望んでいます。読解力とスピードをアップできるように自ら進んでいろんな英語の書物にふれてください もう高校生ではありませんので、自分の意見や考えを發表するように努力してください。英語でディスカッションもします。積極的に参加するよう期待しています。Be proactive and share your ideas and opinions. You won't get a good grade if you are quiet and don't share your opinions! I'm looking forward to seeing you soon.

授業コード	J0702		
授業科目名	基礎英語I(留P 文経 2クラス)(前)		
担当者名	津田信男(ツダ ノブオ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限 水曜1限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday 2:00-3:00 p.m. Thursday 2:00-3:00 p.m. (also by appointment)		
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディング		

	<p>の技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>定期試験の成績 10% 小テストの成績 (10回) 50% 宿題・レポート (読書レポート6回) 40% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験(4月6日～12日)</p> <p>第 2回 Unit 1 Exam Time</p> <p>第 3回 Unit 1 Exam Time</p> <p>第 4回 Unit 2 Going Abroad</p> <p>第 5回 Unit 2 Going Abroad</p> <p>第 6回 Unit 3 Movie Makers</p> <p>第 7回 Unit 3 Movie Makers</p> <p>第 8回 Unit 4 Sports Heroes</p> <p>第 9回 Unit 4 Sports Heroes</p> <p>第10回 Unit 5 The Amazing Human Body</p> <p>第11回 Unit 5 The Amazing Human Body</p> <p>第12回 Unit 6 Leisure and Hobbies</p> <p>第13回 Unit 6 Leisure and Hobbies</p> <p>第14回 Unit 7 A World of Music</p> <p>第15回 Review</p> <p>第16回 Unit 8 Career Parths</p> <p>第17回 Unit 8 Career Parths</p> <p>第18回 Unit 9 The Story of Chocolate</p> <p>第19回 Unit 9 The Story of Chocolate</p> <p>第20回 Unit 10 The Secrets of Advertising</p> <p>第21回 Unit 10 The Secrets of Advertising</p> <p>第22回 Unit 11 Eating for Health</p> <p>第23回 Unit 11 Eating for Health</p> <p>第24回 Unit 12 Saving the Environment</p> <p>第25回 Review 1</p> <p>第26回 Review 2</p> <p>第27回 Review 3</p> <p>第28回 Review 4</p> <p>第29回 Review 5</p> <p>第30回 定期試験</p>
教科書	Active Skills for Reading: Book 2 (Thomson)
参考書・資料	Penguin Readers, Reader's Digest
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすこと

	を目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Good grades are not given by the teacher. They are earned by the students.
その他	E-mail: nobuo@konan-u.ac.jp 詳しいスケジュール、小テスト、レポート等の期限については、1回目の授業で資料を配布する。

授業コード	J0703		
授業科目名	基礎英語I (留P 文経 3クラス)(前)		
担当者名	小西幸男(コニシ ユキオ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限 木曜3限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席は重視する。(全体の10%)ただし、一定の回数以上を理由なく欠席した場合は、不可とする。 1、毎月の課題を決め、それに沿ってエッセイ、サマリーのレポート提出やプレゼンテーションを課す。(全体の40%) 2、前期の総括としてテストを行うと同時に英語で小論文の提出(50%)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 Reading Faster Exercise 1 第3回 Reading Faster Exercise 2 第4回 Reading Faster Exercise 3 第5回 Reading Faster Exercise 4 第6回 Reading Faster Exercise 5 第7回 Reading Faster Exercise 6 第8回 Reading Faster Exercise 7 第9回 Reading Faster Exercise 8 第10回 Reading Faster Exercise 9 第11回 Reading Faster Exercise 10 第12回 Reading Faster Exercise Unit 2-1 第13回 Reading Faster Exercise Unit 2-2

	第14回 Reading Faster Exercise Unit 2-3 第15回 Reading Faster Exercise Unit 2-4 第16回 Reading Faster Exercise Unit 2-5 第17回 Reading Faster Exercise Unit 2-6 第18回 Reading Faster Exercise Unit 2-7 第19回 Reading Faster Exercise Unit 2-8 第20回 Reading Faster Exercise Unit 2-9 第21回 Reading Faster Exercise Unit 2-10 第22回 Reading Faster Exercise Unit 3-1 第23回 Reading Faster Exercise Unit 3-2 第24回 Reading Faster Exercise Unit 3-3 第25回 Reading Faster Exercise Unit 3-4 第26回 Reading Faster Exercise Unit 3-5 第27回 Reading Faster Exercise Unit 3-6 第28回 Reading Faster Exercise Unit 3-7 第29回 Reading Faster Exercise Unit 3-8 第30回 試験
教科書	READING POWER 2 (4th edition) Pearson /Longman
参考書・資料	必要な資料は授業にて配布する。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0711		
授業科目名	基礎英語I(留P 法営 1クラス)(前)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限 土曜1限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 40% Homework 30%

	Tests 30%
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Course introduction</p> <p>第 3回 Unit 1: Tune in to technology (Chapter 1: "New robots on display")</p> <p>第 4回 Unit 1: Tune in to technology (Chapter 2: "Online shopping is big business")</p> <p>第 5回 Unit 1: Tune in to technology (Chapter 3: "Florida family gets computer chips")</p> <p>第 6回 Unit 2: Travel talk (Chapter 1: "Sailing around the world")</p> <p>第 7回 Unit 2: Travel talk (Chapter 2: "A suitcase story")</p> <p>第 8回 Unit 2: Travel talk (Chapter 3: "Flying high but feeling low")</p> <p>第 9回 Unit 3: Animals in our lives (Chapter 1: "Can animals think?")</p> <p>第10回 Unit 3: Animals in our lives (Chapter 2: "Crazy about cats, or just crazy?")</p> <p>第11回 Unit 3: Animals in our lives (Chapter 3: "Call the medicine man")</p> <p>第12回 Unit 4: Setting goals and facing challenges (Chapter 1: "People with disabilities find challenge on ski slopes")</p> <p>第13回 Unit 4: Setting goals and facing challenges (Chapter 2: "Breaking records")</p> <p>第14回 Unit 4: Setting goals and facing challenges (Chapter 3: "Sounds of Bali")</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Unit 5: Brain power (Chapter 1: "Do you know your right brain from your left brain?")</p> <p>第17回 Unit 5: Brain power (Chapter 2: "Albert Einstein: The world's most famous scientist")</p> <p>第18回 Unit 5: Brain power (Chapter 3: "How good is your memory?")</p> <p>第19回 Unit 6: Companies that care (Chapter 1: "The Body Shop: A success story")</p> <p>第20回 Unit 6: Companies that care (Chapter 2: "The scoop on Ben & Jerry's")</p> <p>第21回 Unit 6: Companies that care (Chapter 3: "A new use for old bottles")</p> <p>第22回 Unit 7: Food for thought (Chapter 1: "Space muffin wins contest")</p> <p>第23回 Unit 7: Food for thought (Chapter 2: "Chocolate: A taste of history")</p> <p>第24回 Unit 7: Food for thought (Chapter 3: "Do TV commercials affect eating habits?")</p> <p>第25回 Unit 8: How's the weather? (Chapter 1: "Are you SAD?")</p> <p>第26回 Unit 8: How's the weather? (Chapter 2: "Tornado chaser")</p> <p>第27回 Unit 8: How's the weather? (Chapter 3: "Climate and weather")</p> <p>第28回 Review</p> <p>第29回 Course wrap-up</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Blanchard and Root: For Your Information 2, Second Edition (Pearson Longman)
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Reading is important for the development of your language skills and world knowledge. Effort and active participation are important for your success in this reading course.

授業コード	J0712		
授業科目名	基礎英語I(留P 法営 2クラス)(前)		
担当者名	カーク(カーク スタンレー)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限 土曜2限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday and Wednesday: 12:15-12:50		
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。		

	The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Attitude, effort and participation: 10%</p> <p>Regular assignments, quizzes: 80%</p> <p>Exams: 10%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 CASEC受験</p> <p>第2回 Class orientation</p> <p>第3-4回 Introduction to extensive reading</p> <p>第5-6回 Extensive reading practice</p> <p>第7-8回 Cross-Cultural Connections</p> <p>第9-10回 Mysteries from the Past</p> <p>第11-12回 Music to My Ears</p> <p>第13-14回 Internet Reading Project: Music</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16-17回 Tune In to TV</p> <p>第18-19回 Superstitions</p> <p>第20-21回 Internet Reading Project: Superstitious Athletes</p> <p>第22-23回 Our Fragile Planet</p> <p>第24-25回 Internet Reading Project: An Endangered Species</p> <p>第26-27回 Living a Long Life</p> <p>第28回 Free Topic Internet Reading Project</p> <p>第29回 Free Topic Internet Reading Project</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	For Your Information 3 (2nd Edition)
参考書・資料	Bring your dictionary to class
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0801		
授業科目名	基礎英語I (再履修 1クラス)		
担当者名	中村耕二(ナカムラ コウジ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2

開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜5限)、後期(月曜5限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday from 4:30-5:30	Office	6612
講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.		
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 		
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	Class participation (30%) Presentation (20%) Report (30%) Final Test (20%)		
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Our changing Diet: Predicting 第 3回 Our changing Diet: Scanning 第 4回 Inventions Reading for Details 第 5回 Inventions Scanning 第 6回 Studying Abroad: Prediction 第 7回 Studying Abroad: Reading for Details 第 8回 Revising 第 9回 Money and Budget: Skimming for Main Ideas 第10回 Money and Budgets: Identifying Supporting Details 第11回 Our Modern Lifestyles: Identifying Transition Words 第12回 Our Modern Lifestyles: Making inferences 第13回 The Olympics Sequences of Events 第14回 The Olympics: Reading for Details 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Human Achievements: Skimming 第17回 Language and Communication Skimming 第18回 Festivals and Celebrations: Skimming and Scanning 第19回 Growing Older: Skimming and Scanning 第20回 Look into the Future: Skimming and Scanning 第21回 Folk Tales and Hoaxes Skimming and Scanning 第22回 Roman Holidays Critical listening and Reading 第23回 Roman Holidays Critical listening and Reading 第24回 The Phantom of the Opera Critical listening and Reading 第25回 The Phantom of the Opera Critical listening and Reading 第26回 The Sound of Music Critical listening and Reading		

	第27回 The Sound of Music Critical listening and Reading 第28回 Paragraph Reading and Writing 第29回 Writing Opinion 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading Book 1 by Neil J. Anderson by Thomson 2007
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の楽しさを一緒に共有しましょう。
その他	英語でグローバルな問題や日本の文化に関する自分の意見を書いたり、発表することに慣れていない人は、以下の本を参考にしてください。著者をはじめ、甲南大学の先輩達のお手本や、プロセスを追って英語のエッセイやスピーチ原稿を書く手順や手法が学べます。 グローバル時代の英語教育 Content-based Process Writing for Oral Presentation 英宝社 中村耕二著 ([333 頁])
ホームページタイトル	koji@konan-u.ac.jp (E-mail) http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~koji/ (Koji's Desk On Line)

授業コード	J0802		
授業科目名	基礎英語I (再履修 2クラス)		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 定期テストの成績 30% 小テストの成績 25% 課題及び口頭発表 30% 授業への参加態度 15% 無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。

講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 / Chapter 1 第 3回 Unit 1 / Chapter 2 第 4回 Unit 2 / Chapter 1 第 5回 Unit 2 / Chapter 2 第 6回 Unit 3 / Chapter 1 第 7回 Unit 3 / Chapter 2 第 8回 Review 1 & Unit 4 / Chapter 1 第 9回 Unit 4 / Chapter 2 第10回 Unit 5 / Chapter 1 第11回 Unit 5 / Chapter 2 第12回 Unit 6 / Chapter 1 第13回 Unit 6 / Chapter 2 第14回 Review 2 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 7 / Chapter 1 第17回 Unit 7 / Chapter 2 第18回 Unit 8 / Chapter 1 第19回 Unit 8 / Chapter 2 第20回 Unit 9 / Chapter 1 第21回 Unit 9 / Chapter 2 第22回 Review 3 第23回 Unit 10 / Chapter 1 第24回 Unit 10 / Chapter 2 第25回 Unit 11 / Chapter 1 第26回 Unit 11 / Chapter 2 第27回 Unit 12 / Chapter 1 第28回 Unit 12 / Chapter 2 第29回 Review 4 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading: Book 1 2/E (Cengage)
参考書・資料	英和辞典必携。
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J0803		
授業科目名	基礎英語I(再履修 3クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜5限)、後期(木曜5限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast)

	<ul style="list-style-type: none"> • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席 10% レポート 20% 小テスト 20% 定期試験 30% 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p><注意> 講義は2週目より開始</p> <p>(前期)</p> <p>第1回(第2週) Unit 1 Chapter 1 (p.11) Predicting</p> <p>第2回 Unit 1 Chapter 2 (p.16) Scanning</p> <p>第3回 Unit 2 Chapter 1 (p.21) Reading for Details</p> <p>第4回 Unit 2 Chapter 2 (p.26) Scanning</p> <p>第5回 Unit 3 Chapter 1 (p.31) Using Subtitles to Predict Content</p> <p>第6回 Unit 3 Chapter 2 (p.36) Reading for Details</p> <p>第7回 Review 1 (p.41)</p> <p>第8回 Unit 4 Chapter 1 (p.49) Skimming for Main Ideas</p> <p>第9回 Unit 4 Chapter 2 (p.54) Identifying Supporting Details</p> <p>第10回 Unit 5 Chapter 1 (p.59) Identifying Transition Words</p> <p>第11回 Unit 5 Chapter 2 (p.64) Making Inferences</p> <p>第12回 Unit 6 Chapter 1 (p.69) Recognizing Sequence of Events</p> <p>第13回 Unit 6 Chapter 2 (p.74) Reading for Details</p>

	<p>第14回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第15回 Review 2 (p.79)</p> <p>第16回 Unit 7 Chapter 1 (p.87) Recognizing Sequence of Events</p> <p>第17回 Unit 7 Chapter 2 (p.92) Scanning</p> <p>第18回 Unit 8 Chapter 1 (p.97) Identifying Main Ideas</p> <p>第19回 Unit 8 Chapter 2 (p.102) Distinguishing Main Idea and Supporting Details</p> <p>第20回 Unit 9 Chapter 1 (p.107) Scanning</p> <p>第21回 Unit 9 Chapter 2 (p.112) Reading for Details</p> <p>第22回 Review 3 (p.117)</p> <p>第23回 Unit 10 Chapter 1 (p.125) Predicting</p> <p>第24回 Unit 10 Chapter 2 (p.130) Making References</p> <p>第25回 Unit 11 Chapter 1 (p.135) Identifying Main Ideas within Paragraphs</p> <p>第26回 Unit 11 Chapter 2 (p.140) Identifying Transition Words</p> <p>第27回 Unit 12 Chapter 1 (p.145) Recognizing Sequence of Events</p> <p>第28回 Unit 12 Chapter 2 (p.150) Identifying Cause and Effect</p> <p>第29回 後期試験</p>
教科書	<p>Active Skills for Reading: Book 1</p> <p>著者 Neil J. Anderson 出版社: THOMSON</p>
講義関連事項	<p>基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>毎日30分は何か英語で、特にPenguin Longman Level 2 等の本を読みましょう。継続は力なり。読み続けることにより読書力が身につきます。</p>

授業コード	J0901		
授業科目名	基礎英語I (SPORT 1クラス)		
担当者名	甲把 昭(ガツパ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜6限)、後期(月曜6限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。</p> <p>The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary ・ learn how to outline and summarize a passage in English ・ improve reading speed ・ increase vocabulary 		
講義方法	<p>速読、大意把握、要約などを重視する。</p> <p>Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。</p>		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	<p>テスト 30パーセント 出席 25パーセント 小テスト 15パーセント 読書課題 20パーセント 課題 10パーセント</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 scanning 第 4回 scanning 第 5回 focusing on the topic 第 6回小テスト 第 7回プリント教材 第 8回同上 第 9回 focusing on the topic 第10回小テスト 第11回 Making Inferences 第12回 Word Parts 第13回 プリント教材 第14回 Review for the test 速読テスト 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Introduction II 第17回 Understanding Paragraphs 第18回 Guessing Meaning from the context 第19回 プリント教材 第20回 小テスト</p>		

	第21回 How words are used together 第22回 Learning new words from your reading 第23回 the 100 words 第24回 小テスト 第25回 Video 第26回 プリント教材 第27回 同上 第28回 Review for the test 速読テスト 第29回 後期試験 第30回 まとめ
教科書	Basic Reading Power 1 Third Edition
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	一年間頑張って英語に触れていきましょう。
その他	授業構成は予定であり、変更が生じる場合には指示をする。

授業コード	J0902		
授業科目名	基礎英語I (SPORT 2クラス)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜6限)、後期(月曜6限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays • read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • identify the main idea and the most important information of a passage • learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) • learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	(1)テスト50%(2)レポート(2回提出)30%(3)出席点10% (4)授業への参加10%(5)ボーナス・ポイント:単語の予習シート提出
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション Pre-Test 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 1

	第 5回 Quiz #1 Reading Activity 第 6回 Unit 2 第 7回 Unit 2 第 8回 Unit 3 第 9回 Unit 3 第10回 Quiz #2 Reading Activity 第11回 Unit 4 第12回 Unit 4 第13回 Unit 5 第14回 Review 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 6 第17回 Unit 6 第18回 Unit 7 第19回 Unit 7 第20回 Quiz #4 Reading Activity 第21回 Unit 8 第22回 Unit 8 第23回 Unit 9 第24回 Unit 9 第25回 Quiz #5 Reading Activity 第26回 Unit 10 第27回 Unit 11 第28回 Unit 12 第29回 Review & Post-Test 第30回 後期試験
教科書	Active Skills For Reading Intro 2/E Neil J. Anderson
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	1年間で英語の読解力とスピードが上がるように自からも努力するように頑張ってください。英語が苦手と思っている人も英語が得意な人も、「実力がついた」と思えるように、毎週「今日も必ず学ぶぞ！」という意気込みと決意を持って、クラスに出席してください。

授業コード	J0903		
授業科目名	基礎英語I (SPORT 3クラス)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜6限)、後期(月曜6限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語で書かれた文章を読み、作者の意図を読み取る能力を伸ばすとともに、基本的なパラグラフ・リーディングの技能を身につける。 The main purpose of this course is to give students the basic reading skills necessary for reading successfully both in their major field of study and for general interest.
到達目標	基礎的英語読解力の向上を目指し、学部専門教育科目を受講するための基礎力と思考力を養うことを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of short passages, from single paragraphs to brief, multi-paragraph essays ・ read a variety of expository text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ identify the main idea and the most important information of a passage ・ learn the techniques of skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly finding specific information) ・ learn basic reading skills such as predicting, making inferences, and using the context to understand unknown vocabulary

	<ul style="list-style-type: none"> • learn how to outline and summarize a passage in English • improve reading speed • increase vocabulary
講義方法	速読、大意把握、要約などを重視する。 Pre-reading, discussion, skimming for general information, scanning for specific information などを通して reading skillを養う。同時に英語の長いパラグラフを英語や日本語で要約するskillも養う。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・受講態度・課題の消化:50% 小テストおよび期末試験:50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 CASEC受験 第2回 テキスト 第3回 テキスト 第4回 テキスト 第5回 テキスト 読書課題 第6回 テキスト 第7回 テキスト 第8回 テキスト 第9回 テキスト 第10回 テキスト 読書課題 第11回 テキスト 第12回 テキスト 第13回 テキスト 第14回 テキスト 第15回 前期試験 (後期) 第16回 テキスト 第17回 テキスト 第18回 テキスト 第19回 テキスト 読書課題 第20回 テキスト 第21回 テキスト 第22回 テキスト 第23回 テキスト 第24回 テキスト 読書課題 第25回 テキスト 第26回 テキスト 第27回 テキスト 第28回 テキスト 第29回 テキスト 第30回 後期試験
教科書	Active Skills for Reading Intro (Gengage)
講義関連事項	基礎英語 I で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1101		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 1クラス)(前)		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>								
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 								
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 								
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>								
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">定期試験の成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>	定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%								
小テストの成績	30%								
授業への参加態度	20%								
出席	20%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 1 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 3 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 5 第 9回 UNIT 7 第10回 UNIT 7 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 9 第13回 UNIT 10 第14回 UNIT 10 第15回 前期試験</p>								
教科書	TOP NOTCH TV 2								
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう。								
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>								
担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかりと身につけましょう。								

授業コード	J1102		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 2クラス)(前)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1

開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業時間の3分の1を越えると評価は「欠席」とします。)</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 基本的な「音」の発音練習 第 3回 Unit 1 Getting know you 第 4回 Unit 1 Getting know you 第 5回 Unit 2 Dinner Invitation 第 6回 Unit 2 Dinner Invitation 第 7回 Unit 3 Supermarket 第 8回 Unit 3 Supermarket 第 9回 Unit 4 The Audition 第10回 Unit 4 The Audition 第11回 Unit 5 Let's take a vacation 第12回 Unit 5 Let's take a vacation 第13回 Unit 6 May I help you? 第14回 Unit 7 How was your weekend? 第15回 前期試験</p>		
教科書	Atlas Video Lab Guide A		
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>		
担当者から一言	<p>何事にも王道なんてありません。コツコツ取り組む事が一番の近道と言えるでしょう。ジャンルは何でも構わないので、とにかく毎日10分、英語を聴きましょう。</p>		

授業コード	J1103		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 3クラス)(前)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限

特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・受講態度・課題の消化:50% 小テストおよび期末試験:50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験
教科書	Top Notch TV Video Course 2 Longman
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	半期の間に10回前後の小テストを行う予定。従って欠席が多くなると得点が低くなるので注意すること。

授業コード	J1104		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 4クラス)(前)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第2回授業時に改めて説明します。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 ガイダンス、Unit 1: Have we met before? (1) 第 3回 Unit 1: Have we met before? (2) 第 4回 Unit 2: Have you chosen a movie yet? (1) 第 5回 Unit 2: Have you chosen a movie yet? (2) 第 6回 Unit 3: Can I take a message? (1) 第 7回 Unit 3: Can I take a message? (2) 第 8回 中間試験 第 9回 Unit 4: What happened to you?! (1) 第10回 Unit 4: What happened to you?! (2) 第11回 Unit 5: How about a manicure? (1) 第12回 Unit 5: How about a manicure? (2) 第13回 Unit 6: Help yourself, everyone! (1) 第14回 Unit 6: Help yourself, everyone! (2) 第15回 前期試験</p>
教科書	<p>書名: Top Notch TV Video Course 2 著者: Joan Saslow & Allen Ascher 出版社: Pearson Longman</p>
参考書・資料	<p>山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。</p>
その他	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1105										
授業科目名	基礎英語II(A) (文 5クラス)(後)										
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)										
配当年次	1年次	単位数	1								
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限								
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。										
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>										
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 										
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。										
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>定期試験の成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>			定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%										
小テストの成績	30%										
授業への参加態度	20%										
出席	20%										
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Orientation 第 2回 UNIT 1 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 3 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 5 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 7 第 9回 UNIT 7 第10回 UNIT 9 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 10 第13回 UNIT 10 第14回 APPLICATION 第15回 後期試験</p>										
教科書	Top NOTCH TV 1										
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう！										
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。										

担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかり身につけましょう！
---------	------------------------------

授業コード	J1106		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 6クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>授業中の小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 unit 1, scene 1</p> <p>第 4回 unit 1, scene 2</p> <p>第 5回 unit 2, scene 1</p> <p>第 6回 unit 2, scene 2</p> <p>第 7回 unit 3, scene 1</p> <p>第 8回 unit 3, scene 2</p> <p>第 9回 unit 4, scene 1</p> <p>第10回 unit 4, scene 2</p> <p>第11回 unit 5, scene 1</p> <p>第12回 unit 5, scene 2</p> <p>第13回 unit 6, scene 1</p> <p>第14回 unit 6, scene 2</p> <p>第15回 後期試験</p>
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などあ
---------	--

りません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1107		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 7クラス)(後)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席・受講態度・課題の消化:50%</p> <p>小テストおよび期末試験:50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験</p>
教科書	Top Notch TV Video Course 2 Longman
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

担当者から一言	半期の間に10回前後の小テストを行う予定。従って欠席が多くなると得点が低くなるので注意すること。
---------	--

授業コード	J1108		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 8クラス)(後)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第1回授業時に改めて説明します。</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 2回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 3回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 5回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2) 第 7回 中間試験 第 8回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (2) 第10回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第12回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (2) 第14回 Unit 7: Which dress do you like better? 第15回 後期試験</p>		
教科書	<p>書名: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman</p>		
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)		

講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1109		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 9クラス)(前)		
担当者名	小橋 薫(コバシ カオル)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下のとおりです。 小テストの総合得点 60% 定期試験の成績 10% 提出物 10% 授業への参加態度 20% (全授業の3分の1以上を欠席した場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 授業方針の説明とリスニング実践 第 3回 Study After School 第 4回 Part-time Jobs & リスニング小テスト 第 5回 Parties & リスニング小テスト 第 6回 Movies & リスニング小テスト 第 7回 Hanging Out & リスニング小テスト 第 8回 前半のまとめのタスク 第 9回 Cyber Friends & リスニング小テスト 第10回 Boyfriends and Girlfriends & リスニング小テスト 第11回 Celebrities & リスニング小テスト

	第12回 News & リスニング小テスト 第13回 Travel & リスニング小テスト 第14回 実践的リスニングタスク 第15回 前期試験
教科書	Listening Advantage 3
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎授業のようにDictationの小テストを行います。テキスト付属のCDを自宅でも聞き、しっかりと小テストに備え、ナチュラルな英語の音の変化やスピードに慣れていきましょう。

授業コード	J1110		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 10クラス)(前)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第2回授業時に改めて説明します。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 3回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 5回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 7回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2)</p>

	第 8回 中間試験 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第10回 Unit 4: Where are the tickets? (2) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第12回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第14回 Unit 6: I'm getting in shape. (2) 第15回 前期試験
教科書	書名: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1111		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 11クラス)(前)		
担当者名	石田久美子(イシダ クミコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	授業での提出物 60% 期末テスト 40%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション 第 3回 Chapter1 Getting Information

	第 4回 Chapter2 Checking in at a Hotel 第 5回 Chapter3 Asking for Directions 第 6回 Chapter4 Renting a Car 第 7回 Chapter5 Ordering a Meal/Chapter6 Shopping for Clothes 第 8回 Chapter7 Asking for a Favor/Chapter8 Meeting a Friend 第 9回 Chapter9 Checking out of a Hotel/Chapter10 Expressing Preference 第10回 Chapter11 Homestay/Chapter12 Offering to Help 第11回 Chapter13 Self-Introduction/Chapter14 Getting Advice 第12回 Chapter15 Checking out a Book/Chapter16 Opening a Bank Account 第13回 Chapter17 Sending a Package/Chapter18 Inviting a Friend 第14回 Chapter 19 Buying Medicine/Chapter 20 Saying Good-bye 第15回 前期試験
教科書	Viva! San Francisco -Video Approach to Survival English- Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (マクミラン)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	はじめをつけた上で、楽しい授業にしていきたいと思います。
その他	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> * 欠席は全授業回数の1/3まで。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。欠席の多い人のみ、期末に申し出て下さい。 * 理由の無い遅刻(出席を取ったあとの入室)は、欠席とみなされます。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。早めに申し出て下さい。 * 以下にあてはまる場合、欠席となり、提出物の点数も削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻。 ・忘れ物(テキスト(コピー可)・カセットテープ・辞書)。 ・授業中の私語、居眠り、携帯使用、ペアワークへの不参加その他、迷惑行為。 ・後片付けができていない(ヘッドフォン、椅子、ゴミ等) <p>* テキストを忘れた場合→クラスメートに借りて、「授業時間までに」コピーする。 * テープを忘れた場合→売店等で購入する。 * 辞書を忘れた場合→借りるなどして、用意する。</p>

授業コード	J1112		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 12クラス)(前)		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概

	<p>要や要旨をつかむ練習をする。</p> <p>2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。</p> <p>3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>口頭発表 30% (2-3人のグループで台本を作り、発表する)</p> <p>小テスト 30%</p> <p>リスニング・文法復習テスト 30%</p> <p>平常点 10%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Introduction</p> <p>第 3回 Introduce me!</p> <p>第 4回 There's a great movie playing at the Glenwood.</p> <p>第 5回 My family is coming in one hour!</p> <p>第 6回 Adjustment (進度調整)</p> <p>第 7回 Where are the tickets?</p> <p>第 8回 What's in the salad?</p> <p>第 9回 I'm getting in shape.</p> <p>第10回 Which dress do you like better?</p> <p>第11回 Adjustment (進度調整)</p> <p>第12回 How was your vacation?</p> <p>第13回 Is taht an express donkey?</p> <p>第14回 How much do you want?</p> <p>第15回 前期試験</p>
教科書	<p>Video Course TOP NOTCH TV 1 Longman</p>
参考書・資料	<p>英語放送、テレビドラマ、洋楽、英語で聞くことができるものを活用しましょう。</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

授業コード	J1113		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 13クラス)(後)		
担当者名	小橋 薫(コバシ カオル)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<p>1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。</p> <p>2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。</p>

	3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下のとおりです。 小テストの総合得点 60% 定期試験の成績 10% 提出物 10% 授業への参加態度 20% (全授業の3分の1以上を欠席した場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 授業方針の説明とリスニング実践 第 3回 Study After School 第 4回 Part-time Jobs & リスニング小テスト 第 5回 Parties & リスニング小テスト 第 6回 Movies & リスニング小テスト 第 7回 Hanging Out & リスニング小テスト 第 8回 前半のまとめのタスク 第 9回 Cyber Friends & リスニング小テスト 第10回 Boyfriends and Girlfriends & リスニング小テスト 第11回 Celebrities & リスニング小テスト 第12回 News & リスニング小テスト 第13回 Travel & リスニング小テスト 第14回 実践的リスニングタスク 第15回 後期試験
教科書	Listening Advantage 3
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎授業のようにDictationの小テストを行います。テキスト付属のCDを自宅でも聞き、しっかりと小テストに備え、ナチュラルな英語の音の変化やスピードに慣れていきましょう。

授業コード	J1114		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 14クラス)(後)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。

	2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。 出席・平常点 40% 試験 60% * 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。 詳細は第1回授業時に改めて説明します。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 2回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 3回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 5回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2) 第 7回 中間試験 第 8回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (2) 第10回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第12回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (2) 第14回 Unit 7: Which dress do you like better? 第15回 後期試験
教科書	書名: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1115		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 15クラス)(後)		
担当者名	石田久美子(イシダ クミコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at		

	natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>授業での提出物 60%</p> <p>期末テスト 40%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 オリエンテーション</p> <p>第 3回 Chapter1 Getting Information</p> <p>第 4回 Chapter2 Checking in at a Hotel</p> <p>第 5回 Chapter3 Asking for Directions</p> <p>第 6回 Chapter4 Renting a Car</p> <p>第 7回 Chapter5 Ordering a Meal/Chapter6 Shopping for Clothes</p> <p>第 8回 Chapter7 Asking for a Favor/Chapter8 Meeting a Friend</p> <p>第 9回 Chapter9 Checking out of a Hotel/Chapter10 Expressing Preference</p> <p>第10回 Chapter11 Homestay/Chapter12 Offering to Help</p> <p>第11回 Chapter13 Self-Introduction/Chapter14 Getting Advice</p> <p>第12回 Chapter15 Checking out a Book/Chapter16 Opening a Bank Account</p> <p>第13回 Chapter17 Sending a Package/Chapter18 Inviting a Friend</p> <p>第14回 Chapter 19 Buying Medicine/Chapter 20 Saying Good-bye</p> <p>第15回 前期試験</p>
教科書	Viva! San Francisco -Video Approach to Survival English- Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (マクミラン)
講義関連事項	基礎英語Ⅱ(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	はじめをつけた上で、楽しい授業にしていきたいと思います。
その他	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> * 欠席は全授業回数の1/3まで。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。欠席の多い人のみ、期末に申し出てください。 * 理由の無い遅刻(出席を取ったあとの入室)は、欠席とみなされます。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。早めに申し出てください。 * 以下にあてはまる場合、欠席となり、提出物の点数も削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻。 ・忘れ物(テキスト(コピー可)・カセットテープ・辞書)。 ・授業中の私語、居眠り、携帯使用、ペアワークへの不参加その他、迷惑行為。 ・後片付けができていない(ヘッドフォン、椅子、ごみ等) * テキストを忘れた場合→クラスメートに借りて、「授業時間までに」コピーする。 * テープを忘れた場合→売店等で購入する。 * 辞書を忘れた場合→借りるなどして、用意する。

授業コード	J1116		
授業科目名	基礎英語II(A) (文 16クラス)(後)		
担当者名	芦田利恵子(アンダ リエコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<p>1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。</p> <p>2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。</p> <p>3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>口頭発表 (2-3人のグループで台本を作り発表する) 30%</p> <p>小テスト 30%</p> <p>リスニング・文法復習テスト 30%</p> <p>平常点 10%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Introduction</p> <p>第 2回 Nice to meet you!</p> <p>第 3回 Who's that?</p> <p>第 4回 How do I get there?</p> <p>第 5回 Who's this?</p> <p>第 6回 You're late.</p> <p>第 7回 Welcome to my new apartment.</p> <p>第 8回 What do you do in the morning?</p> <p>第 9回 What are you doing this weekend?</p> <p>第10回 Tonight, I'm cooking.</p> <p>第11回 How was your trip?</p> <p>第12回 She has a fever.</p> <p>第13回 Could you do me a favor?</p> <p>第14回 I'd like to get married.</p> <p>第15回 後期試験</p>
教科書	Video Course TOP NOTCH TV Fundamentals (Longman)
参考書・資料	映画、ドラマ、2カ国語放送、洋楽など英語で聞けるもの
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASEOを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

授業コード	J1301
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(A) (経済 1クラス)(前)										
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)										
配当年次	1年次	単位数	1								
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限								
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。										
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>										
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 										
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。										
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">定期試験の成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>			定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%										
小テストの成績	30%										
授業への参加態度	20%										
出席	20%										
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 1 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 3 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 5 第 9回 UNIT 7 第10回 UNIT 7 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 9 第13回 UNIT 10 第14回 UNIT 10 第15回 前期試験</p>										
教科書	TOP NOTCH TV 2										
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう。										
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。										
担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかりと身につけましょう。										

授業コード	J1302		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 2クラス)(前)		
担当者名	松村優子(マツムラ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	定期試験の成績50% 授業への参加態度 30% 小テスト、課題提出等 20%		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 第 3回 Unit 2 第 4回 Unit 3 第 5回 Unit 4 第 6回 Unit 5 第 7回 Unit 6 第 8回 Unit 7 第 9回 Unit 8 第10回 Unit 9 第11回 Unit 10 第12回 Unit 11 第13回 Unit 12 第14回 復習 第15回 前期試験</p>		
教科書	Campus Encounters 大八木廣人 他著 マクミランランゲージハウス		
参考書・資料	授業内で紹介します。		
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		
担当者から一言	リスニングの上達のためには毎日英語を聞き続けることが重要です。テキスト付属のCDやラジオ番組などを積極的に活用してください。詳細は授業で説明します。		
その他	プリントなどの配布資料は各自ファイルして下さい。		

授業コード	J1303		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 3クラス)(前)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>(1)テスト50%(2)Listening Log 30% (3)出席点 10%、(4)授業への参加 10%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation Pre-test 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 2 第 5回 Quiz#1 Listening Activity 第 6回 Unit 3 第 7回 Unit 4 第 8回 Quiz#2 Listening Activity 第 9回 Unit 5 第10回 Unit 6 第11回 Quiz#3 Listening Activity 第12回 Unit 7 第13回 Unit 8 第14回 Review 第15回 前期試験</p>
教科書	<p>TOP NOTCH TV Book 2 Joan Saslow & Allen Ascher</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>Listening Logというアサイメントを通して、常日頃英語に慣れ親しむように望んでいます。リスニング力をアップできるように自ら進んでいるような英語にふれてください もう高校生ではありませんので、自分の意見や考えを発表するように努力してください。英語でディスカッションもします。積極的に参加するよう期待しています。1年間、いっしょに楽しく授業に参加しましょう</p>

授業コード	J1304		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 4クラス)(前)		
担当者名	堂村由香里(ドウムラ ユカリ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	<p>定期テストの成績 30%</p> <p>小テストの成績 20%</p> <p>課題・レポート 30%</p> <p>授業への参加態度 20%</p> <p>* 無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。</p> <p>* 遅刻は20分までとし、遅刻3回で欠席1回とする。</p> <p>* 電車の遅延などの場合は、延着証明書を受け取り、裏面に「氏名、日付、入室時間」を記入して提出すること。</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 ガイダンス</p> <p>第 3回 Unit 1</p> <p>第 4回 Unit 2</p> <p>第 5回 Unit 3</p> <p>第 6回 Unit 4</p> <p>第 7回 Unit 5</p> <p>第 8回 Mid-term Review</p> <p>第 9回 Unit 6</p> <p>第10回 Unit 7</p> <p>第11回 Unit 8</p> <p>第12回 Unit 9</p> <p>第13回 Unit 10</p> <p>第14回 Review</p> <p>第15回 前期試験</p>		
教科書	Top Notch TV Video Course 2 (Longman)		
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>		

授業コード	J1305										
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 5クラス)(後)										
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)										
配当年次	1年次	単位数	1								
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限								
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。										
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>										
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 										
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 										
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>										
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">定期試験の成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>			定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%										
小テストの成績	30%										
授業への参加態度	20%										
出席	20%										
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Orientation 第 2回 UNIT 1 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 3 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 5 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 7 第 9回 UNIT 7 第10回 UNIT 9 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 10 第13回 UNIT 10 第14回 APPLICATION 第15回 後期試験</p>										
教科書	Top NOTCH TV 1										
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう！										
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>										
担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかり身につけましょう！										

授業コード	J1306		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 6クラス)(後)		
担当者名	松村優子(マツムラ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	定期試験の成績50% 授業への参加態度 30% 小テスト、課題提出等 20%		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 第 3回 Unit 2 第 4回 Unit 3 第 5回 Unit 4 第 6回 Unit 5 第 7回 Unit 6 第 8回 Unit 7 第 9回 Unit 8 第10回 Unit 9 第11回 Unit 10 第12回 Unit 11 第13回 Unit 12 第14回 復習 第15回 後期試験</p>		
教科書	Campus Encounters 大八木廣人 他著 マクミランランゲージハウス		
参考書・資料	授業内で紹介します。		
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		
担当者から一言	リスニングの上達のためには毎日英語を聞き続けることが重要です。テキスト付属のCDやラジオ番組などを積極的に活用してください。詳細は授業で説明します。		
その他	プリントなどの配布資料は各自ファイルして下さい。		

授業コード	J1307		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 7クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>授業中の小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 unit 1, scene 1</p> <p>第 4回 unit 1, scene 2</p> <p>第 5回 unit 2, scene 1</p> <p>第 6回 unit 2, scene 2</p> <p>第 7回 unit 3, scene 1</p> <p>第 8回 unit 3, scene 2</p> <p>第 9回 unit 4, scene 1</p> <p>第10回 unit 4, scene 2</p> <p>第11回 unit 5, scene 1</p> <p>第12回 unit 5, scene 2</p> <p>第13回 unit 6, scene 1</p> <p>第14回 unit 6, scene 2</p> <p>第15回 後期試験</p>
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

担当者から一言	<p>リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。</p>
---------	---

授業コード	J1308		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 8クラス)(後)		
担当者名	堂村由香里(ドウムラ ユカリ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	<p>定期テストの成績 30%</p> <p>小テストの成績 20%</p> <p>課題・レポート 30%</p> <p>授業への参加態度 20%</p> <p>* 無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。</p> <p>* 遅刻は20分までとし、遅刻3回で欠席1回とする。</p> <p>* 電車の遅延などの場合は、延着証明書を受け取り、裏面に「氏名、日付、入室時間」を記入して提出すること。</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 ガイダンス</p> <p>第 2回 Unit 1</p> <p>第 3回 Unit 1</p> <p>第 4回 Unit 2</p> <p>第 5回 Unit 3</p> <p>第 6回 Unit 4</p> <p>第 7回 Unit 5</p> <p>第 8回 Mid-term Review</p> <p>第 9回 Unit 6</p> <p>第10回 Unit 7</p> <p>第11回 Unit 8</p> <p>第12回 Unit 9</p> <p>第13回 Unit 10</p> <p>第14回 Review</p> <p>第15回 後期試験</p>		
教科書	Top Notch TV Video Course 1 (Longman)		
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期		

	にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	---------------------------------

授業コード	J1309		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 9クラス)(前)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第2回授業時に改めて説明します。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 3回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 5回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 7回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2) 第 8回 中間試験 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第10回 Unit 4: Where are the tickets? (2) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第12回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第14回 Unit 6: I'm getting in shape. (2) 第15回 前期試験</p>
教科書	<p>テキスト: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman</p>

参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1310		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 10クラス)(前)		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	口頭発表 30% (2-3人のグループで台本を作り、発表する) 小テスト 30% リスニング・文法復習テスト 30% 平常点 10%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Introduce me! 第 4回 There's a great movie playing at the Glenwood. 第 5回 My family is coming in one hour! 第 6回 Adjustment (進度調整) 第 7回 Where are the tickets? 第 8回 What's in the salad? 第 9回 I'm getting in shape. 第10回 Which dress do you like better? 第11回 Adjustment (進度調整) 第12回 How was your vacation? 第13回 Is taht an express donkey?

	第14回 How much do you want? 第15回 前期試験
教科書	Video Course TOP NOTCH TV 1 Longman
参考書・資料	英語放送、テレビドラマ、洋楽、英語で聞くことができるものを活用しましょう。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1311		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 11クラス)(前)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・受講態度・課題の消化:50% 小テストおよび期末試験:50%
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験</p>
教科書	Top Notch TV Video Course 1 Longman

参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	半期の間に10回前後の小テストを行う予定。従って欠席が多くなると得点が低くなるので注意すること。

授業コード	J1312		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 12クラス)(前)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>授業中の小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 unit 1, scene 1</p> <p>第 4回 unit 1, scene 2</p> <p>第 5回 unit 2, scene 1</p> <p>第 6回 unit 2, scene 2</p> <p>第 7回 unit 3, scene 1</p> <p>第 8回 unit 3, scene 2</p> <p>第 9回 unit 4, scene 1</p> <p>第10回 unit 4, scene 2</p> <p>第11回 unit 5, scene 1</p> <p>第12回 unit 5, scene 2</p> <p>第13回 unit 6, scene 1</p> <p>第14回 unit 6, scene 2</p> <p>第15回 前期試験</p>
教科書	Top Notch TV 1

講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1313		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 13クラス)(後)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数 が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第1回授業時に改めて説明します。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 2回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 3回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 5回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2) 第 7回 中間試験 第 8回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (2) 第10回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第12回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (2)</p>

	第14回 Unit 7: Which dress do you like better? 第15回 後期試験
教科書	書名: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1314		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 14クラス)(後)		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	口頭発表 (2-3人のグループで台本を作り発表する) 30% 小テスト 30% リスニング・文法復習テスト 30% 平常点 10%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 Introduction 第 2回 Nice to meet you! 第 3回 Who's that? 第 4回 How do I get there? 第 5回 Who's this? 第 6回 You're late. 第 7回 Welcome to my new apartment.

	第 8回 What do you do in the morning? 第 9回 What are you doing this weekend? 第10回 Tonight, I'm cooking. 第11回 How was your trip? 第12回 She has a fever. 第13回 Could you do me a favor? 第14回 I'd like to get married. 第15回 後期試験
教科書	Video Course TOP NOTCH TV Fundamentals (Longman)
参考書・資料	映画、ドラマ、2カ国語放送、洋楽など英語で聞けるもの
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1315		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 15クラス)(後)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席・受講態度・課題の消化:50%</p> <p>小テストおよび期末試験:50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン</p>

	第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験
教科書	Top Notch TV Video Course 1 Longman
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	半期の間に10回前後の小テストを行う予定。従って欠席が多くなると得点が低くなるので注意すること。

授業コード	J1316		
授業科目名	基礎英語II(A) (経済 16クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>授業中の小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 unit 1, scene 1</p> <p>第 4回 unit 1, scene 2</p> <p>第 5回 unit 2, scene 1</p> <p>第 6回 unit 2, scene 2</p> <p>第 7回 unit 3, scene 1</p> <p>第 8回 unit 3, scene 2</p> <p>第 9回 unit 4, scene 1</p> <p>第10回 unit 4, scene 2</p> <p>第11回 unit 5, scene 1</p>

	第12回 unit 5, scene 2 第13回 unit 6, scene 1 第14回 unit 6, scene 2 第15回 後期試験
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1401		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 1クラス)(前)		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>								
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 								
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">定期試験の成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>	定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%								
小テストの成績	30%								
授業への参加態度	20%								
出席	20%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 1 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 3 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 5 第 9回 UNIT 7</p>								

	第10回 UNIT 7 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 9 第13回 UNIT 10 第14回 UNIT 10 第15回 前期試験
教科書	TOP NOTCH TV 2
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかりと身につけましょう。

授業コード	J1402		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 2クラス)(前)		
担当者名	松村優子(マツムラ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績50% 授業への参加態度 30% 小テスト、課題提出等 20%
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 第 3回 Unit 2 第 4回 Unit 3 第 5回 Unit 4 第 6回 Unit 5 第 7回 Unit 6 第 8回 Unit 7 第 9回 Unit 8 第10回 Unit 9 第11回 Unit 10 第12回 Unit 11 第13回 Unit 12</p>

	第14回 復習 第15回 前期試験
教科書	Campus Encounters 大八木廣人 他著 マクミランランゲージハウス
参考書・資料	授業内で紹介します。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニングの上達のためには毎日英語を聞き続けることが重要です。テキスト付属のCDやラジオ番組などを積極的に活用してください。詳細は授業で説明します。
その他	プリントなどの配布資料は各自ファイルして下さい。

授業コード	J1403		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 3クラス)(前)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業時間の3分の1を越えると評価は「欠席」とします。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 Unit 1 Getting know you</p> <p>第 4回 Unit 1 Getting know you</p> <p>第 5回 Unit 2 Dinner Invitation</p> <p>第 6回 Unit 2 Dinner Invitation</p> <p>第 7回 Unit 3 Supermarket</p> <p>第 8回 Unit 3 Supermarket</p> <p>第 9回 Unit 4 The Audition</p> <p>第10回 Unit 4 The Audition</p>

	第11回 Unit 5 Let's take a vacation 第12回 Unit 5 Let's take a vacation 第13回 Unit 6 May I help you? 第14回 Unit 7 How was your weekend? 第15回 前期試験
教科書	Atlas Video Lab Guide A
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	何事にも王道なんてありません。コツコツ取り組む事が一番の近道と言えるでしょう。ジャンルは何でも構わないので、とにかく毎日10分、英語を聴きましょう。

授業コード	J1404		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 4クラス)(前)		
担当者名	堂村由香里(ドウムラ ユカリ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期テストの成績 30% 小テストの成績 20% 課題・レポート 30% 授業への参加態度 20% * 無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。 * 遅刻は20分までとし、遅刻3回で欠席1回とする。 * 電車の遅延などの場合は、延着証明書を受け取り、裏面に「氏名、日付、入室時間」を記入して提出すること。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 ガイダンス 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 2 第 5回 Unit 3 第 6回 Unit 4 第 7回 Unit 5

	第 8回 Mid-term Review 第 9回 Unit 6 第10回 Unit 7 第11回 Unit 8 第12回 Unit 9 第13回 Unit 10 第14回 Review 第15回 前期試験
教科書	Top Notch TV Video Course 2 (Longman)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1405		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 5クラス)(後)		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>								
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 								
講義方法	<p>1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。</p> <p>2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。</p> <p>3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。</p>								
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>								
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table border="0"> <tr> <td>定期試験の成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>	定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%								
小テストの成績	30%								
授業への参加態度	20%								
出席	20%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Orientation 第 2回 UNIT 1 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 3 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 5 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 7</p>								

	第 9回 UNIT 7 第10回 UNIT 9 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 10 第13回 UNIT 10 第14回 APPLICATION 第15回 後期試験
教科書	Top NOTCH TV 1
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう！
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかり身につけましょう！

授業コード	J1406		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 6クラス)(後)		
担当者名	松村優子(マツムラ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績50% 授業への参加態度 30% 小テスト、課題提出等 20%
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 第 3回 Unit 2 第 4回 Unit 3 第 5回 Unit 4 第 6回 Unit 5 第 7回 Unit 6 第 8回 Unit 7 第 9回 Unit 8 第10回 Unit 9 第11回 Unit 10 第12回 Unit 11</p>

	第13回 Unit 12 第14回 復習 第15回 後期試験
教科書	Campus Encounters 大八木廣人 他著 マクミランランゲージハウス
参考書・資料	授業内で紹介します。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニングの上達のためには毎日英語を聞き続けることが重要です。テキスト付属のCDやラジオ番組などを積極的に活用してください。詳細は授業で説明します。
その他	プリントなどの配布資料は各自ファイルして下さい。

授業コード	J1407		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 7クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>授業中の小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 unit 1, scene 1</p> <p>第 4回 unit 1, scene 2</p> <p>第 5回 unit 2, scene 1</p> <p>第 6回 unit 2, scene 2</p> <p>第 7回 unit 3, scene 1</p> <p>第 8回 unit 3, scene 2</p> <p>第 9回 unit 4, scene 1</p>

	第10回 unit 4, scene 2 第11回 unit 5, scene 1 第12回 unit 5, scene 2 第13回 unit 6, scene 1 第14回 unit 6, scene 2 第15回 後期試験
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1408		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 8クラス)(後)		
担当者名	堂村由香里(ドウムラ ユカリ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期テストの成績 30% 小テストの成績 20% 課題・レポート 30% 授業への参加態度 20% * 無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。 * 遅刻は20分までとし、遅刻3回で欠席1回とする。 * 電車の遅延などの場合は、延着証明書を受け取り、裏面に「氏名、日付、入室時間」を記入して提出すること。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 ガイダンス 第 2回 Unit 1 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 2 第 5回 Unit 3 第 6回 Unit 4

	第 7回 Unit 5 第 8回 Mid-term Review 第 9回 Unit 6 第10回 Unit 7 第11回 Unit 8 第12回 Unit 9 第13回 Unit 10 第14回 Review 第15回 後期試験
教科書	Top Notch TV Video Course 1(Longman)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1409		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 9クラス)(前)		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	口頭発表 30% (2-3人のグループで台本を作り、発表する) 小テスト 30% リスニング・文法復習テスト 30% 平常点 10%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 Introduction 第 3回 Introduce me! 第 4回 There's a great movie playing at the Glenwood. 第 5回 My family is coming in one hour! 第 6回 Adjustment (進捗調整) 第 7回 Where are the tickets? 第 8回 What's in the salad? 第 9回 I'm getting in shape. 第10回 Which dress do you like better?

	第11回 Adjustment (進捗調整) 第12回 How was your vacation? 第13回 Is taht an express donkey? 第14回 How much do you want? 第15回 前期試験
教科書	Video Course TOP NOTCH TV 1 Longman
参考書・資料	英語放送、テレビドラマ、洋楽、英語で聞くことができるものを活用しましょう。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1410		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 10クラス)(前)		
担当者名	石田久美子(イシダ クミコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>授業での提出物(会話作成) 60%</p> <p>期末テスト 40%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション 第 3回 Chapter1 Getting Information 第 4回 Chapter2 Checking in at a Hotel 第 5回 Chapter3 Asking for Directions 第 6回 Chapter4 Renting a Car 第 7回 Chapter5 Ordering a Meal/Chapter6 Shopping for Clothes 第 8回 Chapter7 Asking for a Favor/Chapter8 Meeting a Friend 第 9回 Chapter9 Checking out of a Hotel/Chapter10 Expressing Preference 第10回 Chapter11 Homestay/Chapter12 Offering to Help 第11回 Chapter13 Self-Introduction/Chapter14 Getting Advice 第12回 Chapter15 Checking out a Book/Chapter16 Opening a Bank Account 第13回 Chapter17 Sending a Package/Chapter18 Inviting a Friend 第14回 Chapter 19 Buying Medicine/Chapter 20 Saying Good-bye</p>

	第15回 前期試験
教科書	Viva! San Francisco -Video Approach to Survival English- Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (マクミラン)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	はじめをつけた上で、楽しい授業にしていきたいと思います。
その他	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> * 欠席は全授業回数の1/3まで。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。欠席の多い人のみ、期末に申し出て下さい。 * 理由の無い遅刻(出席を取ったあとの入室)は、欠席とみなされます。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。早めに申し出て下さい。 * 以下にあてはまる場合、欠席となり、提出物の点数も削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻。 ・忘れ物(テキスト(コピー可)・カセットテープ・辞書)。 ・授業中の私語、居眠り、携帯使用、ペアワークへの不参加その他、迷惑行為。 ・後片付けができていない(ヘッドフォン、椅子、ごみ等) <p>* テキストを忘れた場合→クラスメートに借りて、「授業時間までに」コピーする。 * テープを忘れた場合→売店等で購入する。 * 辞書を忘れた場合→借りるなどして、用意する。</p>

授業コード	J1411		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 11クラス)(前)		
担当者名	竹中美奈子(タケナカ ミナコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するかを学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通りです。</p> <p>定期試験の成績 25% 小テストの成績 75%</p>

	<p>但し、以下の点に注意して下さい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席が授業時間数の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。 2. 9時5分まで出欠をとります。この時点で欠席であれば欠席扱いになります。遅刻は認めません。但し、体調不良等の理由があるときは必ず申し出て下さい。 3. 授業への参加態度が悪い場合(例えば、授業時間内の私語)は減点の対象になります。
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション、Unit 1 (1) 第 3回 Unit 1(2) 第 4回 Unit 2(1) 第 5回 Unit 2(2) 第 6回 Unit 3 第 7回 Unit 4 第 8回 Unit 5 第 9回 Unit 6 第10回 Unit 7 第11回 Unit 8 第12回 Unit 9 第13回 Unit 10 第14回 Unit 11 第15回 前期試験</p>
教科書	<p>Campus Encounters (マクミラン ランゲージハウス)</p> <p>授業ではテープまたはMDを使用するので、必ずどちらかを持って来て下さい。</p>
参考書・資料	特にありません
講義関連事項	<p>基礎英語Ⅱ(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>授業の最初の頃は戸惑うこともあると思いますが、真摯な態度で臨めば結果は出てくると思います。間違いを恐れずに積極的に授業に参加して下さい。また、疑問や質問があれば放置せずに、必ず質問して下さい。</p>

授業コード	J1412		
授業科目名	基礎英語Ⅱ(A) (法 12クラス)(前)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。

	3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験 30% 授業中の小テスト 40% 授業への参加態度 30% (欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 基本的な「音」の発音練習 第 3回 unit 1, scene 1 第 4回 unit 1, scene 2 第 5回 unit 2, scene 1 第 6回 unit 2, scene 2 第 7回 unit 3, scene 1 第 8回 unit 3, scene 2 第 9回 unit 4, scene 1 第10回 unit 4, scene 2 第11回 unit 5, scene 1 第12回 unit 5, scene 2 第13回 unit 6, scene 1 第14回 unit 6, scene 2 第15回 前期試験
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1413		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 13クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通

	させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験 30% 授業中の小テスト 40% 授業への参加態度 30% (欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 基本的な「音」の発音練習 第 3回 unit 1, scene 1 第 4回 unit 1, scene 2 第 5回 unit 2, scene 1 第 6回 unit 2, scene 2 第 7回 unit 3, scene 1 第 8回 unit 3, scene 2 第 9回 unit 4, scene 1 第10回 unit 4, scene 2 第11回 unit 5, scene 1 第12回 unit 5, scene 2 第13回 unit 6, scene 1 第14回 unit 6, scene 2 第15回 後期試験
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1414		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 14クラス)(後)		
担当者名	石田久美子(イシダ クミコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。

準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	授業での提出物 60% 期末テスト 40%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション 第 3回 Chapter1 Getting Information 第 4回 Chapter2 Checking in at a Hotel 第 5回 Chapter3 Asking for Directions 第 6回 Chapter4 Renting a Car 第 7回 Chapter5 Ordering a Meal/Chapter6 Shopping for Clothes 第 8回 Chapter7 Asking for a Favor/Chapter8 Meeting a Friend 第 9回 Chapter9 Checking out of a Hotel/Chapter10 Expressing Preference 第10回 Chapter11 Homestay/Chapter12 Offering to Help 第11回 Chapter13 Self-Introduction/Chapter14 Getting Advice 第12回 Chapter15 Checking out a Book/Chapter16 Opening a Bank Account 第13回 Chapter17 Sending a Package/Chapter18 Inviting a Friend 第14回 Chapter 19 Buying Medicine/Chapter 20 Saying Good-bye 第15回 前期試験
教科書	Viva! San Francisco -Video Approach to Survival English- Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (マクミラン)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	はじめをつけた上で、楽しい授業にしていきたいと思います。
その他	注意事項 * 欠席は全授業回数の1/3まで。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。欠席の多い人のみ、期末に申し出て下さい。 * 理由の無い遅刻(出席を取ったあとの入室)は、欠席とみなされます。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。早めに申し出て下さい。 * 以下にあてはまる場合、欠席となり、提出物の点数も削除されます。 ・遅刻。 ・忘れ物(テキスト(コピー可)・カセットテープ・辞書)。 ・授業中の私語、居眠り、携帯使用、ペアワークへの不参加その他、迷惑行為。 ・後片付けができていない(ヘッドフォン、椅子、ごみ等) * テキストを忘れた場合→クラスメートに借りて、「授業時間までに」コピーする。 * テープを忘れた場合→売店等で購入する。 * 辞書を忘れた場合→借りるなどして、用意する。

授業コード	J1415		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 15クラス)(後)		
担当者名	竹中美奈子(タケナカ ミナコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
-------	---

到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通りです。</p> <p>定期試験の成績30%</p> <p>小テストの成績50%</p> <p>課題 20%</p> <p>但し、以下の点について注意して下さい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は欠席になります 2. 9時5分に出席をとります。この時点で欠席であれば欠席扱いになります。遅刻は認めません なお、体調不良等の時は申し出て下さい。 3. 授業への参加態度が悪い場合(例えば、授業時間内の私語)、減点の対象になります。
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 オリエンテーション、Lesson1</p> <p>第 2回 Lesson 2(1)</p> <p>第 3回 Lesson 2(2)</p> <p>第 4回 Lesson 3</p> <p>第 5回 Lesson 4</p> <p>第 6回 Lesson 5</p> <p>第 7回 Lesson 6</p> <p>第 8回 Lesson 7</p> <p>第 9回 Lesson 9</p> <p>第10回 Lesson 10</p> <p>第11回 Lesson 11</p> <p>第12回 Lesson 12</p> <p>第13回 Lesson 13</p> <p>第14回 Lesson 14</p> <p>第15回 後期試験</p>
教科書	<p>Daily English (金星堂)</p> <p>授業では音声を録音するために、テープまたはMDを必ず持って来て下さい</p>
参考書・資料	<p>特にありません</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>授業当初は戸惑うこともあると思いますが、間違ふことを嫌がらず真摯な態度で授業に臨んでください。自分が努力した分結果としてあらわれると思います。皆さんの頑張りを期待しています。また、疑問や質問があるときは、そのままにしないで必ず質問して下さい。</p>

授業コード	J1416		
授業科目名	基礎英語II(A) (法 16クラス)(後)		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	1年次	単位数	1

開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<p>1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。</p> <p>2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。</p> <p>3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。</p>		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	<p>口頭発表（2-3人のグループで台本を作り発表する） 30%</p> <p>小テスト 30%</p> <p>リスニング・文法復習テスト 30%</p> <p>平常点 10%</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Introduction</p> <p>第 2回 Nice to meet you!</p> <p>第 3回 Who's that?</p> <p>第 4回 How do I get there?</p> <p>第 5回 Who's this?</p> <p>第 6回 You're late.</p> <p>第 7回 Welcome to my new apartment.</p> <p>第 8回 What do you do in the morning?</p> <p>第 9回 What are you doing this weekend?</p> <p>第10回 Tonight, I'm cooking.</p> <p>第11回 How was your trip?</p> <p>第12回 She has a fever.</p> <p>第13回 Could you do me a favor?</p> <p>第14回 I'd like to get married.</p> <p>第15回 後期試験</p>		
教科書	Video Course TOP NOTCH TV Fundamentals (Longman)		
参考書・資料	映画、ドラマ、2カ国語放送、洋楽など英語で聞けるもの		
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>		

授業コード	J1501		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 1クラス)(前)		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限

特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。								
講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.								
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm								
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>定期試験の成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td>20%</td> </tr> </table> (無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)	定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%								
小テストの成績	30%								
授業への参加態度	20%								
出席	20%								
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 1 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 3 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 5 第 9回 UNIT 7 第10回 UNIT 7 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 9 第13回 UNIT 10 第14回 UNIT 10 第15回 前期試験								
教科書	TOP NOTCH TV 2								
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう。								
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。								
担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかりと身につけましょう。								

授業コード	J1502
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 2クラス)(前)
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)

配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席 10%</p> <p>参加 10%</p> <p>課題 30%</p> <p>小テスト／後期試験 50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Unit 1 Have we met before?</p> <p>第 3回 Unit 2 Have you chosen a movie yet?</p> <p>第 4回 Unit 2 Have you chosen a movie yet?</p> <p>第 5回 Unit 4 What happened to you?</p> <p>第 6回 Unit 4 What happened to you?</p> <p>第 7回 Unit 6 Help yourself, everyone!</p> <p>第 8回 Unit 6 Help yourself, everyone!</p> <p>第 9回 Unit 7 What do you think of this color?</p> <p>第10回 Unit 7 What do you think of this color?</p> <p>第11回 Unit 8 What do you think?</p> <p>第12回 Unit 8 What do you think?</p> <p>第13回 Unit 9 Can you help me with something?</p> <p>第14回 Unit 8 Can you help me with something?</p> <p>第15回 前期試験</p>
教科書	<p>Video Course Top Notch TV (Longman) Joan Saslow and Allen Ascher</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

授業コード	J1503		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 3クラス)(前)		
担当者名	伊庭 緑(イバ ミドリ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限

特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
オフィスアワー	火曜日および木曜日昼休み その他の時間でも適宜応じます。一度内線5742で確認してください。
講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通りです。 - リスニング試験の成績(定期試験含) 40% - 小テストの成績 20% - 課題 20% - 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が授業回数全体の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。)
講義構成	講義の構成は以下の通りですが不測の事態により変更の可能性もあります。 第 1回 CASEC受験(4月6日～12日) 第 2回 Guidance/Unit 1 4/15 第 3回 Unit 1 I'm looking for Old Main Hall 4/22 第 4回 Unit 2 I have a10:30 appointment 5/6 第 5回 Unit 3 Are you looking for a place to stay? 5/13 第 6回 Unit 4 I'll be glad to room with you guys 5/20 第 7回 Listening Test 1 5/27 第 8回 Unit 5 The Experience is really important 6/3 第 9回 Unit 6 I'll get right on it 6/10 第10回 Unit 7 Just tell me 6/17 第11回 Unit 8 Don't worry about it 6/24 第12回 Listening Test 2 7/1 第13回 Unit 9 Come here and give me a hug &Unit 10 I love you, Mom 7/8 第14回 Unit 11 I deserve a better grade & Unit 12 Any other questions? 7/15 第15回 前期試験 (Listening Test 3) 7/22
教科書	書名 : Campus Encounters 著者 : Hiroto Ohyagi/Masako Taura 出版社 : Macmillan Language House
参考書・資料	書名 : エイゴリズム 著者 : マリー・マツダ 出版社 : アルク出版
講義関連事項	基礎英語Ⅱ(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	アメリカの大学で実際ロケをしてつくったテキストです。一般の人のインタビューも含まれていてかなり聴き取りにくいと感じる人もいるかもしれませんが、心配しないでください。だんだんと耳がなれてきます。遅刻や欠席が無いように、気を引き締めていただきたいと思います。楽しく学習していきましょう。
---------	---

授業コード	J1504		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 4クラス)(前)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業時間の3分の1を越えると評価は「欠席」とします。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 Unit 1 Getting know you</p> <p>第 4回 Unit 1 Getting know you</p> <p>第 5回 Unit 2 Dinner Invitation</p> <p>第 6回 Unit 2 Dinner Invitation</p> <p>第 7回 Unit 3 Supermarket</p> <p>第 8回 Unit 3 Supermarket</p> <p>第 9回 Unit 4 The Audition</p> <p>第10回 Unit 4 The Audition</p> <p>第11回 Unit 5 Let's take a vacation</p> <p>第12回 Unit 5 Let's take a vacation</p> <p>第13回 Unit 6 May I help you?</p> <p>第14回 Unit 7 How was your weekend?</p> <p>第15回 前期試験</p>
教科書	Atlas Video Lab Guide A
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	何事にも王道なんてありません。コツコツ取り組む事が一番の近道と言えるでしょう。ジャンルは何でも構わないので、とにかく毎日10分、英語を聴きましょう。
---------	--

授業コード	J1505		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 5クラス)(後)		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>								
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 								
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>定期試験の成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>小テストの成績</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>	定期試験の成績	30%	小テストの成績	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験の成績	30%								
小テストの成績	30%								
授業への参加態度	20%								
出席	20%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Orientation 第 2回 UNIT 1 第 3回 UNIT 1 第 4回 UNIT 3 第 5回 UNIT 3 第 6回 UNIT 5 第 7回 UNIT 5 第 8回 UNIT 7 第 9回 UNIT 7 第10回 UNIT 9 第11回 UNIT 9 第12回 UNIT 10 第13回 UNIT 10 第14回 APPLICATION 第15回 後期試験</p>								
教科書	Top NOTCH TV 1								
参考書・資料	担当教師自作の発音記号表を配布します。発音力を身につけましょう!								
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすこ								

	とを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	--

担当者から一言	ビデオを見ながらリスニング力をしっかり身につけましょう！
---------	------------------------------

授業コード	J1506		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 6クラス)(後)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席 10%</p> <p>参加 10%</p> <p>課題 30%</p> <p>小テスト/後期試験 50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Intro/ Unit 1 Have we met before?</p> <p>第 2回 Unit 1 Have we met before?</p> <p>第 3回 Unit 2 Have you chosen a movie yet?</p> <p>第 4回 Unit 2 Have you chosen a movie yet?</p> <p>第 5回 Unit 4 What happened to you?</p> <p>第 6回 Unit 4 What happened to you?</p> <p>第 7回 Unit 6 Help yourself, everyone!</p> <p>第 8回 Unit 6 Help yourself, everyone!</p> <p>第 9回 Unit 7 What do you think of this color?</p> <p>第10回 Unit 7 What do you think of this color?</p> <p>第11回 Unit 8 What do you think?</p> <p>第12回 Unit 8 What do you think?</p> <p>第13回 Unit 9 Can you help me with something?</p> <p>第14回 Unit 8 Can you help me with something?</p> <p>第15回 後期試験</p>
教科書	Video Course Top Notch TV (Longman) Joan Saslow and Allen Ascher
参考書・資料	特になし
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラ</p>

	エティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	--

授業コード	J1507		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 7クラス)(後)		
担当者名	伊庭 緑(イバ ミドリ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日および木曜日昼休み その他の時間でも適宜応じます。一度内線5742で確認してください。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> - リスニング試験の成績(定期試験含) 40% - 小テストの成績 20% - 課題 20% - 授業への参加態度 20% <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業回数全体の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが不測の事態により変更の可能性もあります。</p> <p>第 1回 Guidance/Unit 1 第 2回 Unit 1 I'm looking for Old Main Hall 第 3回 Unit 2 I have a 10:30 appointment 第 4回 Unit 3 Are you looking for a place to stay? 第 5回 Unit 4 I'll be glad to room with you guys 第 6回 Listening Test 1 第 7回 Unit 5 The Experience is really important 第 8回 Unit 6 I'll get right on it 第 9回 Unit 7 Just tell me 第10回 Unit 8 Don't worry about it 第11回 Listening Test 2 第12回 Unit 9 Come here and give me a hug 第13回 Unit 10 I love you, Mom 第14回 Unit 11 I deserve a better grade & Unit 12 Any other questions?</p>

	第15回 後期試験 (Listening Test 3)
教科書	書名 : Campus Encounters 著者 : Hiroto Ohyagi/Masako Taura 出版社 : Macmillan Language House
参考書・資料	書名 : エイゴリズム 著者 : マリー・マツダ 出版社 : アルク出版
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1508		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 8クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>授業中の小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 unit 1, scene 1</p> <p>第 4回 unit 1, scene 2</p> <p>第 5回 unit 2, scene 1</p> <p>第 6回 unit 2, scene 2</p> <p>第 7回 unit 3, scene 1</p> <p>第 8回 unit 3, scene 2</p> <p>第 9回 unit 4, scene 1</p> <p>第10回 unit 4, scene 2</p> <p>第11回 unit 5, scene 1</p> <p>第12回 unit 5, scene 2</p>

	第13回 unit 6, scene 1 第14回 unit 6, scene 2 第15回 後期試験
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1509		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営 9クラス)(前)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>出席 10%</p> <p>レポート 20%</p> <p>小テスト 20%</p> <p>定期試験 30%</p> <p>授業への参加態度 20%</p> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 CASEC受験(2010年4月6日~12日)</p> <p>第2回 Unit 1 Introduce Me (p.1) Scene 1 (p.4)</p> <p>第3回 Scene 2 (p.7)</p> <p>第4回 Unit 2 There is a great movie playing at the Glenwood (p.9) Scene 1 (p.12)</p>

	第5回 Scene 2 (p.15) 第6回 Unit 3 My family is coming in one hour! (p.20) Scene 1 (p.23) 第7回 Scene 2 (p.26) 第8回 Unit 4 Where are the tickets? (p.31) Scene 1 (p.33) 第9回 Scene 2 (p.35) 第10回 Unit 5 What's in the salad? (p.37) Scene 1 (p.39) 第11回 Scene 2 (p.44) 第12回 Unit 6 I'm getting in shape. (p.49) Scene 1 (p.51) 第13回 Scene 2 (p.56) 第14回 Unit 7 Which dress do you like better? (p.62) Scene 1 (p.65) 第15回 前期試験
--	---

教科書	TOP NOTCH TV 1 著者: Joan Saslow, Allen Ascher 出版社: PEARSON/Longman
-----	---

講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--------	---

担当者から一言	毎日10分音読すれば聞こえるようになります。 壁は越えられる。頑張ろう！
---------	---

授業コード	J1510		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営10クラス)(前)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information

	<ul style="list-style-type: none"> • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験 30% 授業中の小テスト 40% 授業への参加態度 30% (欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 基本的な「音」の発音練習 第 3回 unit 1, scene 1 第 4回 unit 1, scene 2 第 5回 unit 2, scene 1 第 6回 unit 2, scene 2 第 7回 unit 3, scene 1 第 8回 unit 3, scene 2 第 9回 unit 4, scene 1 第10回 unit 4, scene 2 第11回 unit 5, scene 1 第12回 unit 5, scene 2 第13回 unit 6, scene 1 第14回 unit 6, scene 2 第15回 前期試験
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1511		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営11クラス)(前)		
担当者名	小橋 薫(コバシ カオル)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners

	・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下のとおりです。 小テストの総合得点 60% 定期試験の成績 10% 提出物 10% 授業への参加態度 20% (全授業の3分の1以上を欠席した場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 授業方針の説明とリスニング実践 第 3回 Study After School 第 4回 Part-time Jobs & リスニング小テスト 第 5回 Parties & リスニング小テスト 第 6回 Movies & リスニング小テスト 第 7回 Hanging Out & リスニング小テスト 第 8回 前半のまとめのタスク 第 9回 Cyber Friends & リスニング小テスト 第10回 Boyfriends and Girlfriends & リスニング小テスト 第11回 Celebrities & リスニング小テスト 第12回 News & リスニング小テスト 第13回 Travel & リスニング小テスト 第14回 実践的リスニングタスク 第15回 前期試験
教科書	Listening Advantage 3
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎授業のようにDictationの小テストを行います。テキスト付属のCDを自宅でも聞き、しっかりと小テストに備え、ナチュラルな英語の音の変化やスピードに慣れていきましょう。

授業コード	J1512		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営12クラス)(前)		
担当者名	吉田佳代(ヨシダ カヨ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火5限、水・木3限		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages

	<ul style="list-style-type: none"> • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<ol style="list-style-type: none"> 1) 定期試験の成績 50% 2) 小テスト・課題・レポート 30% 3) 授業への参加態度 20% (＊欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 Introduction</p> <p>第 3回 Episode 1: A Clean Sweep (Section 1 & 2)</p> <p>第 4回 Episode 1: A Clean Sweep (Section 3 & 4)</p> <p>第 5回 Episode 2: A Perfect Day (Section 1 & 2)</p> <p>第 6回 Episode 2: A Perfect Day (Section 3 & 4)</p> <p>第 7回 Episode 3: A Picture of Health (Section 1 & 2)</p> <p>第 8回 Episode 3: A Picture of Health (Section 3 & 4)</p> <p>第 9回 REVIEW TEST 1</p> <p>第10回 Episode 4: Not Working Out (Section 1-4)</p> <p>第11回 Episode 5: A Dog's Tale (Section 1 & 2)</p> <p>第12回 Episode 5: A Dog's Tale (Section 3 & 4)</p> <p>第13回 Episode 6: A Brief Encounter (Section 1 & 2)</p> <p>第14回 Episode 6: A Brief Encounter (Section 3 & 4)</p> <p>第15回 REVIEW TEST 2 (前期試験)</p>
教科書	New Headway Video: Pre-Intermediate (Oxford University Press) John and Liz Soars
参考書・資料	小テスト用英語表現集(最初の授業でプリントを配布します)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎回ドラマ形式のDVDを使ってリスニング力を強化します。日常的な英語表現だけでなく、映像で見られる海外での生活や文化的な要素も感じてもらえればと思います。

授業コード	J1513		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営13クラス)(後)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages 		

	<ul style="list-style-type: none"> • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 										
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 										
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100px;">出席</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>定期試験</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする)</p>	出席	10%	レポート	20%	小テスト	20%	定期試験	30%	授業への参加態度	20%
出席	10%										
レポート	20%										
小テスト	20%										
定期試験	30%										
授業への参加態度	20%										
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 Unit 1 Introduce Me (p.1) Scene 1 (p.4)</p> <p>第2回 Scene 2 (p.7)</p> <p>第3回 Unit 2 There is a great movie playing at the Glenwood (p.9) Scene 1 (p.12)</p> <p>第4回 Scene 2 (p.15)</p> <p>第5回 Unit 3 My family is coming in one hour! (p.20) Scene 1 (p.23)</p> <p>第6回 Scene 2 (p.26)</p> <p>第7回 Unit 4 Where are the tickets? (p.31) Scene 1 (p.33)</p> <p>第8回 Scene 2 (p.35)</p> <p>第9回 Unit 5 What's in the salad? (p.37) Scene 1 (p.39)</p> <p>第10回 Scene 2 (p.44)</p> <p>第11回 Unit 6 I'm getting in shape. (p.49) Scene 1 (p.51)</p> <p>第12回 Scene 2 (p.56)</p> <p>第13回 Unit 7 Which dress do you like better? (p.62) Scene 1 (p.65)</p> <p>第14回 Scene 2 (p.67)</p> <p>第15回 後期試験</p>										
教科書	<p>TOP NOTCH TV 1</p> <p>著者: Joan Saslow, Allen Ascher</p> <p>出版社: PEARSON/Longman</p>										

講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎日10分音読すれば聞こえるようになります。 壁は越えられる。頑張ろう！

授業コード	J1514		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営14クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>定期試験 30%</p> <p>授業中の小テスト 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 基本的な「音」の発音練習</p> <p>第 3回 unit 1, scene 1</p> <p>第 4回 unit 1, scene 2</p> <p>第 5回 unit 2, scene 1</p> <p>第 6回 unit 2, scene 2</p> <p>第 7回 unit 3, scene 1</p> <p>第 8回 unit 3, scene 2</p> <p>第 9回 unit 4, scene 1</p> <p>第10回 unit 4, scene 2</p> <p>第11回 unit 5, scene 1</p> <p>第12回 unit 5, scene 2</p> <p>第13回 unit 6, scene 1</p> <p>第14回 unit 6, scene 2</p> <p>第15回 後期試験</p>
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすこ

	とを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	---

担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。
---------	--

授業コード	J1515		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営15クラス)(後)		
担当者名	小橋 薫(コバシ カオル)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>								
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 								
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">小テストの総合得点</td> <td style="text-align: right;">60%</td> </tr> <tr> <td>定期試験の成績</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>提出物</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(全授業の3分の1以上を欠席した場合、評価は「欠席」とする。)</p>	小テストの総合得点	60%	定期試験の成績	10%	提出物	10%	授業への参加態度	20%
小テストの総合得点	60%								
定期試験の成績	10%								
提出物	10%								
授業への参加態度	20%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第 1回 CASEC受験 第 2回 授業方針の説明とリスニング実践 第 3回 Study After School 第 4回 Part-time Jobs & リスニング小テスト 第 5回 Parties & リスニング小テスト 第 6回 Movies & リスニング小テスト 第 7回 Hanging Out & リスニング小テスト 第 8回 前半のまとめのタスク 第 9回 Cyber Friends & リスニング小テスト 第10回 Boyfriends and Girlfriends & リスニング小テスト 第11回 Celebrities & リスニング小テスト 第12回 News & リスニング小テスト 第13回 Travel & リスニング小テスト 第14回 実践的リスニングタスク 第15回 後期試験 								
教科書	Listening Advantage 3								

講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	毎授業のようにDictationの小テストを行います。テキスト付属のCDを自宅でも聞き、しっかりと小テストに備え、ナチュラルな英語の音の変化やスピードに慣れていきましょう。

授業コード	J1516		
授業科目名	基礎英語II(A) (経営16クラス)(後)		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火5限、水・木3限		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	1) 定期試験の成績 50% 2) 小テスト・課題・レポート 30% 3) 授業への参加態度 20% (* 欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 Introduction 第 2回 Chapter 1: Where do I get bus? 第 3回 Chapter 2: Do you have a reservation? 第 4回 Chapter 3: Could you repeat that? 第 5回 Chapter 5: Would you like soup or salad? 第 6回 Chapter 6: Where's the fitting room? 第 7回 REVIEW TEST 1 第 8回 Chapter 7: Would you mind taking my picture? 第 9回 Chapter 8: Good to see you! 第10回 Chapter 9: I enjoyed my stay. 第11回 Chapter 10: Aisle seat, please. 第12回 PRESENTATION 第13回 Chapter 11: You are one of the family now. 第14回 Chapter 12: I want to help! 第15回 REVIEW TEST 2 :後期試験
教科書	Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) Hiroko Oyagi & Timothy Kiggel

参考書・資料	小テスト用英語表現集(授業の最初にプリントを配布します)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	実生活で使える役立つ表現を習得し、使える英語力を伸ばしていきます。 授業中も積極的に参加して、週一回の時間を無駄にしないように取り組んでいきましょう！

授業コード	J1601		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 1クラス)(前)		
担当者名	鷺尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30-17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・講義や宿題への取り組み姿勢 40% 小テスト・前期試験の結果 60%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 Unit 1 Have we met before? Scene 1 第 3回 Unit 1 Have we met before? Scene 2 & Pop song 第 4回 Quiz 1 (Unit 1 Scene 1 & 2) // Unit 2 Have you chosen a movie yet? Scene 1 & Pop song 第 5回 Quiz 2 (Unit 2 Scene 1 & Pop song) // Unit 2 Have you chosen a movie yet? Scene 2 & Interviews 第 6回 Quiz 3 (Unit 2 Scene 2 & Interviews) // Unit 3 Can I take a message? Scene 1 第 7回 Quiz 4 (Unit 3 Scene 1) // Unit 3 Can I take a message? Scene 2 & Interviews 第 8回 Quiz 5 (Units1-3) // Unit 4 What happened to you?! Scene 1 第 9回 Quiz 6 (Unit 4 Scene 1) // Unit 4 What happened to you?! Scene 2 & Pop song 第10回 Quiz 7 (Unit 4 Scene 2 & Pop song) // Unit 5 How about a manicure? Scene 1 & 2 第11回 Quiz 8 (Unit 5 Scene 1 & 2) // Unit 6 Help yourself, everyone! Scene 1 & 2 第12回 Quiz 9 (Unit 6 Scene 1 & 2) // Unit 7 What do you think of this color? Scene 1 & Pop song 第13回 Quiz 10 (Unit 7 Scene 1 Pop song) // Unit 7 What do you think of this color? Scene 2 & Interviews 第14回 Quiz 11 (Unit 7 Scene 2 & Interviews) // Unit 8 Scene 1 & 2

	第15回 前期試験
教科書	Top Notch TV: Video Course 2 Longman
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	必ず毎週カセットテープ(もしくはMD)を用意して下さい。
その他	欠席とみなされる行為 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を読んだりすること 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。 講義中、携帯電話の電源は必ず切して下さい。

授業コード	J1602		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 2クラス)(前)		
担当者名	白木智士(シラキ サトシ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 20% 授業内発表 20% 課題・レポート 25% 出席数 20% 授業への参加態度 15%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第1回CASEC受験 第2回 授業の説明 第3回 Unit 1 第4回Unit 2 第5回Unit 3 第6回Unit 4 第7回Unit 5

	第 8回Unit 6 & Review 第 9回Unit 7 第10回Unit 8 第11回Unit 9 第12回Unit 10 第13回Unit 11 第14回Unit 12 & Review 第15回 前期試験
教科書	"Atlas Video Lab Guide" Cengage Learning
参考書・資料	英和辞書を必ず携帯してください。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1603		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 3クラス)(前)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第2回授業時に改めて説明します。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 ガイダンス、Unit 1: Have we met before? (1) 第 3回 Unit 1: Have we met before? (2) 第 4回 Unit 2: Have you chosen a movie yet? (1)</p>

	第 5回 Unit 2: Have you chosen a movie yet? (2) 第 6回 Unit 3: Can I take a message? (1) 第 7回 Unit 3: Can I take a message? (2) 第 8回 中間試験 第 9回 Unit 4: What happened to you?! (1) 第10回 Unit 4: What happened to you?! (2) 第11回 Unit 5: How about a manicure? (1) 第12回 Unit 5: How about a manicure? (2) 第13回 Unit 6: Help yourself, everyone! (1) 第14回 Unit 6: Help yourself, everyone! (2) 第15回 前期試験
教科書	書名: Top Notch TV Video Course 2 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1604		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 4クラス)(前)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験 30% 小テスト 40% 授業への参加態度 30% (欠席が授業時間の3分の1を越えると評価は「欠席」とします。)

講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 基本的な「音」の発音練習 第 3回 Unit 1 Getting know you 第 4回 Unit 1 Getting know you 第 5回 Unit 2 Dinner Invitation 第 6回 Unit 2 Dinner Invitation 第 7回 Unit 3 Supermarket 第 8回 Unit 3 Supermarket 第 9回 Unit 4 The Audition 第10回 Unit 4 The Audition 第11回 Unit 5 Let's take a vacation 第12回 Unit 5 Let's take a vacation 第13回 Unit 6 May I help you? 第14回 Unit 7 How was your weekend? 第15回 前期試験
教科書	Atlas Video Lab Guide A
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	何事にも王道なんてありません。コツコツ取り組む事が一番の近道と言えるでしょう。ジャンルは何でも構わないので、とにかく毎日10分、英語を聴きましょう。

授業コード	J1605		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 5クラス)(後)		
担当者名	鷲尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30-17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・講義や宿題への取り組み姿勢 40% 小テスト・後期試験の結果 60%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 Episode 1 A Clean Sweep (1)

	第 2回 Episode 1 A Clean Sweep (2) 第 3回 Quiz 1 (Episode 1) // Episode 1 A Clean Sweep (3) 第 4回 Quiz 2 (Episode 1) // Episode 2 A Perfect Day (1) 第 5回 Quiz 3 (Episode 2) // Episode 2 A Perfect Day (2) 第 6回 Quiz 4 (Episode 2) // Episode 3 A Picture of Health (1) 第 7回 Quiz 5(Episode 3) // Episode 3 A Picutre of Health (2) 第 8回 Quiz 6 (Episodes1-3) // Episode 4 Not Working Out (1) 第 9回 Quiz 7 (Episode 4) // Episode 4 Not Working Out (2) 第10回 Quiz 8 (Episode 4) // Episode 5 A Dog's Tale (1) 第11回 Quiz 9 (Episode 5) // Episode 5 A Dog's Tale (2) 第12回 Quiz 10 (Episode 5) // Episode 6 A Brief Encounter (1) 第13回 Quiz 11 (Episode 6) // Episode 6 A Brief Encounter (2) 第14回 Episode 6 A Brief Encounter (3) 第15回 後期試験
教科書	New Headway Video Pre-Intermediate Oxford
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	必ず毎週カセットテープ(もしくはMD)を用意して下さい。
その他	欠席とみなされる行為 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を讀んだりすること 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。 講義中、携帯電話の電源は必ず切して下さい。

授業コード	J1606		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 6クラス)(後)		
担当者名	白木智士(シラキ サトシ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。

成績評価	定期試験の成績 20% 授業内発表 20% 課題・レポート 25% 出席数 20% 授業への参加態度 15%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第1回CASEC受験 第2回 授業の説明 & Unit 1 第3回 Unit 2 第4回Unit 3 第5回Review 1-3 第6回Unit 4 第7回Unit 5 第8回Unit 6 第9回Review 4-6 第10回Unit 7 第11回Unit 8 第12回Unit 9 第13回Review 7-9 第14回全体のまとめ 第15回 前期試験
教科書	"Sounds Good Book 2" Longman
参考書・資料	英和辞書を必ず携帯してください。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1607		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 7クラス)(後)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢な

	<p>どが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p>出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第1回授業時に改めて説明します。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 2回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 3回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 5回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2) 第 7回 中間試験 第 8回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (2) 第10回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第12回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (2) 第14回 Unit 7: Which dress do you like better? 第15回 後期試験</p>
教科書	<p>書名: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman</p>
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1608		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 8クラス)(後)		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners

	・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	定期試験 30% 授業中の小テスト 40% 授業への参加態度 30% (欠席が授業回数の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 基本的な「音」の発音練習 第 3回 unit 1, scene 1 第 4回 unit 1, scene 2 第 5回 unit 2, scene 1 第 6回 unit 2, scene 2 第 7回 unit 3, scene 1 第 8回 unit 3, scene 2 第 9回 unit 4, scene 1 第10回 unit 4, scene 2 第11回 unit 5, scene 1 第12回 unit 5, scene 2 第13回 unit 6, scene 1 第14回 unit 6, scene 2 第15回 後期試験
教科書	Top Notch TV 1
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	リスニング能力を伸ばすためには、ピアノなどのお稽古事と同じで練習時間に比例します。何事にも王道などありません。「毎日10分英語を聴く」を実行してごらん下さい。英語を聴くのが楽しくなることでしょう。

授業コード	J1609		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能 9クラス)(前)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm

講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。 出席・平常点 40% 試験 60% * 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。 詳細は第2回授業時に改めて説明します。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 3回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 5回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 7回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2) 第 8回 中間試験 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第10回 Unit 4: Where are the tickets? (2) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第12回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第14回 Unit 6: I'm getting in shape. (2) 第15回 前期試験
教科書	書名: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1610		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能10クラス)(前)		
担当者名	竹中美奈子(タケナカ ミナコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。		

	The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通りです。</p> <p>定期試験の成績 25%</p> <p>小テストの成績 75%</p> <p>但し、以下の点について注意して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。 2. 13時5分で出欠をとります。この時点で欠席であれば欠席扱いになります。遅刻は認めません 但し、体調不良等の理由があるときは必ず申し出て下さい。 3. 授業への参加態度が悪い場合(例えば、授業時間内の私語)は減点の対象になります。
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験</p> <p>第 2回 オリエンテーション,Unit 1(1)</p> <p>第 3回 Unit 1(2)</p> <p>第 4回 Unit 2(1)</p> <p>第 5回 Unit 2(2)</p> <p>第 6回 Unit 3</p> <p>第 7回 Unit 4</p> <p>第 8回 Unit 5</p> <p>第 9回 Unit 6</p> <p>第10回 Unit 7</p> <p>第11回 Unit 8</p> <p>第12回 Unit 9</p> <p>第13回 Unit 10</p> <p>第14回 Unit 11</p> <p>第15回 前期試験</p>
教科書	<p>Campus Encouters (マクミラン ランゲージハウス)</p> <p>授業ではテープまたはMDを使用するので、必ずどちらかを持って来て下さい。</p>
参考書・資料	特にありません
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	授業の最初の頃は戸惑うこともあると思いますが、真摯な態度で臨めば結果は出てくると思います。間違いを恐れずに積極的に授業に参加して下さい。また、疑問や質問があれば放置せずに必ず質問して下さい。

授業コード	J1611		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能11クラス)(前)		
担当者名	榎本恭弘(エノモト ヤスヒロ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) テキストの予習と発表 10% (2) 授業への参加度 10% (3) 小テストの成績 10% (4) 課題レポート 10% (5) 期末試験結果 60% 		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション 第 3回 Names and Titles 第 4回 Describing People 第 5回 Clothes 第 6回 Times 第 7回 Dates 第 8回 Jobs 第 9回 Sports and Exercise 第10回 Locations 第11回 The Family 第12回 Entertainment 第13回 Prices 第14回 Restaurants 第15回 前期試験</p>		
教科書	『Tactics for Listening 2nd Edition: Basic Student Book with CD』 Jack C. Richards (Oxford大学出版) 2400円		
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		

授業コード	J1612		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能12クラス)(前)		
担当者名	石田久美子(イシダ クミコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>		
成績評価	<p>授業での提出物 60%</p> <p>期末テスト 40%</p>		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション 第 3回 Chapter1 Getting Information 第 4回 Chapter2 Checking in at a Hotel 第 5回 Chapter3 Asking for Directions 第 6回 Chapter4 Renting a Car 第 7回 Chapter5 Ordering a Meal/Chapter6 Shopping for Clothes 第 8回 Chapter7 Asking for a Favor/Chapter8 Meeting a Friend 第 9回 Chapter9 Checking out of a Hotel/Chapter10 Expressing Preference 第10回 Chapter11 Homestay/Chapter12 Offering to Help 第11回 Chapter13 Self-Introduction/Chapter14 Getting Advice 第12回 Chapter15 Checking out a Book/Chapter16 Opening a Bank Account 第13回 Chapter17 Sending a Package/Chapter18 Inviting a Friend 第14回 Chapter 19 Buying Medicine/Chapter 20 Saying Good-bye 第15回 前期試験</p>		
教科書	<p>Viva! San Francisco -Video Approach to Survival English- Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (マクミラン)</p>		
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>		
担当者から一言	<p>はじめをつけた上で、楽しい授業にしていきたいと思います。</p>		
その他	<p>注意事項</p> <p>* 欠席は全授業回数の1/3まで。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。欠席の多い人のみ、期末に申し出てください。</p>		

	<p>* 理由の無い遅刻(出席を取ったあとの入室)は、欠席とみなされます。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。早めに申し出てください。</p> <p>* 以下にあてはまる場合、欠席となり、提出物の点数も削除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻。 ・忘れ物(テキスト(コピー可)・カセットテープ・辞書)。 ・授業中の私語、居眠り、携帯使用、ペアワークへの不参加その他、迷惑行為。 ・後片付けができていない(ヘッドフォン、椅子、ごみ等) <p>* テキストを忘れた場合→クラスメートに借りて、「授業時間までに」コピーする。</p> <p>* テープを忘れた場合→売店等で購入する。</p> <p>* 辞書を忘れた場合→借りるなどして、用意する。</p>
--	--

授業コード	J1613		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能13クラス)(後)		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は中間試験と期末試験の2回行います。配点の割合は以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点 40% 試験 60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(10回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第1回授業時に改めて説明します。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 ガイダンス、Unit 1: Introduce me! (1) 第 2回 Unit 1: Introduce me! (2) 第 3回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (1) 第 4回 Unit 2: There's a great movie playing at the Glenwood. (2) 第 5回 Unit 3: My family is coming in one hour! (1) 第 6回 Unit 3: My family is coming in one hour! (2) 第 7回 中間試験 第 8回 Unit 4: Where are the tickets? (1) 第 9回 Unit 4: Where are the tickets? (2)</p>

	第10回 Unit 5: What's in the salad? (1) 第11回 Unit 5: What's in the salad? (2) 第12回 Unit 6: I'm getting in shape. (1) 第13回 Unit 6: I'm getting in shape. (2) 第14回 Unit 7: Which dress do you like better? 第15回 後期試験
教科書	書名: Top Notch TV Video Course 1 著者: Joan Saslow & Allen Ashcer 出版社: Pearson Longman
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。

授業コード	J1614		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能14クラス)(後)		
担当者名	竹中美奈子(タケナカ ミナコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通りです 定期試験の成績 30% 小テストの成績 50% 課題 20% 但し、以下の点について注意して下さい 1. 欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」になります 2. 13時5分に出席をとります。この時点で欠席であれば欠席扱いになります。遅刻は認めません 但し、体調不良等の理由があるときは必ず申し出て下さい。 3. 授業への参加態度が悪い場合(例えば、授業時間内の私語)、減点の対象になります。

講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 オリエンテーション、Lesson 1 第 2回 Lesson 2(1) 第 3回 Lesson 2(2) 第 4回 Lesson 3 第 5回 Lesson 4 第 6回 Lesson 5 第 7回 Lesson 6 第 8回 Lesson 7 第 9回 Lesson 9 第10回 Lesson 10 第11回 Lesson 11 第12回 Lesson 12 第13回 Lesson 13 第14回 Lesson 14 第15回 後期試験
教科書	Daily English (金星堂) 授業では音声を録音するために、テープまたはMDを必ず持って来て下さい
参考書・資料	特にありません
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	授業当初は戸惑うこともあると思いますが、間違うことを嫌がらず真摯な態度で授業に臨んでください。自分が努力した分結果としてあらわれると思います。皆さんの頑張りを期待しています。また、疑問や質問があるときはそのままにしないで、必ず質問して下さい。

授業コード	J1615		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能15クラス)(後)		
担当者名	榎本恭弘(エノモト ヤスヒロ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけでなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。

成績評価	(1)テキストの予習と発表 10% (2)授業への参加度 10% (3)小テストの成績 10% (4)課題レポート 10% (5)期末試験結果 60%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Using Computers 第 3回 Study After School 第 4回 Part-time Jobs 第 5回 Parties 第 6回 Movies 第 7回 Hanging Out 第 8回 Cyber Friends 第 9回 Boyfriends and Girlfriends 第10回 Celebrities 第11回 Health and Body 第12回 News 第13回 Travel 第14回 総復習 第15回 後期試験
教科書	『Listening Advantage 3 : Text with Audio CD』 Tom Kenny (Gengage) 2142円
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1616		
授業科目名	基礎英語II(A) (理工・知能16クラス)(後)		
担当者名	石田久美子(イシダ クミコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。

成績評価	授業での提出物 60% 期末テスト 40%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション 第 3回 Chapter1 Getting Information 第 4回 Chapter2 Checking in at a Hotel 第 5回 Chapter3 Asking for Directions 第 6回 Chapter4 Renting a Car 第 7回 Chapter5 Ordering a Meal/Chapter6 Shopping for Clothes 第 8回 Chapter7 Asking for a Favor/Chapter8 Meeting a Friend 第 9回 Chapter9 Checking out of a Hotel/Chapter10 Expressing Preference 第10回 Chapter11 Homestay/Chapter12 Offering to Help 第11回 Chapter13 Self-Introduction/Chapter14 Getting Advice 第12回 Chapter15 Checking out a Book/Chapter16 Opening a Bank Account 第13回 Chapter17 Sending a Package/Chapter18 Inviting a Friend 第14回 Chapter 19 Buying Medicine/Chapter 20 Saying Good-bye 第15回 前期試験
教科書	Viva! San Francisco -Video Approach to Survival English- Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (マクミラン)
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	はじめをつけた上で、楽しい授業にしていきたいと思います。
その他	注意事項 * 欠席は全授業回数の1/3まで。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。欠席の多い人のみ、期末に申し出て下さい。 * 理由の無い遅刻(出席を取ったあとの入室)は、欠席とみなされます。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。早めに申し出て下さい。 * 以下にあてはまる場合、欠席となり、提出物の点数も削除されます。 ・遅刻。 ・忘れ物(テキスト(コピー可)・カセットテープ・辞書)。 ・授業中の私語、居眠り、携帯使用、ペアワークへの不参加その他、迷惑行為。 ・後片付けができていない(ヘッドフォン、椅子、ゴミ等) * テキストを忘れた場合→クラスメートに借りて、「授業時間までに」コピーする。 * テープを忘れた場合→売店等で購入する。 * 辞書を忘れた場合→借りるなどして、用意する。

授業コード	J1701		
授業科目名	基礎英語II(A) (留P 文経 1クラス)(前)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to:

	<ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 								
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<p>Note: Although Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB appear as separate classes on your schedule, we will practice listening and speaking on both days and the grades for Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB are combined.</p> <table> <tr> <td>Participation and effort</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>In-class quizzes</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td>10%</td> </tr> </table> <p>(Absences and lateness will negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 total absences--Kiso Eigo IIA and IIB combined--will not receive credit for this course.)</p>	Participation and effort	40%	In-class quizzes	20%	Final exam	30%	Homework	10%
Participation and effort	40%								
In-class quizzes	20%								
Final exam	30%								
Homework	10%								
講義構成	<p>Composition of Classes</p> <p>Note: The following schedule is for both Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB.</p> <p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Class 3, 4 & 5 Unit 1 'Please call me Beth'</p> <p>Class 6, 7 & 8 Unit 2 'How do you spend your day?'</p> <p>Class 9, 10 & 11 Unit 3 'How much is it?'</p> <p>Class 12, 13 & 14 Unit 4 'Do you like rap?'</p> <p>Class 15 Review of Units 1 to 4</p> <p>Class 16, 17 & 18 Unit 5 'Tell me about your family'</p> <p>Class 19, 20 & 21 Unit 6 'How often do you exercise?'</p> <p>Class 22, 23, & 24 Unit 7 'We had a great time!'</p> <p>Class 25, 26 & 27 Unit 8 'What's your neighborhood like?'</p> <p>Class 28 Review of Units 5 to 8</p> <p style="text-align: center;">FINAL EXAM</p>								
教科書	Interchange Student's Book 1A, Third Edition (Cambridge)								
参考書・資料	Please bring a dictionary and notebook to every class.								
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。								
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together and getting to know each of you. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience! Good luck with all of your classes this year at Konan University!								

授業コード	J1702		
授業科目名	基礎英語II(A) (留P 文経 2クラス)(前)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	1

開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限								
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。										
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>										
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 										
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 										
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>										
成績評価	<p>Note: Although Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB appear as separate classes on your schedule, we will practice listening and speaking on both days and the grades for Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB are combined.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>In-class quizzes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>(Absences and lateness will negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 total absences--Kiso Eigo IIA and IIB combined--will not receive credit for this course.)</p>			Participation and effort	40%	In-class quizzes	20%	Final exam	30%	Homework	10%
Participation and effort	40%										
In-class quizzes	20%										
Final exam	30%										
Homework	10%										
講義構成	<p>Composition of Classes</p> <p>Note: The following schedule is for both Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB.</p> <p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Class 3, 4 & 5 Unit 1 'Please call me Beth'</p> <p>Class 6, 7 & 8 Unit 2 'How do you spend your day?'</p> <p>Class 9, 10 & 11 Unit 3 'How much is it?'</p> <p>Class 12, 13 & 14 Unit 4 'Do you like rap?'</p> <p>Class 15 Review of Units 1 to 4</p> <p>Class 16, 17 & 18 Unit 5 'Tell me about your family'</p> <p>Class 19, 20 & 21 Unit 6 'How often do you exercise?'</p> <p>Class 22, 23, & 24 Unit 7 'We had a great time!'</p> <p>Class 25, 26 & 27 Unit 8 'What's your neighborhood like?'</p> <p>Class 28 Review of Units 5 to 8</p> <p style="text-align: center;">FINAL EXAM</p>										
教科書	Interchange Student's Book 1A, Third Edition (Cambridge)										
参考書・資料	Please bring a dictionary and notebook to every class.										
講義関連事項	<p>基礎英語Ⅱ(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>										
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together and getting to know each of you. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience! Good luck with all of your classes this year at										

	Konan University!
--	-------------------

授業コード	J1703		
授業科目名	基礎英語II(A) (留P 文経 3クラス)(前)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>Attendance 10%</p> <p>Participation 10%</p> <p>Assignment 30%</p> <p>Quiz 50%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>Class 1 CASEC受験</p> <p>Class 2 Introduction</p> <p>Class 3. 4. 5 Making friends</p> <p>Class 6. 7. 8 Interests</p> <p>Class 9. 10. 11 Health</p> <p>Class 12. 13. 14 Celebrations</p> <p>Class 15 Midterm</p> <p>Class 16. 17. 18 Growing up</p> <p>Class 19. 20. 21 Around down</p> <p>Class 22. 23. 24 At home</p> <p>Class 25. 26. 27. 28 Things happen</p> <p>Class 29 Final Quiz</p>
教科書	Touchstone 2 (Cambridge) Michael McCarthy, Jeanne McCarten, Helen Sandiford
参考書・資料	N/A
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

授業コード	J1711		
授業科目名	基礎英語II(A) (留P 法営 1クラス)(前)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>																																								
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 																																								
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 																																								
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>																																								
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences will not receive credit for this course.)</p> <p>In the KPP course, performance in Kiso IIA and IIB is considered together when determining grades.</p>	Homework	10%	Participation	20%	Bonus points	20%	Quizzes	30%	Final exam	20%																														
Homework	10%																																								
Participation	20%																																								
Bonus points	20%																																								
Quizzes	30%																																								
Final exam	20%																																								
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">Class 1</td> <td>CASEC placement test</td> </tr> <tr> <td>Class 2&3</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Introduce your partner</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Airplane language</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Immigration</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Bank</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Hotel</td> </tr> <tr> <td>Class 10</td> <td>Directions</td> </tr> <tr> <td>Class 11</td> <td>Around the home</td> </tr> <tr> <td>Class 12</td> <td>Going to the doctor</td> </tr> <tr> <td>Class 13</td> <td>Weekend plans</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Ordering food</td> </tr> <tr> <td>Class 15</td> <td>Family</td> </tr> <tr> <td>Class 16</td> <td>Family</td> </tr> <tr> <td>Class 17</td> <td>Review</td> </tr> <tr> <td>Class 18</td> <td>Talking about Japan</td> </tr> <tr> <td>Class 19</td> <td>Meeting a friend</td> </tr> <tr> <td>Class 20</td> <td>Plans for the day</td> </tr> <tr> <td>Class 21</td> <td>Taking the bus</td> </tr> <tr> <td>Class 22</td> <td>Shopping</td> </tr> </table>	Class 1	CASEC placement test	Class 2&3	Class introduction and orientation	Class 4&5	Introduce your partner	Class 6	Airplane language	Class 7	Immigration	Class 8	Bank	Class 9	Hotel	Class 10	Directions	Class 11	Around the home	Class 12	Going to the doctor	Class 13	Weekend plans	Class 14	Ordering food	Class 15	Family	Class 16	Family	Class 17	Review	Class 18	Talking about Japan	Class 19	Meeting a friend	Class 20	Plans for the day	Class 21	Taking the bus	Class 22	Shopping
Class 1	CASEC placement test																																								
Class 2&3	Class introduction and orientation																																								
Class 4&5	Introduce your partner																																								
Class 6	Airplane language																																								
Class 7	Immigration																																								
Class 8	Bank																																								
Class 9	Hotel																																								
Class 10	Directions																																								
Class 11	Around the home																																								
Class 12	Going to the doctor																																								
Class 13	Weekend plans																																								
Class 14	Ordering food																																								
Class 15	Family																																								
Class 16	Family																																								
Class 17	Review																																								
Class 18	Talking about Japan																																								
Class 19	Meeting a friend																																								
Class 20	Plans for the day																																								
Class 21	Taking the bus																																								
Class 22	Shopping																																								

	Class 23 Shopping Class 24 Post office Class 25 Going out Class 26 Describing a lost item Class 27 Saying goodbye & At the airport Class 28 Review Final exam
教科書	Passport (Oxford)
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1712		
授業科目名	基礎英語II(A) (留P 法営 2クラス)(前)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>												
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 												
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 												
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。												
成績評価	<table border="0"> <tr> <td>Homework</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences will not receive credit for this course.)</p> <p>In the KPP course, performance in Kiso IIA and IIB is considered together when determining grades.</p>			Homework	10%	Participation	20%	Bonus points	20%	Quizzes	30%	Final exam	20%
Homework	10%												
Participation	20%												
Bonus points	20%												
Quizzes	30%												
Final exam	20%												
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table border="0"> <tr> <td>Class 1</td> <td>CASEC placement test</td> </tr> <tr> <td>Class 2&3</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Introduce your partner</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Airplane language</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Immigration</td> </tr> </table>			Class 1	CASEC placement test	Class 2&3	Class introduction and orientation	Class 4&5	Introduce your partner	Class 6	Airplane language	Class 7	Immigration
Class 1	CASEC placement test												
Class 2&3	Class introduction and orientation												
Class 4&5	Introduce your partner												
Class 6	Airplane language												
Class 7	Immigration												

	Class 8 Bank Class 9 Hotel Class 10 Directions Class 11 Around the home Class 12 Going to the doctor Class 13 Weekend plans Class 14 Ordering food Class 15 Family Class 16 Family Class 17 Review Class 18 Talking about Japan Class 19 Meeting a friend Class 20 Plans for the day Class 21 Taking the bus Class 22 Shopping Class 23 Shopping Class 24 Post office Class 25 Going out Class 26 Describing a lost item Class 27 Saying goodbye & At the airport Class 28 Review Final exam
教科書	Passport (Oxford)
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J1801		
授業科目名	基礎英語II(A) (再履修 1クラス)(前)		
担当者名	沖野泰子(オキノ ヤスコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>

成績評価	<p>原則として以下のように評価の予定。</p> <p>出席: 20% 課題: 30% 小テスト: 30% 定期テスト: 20%</p> <p>(欠席が授業回数の3分の1になった場合、成績評価の対象外になります)。</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 オリエンテーション Log 説明 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 2 第 5回 Unit 3 第 6回 Unit 4 小テスト 第 7回 Unit 5 第 8回 Unit 6 第 9回 Unit 7 第10回 Unit 8 第11回 Unit 9 小テスト 第12回 Unit 10 第13回 Unit 11 第14回 Unit 12 第15回 前期試験</p>
教科書	Susan Stempleski他, World Link Highlighted Special Edition Book 1 (センゲージ・ラーニング)
参考書・資料	Listening Logを行うための参考資料を最初の授業で詳しく指示します。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	英語が苦手でも、学校に出てくるのがしんどくても、どうしても卒業するために避けて通れない道(?)が必修の英語です。このクラスは4時限ですから、起きられないこともないはず。休みたいという心や「帰ろうや」と言う友人の誘惑にも打ち勝って、先ずは休まず出席しましょう。それからテキストは必ず用意してください。教室に来て、ずっとただ座っているだけなんて、時間ももったいないですから。そうして授業に参加していれば、少しずつペースもつかめてきます。
---------	--

授業コード	J1802		
授業科目名	基礎英語II(A) (再履修 2クラス)(後)		
担当者名	沖野泰子(オキノ ヤスコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and

	important information of spoken messages <ul style="list-style-type: none"> • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	原則として以下のように評価の予定。 出席:20% 課題:30% 小テスト:30% 定期テスト:20% (欠席が授業回数の3分の1になった場合、成績評価の対象外になります)。
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第1回 オリエンテーション Log 説明 第2回 Unit 1 第3回 Unit 2 第4回 Unit 3 第5回 Unit 4 小テスト 第6回 Unit 5 第7回 Unit 6 第8回 Unit 7 第9回 Unit 8 第10回 Unit 9 小テスト 第11回 Unit 10 第12回 Unit 11 第13回 Unit 12 第14回 Further Listening 第15回 後期試験
教科書	Susan Stempleski他, World Link Highlighted Special Edition Book 1 (センゲージ・ラーニング)
参考書・資料	Listening Logを行うための参考資料について最初の授業で指示します。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	英語が苦手でも、学校に出てくるのがしんどくても、どうしても卒業するために避けて通れない道(?)が必修の英語です。このクラスは4時限ですから、起きられないこともないはず。休みたいという心や「帰ろうや」と言う友人の誘惑にも打ち勝って、まずは休まず出席しましょう。それからテキストは必ず用意してください。教室に来て、ずっとただ座っているだけなんて、時間ももったいないですから。そうして授業に参加していれば、少しずつペースもつかめてきます。

授業コード	J1803		
授業科目名	基礎英語II(A) (再履修 3クラス)(後)		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>								
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 								
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 								
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>								
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">定期試験</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>	定期試験	30%	小テスト	30%	授業への参加態度	20%	出席	20%
定期試験	30%								
小テスト	30%								
授業への参加態度	20%								
出席	20%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 Orientation 第 2回 Pronunciation instruction 第 3回 SELECTION UNIT 第 4回 SELECTION UNIT 第 5回 SELECTION UNIT 第 6回 SELECTION UNIT 第 7回 SELECTION UNIT 第 8回 SELECTION UNIT 第 9回 SELECTION UNIT 第10回 SELECTION UNIT 第11回 SELECTION UNIT 第12回 SELECTION UNIT 第13回 SELECTION UNIT 第14回 APPLICATION 第15回 後期試験</p>								
教科書	World Link BOOK 1 Developing English Fluency								
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>								
担当者から一言	<p>World Link BOOK 1 はとても良い4技能—Listening, Speaking(both of the two skills are very important for pronunciation), Writing, and Reading —が楽しめるtextbookです。楽しく、しかも確実に役立つ英語力を身につけていきましょう！</p>								

授業コード	J1901		
授業科目名	基礎英語II(A) (SPORT 1クラス)(前)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	1

開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>		
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。 		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	出席・受講態度・課題の消化:50% 小テストおよび期末試験:50%		
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験</p>		
教科書	Top Notch TV Fundamentals Longman		
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。		
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		
担当者から一言	半期の間に10回前後の小テストを行う予定。従って欠席が多くなると得点が低くなるので注意すること。		

授業コード	J1902		
授業科目名	基礎英語II(A) (SPORT 2クラス)(後)		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話されるときに音がどう変化するのか学習する。 The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.
到達目標	基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。 In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages • practice listening for specific information • recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	出席・受講態度・課題の消化:50% 小テストおよび期末試験:50%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 CASEC受験 第 2回 受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験
教科書	Top Notch TV Fundamentals Longman
参考書・資料	必要に応じて授業中に指示する。
講義関連事項	基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	半期の間に10回前後の小テストを行う予定。従って欠席が多くなると得点が低くなるので注意すること。

授業コード	J1903		
授業科目名	基礎英語II(A) (SPORT 3クラス)(後)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	学習者の先行知識を生かして実際に話される英語を聞き取り、内容を理解する能力を養う。英語が実際に話さ
-------	---

	<p>れるときに音がどう変化するのか学習する。</p> <p>The main purpose of this course is to improve student's ability to understand conversations spoken at natural speeds. Students will also begin to listen to additional types of spoken messages such as short news stories or documentary reports.</p>
到達目標	<p>基礎的英語聴解力の向上を目指し、日常会話レベルの英語が不自由なく聞き取れることを目標とする。</p> <p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn listening strategies that will help them follow conversations in order to understand the main idea and important information of spoken messages ・ practice listening for specific information ・ recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>(1)テスト50%(2)Listening Log 30% (3)出席点 10%、(4)授業への参加 10%</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 CASEC受験 第 2回 Orientation Pre-test 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 2 第 5回 Quiz#1 Listening Activity 第 6回 Unit 3 第 7回 Unit 4 第 8回 Quiz#2 Listening Activity 第 9回 Unit 5 第10回 Unit 6 第11回 Quiz#3 Listening Activity 第12回 Unit 7 第13回 Unit 8 第14回 Review Post-test 第15回 前期試験</p>
教科書	<p>TOP NOTCH TV (FUNDAMENTALS)- Saslow & Ascher</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(A)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>Listening Logというアサメントを通して、常日頃英語に慣れ親しむように望んでいます。リスニング力をアップできるように自ら進んでいろんな英語にふれてください もう高校生ではありませんので、自分の意見や考えを発表するように努力してください。英語でディスカッションもします。積極的に参加するよう期待しています。1年間、いっしょに楽しく授業に参加しましょう</p>

授業コード	J2101		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 1クラス)(後)		
担当者名	マック(マック トーマス M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。		

	The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 40% Assignments and homework 30% Discussion leader activity 10% Final exam 20% (Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.)
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions Class 3 Unit 7: Going away Class 4 Unit 7: Going away Class 5 Unit 8: At home Class 6 Unit 8: At home Class 7 Unit 9: Things happen Class 8 Unit 9: Things happen Class 9 Unit 10: Communication Class 10 Unit 10: Communication Class 11 Unit 11: Appearances Class 12 Unit 11: Appearances Class 13 Unit 12: Looking ahead Class 14 Unit 12: Looking ahead Final Exam
教科書	Touchstone 2B (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	English ? use it or lose it!
ホームページタイトル	Mach's Website
URL	http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~mach

授業コード	J2102
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(B) (文 2クラス)(後)		
担当者名	ウイリス(ウイリス テレンス D.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>		
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 		
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	<p>Participation 20%</p> <p>Quizzes 40%</p> <p>Final Exam 40%</p> <p>The number of times a student is absent will negatively affect the participation grade. In most cases, students who are absent 5 times or more will not receive credit for the course. .]</p>		
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Orientation. Begin Unit 1, Conversations 1 & 2.</p> <p>Class 3 Grammar Focus: Wh-questions and statements with be. Conversation 3 & Grammar Focus: Yes/No questions and short answers with be.</p> <p>Class 4 Unit 2, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Present & Wh-questions and statements.</p> <p>Class 5 Units 1 & 2 Progress Check. Unit 3, Conversation 1. Grammar Focus: Demonstratives; one, ones.</p> <p>Class 6 Unit 3, Conversation 2. Grammar Focus: Preferences; comparisons with adjectives.</p> <p>Class 7 Unit 4, Conversation 1. Grammar Focus: Yes/No and Wh-questions with do.</p> <p>Class 8 Unit 4, Conversation 2. Grammar Focus: Would; verb+to+verb.</p> <p>Class 9 Units 3 & 4 Progress Check. Unit 5, Conversation 1. Grammar Focus: Present Continuous.</p> <p>Class10 Unit 5, Conversation 2. Grammar Focus: Quantifiers.</p> <p>Class11 Unit 6, Conversation 1, Grammar Focus: Adverbs of Frequency.</p> <p>Class12 Unit 6, Conversation 2. Grammar Focus: Questions with how; short answers.</p> <p>Class13 Units 5 & 6 Progress Check. Unit 7, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Past.</p> <p>Class14 Unit 7, Conversation 2. Grammar Focus: Past of be.</p> <p>Class15 Final oral test preparation.</p>		
教科書	Interchange Third Edition Student Book 1A (Cambridge)		
参考書・資料	Please bring a dictionary to our classes.		
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		

担当者から一言	This course provides a good opportunity to review and build on your basic English skills. I trust everyone will do their best to make the class an enjoyable and productive learning experience.
---------	--

授業コード	J2103		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 3クラス)(後)		
担当者名	ウエスト(ジェームズ F. ウエスト)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Your grade will be based on your attendance, participation and a final exam.</p> <p>attendance 25%</p> <p>participation 25%</p> <p>test 50%</p> <p>(Absence and lateness negatively affect your grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for the course.)</p>
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Class Introduction</p> <p>Class 3 Introductions; greetings; names, countries</p> <p>Class 4 "</p> <p>Class 5 Jobs; workplaces; daily schedules</p> <p>Class 6 "</p> <p>Class 7 Shopping and prices; clothing and materials</p> <p>Class 8 "</p> <p>Class 9 Music; movies and Tv programs</p> <p>Class10 "</p> <p>Class11 Families</p> <p>Class12 "</p> <p>Class13 Sports and exercise</p> <p>Class14 The neighborhood; stores and places in a city</p> <p>Class15 Final exam</p>

教科書	Interchange 1A (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge University Press
参考書・資料	Please bring a dictionary, a notebook and a file for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	As your teacher, I will give you learning opportunities and materials, but you must come to class with a good attitude and a desire to do your best every class.

授業コード	J2104		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 4クラス)(後)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.								
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>15%</td> </tr> </table>	Participation	50%	Homework	20%	Presentation	15%	Final exam	15%
Participation	50%								
Homework	20%								
Presentation	15%								
Final exam	15%								
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introductions Class 2 Family & friends Class 3 Family & friends Class 4 Lifestyles Class 5 Lifestyles Class 6 Work Class 7 Work Class 8 Having fun Class 9 Having fun Class 10 Shopping								

	Class11 Shopping Class12 Looking back Class13 Looking back Class14 Review Class15 Final exam
教科書	English Upgrade 2 (Macmillan)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2105		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 5クラス)(前)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 40% Homework 30% Tests and exam 30%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Course introduction Class 3 Unit 1: Making friends Class 4 Unit 1: Making friends Class 5 Unit 2: Interests Class 6 Unit 2: Interests Class 7 Unit 3: Health Class 8 Unit 3: Health Class 9 Unit 4: Celebrations Class10 Unit 4: Celebrations Class11 Unit 5: Growing up Class12 Unit 5: Growing up

	Class13 Unit 6: Around town Class14 Unit 6: Around town Class15 Final exam
教科書	McCarthy, McCarten, and Sandiford: Touchstone 2A (Cambridge)
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Effort and active participation are important for you and the other students in this communication course.

授業コード	J2106		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 6クラス)(前)		
担当者名	ウイリス(ウイリス テレンス D.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 20% Quizzes 40% Final Exam 40% The number of times a student is absent will negatively affect the participation grade. In most cases, students who are absent 5 times or more will not receive credit for the course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Orientation. Begin Unit 1, Conversations 1 & 2. Class 3 Grammar Focus: Wh-questions and statements with be. Conversation 3 & Grammar Focus: Yes/No questions and short answers with be. Class 4 Unit 2, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Present & Wh-questions and statements. Class 5 Units 1 & 2 Progress Check. Unit 3, Conversation 1. Grammar Focus: Demonstratives; one, ones. Class 6 Unit 3, Conversation 2. Grammar Focus: Preferences; comparisons with adjectives. Class 7 Unit 4, Conversation 1. Grammar Focus: Yes/No and Wh-questions with do.

	Class 8 Unit 4, Conversation 2. Grammar Focus: Would; verb+to+verb. Class 9 Units 3 & 4 Progress Check. Unit 5, Conversation 1. Grammar Focus: Present Continuous. Class10 Unit 5, Conversation 2. Grammar Focus: Quantifiers. Class11 Unit 6, Conversation 1, Grammar Focus: Adverbs of Frequency. Class12 Unit 6, Conversation 2. Grammar Focus: Questions with how; short answers. Class13 Units 5 & 6 Progress Check. Unit 7, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Past. Class14 Unit 7, Conversation 2. Grammar Focus: Past of be. Class15 Final oral test preparation.
教科書	Interchange Third Edition Student Book 1A (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary to each class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	This course provides a good opportunity to review and build on your basic English skills. I trust everyone will do their best to make the class an enjoyable and productive learning experience.

授業コード	J2107		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 7クラス)(前)		
担当者名	ウエスト(ジェームズ F. ウエスト)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Your grade will be based on your attendance, participation and a final exam. attendance 25% participation 25% test 50% (Absence and lateness negatively affect your grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for the course.)
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.

	Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Introduction Class 3 Introductions; greetings; names, countries Class 4 " Class 5 Jobs; workplaces; daily schedules Class 6 " Class 7 Shopping and prices; clothing and materials Class 8 " Class 9 Music; movies and Tv programs Class10 " Class11 Families Class12 " Class13 Sports and exercise Class14 The neighborhood; stores and places in a city Class15 Final exam
教科書	Interchange 1A (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge University Press
参考書・資料	Please bring a dictionary, a notebook and a file for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	As your teacher, I will give you learning opportunities and materials, but you must come to class with a good attitude and a desire to do your best every class.

授業コード	J2108		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 8クラス)(前)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%

	Homework 20% Presentaion 15% Final exam 15%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Greetings Class 3 Jobs Class 4 Jobs Class 5 Food & drink Class 6 Food & drink Class 7 Review Class 8 Sport Class 9 Sport Class10 Daily life Class11 Daily life Class12 Problems Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2109		
授業科目名	基礎英語II(B) (文 9クラス)(後)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50% Homework 20%

	Presentation 15% Final exam 15%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Greetings Class 2 Greetings Class 3 Jobs Class 4 Jobs Class 5 Food & drink Class 6 Food & drink Class 7 Review Class 8 Sport Class 9 Sport Class10 Daily life Class11 Daily life Class12 Problems Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2110		
授業科目名	基礎英語II(B) (文10クラス)(後)		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 20% Assignments & Homework 20% Quizzes 20%

	Speaking Assessments 30% Final Exam 10%
	Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introduction Class 2 Clothes & comparisons Class 3 Clothes & comparisons Class 4 Appearance & personality Class 5 Appearance & personality Class 6 Cities & local attractions Class 7 Cities & local attractions Class 8 Around town Class 9 Around town Class 10 The future Class 11 The future Class 12 Vacations & vacation activities Class 13 Vacations & vacation activities Class 14 Preparation for final exam Final exam
教科書	Smart Choice Student Book 1B (Oxford)
参考書・資料	Students will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.
講義関連事項	基礎英語Ⅱ(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.

授業コード	J2111		
授業科目名	基礎英語Ⅱ(B) (文11クラス)(後)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)

講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introductory class and get to know you Class 2 Questions to teacher and discussion Class 3 Unit 1 Meeting People Class 4 Unit 2 Family and friends Class 5 Unit 3 Lifestyles Class 6 Unit 4 Work and Occupations Class 7 Unit 5 Entertainment and schedules Class 8 Unit 7 Shopping Class 9 Unit 8 Past Tense Class10 Unit 9 Life Experiences Class11 Unit 10 Directions Class12 Unit 11 Future Tense Class13 Review Class14 Group Activity Class15 Final exam
教科書	New English Upgrade 2 (Macmillan)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Please bring a dictionary
---------	---------------------------

授業コード	J2112		
授業科目名	基礎英語II(B) (文12クラス)(後)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。

準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Classwork: 50% Assignments and homework: 20% Conversation test: 15% Final exam: 15% Absences and lateness negatively affect the classwork grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1: Introductions Class 2: Conversations: Greetings and endings Class 3: Conversation: transitions Class 4: Formal conversations Class 5: Casual conversations Class 6: Talking about food Class 7: Daily activities Class 8: Daily activities Class 9: Past activities Class 10: Past activities Class 11: Giving instructions Class 12: Wh- questions Class 13: Conversation test Class 14: Future plans Class 15: Final exam
教科書	No textbook is required.
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Only English in the classroom!

授業コード	J2113		
授業科目名	基礎英語II(B) (文13クラス)(前)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions

	<ul style="list-style-type: none"> • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>Assignments & homework</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>15%</td> </tr> </table>	Participation	50%	Assignments & homework	20%	Presentation	15%	Final exam	15%
Participation	50%								
Assignments & homework	20%								
Presentation	15%								
Final exam	15%								
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Greetings</p> <p>Class 3 Jobs</p> <p>Class 4 Jobs</p> <p>Class 5 Food & drink</p> <p>Class 6 Food & drink</p> <p>Class 7 Review</p> <p>Class 8 Sport</p> <p>Class 9 Sport</p> <p>Class10 Daily life</p> <p>Class11 Daily life</p> <p>Class12 Problems</p> <p>Class13 Problems</p> <p>Class14 Review</p> <p>Class15 Final exam</p>								
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)								
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。								

授業コード	J2114		
授業科目名	基礎英語II(B) (文14クラス)(前)		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic

	expressions, pronunciation and intonation) <ul style="list-style-type: none"> practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 																														
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。																														
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。																														
成績評価	<table border="0"> <tr> <td>Participation</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Assignments & Homework</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Speaking Assessments</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td>10%</td> </tr> </table> <p>Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.</p>	Participation	20%	Assignments & Homework	20%	Quizzes	20%	Speaking Assessments	30%	Final Exam	10%																				
Participation	20%																														
Assignments & Homework	20%																														
Quizzes	20%																														
Speaking Assessments	30%																														
Final Exam	10%																														
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table border="0"> <tr> <td>Class 1</td> <td>CASEC placement test</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Introduction</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Appearance & personality</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Appearance & personality</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Cities & local attractions</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Cities & local attractions</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Around town</td> </tr> <tr> <td>Class10</td> <td>Around town</td> </tr> <tr> <td>Class11</td> <td>The future</td> </tr> <tr> <td>Class12</td> <td>The future</td> </tr> <tr> <td>Class13</td> <td>Vacations & vacation activities</td> </tr> <tr> <td>Class14</td> <td>Vacations & vacation activities</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Final exam</td> </tr> </table>	Class 1	CASEC placement test	Class 2	Introduction	Class 3	Clothes & comparisons	Class 4	Clothes & comparisons	Class 5	Appearance & personality	Class 6	Appearance & personality	Class 7	Cities & local attractions	Class 8	Cities & local attractions	Class 9	Around town	Class10	Around town	Class11	The future	Class12	The future	Class13	Vacations & vacation activities	Class14	Vacations & vacation activities		Final exam
Class 1	CASEC placement test																														
Class 2	Introduction																														
Class 3	Clothes & comparisons																														
Class 4	Clothes & comparisons																														
Class 5	Appearance & personality																														
Class 6	Appearance & personality																														
Class 7	Cities & local attractions																														
Class 8	Cities & local attractions																														
Class 9	Around town																														
Class10	Around town																														
Class11	The future																														
Class12	The future																														
Class13	Vacations & vacation activities																														
Class14	Vacations & vacation activities																														
	Final exam																														
教科書	Smart Choice Student Book 1B (Oxford)																														
参考書・資料	Students will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.																														
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。																														
担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.																														

授業コード	J2115		
授業科目名	基礎英語II(B) (文15クラス)(前)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身

	<p>につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introductions and get to know you</p> <p>Class 3 Questions to teacher and discussion</p> <p>Class 4 Unit 1 Abilities</p> <p>Class 5 Unit 2 Personal Information</p> <p>Class 6 Unit 3 Time and Date</p> <p>Class 7 Unit 4 Daily Routine</p> <p>Class 8 Unit 6 Locations and moving things</p> <p>Class 9 Unit 7 Directions</p> <p>Class10 Unit 9 Family</p> <p>Class11 Unit 11 Likes and Dislikes</p> <p>Class12 Unit 12 The Future</p> <p>Class13 Unit 13 The Past</p> <p>Class14 Group Activity</p> <p>Class15 Final exam</p>
教科書	Fifty Fifty Book One(Pearson)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Please bring a dictionary

授業コード	J2116		
授業科目名	基礎英語II(B) (文16クラス)(前)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p>

	<ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Classwork: 50%</p> <p>Assignments and homework: 20%</p> <p>Conversation test: 15%</p> <p>Final exam: 15%</p> <p>Absences and lateness negatively affect the classwork grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.</p>
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1:CASEC placement test</p> <p>Class 2:Introduction</p> <p>Class 3:Conversations: Greetings and endings</p> <p>Class 4: Conversation: transitions</p> <p>Class 5: Formal conversations</p> <p>Class 6:Casual conversations</p> <p>Class 7:Daily activities</p> <p>Class 8:Daily activities</p> <p>Class 9:Past activities</p> <p>Class 10:Past activities</p> <p>Class 11:Giving instructions</p> <p>Class 12:Wh- questions</p> <p>Class 13: Conversation test</p> <p>Class 14:Future plans</p> <p>Class 15:Final exam</p>
教科書	No textbook is required.
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Only English in the classroom!

授業コード	J2301		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済 1クラス)(後)		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of</p>
-------	--

	situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	(Evaluation) 出席、授業への参加、宿題、テストの成績などを総合的に評価する。 You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and semester test. Participation: 25% Class activities: 25% Homework: 25% Test: 25%
講義構成	The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as hobbies and interests, entertainment, and daily activities and routines. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired. Class 1: Introductions Class 2: Hobbies and interests Class 3: Appearance Class 4: Daily activities and routines Class 5: Locations Class 6: Directions Class 7: Life events and past activities Class 8: Occupations Class 9: Entertainment Class 10: Future plans Class 11: Clothing and personal items Class 12: Processes Class 13: Opinions Class 14: Review FINAL TEST
教科書	English Firsthand 1 (New English Firsthand Series) by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman) Student Book ISBN: 978-988-00-3059-8
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.

授業コード	J2302												
授業科目名	基礎英語II(B)(経済 2クラス)(後)												
担当者名	ALTHAUS(アルタス デイヴィッド)												
配当年次	1年次	単位数	1										
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限										
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。												
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>												
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 												
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。												
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。												
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Assignments and homework</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td>10%</td> </tr> </table> <p>Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course. Also, students more than 10 minutes late will be marked absent.</p>			Participation	30%	Assignments and homework	30%	Final exam	20%	Quizzes	10%	Presentation	10%
Participation	30%												
Assignments and homework	30%												
Final exam	20%												
Quizzes	10%												
Presentation	10%												
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Fall Term</p> <p>Class 1 Introductions</p> <p>Class 2 Unit 1 'Please call me Beth'</p> <p>Class 3 Unit 1 (continued)</p> <p>Class 4 Unit 2 'How do you spend your day?'</p> <p>Class 5 Unit 2 (continued)</p> <p>Class 6 Unit 3 'How much is it?'</p> <p>Class 7 Unit 3 (continued)</p> <p>Class 8 Unit 5 'Tell me about your family'</p> <p>Class 9 Unit 5 (continued)</p> <p>Class 10 Unit 6 'How often do you exercise?'</p> <p>Class 11 Unit 6 (continued)</p> <p>Class 12 Unit 7 'We had a great time!'</p> <p>Class 13 Unit 7 (continued)</p> <p>Class 14 Review</p> <p>FINAL EXAM</p>												
教科書	Interchange 1 A 3rd Edition Cambridge University Press 1,910円												

参考書・資料	Please bring a dictionary, pens and a notebook to class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Come to class and don't be late. Try hard and do your best. Listen and ask questions. Bring one folder for classwork, homework, and assignments and one B5 notebook for a diary. Relax, don't be shy, have fun learning, and enjoy the class.

授業コード	J2303		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済 3クラス)(後)		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Attendance 10% Homework and participation 10% Written Exam 20% Final Project 60%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher Class 3 Group Building Activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 Meeting People Class 7 Family and Friends Class 8 Lifestyles

	Class 9 Work Class10 Having fun Class11 Shopping Class12 Project Work Class13 Project Work Class14 Project Presentation Class15 Written exam
教科書	New English Upgrade, Student book 2
参考書・資料	None.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.

授業コード	J2304		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済 4クラス)(後)		
担当者名	スミス(ランディ L. スミス)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Class participation: 30% Homework assignments: 15% Quizzes: 15% Speaking test: 20%

	Final Exam: 20%
	Absence and lateness will not be permitted in this class. In most cases, students with more than 3 absences during the semester will not receive credit for the course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introductions Class 2 Introductions Class 3 Making excuses Class 4 Giving advice Class 5 Giving advice Class 6 Experiences Class 7 Personality Class 8 Personality Class 9 The future Class10 The future Class11 Giving opinions Class12 Giving opinions Class13 Making decisions Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Handouts provided by teacher. (No textbook.)
参考書・資料	Please bring a dictionary to class. An electronic dictionary is fine. You will also need a folder to keep handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	[The goal of this class is to introduce spoken English as a practical tool for communication. To help make this happen, the teacher will try to introduce topics designed to engage the interest of young people. Your participation in class activities will lead to increased confidence in speaking English

授業コード	J2305		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済 5クラス)(前)		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)

講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	(Evaluation) 出席、授業への参加、宿題、テストの成績などを総合的に評価する。 You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and semester test. Participation: 25% Class activities: 25% Homework: 25% Test: 25%
講義構成	The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as hobbies and interests, entertainment, and daily activities and routines. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired. Class 1: CASEC placement test Class 2: Hobbies and interests Class 3: Appearance Class 4: Daily activities and routines Class 5: Locations Class 6: Directions Class 7: Life events and past activities Class 8: Occupations Class 9: Entertainment Class 10: Future plans Class 11: Clothing and personal items Class 12: Processes Class 13: Opinions Class 14: Review FINAL TEST
教科書	English Firsthand 1 (New English Firsthand Series) by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman) Student Book ISBN: 978-988-00-3059-8
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.

授業コード	J2306		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済 6クラス)(前)		
担当者名	ALTHAUS(アルタス デイヴィッド)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を		

	<p>養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>										
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 										
講義方法	<p>身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。</p>										
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Assignments and homework</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course. Also, students more than 10 minutes late will be marked absent.</p>	Participation	30%	Assignments and homework	30%	Final exam	20%	Quizzes	10%	Presentation	10%
Participation	30%										
Assignments and homework	30%										
Final exam	20%										
Quizzes	10%										
Presentation	10%										
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Class 3 Unit 1 'Please call me Beth'</p> <p>Class 4 Unit 1 (continued)</p> <p>Class 5 Unit 2 'How do you spend your day?'</p> <p>Class 6 Unit 2 (continued)</p> <p>Class 7 Unit 3 'How much is it?'</p> <p>Class 8 Unit 3 (continued)</p> <p>Class 9 Unit 5 'Tell me about your family'</p> <p>Class 10 Unit 5 (continued)</p> <p>Class 11 Unit 6 'How often do you exercise?'</p> <p>Class 12 Unit 6 (continued)</p> <p>Class 13 Unit 7 'We had a great time!'</p> <p>Class 14 Unit 7 (continued)</p> <p>FINAL EXAM</p>										
教科書	<p>Interchange 1 A 3rd Edition Cambridge University Press 1,910円</p>										
参考書・資料	<p>Please bring a dictionary, pens and a notebook to class.</p>										
講義関連事項	<p>基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>										
担当者から一言	<p>Come to class and don't be late. Try hard and do your best. Listen and ask questions. Bring one folder for classwork, homework, and assignments and one B5 notebook for a diary. Relax, don't be shy, have fun learning, and enjoy the class.</p>										

授業コード	J2307
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(B) (経済 7クラス)(前)		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>		
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 		
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	Attendance 10% Homework and participation 10% Written Exam 20% Final Project 60%		
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher Class 3 Group Building Activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 Meeting People Class 7 Family and Friends Class 8 Lifestyles Class 9 Work Class10 Having fun Class11 Shopping Class12 Project Work Class13 Project Work Class14 Project Presentation Class15 Written exam</p>		
教科書	New English Upgrade, Student book 2		
参考書・資料	None		
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.		

--	--

授業コード	J2308		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済 8クラス)(前)		
担当者名	スミス(ランディ L. スミス)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	<p>身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>Class participation: 30%</p> <p>Homework assignments: 15%</p> <p>Quizzes: 15%</p> <p>Speaking test: 20%</p> <p>Final Exam: 20%</p> <p>Absence and lateness will not be permitted in this class. In most cases, students with more than 3 absences during the semester will not receive credit for the course.</p>
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Class 3 Making excuses</p> <p>Class 4 Giving advice</p> <p>Class 5 Giving advice</p> <p>Class 6 Experiences</p> <p>Class 7 Personality</p> <p>Class 8 Personality</p> <p>Class 9 The future</p> <p>Class10 The future</p> <p>Class11 Giving opinions</p> <p>Class12 Giving opinions</p> <p>Class13 Making decisions</p>

	Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Handouts provided by teacher. (No textbook.)
参考書・資料	Please bring a dictionary to class. An electronic dictionary is fine. You will also need a folder to keep handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	The goal of this class is to introduce spoken English as a practical tool for communication. To help make this happen, the teacher will try to introduce topics designed to engage the interest of young people. Your participation in class activities will lead to increased confidence in speaking English

授業コード	J2309		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済 9クラス)(後)		
担当者名	ウイリス(ウイリス テレンス D.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 20% Quizzes 40% Final Exam 40% The number of times a student is absent will negatively affect the participation grade. In most cases, students who are absent 5 times or more will not receive credit for the course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Orientation. Begin Unit 1, Conversations 1 & 2. Class 3 Grammar Focus: Wh-questions and statements with be. Conversation 3 & Grammar Focus: Yes/No questions and short answers with be. Class 4 Unit 2, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Present & Wh-questions and statements. Class 5 Units 1 & 2 Progress Check. Unit 3, Conversation 1. Grammar Focus: Demonstratives; one, ones.

	Class 6 Unit 3, Conversation 2. Grammar Focus: Preferences; comparisons with adjectives. Class 7 Unit 4, Conversation 1. Grammar Focus: Yes/No and Wh-questions with do. Class 8 Unit 4, Conversation 2. Grammar Focus: Would; verb+to+verb. Class 9 Units 3 & 4 Progress Check. Unit 5, Conversation 1. Grammar Focus: Present Continuous. Class10 Unit 5, Conversation 2. Grammar Focus: Quantifiers. Class11 Unit 6, Conversation 1, Grammar Focus: Adverbs of Frequency. Class12 Unit 6, Conversation 2. Grammar Focus: Questions with how; short answers. Class13 Units 5 & 6 Progress Check. Unit 7, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Past. Class14 Unit 7, Conversation 2. Grammar Focus: Past of be. Class15 Final oral test preparation.
教科書	Interchange Third Edition Student Book 1A (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary to our classes.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	This course provides a good opportunity to review and build on your basic English skills. I trust everyone will do their best to make the class an enjoyable and productive learning experience.

授業コード	J2310		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済10クラス)(後)		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Attendance 10% Homework and participation 10% Written Exam 20% Final Project 60%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher

	Class 3 Group Building Activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 Meeting People Class 7 Family and Friends Class 8 Lifestyles Class 9 Work Class10 Having fun Class11 Shopping Class12 Project Work Class13 Project Work Class14 Project Presentation Class15 Written exam
教科書	New English Upgrade, Student book 2
参考書・資料	None
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.

授業コード	J2311		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済11クラス)(後)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.								
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> </table>	Participation	50%	Homework	20%	Presentation	15%	Final exam	15%
Participation	50%								
Homework	20%								
Presentation	15%								
Final exam	15%								
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and								

	interests. Class 1 Greetings Class 2 Greetings Class 3 Jobs Class 4 Jobs Class 5 Food & drink Class 6 Food & drink Class 7 Review Class 8 Sport Class 9 Sport Class10 Daily life Class11 Daliy life Class12 Problems Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2312		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済12クラス)(後)		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Your grade will be based on your attendance, participation and a final exam.</p> <p>attendance 25% participation 25% test 50%</p>

	(Absence and lateness negatively affect your grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for the course.)
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Introduction Class 3 Introductions; greetings; names, countries Class 4 " Class 5 Jobs; workplaces; daily schedules Class 6 " Class 7 Shopping and prices; clothing and materials Class 8 " Class 9 Music; movies and Tv programs Class10 " Class11 Families " Class12 " Class13 Sports and exercise Class14 The neighborhood; stores and places in a city Class15 Final exam
教科書	Interchange 1A (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge University Press
参考書・資料	Please bring a dictionary, a notebook and a file for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	As your teacher, I will give you learning opportunities and materials, but you must come to class with a good attitude and a desire to do your best every class.

授業コード	J2313		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済13クラス)(前)		
担当者名	ウイリス(ウイリス テレンス D.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。

準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 20% Quizzes 40% Final Exam 40% The number of times a student is absent will negatively affect the participation grade. In most cases, students who are absent 5 times or more will not receive credit for the course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Orientation. Begin Unit 1, Conversations 1 & 2. Class 3 Grammar Focus: Wh-questions and statements with be. Conversation 3 & Grammar Focus: Yes/No questions and short answers with be. Class 4 Unit 2, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Present & Wh-questions and statements. Class 5 Units 1 & 2 Progress Check. Unit 3, Conversation 1. Grammar Focus: Demonstratives; one, ones. Class 6 Unit 3, Conversation 2. Grammar Focus: Preferences; comparisons with adjectives. Class 7 Unit 4, Conversation 1. Grammar Focus: Yes/No and Wh-questions with do. Class 8 Unit 4, Conversation 2. Grammar Focus: Would; verb+to+verb. Class 9 Units 3 & 4 Progress Check. Unit 5, Conversation 1. Grammar Focus: Present Continuous. Class10 Unit 5, Conversation 2. Grammar Focus: Quantifiers. Class11 Unit 6, Conversation 1, Grammar Focus: Adverbs of Frequency. Class12 Unit 6, Conversation 2. Grammar Focus: Questions with how; short answers. Class13 Units 5 & 6 Progress Check. Unit 7, Conversation 1. Grammar Focus: Simple Past. Class14 Unit 7, Conversation 2. Grammar Focus: Past of be. Class15 Final oral test preparation.
教科書	Interchange Third Edition Student Book 1A (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary to each class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	This course provides a good opportunity to review and build on your basic English skills. I trust everyone will do their best to make the class an enjoyable and productive learning experience.

授業コード	J2314		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済14クラス)(前)		
担当者名	ブレット(バーナード W. ブレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions

	<ul style="list-style-type: none"> • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Attendance 10% Homework and participation 10% Written Exam 20% Final Project 60%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher Class 3 Group Building Activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 Meeting People Class 7 Family and Friends Class 8 Lifestyles Class 9 Work Class10 Having fun Class11 Shopping Class12 Project Work Class13 Project Work Class14 Project Presentation Class15 Written exam
教科書	New English Upgrade, Student book 2
参考書・資料	None
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.

授業コード	J2315		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済15クラス)(前)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: • get used to using English to communicate with their classmates and teacher

	<ul style="list-style-type: none"> • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50% Homework 20% Presentation 15% Final exam 15%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Greetings Class 3 Jobs Class 4 Jobs Class 5 Food & drink Class 6 Food & drink Class 7 Review Class 8 Sport Class 9 Sport Class10 Daily life Class11 Daily life Class12 Problems Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2316		
授業科目名	基礎英語II(B) (経済16クラス)(前)		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations

	<ul style="list-style-type: none"> • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Your grade will be based on your attendance, participation and a final exam.</p> <p>attendance 25%</p> <p>participation 25%</p> <p>test 50%</p> <p>(Absence and lateness negatively affect your grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for the course.)</p>
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Class Introduction</p> <p>Class 3 Introductions; greetings; names, countries</p> <p>Class 4 "</p> <p>Class 5 Jobs; workplaces; daily schedules</p> <p>Class 6 "</p> <p>Class 7 Shopping and prices; clothing and materials</p> <p>Class 8 "</p> <p>Class 9 Music; movies and Tv programs</p> <p>Class10 "</p> <p>Class11 Families</p> <p>Class12 "</p> <p>Class13 Sports and exercise</p> <p>Class14 The neighborhood; stores and places in a city</p> <p>Class15 Final exam</p>
教科書	<p>Interchange 1A (Third Edition)</p> <p>Jack C. Richards</p> <p>Cambridge University Press</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary, a notebook and a file for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	As your teacher, I will give you learning opportunities and materials, but you must come to class with a good attitude and a desire to do your best every class.

授業コード	J2401		
授業科目名	基礎英語II(B) (法 1クラス)(後)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を
-------	---

	<p>養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	<p>身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。</p>
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>
成績評価	<p>Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%</p>
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 Introductory class and get to know you Class 2 Questions to teacher and discussion Class 3 Unit 1 Meeting People Class 4 Unit 2 Family and friends Class 5 Unit 3 Lifestyles Class 6 Unit 4 Work and Occupations Class 7 Unit 5 Entertainment and schedules Class 8 Unit 7 Shopping Class 9 Unit 8 Past Tense Class10 Unit 9 Life Experiences Class11 Unit 10 Directions Class12 Unit 11 Future Tense Class13 Review Class14 Group Activity Class15 Final exam</p>
教科書	<p>New English Upgrade 2 (Macmillan)</p>
講義関連事項	<p>基礎英語Ⅱ(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>

担当者から一言	Please bring a dictionary
---------	---------------------------

授業コード	J2402		
授業科目名	基礎英語Ⅱ(B) (法 2クラス)(後)		
担当者名	マニユエル(マニユエル ステラ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p>
-------	---

	The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Evaluation will generally take place over the year in the form of continuous assessment. Short tests will be given regularly, and a final oral test at the end. Pair work 40% Homework 30% Attendance & Attitude 20% Tests 10% Regular attendance is important as instructor's input and guidance are crucial to maintain progress. Students effort and the quality is a must. Students will be expected to work hard alone and with other students during the class.
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests. Unit one – Which one is cheaper (pages 44 – 49) Unit two– (Repeat) Unit three– What she's like (pages 50 – 55) Unit four (Repeat) Unit five – What can you do there (pages 56 – 61) Unit six (Repeat) Unit seven – Review units (1 – 6) Unit eight – Is there a Bank Unit nine – (Repeat) Unit ten – Did you have a good time Unit eleven – (Repeat) Unit twelve – I'm going to study law Unit thirteen – (Repeat) Unit fourteen – Review Unit fifteen – Oral Test on the above subjects.
教科書	New English Upgrade 2 Author – Steven Gershon & Chris Mares. Publisher – Macmillan
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must

授業コード	J2403
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(B) (法 3クラス)(後)												
担当者名	ALTHAUS(アルタス デイヴィッド)												
配当年次	1年次	単位数	1										
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限										
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。												
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>												
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 												
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。												
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。												
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Assignments and homework</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course. Also, students more than 10 minutes late will be marked absent.</p>			Participation	30%	Assignments and homework	30%	Final exam	20%	Quizzes	10%	Presentation	10%
Participation	30%												
Assignments and homework	30%												
Final exam	20%												
Quizzes	10%												
Presentation	10%												
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Fall Term</p> <p>Class 1 Introductions</p> <p>Class 2 Unit 1 'Please call me Beth'</p> <p>Class 3 Unit 1 (continued)</p> <p>Class 4 Unit 2 'How do you spend your day?'</p> <p>Class 5 Unit 2 (continued)</p> <p>Class 6 Unit 3 'How much is it?'</p> <p>Class 7 Unit 3 (continued)</p> <p>Class 8 Unit 5 'Tell me about your family'</p> <p>Class 9 Unit 5 (continued)</p> <p>Class 10 Unit 6 'How often do you exercise?'</p> <p>Class 11 Unit 6 (continued)</p> <p>Class 12 Unit 7 'We had a great time!'</p> <p>Class 13 Unit 7 (continued)</p> <p>Class 14 Review</p> <p>FINAL EXAM</p>												
教科書	Interchange 1 A 3rd Edition Cambridge University Press 1,910円												
参考書・資料	Please bring a dictionary, pens and a notebook to class.												
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期												

	にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Come to class and don't be late. Try hard and do your best. Listen and ask questions. Bring one folder for classwork, homework, and assignments and one B5 notebook for a diary. Relax, don't be shy, have fun learning, and enjoy the class.

授業コード	J2404		
授業科目名	基礎英語II(B) (法 4クラス)(後)		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>(Evaluation)</p> <p>出席、授業への参加、宿題、テストの成績などを総合的に評価する。</p> <p>You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and semester test.</p> <p>Participation: 25%</p> <p>Class activities: 25%</p> <p>Homework: 25%</p> <p>Test: 25%</p>
講義構成	<p>The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as hobbies and interests, entertainment, and daily activities and routines. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired.</p> <p>Class 1: Introductions</p> <p>Class 2: Hobbies and interests</p> <p>Class 3: Appearance</p> <p>Class 4: Daily activities and routines</p> <p>Class 5: Locations</p> <p>Class 6: Directions</p> <p>Class 7: Life events and past activities</p> <p>Class 8: Occupations</p> <p>Class 9: Entertainment</p>

	Class 10: Future plans Class 11: Clothing and personal items Class 12: Processes Class 13: Opinions Class 14: Review FINAL TEST
教科書	English Firsthand 1 (New English Firsthand Series) by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman) Student Book ISBN: 978-988-00-3059-8
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.
---------	---

授業コード	J2405		
授業科目名	基礎英語II(B) (法 5クラス)(前)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions and get to know you Class 3 Questions to teacher and discussion Class 4 Unit 1 Abilities

	Class 5 Unit 2 Personal Information Class 6 Unit 3 Time and Date Class 7 Unit 4 Daily Routine Class 8 Unit 6 Locations and moving things Class 9 Unit 7 Directions Class10 Unit 9 Family Class11 Unit 11 Likes and Dislikes Class12 Unit 12 The Future Class13 Unit 13 The Past Class14 Group Activity Final exam
教科書	Fifty Fifty Book One(Pearson)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Please bring a dictionary

授業コード	J2406		
授業科目名	基礎英語II(B) (法 6クラス)(前)		
担当者名	マニユエル(マニユエル ステラ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Evaluation will generally take place over the year in the form of continuous assessment. Short tests will be given regularly, and a final oral test at the end.</p> <p>Pair work 40% Homework 30% Attendance & Attitude 20% Tests 10%</p> <p>Regular attendance is important as instructor's input and guidance are crucial to maintain progress. Students effort and the quality is a must. Students will be expected to work hard alone and with other students during</p>

	the class.
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests. Unit one – Which one is cheaper (pages 44 – 49) Unit two– (Repeat) Unit three– What she's like (pages 50 – 55) Unit four (Repeat) Unit five – What can you do there (pages 56 – 61) Unit six (Repeat) Unit seven – Review units (1 – 6) Unit eight – Is there a Bank Unit nine – (Repeat) Unit ten – Did you have a good time Unit eleven – (Repeat) Unit twelve – I'm going to study law Unit thirteen – (Repeat) Unit fourteen – Review Unit fifteen – Oral Test on the above subjects.
教科書	Smart Choice I b Author – Ken Wilson Publisher – Oxford
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must.

授業コード	J2407		
授業科目名	基礎英語II(B) (法 7クラス)(前)		
担当者名	ALTHAUS(アルタス デイヴィッド)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。

成績評価	Participation 30% Assignments and homework 30% Final exam 20% Quizzes 10% Presentation 10% Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course. Also, students more than 10 minutes late will be marked absent.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions Class 3 Unit 1 'Please call me Beth' Class 4 Unit 1 (continued) Class 5 Unit 2 'How do you spend your day?' Class 6 Unit 2 (continued) Class 7 Unit 3 'How much is it?' Class 8 Unit 3 (continued) Class 9 Unit 5 'Tell me about your family' Class 10 Unit 5 (continued) Class 11 Unit 6 'How often do you exercise?' Class 12 Unit 6 (continued) Class 13 Unit 7 'We had a great time!' Class 14 Unit 7 (continued) FINAL EXAM
教科書	Interchange 1 A 3rd Edition Cambridge University Press 1,910円
参考書・資料	Please bring a dictionary, pens and a notebook to class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Come to class and don't be late. Try hard and do your best. Listen and ask questions. Bring one folder for classwork, homework, and assignments and one B5 notebook for a diary. Relax, don't be shy, have fun learning, and enjoy the class.

授業コード	J2408		
授業科目名	基礎英語II(B) (法 8クラス)(前)		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations

	<ul style="list-style-type: none"> • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>(Evaluation)</p> <p>出席、授業への参加、宿題、テストの成績などを総合的に評価する。</p> <p>You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and semester test.</p> <p>Participation: 25%</p> <p>Class activities: 25%</p> <p>Homework: 25%</p> <p>Test: 25%</p>
講義構成	<p>The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as hobbies and interests, entertainment, and daily activities and routines. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired.</p> <p>Class 1: CASEC placement test</p> <p>Class 2: Hobbies and interests</p> <p>Class 3: Appearance</p> <p>Class 4: Daily activities and routines</p> <p>Class 5: Locations</p> <p>Class 6: Directions</p> <p>Class 7: Life events and past activities</p> <p>Class 8: Occupations</p> <p>Class 9: Entertainment</p> <p>Class 10: Future plans</p> <p>Class 11: Clothing and personal items</p> <p>Class 12: Processes</p> <p>Class 13: Opinions</p> <p>Class 14: Review</p> <p style="text-align: center;">FINAL TEST</p>
教科書	<p>English Firsthand 1 (New English Firsthand Series) by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman)</p> <p>Student Book</p> <p>ISBN: 978-988-00-3059-8</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.

授業コード	J2409		
授業科目名	基礎英語II(B) (法 9クラス)(後)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	1

開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限																														
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。																																
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>																																
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 																																
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。																																
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。																																
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">Homework</td> <td style="width: 20%;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.)</p>			Homework	10%	Participation	10%	Bonus points	20%	Quizzes	30%	Final exam	30%																				
Homework	10%																																
Participation	10%																																
Bonus points	20%																																
Quizzes	30%																																
Final exam	30%																																
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10%;">Class 1</td><td>Class introduction and orientation</td></tr> <tr><td>Class 2</td><td>Classroom language</td></tr> <tr><td>Class 3</td><td>Airplane language</td></tr> <tr><td>Class 4</td><td>Immigration</td></tr> <tr><td>Class 5</td><td>Hotel</td></tr> <tr><td>Class 6</td><td>Directions</td></tr> <tr><td>Class 7</td><td>Around the home</td></tr> <tr><td>Class 8</td><td>Weekend plans</td></tr> <tr><td>Class 9</td><td>Ordering food</td></tr> <tr><td>Class10</td><td>Family</td></tr> <tr><td>Class11</td><td>Talking about Japan</td></tr> <tr><td>Class12</td><td>Meeting a friend</td></tr> <tr><td>Class13</td><td>Plans for the day</td></tr> <tr><td>Class14</td><td>Review</td></tr> <tr><td>Class15</td><td>Final exam</td></tr> </table>			Class 1	Class introduction and orientation	Class 2	Classroom language	Class 3	Airplane language	Class 4	Immigration	Class 5	Hotel	Class 6	Directions	Class 7	Around the home	Class 8	Weekend plans	Class 9	Ordering food	Class10	Family	Class11	Talking about Japan	Class12	Meeting a friend	Class13	Plans for the day	Class14	Review	Class15	Final exam
Class 1	Class introduction and orientation																																
Class 2	Classroom language																																
Class 3	Airplane language																																
Class 4	Immigration																																
Class 5	Hotel																																
Class 6	Directions																																
Class 7	Around the home																																
Class 8	Weekend plans																																
Class 9	Ordering food																																
Class10	Family																																
Class11	Talking about Japan																																
Class12	Meeting a friend																																
Class13	Plans for the day																																
Class14	Review																																
Class15	Final exam																																
教科書	Passport (Oxford)																																
参考書・資料	Pleas bring a dictionary and some note paper.																																
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。																																

授業コード	J2410
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(B) (法10クラス)(後)																																
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)																																
配当年次	1年次	単位数	1																														
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限																														
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。																																
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>																																
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 																																
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。																																
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。																																
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Assignments & Homework</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Speaking Assessments</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.</p>			Participation	20%	Assignments & Homework	20%	Quizzes	20%	Speaking Assessments	30%	Final Exam	10%																				
Participation	20%																																
Assignments & Homework	20%																																
Quizzes	20%																																
Speaking Assessments	30%																																
Final Exam	10%																																
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Class 1</td> <td>Introduction</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Appearance & personality</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Appearance & personality</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Cities & local attractions</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Cities & local attractions</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Around town</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Around town</td> </tr> <tr> <td>Class 10</td> <td>The future</td> </tr> <tr> <td>Class 11</td> <td>The future</td> </tr> <tr> <td>Class 12</td> <td>Vacations & vacation activities</td> </tr> <tr> <td>Class 13</td> <td>Vacations & vacation activities</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Preparation for final exam</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Final exam</td> </tr> </table>			Class 1	Introduction	Class 2	Clothes & comparisons	Class 3	Clothes & comparisons	Class 4	Appearance & personality	Class 5	Appearance & personality	Class 6	Cities & local attractions	Class 7	Cities & local attractions	Class 8	Around town	Class 9	Around town	Class 10	The future	Class 11	The future	Class 12	Vacations & vacation activities	Class 13	Vacations & vacation activities	Class 14	Preparation for final exam		Final exam
Class 1	Introduction																																
Class 2	Clothes & comparisons																																
Class 3	Clothes & comparisons																																
Class 4	Appearance & personality																																
Class 5	Appearance & personality																																
Class 6	Cities & local attractions																																
Class 7	Cities & local attractions																																
Class 8	Around town																																
Class 9	Around town																																
Class 10	The future																																
Class 11	The future																																
Class 12	Vacations & vacation activities																																
Class 13	Vacations & vacation activities																																
Class 14	Preparation for final exam																																
	Final exam																																
教科書	Smart Choice Student Book 1B (Oxford)																																
参考書・資料	Students will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.																																
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラ																																

	エティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	--

担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.
---------	--

授業コード	J2411		
授業科目名	基礎英語II(B) (法11クラス)(後)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Classwork: 50% Assignments and homework: 20% Conversation test: 15% Final exam: 15% Absences and lateness negatively affect the classwork grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1: Introductions Class 2: Conversations: Greetings and endings Class 3: Conversation: transitions Class 4: Formal conversations Class 5: Casual conversations Class 6: Talking about food Class 7: Daily activities Class 8: Daily activities Class 9: Past activities Class 10: Past activities Class 11: Giving instructions Class 12: Wh- questions Class 13: Conversation test Class 14: Future plans

	Class 15:Final exam
教科書	No textbook is required.
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Only English in the classroom!

授業コード	J2412		
授業科目名	基礎英語II(B) (法12クラス)(後)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.																								
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 																								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。																								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。																								
成績評価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 100px;">Participation</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">15%</td> </tr> </table>	Participation	50%	Homework	20%	Presentation	15%	Final exam	15%																
Participation	50%																								
Homework	20%																								
Presentation	15%																								
Final exam	15%																								
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 100px;">Class 1</td> <td>Greetings</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Greetings</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Jobs</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Jobs</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Food & drink</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Food & drink</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Review</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Sport</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Sport</td> </tr> <tr> <td>Class10</td> <td>Daily life</td> </tr> <tr> <td>Class11</td> <td>Daily life</td> </tr> <tr> <td>Class12</td> <td>Problems</td> </tr> </table>	Class 1	Greetings	Class 2	Greetings	Class 3	Jobs	Class 4	Jobs	Class 5	Food & drink	Class 6	Food & drink	Class 7	Review	Class 8	Sport	Class 9	Sport	Class10	Daily life	Class11	Daily life	Class12	Problems
Class 1	Greetings																								
Class 2	Greetings																								
Class 3	Jobs																								
Class 4	Jobs																								
Class 5	Food & drink																								
Class 6	Food & drink																								
Class 7	Review																								
Class 8	Sport																								
Class 9	Sport																								
Class10	Daily life																								
Class11	Daily life																								
Class12	Problems																								

	Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2413		
授業科目名	基礎英語II(B) (法13クラス)(前)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Homework 10% Participation 10% Bonus points 20% Quizzes 30% Final exam 30% (Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.)
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class introduction and orientation Class 3 Introductions & People's jobs Class 4 Daily routines & Free-time activities Class 5 Job interviews & Sports Class 6 Hobbies and interests & Personalities and dating Class 7 Telephone talk & Weather Class 8 Directions & Locations Class 9 Dates and appointments & Making excuses Class10 Money & Shopping

	Class11 Future plans & Vacation plans Class12 Rules & Cooking Class13 A bad day & Health Class14 Life changes & Stories about vacations Class15 Final exam
教科書	Get Real 1 (MacMillan)
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2414		
授業科目名	基礎英語II(B) (法14クラス)(前)		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>												
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 												
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。												
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。												
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Assignments & Homework</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Speaking Assessments</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.</p>			Participation	20%	Assignments & Homework	20%	Quizzes	20%	Speaking Assessments	30%	Final Exam	10%
Participation	20%												
Assignments & Homework	20%												
Quizzes	20%												
Speaking Assessments	30%												
Final Exam	10%												
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">Class 1</td> <td>CASEC placement test</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Introduction</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Appearance & personality</td> </tr> </table>			Class 1	CASEC placement test	Class 2	Introduction	Class 3	Clothes & comparisons	Class 4	Clothes & comparisons	Class 5	Appearance & personality
Class 1	CASEC placement test												
Class 2	Introduction												
Class 3	Clothes & comparisons												
Class 4	Clothes & comparisons												
Class 5	Appearance & personality												

	Class 6 Appearance & personality Class 7 Cities & local attractions Class 8 Cities & local attractions Class 9 Around town Class10 Around town Class11 The future Class12 The future Class13 Vacations & vacation activities Class14 Vacations & vacation activities Final exam
教科書	Smart Choice Student Book 1B (Oxford)
参考書・資料	Students will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.
---------	--

授業コード	J2415		
授業科目名	基礎英語II(B) (法15クラス)(前)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Classwork: 50% Assignments and homework: 20% Conversation test: 15% Final exam: 15% Absences and lateness negatively affect the classwork grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and

	interests. Class 1:CASEC placement test Class 2: Introductions Class 3: Conversations: Greetings and endings Class 4: Conversation: transitions Class 5: Formal conversations Class 6: Casual conversations Class 7: Daily activities Class 8: Daily activities Class 9: Past activities Class 10: Past activities Class 11: Giving instructions Class 12: Wh- questions Class 13: Conversation test Class 14: Future plans Class 15: Final exam
教科書	No textbook is required.
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Only English in the classroom!

授業コード	J2416		
授業科目名	基礎英語II(B) (法16クラス)(前)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50% Assignments and homework 20% Presentations 15%

	Final exam 15%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introduction Class 3 Greetings Class 4 Jobs Class 5 Jobs Class 6 Food & drink Class 7 Food & drink Class 8 Review Class 9 Sport Class10 Sport Class11 Daily activities Class12 Daily activities Class13 Problems Class14 Problems & review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2501		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 1クラス)(後)		
担当者名	マニユエル(マニユエル ステラ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Evaluation will generally take place over the year in the form of continuous assessment. Short tests will be given regularly, and a final oral test at the end. Pair work 40%

	<p>Homework 30%</p> <p>Attendance & Attitude 20%</p> <p>Tests 10%</p> <p>Regular attendance is important as instructor's input and guidance are crucial to maintain progress. Students effort and the quality is a must. Students will be expected to work hard alone and with other students during the class.</p>
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests.</p> <p>Unit one – Which one is cheaper (pages 44 – 49)</p> <p>Unit two– (Repeat)</p> <p>Unit three– What she's like (pages 50 – 55)</p> <p>Unit four (Repeat)</p> <p>Unit five – What can you do there (pages 56 – 61)</p> <p>Unit six (Repeat)</p> <p>Unit seven – Review units (1 – 6)</p> <p>Unit eight – Is there a Bank</p> <p>Unit nine – (Repeat)</p> <p>Unit ten – Did you have a good time</p> <p>Unit eleven – (Repeat)</p> <p>Unit twelve – I'm going to study law</p> <p>Unit thirteen – (Repeat)</p> <p>Unit fourteen – Review</p> <p>Unit fifteen – Oral Test on the above subjects.</p>
教科書	<p>New English Upgrade 2</p> <p>Author – Steven Gershon & Chris Mares.</p> <p>Publisher – Macmillan</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must.</p>

授業コード	J2502		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 2クラス)(後)		
担当者名	スミス(ランディ L. スミス)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and

	taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Class participation: 30% Homework assignments: 15% Quizzes: 15% Speaking test: 20% Final Exam: 20% Absence and lateness will not be permitted in this class. In most cases, students with more than 3 absences during the semester will not receive credit for the course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introductions Class 2 Introductions Class 3 Making excuses Class 4 Giving advice Class 5 Giving advice Class 6 Experiences Class 7 Personality Class 8 Personality Class 9 The future Class10 The future Class11 Giving opinions Class12 Giving opinions Class13 Making decisions Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Handouts provided by teacher. (No textbook.)
参考書・資料	Please bring a dictionary to class. An electronic dictionary is fine. You will also need a folder to keep handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	The goal of this class is to introduce spoken English as a practical tool for communication. To help make this happen, the teacher will try to introduce topics designed to engage the interest of young people. Your participation in class activities will lead to increased confidence in speaking English

授業コード	J2503		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 3クラス)(後)		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身

	<p>につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Attendance 10%</p> <p>Homework and participation 10%</p> <p>Written Exam 20%</p> <p>Final Project 60%</p>
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher</p> <p>Class 3 Group Building Activity</p> <p>Class 4 Pronunciation Training</p> <p>Class 5 Mini Presentation</p> <p>Class 6 Meeting People</p> <p>Class 7 Family and Friends</p> <p>Class 8 Lifestyles</p> <p>Class 9 Work</p> <p>Class10 Having fun</p> <p>Class11 Shopping</p> <p>Class12 Project Work</p> <p>Class13 Project Work</p> <p>Class14 Project Presentation</p> <p>Class15 Written exam</p>
教科書	New English Upgrade, Student book 2
参考書・資料	None.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.

授業コード	J2504		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 4クラス)(後)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1

開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>		
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 		
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%		
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 Introductory class and get to know you Class 2 Questions to teacher and discussion Class 3 Unit 1 Meeting People Class 4 Unit 2 Family and friends Class 5 Unit 3 Lifestyles Class 6 Unit 4 Work and Occupations Class 7 Unit 5 Entertainment and schedules Class 8 Unit 7 Shopping Class 9 Unit 8 Past Tense Class10 Unit 9 Life Experiences Class11 Unit 10 Directions Class12 Unit 11 Future Tense Class13 Review Class14 Group Activity Class15 Final exam</p>		
教科書	New English Upgrade 2 (Macmillan)		
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		
担当者から一言	Please bring a dictionary		

授業コード	J2505		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 5クラス)(前)		
担当者名	マニュエル(マニュエル ステラ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限

特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Evaluation will generally take place over the year in the form of continuous assessment. Short tests will be given regularly, and a final oral test at the end. Pair work 40% Homework 30% Attendance & Attitude 20% Tests 10% Regular attendance is important as instructor's input and guidance are crucial to maintain progress. Students effort and the quality is a must. Students will be expected to work hard alone and with other students during the class.
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests. Unit one – Which one is cheaper (pages 44 – 49) Unit two– (Repeat) Unit three– What she's like (pages 50 – 55) Unit four (Repeat) Unit five – What can you do there (pages 56 – 61) Unit six (Repeat) Unit seven – Review units (1 – 6) Unit eight – Is there a Bank Unit nine – (Repeat) Unit ten – Did you have a good time Unit eleven – (Repeat) Unit twelve – I'm going to study law Unit thirteen – (Repeat) Unit fourteen – Review Unit fifteen – Oral Test on the above subjects.
教科書	Smart Choice I b Author – Ken Wilson Publisher – Oxford
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラ

	エティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	--

担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must.
---------	---

授業コード	J2506		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 6クラス)(前)		
担当者名	スミス(ランディ L. スミス)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Class participation: 30% Homework assignments: 15% Quizzes: 15% Speaking test: 20% Final Exam: 20% Absence and lateness will not be permitted in this class. In most cases, students with more than 3 absences during the semester will not receive credit for the course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions Class 3 Making excuses Class 4 Giving advice Class 5 Giving advice Class 6 Experiences Class 7 Personality Class 8 Personality Class 9 The future Class10 The future Class11 Giving opinions Class12 Giving opinions Class13 Making decisions Class14 Review

	Class15 Final exam
教科書	Handouts provided by teacher. (No textbook.)
参考書・資料	Please bring a dictionary to class. An electronic dictionary is fine. You will also need a folder to keep handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	The goal of this class is to introduce spoken English as a practical tool for communication. To help make this happen, the teacher will try to introduce topics designed to engage the interest of young people. Your participation in class activities will lead to increased confidence in speaking English.

授業コード	J2507		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 7クラス)(前)		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Attendance 10% Homework and participation 10% Written Exam 20% Final Project 60%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher Class 3 Group Building Activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 Meeting People Class 7 Family and Friends Class 8 Lifestyles

	Class 9 Work Class10 Having fun Class11 Shopping Class12 Project Work Class13 Project Work Class14 Project Presentation Class15 Written exam
教科書	New English Upgrade, Student book 2
参考書・資料	None
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.

授業コード	J2508		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 8クラス)(前)		
担当者名	ホザック(ホザック イアン トレベリヤン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 30% Assignments & homework 30% Quizzes 20% Final Exam 20%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions: Nice To Meet You! Class 3 What Do You Do? Sharing personal information Class 4 What Do You Do? Sharing personal information

	Class 5 Talking about likes & dislikes Class 6 Talking about likes & dislikes Class 7 Talking about habits and routines Class 8 Talking about habits and routines Class 9 Review lesson Class10 Describing present activities Class11 Describing present activities Class12 Talking about past events Class13 Talking about past events Class14 Review lesson Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 A Ken Wilson (Oxford University Press)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	It's important that you complete all the work for this course. If you are absent, contact the teacher or another student to find out what you need to do before the next class.

授業コード	J2509		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営 9クラス)(後)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50% Homework 20% Presentation 15% Final exam 15%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Greetings Class 2 Greetings

	Class 3 Jobs Class 4 Jobs Class 5 Food & drink Class 6 Food & drink Class 7 Review Class 8 Sport Class 9 Sport Class10 Daily life Class11 Daily life Class12 Problems Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2510		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営10クラス)(後)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introductory class and get to know you Class 2 Questions to teacher and discussion Class 3 Unit 1 Meeting People Class 4 Unit 2 Family and friends Class 5 Unit 3 Lifestyles Class 6 Unit 4 Work and Occupations

	Class 7 Unit 5 Entertainment and schedules Class 8 Unit 7 Shopping Class 9 Unit 8 Past Tense Class10 Unit 9 Life Experiences Class11 Unit 10 Directions Class12 Unit 11 Future Tense Class13 Review Class14 Group Activity Class15 Final exam
教科書	New English Upgrade 2 (Macmillan)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Please bring a dictionary

授業コード	J2511		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営11クラス)(後)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Classwork: 50% Assignments and homework: 20% Conversation test: 15% Final exam: 15% Absences and lateness negatively affect the classwork grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1: Introductions Class 2: Conversations: Greetings and endings

	Class 3:Conversation: transitions Class 4: Formal conversations Class 5: Casual conversations Class 6: Talking about food Class 7: Daily activities Class 8: Daily activities Class 9: Past activities Class 10: Past activities Class 11: Giving instructions Class 12: Wh- questions Class 13: Conversation test Class 14: Future plans Class 15: Final exam
教科書	No textbook is required.
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Only English in the classroom!

授業コード	J2512		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営12クラス)(後)		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	(Evaluation) 出席、授業への参加、宿題、テストの成績などを総合的に評価する。 You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and semester test. Participation: 25%

	Class activities: 25% Homework: 25% Test: 25%
講義構成	The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as hobbies and interests, entertainment, and daily activities and routines. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired. Class 1: Introductions Class 2: Hobbies and interests Class 3: Appearance Class 4: Daily activities and routines Class 5: Locations Class 6: Directions Class 7: Life events and past activities Class 8: Occupations Class 9: Entertainment Class 10: Future plans Class 11: Clothing and personal items Class 12: Processes Class 13: Opinions Class 14: Review FINAL TEST
教科書	English Firsthand 1 (New English Firsthand Series) by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman) Student Book ISBN: 978-988-00-3059-8
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.

授業コード	J2513		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営13クラス)(前)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions

	<ul style="list-style-type: none"> • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50% Homework 20% Presentation 15% Final exam 15%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Greetings Class 3 Jobs Class 4 Jobs Class 5 Food & drink Class 6 Food & drink Class 7 Review Class 8 Sport Class 9 Sport Class10 Daily life Class11 Daily life Class12 Problems Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2514		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営14クラス)(前)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic

	expressions, pronunciation and intonation) <ul style="list-style-type: none"> practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	※各自ご入力をお願いいたします。[Individually filled in by teacher.]
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions and get to know you Class 3 Questions to teacher and discussion Class 4 Unit 1 Abilities Class 5 Unit 2 Personal Information Class 6 Unit 3 Time and Date Class 7 Unit 4 Daily Routine Class 8 Unit 6 Locations and moving things Class 9 Unit 7 Directions Class10 Unit 9 Family Class11 Unit 11 Likes and Dislikes Class12 Unit 12 The Future Class13 Unit 13 The Past Class14 Group Activity Class15 Final exam
教科書	Fifty Fifty Book One(Pearson)
講義関連事項	基礎英語Ⅱ(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Please bring a dictionary
---------	---------------------------

授業コード	J2515		
授業科目名	基礎英語Ⅱ(B) (経営15クラス)(前)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> get used to using English to communicate with their classmates and teacher practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and

	taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Classwork: 50% Assignments and homework: 20% Conversation test: 15% Final exam: 15%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1:CASEC placement test Class 2;Introductions Class 3:Conversations: Greetings and endings Class 4: Conversation: transitions Class 5: Formal conversations Class 6:Casual conversations Class 7:Daily activities Class 8:Daily activities Class 9:Past activities Class 10:Past activities Class 11:Giving instructions Class 12:Wh- questions Class 13: Conversation test Class 14:Future plans Class 15:Final exam
教科書	No textbook is required.
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Only English in the classroom!

授業コード	J2516		
授業科目名	基礎英語II(B) (経営16クラス)(前)		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜4限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions

	<ul style="list-style-type: none"> • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>(Evaluation)</p> <p>出席、授業への参加、宿題、テストの成績などを総合的に評価する。</p> <p>You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and semester test.</p> <p>Participation: 25%</p> <p>Class activities: 25%</p> <p>Homework: 25%</p> <p>Test: 25%</p>
講義構成	<p>The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as hobbies and interests, entertainment, and daily activities and routines. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired.</p> <p>Class 1: CASEC placement test</p> <p>Class 2: Hobbies and interests</p> <p>Class 3: Appearance</p> <p>Class 4: Daily activities and routines</p> <p>Class 5: Locations</p> <p>Class 6: Directions</p> <p>Class 7: Life events and past activities</p> <p>Class 8: Occupations</p> <p>Class 9: Entertainment</p> <p>Class 10: Future plans</p> <p>Class 11: Clothing and personal items</p> <p>Class 12: Processes</p> <p>Class 13: Opinions</p> <p>Class 14: Review</p> <p style="text-align: center;">FINAL TEST</p>
教科書	<p>English Firsthand 1 (New English Firsthand Series) by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman)</p> <p>Student Book</p> <p>ISBN: 978-988-00-3059-8</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.

授業コード	J2601		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 1クラス)(後)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限

特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。								
講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.								
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>In-class quizzes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>(Absences and lateness will negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.)</p>	Participation and effort	40%	In-class quizzes	20%	Final exam	30%	Homework	10%
Participation and effort	40%								
In-class quizzes	20%								
Final exam	30%								
Homework	10%								
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Fall Term Class 1 Introductions Class 2 Unit 1 'Please call me Beth' Class 3 Unit 1 (continued) Class 4 Unit 2 'How do you spend your day?' Class 5 Unit 2 (continued) Class 6 Unit 3 'How much is it?' Class 7 Unit 3 (continued) Class 8 Unit 5 'Tell me about your family' Class 9 Unit 5 (continued) Class 10 Unit 6 'How often do you exercise?' Class 11 Unit 6 (continued) Class 12 Unit 7 'We had a great time!' Class 13 Unit 7 (continued) Class 14 Review Class 15 FINAL EXAM								
教科書	Interchange 1A, Third Edition (Cambridge)								
参考書・資料	Please bring a dictionary and a notebook to every class. A folder for handouts is also recommended.								
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。								
担当者から一言	I'm looking forward to starting our course together and getting to know each of you. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience! Good luck with all of your classes this year at Konan University!								

授業コード	J2602		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 2クラス)(後)		
担当者名	マニユエル(マニユエル ステラ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>		
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 		
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	<p>Evaluation will generally take place over the year in the form of continuous assessment. Short tests will be given regularly, and a final oral test at the end.</p> <p>Pair work 40% Homework 30% Attendance & Attitude 20% Tests 10%</p> <p>Regular attendance is important as instructor's input and guidance are crucial to maintain progress. Students effort and the quality is a must. Students will be expected to work hard alone and with other students during the class.</p>		
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests.</p> <p>Unit 1 – Meeting People. Unit 2–Family & Friends. Unit 3– Lifestyles. Unit4–Work, work, work ! Unit 5 – Having fun. Unit 6 – Review. Unit 7 – Spend, spend, spend ! Unit 8 – Looking back. Unit 9 – Life experiences. Unit 10 – Around Town. Unit 11 – Looking ahead. Unit 12 – Movie Unit 13 – Movie(Not decided) Unit 14 – Review Unit 15 – Oral Test – Topics related to the text book.</p>		
教科書	New English Upgrade 2		

	Author – Steven Gershon & Chris Mares. Publisher – Macmillan
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must.
---------	---

授業コード	J2603		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 3クラス)(後)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introductory class and get to know you Class 2 Questions to teacher and discussion Class 3 Unit 1 Meeting People Class 4 Unit 2 Family and friends Class 5 Unit 3 Lifestyles Class 6 Unit 4 Work and Occupations Class 7 Unit 5 Entertainment and schedules Class 8 Unit 7 Shopping Class 9 Unit 8 Past Tense Class10 Unit 9 Life Experiences Class11 Unit 10 Directions Class12 Unit 11 Future Tense Class13 Review Class14 Group Activity Class15 Final exam
教科書	New English Upgrade 2 (Macmillan)

講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--------	---

担当者から一言	Please bring a dictionary
---------	---------------------------

授業コード	J2604		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 4クラス)(後)		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Attendance 10% Homework and participation 10% Written Exam 20% Final Project 60%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher Class 3 Group Building Activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 Meeting People Class 7 Family and Friends Class 8 Lifestyles Class 9 Work Class10 Having fun Class11 Shopping Class12 Project Work Class13 Project Work Class14 Project Presentation Class15 Written exam

教科書	New English Upgrade, Student book 2
参考書・資料	None
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.

授業コード	J2605		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 5クラス)(前)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.								
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<table border="0"> <tr> <td>Participation and effort</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>In-class quizzes</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td>10%</td> </tr> </table> (Absences and lateness will negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.)	Participation and effort	40%	In-class quizzes	20%	Final exam	30%	Homework	10%
Participation and effort	40%								
In-class quizzes	20%								
Final exam	30%								
Homework	10%								
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1CASEC placement test Class 2Introductions								

	Class 3Unit 1 'Please call me Beth' Class 4Unit 1 (continued) Class 5Unit 2 'How do you spend your day?' Class 6Unit 2 (continued) Class 7Unit 3 'How much is it?' Class 8Unit 3 (continued) Class 9Unit 5 'Tell me about your family' Class 10Unit 5 (continued) Class 11Unit 6 'How often do you exercise?' Class 12 Unit 6 (continued) Class 13Unit 7 'We had a great time!' Class 14Unit 7 (continued) Class 15FINAL EXAM
教科書	Interchange 1A, Third Edition (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and a notebook to every class. A folder for handouts is also recommended.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	I'm looking forward to starting our course together and getting to know each of you. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience! Good luck with all of your classes this year at Konan University!

授業コード	J2606		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 6クラス)(前)		
担当者名	マニュエル(マニュエル ステラ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Evaluation will generally take place over the year in the form of continuous assessment. Short tests will be given regularly, and a final oral test at the end. Pair work 40%

	<p>Homework 30%</p> <p>Attendance & Attitude 20%</p> <p>Tests 10%</p> <p>Regular attendance is important as instructor's input and guidance are crucial to maintain progress. Students effort and the quality is a must. Students will be expected to work hard alone and with other students during the class.</p>
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests.</p> <p>Unit one – Which one is cheaper (pages 44 – 49)</p> <p>Unit two– (Repeat)</p> <p>Unit three– What she's like (pages 50 – 55)</p> <p>Unit four (Repeat)</p> <p>Unit five – What can you do there (pages 56 – 61)</p> <p>Unit six (Repeat)</p> <p>Unit seven – Review units (1 – 6)</p> <p>Unit eight – Is there a Bank</p> <p>Unit nine – (Repeat)</p> <p>Unit ten – Did you have a good time</p> <p>Unit eleven – (Repeat)</p> <p>Unit twelve – I'm going to study law</p> <p>Unit thirteen – (Repeat)</p> <p>Unit fourteen – Review</p> <p>Unit fifteen – Oral Test on the above subjects.</p>
教科書	<p>Smart Choice I b</p> <p>Author – Ken Wilson</p> <p>Publisher – Oxford</p>
講義関連事項	<p>基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>
担当者から一言	<p>Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must.</p>

授業コード	J2607		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 7クラス)(前)		
担当者名	ホザック(ホザック イアン トレベリヤン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)

講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 30% Assignments & homework 30% Quizzes 20% Final Exam 20%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions: Nice To Meet You! Class 3 What Do You Do? Sharing personal information Class 4 What Do You Do? Sharing personal information Class 5 Talking about likes & dislikes Class 6 Talking about likes & dislikes Class 7 Talking about habits and routines Class 8 Talking about habits and routines Class 9 Review lesson Class10 Describing present activities Class11 Describing present activities Class12 Talking about past events Class13 Talking about past events Class14 Review lesson Class15 Final exam
教科書	Smart Choice 1 A Ken Wilson (Oxford University Press)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	It's important that you complete all the work for this course. If you are absent, contact the teacher or another student to find out what you need to do before the next class.

授業コード	J2608		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 8クラス)(前)		
担当者名	ブレット(バーナード W. ブレット)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation)

	<ul style="list-style-type: none"> practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Attendance 10% Homework and participation 10% Written Exam 20% Final Project 60%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Class Policy, Goal and Interview Teacher Class 3 Group Building Activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 Meeting People Class 7 Family and Friends Class 8 Lifestyles Class 9 Work Class10 Having fun Class11 Shopping Class12 Project Work Class13 Project Work Class14 Project Presentation Class15 Written exam
教科書	New English Upgrade, Student book 2
参考書・資料	None
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Students will have ample opportunity to learn good pronunciation in this class.

授業コード	J2609		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能 9クラス)(後)		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> get used to using English to communicate with their classmates and teacher

	<ul style="list-style-type: none"> • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 																														
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。																														
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。																														
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Assignments & Homework</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Speaking Assessments</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td>10%</td> </tr> </table> <p>Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.</p>	Participation	20%	Assignments & Homework	20%	Quizzes	20%	Speaking Assessments	30%	Final Exam	10%																				
Participation	20%																														
Assignments & Homework	20%																														
Quizzes	20%																														
Speaking Assessments	30%																														
Final Exam	10%																														
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table> <tr> <td>Class 1</td> <td>Introduction</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Clothes & comparisons</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Appearance & personality</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Appearance & personality</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Cities & local attractions</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Cities & local attractions</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Around town</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Around town</td> </tr> <tr> <td>Class 10</td> <td>The future</td> </tr> <tr> <td>Class 11</td> <td>The future</td> </tr> <tr> <td>Class 12</td> <td>Vacations & vacation activities</td> </tr> <tr> <td>Class 13</td> <td>Vacations & vacation activities</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Preparation for final exam</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Final exam</td> </tr> </table>	Class 1	Introduction	Class 2	Clothes & comparisons	Class 3	Clothes & comparisons	Class 4	Appearance & personality	Class 5	Appearance & personality	Class 6	Cities & local attractions	Class 7	Cities & local attractions	Class 8	Around town	Class 9	Around town	Class 10	The future	Class 11	The future	Class 12	Vacations & vacation activities	Class 13	Vacations & vacation activities	Class 14	Preparation for final exam		Final exam
Class 1	Introduction																														
Class 2	Clothes & comparisons																														
Class 3	Clothes & comparisons																														
Class 4	Appearance & personality																														
Class 5	Appearance & personality																														
Class 6	Cities & local attractions																														
Class 7	Cities & local attractions																														
Class 8	Around town																														
Class 9	Around town																														
Class 10	The future																														
Class 11	The future																														
Class 12	Vacations & vacation activities																														
Class 13	Vacations & vacation activities																														
Class 14	Preparation for final exam																														
	Final exam																														
教科書	Smart Choice Student Book 1B (Oxford)																														
参考書・資料	Students will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.																														
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。																														
担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.																														

授業コード	J2610		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能10クラス)(後)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を		

	<p>養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>																														
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 																														
講義方法	<p>身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。</p>																														
準備学習	<p>前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。</p>																														
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>15%</td> </tr> </table>	Participation	50%	Homework	20%	Presentation	15%	Final exam	15%																						
Participation	50%																														
Homework	20%																														
Presentation	15%																														
Final exam	15%																														
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table> <tr> <td>Class 1</td> <td>Greetings</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Greetings</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Jobs</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Jobs</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Food & drink</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Food & drink</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Review</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Sport</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Sport</td> </tr> <tr> <td>Class10</td> <td>Daily life</td> </tr> <tr> <td>Class11</td> <td>Daily life</td> </tr> <tr> <td>Class12</td> <td>Problems</td> </tr> <tr> <td>Class13</td> <td>Problems</td> </tr> <tr> <td>Class14</td> <td>Review</td> </tr> <tr> <td>Class15</td> <td>Final exam</td> </tr> </table>	Class 1	Greetings	Class 2	Greetings	Class 3	Jobs	Class 4	Jobs	Class 5	Food & drink	Class 6	Food & drink	Class 7	Review	Class 8	Sport	Class 9	Sport	Class10	Daily life	Class11	Daily life	Class12	Problems	Class13	Problems	Class14	Review	Class15	Final exam
Class 1	Greetings																														
Class 2	Greetings																														
Class 3	Jobs																														
Class 4	Jobs																														
Class 5	Food & drink																														
Class 6	Food & drink																														
Class 7	Review																														
Class 8	Sport																														
Class 9	Sport																														
Class10	Daily life																														
Class11	Daily life																														
Class12	Problems																														
Class13	Problems																														
Class14	Review																														
Class15	Final exam																														
教科書	<p>Smart Choice 1 (Oxford)</p>																														
講義関連事項	<p>基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。</p>																														

授業コード	J2611		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能11クラス)(後)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。		

	The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Classwork: 50% Assignments and homework: 20% Conversation test: 15% Final exam: 15% Absences and lateness negatively affect the classwork grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1: Introductions Class 2: Conversations: Greetings and endings Class 3: Conversation: transitions Class 4: Formal conversations Class 5: Casual conversations Class 6: Talking about food Class 7: Daily activities Class 8: Daily activities Class 9: Past activities Class 10: Past activities Class 11: Giving instructions Class 12: Wh- questions Class 13: Conversation test Class 14: Future plans Class 15: Final exam
教科書	No textbook is required.
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Only English in the classroom!
---------	--------------------------------

授業コード	J2612		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能12クラス)(後)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限

特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 Introductory class and get to know you Class 2 Questions to teacher and discussion Class 3 Unit 1 Meeting People Class 4 Unit 2 Family and friends Class 5 Unit 3 Lifestyles Class 6 Unit 4 Work and Occupations Class 7 Unit 5 Entertainment and schedules Class 8 Unit 7 Shopping Class 9 Unit 8 Past Tense Class10 Unit 9 Life Experiences Class11 Unit 10 Directions Class12 Unit 11 Future Tense Class13 Review Class14 Group Activity Class15 Final exam
教科書	New English Upgrade 2 (Macmillan)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Please bring a dictionary
---------	---------------------------

授業コード	J2613		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能13クラス)(前)		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.										
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 										
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。										
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Assignments & Homework</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Speaking Assessments</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td>10%</td> </tr> </table> <p>Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.</p>	Participation	20%	Assignments & Homework	20%	Quizzes	20%	Speaking Assessments	30%	Final Exam	10%
Participation	20%										
Assignments & Homework	20%										
Quizzes	20%										
Speaking Assessments	30%										
Final Exam	10%										
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introduction Class 3 Clothes & comparisons Class 4 Clothes & comparisons Class 5 Appearance & personality Class 6 Appearance & personality Class 7 Cities & local attractions Class 8 Cities & local attractions Class 9 Around town Class10 Around town Class11 The future Class12 The future Class13 Vacations & vacation activities Class14 Vacations & vacation activities Final exam										
教科書	Smart Choice Student Book 1B (Oxford)										
参考書・資料	Students will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.										
講義関連事項	基礎英語Ⅱ(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。										
担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.										

授業コード	J2614
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能14クラス)(前)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.								
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>Assignments & homework</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td>15%</td> </tr> </table>	Participation	50%	Assignments & homework	20%	Presentation	15%	Final exam	15%
Participation	50%								
Assignments & homework	20%								
Presentation	15%								
Final exam	15%								
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Greetings Class 3 Jobs Class 4 Jobs Class 5 Food & drink Class 6 Food & drink Class 7 Review Class 8 Sport Class 9 Sport Class10 Daily life Class11 Daily life Class12 Problems Class13 Problems Class14 Review Class15 Final exam								
教科書	Smart Choice 1 (Oxford)								
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。								

授業コード	J2615
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能15クラス)(前)		
担当者名	レイクス(レイクス エスター M.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>		
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 		
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	<p>Classwork: 50%</p> <p>Assignments and homework: 20%</p> <p>Conversation test: 15%</p> <p>Final exam: 15%</p> <p>Absences and lateness negatively affect the classwork grade. In most cases, students with more than 3 absences will not receive credit for this course.</p>		
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1:CASEC placement test</p> <p>Class 2: Introductions</p> <p>Class 3: Conversations: Greetings and endings</p> <p>Class 4: Conversation: transitions</p> <p>Class 5: Formal conversations</p> <p>Class 6: Casual conversations</p> <p>Class 7: Daily activities</p> <p>Class 8: Daily activities</p> <p>Class 9: Past activities</p> <p>Class 10: Past activities</p> <p>Class 11: Giving instructions</p> <p>Class 12: Wh- questions</p> <p>Class 13: Conversation test</p> <p>Class 14: Future plans</p> <p>Class 15: Final exam</p>		
教科書	No textbook is required.		
参考書・資料	Please bring a B5 notebook and a dictionary to every class.		
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		

担当者から一言	Only English in the classroom!
---------	--------------------------------

授業コード	J2616		
授業科目名	基礎英語II(B) (理工・知能16クラス)(前)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions and get to know you Class 3 Questions to teacher and discussion Class 4 Unit 1 Abilities Class 5 Unit 2 Personal Information Class 6 Unit 3 Time and Date Class 7 Unit 4 Daily Routine Class 8 Unit 6 Locations and moving things Class 9 Unit 7 Directions Class10 Unit 9 Family Class11 Unit 11 Likes and Dislikes Class12 Unit 12 The Future Class13 Unit 13 The Past Class14 Group Activity Class15 Final exam</p>
教科書	Fifty Fifty Book One(Pearson)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Please bring a dictionary

授業コード	J2701		
授業科目名	基礎英語II(B) (留P 文経 1クラス)(前)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>								
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<p>Note: Although Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB appear as separate classes on your schedule, we will practice listening and speaking on both days and the grades for Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB are combined.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>In-class quizzes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>(Absences and lateness will negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 total absences--Kiso Eigo IIA and IIB combined--will not receive credit for this course.)</p>	Participation and effort	40%	In-class quizzes	20%	Final exam	30%	Homework	10%
Participation and effort	40%								
In-class quizzes	20%								
Final exam	30%								
Homework	10%								
講義構成	<p>Composition of Classes</p> <p>Note: The following schedule is for both Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB.</p> <p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Class 3, 4 & 5 Unit 1 'Please call me Beth'</p> <p>Class 6, 7 & 8 Unit 2 'How do you spend your day?'</p> <p>Class 9, 10 & 11 Unit 3 'How much is it?'</p> <p>Class 12, 13 & 14 Unit 4 'Do you like rap?'</p> <p>Class 15 Review of Units 1 to 4</p> <p>Class 16, 17 & 18 Unit 5 'Tell me about your family'</p> <p>Class 19, 20 & 21 Unit 6 'How often do you exercise?'</p> <p>Class 22, 23, & 24 Unit 7 'We had a great time!'</p> <p>Class 25, 26 & 27 Unit 8 'What's your neighborhood like?'</p> <p>Class 28 Review of Units 5 to 8</p>								

	FINAL EXAM
教科書	Interchange Student's Book 1A, Third Edition (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and notebook to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together and getting to know each of you. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience! Good luck with all of your classes this year at Konan University!

授業コード	J2702		
授業科目名	基礎英語II(B) (留P 文経 2クラス)(前)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.								
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	Note: Although Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB appear as separate classes on your schedule, we will practice listening and speaking on both days and the grades for Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB are combined. <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>In-class quizzes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> (Absences and lateness will negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 total absences—Kiso Eigo IIA and IIB combined—will not receive credit for this course.)	Participation and effort	40%	In-class quizzes	20%	Final exam	30%	Homework	10%
Participation and effort	40%								
In-class quizzes	20%								
Final exam	30%								
Homework	10%								
講義構成	Composition of Classes Note:The following schedule is for both Kiso Eigo IIA and Kiso Eigo IIB. Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Spring Term								

	Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions Class 3, 4 & 5 Unit 1 'Please call me Beth' Class 6, 7 & 8 Unit 2 'How do you spend your day?' Class 9, 10 & 11 Unit 3 'How much is it?' Class 12, 13 & 14 Unit 4 'Do you like rap?' Class 15 Review of Units 1 to 4 Class 16, 17 & 18 Unit 5 'Tell me about your family' Class 19, 20 & 21 Unit 6 'How often do you exercise?' Class 22, 23, & 24 Unit 7 'We had a great time!' Class 25, 26 & 27 Unit 8 'What's your neighborhood like?' Class 28 Review of Units 5 to 8 FINAL EXAM
教科書	Interchange Student's Book 1A, Third Edition (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and notebook to every class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together and getting to know each of you. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience! Good luck with all of your classes this year at Konan University!

授業コード	J2703		
授業科目名	基礎英語II(B) (留P 文経 3クラス)(前)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Assignment 30% Quiz 50%

講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. 講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 Class 1 CASEC受験 Class 2 Introduction Class 3. 4. 5 Making friends Class 6. 7. 8 Interests Class 9. 10. 11Health Class 12. 13. 14 Celebrations Class 15 Midterm Class 16. 17. 18 Growing up Class 19. 20. 21 Around down Class 22. 23. 24 At home Class 25. 26. 27. 28 Things happen Class 29 Final Quiz
教科書	Touchstone 2 (Cambridge) Michael McCarthy, Jeanne McCarten, Helen Sandiford
参考書・資料	N/A
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2711		
授業科目名	基礎英語II(B) (留P 法営 1クラス)(前)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	土曜2限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Homework 10% Participation 20% Bonus points 20% Quizzes 30%

	Final exam 20% (Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences will not receive credit for this course.) In the KPP course, performance in Kiso IIA and IIB is considered together when determining grades.
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2&3 Class introduction and orientation Class 4&5 Introduce your partner Class 6 Airplane language Class 7 Immigration Class 8 Bank Class 9 Hotel Class 10 Directions Class 11 Around the home Class 12 Going to the doctor Class 13 Weekend plans Class 14 Ordering food Class 15 Family Class 16 Family Class 17 Review Class 18 Talking about Japan Class 19 Meeting a friend Class 20 Plans for the day Class 21 Taking the bus Class 22 Shopping Class 23 Shopping Class 24 Post office Class 25 Going out Class 26 Describing a lost item Class 27 Saying goodbye & At the airport Class 28 Review Final exam
教科書	Passport (Oxford)
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

授業コード	J2712		
授業科目名	基礎英語II(B) (留P 法営 2クラス)(前)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	土曜1限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will:

	<ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 																																																						
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。																																																						
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。																																																						
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Final exam</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences will not receive credit for this course.) In the KPP course, performance in Kiso IIA and IIB is considered together when determining grades.</p>	Homework	10%	Participation	20%	Bonus points	20%	Quizzes	30%	Final exam	20%																																												
Homework	10%																																																						
Participation	20%																																																						
Bonus points	20%																																																						
Quizzes	30%																																																						
Final exam	20%																																																						
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">Class 1</td> <td>CASEC placement test</td> </tr> <tr> <td>Class 2&3</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Introduce your partner</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Airplane language</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Immigration</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Bank</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Hotel</td> </tr> <tr> <td>Class 10</td> <td>Directions</td> </tr> <tr> <td>Class 11</td> <td>Around the home</td> </tr> <tr> <td>Class 12</td> <td>Going to the doctor</td> </tr> <tr> <td>Class 13</td> <td>Weekend plans</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Ordering food</td> </tr> <tr> <td>Class 15</td> <td>Family</td> </tr> <tr> <td>Class 16</td> <td>Family</td> </tr> <tr> <td>Class 17</td> <td>Review</td> </tr> <tr> <td>Class 18</td> <td>Talking about Japan</td> </tr> <tr> <td>Class 19</td> <td>Meeting a friend</td> </tr> <tr> <td>Class 20</td> <td>Plans for the day</td> </tr> <tr> <td>Class 21</td> <td>Taking the bus</td> </tr> <tr> <td>Class 22</td> <td>Shopping</td> </tr> <tr> <td>Class 23</td> <td>Shopping</td> </tr> <tr> <td>Class 24</td> <td>Post office</td> </tr> <tr> <td>Class 25</td> <td>Going out</td> </tr> <tr> <td>Class 26</td> <td>Describing a lost item</td> </tr> <tr> <td>Class 27</td> <td>Saying goodbye & At the airport</td> </tr> <tr> <td>Class 28</td> <td>Review</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Final exam</td> </tr> </table>	Class 1	CASEC placement test	Class 2&3	Class introduction and orientation	Class 4&5	Introduce your partner	Class 6	Airplane language	Class 7	Immigration	Class 8	Bank	Class 9	Hotel	Class 10	Directions	Class 11	Around the home	Class 12	Going to the doctor	Class 13	Weekend plans	Class 14	Ordering food	Class 15	Family	Class 16	Family	Class 17	Review	Class 18	Talking about Japan	Class 19	Meeting a friend	Class 20	Plans for the day	Class 21	Taking the bus	Class 22	Shopping	Class 23	Shopping	Class 24	Post office	Class 25	Going out	Class 26	Describing a lost item	Class 27	Saying goodbye & At the airport	Class 28	Review		Final exam
Class 1	CASEC placement test																																																						
Class 2&3	Class introduction and orientation																																																						
Class 4&5	Introduce your partner																																																						
Class 6	Airplane language																																																						
Class 7	Immigration																																																						
Class 8	Bank																																																						
Class 9	Hotel																																																						
Class 10	Directions																																																						
Class 11	Around the home																																																						
Class 12	Going to the doctor																																																						
Class 13	Weekend plans																																																						
Class 14	Ordering food																																																						
Class 15	Family																																																						
Class 16	Family																																																						
Class 17	Review																																																						
Class 18	Talking about Japan																																																						
Class 19	Meeting a friend																																																						
Class 20	Plans for the day																																																						
Class 21	Taking the bus																																																						
Class 22	Shopping																																																						
Class 23	Shopping																																																						
Class 24	Post office																																																						
Class 25	Going out																																																						
Class 26	Describing a lost item																																																						
Class 27	Saying goodbye & At the airport																																																						
Class 28	Review																																																						
	Final exam																																																						
教科書	Passport (Oxford)																																																						
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.																																																						
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。																																																						

授業コード	J2801
-------	-------

授業科目名	基礎英語II(B) (再履修 1クラス)(後)		
担当者名	カーク(カーク スタンレー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday and Wednesday: 12:15-12:50		
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>		
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 		
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。		
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。		
成績評価	<p>Homework, speaking checks, quizzes: 80%</p> <p>Attitude, effort, class participation: 10%</p> <p>Final exam: 10%</p>		
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introducing yourself to others</p> <p>Class 3 Asking for and giving personal information</p> <p>Class 4 Talking about likes and dislikes</p> <p>Class 5 Talking about your daily schedule and activities</p> <p>Class 6 Talking about past events</p> <p>Class 7 Making comparisons</p> <p>Class 8 Describing people</p> <p>Class 9 Talking about cities</p> <p>Class10 Talking about vacations</p> <p>Class11 Researching and talking about a famous person</p> <p>Class12 Talking about a famous person (continued)</p> <p>Class13 "Make drama": making up a conversation between famous people</p> <p>Class14 "Make drama": performing the conversation between famous people</p> <p>Class15 Final exam</p>		
教科書	Smart Choice 1		
参考書・資料	Please bring a dictionary to class.		
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。		
担当者から一言	Even if you do not have self-confidence in your English ability, you can get a good grade in this course by attending regularly and doing your best each time in the pair and group activities.		

授業コード	J2802		
授業科目名	基礎英語II(B) (再履修 2クラス)(前)		
担当者名	ポーリグ(ポーリグ ランデル ウェイン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Participation and homework 20%</p> <p>Mid-term exams 40%</p> <p>Final in-class exams 40%</p>
講義構成	<p>Note: Some changes may occur depending on students abilities and interests.</p> <p>Week 1 Independent study (class registration and placement).</p> <p>Week 2 Orientation</p> <p>Week 3 Unit 1</p> <p>Weeks 4-5 Unit 2</p> <p>Weeks 6-7 Unit 7</p> <p>Week 8 Review and mid-term assessment</p> <p>Weeks 9-10 Unit 3</p> <p>Weeks 11-12 Unit 6</p> <p>Week 13 Consolidation and review</p> <p>Week 14 Term assessment</p>
教科書	The New English Firsthand 1 (Pearson/Longman) new 2010 edition
参考書・資料	Come prepared to every class with a notebook or loose-leaf folder, dictionary, and of course, pen/pencil.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
担当者から一言	Do your best. Try hard. Ask questions. Learn from your mistakes. Don't give up. Smile and enjoy learning English.

授業コード	J2803								
授業科目名	基礎英語II(B) (再履修 3クラス)(後)								
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)								
配当年次	2・3・4年次	単位数	1						
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜5限						
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。								
講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>								
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ get used to using English to communicate with their classmates and teacher ・ practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations ・ begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics ・ review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ・ practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes) 								
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。								
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Tests and exam</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> </table>			Participation	40%	Homework	30%	Tests and exam	30%
Participation	40%								
Homework	30%								
Tests and exam	30%								
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 Course introduction Class 2 Unit 1: Making friends Class 3 Unit 1: Making friends Class 4 Unit 2: Interests Class 5 Unit 2: Interests Class 6 Unit 3: Health Class 7 Unit 3: Health Class 8 Unit 4: Celebrations Class 9 Unit 4: Celebrations Class10 Unit 5: Growing up Class11 Unit 5: Growing up Class12 Unit 6: Around town Class13 Unit 6: Around town Class14 Review and course wrap-up Class15 Final exam</p>								
教科書	McCarthy, McCarten, and Sandiford: Touchstone 2A (Cambridge)								
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts								
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。								
担当者から一言	Effort and active participation are important for you and the other students in this communication course.								

授業コード	J2901		
授業科目名	基礎英語II(B) (SPORT 1クラス)(前)		
担当者名	カーク(カーク スタンレー)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday, Wednesday: 12:15-12:50		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	<p>Homework, speaking checks, quizzes: 80%</p> <p>Attitude, effort, class participation: 10%</p> <p>Final exam: 10%</p>
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 CASEC placement test</p> <p>Class 2 Introducing yourself to others</p> <p>Class 3 Asking for and giving personal information</p> <p>Class 4 Talking about your family</p> <p>Class 5 Talking about likes and dislikes</p> <p>Class 6 Talking about your daily schedule and activities</p> <p>Class 7 Talking about things that you are good at</p> <p>Class 8 Talking about clothing and fashion</p> <p>Class 9 Giving directions to your university, home</p> <p>Class10 Talking about what you did during the weekend</p> <p>Class11 Researching and talking about a famous person</p> <p>Class12 Talking about a famous person (continued)</p> <p>Class13 "Make drama": making up a conversation between famous people</p> <p>Class14 "Make drama": performing the conversation between famous people</p> <p>Class15 Final exam</p>
教科書	First Choice
参考書・資料	Bring your dictionary to class.
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC, TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期

	にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。
--	---------------------------------

担当者から一言	あまり自身がなくても、毎回自分のベストを尽くして積極的に参加したら、良い成績を取れるクラスです。
---------	--

授業コード	J2902		
授業科目名	基礎英語II(B) (SPORT 2クラス)(前)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。 The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.
到達目標	相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。 In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用いた次の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Class 1 CASEC placement test Class 2 Introductions and get to know you Class 3 Questions to teacher and discussion Class 4 Unit 1 Abilities Class 5 Unit 2 Personal Information Class 6 Unit 3 Time and Date Class 7 Unit 4 Daily Routine Class 8 Unit 6 Locations and moving things Class 9 Unit 7 Directions Class10 Unit 9 Family Class11 Unit 11 Likes and Dislikes Class12 Unit 12 The Future Class13 Unit 13 The Past Class14 Group Activity Class15 Final exam
教科書	Fifty Fifty Book One(Pearson)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお勧めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Please bring a dictionary
---------	---------------------------

授業コード	J2903		
授業科目名	基礎英語II(B) (SPORT 3クラス)(後)		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	1年次	単位数	1
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>英語を母語とする教員の指導によるCommunicativeな学習環境の中で、英語を話す能力の伸長を目指す。オーラル・コミュニケーションを基礎とし、相手の意向を理解し、自分の意見を英語で話す実践的な英語運用能力を養う。</p> <p>The main purpose of this course is to enable students to participate in basic conversations in a variety of situations. Some practice with talking about personal experiences and expressing ideas and opinions is also included.</p>
到達目標	<p>相手の話す英語を理解し、基礎的な英語で自分の考えを相手に伝える基本的なコミュニケーションの技能を身につけることを目標とする。</p> <p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • get used to using English to communicate with their classmates and teacher • practice and perform a large number of basic conversations in a variety of situations • begin to practice expressing their own ideas, feelings and opinions on a variety of familiar topics • review the English they have studied before, but also learn new vocabulary and useful expressions • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • practice basic skills that are necessary for successful language learning (for example, using a dictionary and taking notes)
講義方法	身近な日常生活の場面で話したり、読まれたりする内容について、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションなどを行なう。適切な表現を学び、基本的な英語伝達能力を育成する。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	Participation 50%; Group Activity 20%; Attendance 20%; Exam10%
講義構成	<p>Some adjustments to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Class 1 Introductions Class 2 Get to know you activities Class 3 Questions to teacher and discussion Class 4 Unit 1 Abilities Class 5 Unit 2 Personal Information Class 6 Unit 3 Time and Date Class 7 Unit 4 Daily Routine Class 8 Unit 6 Locations and moving things Class 9 Unit 7 Directions Class10 Unit 9 Family Class11 Unit 11 Likes and Dislikes Class12 Unit 12 The Future Class13 Unit 13 The Past Class14 Group Activity Class15 Final exam</p>
教科書	Fifty Fifty Book One(Pearson)
講義関連事項	基礎英語II(B)で学んだ知識を活かし、来年度の中級英語の履修をお薦めします。中級英語は4技能を伸ばすことを目標とした科目のほか、TOEIC、TOEFLなどの試験対策講座、英語のスピーチの技法を学ぶ講座などバラエティにとんだ科目を選択できるようになっています。レベル別の科目が多いので中級英語受講希望者は後期にもCASECを受験して下さい。詳しくは後期にお知らせします。

担当者から一言	Please bring a dictionary
---------	---------------------------

授業コード	K7101		
授業科目名	基礎韓国語I(文1クラス)		
担当者名	金明珉(キム ミョンミン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音(1)</p> <p>3～4回目 第2課 子音(1)</p> <p>5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2)</p> <p>7～8回目 第4課 終声・連音化</p> <p>9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文</p> <p>11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬</p> <p>13～14回目 第7課 用言文</p> <p>15回目 中間テスト</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の復習、第8課 数詞</p> <p>2回目 第8課 疑問詞</p> <p>3～4回目 第9課 尊敬形(1)</p> <p>5～6回目 第10課 連用形</p> <p>7～8回目 第11課 尊敬形(2)</p> <p>9～10回目 第12課 過去形</p> <p>11～12回目 第13課 進行形、連体形(1)</p> <p>13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ</p> <p>15回目 期末テスト</p> <p>*教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。 ①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。 ②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6
---------	--

	<p>号館653号室)で、皆さんの質問に答えています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
--	---

授業コード	K7102		
授業科目名	基礎韓国語I(文 2クラス)		
担当者名	鄭 東憲(チョン トンホン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)

講義関連事項	『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』へ進むことができるように指導を行う。
担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。</p> <p>なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>

授業コード	K7103		
授業科目名	基礎韓国語Ⅰ(文 3クラス)		
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形</p>

	7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているの、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引きながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。</p> <p>なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	--

授業コード	K7301		
授業科目名	基礎韓国語I(経済1クラス)		
担当者名	呉 賢欄(オ ヒョンラン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音(1)</p> <p>3～4回目 第2課 子音(1)</p> <p>5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2)</p>

	<p>7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト <後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引きながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	--

授業コード	K7302		
授業科目名	基礎韓国語I(経済2クラス)		
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じである

	という点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているので、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	---

授業コード	K7303
授業科目名	基礎韓国語Ⅰ(経済3クラス)
担当者名	朴 英珠(パク ヨンジュ)

配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。		
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。		
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。		
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること		
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。		
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>		
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること		
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)		
講義関連事項	『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』へ進むことができるように指導を行う。		
担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているのので、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引きながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p>		

	<p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
--	--

授業コード	K7401		
授業科目名	基礎韓国語I(法 1クラス)		
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音(1)</p> <p>3～4回目 第2課 子音(1)</p> <p>5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2)</p> <p>7～8回目 第4課 終声・連音化</p> <p>9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文</p> <p>11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬</p> <p>13～14回目 第7課 用言文</p> <p>15回目 中間テスト</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の復習、第8課 数詞</p> <p>2回目 第8課 疑問詞</p> <p>3～4回目 第9課 尊敬形(1)</p> <p>5～6回目 第10課 連用形</p> <p>7～8回目 第11課 尊敬形(2)</p> <p>9～10回目 第12課 過去形</p> <p>11～12回目 第13課 進行形、連体形(1)</p> <p>13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ</p> <p>15回目 期末テスト</p> <p>*教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。</p> <p>なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じてい</p>
---------	--

	<p>ます。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
--	---

授業コード	K7402		
授業科目名	基礎韓国語I(法 2クラス)		
担当者名	朴 永炅(パク ヨンギョン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>

教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。</p> <p>なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	--

授業コード	K7403		
授業科目名	基礎韓国語Ⅰ(法 3クラス)		
担当者名	鄭 東憲(チョン トンホン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期></p>

	回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。 ①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。 ②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。 ③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。 ④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。 ⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。 ⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。
---------	--

授業コード	K7501		
授業科目名	基礎韓国語I(経営1クラス)		
担当者名	金 秉基(キム ビョンキ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<前期>

	回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト <後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。 ①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。 ②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。 ③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。 ④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。 ⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。 ⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。
---------	--

授業コード	K7502		
授業科目名	基礎韓国語I(経営 2クラス)		
担当者名	李 雨洲(イ ウジュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の
-------	---

	翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているので、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引きながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	--

授業コード	K7503		
授業科目名	基礎韓国語I(経営3クラス)		
担当者名	李 源京(リ ウォンキョン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿</p>
---------	---

	<p>毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
--	--

授業コード	K7601		
授業科目名	基礎韓国語I(理工)		
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているので、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。</p> <p>なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	--

授業コード	K7701		
授業科目名	基礎韓国語Ⅰ(知能情報)		
担当者名	李 雨洲(イ ウジュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2)</p>

	9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているので、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。</p> <p>なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	--

授業コード	K7901		
授業科目名	基礎韓国語I(再履修1クラス)		
担当者名	高 賛侑(コウ チャニューウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音(1)</p> <p>3～4回目 第2課 子音(1)</p> <p>5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2)</p> <p>7～8回目 第4課 終声・連音化</p>

	<p>9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているの、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	--

授業コード	K7902		
授業科目名	基礎韓国語I(再履修 2クラス)		
担当者名	高 賛侑(コウ チャニューウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜5限)、後期(月曜5限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。

準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。</p>
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』へ進むことができるように指導を行う。

担当者から一言	<p>遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。</p> <p>⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p>
---------	---

授業コード	K7903		
授業科目名	基礎韓国語I(再履修 3クラス)		
担当者名	呉 賢欄(オ ヒョンラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2

開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	読解(読む・書く)を中心とする初修韓国語の学習に欠かせない母音字と子音字の組み立て、文章の構造、用言の活用などの文法事項の理解に重点を置く。辞書の引き方を習得するとともに、単語の学習、初歩的な文章の翻訳、簡単な文章の作文を行う。		
到達目標	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。		
講義方法	学生が積極的に参加する授業を行い、教科書にそって進めて行く。日本語と韓国語は文章の構造が同じであるという点に基づき、語彙を集中的に学習し、翻訳や作文に繋がるように指導する。		
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること		
成績評価	定期試験の成績(40%)に講義中の対応(25%)、課題(20%)、小テスト(15%)をもって評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。		
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音(1) 3～4回目 第2課 子音(1) 5～6回目 第3課 子音(2)、母音(2) 7～8回目 第4課 終声・連音化 9～10回目 第5課 辞書の引き方、名詞文 11～12回目 第6課 名詞文の否定と尊敬 13～14回目 第7課 用言文 15回目 中間テスト <後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の復習、第8課 数詞 2回目 第8課 疑問詞 3～4回目 第9課 尊敬形(1) 5～6回目 第10課 連用形 7～8回目 第11課 尊敬形(2) 9～10回目 第12課 過去形 11～12回目 第13課 進行形、連体形(1) 13～14回目 第14課 連体形(2)、まとめ 15回目 期末テスト *教科書の14課までを学習する。		
教科書	『ことばの架け橋』(白帝社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること		
参考書・資料	『国立国語研究院 標準国語大辞典』(斗山東亜) 『韓国語読本(初級)』(延世大学校出版部)		
講義関連事項	『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』へ進むことができるように指導を行う。		
担当者から一言	遅刻・欠席しないで下さい。韓国語は日本語と類似しているため、「基礎韓国語」を学習しただけでも、辞書を引ながら童話や簡単な新聞記事程度は読解できます。 なお、『基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ』の受講生に対するお知らせです。 ①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から13時まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。 ぜひ、訪ねてみて下さい。 ②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。 ③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。 ④語学優秀賞制度 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員まで尋ねて下さい。 ⑤秋の踏査 毎年11月中旬、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。		

	⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。
--	--

授業コード	K8101		
授業科目名	基礎韓国語II (文 1クラス)		
担当者名	金 泰虎(キム テホ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日 10時40分～12時10分(アポイント必要)		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p> <p>9回目 第20課 趣味について話す</p> <p>10回目 第21課 好きなことを表現する</p> <p>11回目 第22課 飲み物の注文</p> <p>12回目 第23課 観光客に聞く</p> <p>13回目 第24課 韓国語学習の意義(1)</p> <p>14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ</p> <p>15回目 期末試験</p>

	*教科書の全部を学習する。
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8102		
授業科目名	基礎韓国語II(文 2クラス)		
担当者名	鄭 貞美(チョン ジョンミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p> <p>9回目 第20課 趣味について話す</p>

	10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8103		
授業科目名	基礎韓国語II(文 3クラス)		
担当者名	朴 英珠(パク ヨンジュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p>

	4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張って下さい。

授業コード	K8301		
授業科目名	基礎韓国語II(経済1クラス)		
担当者名	朴 英珠(パク ヨンジュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音字の発音(1) 3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2) 8回目 第7課 終声 9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する 14回目 第12課 仕事を尋ねる

	<p>15回目 中間試験 <後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く 3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8302		
授業科目名	基礎韓国語II(経済2クラス)		
担当者名	李 源京(リ ウォンキョン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音字の発音(1) 3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2) 8回目 第7課 終声

	<p>9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する 14回目 第12課 仕事を尋ねる 15回目 中間試験</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く 3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8303		
授業科目名	基礎韓国語II (経済 3クラス)		
担当者名	鄭 貞美(チョン ジョンミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p>

	<p>3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2) 8回目 第7課 終声 9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する 14回目 第12課 仕事を尋ねる 15回目 中間試験</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く 3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張って下さい。

授業コード	K8401		
授業科目名	基礎韓国語II(法1クラス)		
担当者名	金 明珉(キム ミョンミン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること

成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日~12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p> <p>9回目 第20課 趣味について話す</p> <p>10回目 第21課 好きなことを表現する</p> <p>11回目 第22課 飲み物の注文</p> <p>12回目 第23課 観光客に聞く</p> <p>13回目 第24課 韓国語学習の意義(1)</p> <p>14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ</p> <p>15回目 期末試験</p> <p>*教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張って下さい。

授業コード	K8402		
授業科目名	基礎韓国語II(法 2クラス)		
担当者名	金 明珉(キム ミョンミン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。		
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5		

	級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日~12日) 2回目 導入、第1課 母音字の発音(1) 3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2) 8回目 第7課 終声 9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する 14回目 第12課 仕事を尋ねる 15回目 中間試験</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く 3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8403		
授業科目名	基礎韓国語II(法 3クラス)		
担当者名	李 源京(リ ウォンキョン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)

特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p> <p>9回目 第20課 趣味について話す</p> <p>10回目 第21課 好きなことを表現する</p> <p>11回目 第22課 飲み物の注文</p> <p>12回目 第23課 観光客に聞く</p> <p>13回目 第24課 韓国語学習の意義(1)</p> <p>14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ</p> <p>15回目 期末試験</p> <p>*教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8501
-------	-------

授業科目名	基礎韓国語II (経営 1クラス)		
担当者名	鄭 貞美(チョン ジョンミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。		
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。		
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。		
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること		
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。		
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p> <p>9回目 第20課 趣味について話す</p> <p>10回目 第21課 好きなことを表現する</p> <p>11回目 第22課 飲み物の注文</p> <p>12回目 第23課 観光客に聞く</p> <p>13回目 第24課 韓国語学習の意義(1)</p> <p>14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ</p> <p>15回目 期末試験</p> <p>*教科書の全部を学習する。</p>		
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること		
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)		
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。		

担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張って下さい。
---------	---

授業コード	K8502		
授業科目名	基礎韓国語II (経営 2クラス)		
担当者名	鄭 貞美(チョン ジョンミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p> <p>9回目 第20課 趣味について話す</p> <p>10回目 第21課 好きなことを表現する</p> <p>11回目 第22課 飲み物の注文</p> <p>12回目 第23課 観光客に聞く</p> <p>13回目 第24課 韓国語学習の意義(1)</p> <p>14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ</p> <p>15回目 期末試験</p> <p>*教科書の全部を学習する。</p>

教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8503		
授業科目名	基礎韓国語II(経営 3クラス)		
担当者名	金 泰虎(キム テホ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日 10時40分～12時10分(アポイント必要)		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p>

	9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8601		
授業科目名	基礎韓国語II(理工)		
担当者名	呉 賢欄(オ ヒョンラン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音字の発音(1) 3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2) 8回目 第7課 終声 9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する 14回目 第12課 仕事を尋ねる 15回目 中間試験 <後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く

	3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8701		
授業科目名	基礎韓国語II (知能情報)		
担当者名	金 眞(キム ジン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」・「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音字の発音(1) 3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2) 8回目 第7課 終声 9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する

	14回目 第12課 仕事を尋ねる 15回目 中間試験 <後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く 3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8901		
授業科目名	基礎韓国語II(再履修 1クラス)		
担当者名	高 賛侑(コウ チャニューウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 導入、第1課 母音字の発音(1) 3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2)

	8回目 第7課 終声 9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する 14回目 第12課 仕事を尋ねる 15回目 中間試験 <後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く 3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8902		
授業科目名	基礎韓国語II(再履修 2クラス)		
担当者名	鄭 東憲(チョン トンホン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜5限)、後期(水曜5限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)

	<p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1) 3回目 第2課 子音字 4回目 第3課 激音 5回目 第4課 単語の発音 6回目 第5課 濃音 7回目 第6課 母音字の発音(2) 8回目 第7課 終声 9回目 第8課 連音 10回目 第9課 連音化(1) 11回目 第9課 連音化(2) 12回目 第10課 辞書の引き方 13回目 第11課 自己紹介する 14回目 第12課 仕事を尋ねる 15回目 中間試験</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 前期学習の発音復習 2回目 第13課 学校生活について聞く 3回目 第14課 買い物 4回目 第15課 時間を尋ねる 5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く 6回目 第17課 所要時間を聞く 7回目 第18課 道を尋ねる 8回目 第19課 年齢を尋ねる 9回目 第20課 趣味について話す 10回目 第21課 好きなことを表現する 11回目 第22課 飲み物の注文 12回目 第23課 観光客に聞く 13回目 第24課 韓国語学習の意義(1) 14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ 15回目 期末試験 *教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K8903		
授業科目名	基礎韓国語II(再履修3クラス)		
担当者名	呉 賢欄(オ ヒョンラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(金曜5限)
特記事項	ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	会話(話す・聞く)を中心とする初修韓国語の学習に必要な平音・激音・濃音・鼻音・流音の正確な発音、連音化に伴う様々な発音の変化を学習する。正確な発音の習得に基づいて、会話文を習い、初歩的な日常会話の能力を身につけることに重点を置く。		
到達目標	韓国の「標準語」で発音を習得し、「話す」「聞く」練習に重点をおいた学習を行う。「ハングル能力検定試験」5級に合格できるレベルを目標とする。		
講義方法	教科書を中心に、学生が積極的に参加する授業を通して、質問に対する応用能力の養成、そして小テスト、ロールプレー(Role Play)を行う。必要に応じてビデオ・カセットテープ・CDも活用する。韓国語と日本語の酷似性を生かして、簡単に韓国語の会話になじむことができるように指導する。		

準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験の成績(40%)、講義時の対応(20%)、小テスト(15%)、ロールプレー(15%)、課題(10%)に基づいて評価する。全授業に対して80%以上の出席がなければ、「欠席」という評価になる。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日~12日)</p> <p>2回目 導入、第1課 母音字の発音(1)</p> <p>3回目 第2課 子音字</p> <p>4回目 第3課 激音</p> <p>5回目 第4課 単語の発音</p> <p>6回目 第5課 濃音</p> <p>7回目 第6課 母音字の発音(2)</p> <p>8回目 第7課 終声</p> <p>9回目 第8課 連音</p> <p>10回目 第9課 連音化(1)</p> <p>11回目 第9課 連音化(2)</p> <p>12回目 第10課 辞書の引き方</p> <p>13回目 第11課 自己紹介する</p> <p>14回目 第12課 仕事を尋ねる</p> <p>15回目 中間試験</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 前期学習の発音復習</p> <p>2回目 第13課 学校生活について聞く</p> <p>3回目 第14課 買い物</p> <p>4回目 第15課 時間を尋ねる</p> <p>5回目 第16課 喫茶店へ一緒に行く</p> <p>6回目 第17課 所要時間を聞く</p> <p>7回目 第18課 道を尋ねる</p> <p>8回目 第19課 年齢を尋ねる</p> <p>9回目 第20課 趣味について話す</p> <p>10回目 第21課 好きなことを表現する</p> <p>11回目 第22課 飲み物の注文</p> <p>12回目 第23課 観光客に聞く</p> <p>13回目 第24課 韓国語学習の意義(1)</p> <p>14回目 第24課 韓国語学習の意義(2)まとめ</p> <p>15回目 期末試験</p> <p>*教科書の全部を学習する。</p>
教科書	『書いて覚える朝鮮語(改訂版)』(白水社) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『標準韓国語発音大辞典』(語文館) 『外国人のための韓国語 I』(梨花女子大学校言語教育院)
講義関連事項	『中級韓国語 I・II・III・IV』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語は日本語と酷似しており、日本語を話す人には学習しやすい言語です。「基礎韓国語」を勉強しただけでも、韓国へ旅行に行き、買い物ができるレベルになれます。ぜひ頑張ってください。

授業コード	K5101		
授業科目名	基礎中国語I(文1クラス)		
担当者名	松村 巧(マツムラ タクミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読		

	み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5102		
授業科目名	基礎中国語I (文 2クラス)		
担当者名	山本恭子(ヤマモト キョウコ)、石井康一(イシイ コウイチ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月

	出版社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同友社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5103		
授業科目名	基礎中国語I(文 3クラス)		
担当者名	干 耀明(ウ ヨウメイ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いですね。(一回目)

	<p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出版社:朝日出版社</p> <p>定価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5104		
授業科目名	基礎中国語I(文4クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p>前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト</p> <p>7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目)</p> <p>8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目)</p> <p>9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目)</p> <p>10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目)</p> <p>11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目)</p> <p>12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目)</p>

	<p>13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)</p> <p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いですね。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いですね。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5105		
授業科目名	基礎中国語I(文 5クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5106		
授業科目名	基礎中国語I(文 6クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5107
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I(文 7クラス)		
担当者名	小林傑子(コバヤシ ヨシコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同友社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5108		
授業科目名	基礎中国語I(文 8クラス)		
担当者名	山本恭子(ヤマモト キョウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同出版社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5109		
授業科目名	基礎中国語I(文 9クラス)		
担当者名	島 由子(シマ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡 金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5110		
授業科目名	基礎中国語I(文)(再履修クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト</p> <p>7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目)</p> <p>8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目)</p> <p>9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目)</p> <p>10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目)</p> <p>11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目)</p> <p>12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目)</p> <p>13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)</p> <p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5301		
授業科目名	基礎中国語I(経済1クラス)		
担当者名	松村 巧(マツムラ タクミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5302
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I (経済 2クラス)		
担当者名	山本恭子(ヤマモト キョウコ)、石井康一(イシイ コウイチ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5303		
授業科目名	基礎中国語I(経済3クラス)		
担当者名	山添秀子(ヤマゾエ ヒデコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I.文法のまとめ 1.否定を表す“不”と“没(有)” 2.前置詞 II.確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同出版社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5304		
授業科目名	基礎中国語I(経済4クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡 金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5305		
授業科目名	基礎中国語I(経済5クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5306		
授業科目名	基礎中国語I(経済6クラス)		
担当者名	小林傑子(コバヤシ ヨシコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5307
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I (経済 7クラス)		
担当者名	山本恭子(ヤマモト キョウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同友社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5308		
授業科目名	基礎中国語I(経済8クラス)		
担当者名	荊 秉月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同出版社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5309		
授業科目名	基礎中国語I(経済)(再履修クラス)		
担当者名	要木佳美(ヨウギ ヨシミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡 金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5401		
授業科目名	基礎中国語I(法1クラス)		
担当者名	山添秀子(ヤマゾエ ヒデコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5402		
授業科目名	基礎中国語I(法 2クラス)		
担当者名	池田磨左文(イケダ マサフミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5403
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I (法 3クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5404		
授業科目名	基礎中国語I (法 4クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同出版社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5405		
授業科目名	基礎中国語I(法 5クラス)		
担当者名	島 由子(シマ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡 金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5406		
授業科目名	基礎中国語I(法 6クラス)		
担当者名	要木佳美(ヨウギ ヨシミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト</p> <p>7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目)</p> <p>8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目)</p> <p>9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目)</p> <p>10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目)</p> <p>11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目)</p> <p>12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目)</p> <p>13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)</p> <p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5407		
授業科目名	基礎中国語I(法 7クラス)		
担当者名	藤井美恵子(フジイ ミエコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5408
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I (法 8クラス)		
担当者名	山添秀子(ヤマゾエ ヒデコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5409		
授業科目名	基礎中国語I(法)(再履修クラス)		
担当者名	劉 燕(リュウ エン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5501		
授業科目名	基礎中国語I(経営1クラス)		
担当者名	鄭 萍(テイ ヒョウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡 金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5502		
授業科目名	基礎中国語I(経営 2クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5503		
授業科目名	基礎中国語I(経営3クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5504
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I(経営4クラス)		
担当者名	山本恭子(ヤマモト キョウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5505		
授業科目名	基礎中国語I(経営 5クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同出版社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5506		
授業科目名	基礎中国語I(経営6クラス)		
担当者名	荊 秉月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違ひは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・ル化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡 金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5507		
授業科目名	基礎中国語I(経営7クラス)		
担当者名	藤井美恵子(フジイ ミエコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト</p> <p>7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目)</p> <p>8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目)</p> <p>9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目)</p> <p>10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目)</p> <p>11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目)</p> <p>12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目)</p> <p>13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)</p> <p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5508		
授業科目名	基礎中国語I(経営8クラス)		
担当者名	島 由子(シマ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5509
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I(経営)(再履修クラス)		
担当者名	劉 燕(リュウ エン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5601		
授業科目名	基礎中国語I(理工1クラス)		
担当者名	山添秀子(ヤマゾエ ヒデコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I.文法のまとめ 1.否定を表す“不”と“没(有)” 2.前置詞 II.確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同出版社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5602		
授業科目名	基礎中国語I(理工 2クラス)		
担当者名	吐山明月(ハマメ イゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的學生。／私は大学一年生の學生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5603		
授業科目名	基礎中国語I(理工 3クラス)		
担当者名	山添秀子(ヤマゾエ ヒデコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5604		
授業科目名	基礎中国語I(理工 4クラス)		
担当者名	池田磨左文(イケダ マサフミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学生
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5605
-------	-------

授業科目名	基礎中国語I (理工 5クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5606		
授業科目名	基礎中国語I(理工・知)(再履修クラス)		
担当者名	小林傑子(コバヤシ ヨシコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.表記上の注意点 II.数字 III.確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I.文法のまとめ 1.否定を表す“不”と“没(有)” 2.前置詞 II.確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多!／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)

	8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡 金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5701		
授業科目名	基礎中国語I (知能情報 1クラス)		
担当者名	山本恭子(ヤマモト キョウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	<p>中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)

	<p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡 金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5702		
授業科目名	基礎中国語I(知能情報 2クラス)		
担当者名	荊 秉月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p>

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト</p> <p>7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目)</p> <p>8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目)</p> <p>9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目)</p> <p>10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目)</p> <p>11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目)</p> <p>12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目)</p> <p>13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目)</p> <p>14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト</p> <p>2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目)</p> <p>3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目)</p> <p>4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目)</p> <p>5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目)</p> <p>6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目)</p> <p>7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目)</p> <p>8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目)</p> <p>9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目)</p> <p>10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目)</p> <p>11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目)</p> <p>12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目)</p> <p>13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目)</p> <p>14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ読める中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K5703		
授業科目名	基礎中国語I (知能情報 3クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	中国語入門。発音から基礎的な表現、文法、作文を習得することにより、読解や会話の基礎となる中国語の「読み・書く」能力を養成する。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	中国語の基礎を一通り学習する。文法の学習が中心となるが、基本的な文法は一つの外国語を身につけるための道具であり、また、会話や読解の不可欠の前提でもある。講義は、教科書にそって1回1課ずつ進める。文法事項をできるだけ分かりやすく解説した後で、簡単な中文和訳、和文中訳、中国語の「ピンイン」を漢字に、漢字を「ピンイン」に書き換える練習、中国語の文を作る練習、また、文法問題の練習をし、知識を定着させる。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 表記上の注意点 II. 数字 III. 確認テスト 7. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(一回目) 8. 第5課 我是大学一年◆的学生。／私は大学一年生の学生です。(二回目) 9. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(一回目) 10. 第6課 我星期一有◆◆◆。／私は月曜日中国語の授業があります。(二回目) 11. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(一回目) 12. 第7課 我会唱中文歌。／私は中国語の歌が歌えます。(二回目) 13. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(一回目) 14. 第8課 我打算去北京旅游。／私は北京へ旅行に行く予定です。(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 I. 文法のまとめ 1. 否定を表す“不”と“没(有)” 2. 前置詞 II. 確認テスト 2. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(一回目) 3. 第9課 我到北京了。／私は北京に着きました。(二回目) 4. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(一回目) 5. 第10課 小◆◆我吃◆。／張君はご飯を奢ってくれました。(二回目) 6. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(一回目) 7. 第11課 北京名◆古迹真多！／北京には名所旧跡が本当に多いです。(二回目) 8. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(一回目) 9. 第12課 熊猫可◆◆了。／パンダは本当に可愛いです。(二回目) 10. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(一回目) 11. 第13課 北京夏天比我老家◆◆。／北京の夏は私の故郷よりも暑いです。(二回目) 12. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(一回目) 13. 第14課 我明天就要回国了。／私は明日帰国します。(二回目) 14. 復習3 I. 文法のまとめ 1. アスペクト 2. 助動詞 3. 語気助詞 II. 確認テスト 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ読める中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6101
-------	-------

授業科目名	基礎中国語II (文 1クラス)		
担当者名	桂 小蘭(ケイ ショウラン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。		
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるようですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるようですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験 		
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社		

	定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6102		
授業科目名	基礎中国語II(文 2クラス)		
担当者名	程 卓(テイ タク)、石井康一(イシイ コウイチ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字?/お名前は何かと仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字?/お名前は何かと仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆?/あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆?/あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆?/私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆?/私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有?/あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有?/あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆?/ここは両替できますか(一回目)

	3. 第 9課 ㊦儿可以㊦㊦㊦? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ㊦我看看菜㊦。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ㊦我看看菜㊦。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告㊦我怎㊦走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告㊦我怎㊦走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听㊦㊦物㊦里有熊猫, 是㊦? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听㊦㊦物㊦里有熊猫, 是㊦? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ㊦最喜㊦什㊦季㊦? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ㊦最喜㊦什㊦季㊦? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ㊦㊦㊦学了多㊦㊦㊦了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ㊦㊦㊦学了多㊦㊦㊦了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6103		
授業科目名	基礎中国語II(文 3クラス)		
担当者名	邱 立(キュウ リツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調

	<p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語</p> <p>7. 第5課 ◆叫什◆名字？／お名前は何と仰いますか(一回目)</p> <p>8. 第5課 ◆叫什◆名字？／お名前は何と仰いますか(二回目)</p> <p>9. 第6課 ◆今天有没有◆？／あなたは今日授業がありますか(一回目)</p> <p>10. 第6課 ◆今天有没有◆？／あなたは 今日授業がありますか(二回目)</p> <p>11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆？／私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目)</p> <p>12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆？／私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目)</p> <p>13. 第8課 ◆去◆中国没有？／あなたは中国に行ったことがありますか(一回目)</p> <p>14. 第8課 ◆去◆中国没有？／あなたは中国に行ったことがありますか(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2</p> <p>2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆？／ここでは両替できますか(一回目)</p> <p>3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆？／ここでは両替できますか(二回目)</p> <p>4. 第10課 ◆我看看菜◆。／ちょっとメニューを見せてください(一回目)</p> <p>5. 第10課 ◆我看看菜◆。／ちょっとメニューを見せてください(二回目)</p> <p>6. 第11課 能不能告◆我怎◆走？／どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目)</p> <p>7. 第11課 能不能告◆我怎◆走？／どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目)</p> <p>8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆？／動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目)</p> <p>9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆？／動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目)</p> <p>10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆？／あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目)</p> <p>11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆？／あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目)</p> <p>12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了？／あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目)</p> <p>13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了？／あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目)</p> <p>14. 復習3</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館／小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6104		
授業科目名	基礎中国語II(文 4クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。		

講義方法	<p>中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。</p> <p>語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。</p>
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p>前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何かと仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何かと仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p>後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出版社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6105		
授業科目名	基礎中国語II (文 5クラス)		
担当者名	陳 敏(チン ミン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6106		
授業科目名	基礎中国語II(文 6クラス)		
担当者名	荊 乗月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6107		
授業科目名	基礎中国語II(文 7クラス)		
担当者名	陳 於華(チン オカ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語</p> <p>7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目)</p> <p>8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目)</p> <p>9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目)</p> <p>10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目)</p> <p>11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目)</p> <p>12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目)</p> <p>13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目)</p> <p>14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2</p> <p>2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目)</p> <p>3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目)</p> <p>4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目)</p> <p>5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目)</p> <p>6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目)</p> <p>7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目)</p> <p>8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目)</p> <p>9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目)</p> <p>10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目)</p> <p>11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目)</p> <p>12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目)</p> <p>13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目)</p> <p>14. 復習3</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6108		
授業科目名	基礎中国語II(文 8クラス)		
担当者名	鄭 萍(テイ ヒョウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6109		
授業科目名	基礎中国語II (文 9クラス)		
担当者名	呉 映妍(ゴ エイケン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6110		
授業科目名	基礎中国語II(文)(再履修クラス)		
担当者名	要木佳美(ヨウギ ヨシミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6301		
授業科目名	基礎中国語II(経済1クラス)		
担当者名	金 路(キン ロ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語</p> <p>7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目)</p> <p>8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目)</p> <p>9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目)</p> <p>10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目)</p> <p>11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目)</p> <p>12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目)</p> <p>13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目)</p> <p>14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2</p> <p>2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目)</p> <p>3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目)</p> <p>4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目)</p> <p>5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目)</p> <p>6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目)</p> <p>7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目)</p> <p>8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目)</p> <p>9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目)</p> <p>10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目)</p> <p>11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目)</p> <p>12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目)</p> <p>13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目)</p> <p>14. 復習3</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6302		
授業科目名	基礎中国語II(経済 2クラス)		
担当者名	邱 立(キュウ リツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6303		
授業科目名	基礎中国語II (経済 3クラス)		
担当者名	桂 小蘭(ケイ ショウラン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6304		
授業科目名	基礎中国語II (経済 4クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6305		
授業科目名	基礎中国語II(経済5クラス)		
担当者名	呉 映妍(ゴ エイケン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6306		
授業科目名	基礎中国語II(経済6クラス)		
担当者名	鄭 萍(テイ ヒョウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6307		
授業科目名	基礎中国語II (経済 7クラス)		
担当者名	小林傑子(コバヤシ ヨシコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6308		
授業科目名	基礎中国語II (経済 8クラス)		
担当者名	程 卓(テイ タク)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6309		
授業科目名	基礎中国語II(経済)(再履修クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6401		
授業科目名	基礎中国語II(法 1クラス)		
担当者名	陳 洪傑(チン コウケツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6402		
授業科目名	基礎中国語II (法 2クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6403		
授業科目名	基礎中国語II (法 3クラス)		
担当者名	邱立(キュウ リツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6404		
授業科目名	基礎中国語II (法 4クラス)		
担当者名	陳 敏(チン ミン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語</p> <p>7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目)</p> <p>8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目)</p> <p>9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目)</p> <p>10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目)</p> <p>11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目)</p> <p>12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目)</p> <p>13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目)</p> <p>14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2</p> <p>2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目)</p> <p>3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目)</p> <p>4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目)</p> <p>5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目)</p> <p>6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目)</p> <p>7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目)</p> <p>8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目)</p> <p>9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目)</p> <p>10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目)</p> <p>11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目)</p> <p>12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目)</p> <p>13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目)</p> <p>14. 復習3</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6405		
授業科目名	基礎中国語II(法 5クラス)		
担当者名	衛 榕群(エイ ヨウゲン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6406		
授業科目名	基礎中国語II (法 6クラス)		
担当者名	王 大龍(オウ ダイリュウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6407		
授業科目名	基礎中国語II (法 7クラス)		
担当者名	荊 乗月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6408		
授業科目名	基礎中国語II (法 8クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6409		
授業科目名	基礎中国語II(法)(再履修クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6501		
授業科目名	基礎中国語II (経営 1クラス)		
担当者名	程 卓(テイ タク)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6502		
授業科目名	基礎中国語II (経営 2クラス)		
担当者名	邱立(キュウ リツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6503		
授業科目名	基礎中国語II (経営 3クラス)		
担当者名	陳 洪傑(チン コウケツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語</p> <p>7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目)</p> <p>8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目)</p> <p>9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目)</p> <p>10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目)</p> <p>11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目)</p> <p>12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目)</p> <p>13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目)</p> <p>14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2</p> <p>2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目)</p> <p>3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目)</p> <p>4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目)</p> <p>5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目)</p> <p>6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目)</p> <p>7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目)</p> <p>8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目)</p> <p>9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目)</p> <p>10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目)</p> <p>11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目)</p> <p>12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目)</p> <p>13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目)</p> <p>14. 復習3</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6504		
授業科目名	基礎中国語II(経営 4クラス)		
担当者名	邱 瑞艶(キュウ ズイエン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6505		
授業科目名	基礎中国語II (経営 5クラス)		
担当者名	陳 於華(チン オカ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるようですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるようですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6506		
授業科目名	基礎中国語II (経営 6クラス)		
担当者名	荊 乗月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 儿可以??/?ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6507		
授業科目名	基礎中国語II(経営7クラス)		
担当者名	程 卓(テイ タク)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語</p> <p>7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目)</p> <p>8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目)</p> <p>9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目)</p> <p>10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目)</p> <p>11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目)</p> <p>12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目)</p> <p>13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目)</p> <p>14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2</p> <p>2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目)</p> <p>3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目)</p> <p>4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目)</p> <p>5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目)</p> <p>6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目)</p> <p>7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目)</p> <p>8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目)</p> <p>9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目)</p> <p>10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目)</p> <p>11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目)</p> <p>12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目)</p> <p>13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目)</p> <p>14. 復習3</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6508		
授業科目名	基礎中国語II(経営 8クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6509		
授業科目名	基礎中国語II (経営)(再履修クラス)		
担当者名	小林傑子(コバヤシ ヨシコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6601		
授業科目名	基礎中国語II (理工 1クラス)		
担当者名	衛 榕群(エイ ヨウグン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考査)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6602		
授業科目名	基礎中国語II (理工 2クラス)		
担当者名	王 大龍(オウ ダイリュウ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音</p> <p>3. 第2課 子音(1)・第三声</p> <p>4. 第3課 子音(2)と“不”の変調</p> <p>5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調</p> <p>6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語</p> <p>7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目)</p> <p>8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目)</p> <p>9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目)</p> <p>10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目)</p> <p>11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目)</p> <p>12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目)</p> <p>13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目)</p> <p>14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目)</p> <p>15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2</p> <p>2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目)</p> <p>3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目)</p> <p>4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目)</p> <p>5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目)</p> <p>6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目)</p> <p>7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目)</p> <p>8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目)</p> <p>9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目)</p> <p>10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目)</p> <p>11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目)</p> <p>12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目)</p> <p>13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目)</p> <p>14. 復習3</p> <p>15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』</p> <p>著 者:胡金定 吐山 明月</p> <p>出 版 社:朝日出版社</p> <p>定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版)</p> <p>著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集</p> <p>出版社:小学館</p> <p>定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6603		
授業科目名	基礎中国語II(理工 3クラス)		
担当者名	邱 立(キュウ リツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6604		
授業科目名	基礎中国語II (理工 4クラス)		
担当者名	于 耀明(ウ ヨウメイ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるようですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるようですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6605		
授業科目名	基礎中国語II (理工 5クラス)		
担当者名	邱 瑞艶(キュウ ズイエン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授 業 内 容 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? /ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 /ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? /どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? /動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? /あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? /あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6606		
授業科目名	基礎中国語II(理工・知)(再履修クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	前 期 回数 授 業 内 容 1. クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)

	<p>2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験</p> <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <p>1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税</p>
参考書・資料	<p>書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館 / 小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税</p>
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6701		
授業科目名	基礎中国語II(知能情報 1クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		
講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。		

到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I.声調の組み合わせ II.数字 III.つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6702		
授業科目名	基礎中国語II (知能情報 2クラス)		
担当者名	荊 乗月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。十分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音、“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ◆叫什◆名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ◆今天有没有◆? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ◆去唱◆拉OK, 好◆? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ◆去◆中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習2 2. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(一回目) 3. 第 9課 ◆儿可以◆◆◆? / ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 ◆我看看菜◆。 / ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告◆我怎◆走? / どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听◆物◆里有熊猫, 是◆? / 動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 ◆最喜◆什◆季◆? / あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 ◆◆◆学了多◆◆◆了? / あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験

教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著 者:胡金定 吐山 明月 出 版 社:朝日出版社 定 価:2300円+税
参考書・資料	書 名:『中日辞典』(第2版) 著 者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定 価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K6703		
授業科目名	基礎中国語II (知能情報 3クラス)		
担当者名	戴 津津(タイ シンシン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	日本人学習者にとって難しい中国語の有気音と無気音「-n」と「-ng」、そり舌音、前鼻音と後鼻音、声調(四声)の学習を通じて、中国語を初歩的な「リスニング、スピーキング、パフォーマンス」能力の養成を目指す。
到達目標	「中国語検定試験」準4級、「HSK(漢語水平考試)」1級、「中国語コミュニケーション能力検定」Gレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	中国語の基本語彙、日常用語、コミュニケーションによく使用されるセンテンス、基礎的な言い回し、語順パターン、簡単な会話などの中国語のエッセンスを学習する。コミュニケーションの基本である「会話」は、語学学習の初期段階でマスターしなければならないので、徹底的な発音練習、会話演習を行い、実用的ですぐに役立つ会話能力を育成する。講義は、原則として中国語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当し、教科書にそって1回1課ずつ進め、実践的な訓練を行なう。 語学の上達には、恥じらいは禁物である。多少の間違いは気にせず、積極的に取り組むこと。また、語学は一夜漬けでは身につけることはできない。充分な予習・復習など平常の努力が肝要である。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価する。
講義構成	<p style="text-align: center;">前 期</p> <p>回数 授 業 内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2. 第1課 声調・単母音・複合母音 3. 第2課 子音(1)・第三声 4. 第3課 子音(2)と“不”の変調 5. 第4課 鼻母音・儿化音・“一”の変調 6. 復習1 I. 声調の組み合わせ II. 数字 III. つづりの規則 教室用語 7. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(一回目) 8. 第5課 ♡叫什♡名字? / お名前は何と仰いますか(二回目) 9. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは今日授業がありますか(一回目) 10. 第6課 ♡今天有没有♡? / あなたは 今日授業がありますか(二回目) 11. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(一回目) 12. 第7課 ♡去唱♡拉OK, 好♡? / 私たちはカラオケを歌いに行きませんか(二回目) 13. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(一回目) 14. 第8課 ♡去♡中国没有? / あなたは中国に行ったことがありますか(二回目) 15. 前期試験 <p style="text-align: center;">後 期</p>

	回数 授業内容 1. 復習2 2. 第9課 儿可以??/?ここは両替できますか(一回目) 3. 第9課 儿可以??/?ここは両替できますか(二回目) 4. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(一回目) 5. 第10課 我看看菜。/ちょっとメニューを見せてください(二回目) 6. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(一回目) 7. 第11課 能不能告我怎走?/どのようにして行くかを教えていただけませんか(二回目) 8. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(一回目) 9. 第12課 听物里有熊猫,是?/動物園にパンダがいるそうですが、本当ですか(二回目) 10. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(一回目) 11. 第13課 最喜什季?/あなたはどんな季節が一番好きですか(二回目) 12. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(一回目) 13. 第14課 学了多?了?/あなたはどれぐらい中国語を勉強しましたか(二回目) 14. 復習3 15. 後期試験
教科書	テキスト:『すぐ話せる中国語』 著者:胡金定 吐山 明月 出版社:朝日出版社 定価:2300円+税
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	授業中は出来るだけインターネットも活用していきたいと考えています。
担当者から一言	教科書付属のCDをよく聴いて、中国語の発音にできるだけ早く慣れて下さい。楽しく中国語を学ぶことができる胡金定.com(下記参照)も、授業時間外の学習におおいに活用して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	K1101		
授業科目名	基礎ドイツ語I(文1クラス)		
担当者名	大澤三枝子(オオサワ ミエコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。

講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。

担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。
---------	--

授業コード	K1102		
授業科目名	基礎ドイツ語I(文 2クラス)		
担当者名	永井達夫(ナガイ タツオ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1103		
授業科目名	基礎ドイツ語I(文 3クラス)		
担当者名	溝井裕一(ミツイ ユウイチ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1104		
授業科目名	基礎ドイツ語I(文 4クラス)		
担当者名	山口 勝(ヤマグチ マサル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。		
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。		
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験		
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』		

参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1105		
授業科目名	基礎ドイツ語I (文 5クラス)		
担当者名	本河裕子(モトカワ ユウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7

	8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1106		
授業科目名	基礎ドイツ語I (文 6クラス)		
担当者名	山本惇二(ヤマモト ジュンジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験

	夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1107		
授業科目名	基礎ドイツ語I(文)(再履修クラス)		
担当者名	藤田美代子(フジタ ミヨコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。		
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。		
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」: 挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion 1/2 「自由時間」: 自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2		

	7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1301		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経済 1クラス)		
担当者名	永井達夫(ナガイ タツオ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。

成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1302		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経済 2クラス)		
担当者名	長澤麻子(ナガサワ アサコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすること

	ができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1303		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経済 3クラス)		
担当者名	志田 章(シダ アキラ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1304		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経済 4クラス)		
担当者名	川崎良江(カワサキ ヨシエ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。		
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。		
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験		
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』		

参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1305		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経済)(再履修クラス)		
担当者名	十河健二(ソゴウ ケンジ)、杉野隆彦(スギノ タカヒコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7

	8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1401		
授業科目名	基礎ドイツ語I (法 1クラス)		
担当者名	本出保史(ホンデ ヤスフミ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験

	夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1402		
授業科目名	基礎ドイツ語I (法 2クラス)		
担当者名	須摩 肇(スマ ハジメ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。		
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。		
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2		

	7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1403		
授業科目名	基礎ドイツ語I (法 3クラス)		
担当者名	柳原初樹(ヤナギハラ ハツキ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	隔週水曜日昼休み(12時20分から)652教室		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望

	ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。

担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。
ホームページタイトル	{多言語学習コンテンツ, http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/ } {リスニングコンテンツ, http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=61 }
URL	http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/

授業コード	K1404		
授業科目名	基礎ドイツ語I(法 4クラス)		
担当者名	大澤三枝子(オオサワ ミエコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習
-------	--

	する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1405
-------	-------

授業科目名	基礎ドイツ語I(法)(再履修クラス)		
担当者名	横田一哉(ヨコタ カズヤ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。		
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。		
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験		
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』		
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。		

講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1501		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経営 1クラス)		
担当者名	杉野隆彦(スギノ タカヒコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8

	10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1502		
授業科目名	基礎ドイツ語I (経営 2クラス)		
担当者名	本出保史(ホンデ ヤスフミ)、長澤麻子(ナガサワ アサコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」: 挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」: 自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期)

	1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1503		
授業科目名	基礎ドイツ語I (経営 3クラス)		
担当者名	長澤麻子(ナガサワ アサコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」: 挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion 1/2 「自由時間」: 自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3

	9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1504		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経営 4クラス)		
担当者名	松井泰典(マツイ ヤスノリ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。

講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。

担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。
---------	--

授業コード	K1505		
授業科目名	基礎ドイツ語I(経営)(再履修クラス)		
担当者名	十河健二(ソゴウ ケンジ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1601		
授業科目名	基礎ドイツ語I(理工1クラス)		
担当者名	藤田美代子(フジタ ミヨコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1602		
授業科目名	基礎ドイツ語I (理工 2クラス)		
担当者名	杉野隆彦(スギノ タカヒコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。		
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。		
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験		
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』		

参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1603		
授業科目名	基礎ドイツ語I (理工・知)(再履修クラス)		
担当者名	須摩 肇(スマ ハジメ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7

	8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K1701		
授業科目名	基礎ドイツ語I (知能情報)		
担当者名	十河健二(ソゴウ ケンジ)、須摩 肇(スマ ハジメ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Iではとくに「読む・書く」の基礎を身につけるために文法事項の理解と習得に重点を置くとともに、ドイツ語圏の社会や文化についても学習する。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎Iでは日本人教員が授業を担当し、文法項目の練習を補足しながら、まとまったテキストを読んだり、適切なドイツ語で書くための基礎を養成する。加えて、ビデオなどを通じてドイツ語圏の社会や文化についての理解を深めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験

	夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2101		
授業科目名	基礎ドイツ語II (文 1クラス)		
担当者名	川崎良江(カワサキ ヨシエ)、ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3

	9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2102		
授業科目名	基礎ドイツ語II (文 2クラス)		
担当者名	川崎良江(カワサキ ヨシエ)、ゲツシュ(ベッティーナ B. ゲツシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期)

	1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2103		
授業科目名	基礎ドイツ語II(文 3クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)、ドウモン(ドウモン ドミニック)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日2時間目および随時(アポイントをとってください)		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2104		
授業科目名	基礎ドイツ語II(文 4クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)、ドゥモン(ドウモン ドミニック)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日2時間目および随時(アポイントをとってください)		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Ⅱではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではⅠでもⅡでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語Ⅱでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2105		
授業科目名	基礎ドイツ語II (文 5クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)、リングホーファー(リングホーファー マンフレッド)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日2時間目および随時(アポイントをとってください)		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』

参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2106		
授業科目名	基礎ドイツ語II (文 6クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)、リングホーファー(リングホーファー マンフレッド)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日2時間目および随時(アポイントをとってください)		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」

	9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2107		
授業科目名	基礎ドイツ語II(文)(再履修クラス)		
担当者名	志田 章(シダ アキラ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期)

	1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2301		
授業科目名	基礎ドイツ語II (経済 1クラス)		
担当者名	本河裕子(モトカワ ユウコ)、ドウモン(ドウモン ドミニック)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」

	10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2302		
授業科目名	基礎ドイツ語II (経済 2クラス)		
担当者名	本河裕子(モトカワ ユウコ)、ドウモン(ドウモン ドミニック)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)

	2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2303		
授業科目名	基礎ドイツ語II(経済 3クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)、ゲッシュ(ベッティナー B. ゲッシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日2時間目および随時(アポイントをとってください)		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		

講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2304		
授業科目名	基礎ドイツ語II(経済 4クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)、ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日2時間目および随時(アポイントをとってください)		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Ⅱではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではⅠでもⅡでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語Ⅱでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2305		
授業科目名	基礎ドイツ語II (経済)(再履修クラス)		
担当者名	山本惇二(ヤマモト ジュンジ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。		
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。		
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。		
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験		
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』		
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。		

講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2401		
授業科目名	基礎ドイツ語II (法 1クラス)		
担当者名	荒木英行(アラキ ヒデユキ)、ゲツシュ(ベッティーナ B. ゲツシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」

	12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2402		
授業科目名	基礎ドイツ語II (法 2クラス)		
担当者名	荒木英行(アラキ ヒデユキ)、ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6

	4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2403		
授業科目名	基礎ドイツ語II (法 3クラス)		
担当者名	森田昌美(モリタ マサミ)、シューマン(マンフレッド T. シューマン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」

	13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2404		
授業科目名	基礎ドイツ語II (法 4クラス)		
担当者名	森田昌美(モリタ マサミ)、シューマン(マンフレッド T. シューマン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」: 挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」: 自分の活動・職業などを述べる

	5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2405		
授業科目名	基礎ドイツ語II(法)(再履修クラス)		
担当者名	松井泰典(マツイ ヤスノリ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうか

	かの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2501		
授業科目名	基礎ドイツ語II(経営1クラス)		
担当者名	大澤三枝子(オオサワ ミエコ)、ツァイトラー(ツァイトラー ローランド E.)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。		
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をした		

	り、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2502		
授業科目名	基礎ドイツ語II(経営 2クラス)		
担当者名	大澤三枝子(オオサワ ミエコ)、ツァイトラー(ツァイトラー ローランド E.)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)

特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎Ⅱではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではⅠでもⅡでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語Ⅱでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2503		
授業科目名	基礎ドイツ語II (経営 3クラス)		
担当者名	藤田美代子(フジタ ミヨコ)、ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験

教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2504		
授業科目名	基礎ドイツ語II (経営 4クラス)		
担当者名	藤田美代子(フジタ ミヨコ)、ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」

	9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート！コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2505		
授業科目名	基礎ドイツ語II(経営)(再履修クラス)		
担当者名	荒木英行(アラキ ヒデユキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期)

	1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート! コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2601		
授業科目名	基礎ドイツ語II (理工 1クラス)		
担当者名	大松佳代子(オオマツ カヨコ)、ライヒャート(ライヒャート . マティース)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1 「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2 「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3 「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4 「食事」

	10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5 「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6 「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7 「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8 「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2602		
授業科目名	基礎ドイツ語II (理工 2クラス)		
担当者名	大松佳代子(オオマツ カヨコ)、ライヒャート(ライヒャート . マティエース)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でのようなことができるようになるのか」を明確にしながらか学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)

	2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2603		
授業科目名	基礎ドイツ語II(理工・知)(再履修クラス)		
担当者名	ツァイトラー(ツァイトラー ローランド E.)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。
到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイ

	ツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K2701		
授業科目名	基礎ドイツ語II (知能情報)		
担当者名	シューマン(マンフレッド T. シューマン)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を養成する。基礎IIではとくに「聞く・話す」の基礎を身につけるために、ペアワークやグループワークも取り入れて口頭練習に重点を置く。		

到達目標	1年間の基礎ドイツ語I・IIの学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル程度の運用能力を身につけることを目標とする。 1年間の学習によって、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
講義方法	ドイツ語の4技能の習得が有機的・効果的に行われるように基礎ドイツ語ではIでもIIでも共通教科書を使用する。基礎ドイツ語IIでは、ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業を担当する。口頭練習を十分に行って、ドイツ語を使って「どのような場面でどのようなことができるようになるのか」を明確にしながら学習を進めていく。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。新しい課に入る前に、教員から配布されるチェックリストによって、学習した課の内容を理解できたかどうかの自己診断をしておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。
講義構成	(前期) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 Lektion 1「人と知り合う」:挨拶、人と知り合うなど 3回目 Lektion 1 4回目 Lektion1/2「自由時間」:自分の活動・職業などを述べる 5回目 Lektion 2 6回目 Lektion 2 7回目 Lektion 3「一日の行動」 8回目 Lektion 3 9回目 Lektion 4「食事」 10回目 Lektion 4 11回目 Lektion 4 12回目 Lektion 5「住まい」 13回目 Lektion 5 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み (後期) 1回目 Wiederholung 前期の復習(9課を適宜利用し、現在完了形を導入する) 2回目 Lektion 6「買い物」 3回目 Lektion 6 4回目 Lektion 6 5回目 Lektion 7「家族」 6回目 Lektion 7 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 8「旅行」 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9「街角で」 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 9 14回目 SD 模擬試験 15回目 試験
教科書	三修社『Start frei! スタート!コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	2年生では中級ドイツ語4科目、上級ドイツ語では2科目を履修することができます。基礎・中級・上級と学習を積み上げていきましょう。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けている。積極的に活用してください。

授業コード	K3101
-------	-------

授業科目名	基礎フランス語I(文1クラス)		
担当者名	山本正二(ヤマモト ショウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な(音読)ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: フランス語の文字と発音</p> <p>第3回: LECON 1 命令文(1)</p> <p>第4回: LECON 1 命令文(2)</p> <p>第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1)</p> <p>第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2)</p> <p>第7回: LECON 3 主語人称代名詞</p> <p>第8回: LECON 3 -er動詞の活用</p> <p>第9回: LECON 4 動詞ETREの活用</p> <p>第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞</p> <p>第11回: LECON 5 形容詞(1)</p> <p>第12回: LECON 5 形容詞(2)</p> <p>第13回: LECON 6 動詞avoir</p> <p>第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回LECON 6 -ir動詞</p> <p>第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire</p> <p>第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que</p> <p>第4回LECON 8 近接未来・近接過去</p> <p>第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞</p> <p>第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文</p> <p>第7回LECON 9 複合過去(1)</p> <p>第8回LECON 9 複合過去(2)</p> <p>第9回LECON 10 目的語人称代名詞</p> <p>第10回LECON 10 代名詞の強勢形</p> <p>第11回LECON 11 代名動詞(1)</p> <p>第12回LECON 11 代名動詞(2)</p> <p>第13回LECON 11 代名動詞(3)</p> <p>第14回LECON 12 半過去、総復習</p> <p>第15回 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社		
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語II」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。		
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }		

授業コード	K3102		
授業科目名	基礎フランス語I(文 2クラス)		
担当者名	鄭 久信(テイ ヒサノブ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な音読ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: フランス語の文字と発音</p> <p>第3回: LECON 1 命令文(1)</p> <p>第4回: LECON 1 命令文(2)</p> <p>第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1)</p> <p>第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2)</p> <p>第7回: LECON 3 主語人称代名詞</p> <p>第8回: LECON 3 -er動詞の活用</p> <p>第9回: LECON 4 動詞ETREの活用</p> <p>第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞</p> <p>第11回: LECON 5 形容詞(1)</p> <p>第12回: LECON 5 形容詞(2)</p> <p>第13回: LECON 6 動詞avoir</p> <p>第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回LECON 6 -ir動詞</p> <p>第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire</p> <p>第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que</p> <p>第4回LECON 8 近接未来・近接過去</p> <p>第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞</p> <p>第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文</p> <p>第7回LECON 9 複合過去(1)</p> <p>第8回LECON 9 複合過去(2)</p> <p>第9回LECON 10 目的語人称代名詞</p> <p>第10回LECON 10 代名詞の強勢形</p> <p>第11回LECON 11 代名動詞(1)</p> <p>第12回LECON 11 代名動詞(2)</p> <p>第13回LECON 11 代名動詞(3)</p> <p>第14回LECON 12 半過去、総復習</p> <p>第15回 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社		
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。		
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }		

授業コード	K3103		
授業科目名	基礎フランス語I (文 3クラス)		
担当者名	小谷 征生(コタニ ユキオ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な<音読>ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: フランス語の文字と発音</p> <p>第3回: LECON 1 命令文(1)</p> <p>第4回: LECON 1 命令文(2)</p> <p>第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1)</p> <p>第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2)</p> <p>第7回: LECON 3 主語人称代名詞</p> <p>第8回: LECON 3 -er動詞の活用</p> <p>第9回: LECON 4 動詞ETREの活用</p> <p>第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞</p> <p>第11回: LECON 5 形容詞(1)</p> <p>第12回: LECON 5 形容詞(2)</p> <p>第13回: LECON 6 動詞avoir</p> <p>第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回LECON 6 -ir動詞</p> <p>第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire</p> <p>第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que</p> <p>第4回LECON 8 近接未来・近接過去</p> <p>第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞</p> <p>第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文</p> <p>第7回LECON 9 複合過去(1)</p> <p>第8回LECON 9 複合過去(2)</p> <p>第9回LECON 10 目的語人称代名詞</p> <p>第10回LECON 10 代名詞の強勢形</p> <p>第11回LECON 11 代名動詞(1)</p> <p>第12回LECON 11 代名動詞(2)</p> <p>第13回LECON 11 代名動詞(3)</p> <p>第14回LECON 12 半過去、総復習</p> <p>第15回 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社		
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語II」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。		
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }		

授業コード	K3104		
授業科目名	基礎フランス語I(文 4クラス)		
担当者名	饗庭千代子(アイバ チヨコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な(音読)ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: フランス語の文字と発音</p> <p>第3回: LECON 1 命令文(1)</p> <p>第4回: LECON 1 命令文(2)</p> <p>第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1)</p> <p>第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2)</p> <p>第7回: LECON 3 主語人称代名詞</p> <p>第8回: LECON 3 -er動詞の活用</p> <p>第9回: LECON 4 動詞ETREの活用</p> <p>第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞</p> <p>第11回: LECON 5 形容詞(1)</p> <p>第12回: LECON 5 形容詞(2)</p> <p>第13回: LECON 6 動詞avoir</p> <p>第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回LECON 6 -ir動詞</p> <p>第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire</p> <p>第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que</p> <p>第4回LECON 8 近接未来・近接過去</p> <p>第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞</p> <p>第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文</p> <p>第7回LECON 9 複合過去(1)</p> <p>第8回LECON 9 複合過去(2)</p> <p>第9回LECON 10 目的語人称代名詞</p> <p>第10回LECON 10 代名詞の強勢形</p> <p>第11回LECON 11 代名動詞(1)</p> <p>第12回LECON 11 代名動詞(2)</p> <p>第13回LECON 11 代名動詞(3)</p> <p>第14回LECON 12 半過去、総復習</p> <p>第15回 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社		
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語II」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。		
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }		

--	--

授業コード	K3105		
授業科目名	基礎フランス語I (文 5クラス)		
担当者名	中村典子(ナカムラ ノリコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日15:00～16:30に研究室(673)へ来て下さい。 ただし、会議等で留守にすることも稀にあるので、できれば事前にメール等で連絡して下さい。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な(音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語II」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参する

	こと。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3106		
授業科目名	基礎フランス語I(文)(再履修クラス)		
担当者名	谷 恭子(タニ キョウコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な(音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 -er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社

参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 [http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62]

授業コード	K3301		
授業科目名	基礎フランス語I(経済1クラス)		
担当者名	谷 恭子(タニ キョウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な音読ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: フランス語の文字と発音</p> <p>第3回: LECON 1 命令文(1)</p> <p>第4回: LECON 1 命令文(2)</p> <p>第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1)</p> <p>第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2)</p> <p>第7回: LECON 3 主語人称代名詞</p> <p>第8回: LECON 3 - er動詞の活用</p> <p>第9回: LECON 4 動詞ETREの活用</p> <p>第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞</p> <p>第11回: LECON 5 形容詞(1)</p> <p>第12回: LECON 5 形容詞(2)</p> <p>第13回: LECON 6 動詞avoir</p> <p>第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回LECON 6 -ir動詞</p> <p>第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire</p> <p>第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que</p> <p>第4回LECON 8 近接未来・近接過去</p> <p>第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞</p> <p>第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文</p> <p>第7回LECON 9 複合過去(1)</p> <p>第8回LECON 9 複合過去(2)</p> <p>第9回LECON 10 目的語人称代名詞</p> <p>第10回LECON 10 代名詞の強勢形</p> <p>第11回LECON 11 代名動詞(1)</p> <p>第12回LECON 11 代名動詞(2)</p> <p>第13回LECON 11 代名動詞(3)</p> <p>第14回LECON 12 半過去、総復習</p> <p>第15回 後期試験</p>

教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 [http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62]

授業コード	K3302		
授業科目名	基礎フランス語I(経済2クラス)		
担当者名	八幡 眞(ヤワタ マコト)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習

	第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 [http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62]

授業コード	K3303		
授業科目名	基礎フランス語I(経済 3クラス)		
担当者名	小谷征生(コタニ ユキオ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3)

	第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 [http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62]

授業コード	K3304		
授業科目名	基礎フランス語I(経済4クラス)		
担当者名	大嶋 優(オオシマ マサル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をじっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2)		

	第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3305		
授業科目名	基礎フランス語I(経済)(再履修クラス)		
担当者名	酒詰洋子(サカヅメ ヨウコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をじっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1)

	第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 [http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62]

授業コード	K3401		
授業科目名	基礎フランス語I (法 1クラス)		
担当者名	林 秀治(ハヤシ シュウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形

	第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3402		
授業科目名	基礎フランス語I (法 2クラス)		
担当者名	久田原泰子(クダワラ ヤスコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をじっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 -er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞

	第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3403		
授業科目名	基礎フランス語I (法 3クラス)		
担当者名	村尾嘉男(ムラオ ヨシオ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をじっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 -er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2)

	第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3404		
授業科目名	基礎フランス語I (法 4クラス)		
担当者名	山本正二(ヤマモト ショウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1)

	第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3405		
授業科目名	基礎フランス語I(法)(再履修クラス)		
担当者名	北野文英(キタノ フミヒデ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をじっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文

	第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3501		
授業科目名	基礎フランス語I(経営1クラス)		
担当者名	山本正二(ヤマモト ショウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な音読ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験

	(後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3502		
授業科目名	基礎フランス語I(経営 2クラス)		
担当者名	鄭 久信(テイ ヒサノブ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用		

	<p>第10回:LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回:LECON 5 形容詞(1) 第12回:LECON 5 形容詞(2) 第13回:LECON 6 動詞avoir 第14回:LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回:前期試験</p> <p>(後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3503		
授業科目名	基礎フランス語I (経営 3クラス)		
担当者名	八幡 眞(ヤワタ マコト)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な音読ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	<p>(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:フランス語の文字と発音</p>

	第3回:LECON 1 命令文(1) 第4回:LECON 1 命令文(2) 第5回:LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回:LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回:LECON 3 主語人称代名詞 第8回:LECON 3 -er動詞の活用 第9回:LECON 4 動詞ETREの活用 第10回:LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回:LECON 5 形容詞(1) 第12回:LECON 5 形容詞(2) 第13回:LECON 6 動詞avoir 第14回:LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回:前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3504		
授業科目名	基礎フランス語I(経営 4クラス)		
担当者名	安田晋也(ヤスダ シンヤ)		
配当年度	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な(音読)ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		

準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 -er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3505		
授業科目名	基礎フランス語I(経営)(再履修クラス)		
担当者名	北野文英(キタノ フミヒデ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な(音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 -er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3601
-------	-------

授業科目名	基礎フランス語I (理工 1クラス)		
担当者名	鄭 久信(テイ ヒサノブ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な(音読)ができるようにする。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: フランス語の文字と発音</p> <p>第3回: LECON 1 命令文(1)</p> <p>第4回: LECON 1 命令文(2)</p> <p>第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1)</p> <p>第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2)</p> <p>第7回: LECON 3 主語人称代名詞</p> <p>第8回: LECON 3 -er動詞の活用</p> <p>第9回: LECON 4 動詞ETREの活用</p> <p>第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞</p> <p>第11回: LECON 5 形容詞(1)</p> <p>第12回: LECON 5 形容詞(2)</p> <p>第13回: LECON 6 動詞avoir</p> <p>第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回LECON 6 -ir動詞</p> <p>第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire</p> <p>第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que</p> <p>第4回LECON 8 近接未来・近接過去</p> <p>第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞</p> <p>第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文</p> <p>第7回LECON 9 複合過去(1)</p> <p>第8回LECON 9 複合過去(2)</p> <p>第9回LECON 10 目的語人称代名詞</p> <p>第10回LECON 10 代名詞の強勢形</p> <p>第11回LECON 11 代名動詞(1)</p> <p>第12回LECON 11 代名動詞(2)</p> <p>第13回LECON 11 代名動詞(3)</p> <p>第14回LECON 12 半過去、総復習</p> <p>第15回 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社		
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。		
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }		
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。		

その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 [http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62]
-----	---

授業コード	K3602		
授業科目名	基礎フランス語I(理工 2クラス)		
担当者名	山本正二(ヤマモト ショウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な音読ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 -er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語II」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。

講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3603		
授業科目名	基礎フランス語I (理工・知)(再履修クラス)		
担当者名	八幡 眞(ヤワタ マコト)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確なく音読)ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 - er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞 第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2)

	第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K3701		
授業科目名	基礎フランス語I (知能情報)		
担当者名	林 秀治(ハヤシ シュウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	文法の基礎をゆっくりと学ぶ。発音、文字と綴り字の関係、基本的な文の構造を理解させ、「読む」「書く」面を中心としてフランス語を習得させる。また、正確な音読ができるようにする。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	講義は、文法解説と応用練習を交互に行う形となる。単に文法規則を覚えるというよりも、学習しながら、規則を「発見」し、自分で考えながらフランス語の仕組みが「理解」できるようになっている。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。教科書に付属のCDを利用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: フランス語の文字と発音 第3回: LECON 1 命令文(1) 第4回: LECON 1 命令文(2) 第5回: LECON 2 冠詞と名詞(1) 第6回: LECON 2 冠詞と名詞(2) 第7回: LECON 3 主語人称代名詞 第8回: LECON 3 -er動詞の活用 第9回: LECON 4 動詞ETREの活用 第10回: LECON 4 前置詞と定冠詞の縮約、所有形容詞 第11回: LECON 5 形容詞(1) 第12回: LECON 5 形容詞(2) 第13回: LECON 6 動詞avoir 第14回: LECON 6 否定のde、程度と数量の表し方 第15回: 前期試験 (後期) 第1回LECON 6 -ir動詞 第2回LECON 7 動詞aller / venir / faire 第3回LECON 7 疑問代名詞qui / que 第4回LECON 8 近接未来・近接過去 第5回LECON 8 動詞pouvoir 他、その他の不規則動詞

	第6回LECON 8 疑問副詞、非人称構文 第7回LECON 9 複合過去(1) 第8回LECON 9 複合過去(2) 第9回LECON 10 目的語人称代名詞 第10回LECON 10 代名詞の強勢形 第11回LECON 11 代名動詞(1) 第12回LECON 11 代名動詞(2) 第13回LECON 11 代名動詞(3) 第14回LECON 12 半過去、総復習 第15回 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『ZEPHYR フランス語文法の基礎』(CD付き)早美出版社
参考書・資料	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
講義関連事項	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }
担当者から一言	仏和辞書、「基礎フランス語Ⅱ」の教科書『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ。カルト』を毎回持参すること。
その他	自宅学習のための文法問題が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=62 }

授業コード	K4101		
授業科目名	基礎フランス語Ⅱ(文 1クラス)		
担当者名	シッシュ(シッシュ デイディエ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日 5限 (シッシュ:672研究室) (不在のこともあるので、できれば事前に連絡して下さい)		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる

	<p>第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験</p> <p>(後期) 第1回:前期の内容の総復習 第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について尋ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4102		
授業科目名	基礎フランス語II (文 2クラス)		
担当者名	ポワトー(パトリス ポワトー)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:LECON 0 フランス語とフランス 第3回:LECON 0 数字、曜日、発音		

	<p>第4回:LECON 1 挨拶の仕方 第5回:LECON 1 自己紹介する(1) 第6回:LECON 1 自己紹介する(2) 第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す 第11回:LECON 2 道を探ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験</p> <p>(後期) 第1回:前期の内容の総復習 第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について探ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを探ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について探ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4103		
授業科目名	基礎フランス語II (文 3クラス)		
担当者名	デーズ(デーズ ブリジット)、酒詰洋子(サカヅメ ヨウコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		

準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき 第15回: 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。

授業コード	K4104		
授業科目名	基礎フランス語II (文 4クラス)		
担当者名	酒詰洋子(サカヅメ ヨウコ)、デーズ(デーズ ブリジット)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、		

	日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき 第15回: 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。

授業コード	K4105
-------	-------

授業科目名	基礎フランス語II (文 5クラス)		
担当者名	ポワトー(パトリス ポワトー)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: LECON 0 フランス語とフランス</p> <p>第3回: LECON 0 数字、曜日、発音</p> <p>第4回: LECON 1 挨拶の仕方</p> <p>第5回: LECON 1 自己紹介する(1)</p> <p>第6回: LECON 1 自己紹介する(2)</p> <p>第7回: LECON 2 人を紹介する(1)</p> <p>第8回: LECON 2 人を紹介する(2)</p> <p>第9回: LECON 2 場所の聞き方</p> <p>第10回: LECON 2 場所について話す</p> <p>第11回: LECON 2 道を尋ねる</p> <p>第12回: LECON 3 日常生活の表現</p> <p>第13回: LECON 3 日常生活の活動</p> <p>第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回: 前期の内容の総復習</p> <p>第2回: LECON 4 家族の話をする</p> <p>第3回: LECON 4 趣味について話す</p> <p>第4回: LECON 4 友人を誘う</p> <p>第5回: LECON 4 活動を紹介する</p> <p>第6回: LECON 5 趣味について尋ねる</p> <p>第7回: LECON 5 時間の過ごし方</p> <p>第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる</p> <p>第9回: LECON 5 人の特徴を描写する</p> <p>第10回: LECON 6 アンケートに答える</p> <p>第11回: LECON 6 年齢を聞く</p> <p>第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる</p> <p>第13回: LECON 7 乗り物に乗る</p> <p>第14回: LECON 7 どこかへ行くとき</p> <p>第15回: 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協		
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。		
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }		
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。		

その他	教科書に準拠した音声教材が、 言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
-----	---

授業コード	K4106		
授業科目名	基礎フランス語II (文)(再履修クラス)		
担当者名	大嶋 優(オオシマ マサル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき 第15回: 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学

	生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4301		
授業科目名	基礎フランス語II (経済 1クラス)		
担当者名	ポワトー(パトリス ポワトー)、加藤憲正(カトウ ノリマサ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する

	第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4302		
授業科目名	基礎フランス語II (経済 2クラス)		
担当者名	加藤憲正(カトウ ノリマサ)、ボワトー(パトリス ボワトー)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:LECON 0 フランス語とフランス 第3回:LECON 0 数字、曜日、発音 第4回:LECON 1 挨拶の仕方 第5回:LECON 1 自己紹介する(1) 第6回:LECON 1 自己紹介する(2) 第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す 第11回:LECON 2 道を探ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験 (後期) 第1回:前期の内容の総復習

	第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について尋ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4303		
授業科目名	基礎フランス語II (経済 3クラス)		
担当者名	小田中章浩(オダナカ アキヒロ)、ポワトー(パトリス ポワトー)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:LECON 0 フランス語とフランス 第3回:LECON 0 数字、曜日、発音 第4回:LECON 1 挨拶の仕方 第5回:LECON 1 自己紹介する(1) 第6回:LECON 1 自己紹介する(2) 第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す

	<p>第11回:LECON 2 道を尋ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験</p> <p>(後期) 第1回:前期の内容の総復習 第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について尋ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4304		
授業科目名	基礎フランス語II (経済 4クラス)		
担当者名	ポワトー(パトリス ポワトー)、小田中章浩(オダナカ アキヒロ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:LECON 0 フランス語とフランス		

	<p>第3回:LECON 0 数字、曜日、発音 第4回:LECON 1 挨拶の仕方 第5回:LECON 1 自己紹介する(1) 第6回:LECON 1 自己紹介する(2) 第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す 第11回:LECON 2 道を探ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験</p> <p>(後期) 第1回:前期の内容の総復習 第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について探ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを探ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について探ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、 言文センターのサイト上 にあるので利用すること。ダウンロードも可能。
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、 言文センターのサイト上 にあるので利用すること。ダウンロードも可能。

授業コード	K4305		
授業科目名	基礎フランス語II(経済)(再履修クラス)		
担当者名	林 秀治(ハヤシ シュウジ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		

準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき 第15回: 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。

授業コード	K4401		
授業科目名	基礎フランス語II (法 1クラス)		
担当者名	デーズ(デーズ ブリジット)、安田晋也(ヤスダ シンヤ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、		

	日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき 第15回: 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。

授業コード	K4402
-------	-------

授業科目名	基礎フランス語II (法 2クラス)		
担当者名	林 秀治(ハヤシ シュウジ)、デーズ(デーズ ブリジット)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: LECON 0 フランス語とフランス</p> <p>第3回: LECON 0 数字、曜日、発音</p> <p>第4回: LECON 1 挨拶の仕方</p> <p>第5回: LECON 1 自己紹介する(1)</p> <p>第6回: LECON 1 自己紹介する(2)</p> <p>第7回: LECON 2 人を紹介する(1)</p> <p>第8回: LECON 2 人を紹介する(2)</p> <p>第9回: LECON 2 場所の聞き方</p> <p>第10回: LECON 2 場所について話す</p> <p>第11回: LECON 2 道を尋ねる</p> <p>第12回: LECON 3 日常生活の表現</p> <p>第13回: LECON 3 日常生活の活動</p> <p>第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回: 前期の内容の総復習</p> <p>第2回: LECON 4 家族の話をする</p> <p>第3回: LECON 4 趣味について話す</p> <p>第4回: LECON 4 友人を誘う</p> <p>第5回: LECON 4 活動を紹介する</p> <p>第6回: LECON 5 趣味について尋ねる</p> <p>第7回: LECON 5 時間の過ごし方</p> <p>第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる</p> <p>第9回: LECON 5 人の特徴を描写する</p> <p>第10回: LECON 6 アンケートに答える</p> <p>第11回: LECON 6 年齢を聞く</p> <p>第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる</p> <p>第13回: LECON 7 乗り物に乗る</p> <p>第14回: LECON 7 どこかへ行くとき</p> <p>第15回: 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協		
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。		
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }		
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。		

その他	教科書に準拠した音声教材が、 言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
-----	---

授業コード	K4403		
授業科目名	基礎フランス語II (法 3クラス)		
担当者名	シッシュ(シッシュ デイディエ)、加藤憲正(カトウ ノリマサ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日 5限 (シッシュ:672研究室) (不在のこともあるので、できれば事前に連絡して下さい)		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき

	第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ にあるので利用すること。ダウンロードも可能。

授業コード	K4404		
授業科目名	基礎フランス語II (法 4クラス)		
担当者名	加藤憲正(カトウ ノリマサ)、ポレ(ポレ ジャンノエル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる

	第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4405		
授業科目名	基礎フランス語II (法)(再履修クラス)		
担当者名	ポレ(ポレ ジャンーノエル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:LECON 0 フランス語とフランス 第3回:LECON 0 数字、曜日、発音 第4回:LECON 1 挨拶の仕方 第5回:LECON 1 自己紹介する(1) 第6回:LECON 1 自己紹介する(2) 第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す 第11回:LECON 2 道を尋ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験

	(後期) 第1回:前期の内容の総復習 第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について尋ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4501		
授業科目名	基礎フランス語II (経営 1クラス)		
担当者名	ポレ(ポレ ジャンーノエル)、中村典子(ナカムラ ノリコ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	前期担当:中村典子 木曜日15:00～16:30に研究室(673)へ来て下さい。 ただし、会議等で留守にすることも稀にあるので、できれば事前にメール等で連絡して下さい。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:LECON 0 フランス語とフランス 第3回:LECON 0 数字、曜日、発音 第4回:LECON 1 挨拶の仕方 第5回:LECON 1 自己紹介する(1)

	第6回:LECON 1 自己紹介する(2) 第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す 第11回:LECON 2 道を探ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験 (後期) 第1回:前期の内容の総復習 第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について探ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを探ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について探ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4502		
授業科目名	基礎フランス語II (経営 2クラス)		
担当者名	加藤憲正(カトウ ノリマサ)、ポレ(ポレ ジャンノエル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。

	(平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学習(4月6日~4月12日)</p> <p>第2回: LECON 0 フランス語とフランス</p> <p>第3回: LECON 0 数字、曜日、発音</p> <p>第4回: LECON 1 挨拶の仕方</p> <p>第5回: LECON 1 自己紹介する(1)</p> <p>第6回: LECON 1 自己紹介する(2)</p> <p>第7回: LECON 2 人を紹介する(1)</p> <p>第8回: LECON 2 人を紹介する(2)</p> <p>第9回: LECON 2 場所の聞き方</p> <p>第10回: LECON 2 場所について話す</p> <p>第11回: LECON 2 道を尋ねる</p> <p>第12回: LECON 3 日常生活の表現</p> <p>第13回: LECON 3 日常生活の活動</p> <p>第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回: 前期の内容の総復習</p> <p>第2回: LECON 4 家族の話をする</p> <p>第3回: LECON 4 趣味について話す</p> <p>第4回: LECON 4 友人を誘う</p> <p>第5回: LECON 4 活動を紹介する</p> <p>第6回: LECON 5 趣味について尋ねる</p> <p>第7回: LECON 5 時間の過ごし方</p> <p>第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる</p> <p>第9回: LECON 5 人の特徴を描写する</p> <p>第10回: LECON 6 アンケートに答える</p> <p>第11回: LECON 6 年齢を聞く</p> <p>第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる</p> <p>第13回: LECON 7 乗り物に乗る</p> <p>第14回: LECON 7 どこかへ行くとき</p> <p>第15回: 後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4503		
授業科目名	基礎フランス語II (経営 3クラス)		
担当者名	デーズ(デーズ ブリジット)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		

到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき 第15回: 後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4504
授業科目名	基礎フランス語II (経営 4クラス)
担当者名	谷 恭子(タニ キョウコ)、デーズ(デーズ プリジット)

配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: LECON 0 フランス語とフランス</p> <p>第3回: LECON 0 数字、曜日、発音</p> <p>第4回: LECON 1 挨拶の仕方</p> <p>第5回: LECON 1 自己紹介する(1)</p> <p>第6回: LECON 1 自己紹介する(2)</p> <p>第7回: LECON 2 人を紹介する(1)</p> <p>第8回: LECON 2 人を紹介する(2)</p> <p>第9回: LECON 2 場所の聞き方</p> <p>第10回: LECON 2 場所について話す</p> <p>第11回: LECON 2 道を尋ねる</p> <p>第12回: LECON 3 日常生活の表現</p> <p>第13回: LECON 3 日常生活の活動</p> <p>第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する</p> <p>第15回: 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回: 前期の内容の総復習</p> <p>第2回: LECON 4 家族の話をする</p> <p>第3回: LECON 4 趣味について話す</p> <p>第4回: LECON 4 友人を誘う</p> <p>第5回: LECON 4 活動を紹介する</p> <p>第6回: LECON 5 趣味について尋ねる</p> <p>第7回: LECON 5 時間の過ごし方</p> <p>第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる</p> <p>第9回: LECON 5 人の特徴を描写する</p> <p>第10回: LECON 6 アンケートに答える</p> <p>第11回: LECON 6 年齢を聞く</p> <p>第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる</p> <p>第13回: LECON 7 乗り物に乗る</p> <p>第14回: LECON 7 どこかへ行くとき</p> <p>第15回: 後期試験</p>		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協		
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。		
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }		
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。		
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }		

授業コード	K4505		
授業科目名	基礎フランス語II (経営)(再履修クラス)		
担当者名	デーズ(デーズ ブリジット)、谷 恭子(タニ キョウコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る 第14回: LECON 7 どこかへ行くとき 第15回: 後期試験		
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協		
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。		
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。		

	{ http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ のサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。

授業コード	K4601		
授業科目名	基礎フランス語II (理工 1クラス)		
担当者名	村尾嘉男(ムラオ ヨシオ)、ボワトー(パトリス ボワトー)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する 第6回: LECON 5 趣味について尋ねる 第7回: LECON 5 時間の過ごし方 第8回: LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回: LECON 5 人の特徴を描写する 第10回: LECON 6 アンケートに答える 第11回: LECON 6 年齢を聞く 第12回: LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回: LECON 7 乗り物に乗る

	第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4602		
授業科目名	基礎フランス語II (理工 2クラス)		
担当者名	ポレ(ポレ ジャンノエル)、山本正二(ヤマモト ショウジ)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: LECON 0 フランス語とフランス 第3回: LECON 0 数字、曜日、発音 第4回: LECON 1 挨拶の仕方 第5回: LECON 1 自己紹介する(1) 第6回: LECON 1 自己紹介する(2) 第7回: LECON 2 人を紹介する(1) 第8回: LECON 2 人を紹介する(2) 第9回: LECON 2 場所の聞き方 第10回: LECON 2 場所について話す 第11回: LECON 2 道を尋ねる 第12回: LECON 3 日常生活の表現 第13回: LECON 3 日常生活の活動 第14回: LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回: 前期試験 (後期) 第1回: 前期の内容の総復習 第2回: LECON 4 家族の話をする 第3回: LECON 4 趣味について話す 第4回: LECON 4 友人を誘う 第5回: LECON 4 活動を紹介する

	第6回:LECON 5 趣味について尋ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4603		
授業科目名	基礎フランス語II (理工・知)(再履修クラス)		
担当者名	ボワトー(パトリス ボワトー)、村尾嘉男(ムラオ ヨシオ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回:LECON 0 フランス語とフランス 第3回:LECON 0 数字、曜日、発音 第4回:LECON 1 挨拶の仕方 第5回:LECON 1 自己紹介する(1) 第6回:LECON 1 自己紹介する(2) 第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す 第11回:LECON 2 道を尋ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する

	<p>第15回:前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第1回:前期の内容の総復習</p> <p>第2回:LECON 4 家族の話をする</p> <p>第3回:LECON 4 趣味について話す</p> <p>第4回:LECON 4 友人を誘う</p> <p>第5回:LECON 4 活動を紹介する</p> <p>第6回:LECON 5 趣味について尋ねる</p> <p>第7回:LECON 5 時間の過ごし方</p> <p>第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる</p> <p>第9回:LECON 5 人の特徴を描写する</p> <p>第10回:LECON 6 アンケートに答える</p> <p>第11回:LECON 6 年齢を聞く</p> <p>第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる</p> <p>第13回:LECON 7 乗り物に乗る</p> <p>第14回:LECON 7 どこかへ行くとき</p> <p>第15回:後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	K4701		
授業科目名	基礎フランス語II (知能情報)		
担当者名	山本正二(ヤマモト ショウジ)、ポレ(ポレ ジャンーノエル)		
配当年次	1年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	フランス語でコミュニケーションするための基礎能力を養う。カセットやビデオ・DVDなどの視聴覚教材を活用し、日常会話の初歩を学ぶ。「聞く」「話す」を中心とした授業ではあるが、基本的な表現は「書く」こともできるように指導する。		
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の5級合格レベル		
講義方法	フランス語を母語とする教員が、少なくとも「半期」は授業を担当する。前期と後期で、担当教員が交代する場合がほとんどであるが、クラスによっては、年間を通じて、ひとりのフランス語を母語とする教員が担当することもある。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。		
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。		
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均点を評価とする。 (平常点は、小テスト、音読テスト、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回:LECON 0 フランス語とフランス</p> <p>第3回:LECON 0 数字、曜日、発音</p> <p>第4回:LECON 1 挨拶の仕方</p> <p>第5回:LECON 1 自己紹介する(1)</p> <p>第6回:LECON 1 自己紹介する(2)</p>		

	<p>第7回:LECON 2 人を紹介する(1) 第8回:LECON 2 人を紹介する(2) 第9回:LECON 2 場所の聞き方 第10回:LECON 2 場所について話す 第11回:LECON 2 道を尋ねる 第12回:LECON 3 日常生活の表現 第13回:LECON 3 日常生活の活動 第14回:LECON 3 好き嫌いを表現する 第15回:前期試験</p> <p>(後期) 第1回:前期の内容の総復習 第2回:LECON 4 家族の話をする 第3回:LECON 4 趣味について話す 第4回:LECON 4 友人を誘う 第5回:LECON 4 活動を紹介する 第6回:LECON 5 趣味について尋ねる 第7回:LECON 5 時間の過ごし方 第8回:LECON 5 人の好き嫌いを尋ねる 第9回:LECON 5 人の特徴を描写する 第10回:LECON 6 アンケートに答える 第11回:LECON 6 年齢を聞く 第12回:LECON 6 持ち物について尋ねる 第13回:LECON 7 乗り物に乗る 第14回:LECON 7 どこかへ行くとき 第15回:後期試験</p>
教科書	甲南大学EEFLEUK編『LE FRANCAIS A LA CARTEフランス語ア・ラ・カルト フランス語ア・ラ・カルト』甲南大学生協
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }
担当者から一言	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYE フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
その他	教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 { http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/ }

授業コード	M1501		
授業科目名	上級英語TOEIC (1クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600–700 points.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回授業のはじめにグラマーを学習する。 <p>TOEICレベルのグラマーのプリントを使い、それに基づきQUIZを行う。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回リスニングを行う。 授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1 - 2を中心に行う。 ・リーディングは前期はPart 5 (短文空所補充)と Part 6 (長文空所補充)を、 後期はPart 6 と Part 7(読解)を行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・各レッスンに出ているTOEICレベルの単語のプリントを調べる。 ・教科書の問題を解き、知らない単語を調べる。「やれば出来る」を実践。
成績評価	<p>出席 10%</p> <p>課題 10%</p> <p>Quizzes 30%</p> <p>Final Tests 30%</p> <p>授業の参加態度 20%</p> <p>注意！ 通年8回以上欠席すると成績を評価しない。</p>
講義構成	<p>主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。</p> <p>1.Listening Comprehension(口語英語の聴き取り)</p> <p>2.Reading Comprehension(語彙と読解力)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント</p> <p>第3回 Reading Part5 Adverbs of Frequency Listening Part 1 Photos #1-5</p> <p>第4回 Reading Part5 Conjunctions Listening Part 1 Photos #6-10</p> <p>第5回 Reading Part5 Prepositions Listening Part 1 Photos #11-15</p> <p>第6回 Reading Part5 Transition Words Listening Part 1 Photos #16-20</p> <p>第7回 Reading Part5 Verbs: Causative Listening Part 1 Photos #21-25</p> <p>第8回 Reading Part5 Verbs: Conditional Listening Part 1 Photos #26-30</p> <p>第9回 Reading Part5 Verbs: Tense Listening Part 2 Q&R Who</p> <p>第10回 Reading Part5 Verbs: Two-Word Listening Part 2 Q&R What</p> <p>第11回 Reading Part5 Verbs: Families Listening Part 2 Q&R When</p> <p>第12回 Reading Part6 Test Practice 1 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Where</p> <p>第13回 Reading Part6 Test Practice 1 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Why</p> <p>第14回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-12 Listening Part 2 Q&R How</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Auxiliaries</p> <p>第17回 Reading Part6 Test Practice 2 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Statements</p> <p>第18回 Reading Part7 Passages # 1-10 Listening Part 3 Conversations: Who</p> <p>第19回 Reading Part7 Passages # 11-17 Listening Part 3 Conversations: What</p> <p>第20回 Reading Part7 Bulletins # 1-8 Listening Part 3 Conversations: When</p> <p>第21回 Reading Part7 Bulletins # 9-15 Listening Part 3 Conversations: Where</p> <p>第22回 Reading Part7 Forms & Tables # 1-6 Listening Part 3 Conversations: Why</p>

	第23回 Reading Part7 Forms & Tables # 7-15 Listening Part 3 Conversations: How 第24回 Reading Part7 Labels # 1-6 Listening Part 4 Talks: Business Announcements 第25回 Reading Part7 Labels # 7-15 Listening Part 4 Talks: Special Announcements 第26回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 1-7 Listening Part 4 Talks: Recorded Announcements 第27回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 8-16 Listening Part 4 Talks: Advertisements 第28回 Reading Part7 Double Passages # 1-10 Listening Part 4 Talks: Weather 第29回 Reading Part7 Double Passages # 11-20 Listening Part 4 Talks 第30回 後期試験
教科書	Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed 出版社: Longman
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEICに関して、またそれ以外でも英語のことならいつでも質問してください。 喜んでお話ししたいと思います。 使える英語は日々の努力によります。

授業コード	M1502		
授業科目名	上級英語TOEIC (2クラス)PA		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) regularly take practice TOEIC tests review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> 毎回授業のはじめに文法を学習する。 TOEICレベルの文法のプリントを使い、それに基づきQUIZを行う。 毎回リスニングを行う。 授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1 - 2を中心に行う。 リーディングは前期はPart 5 (短文空所補充)と Part 6 (長文空所補充)を、 後期はPart 6 と Part 7(読解)を行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンに出ているTOEICレベルの単語のプリントを調べる。 教科書の問題を解き、知らない単語を調べる。「やれば出来る」を実践。
成績評価	出席 10% 課題 10% Quizzes 30% Final Tests 30% 授業の参加態度 20% 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない。

<p>講義構成</p>	<p>主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 1.Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2.Reading Comprehension(語彙と読解力)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント</p> <p>第3回 Reading Part5 Adverbs of Frequency Listening Part 1 Photos #1-5</p> <p>第4回 Reading Part5 Conjunctions Listening Part 1 Photos #6-10</p> <p>第5回 Reading Part5 Prepositions Listening Part 1 Photos #11-15</p> <p>第6回 Reading Part5 Transition Words Listening Part 1 Photos #16-20</p> <p>第7回 Reading Part5 Verbs: Causative Listening Part 1 Photos #21-25</p> <p>第8回 Reading Part5 Verbs: Conditional Listening Part 1 Photos #26-30</p> <p>第9回 Reading Part5 Verbs: Tense Listening Part 2 Q&R Who</p> <p>第10回 Reading Part5 Verbs: Two-Word Listening Part 2 Q&R What</p> <p>第11回 Reading Part5 Verbs: Families Listening Part 2 Q&R When</p> <p>第12回 Reading Part6 Test Practice 1 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Where</p> <p>第13回 Reading Part6 Test Practice 1 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Why</p> <p>第14回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-12 Listening Part 2 Q&R How</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Auxiliaries</p> <p>第17回 Reading Part6 Test Practice 2 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Statements</p> <p>第18回 Reading Part7 Pssages # 1-10 Listening Part 3 Conversations: Who</p> <p>第19回 Reading Part7 Pssages # 11-17 Listening Part 3 Conversations: What</p> <p>第20回 Reading Part7 Bulletins # 1-8 Listening Part 3 Conversations: When</p> <p>第21回 Reading Part7 Bulletins # 9-15 Listening Part 3 Conversations: Where</p> <p>第22回 Reading Part7 Forms & Tables # 1-6 Listening Part 3 Conversations: Why</p> <p>第23回 Reading Part7 Forms & Tables # 7-15 Listening Part 3 Conversations: How</p> <p>第24回 Reading Part7 Labels # 1-6 Listening Part 4 Talks: Business Announcements</p> <p>第25回 Reading Part7 Labels # 7-15 Listening Part 4 Talks: Special Announcements</p> <p>第26回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 1-7 Listening Part 4 Talks: Recorded Announcements</p> <p>第27回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 8-16 Listening Part 4 Talks: Advertisements</p> <p>第28回 Reading Part7 Double Passages # 1-10 Listening Part 4 Talks: Weather</p> <p>第29回 Reading Part7 Double Passages # 11-20 Listening Part 4 Talks</p>
-------------	--

	第30回 後期試験
教科書	Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed 出版社: Longman
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEICに関して、またそれ以外でも英語のことならいつでも質問してください。 喜んでお話ししたいと思います。 使える英語は日々の努力によります。

授業コード	M1503		
授業科目名	上級英語TOEIC (3クラス)PA		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜5限)、後期(月曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600–700 points.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回授業のはじめに文法を学習する。 TOEICレベルの文法のプリントを使い、それに基づきQUIZを行う。 • 毎回リスニングを行う。 授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1 – 2を中心に行う。 • リーディングは前期はPart 5 (短文空所補充)と Part 6 (長文空所補充)を、 後期はPart 6 と Part 7(読解)を行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • 各レッスンに出ているTOEICレベルの単語のプリントを調べる。 • 教科書の問題を解き、知らない単語を調べる。「やれば出来る」を実践。
成績評価	出席 10% 課題 10% Quizzes 30% Final Tests 30% 授業の参加態度 20% 注意！ 通年8回以上欠席すると成績を評価しない。
講義構成	主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 1. Listening Comprehension (口語英語の聴き取り) 2. Reading Comprehension (語彙と読解力) 第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント 第3回 Reading Part5 Adverbs of Frequency Listening Part 1 Photos #1–5 第4回 Reading Part5 Conjunctions Listening Part 1 Photos #6–10

	<p>第5回 Reading Part5 Prepositions Listening Part 1 Photos #11-15</p> <p>第6回 Reading Part5 Transition Words Listening Part 1 Photos #16-20</p> <p>第7回 Reading Part5 Verbs: Causative Listening Part 1 Photos #21-25</p> <p>第8回 Reading Part5 Verbs: Conditional Listening Part 1 Photos #26-30</p> <p>第9回 Reading Part5 Verbs: Tense Listening Part 2 Q&R Who</p> <p>第10回 Reading Part5 Verbs: Two-Word Listening Part 2 Q&R What</p> <p>第11回 Reading Part5 Verbs: Families Listening Part 2 Q&R When</p> <p>第12回 Reading Part6 Test Practice 1 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Where</p> <p>第13回 Reading Part6 Test Practice 1 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Why</p> <p>第14回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-12 Listening Part 2 Q&R How</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Auxiliaries</p> <p>第17回 Reading Part6 Test Practice 2 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Statements</p> <p>第18回 Reading Part7 Passages # 1-10 Listening Part 3 Conversations: Who</p> <p>第19回 Reading Part7 Passages # 11-17 Listening Part 3 Conversations: What</p> <p>第20回 Reading Part7 Bulletins # 1-8 Listening Part 3 Conversations: When</p> <p>第21回 Reading Part7 Bulletins # 9-15 Listening Part 3 Conversations: Where</p> <p>第22回 Reading Part7 Forms & Tables # 1-6 Listening Part 3 Conversations: Why</p> <p>第23回 Reading Part7 Forms & Tables # 7-15 Listening Part 3 Conversations: How</p> <p>第24回 Reading Part7 Labels # 1-6 Listening Part 4 Talks: Business Announcements</p> <p>第25回 Reading Part7 Labels # 7-15 Listening Part 4 Talks: Special Announcements</p> <p>第26回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 1-7 Listening Part 4 Talks: Recorded Announcements</p> <p>第27回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 8-16 Listening Part 4 Talks: Advertisements</p> <p>第28回 Reading Part7 Double Passages # 1-10 Listening Part 4 Talks: Weather</p> <p>第29回 Reading Part7 Double Passages # 11-20 Listening Part 4 Talks</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed 出版社: Longman
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEICに関して、またそれ以外でも英語のことならいつでも質問してください。 喜んでお話ししたいと思います。 使える英語は日々の努力によります。

授業コード	M1504		
授業科目名	上級英語TOEIC (4クラス)		
担当者名	井上英樹(イノウエ ヒデキ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600–700 points.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively 		
講義方法	<p>教科書を中心に、問題のポイントを解説。</p> <p>TOEICスコアアップを目指し、「単語」・「ヒアリング」・「スピード」・「文法」の4つのポイントを中心に、講義を実施。</p> <p>「単語」 TOEIC必須単語を、オリジナルの単語リストにまとめ解説。 「ヒアリング」 ディクテーション、シャドーイング等、スキルアップのための手法を活用。 「スピード」 速読、速解のための手法を解説。 「文法」 基礎、応用の文法項目及び、英語文法について体系的に解説。</p>		
準備学習	TOEIC学習に必要な単語、文法能力		
成績評価	<p>下記4つの観点から成績を評価。</p> <p>「出席」25% 「授業貢献度」25% 「ミニテスト」25% 「課題提出」25%</p> <p>定期テスト実施せず。</p>		
講義構成	第1回 クラス編成のために各自自主学习 第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test 第3回 Preliminary Test 解説 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 2 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 3 第10回 Lesson 3 第11回 Lesson 3 第12回 Lesson 4 第13回 Lesson 4 第14回 Lesson 4 第15回 Lesson 4	第16回 夏休み課題解説 第17回 Lesson 5 第18回 Lesson 5 第19回 Lesson 5 第20回 Lesson 5 第21回 Lesson 6 第22回 Lesson 6 第23回 Lesson 6 第24回 Lesson 6 第25回 Lesson 7 第26回 Lesson 7 第27回 Lesson 7 第28回 Lesson 7 第29回 Practice Test 第30回 Practice Test	
教科書	Intensive Training for the TOEIC Test (成美堂)		
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.		

授業コード	M1505
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (5クラス)		
担当者名	井上英樹(イノウエ ヒデキ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.																																
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively 																																
講義方法	<p>教科書を中心に、問題のポイントを解説。</p> <p>TOEICスコアアップを目指し、「単語」・「ヒアリング」・「スピード」・「文法」の4つのポイントを中心に、講義を実施。</p> <p>「単語」 TOEIC必須単語を、オリジナルの単語リストにまとめ解説。 「ヒアリング」 ディクテーション、シャドーイング等、スキルアップのための手法を活用。 「スピード」 速読、速解のための手法を解説。 「文法」 基礎、応用の文法項目及び、英語文法について体系的に解説。</p>																																
準備学習	TOEIC学習に必要な単語、文法能力																																
成績評価	<p>下記4つの観点から成績を評価。</p> <p>「出席」25% 「授業貢献度」25% 「ミニテスト」25% 「課題提出」25%</p> <p>定期テスト実施せず。</p>																																
講義構成	<table border="0"> <tr> <td>第1回 クラス編成のために各自自主学習</td> <td>第16回 夏休み課題解説</td> </tr> <tr> <td>第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test</td> <td>第17回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第3回 Preliminary Test 解説</td> <td>第18回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第4回 Lesson 1</td> <td>第19回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第5回 Lesson 2</td> <td>第20回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第6回 Lesson 2</td> <td>第21回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第7回 Lesson 2</td> <td>第22回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第8回 Lesson 3</td> <td>第23回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第9回 Lesson 3</td> <td>第24回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第10回 Lesson 3</td> <td>第25回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第11回 Lesson 3</td> <td>第26回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第12回 Lesson 4</td> <td>第27回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第13回 Lesson 4</td> <td>第28回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第14回 Lesson 4</td> <td>第29回 Practice Test</td> </tr> <tr> <td>第15回 Lesson 4</td> <td>第30回 Practice Test</td> </tr> </table>			第1回 クラス編成のために各自自主学習	第16回 夏休み課題解説	第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test	第17回 Lesson 5	第3回 Preliminary Test 解説	第18回 Lesson 5	第4回 Lesson 1	第19回 Lesson 5	第5回 Lesson 2	第20回 Lesson 5	第6回 Lesson 2	第21回 Lesson 6	第7回 Lesson 2	第22回 Lesson 6	第8回 Lesson 3	第23回 Lesson 6	第9回 Lesson 3	第24回 Lesson 6	第10回 Lesson 3	第25回 Lesson 7	第11回 Lesson 3	第26回 Lesson 7	第12回 Lesson 4	第27回 Lesson 7	第13回 Lesson 4	第28回 Lesson 7	第14回 Lesson 4	第29回 Practice Test	第15回 Lesson 4	第30回 Practice Test
第1回 クラス編成のために各自自主学習	第16回 夏休み課題解説																																
第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test	第17回 Lesson 5																																
第3回 Preliminary Test 解説	第18回 Lesson 5																																
第4回 Lesson 1	第19回 Lesson 5																																
第5回 Lesson 2	第20回 Lesson 5																																
第6回 Lesson 2	第21回 Lesson 6																																
第7回 Lesson 2	第22回 Lesson 6																																
第8回 Lesson 3	第23回 Lesson 6																																
第9回 Lesson 3	第24回 Lesson 6																																
第10回 Lesson 3	第25回 Lesson 7																																
第11回 Lesson 3	第26回 Lesson 7																																
第12回 Lesson 4	第27回 Lesson 7																																
第13回 Lesson 4	第28回 Lesson 7																																
第14回 Lesson 4	第29回 Practice Test																																
第15回 Lesson 4	第30回 Practice Test																																
教科書	Intensive Training for the TOEIC Test (成美堂)																																
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																																

授業コード	M1506
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (6クラス)		
担当者名	塩澤真由美(シオザワ マユミ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.														
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively 														
講義方法	毎回の講義で主にテキストの問題を行うことにより、TOEIC形式に慣れるとともに解答、解説を通して、リスニング、文法、リーディング等の重要ポイントをおさえながら総合的に英語力の向上をめざします。														
準備学習	毎回のレッスンで出される課題をしっかりと消化した上でレッスンに参加してください。														
成績評価	<p>評価は以下の割合で行います。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 出席</td> <td style="width: 25%;">40%</td> <td style="width: 25%;">2. 提出物</td> <td style="width: 25%;">10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)</td> </tr> <tr> <td>3. 宿題</td> <td>20%</td> <td>4. 復習クイズ</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>5. カレッジTOEIC</td> <td>20% (12月頃)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>欠席は年間を通して5回まで。遅刻は3回で欠席1回分とみなします。</p>			1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)	3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%	5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)		
1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)												
3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%												
5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)														
講義構成	<p>講義構成(予定)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス構成の為に各自自主学習</p> <p>第 2回 Practice Test 1-①</p> <p>第 3回 Practice Test 1-②</p> <p>第 4回 Practice Test 1-③</p> <p>第 5回 L.P.P.1-① R.P.P. 5-①</p> <p>第 6回 L.P.P.1-② R.P.P.5-②</p> <p>第 7回 L.P.P.1-③ R.P.P. 5-③</p> <p>第 8回 L.P.P.1-④ R.P.P.5-④</p> <p>第 9回 L.P.P.2-① R.P.P.5-⑤</p> <p>第10回 L.P.P.2-② R.P.P.5-⑥</p> <p>第11回 L.P.P.2-③ R.P.P.5-⑦</p> <p>第12回 L.P.P.2-④ R.P.P.5-⑧</p> <p>第13回 L.P.P.2-⑤ R.P.P.5-⑨</p> <p>第14回 L.P.P.2-⑥ R.P.P.5-⑩</p> <p>第15回</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(後期)</p> <p>第16回 Practice Test 2-①</p> <p>第17回 Practice Test 2-②</p> <p>第18回 Practice Test 2-③</p> <p>第19回 L.P.P.3-① R.P.P. 6-①</p> <p>第20回 L.P.P.3-② R.P. P.6-②</p> <p>第21回 L.P.P.3-③ R.P.P.6-③</p> <p>第22回 L.P.P.3-④ R.P.P.6-④</p> <p>第23回 L.P.P.3-⑤ R.P.P.6-⑤</p> <p>第24回 L.P.P.4-① R.P.P.7-①</p> <p>第25回 L.P.P.4-② R.P.P.7-②</p> <p>第26回 L.P.P.4-③ R.P.P.7-③</p> <p>第27回 L.P.P.4-④ R.P.P.7-④</p> <p>第28回 L.P.P.4-⑤ R.P.P.7-⑤</p> <p>第29回 L.P.P.4-⑥ R.P.P.7-⑥</p> <p>第30回</p> </td> </tr> </table> <p>* L- Listening P-Practice P-Part R.-Reading P. -Practice P.-Partを表しています。</p>			<p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス構成の為に各自自主学習</p> <p>第 2回 Practice Test 1-①</p> <p>第 3回 Practice Test 1-②</p> <p>第 4回 Practice Test 1-③</p> <p>第 5回 L.P.P.1-① R.P.P. 5-①</p> <p>第 6回 L.P.P.1-② R.P.P.5-②</p> <p>第 7回 L.P.P.1-③ R.P.P. 5-③</p> <p>第 8回 L.P.P.1-④ R.P.P.5-④</p> <p>第 9回 L.P.P.2-① R.P.P.5-⑤</p> <p>第10回 L.P.P.2-② R.P.P.5-⑥</p> <p>第11回 L.P.P.2-③ R.P.P.5-⑦</p> <p>第12回 L.P.P.2-④ R.P.P.5-⑧</p> <p>第13回 L.P.P.2-⑤ R.P.P.5-⑨</p> <p>第14回 L.P.P.2-⑥ R.P.P.5-⑩</p> <p>第15回</p>	<p>(後期)</p> <p>第16回 Practice Test 2-①</p> <p>第17回 Practice Test 2-②</p> <p>第18回 Practice Test 2-③</p> <p>第19回 L.P.P.3-① R.P.P. 6-①</p> <p>第20回 L.P.P.3-② R.P. P.6-②</p> <p>第21回 L.P.P.3-③ R.P.P.6-③</p> <p>第22回 L.P.P.3-④ R.P.P.6-④</p> <p>第23回 L.P.P.3-⑤ R.P.P.6-⑤</p> <p>第24回 L.P.P.4-① R.P.P.7-①</p> <p>第25回 L.P.P.4-② R.P.P.7-②</p> <p>第26回 L.P.P.4-③ R.P.P.7-③</p> <p>第27回 L.P.P.4-④ R.P.P.7-④</p> <p>第28回 L.P.P.4-⑤ R.P.P.7-⑤</p> <p>第29回 L.P.P.4-⑥ R.P.P.7-⑥</p> <p>第30回</p>										
<p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス構成の為に各自自主学習</p> <p>第 2回 Practice Test 1-①</p> <p>第 3回 Practice Test 1-②</p> <p>第 4回 Practice Test 1-③</p> <p>第 5回 L.P.P.1-① R.P.P. 5-①</p> <p>第 6回 L.P.P.1-② R.P.P.5-②</p> <p>第 7回 L.P.P.1-③ R.P.P. 5-③</p> <p>第 8回 L.P.P.1-④ R.P.P.5-④</p> <p>第 9回 L.P.P.2-① R.P.P.5-⑤</p> <p>第10回 L.P.P.2-② R.P.P.5-⑥</p> <p>第11回 L.P.P.2-③ R.P.P.5-⑦</p> <p>第12回 L.P.P.2-④ R.P.P.5-⑧</p> <p>第13回 L.P.P.2-⑤ R.P.P.5-⑨</p> <p>第14回 L.P.P.2-⑥ R.P.P.5-⑩</p> <p>第15回</p>	<p>(後期)</p> <p>第16回 Practice Test 2-①</p> <p>第17回 Practice Test 2-②</p> <p>第18回 Practice Test 2-③</p> <p>第19回 L.P.P.3-① R.P.P. 6-①</p> <p>第20回 L.P.P.3-② R.P. P.6-②</p> <p>第21回 L.P.P.3-③ R.P.P.6-③</p> <p>第22回 L.P.P.3-④ R.P.P.6-④</p> <p>第23回 L.P.P.3-⑤ R.P.P.6-⑤</p> <p>第24回 L.P.P.4-① R.P.P.7-①</p> <p>第25回 L.P.P.4-② R.P.P.7-②</p> <p>第26回 L.P.P.4-③ R.P.P.7-③</p> <p>第27回 L.P.P.4-④ R.P.P.7-④</p> <p>第28回 L.P.P.4-⑤ R.P.P.7-⑤</p> <p>第29回 L.P.P.4-⑥ R.P.P.7-⑥</p> <p>第30回</p>														
教科書	Longman Preparation Course for the New TOEIC Test Advanced Course Longman *テキストは必ず必要です。														
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.														

担当者から一言	講義の最初にリスニング又は、復習クイズがあります。遅刻をしないように。
---------	-------------------------------------

授業コード	M1507
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (7クラス)PA		
担当者名	井上英樹(イノウエ ヒデキ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.																																
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively 																																
講義方法	<p>教科書を中心に、問題のポイントを解説。</p> <p>TOEICスコアアップを目指し、「単語」・「ヒアリング」・「スピード」・「文法」の4つのポイントを中心に、講義を実施。</p> <p>「単語」 TOEIC必須単語を、オリジナルの単語リストにまとめ解説。 「ヒアリング」 ディクテーション、シャドーイング等、スキルアップのための手法を活用。 「スピード」 速読、速解のための手法を解説。 「文法」 基礎、応用の文法項目及び、英語文法について体系的に解説。</p>																																
準備学習	TOEIC学習に必要な単語、文法能力																																
成績評価	<p>下記4つの観点から成績を評価。</p> <p>「出席」25% 「授業貢献度」25% 「ミニテスト」25% 「課題提出」25%</p> <p>定期テスト実施せず。</p>																																
講義構成	<table border="0"> <tr> <td>第1回 クラス編成のために各自自主学習</td> <td>第16回 夏休み課題解説</td> </tr> <tr> <td>第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test</td> <td>第17回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第3回 Preliminary Test 解説</td> <td>第18回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第4回 Lesson 1</td> <td>第19回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第5回 Lesson 2</td> <td>第20回 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第6回 Lesson 2</td> <td>第21回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第7回 Lesson 2</td> <td>第22回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第8回 Lesson 3</td> <td>第23回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第9回 Lesson 3</td> <td>第24回 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>第10回 Lesson 3</td> <td>第25回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第11回 Lesson 3</td> <td>第26回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第12回 Lesson 4</td> <td>第27回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第13回 Lesson 4</td> <td>第28回 Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第14回 Lesson 4</td> <td>第29回 Practice Test</td> </tr> <tr> <td>第15回 Lesson 4</td> <td>第30回 Practice Test</td> </tr> </table>			第1回 クラス編成のために各自自主学習	第16回 夏休み課題解説	第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test	第17回 Lesson 5	第3回 Preliminary Test 解説	第18回 Lesson 5	第4回 Lesson 1	第19回 Lesson 5	第5回 Lesson 2	第20回 Lesson 5	第6回 Lesson 2	第21回 Lesson 6	第7回 Lesson 2	第22回 Lesson 6	第8回 Lesson 3	第23回 Lesson 6	第9回 Lesson 3	第24回 Lesson 6	第10回 Lesson 3	第25回 Lesson 7	第11回 Lesson 3	第26回 Lesson 7	第12回 Lesson 4	第27回 Lesson 7	第13回 Lesson 4	第28回 Lesson 7	第14回 Lesson 4	第29回 Practice Test	第15回 Lesson 4	第30回 Practice Test
第1回 クラス編成のために各自自主学習	第16回 夏休み課題解説																																
第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test	第17回 Lesson 5																																
第3回 Preliminary Test 解説	第18回 Lesson 5																																
第4回 Lesson 1	第19回 Lesson 5																																
第5回 Lesson 2	第20回 Lesson 5																																
第6回 Lesson 2	第21回 Lesson 6																																
第7回 Lesson 2	第22回 Lesson 6																																
第8回 Lesson 3	第23回 Lesson 6																																
第9回 Lesson 3	第24回 Lesson 6																																
第10回 Lesson 3	第25回 Lesson 7																																
第11回 Lesson 3	第26回 Lesson 7																																
第12回 Lesson 4	第27回 Lesson 7																																
第13回 Lesson 4	第28回 Lesson 7																																
第14回 Lesson 4	第29回 Practice Test																																
第15回 Lesson 4	第30回 Practice Test																																
教科書	Intensive Training for the TOEIC Test (成美堂)																																
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																																

授業コード	M1508
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (8クラス)		
担当者名	井上英樹(イノウエ ヒデキ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.				
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively 				
講義方法	<p>教科書を中心に、問題のポイントを解説。</p> <p>TOEICスコアアップを目指し、「単語」・「ヒアリング」・「スピード」・「文法」の4つのポイントを中心に、講義を実施。</p> <p>「単語」 TOEIC必須単語を、オリジナルの単語リストにまとめ解説。 「ヒアリング」 ディクテーション、シャドーイング等、スキルアップのための手法を活用。 「スピード」 速読、速解のための手法を解説。 「文法」 基礎、応用の文法項目及び、英語文法について体系的に解説。</p>				
準備学習	TOEIC学習に必要な単語、文法能力				
成績評価	<p>下記4つの観点から成績を評価。</p> <p>「出席」25% 「授業貢献度」25% 「ミニテスト」25% 「課題提出」25%</p> <p>定期テスト実施せず。</p>				
講義構成	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test 第3回 Preliminary Test 解説 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 2 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 3 第10回 Lesson 3 第11回 Lesson 3 第12回 Lesson 4 第13回 Lesson 4 第14回 Lesson 4 第15回 Lesson 4 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 第16回 夏休み課題解説 第17回 Lesson 5 第18回 Lesson 5 第19回 Lesson 5 第20回 Lesson 5 第21回 Lesson 6 第22回 Lesson 6 第23回 Lesson 6 第24回 Lesson 6 第25回 Lesson 7 第26回 Lesson 7 第27回 Lesson 7 第28回 Lesson 7 第29回 Practice Test 第30回 Practice Test </td> </tr> </table>			第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test 第3回 Preliminary Test 解説 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 2 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 3 第10回 Lesson 3 第11回 Lesson 3 第12回 Lesson 4 第13回 Lesson 4 第14回 Lesson 4 第15回 Lesson 4	第16回 夏休み課題解説 第17回 Lesson 5 第18回 Lesson 5 第19回 Lesson 5 第20回 Lesson 5 第21回 Lesson 6 第22回 Lesson 6 第23回 Lesson 6 第24回 Lesson 6 第25回 Lesson 7 第26回 Lesson 7 第27回 Lesson 7 第28回 Lesson 7 第29回 Practice Test 第30回 Practice Test
第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test 第3回 Preliminary Test 解説 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 2 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 3 第10回 Lesson 3 第11回 Lesson 3 第12回 Lesson 4 第13回 Lesson 4 第14回 Lesson 4 第15回 Lesson 4	第16回 夏休み課題解説 第17回 Lesson 5 第18回 Lesson 5 第19回 Lesson 5 第20回 Lesson 5 第21回 Lesson 6 第22回 Lesson 6 第23回 Lesson 6 第24回 Lesson 6 第25回 Lesson 7 第26回 Lesson 7 第27回 Lesson 7 第28回 Lesson 7 第29回 Practice Test 第30回 Practice Test				
教科書	Intensive Training for the TOEIC Test (成美堂)				
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.				

授業コード	M1509
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (9クラス)		
担当者名	津田信男(ツダ ノブオ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday 2:00-3:00 p.m. Thursday 2:00-3:00 p.m. (also by appointment)		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高める。練習問題を通して自信を養うと共に、受験者が犯しやすいミスや試験時間の効率的な使い方も合わせて指導する。
準備学習	毎回の授業の学習を復習する。宿題、課題がある場合はそれを行う。小テストがある場合、教科書を復習し、プリント教材をよく読んで準備する。
成績評価	宿題7% 小テスト(前期6回 後期6回)75% (1回の小テストは20分程度。この小テストの内容は、クラスで学んだ教科書の内容、プリント教材とリーディングのプリント。) TOEIC模擬テスト (前期1回、後期1回) 7% 読書レポート(前期1回、後期1回) 11%
講義構成	(前期) 第1回 クラス編成のため各自自主学習 第2回 Introduction TOEIC Mini Test 第3回 Lesson 1 第4回 Lesson 2 第5回 Lesson 3 第6回 Lesson 3 第7回 Lesson 6 第8回 Lesson 4 第9回 Lesson 5 第10回 Lesson 7 第11回 Lesson 7 第12回 Lesson 5 第13回 TOEIC Test Plus Magazine 第14回 TOEIC Test Plus Magazine (後期) 第1回 Introduction TOEIC Test Plus Magazine 第2回 TOEIC Test Plus Magazine 第3回 TOEIC Test Plus Magazine 第4回 TOEIC Test Plus Magazine 第5回 TOEIC Test Plus Magazine 第6回 Text: Practice Test 第7回 Text: Practice Test 第8回 Text: Practice Test 第9回 Text: Practice Test 第10回 Text: Practice Test 第11回 Text: Practice Test 第12回 TOEIC Test Plus Magazine 第13回 TOEIC Test Plus Magazine

	第14回 TOEIC Test Plus Magazine
教科書	Intensive Training for the TOEIC Test (成美堂)
参考書・資料	MacMillan Readers Level 5, TOEIC Test ベストプラスマガジン (模擬テスト用)、Reader's Digest
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Good grades are not given by the teacher. They are earned by the students.
その他	E-mail: nobuo@konan-u.ac.jp 詳しいスケジュール、小テスト、レポート等の期限については、1回目の授業で資料を配布する。

授業コード	M1510		
授業科目名	上級英語TOEIC (10クラス)		
担当者名	塩澤真由美(シオザワ マユミ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.														
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively 														
講義方法	毎回の講義で主にテキストの問題を行うことにより、TOEIC形式に慣れるとともに解答、解説を通して、リスニング、文法、リーディング等の重要ポイントをおさえながら総合的に英語力の向上をめざします。														
準備学習	毎回のレッスンで出される課題をしっかりと消化した上でレッスンに参加してください。														
成績評価	<p>評価は以下の割合で行います。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 出席</td> <td style="width: 25%;">40%</td> <td style="width: 25%;">2. 提出物</td> <td style="width: 25%;">10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)</td> </tr> <tr> <td>3. 宿題</td> <td>20%</td> <td>4. 復習クイズ</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>5. カレッジTOEIC</td> <td>20% (12月頃)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>欠席は年間を通して5回まで。遅刻は3回で欠席1回分とみなします。</p>			1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)	3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%	5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)		
1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)												
3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%												
5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)														
講義構成	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 講義構成(予定) (前期) 第 1回 クラス構成の為に各自自主学習 第 2回 Practice Test 1-① 第 3回 Practice Test 1-② 第 4回 Practice Test 1-③ 第 5回 L.P.P.1-① R.P.P. 5-① 第 6回 L.P.P.1-② R.P.P.5-② 第 7回 L.P.P.1-③ R.P.P. 5-③ 第 8回 L.P.P.1-④ R.P.P.5-④ 第 9回 L.P.P.2-① R.P.P.5-⑤ 第10回 L.P.P.2-② R.P.P.5-⑥ 第11回 L.P.P.2-③ R.P.P.5-⑦ 第12回 L.P.P.2-④ R.P.P.5-⑧ 第13回 L.P.P.2-⑤ R.P.P.5-⑨ 第14回 L.P.P.2-⑥ R.P.P.5-⑩ 第15回 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (後期) 第16回 Practice Test 2-① 第17回 Practice Test 2-② 第18回 Practice Test 2-③ 第19回 L.P.P-3-① R.P.P 6-① 第20回 L.P.P.3-② R.P. P.6-② 第21回 L.P.P.3-③ R.P.P.6-③ 第22回 L.P.P.3-④ R.P.P.6-④ 第23回 L.P.P.3-⑤ R.P.P.6-⑤ 第24回 L.P.P.4-① R.P.P.7-① 第25回 L.P.P.4-② R.P.P.7-② 第26回 L.P.P.4-③ R.P.P.7-③ 第27回 L.P.P.4-④ R.P.P.7-④ 第28回 L.P.P.4-⑤ R.P.P.7-⑤ 第29回 L.P.P.4-⑥ R.P.P.7-⑥ 第30回 </td> </tr> </table>			講義構成(予定) (前期) 第 1回 クラス構成の為に各自自主学習 第 2回 Practice Test 1-① 第 3回 Practice Test 1-② 第 4回 Practice Test 1-③ 第 5回 L.P.P.1-① R.P.P. 5-① 第 6回 L.P.P.1-② R.P.P.5-② 第 7回 L.P.P.1-③ R.P.P. 5-③ 第 8回 L.P.P.1-④ R.P.P.5-④ 第 9回 L.P.P.2-① R.P.P.5-⑤ 第10回 L.P.P.2-② R.P.P.5-⑥ 第11回 L.P.P.2-③ R.P.P.5-⑦ 第12回 L.P.P.2-④ R.P.P.5-⑧ 第13回 L.P.P.2-⑤ R.P.P.5-⑨ 第14回 L.P.P.2-⑥ R.P.P.5-⑩ 第15回	(後期) 第16回 Practice Test 2-① 第17回 Practice Test 2-② 第18回 Practice Test 2-③ 第19回 L.P.P-3-① R.P.P 6-① 第20回 L.P.P.3-② R.P. P.6-② 第21回 L.P.P.3-③ R.P.P.6-③ 第22回 L.P.P.3-④ R.P.P.6-④ 第23回 L.P.P.3-⑤ R.P.P.6-⑤ 第24回 L.P.P.4-① R.P.P.7-① 第25回 L.P.P.4-② R.P.P.7-② 第26回 L.P.P.4-③ R.P.P.7-③ 第27回 L.P.P.4-④ R.P.P.7-④ 第28回 L.P.P.4-⑤ R.P.P.7-⑤ 第29回 L.P.P.4-⑥ R.P.P.7-⑥ 第30回										
講義構成(予定) (前期) 第 1回 クラス構成の為に各自自主学習 第 2回 Practice Test 1-① 第 3回 Practice Test 1-② 第 4回 Practice Test 1-③ 第 5回 L.P.P.1-① R.P.P. 5-① 第 6回 L.P.P.1-② R.P.P.5-② 第 7回 L.P.P.1-③ R.P.P. 5-③ 第 8回 L.P.P.1-④ R.P.P.5-④ 第 9回 L.P.P.2-① R.P.P.5-⑤ 第10回 L.P.P.2-② R.P.P.5-⑥ 第11回 L.P.P.2-③ R.P.P.5-⑦ 第12回 L.P.P.2-④ R.P.P.5-⑧ 第13回 L.P.P.2-⑤ R.P.P.5-⑨ 第14回 L.P.P.2-⑥ R.P.P.5-⑩ 第15回	(後期) 第16回 Practice Test 2-① 第17回 Practice Test 2-② 第18回 Practice Test 2-③ 第19回 L.P.P-3-① R.P.P 6-① 第20回 L.P.P.3-② R.P. P.6-② 第21回 L.P.P.3-③ R.P.P.6-③ 第22回 L.P.P.3-④ R.P.P.6-④ 第23回 L.P.P.3-⑤ R.P.P.6-⑤ 第24回 L.P.P.4-① R.P.P.7-① 第25回 L.P.P.4-② R.P.P.7-② 第26回 L.P.P.4-③ R.P.P.7-③ 第27回 L.P.P.4-④ R.P.P.7-④ 第28回 L.P.P.4-⑤ R.P.P.7-⑤ 第29回 L.P.P.4-⑥ R.P.P.7-⑥ 第30回														

	* L- Listening P-Practice P-Part R.-Reading P. -Practice P.-Partを表しています。
教科書	Longman Preparation Course for the New TOEIC Test Advanced Course Longman *テキストは必ず必要です。
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	講義の最初にリスニング又は、復習クイズがあります。遅刻をしないように。

授業コード	M1511		
授業科目名	上級英語TOEIC (11クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回授業のはじめに文法を学習する。 TOEICレベルの文法のプリントを使い、それに基づきQUIZを行う。 • 毎回リスニングを行う。 授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1 - 2を中心に行う。 • リーディングは前期はPart 5 (短文空所補充)と Part 6 (長文空所補充)を、 後期はPart 6 と Part 7(読解)を行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • 各レッスンに出ているTOEICレベルの単語のプリントを調べる。 • 教科書の問題を解き、知らない単語を調べる。「やれば出来る」を実践。
成績評価	出席 10% 課題 10% Quizzes 30% Final Tests 30% 授業の参加態度 20% 注意！ 通年8回以上欠席すると成績を評価しない。
講義構成	主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 1.Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2.Reading Comprehension(語彙と読解力) 第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント 第3回 Reading Part5 Adverbs of Frequency Listening Part 1 Photos #1-5 第4回 Reading Part5 Conjunctions Listening Part 1 Photos #6-10 第5回 Reading Part5 Prepositions

	<p>Listening Part 1 Photos #11-15</p> <p>第6回 Reading Part5 Transition Words Listening Part 1 Photos #16-20</p> <p>第7回 Reading Part5 Verbs: Causative Listening Part 1 Photos #21-25</p> <p>第8回 Reading Part5 Verbs: Conditional Listening Part 1 Photos #26-30</p> <p>第9回 Reading Part5 Verbs: Tense Listening Part 2 Q&R Who</p> <p>第10回 Reading Part5 Verbs: Two-Word Listening Part 2 Q&R What</p> <p>第11回 Reading Part5 Verbs: Families Listening Part 2 Q&R When</p> <p>第12回 Reading Part6 Test Practice 1 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Where</p> <p>第13回 Reading Part6 Test Practice 1 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Why</p> <p>第14回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-12 Listening Part 2 Q&R How</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Auxiliaries</p> <p>第17回 Reading Part6 Test Practice 2 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Statements</p> <p>第18回 Reading Part7 Passages # 1-10 Listening Part 3 Conversations: Who</p> <p>第19回 Reading Part7 Passages # 11-17 Listening Part 3 Conversations: What</p> <p>第20回 Reading Part7 Bulletins # 1-8 Listening Part 3 Conversations: When</p> <p>第21回 Reading Part7 Bulletins # 9-15 Listening Part 3 Conversations: Where</p> <p>第22回 Reading Part7 Forms & Tables # 1-6 Listening Part 3 Conversations: Why</p> <p>第23回 Reading Part7 Forms & Tables # 7-15 Listening Part 3 Conversations: How</p> <p>第24回 Reading Part7 Labels # 1-6 Listening Part 4 Talks: Business Announcements</p> <p>第25回 Reading Part7 Labels # 7-15 Listening Part 4 Talks: Special Announcements</p> <p>第26回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 1-7 Listening Part 4 Talks: Recorded Announcements</p> <p>第27回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 8-16 Listening Part 4 Talks: Advertisements</p> <p>第28回 Reading Part7 Double Passages # 1-10 Listening Part 4 Talks: Weather</p> <p>第29回 Reading Part7 Double Passages # 11-20 Listening Part 4 Talks</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed 出版社: Longman
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEICに関して、またそれ以外でも英語のことならいつでも質問してください。 喜んでお話ししたいと思います。 使える英語は日々の努力によります。

授業コード	M1512
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (12クラス)PA		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams ・ improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading ・ regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) ・ regularly take practice TOEIC tests ・ review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes ・ improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 ・毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 ・リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。 ・教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 <p>以上を課題として出し、成績の一部とする。</p>
成績評価	<p>10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む)</p> <p>注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない</p>
講義構成	<p>[予定]</p> <p>第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日)</p> <p>第 2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント</p> <p>第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Exercise 2 #1-5 Reading—Part 5 Adverbs of Frequency</p> <p>第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 2 #6-10 Reading—Part 6 Test Practice 1 Questions 1-6</p> <p>第 5回 単語—プリントL.12 意味の確認 Listening—Part 1 Exercise 2 #11-15 Reading—Part 7 Advertisements Questions 1-7</p> <p>第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 2 #16-20 Reading—Part 5 Conjunctions</p> <p>第 7回 単語—プリントL. 13 意味の確認 Listening—Part 1 Exercise 2 #21-25 Reading—Part 6 Test Practice 1 Questions 7-12</p> <p>第 8回 単語—プリントL. 13 小テスト Listening—Part 1 Exercise 2 #26-30 Reading—Part 7 Bulletins Questions 1-6</p> <p>以降、第3回から第8回の流れで続けていく</p>
教科書	Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed

	出版社: Longman
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えます。 週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。

授業コード	M1513		
授業科目名	上級英語TOEIC (13クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600–700 points.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回授業のはじめにグラマーを学習する。 TOEICレベルのグラマーのプリントを使い、それに基づきQUIZを行う。 • 毎回リスニングを行う。 授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1 – 2を中心に行う。 • リーディングは前期はPart 5 (短文空所補充)と Part 6 (長文空所補充)を、後期はPart 6 と Part 7(読解)を行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • 各レッスンに出ているTOEICレベルの単語のプリントを調べる。 • 教科書の問題を解き、知らない単語を調べる。「やれば出来る」を実践。
成績評価	出席 10% 課題 10% Quizzes 30% Final Tests 30% 授業の参加態度 20% 注意！ 通年8回以上欠席すると成績を評価しない。
講義構成	主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 1.Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2.Reading Comprehension(語彙と読解力) 第1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日から12日) 第2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント 第3回 Reading Part5 Adverbs of Frequency Listening Part 1 Photos #1–5 第4回 Reading Part5 Conjunctions Listening Part 1 Photos #6–10 第5回 Reading Part5 Prepositions Listening Part 1 Photos #11–15

	<p>第6回 Reading Part5 Transition Words Listening Part 1 Photos #16-20</p> <p>第7回 Reading Part5 Verbs: Causative Listening Part 1 Photos #21-25</p> <p>第8回 Reading Part5 Verbs: Conditional Listening Part 1 Photos #26-30</p> <p>第9回 Reading Part5 Verbs: Tense Listening Part 2 Q&R Who</p> <p>第10回 Reading Part5 Verbs: Two-Word Listening Part 2 Q&R What</p> <p>第11回 Reading Part5 Verbs: Families Listening Part 2 Q&R When</p> <p>第12回 Reading Part6 Test Practice 1 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Where</p> <p>第13回 Reading Part6 Test Practice 1 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Why</p> <p>第14回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-12 Listening Part 2 Q&R How</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-6 Listening Part 2 Q&R Auxiliaries</p> <p>第17回 Reading Part6 Test Practice 2 # 7-12 Listening Part 2 Q&R Statements</p> <p>第18回 Reading Part7 Passages # 1-10 Listening Part 3 Conversations: Who</p> <p>第19回 Reading Part7 Passages # 11-17 Listening Part 3 Conversations: What</p> <p>第20回 Reading Part7 Bulletins # 1-8 Listening Part 3 Conversations: When</p> <p>第21回 Reading Part7 Bulletins # 9-15 Listening Part 3 Conversations: Where</p> <p>第22回 Reading Part7 Forms & Tables # 1-6 Listening Part 3 Conversations: Why</p> <p>第23回 Reading Part7 Forms & Tables # 7-15 Listening Part 3 Conversations: How</p> <p>第24回 Reading Part7 Labels # 1-6 Listening Part 4 Talks: Business Announcements</p> <p>第25回 Reading Part7 Labels # 7-15 Listening Part 4 Talks: Special Announcements</p> <p>第26回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 1-7 Listening Part 4 Talks: Recorded Announcements</p> <p>第27回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 8-16 Listening Part 4 Talks: Advertisements</p> <p>第28回 Reading Part7 Double Passages # 1-10 Listening Part 4 Talks: Weather</p> <p>第29回 Reading Part7 Double Passages # 11-20 Listening Part 4 Talks</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed 出版社: Longman
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEICに関して、またそれ以外でも英語のことならいつでも質問してください。 喜んでお話したいと思います。 使える英語は日々の努力によります。

授業コード	M1514
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (14クラス)PA		
担当者名	井上英樹(イノウエ ヒデキ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.				
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively 				
講義方法	<p>教科書を中心に、問題のポイントを解説。</p> <p>TOEICスコアアップを目指し、「単語」・「ヒアリング」・「スピード」・「文法」の4つのポイントを中心に、講義を実施。</p> <p>「単語」 TOEIC必須単語を、オリジナルの単語リストにまとめ解説。 「ヒアリング」 ディクテーション、シャドーイング等、スキルアップのための手法を活用。 「スピード」 速読、速解のための手法を解説。 「文法」 基礎、応用の文法項目及び、英語文法について体系的に解説。</p>				
準備学習	TOEIC学習に必要な単語、文法能力				
成績評価	<p>下記4つの観点から成績を評価。</p> <p>「出席」25% 「授業貢献度」25% 「ミニテスト」25% 「課題提出」25%</p> <p>定期テスト実施せず。</p>				
講義構成	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test 第3回 Preliminary Test 解説 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 2 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 3 第10回 Lesson 3 第11回 Lesson 3 第12回 Lesson 4 第13回 Lesson 4 第14回 Lesson 4 第15回 Lesson 4 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 第16回 夏休み課題解説 第17回 Lesson 5 第18回 Lesson 5 第19回 Lesson 5 第20回 Lesson 5 第21回 Lesson 6 第22回 Lesson 6 第23回 Lesson 6 第24回 Lesson 6 第25回 Lesson 7 第26回 Lesson 7 第27回 Lesson 7 第28回 Lesson 7 第29回 Practice Test 第30回 Practice Test </td> </tr> </table>			第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test 第3回 Preliminary Test 解説 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 2 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 3 第10回 Lesson 3 第11回 Lesson 3 第12回 Lesson 4 第13回 Lesson 4 第14回 Lesson 4 第15回 Lesson 4	第16回 夏休み課題解説 第17回 Lesson 5 第18回 Lesson 5 第19回 Lesson 5 第20回 Lesson 5 第21回 Lesson 6 第22回 Lesson 6 第23回 Lesson 6 第24回 Lesson 6 第25回 Lesson 7 第26回 Lesson 7 第27回 Lesson 7 第28回 Lesson 7 第29回 Practice Test 第30回 Practice Test
第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法 Preliminary Test 第3回 Preliminary Test 解説 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 2 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 3 第10回 Lesson 3 第11回 Lesson 3 第12回 Lesson 4 第13回 Lesson 4 第14回 Lesson 4 第15回 Lesson 4	第16回 夏休み課題解説 第17回 Lesson 5 第18回 Lesson 5 第19回 Lesson 5 第20回 Lesson 5 第21回 Lesson 6 第22回 Lesson 6 第23回 Lesson 6 第24回 Lesson 6 第25回 Lesson 7 第26回 Lesson 7 第27回 Lesson 7 第28回 Lesson 7 第29回 Practice Test 第30回 Practice Test				
教科書	Intensive Training for the TOEIC Test (成美堂)				
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.				

授業コード	M1515
-------	-------

授業科目名	上級英語TOEIC (15クラス)		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回授業のはじめに文法を学習する。 TOEICレベルの文法のプリントを使い、それに基づきQUIZを行う。 • 毎回リスニングを行う。 授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1 - 2を中心に行う。 • リーディングは前期はPart 5 (短文空所補充)と Part 6 (長文空所補充)を、 後期はPart 6 と Part 7(読解)を行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • 各レッスンに出ているTOEICレベルの単語のプリントを調べる。 • 教科書の問題を解き、知らない単語を調べる。「やれば出来る」を実践。
成績評価	出席 10% 課題 10% Quizzes 30% Final Tests 30% 授業の参加態度 20% 注意！ 通年8回以上欠席すると成績を評価しない。
講義構成	主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 1.Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2.Reading Comprehension(語彙と読解力) 第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント 第3回 Reading Part5 Adverbs of Frequency Listening Part 1 Photos #1-5 第4回 Reading Part5 Conjunctions Listening Part 1 Photos #6-10 第5回 Reading Part5 Prepositions Listening Part 1 Photos #11-15 第6回 Reading Part5 Transition Words Listening Part 1 Photos #16-20 第7回 Reading Part5 Verbs: Causative Listening Part 1 Photos #21-25 第8回 Reading Part5 Verbs: Conditional Listening Part 1 Photos #26-30 第9回 Reading Part5 Verbs: Tense Listening Part 2 Q&R Who 第10回 Reading Part5 Verbs: Two-Word Listening Part 2 Q&R What 第11回 Reading Part5 Verbs: Families Listening Part 2 Q&R When 第12回 Reading Part6 Test Practice 1 # 1-6

	<p>Listening Part 2 Q&R Where</p> <p>第13回 Reading Part6 Test Practice 1 # 7-12</p> <p>Listening Part 2 Q&R Why</p> <p>第14回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-12</p> <p>Listening Part 2 Q&R How</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Reading Part6 Test Practice 2 # 1-6</p> <p>Listening Part 2 Q&R Auxiliaries</p> <p>第17回 Reading Part6 Test Practice 2 # 7-12</p> <p>Listening Part 2 Q&R Statements</p> <p>第18回 Reading Part7 Pssages # 1-10</p> <p>Listening Part 3 Conversations: Who</p> <p>第19回 Reading Part7 Pssages # 11-17</p> <p>Listening Part 3 Conversations: What</p> <p>第20回 Reading Part7 Bulletins # 1-8</p> <p>Listening Part 3 Conversations: When</p> <p>第21回 Reading Part7 Bulletins # 9-15</p> <p>Listening Part 3 Conversations: Where</p> <p>第22回 Reading Part7 Forms & Tables # 1-6</p> <p>Listening Part 3 Conversations: Why</p> <p>第23回 Reading Part7 Forms & Tables # 7-15</p> <p>Listening Part 3 Conversations: How</p> <p>第24回 Reading Part7 Labels # 1-6</p> <p>Listening Part 4 Talks: Business Announcements</p> <p>第25回 Reading Part7 Labels # 7-15</p> <p>Listening Part 4 Talks: Special Announcements</p> <p>第26回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 1-7</p> <p>Listening Part 4 Talks: Recorded Announcements</p> <p>第27回 Reading Part7 Letters, E-mail & Memos # 8-16</p> <p>Listening Part 4 Talks: Advertisements</p> <p>第28回 Reading Part7 Double Passages # 1-10</p> <p>Listening Part 4 Talks: Weather</p> <p>第29回 Reading Part7 Double Passages # 11-20</p> <p>Listening Part 4 Talks</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed 出版社: Longman
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEICに関して、またそれ以外でも英語のことならいつでも質問してください。 喜んでお話ししたいと思います。 使える英語は日々の努力によります。

授業コード	M1516		
授業科目名	上級英語TOEIC (16クラス)PA		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	The Advanced TOEIC course is intended for students who are familiar with the TOEIC exam and wish to improve their score to at least 600-700 points.		
到達目標	In this course, students will: ・ refine their knowledge about what kinds of questions regularly appear on the exams		

	<ul style="list-style-type: none"> • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, and reading) • regularly take practice TOEIC tests • review the kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • improve the ability to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 • 毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 • リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。 • 教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 <p>以上を課題として出し、成績の一部とする。</p>
成績評価	<p>10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む) 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない</p>
講義構成	<p>[予定]</p> <p>第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日)</p> <p>第 2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント</p> <p>第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Exercise 2 #1-5 Reading—Part 5 Adverbs of Frequency</p> <p>第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 2 #6-10 Reading—Part 6 Test Practice 1 Questions 1-6</p> <p>第 5回 単語—プリントL.12 意味の確認 Listening—Part 1 Exercise 2 #11-15 Reading—Part 7 Advertisements Questions 1-7</p> <p>第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 2 #16-20 Reading—Part 5 Conjunctions</p> <p>第 7回 単語—プリントL. 13 意味の確認 Listening—Part 1 Exercise 2 #21-25 Reading—Part 6 Test Practice 1 Questions 7-12</p> <p>第 8回 単語—プリントL. 13 小テスト Listeing—Part 1 Exercise 2 #26-30 Reading—Part 7 Bulletins Questions 1-6</p> <p>以降、第3回から第8回の流れで続けていく</p>
教科書	<p>Preparation Series for the new TOEIC Test Advanced Course 著者: Lin Lougheed 出版社: Longman</p>
講義関連事項	<p>Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えます。</p> <p>週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。</p>

授業コード	M1001
-------	-------

授業科目名	上級英語オーラル・コミュニケーション (1クラス)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course further develops skills acquired through the intermediate level, but emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions on a variety of sophisticated topics and to participate in discussions.																																				
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas, exchange opinions, and engage in discussion about a variety of topics related to cross-cultural understanding and controversial issues of current social and global interest • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of individual interest) 																																				
講義方法	There will be many opportunities for speaking and students will be encouraged to do so. A number of activities will be utilized in class to provide an atmosphere which makes it essential for participation. The dynamics of pairwork and group activities will help develop each student's ability to express themselves in English.																																				
準備学習	Your positive attitude, effort, and participation in class is very important for this course.																																				
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>			Homework	10%	Participation	20%	Bonus points	20%	Quizzes	50%																										
Homework	10%																																				
Participation	20%																																				
Bonus points	20%																																				
Quizzes	50%																																				
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the student abilities and interests.</p> <p>(Spring)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Class 1</td> <td>Independent study (class registration and placement during first week)</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Introduce your partner</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Interesting lives</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Personal tastes</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>World cultures</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Socializing</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Law and order</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Strange events</td> </tr> </table> <p>(Fall)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Class 1</td> <td>Summer vacation</td> </tr> <tr> <td>Class 2&3</td> <td>Problem solving</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Behavior</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Material world</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>Fame</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Trends</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Careers</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Five years from now</td> </tr> </table>			Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)	Class 2	Class introduction and orientation	Class 3	Introduce your partner	Class 4&5	Interesting lives	Class 6&7	Personal tastes	Class 8&9	World cultures	Class 10&11	Socializing	Class 12&13	Law and order	Class 14	Strange events	Class 1	Summer vacation	Class 2&3	Problem solving	Class 4&5	Behavior	Class 6&7	Material world	Class 8&9	Fame	Class 10&11	Trends	Class 12&13	Careers	Class 14	Five years from now
Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)																																				
Class 2	Class introduction and orientation																																				
Class 3	Introduce your partner																																				
Class 4&5	Interesting lives																																				
Class 6&7	Personal tastes																																				
Class 8&9	World cultures																																				
Class 10&11	Socializing																																				
Class 12&13	Law and order																																				
Class 14	Strange events																																				
Class 1	Summer vacation																																				
Class 2&3	Problem solving																																				
Class 4&5	Behavior																																				
Class 6&7	Material world																																				
Class 8&9	Fame																																				
Class 10&11	Trends																																				
Class 12&13	Careers																																				
Class 14	Five years from now																																				
教科書	Touchstone 4 (Cambridge)																																				
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.																																				
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																																				

授業コード	M1002		
授業科目名	上級英語オーラル・コミュニケーション (2クラス)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course further develops skills acquired through the intermediate level, but emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions on a variety of sophisticated topics and to participate in discussions.																																				
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • refine their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas, exchange opinions, and engage in discussion about a variety of topics related to cross-cultural understanding and controversial issues of current social and global interest • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of individual interest) 																																				
講義方法	There will be many opportunities for speaking and students will be encouraged to do so. A number of activities will be utilized in class to provide an atmosphere which makes it essential for participation. The dynamics of pairwork and group activities will help develop each student's ability to express themselves in English.																																				
準備学習	Your positive attitude, effort, and participation in class is very important for this course.																																				
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>			Homework	10%	Participation	20%	Bonus points	20%	Quizzes	50%																										
Homework	10%																																				
Participation	20%																																				
Bonus points	20%																																				
Quizzes	50%																																				
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the student abilities and interests.</p> <p>(Spring)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Class 1</td> <td>Independent study (class registration and placement during first week)</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Introduce your partner</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Interesting lives</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Personal tastes</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>World cultures</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Socializing</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Law and order</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Strange events</td> </tr> </table> <p>(Fall)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Class 1</td> <td>Summer vacation</td> </tr> <tr> <td>Class 2&3</td> <td>Problem solving</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Behavior</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Material world</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>Fame</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Trends</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Careers</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Five years from now</td> </tr> </table>			Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)	Class 2	Class introduction and orientation	Class 3	Introduce your partner	Class 4&5	Interesting lives	Class 6&7	Personal tastes	Class 8&9	World cultures	Class 10&11	Socializing	Class 12&13	Law and order	Class 14	Strange events	Class 1	Summer vacation	Class 2&3	Problem solving	Class 4&5	Behavior	Class 6&7	Material world	Class 8&9	Fame	Class 10&11	Trends	Class 12&13	Careers	Class 14	Five years from now
Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)																																				
Class 2	Class introduction and orientation																																				
Class 3	Introduce your partner																																				
Class 4&5	Interesting lives																																				
Class 6&7	Personal tastes																																				
Class 8&9	World cultures																																				
Class 10&11	Socializing																																				
Class 12&13	Law and order																																				
Class 14	Strange events																																				
Class 1	Summer vacation																																				
Class 2&3	Problem solving																																				
Class 4&5	Behavior																																				
Class 6&7	Material world																																				
Class 8&9	Fame																																				
Class 10&11	Trends																																				
Class 12&13	Careers																																				
Class 14	Five years from now																																				
教科書	Touchstone 4 (Cambridge)																																				
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.																																				
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア)																																				

	ア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

授業コード	M1003		
授業科目名	上級英語オーラル・コミュニケーション (3クラス)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course further develops skills acquired through the intermediate level, but emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions on a variety of sophisticated topics and to participate in discussions.										
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ▪ refine their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations ▪ express their ideas, exchange opinions, and engage in discussion about a variety of topics related to cross-cultural understanding and controversial issues of current social and global interest ▪ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) ▪ learn new vocabulary, structures, and useful expressions ▪ refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of individual interest) 										
講義方法	There will be many opportunities for you to engage in interesting and meaningful discussions on a variety of stimulating topics. You will take part in individual, pair, and group activities that are aimed at maximizing your speaking time in class. In addition to developing your conversational skills, there will be a focus on furthering your accuracy and fluency with English. Finally, there will be ample opportunities for expressing your opinions on topics of personal interest.										
準備学習	Students are expected to be active participants in class. They should come to class prepared and ready to make the best use of their time in class. All students are expected to buy a new copy of the textbook and bring it to every class. Students are also expected to complete all homework assignments before coming to class.										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Presentations</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>			Participation and effort	30%	Quizzes	40%	Homework	10%	Presentations	20%
Participation and effort	30%										
Quizzes	40%										
Homework	10%										
Presentations	20%										
講義構成	<p>Composition of Classes Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week) Class 2 & 3 Unit 1 'That's what friends are for!' Class 4 & 5 Unit 2 'Career moves' Class 6 & 7 Unit 3 'Could you do me a favor?' Class 8 & 9 Unit 4 'What a story!' Class 10 & 11 Unit 7 'The world we live in' Class 12 & 13 Unit 8 'Lifelong learning' Class 14 Presentations</p> <p>Fall Term Class 1 Review of Spring term</p>										

	Class 2 & 3 Unit 9 'At your service' Class 4 & 5 Unit 10 'The past and future' Class 6 & 7 Unit 11 'Life's little lessons' Class 8 & 9 Unit 12 'The right stuff' Class 10 & 11 Unit 15 'There should be a law!' Class 12 & 13 Unit 16 'Challenges and accomplishments' Class 14 Presentations
教科書	Interchange Student's Book 3, Third Edition (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and notebook to every class.
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together. Remember, what you get out of any course is in direct relation to the effort you put into it!

授業コード	M1004		
授業科目名	上級英語オーラル・コミュニケーション (4クラス)		
担当者名	カーク(カーク スタンレー)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday and Wednesday 12:15-12:50		

講義の内容	This course further develops skills acquired through the intermediate level, but emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions on a variety of sophisticated topics and to participate in discussions.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> refine their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations express their ideas, exchange opinions, and engage in discussion about a variety of topics related to cross-cultural understanding and controversial issues of current social and global interest practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) learn new vocabulary, structures, and useful expressions refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of individual interest)
講義方法	In this class we will emphasize cooperating with each other in order to improve our English. Each lesson will include pair and group communication activities, so there will be many opportunities to practice speaking English. There will also be occasional presentations and speaking checks.
準備学習	When you have homework, it is important to finish it on time as the communication activities in the next class are based on the homework.
成績評価	Attitude, effort and active participation in the activities: 20% Regular homework, presentations and speaking checks: 80%
講義構成	Some changes to the schedule and content are likely as the teacher becomes familiar with student interests and needs. SPRING Class 1 Independent study (placement week) Class 2&3 Behavior and personality Class 4&5 Experiences Class 6&7 Wonders Class 8&9 Family life Class 10&11 Food Choices

	Class 12&13 Future plans Class 14 Review and Evaluation AUTUMN Class 1&2 Relationships Class 3&4 What if...? Class 5&6 Technology Class 7&8 Social Life Class 9&10 Impressions Class 11&12 Current events Class 13&14 Poster presentation (free topic)
教科書	Touchstone 4
参考書・資料	Be sure to bring your dictionary to class.
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	As this is an advanced level course for students who want to work hard to improve their English, it will require high effort in class and quite a lot of preparation outside of class.

授業コード	M1005		
授業科目名	上級英語オーラル・コミュニケーション (5クラス)		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course further develops skills acquired through the intermediate level, but emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions on a variety of sophisticated topics and to participate in discussions.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas, exchange opinions, and engage in discussion about a variety of topics related to cross-cultural understanding and controversial issues of current social and global interest • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of individual interest)
講義方法	You will have many chances to practice speaking with different partners every class. There will be some listening, reading and writing but the main focus will be on spoken English. The themes for pair discussion are based on unit themes in the textbook. You will receive many handouts which will supplement the textbook and give you a variety of speaking opportunities.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given before you come to class. Don't do it a few minutes before class! Also, don't work ahead in the textbook before class. It's more important to spend time reviewing what you learned in the previous lesson.
成績評価	Your grade will be based on your attendance, your participation in class activities, on homework assignments and on two written exams. attendance 30% participation 30% paper tests 40% (Absence and lateness will negatively affect your participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)

講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. (Spring) Class 1 Introduction Class 2 Spring activities discussion Classes 3-5 Personality Types & qualities Classes 6-8 Jobs; unusual careers Classes 9-11 Favors, formal and informal requests; messages Classes 12-13 The media; news stories; exceptional events Class 14 Travel; vacation plans (Fall) Class 1 Summer activities discussion Class 2 Spring review Classes 3-5 Cultural comparisons & culture shock; customs Classes 6-8 Consumer complaints; repairs Classes 9-11 The environment; world problems Classes 12-13 Education; learner choices Class 14 Everyday services; recommendations
教科書	Interchange 3 (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge Univ. Press
参考書・資料	Please bring a dictionary, notebook and a folder for handouts.
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As your teacher, I will provide learning materials and activities to help you, but you must come to class with a good attitude and a strong willingness to learn. Only then will real learning take place. Do your best every class!

授業コード	M1801		
授業科目名	上級英語グローバル・トピックスI (1クラス)(前)		
担当者名	マック(マック トーマス M.)		
配当年次	3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity
講義方法	Usually, new topics will be introduced with a reading, short lecture or video. Students will then do various activities that are connected with that topic. Emphasis will be placed on explaining, discussing and debating your ideas and opinions. Students choose some of the topics we discuss and give short oral presentations about them. They also prepare a final project on a topic of their own choice. Students will also receive guidance on improving their English skills, with special emphasis on increasing vocabulary, improving note-taking skills, and learning how to organize oral presentations and short research papers.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.

成績評価	30% Essays and mini-speeches 30% Final project 20% Participation 20% Final exam
講義構成	Week 1 Independent study (class registration and placement during first week) Weeks 2-4 Globalization -- pros and cons Weeks 5-7 Lifestyles -- fast and slow Weeks 8-10 Food and water Weeks 11-13 Families around the world Week 14 Final presentations FINAL EXAM (Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.)
教科書	No textbook. Materials are provided by the teacher.
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As teacher, I can provide materials, but you yourself must provide true effort and curiosity for real learning to happen.
ホームページタイトル	Mach's Website
URL	http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~mach

授業コード	M1802		
授業科目名	上級英語グローバル・トピックスI (2クラス)(前)		
担当者名	中村耕二(ナカムラ コウジ)		
配当年次	3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日5限 Office (6612)		

講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity
講義方法	(Classroom Procedure) 講義における使用言語は英語とする。国際語としての英語によるプレゼンテーション能力を高め、国際対話能力に必要な背景知識も深める。毎回グローバル・スタディや平和教育、地球市民教育の基本的な理論と方略について、学習者中心で双方向の質疑応答等のプロセスを重視しながら講義する。講義の後半では学生が実際に各テーマについて調査研究した内容を英語で発表し、皆で討議する。テーマによってはディスカッションや、ディベートに発展させる場合もある。国際英語によるプレゼンテーション能力は社会人として、また、地球市民としても一生の財産である。
準備学習	テーマ別のグローバルな問題や日本文化について、各自、インターネットや図書館で調べ、テーマに関する基本

	<p>的な背景知識を持って講義に参加すること。 新聞の社説や国際問題をよく読んで、自分の考え意見も整理しておくこと。</p>
成績評価	<p>(Evaluation) 出席、口頭発表、授業への参加を重視する。 Class participation (30%) Oral Presentation (40%) Reserach Papaer (30%)</p>
講義構成	<p>上級英語グローバル・トピックス I (前) 上級英語グローバル・トピックス II (後) は関連しているので継続履修が望ましい。 英語のプレゼンテーションの技能を高め、グローバルな問題の背景知識も深める。 各テーマで自分が調査した内容を発表 ① オーラルプレゼンテーション Organization (Impressive Introduction, Body and Graceful Conclusion) Persuasive Speech (Logical Reasoning with valid Evidence, Emotional Appeal) ② Problem Solving Discussion: 問題解決のための民主的なディスカッション Democratic Discussion for Problem Solving (John Dewey's Five Steps of Reflective Thinking) ③ Debate: 意見が別れる論題に関して、賛成派、反対派に別れて、聴衆を説得させるためのディベート (Lincoln-Douglas Debate) Debate (Proposition, Constructive Speeches, Refutation and Rebuttal)</p> <p>The Topics 1 Globalization and Localization, 2 North-South Problems 3 Global Poverty and Child Labor 4 NGO and Partnership 5 Sustainable Development (Environment) 6, Asia-Pacific War, 7 Hiroshima, Nagasaki and Okinawa 8 Love, Charity and Philanthropy 9 The Pleasure of Haiku: Haiku Moment and Haiku Awreness 10 Japanese Sense of Beauty 11 Japan and Japanese Soft Power 12 Comparative Education and educational values 13 Consistency and changes of Japanese society and culture 14 Cultural and National Identities and Europwan Citizensips 15 The differences between USA and UK 16 Peace Education, What is peace? What is Violence? 17 Japan's Roles in Asia. (How to relate with China, Korea and South East Asia) 18 Other Global Human Rights Issues.</p>
教科書	<p>(Textbooks) Global Topics for Advanced Students Koji Nakamura (Seikyo) 2008 中村耕二 その他BBC World News, CNN International News, CBS News等を使用する。</p>
参考書・資料	<p>英語でグローバルな問題や日本の文化に関する自分の意見を書いたり、発表することに慣れていない人は、以下の本を参考にしてください。著者をはじめ、甲南大学の先輩達のお手本や、プロセスを追って英語のエッセイやスピーチ原稿を書く手順や手法が学べます。</p> <p>グローバル時代の英語教育 Content-based Process Writing for Oral Presentation 英宝社 中村耕二著 ([333 頁])。 CNN International News BBC World News Great Speeches</p>
講義関連事項	<p>Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>グローバルな問題、英語でのプレゼンテーション、ディスカッション、などに関心のある学生、インターネットや情報コンテンツを用いてのプレゼンテーションに関心のある学生、留学を目指す学生、留学後の英語力維持を考える学生も歓迎する。講義はすべて英語。</p>
その他	<p>英語で自分の考えを表現する技能を伸ばしたい学生はもちろんのこと、将来留学を希望する者、また、留学後</p>

	のスピーチ・コミュニケーション能力を維持したい者、EBA留学後の諸君も歓迎する。英語のコミュニケーション能力は問わない、向上心のある諸君を歓迎する。学習者中心で受講者の自己表現、存在感を保障する授業を目指す。
ホームページタイトル	{KOJI Nakamura Online Desk,http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~koji/} {Global Literacy for EIL Education,http://ehlt.flinders.edu.au/education/iej/articles/v3n5/6nakam}
URL	http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~koji/

授業コード	M1871		
授業科目名	上級英語グローバル・トピックスI(留P 文経)(後)		
担当者名	マック(マック トーマス M.)		
配当年次	2年次	単位数	2
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜5限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity
講義方法	Usually, new topics will be introduced with a reading, short lecture or video. Students will then do various activities that are connected with that topic. Emphasis will be placed on explaining, discussing and debating your ideas and opinions. Students choose some of the topics we discuss and give short oral presentations about them. They also prepare a final project on a topic of their own choice. Students will also receive guidance on improving their English skills, with special emphasis on increasing vocabulary, improving note-taking skills, and learning how to organize oral presentations and short research papers.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	30% Essays and mini-speeches 30% Final project 20% Participation 20% Final exam
講義構成	Weeks 1-3 Globalization – pros and cons Week 4 Lifestyles – fast and slow Weeks 5-6 Food and water Weeks 7-8 Families around the world Weeks 9-10 Global trade and consumerism Week 11 Lifestyles – urban and rural Week 12 Travel – impact on culture Week 13 Happiness around the world Week 14 Final presentations FINAL EXAM (This is the schedule for Global Topics I and II combined. Some changes to the schedule are likely as the

	teacher becomes familiar with student abilities and interests.)
教科書	No textbook. Materials are provided by the teacher.
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
その他	NOTE: Students in the KPP (留P) are expected to take both Global Topics I and Global Topics II at the same time. If you wish to take only one of them, you should consult with the teacher first.
ホームページタイトル	Mach's Website
URL	http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~mach/

授業コード	M1881		
授業科目名	上級英語グローバル・トピックスI (留P 法営)(後)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2年次	単位数	2
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜1限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity
講義方法	We will watch a video about different countries throughout the semester and learn about the lives, cultures, and people around the world. Students will be required to do a research, discussion, and presentation.
準備学習	Make sure you do all the homework and research assigned by the instructor.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Quizzes 30% Assignment/ Presentation 50%
講義構成	Class 1 Independent study Class 2. Introduction Class 3. 4 Japan Class 5. 6 France Class 7. 8. 9 Country 1 Class 10. 11. 12 Country 2 Class 13. 14. 15 Country 3 Class 16 Review Class 17. 18. 19 Country 4 Class 20. 21. 22 Country 5 Class 23.24. 25 Country 6 Class 26. 27 Presentation Class 28 Quiz
教科書	To be announced
参考書・資料	N/A

講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--------	---

授業コード	M1901		
授業科目名	上級英語グローバル・トピックスII (1クラス)(後)		
担当者名	マック(マック トーマス M.)		
配当年次	3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜3限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity 		
講義方法	<p>Usually, new topics will be introduced with a reading, short lecture or video. Students will then do various activities that are connected with that topic. Emphasis will be placed on explaining, discussing and debating your ideas and opinions.</p> <p>Students choose some of the topics we discuss and give short oral presentations about them. They also prepare a final project on a topic of their own choice.</p> <p>Students will also receive guidance on improving their English skills, with special emphasis on increasing vocabulary, improving note-taking skills, and learning how to organize oral presentations and short research papers.</p>		
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.		
成績評価	<p>30% Essays and mini-speeches</p> <p>30% Final project</p> <p>20% Participation</p> <p>20% Final exam</p>		
講義構成	<p>Week 1 Review of spring topics</p> <p>Weeks 2-4 Global trade and consumerism</p> <p>Weeks 5-7 Lifestyles – urban and rural</p> <p>Weeks 8-10 Travel – impact on culture</p> <p>Weeks 11-13 Happiness around the world</p> <p>Week 14 Final presentations</p> <p>FINAL EXAM</p> <p>(Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.)</p>		
教科書	No textbook. Materials are provided by the teacher.		
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.		
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As teacher,		

	I can provide materials, but you yourself must provide true effort and curiosity for real learning to happen.
ホームページタイトル	Mach's Website
URL	http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~mach

授業コード	M1902		
授業科目名	上級英語グローバル・トピックスⅡ(2クラス)(後)		
担当者名	中村耕二(ナカムラ コウジ)		
配当年次	3・4年次	単位数	2
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日5限 Office (6612)		

講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity
講義方法	(Classroom Procedure) 講義における使用言語は英語とする。国際語としての英語によるプレゼンテーション能力を高め、国際対話能力に必要な背景知識も深める。毎回グローバル・スタディや平和教育、地球市民教育の基本的な理論と方略について、学習者中心で双方向の質疑応答等のプロセスを重視しながら講義する。講義の後半では学生が実際に各テーマについて調査研究した内容を英語で発表し、皆で討議する。テーマによってはディスカッションや、ディベートに発展させる場合もある。国際英語によるプレゼンテーション能力は社会人として、また、地球市民としても一生の財産である。
準備学習	テーマ別のグローバルな問題や日本文化について、各自、インターネットや図書館で調べ、テーマに関する基本的な背景知識を持って講義に参加すること。 新聞の社説や国際問題をよく読んで、自分の考え意見も整理しておくこと。
成績評価	(Evaluation) 出席、口頭発表、授業への参加を重視する。 Class participation (30%) Oral Presentation (40%) Reserach Papaer (30%)
講義構成	上級英語グローバル・トピックスⅠ(前)上級英語グローバル・トピックスⅡ(後)は関連しているので継続履修が望ましい。 英語のプレゼンテーションの技能を高め、グローバルな問題の背景知識も深める。 各テーマで自分が調査した内容を発表 ① オーラルプレゼンテーション Organization (Impressive Introduction, Body and Graceful Conclusion) Persuasive Speech (Logical Reasoning with valid Evidence, Emotional Appeal) ② Problem Solving Discussion: 問題解決のための民主的なディスカッション Democratic Discussion for Problem Solving (John Dewey's Five Steps of Reflective Thinking) ③ Debate: 意見が別れる論題に関して、賛成派、反対派に別れて、聴衆を説得させるためのディベート (Lincoln-Douglas Debate) Debate (Proposition, Constructive Speeches, Refutation and Rebuttal) The Topics 1 Globalization and Localization, 2 North-South Problems

	<p>3 Global Poverty and Child Labor 4 NGO and Partnership 5 Sustainable Development (Environment) 6, Asia-Pacific War, 7 Hiroshima, Nagasaki and Okinawa 8 Love, Charity and Philanthropy 9 The Pleasure of Haiku: Haiku Moment and Haiku Awareness 10 Japanese Sense of Beauty 11 Japan and Japanese Soft Power 12 Comparative Education and educational values 13 Consistency and changes of Japanese society and culture 14 Cultural and National Identities and European Citizenships 15 The differences between USA and UK 16 Peace Education, What is peace? What is Violence? 17 Japan's Roles in Asia. (How to relate with China, Korea and South East Asia) 18 Other Global Human Rights Issues.</p>
教科書	<p>(Textbooks) Global Topics for Advanced Students Koji Nakamura (Seikyo) 2008 中村耕二 その他BBC World News, CNN International News, CBS News等を使用する。</p>
参考書・資料	<p>推薦図書 『グローバル時代の英語教育-Content-based Process Writing for Oral Presentation』 2007 中村耕二 英宝社</p> <p>CNN International News BBC World News Great Speeches BBC World News, CNN News</p> <p>英語でグローバルな問題や日本の文化に関する自分の意見を書いたり、発表することに慣れていない人は、上記の本を参考にしてください。著者をはじめ、甲南大学の先輩達のお手本や、プロセスを追って英語のエッセイやスピーチ原稿を書く手順や手法が学べます。</p> <p>グローバル時代の英語教育 Content-based Process Writing for Oral Presentation 英宝社 中村耕二著 ([333 頁])</p>
講義関連事項	<p>Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>グローバルな問題、英語でのプレゼンテーション、ディスカッション、などに関心のある学生、インターネットや情報コンテンツを用いたプレゼンテーションに関心のある学生、留学を目指す学生、留学後の英語力維持を考える学生も歓迎する。講義はすべて英語。</p>
その他	<p>英語で自分の考えを表現する技能を伸ばしたい学生はもちろんのこと、将来留学を希望する者、また、留学後のスピーチ・コミュニケーション能力を維持したい者、EBA留学後の諸君も歓迎する。英語のコミュニケーション能力は問わない、向上心のある諸君を歓迎する。学習者中心で受講者の自己表現、存在感を保障する授業を目指す。</p>
ホームページタイトル	<p>{KOJI Nakamura Online Desk, http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~koji/} {Global Literacy for EIL Education, http://ehlt.flinders.edu.au/education/iej/articles/v3n5/6nakam}</p>
URL	<p>http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~koji/</p>

授業コード	M1971		
授業科目名	上級英語グローバル・トピックスII (留P 文経)(後)		
担当者名	マック(マック トーマス M.)		
配当年次	2年次	単位数	2
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	金曜3限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity
講義方法	Usually, new topics will be introduced with a reading, short lecture or video. Students will then do various activities that are connected with that topic. Emphasis will be placed on explaining, discussing and debating your ideas and opinions. Students choose some of the topics we discuss and give short oral presentations about them. They also prepare a final project on a topic of their own choice. Students will also receive guidance on improving their English skills, with special emphasis on increasing vocabulary, improving note-taking skills, and learning how to organize oral presentations and short research papers.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	30% Essays and mini-speeches 30% Final project 20% Participation 20% Final exam
講義構成	Weeks 1-3 Globalization – pros and cons Week 4 Lifestyles – fast and slow Weeks 5-6 Food and water Weeks 7-8 Families around the world Weeks 9-10 Global trade and consumerism Week 11 Lifestyles – urban and rural Week 12 Travel – impact on culture Week 13 Happiness around the world Week 14 Final presentations FINAL EXAM (This is the schedule for Global Topics I and II combined. Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.)
教科書	No textbook. Materials are provided by the teacher.
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
その他	NOTE: Students in the KPP (留P) are expected to take both Global Topics I and Global Topics II at the same time. If you wish to take only one of them, you should consult with the teacher first.
ホームページタイトル	Mach's Website
URL	http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~mach/

授業コード	M1981
-------	-------

授業科目名	上級英語グローバル・トピックスII (留P 法営)(後)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2年次	単位数	2
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜3限
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This integrated skills class aims to improve overall language proficiency and places a special emphasis on the micro-skills associated with English for General Academic Purposes.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • examine and think critically about a specific topic or topics related to cross-cultural awareness and understanding • improve the speaking skills needed for making oral presentations and participating in discussions • practice the writing skills needed for taking notes, summarizing reading passages, and producing research papers • refine the listening skills needed to identify the main ideas and supporting details of short lectures and presentations • practice the reading skills needed to understand major arguments and supporting details in texts of varying lengths and levels of complexity
講義方法	We will watch a video about different countries throughout the semester and learn about the lives, cultures, and people around the world. Students will be required to do a research, discussion, and
準備学習	Make sure you do all the homework and research assigned by the instructor.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Quizzes 30% Assignment/ Presentation 50%
講義構成	Class 1 Independent study Class 2. Introduction Class 3. 4 Japan Class 5. 6 France Class 7. 8. 9 Country 1 Class 10. 11. 12 Country 2 Class 13. 14. 15 Country 3 Class 16 Review Class 17. 18. 19 Country 4 Class 20. 21. 22 Country 5 Class 23.24. 25 Country 6 Class 26. 27 Presentation Class 28 Quiz
教科書	To be announced
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

授業コード	M1101		
授業科目名	上級英語スピーチ・コミュニケーション		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the intermediate level, but more emphasis is placed on topics of social and global interest and on developing discussion and debating skills.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • review and refine presentation skills (e.g. logical organization, supporting an argument, using audiovisual materials) • prepare various types of speeches about issues of social and global interest • give a mixture of planned, semi-planned and unplanned speeches • develop their critical thinking and active listening skills • carry out research and present their findings in class • participate in extended discussions and debates • learn new vocabulary and useful expressions • refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of personal interest)
講義方法	Each class is organized around group work and discussion. During each class you will work with others to manage extended discussions on socio-political topics and to build topic-related speech presentations. Through peer-review and group work, you will help each other develop, revise, practice and give various speech presentations.
準備学習	Complete research and speech presentation preparation homework
成績評価	Participation 30% Homework 30% Speech presentations 40%
講義構成	Class 1 Independent study, registration Classes 2, 3 Course introduction; Meaningful possession Classes 4, 5 Group discussion: troubleshooting and practice Classes 6, 7 Trends in Japan: Discussion, Internet research Classes 8 – 11 Trends in Japan: Survey speech presentation Classes 12, 13 Gender issues: Discussion, Internet research Classes 14 – 17 Gender issues: Informative speech presentation Classes 15, 16 Technology: Discussion, Internet research Classes 17 – 20 Technology: Persuasive speech presentation Classes 21, 22 Education: Discussion, Internet research Classes 23 – 27 Education: Problem-solution speech pres. Class 28 Course wrap-up
教科書	No textbook. All course materials will be provided by the teacher.
参考書・資料	A4 file, binder, or folder for course handouts
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

担当者から一言	This course requires input, participation, cooperation, and commitment from all students.
---------	---

授業コード	M1171		
授業科目名	上級英語スピーチ・コミュニケーション(留P 文経)(後)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	2年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜1限 水曜4限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the intermediate level, but more emphasis is placed on topics of social and global interest and on developing discussion and debating skills.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • review and refine presentation skills (e.g. logical organization, supporting an argument, using audiovisual materials)

	<ul style="list-style-type: none"> • prepare various types of speeches about issues of social and global interest • give a mixture of planned, semi-planned and unplanned speeches • develop their critical thinking and active listening skills • carry out research and present their findings in class • participate in extended discussions and debates • learn new vocabulary and useful expressions • refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of personal interest) 																								
講義方法	Each class is organized around group work and discussion. During each class you will work with others to manage extended discussions on socio-political topics and to build topic-related speech presentations. Through peer-review and group work, you will help each other develop, revise, practice and give various speech presentations.																								
準備学習	Complete research and speech presentation preparation homework																								
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Speech presentations</td> <td>40%</td> </tr> </table>	Participation	30%	Homework	30%	Speech presentations	40%																		
Participation	30%																								
Homework	30%																								
Speech presentations	40%																								
講義構成	<table> <tr> <td>Class 1</td> <td>Course introduction</td> </tr> <tr> <td>Classes 2, 3</td> <td>Meaningful possession</td> </tr> <tr> <td>Classes 4, 5</td> <td>Group discussion: troubleshooting and practice</td> </tr> <tr> <td>Classes 6, 7</td> <td>Trends in Japan: Discussion, Internet research</td> </tr> <tr> <td>Classes 8 – 11</td> <td>Trends in Japan: Survey speech presentation</td> </tr> <tr> <td>Classes 12, 13</td> <td>Gender issues: Discussion, Internet research</td> </tr> <tr> <td>Classes 14 – 17</td> <td>Gender issues: Informative speech presentation</td> </tr> <tr> <td>Classes 15, 16</td> <td>Technology: Discussion, Internet research</td> </tr> <tr> <td>Classes 17 – 20</td> <td>Technology: Persuasive speech presentation</td> </tr> <tr> <td>Classes 21, 22</td> <td>Education: Discussion, Internet research</td> </tr> <tr> <td>Classes 23 – 27</td> <td>Education: Problem-solution speech pres.</td> </tr> <tr> <td>Class 28</td> <td>Course wrap-up</td> </tr> </table>	Class 1	Course introduction	Classes 2, 3	Meaningful possession	Classes 4, 5	Group discussion: troubleshooting and practice	Classes 6, 7	Trends in Japan: Discussion, Internet research	Classes 8 – 11	Trends in Japan: Survey speech presentation	Classes 12, 13	Gender issues: Discussion, Internet research	Classes 14 – 17	Gender issues: Informative speech presentation	Classes 15, 16	Technology: Discussion, Internet research	Classes 17 – 20	Technology: Persuasive speech presentation	Classes 21, 22	Education: Discussion, Internet research	Classes 23 – 27	Education: Problem-solution speech pres.	Class 28	Course wrap-up
Class 1	Course introduction																								
Classes 2, 3	Meaningful possession																								
Classes 4, 5	Group discussion: troubleshooting and practice																								
Classes 6, 7	Trends in Japan: Discussion, Internet research																								
Classes 8 – 11	Trends in Japan: Survey speech presentation																								
Classes 12, 13	Gender issues: Discussion, Internet research																								
Classes 14 – 17	Gender issues: Informative speech presentation																								
Classes 15, 16	Technology: Discussion, Internet research																								
Classes 17 – 20	Technology: Persuasive speech presentation																								
Classes 21, 22	Education: Discussion, Internet research																								
Classes 23 – 27	Education: Problem-solution speech pres.																								
Class 28	Course wrap-up																								
教科書	No textbook. All course materials will be provided by the teacher.																								
参考書・資料	A4 file, binder, or folder for course handouts																								
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																								

担当者から一言	This course requires input, participation, cooperation, and commitment from all students.
---------	---

授業コード	M1181		
授業科目名	上級英語スピーチ・コミュニケーション (留P 法営)(後)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	2年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	木曜2限 土曜1限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the intermediate level, but more emphasis is placed on topics of social and global interest and on developing discussion and debating skills.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • review and refine presentation skills (e.g. logical organization, supporting an argument, using audiovisual materials) • prepare various types of speeches about issues of social and global interest • give a mixture of planned, semi-planned and unplanned speeches • develop their critical thinking and active listening skills • carry out research and present their findings in class • participate in extended discussions and debates • learn new vocabulary and useful expressions

	<ul style="list-style-type: none"> refine skills for becoming successful, independent language learners (for example, taking notes, using the Internet and other materials, and researching topics of personal interest) 						
講義方法	<p>The activities that you do in class are intended to help guide you through the steps involved in planning, writing, and delivering effective presentations. Some of these activities are done individually or in pairs while others are done in small or large groups.</p> <p>The speaking, listening, and discussion activities you will practice will introduce important concepts and strategies for writing speeches. They will also introduce important functional language, useful sentence patterns and key vocabulary you will need to successfully complete each speech assignment.</p> <p>In addition to giving speeches you will be expected to be an active member of the audience and work on improving your ability to take notes and ask the speaker follow-up questions.</p>						
準備学習	Students are expected to be active participants in class. They should come to class prepared and ready to make the best use of their time in class. All students are expected to keep their handouts well-organized and available for use in class.						
成績評価	<table> <tr> <td>Participation and effort</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>In-class presentations</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>Note-taking and audience participation</td> <td>10%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the term will not receive credit for this course.)</p>	Participation and effort	30%	In-class presentations	60%	Note-taking and audience participation	10%
Participation and effort	30%						
In-class presentations	60%						
Note-taking and audience participation	10%						
講義構成	<p>Composition of Classes Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Fall Term</p> <p>Class 1 Course Introduction Class 2 Speech 1 'Classmate introductions' Class 3 to 7 Speech 2 'A meaningful object' Classes 8 to 12 Speech 3 'You're the expert!' Classes 13 to 17 Speech 4 'Survey presentation' Classes 18 to 22 Speech 5 'In my opinion' Classes 23 to 28 Speech 6 'An important problem'</p>						
教科書	There is no textbook for this course. Instead you will receive regular handouts from your teacher.						
参考書・資料	Please bring a dictionary to every class. You should also bring an A4-size clear file in which to keep your handouts neatly organized.						
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.						
担当者から一言	This course can be demanding due to the amount of preparation required for each speech. As your teacher, I will do everything I can to help you. However, how well you do in this class will depend on how seriously you apply yourself. Good luck in this demanding but rewarding class!						

授業コード	M1700		
授業科目名	上級英語通訳		
担当者名	榎本恭弘(エノモト ヤスヒロ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This class introduces students to the theory of interpreting while giving them practical advice and regular practice in interpreting spoken texts about a variety of topics, especially those related to current events.
到達目標	In this class, students will:

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ learn the listening strategies necessary for interpreting spoken texts ◆ practice identifying the main points and important details of spoken texts ◆ learn how to express the content of spoken messages clearly and briefly ◆ build vocabulary related to topics of current interest ◆ increase their ability to concentrate ◆ increase their knowledge about Japanese and English-speaking cultures
講義方法	授業では発言内容を簡潔にまとめる練習に重点を置く。時事英語の語彙力の強化、聞き取り能力の鍛錬、日本と西洋の文化面における知識量の増加、スピーチの論旨を追う訓練、同時リポート・逐次リポートの練習、センテンス逐次通訳・センテンス同時通訳の練習などを中心として講義を進める。
準備学習	テキストの『日本の事象英文説明300選』は事前に毎回2ページ分の英文項目に目を通しておくこと。
成績評価	<p>(1)テキストの予習 10%</p> <p>(2)授業への参加度 10%</p> <p>(3)課題発表 10%</p> <p>(4)毎回クラスで行なう小テストの平均点 10%</p> <p>(5)期末試験結果 60%</p>
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 オリエンテーション</p> <p>第3回 COMMUNICATION(1)</p> <p>第4回 COMMUNICATION(2)</p> <p>第5回 SIGHT-SEEING(1)</p> <p>第6回 SIGHT-SEEING(2)</p> <p>第7回 SIGHT-SEEING(3)</p> <p>第8回 SOCIAL ISSUES(1)</p> <p>第9回 SOCIAL ISSUES(2)</p> <p>第10回 SOCIAL ISSUES(3)</p> <p>第11回 POLITICS(1)</p> <p>第12回 POLITICS(2)</p> <p>第13回 BUSINESS AND ECONOMY</p> <p>第14回 RELIGION</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 SPORTS</p> <p>第17回 HISTORY</p> <p>第18回 GEOGRAPHY AND HISTORY</p> <p>第19回 SIGHTSEEING</p> <p>第20回 CUISINE</p> <p>第21回 THEATRICAL ARTS AND MUSIC</p> <p>第22回 ARTS AND CRAFTS</p> <p>第23回 SPORTS AND GAMES</p> <p>第24回 RELIGION</p> <p>第25回 CULTURAL EVENTS AND HOLIDAYS</p> <p>第26回 LIFESTYLE</p> <p>第27回 EDUCATION</p> <p>第28回 BUSINESS</p> <p>第29回 ABOUT THE JAPANESE</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	<p>『通訳トレーニングコース 改訂三版』 水野真木子 (大阪教育図書) 2,600円</p> <p>『日本の事象英文説明300選』 植山源一郎 (ハローインターナショナル) 1,000円</p>
参考書・資料	『はじめてのウイスパリング同時通訳』 柴田バネッサ清美 (南雲堂) 2,400円
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources ◆ they are free! More information will be provided in class.

授業コード	M1300		
授業科目名	上級英語TOEFL		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(金曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Advanced TOEFL course is intended for students who are familiar with the TOEFL exam and wish to increase their score to at least 550 (213 CBT).
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> •refine their knowledge about what kinds of questions to expect on the exam •improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, reading, vocabulary, and writing •regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, reading, vocabulary, and writing) •regularly take practice TOEFL tests •review the mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes •improve the ability to use their time effectively and efficiently
講義方法	Internet-based TOEFL形式に慣れ、総合的な英語力をつけるために、リスニング・リーディング・スピーキング・エッセイライティングの各セクションを講義・指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・以下は毎回行う Listening 英語を母国語とする話者による口語英語を聞き取る Reading パッセージを読み、説問に答える ・以下は順番に行う Speaking アメリカの大学での授業を想定し、自分の意見や講義の内容のまとめを述べる Essay Writing 与えられた主題に対する自分の意見を論理的に書く
準備学習	Reading Sectionのパッセージは毎回課題として出し、成績の一部とする。
成績評価	10% 出席 30% 課題(リーディングは毎回、スピーキングとエッセイライティングは適宜) 20% スピーキング(原稿提出と授業内の発表) 20% エッセイライティング(下書きと原稿提出) 20% テスト(pop quiz<予告なしの小テスト>を含む)
講義構成	[予定] * 一問の英文がそれぞれ長いので、予定通りに進まないことがあります * 第 1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント 第 3回 Reading Diagnostic Pre-Test Questions 1-10 Listening Diagnostic Pre-Test Questions 1-6 Speaking Diagnostic Pre-Test Questions 1-2 第 4回 Reading Diagnostic Pre-Test Questions 11-20 Listening Diagnostic Pre-Test Questions 7-12 Speaking Diagnostic Pre-Test Question 3 解説 第 5回 Reading Exercise 1 Passages One and Two Listening Exercise 1 Passage One Speaking Diagnostic Pre-Test Question 3 実践 第 6回 Reading Exercise 1 Passages Three and Four Listening Exercise 1 Passage Two Speaking Diagnostic Pre-Test Question 6 解説・実践 第 7回 Reading Exercise 2 Passages One and Two Listening Exercise 1 Passage Three Writing Diagnostic Pre-Test Question 1 解説 第 8回 Reading Exercise 2 Passages Three and Four

	<p>Listening Exercise 2 Passage Four Writing Diagnostic Pre-Test Question 1 実践</p> <p>第 9回 Reading Exercise (Skills 1-2) Listening Exercise 2 Passage One Writing Diagnostic Pre-Test Question 2 (Essay Writingの解説・準備)</p> <p>第10回 Reading Exercise 3 Passages One and Two Listening Exercise 2 Passage Two Writing Diagnostic Pre-Test Question 2 (Essay Writingの解説・準備・提出)</p> <p>第 3回から第10回の流れで続けていく</p>
教科書	<p>Longman Preparation Course for The TOEFL Internet-based Test 著者: Deborah Phillips 出版社: Longman</p>
講義関連事項	<p>Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>Internet-based TOEFLでは、日本人が苦手な論理的に話すこと・書くことが要求されます。この授業ではかなりの勉強量が必要になると思います。それを分かった上で登録して下さい。</p>

授業コード	M0700		
授業科目名	上級英語翻訳		
担当者名	伊庭 緑(イバ ミドリ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日および木曜日の昼休み その他の時間でも適宜応じます。一度内線5742で確認してください。研究室は6号館6階6610です。		

講義の内容	<p>This class aims to enable students to translate English into Japanese smoothly, accurately, and appropriately. 単に英語を日本語に直訳するのではなく、両言語の文法構造の違い、ことばの意味の差、contextの中での意味、文化的な背景などを考慮しながら英語を自然な日本語の訳すのがこのクラスの目的です。</p> <p>上級英語とはいうものの中級英語には翻訳のクラスが開講されていないので、まず前期は基礎的な問題を網羅しているテキストを中心に扱います。後期はビジネス文書、時事英語、文学作品、英語字幕などさまざまな種類の文章を扱う予定です。</p>
到達目標	<p>In this class, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ improve their ability to identify the main ideas and most important information in an English passage ◆ practice avoiding direct translation by translating the main ideas and most important information in the text instead ◆ learn to identify what should be left out or added to the original text when translating it into Japanese ◆ learn some of the common mistakes that are made in translation ◆ refine their knowledge of grammatical differences between Japanese and English ◆ become more familiar with the similarities and differences in the rhetorical styles and logical development of English and Japanese ◆ increase their vocabulary and knowledge of idiomatic language
講義方法	<p>前期はテキストに即して授業を行うのでテキストの問題文や、それ以外にも各自が翻訳した課題文をPCの画面やOHCを使ってクラスで提示し、公開添削、解説を行います。後期も基本的な授業のスタイルは変わりませんが、テキストを離れて上述したようなさまざまなジャンルの英語を翻訳していきます。</p>
準備学習	<p>ほぼ毎回翻訳の課題が出ますからそれをこなしてください。前期はテキストの次に進むUnitの予習をしてください。詳しくは開講時に説明します。</p>
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 課題 70% - 定期試験 20% - 授業への参加態度 10%

	(無断欠席が多い場合や欠席が授業回数全体の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。)
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、不測の事態により変更の可能性もあります。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 CASEC受験(2010年4月6~12日)のため自主学习 第2回 Guidance/Unit 1 4/14 第3回 Unit 1 主語を訳す場合と訳さない場合 4/21 第4回 Unit 2 主語でない代名詞の訳し方 4/28 第5回 Unit 3 関係代名詞のある文 5/12 第6回 Unit 4 無生物主語の文 5/19 第7回 Unit 5 受動態 5/26 第8回 Unit 6 比較の文 6/2 第9回 Unit 7 仮定法の文 6/9 第10回 Unit 8 強調文 6/16 第11回 Unit 9 時制 6/23 第12回 Unit10 語法 6/30 第13回 Unit11 UntilとBefore 7/7 第14回 Unit12 気をつけたい語Will, Some 7/14 第15回 定期試験 7/21</p> <p>(後期)</p> <p>第1回 Business (1) 第2回 Business (2) 第3回 Business (3) 第4回 Current topics (1) 第5回 Current topics (2) 第6回 Current topics (3) 第7回 Fiction (1) 第8回 Fiction (2) 第9回 Fiction (3) 第10回 Fiction (4) 第11回 Movie (1) 第12回 Movie (2) 第13回 Movie (3) 第14回 Movie (4) 第15回 定期試験</p>
教科書	「翻訳の基礎練習帳一訳し方のコツ」五十嵐昭人著 南雲堂フェニックス
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources — they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	<p>実際に文章を訳していくといかに翻訳が難しいかわかりますが、みなさんが楽しみながら授業に取り組めるようにしたいと思います。みなさんの課題は添削して返却しますので、一年間続けるとかなりの力がつくでしょう。</p> <p>またこのコースは日本の大学の大学院受験を考えている人の対策にもなります。受験科目に英語がある場合、英文和訳や要約がよく出題されるからです。</p> <p>ただ毎週のように課題があるので、翻訳が好きな人、継続する忍耐力のある人が望ましいですね。</p>

授業コード	M1601		
授業科目名	上級英語ライティング(1クラス)		
担当者名	カーク(カーク スタンレー)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday and Wednesday: 12:15-12:50		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the intermediate level. Topics will be of greater complexity and sophistication, and emphasis will be placed on refining the writing skills required for academic writing, including the ability to write short research papers.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ▪ refine their ability to plan, write, and revise essays ▪ improve the grammatical accuracy of their writing ▪ regularly read and analyze samples of various kinds of texts ▪ produce a variety of text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) and a variety of written genres, especially those associated with writing in an academic setting (e.g. summaries, in-class essays, take-home essays) ▪ regularly present oral summaries of their writing ▪ learn the basics of research paper writing and write at least one short research paper ▪ work with classmates to develop and discuss writing topics ▪ evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing ▪ revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	In the lessons for this course we will emphasize the process of good writing and a cooperative approach to improving our writing skills. To this end, we will spend some time in each class sharing and discussing about our writing (in pairs and small groups) at each stage of the writing process. There will also be regular error correction exercises and peer checks of each other's essays.
準備学習	As this is an advanced level writing course, there will be quite a lot of homework. Therefore, if you take this class you should plan on making time for your writing homework each week. Each class will also have some speaking activity based on the homework, so it is very important to finish the homework on time and to prepare to talk about it with your classmates in the following class.
成績評価	1. Regular assignments and quizzes: 80% 2. Attitude, effort, and participation in class activities: 20%
講義構成	Some changes to the schedule are likely, depending on student needs and interests. SPRING Class 1 Placement and registration week Class 2 Review of paragraph writing process and terminology Class 3 Review of essay writing process and terminology Class 4 Quiz on paragraph and essay writing process and terminology Class 5 Kansai Tour Guide activity Class 6 Process Essay: Introduction Class 7 Process Essay: Peer check and discussion of first draft, in-class editing Class 8 Process Essay: Error correction and editing of second draft. Class 9 Cause and Effect Essay: Introduction Class 10 Cause and Effect Essay: Peer check, discussion of 1st draft, editing Class 11 Cause and Effect Essay: Error correction, editing 2nd draft Class 12 Comparison and Contrast Essay: Introduction Class 13 Comparison and Contrast Essay: Peer check, discussion of 1st draft, editing Class 14 Comparison and Contrast Essay: Error correction, editing 2nd draft AUTUMN Class 1 Reflection on first semester, discussion and revision of goals Class 2 Problem-Solution Essay: Introduction Class 3 Problem Solution Essay: Peer check and discussion of first draft, in-class editing Class 4 Problem Solution Essay: Error correction and editing of second draft. Class 5 Classification Essay: Introduction Class 6 Classification Essay: Peer check, discussion of 1st draft, editing Class 7 Classification Essay: Error correction, editing 2nd draft Class 8 Research Paper: Introduction Class 9 Research Paper: Research Class 10 Research Paper: Organization Class 11 Research Paper: Peer check, discussion of 1st draft, editing Class 12 Research Paper: Error correction, editing of 2nd draft Class 13 Research Paper: final conferencing/editing of final draft Class 14 Review and reflection on 2nd semester, discussion of progress toward goals
教科書	Ready to Write More: From Paragraph to Essay
参考書・資料	Please bring your dictionary to class.

講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	This is an advanced level class for students who wish to work hard to improve their writing. Therefore it will have more homework than most other classes. You should take this course only if you are ready to give a lot of effort and have enough time to do the homework each week. Also, it is strongly recommended that you complete the intermediate writing course before taking this course.

授業コード	M1602		
授業科目名	上級英語ライティング (2クラス)		
担当者名	クック(クック ルイーズ ジェニファー)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the intermediate level. Topics will be of greater complexity and sophistication, and emphasis will be placed on refining the writing skills required for academic writing, including the ability to write short research papers.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • refine their ability to plan, write, and revise essays • improve the grammatical accuracy of their writing • regularly read and analyze samples of various kinds of texts • produce a variety of text types (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) and a variety of written genres, especially those associated with writing in an academic setting (e.g. summaries, in-class essays, take-home essays) • regularly present oral summaries of their writing • learn the basics of research paper writing and write at least one short research paper • work with classmates to develop and discuss writing topics • evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	At the beginning of every class, students will spend 10 minutes doing free writing in order to develop speed and confidence in writing English. (Such free writing will also serve as an `idea bank` for students' essays.) After this, we will do vocabulary or grammar activities appropriate for the essay style we are working on. In class, too, we will plan, write, and revise our essays, working closely with classmates to peer-review, edit, and proofread. Throughout the year, there will be occasional quizzes to test for acquisition of new vocabulary and/or grammar rules.
準備学習	This class will have a significant reading component, which will usually be set as homework (along with related comprehension questions or vocabulary activities). However, most homework assignments will involve writing essay drafts (from first draft to final draft). In class, we help each other to edit and revise these drafts prior to turning in the final draft for assessment.
成績評価	Written assignments: 50% Homeworkquizzes: 20% Class participation: 20% Attendance: 10%
講義構成	Spring Semester (The following timetable may change according to the needs of the students.) Class 1: Independent study Class 2: Course introduction/explanation Classes 3: Unit 1, Chapter 1, `Color Me Pink`,` Class 4 & 5: Writing an essay: topic, supporting and concluding sentences Class 6: Unit 1, Chapter 2, `And the Lucky Number is...`,` writing an essay outline Classes 7 & 8: Parts of an essay: introduction, body, conclusion; thesis statements Class 9: Unit 2, Chapter 3, `An American Holiday, Hawaiian Style`,` describing a celebration Classes 10 & 11, Describing a sequence of events: chronological order; time order words

	<p>Class 12: Unit 2, Chapter 4, `Hop to it!`, writing about a local custom or event Class 13 & 14: Writing conclusions/workshop</p> <p>Winter Semester (The following timetable may change according to the needs of the students.)</p> <p>Class 1: Review Class 2: Unit 3, Chapter 1, `Bumps and Personalities`, writing about someone`s personality Classes 3 & 4: The example essay / deep-level support and development Class 5: Unit 3, Chapter 6, `The Many Faces of Medicine`, writing about health problems and remedies Classes 7 & 8: The example essay (2) Class 9: Unit 4, Chapter 7, `The Shakers`, describing people Classes 10 & 11: The descriptive essay: dominant impressions Class 12: Unit 4, Chapter 8, `George Washington Carver`, writing about someone`s life story Classes 13 & 14: The narrative essay: description with narrative Class 15: Review and feedback</p>
教科書	<p>Weaving it Together 3</p> <p>Author: Milada Breukal Publisher: Thomson Heinle</p>
参考書・資料	<p>A dictionary is recommended. Yours should allow you easily to check English words IN English (as well as the standard English-Japanese and Japanese-English functions).</p>
講義関連事項	<p>Many extra English materials are available at the Genbun Center`s Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>Absences: If you think you will be absent more than three times in one semester, please talk to the teacher before going over the limit. Where possible, please give advance notice of absence.</p> <p>Homework: Late assignments lose points, and cause the student to fall behind. Absentees should therefore contact classmates about missed homework and classwork, and complete it in time for their next class.</p>

授業コード	M1401		
授業科目名	上級英語リーディング (1クラス)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>This course continues to develop the skills learned through the intermediate level, but more emphasis is placed on helping students evaluate and express their opinions about what they have read.</p>
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of texts varying in length and difficulty • read various kinds of texts, especially expository writing (e.g. essays), but also including fiction and other text types • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of a passage • continue to practice the strategies needed for successful reading (e.g. skimming, scanning, predicting, making inferences and deductions, and using the context to understand unknown vocabulary) • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • refine their ability to evaluate a writer`s ideas, opinions, and the organization of his/her writing • refine the ability to express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion

	<ul style="list-style-type: none"> regularly lead discussions about readings 						
講義方法	The activities we spend time on in class will focus on helping you develop the skills and strategies to become a more effective reader. You will spend time reading both extensively and intensively from a variety of text types, ranging from short passages to longer texts. You will work on such skills as identifying the main idea and most important information of a passage, scanning for specific information, summarizing the main points, etc. You will also do timed reading activities to increase your reading speed and fluency. There will be many opportunities to express your opinions and reactions to what you read, both in writing and in student-led discussions.						
準備学習	You are expected to attend regularly and participate actively in class. You should come to class prepared and ready to make the best use of your time in class.						
成績評価	<table> <tr> <td>Participation and effort</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>Reading Reports</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the term will not receive credit for this course.)</p>	Participation and effort	30%	Quizzes	40%	Reading Reports	30%
Participation and effort	30%						
Quizzes	40%						
Reading Reports	30%						
講義構成	<p>Composition of Classes</p> <p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 Introductions, guided readers and timed readings</p> <p>Class 3, 4 & 5 Unit 1 'What Languages do you Speak?'</p> <p>Class 6, 7 & 8 Unit 2 'Don't Worry, Be Happy'</p> <p>Class 9, 10 & 11 Unit 3 'Home and Family'</p> <p>Class 12, 13 & 14 Unit 4 'Winning and Losing'</p> <p>Fall Term</p> <p>Class 1 Review of Units 1-4</p> <p>Class 2, 3 & 4 Unit 5 'Healing Power'</p> <p>Class 5, 6 & 7 Unit 6 'Crime'</p> <p>Class 8, 9 & 10 Unit 7 'The Universe and Beyond'</p> <p>Class 11, 12, & 13 Unit 8 'Business'</p> <p>Class 14 Review of Units 5-8</p>						
教科書	For Your Information 4 (Pearson Longman)						
参考書・資料	Please bring a dictionary to every class.						
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.						
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together and getting to know each of you. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience!						

授業コード	M1402		
授業科目名	上級英語リーディング(2クラス)		
担当者名	カーク(カーク スタンレー)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	This course continues to develop the skills learned through the intermediate level, but more emphasis is placed on helping students evaluate and express their opinions about what they have read.		

到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of texts varying in length and difficulty • read various kinds of texts, especially expository writing (e.g. essays), but also including fiction and other text types • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of a passage • continue to practice the strategies needed for successful reading (e.g. skimming, scanning, predicting, making inferences and deductions, and using the context to understand unknown vocabulary) • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • refine their ability to evaluate a writer's ideas, opinions, and the organization of his/her writing • refine the ability to express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion • regularly lead discussions about readings
講義方法	In the first several lessons we will review and practice basic reading strategies. Then the focus will gradually change to reading longer passages and discussing the content. We will also do some searching and reading of related passages on the Internet. In addition to in-class reading activities, there will be many pair and group activities in which we will discuss in English what we read.
準備学習	As there will be quite a lot of regular reading homework, make sure you plan enough time outside of class to get your homework done on time, and be prepared to talk about it in English in the following class.
成績評価	Attitude, effort and participation in class discussions: 20% Regular homework assignments, quizzes: 80%
講義構成	<p>SEMESTER 1</p> <p>Class 1 Class Orientation</p> <p>Class 2 Reaping the Rewards of Learning English</p> <p>Class 3 The Hope of Esperanto</p> <p>Class 4 Esperanto (Internet reading)</p> <p>Class 5 Instant Messaging</p> <p>Class 6 The E-Factor</p> <p>Class 7 Researching Happiness (Internet)</p> <p>Class 8 How Color Can Change Your Life</p> <p>Class 9 Effects of Color (Internet)</p> <p>Class10 Birth Order: What It Means</p> <p>Class 11 Athletes as Role Models</p> <p>Class 12 Athletes and Steroids (Internet)</p> <p>Class 13 Plant Power</p> <p>Class14 Health Plants (Internet)</p> <p>SEMESTER 2</p> <p>Class 1 Music's Surprising Power to Heal</p> <p>Class 2 Animal Therapy (Internet)</p> <p>Class3 Frogs and Human Health</p> <p>Class 4 They're Stealing Our Masterpieces</p> <p>Class 5 Art Theft (Internet)</p> <p>Class 6 Crime Lab</p> <p>Class 7 For Sale: Stolen Animals</p> <p>Class 8 Pet Boom Problems (Internet)</p> <p>Class 9 Valuable Products of Space Research</p> <p>Class 10 Destination Mars</p> <p>Class 11 Nothing But the Truth</p> <p>Class 12 Do's and Taboos</p> <p>Class 13 Free Topic Internet reading</p> <p>Class14 Free Topic Internet reading</p>
教科書	For Your Information 4: Reading and Vocabulary
参考書・資料	Be sure to bring your dictionary to class.
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	As this is an advanced level reading course, there will quite a lot of homework each week. Therefore, you

	should take this course only if you have enough time to do the homework and are ready to work hard both in class and outside of class.
--	--

授業コード	M1201		
授業科目名	上級英語リスニング (1クラス)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned through the intermediate level, using more complex and sophisticated spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.		
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • refine their ability to identify the main ideas and most important information in a variety of spoken texts • refine their ability to extract specific details from longer spoken texts • refine their ability to produce the characteristic sounds, pronunciation, intonation, and rhythm patterns of English • listen to and distinguish between a variety of Englishes 		
講義方法	You will work individually and in pairs to actively interact with a variety of listenings. Using the listening textbook, you will take part in pre- and post-listening activities including vocabulary tasks and topic-related discussions. In addition to the listening textbook, you will listen to authentic news reports, academic lectures, and music.		
準備学習	Complete unit preparation homework and self-study listening tasks.		
成績評価	Participation	30%	
	Homework	30%	
	Tests	40%	
講義構成	<p>Spring</p> <p>Class 1 Independent study, class registration</p> <p>Class 2 Course Introduction; first-day listening activities</p> <p>Class 3 Unit 1: Relationships</p> <p>Class 4 Unit 2: Identity</p> <p>Class 5 Unit 3: Advice</p> <p>Class 6 Authentic News #1</p> <p>Class 7 Unit 4: Family</p> <p>Class 8 Unit 5: Decisions</p> <p>Class 9 Academic Lecture #1</p> <p>Class 10 Unit 6: Language</p> <p>Class 11 Authentic News #2</p> <p>Class 12 Academic Lecture #2</p> <p>Class 13 Listening Test</p> <p>Class 14 End of semester listening activities</p> <p>Fall</p> <p>Class 1 Authentic News # 3</p> <p>Class 2 Unit 7: Personality</p> <p>Class 3 Unit 8: Technology</p> <p>Class 4 Unit 9: Living Situations</p> <p>Class 5 Academic Lecture #3</p> <p>Class 6 Unit 10: Survival</p> <p>Class 7 Unit 11: Work</p> <p>Class 8 Unit 12: Lifestyle</p> <p>Class 9 Authentic News #4</p> <p>Class 10 Unit 13: Travel</p> <p>Class 11 Unit 14: Finances</p> <p>Class 12 Academic Lecture #4</p> <p>Class 13 Unit 15: Changes</p>		

	Class 14 Listening Test note: music is not listed above but will be included in many classes
教科書	Harsch and Wolfe-Quintero: Impact Listening 3, Second Edition (Pearson Longman)
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Active listening and speaking participation is important for your success in this course.

授業コード	M1202		
授業科目名	上級英語リスニング (2クラス)		
担当者名	伊庭 緑(イバ ミドリ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日、および木曜日昼休み その他の時間でも適宜応じます。一度内線5742で確認してください。		

講義の内容	This course develops the skills learned through the intermediate level, using more complex and sophisticated spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • refine their ability to identify the main ideas and most important information in a variety of spoken texts • refine their ability to extract specific details from longer spoken texts • refine their ability to produce the characteristic sounds, pronunciation, intonation, and rhythm patterns of English • listen to and distinguish between a variety of Englishes
講義方法	映画を題材にしたテキストを使用し、毎回チャプターごとの映像を見た後、各自のブースに取り込んだ音声を聴き取ってワークシートに書き取っていく作業を行います。聴き取りのポイントを指摘し、各自の発音矯正も行いません。テキストのほかにも英語のニュース、歌、インタビューなども取り入れる予定です。英語らしいリズムやイントネーション、日本人に難しいとされている音の聴き取りと発音の習得に重点をおくので各自のMDまたはテープに録音した音を教室外でも聴いてくる課題をかなり出します。
準備学習	毎回録音した分を教室外でも繰り返し聞いてください。またテキストの予習の課題を出しますのでそれをこなしてください。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> - リスニング試験の成績(定期試験含) 40% - 小テストの成績 20% - 課題 20% - 授業への参加態度 20% (無断欠席が多い場合や欠席が授業回数全体の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。)
講義構成	講義の構成は以下の通りですが、不測の事態により変更の可能性もあります。 (前期) 第1回 CASEC受験(2010年4月6～12日)のため自主学習 第2回 Guidance/The Curriculum 4/14 第3回 The Curriculum 4/21 第4回 The Syllabus 4/28 第5回 The Student 5/12 第6回 The Audiovisual 5/19 第7回 The Orientation 5/26

	<p>第 8回 Listening Test 1 6/2 第 9回 The Classroom /Taking Attendance 6/9 第10回 The First Tuesday 6/16 第11回 The Second Tuesday 6/23 第12回 The Third Tuesday 6/30 第13回 The Audiovisual (II) / the Professor 7/7 第14回 The Fourth Tuesday 7/14 第15回 定期試験(Listeig Test 2) 7/21</p> <p>(後期) 第 1回 The Fifth Tuesday 第 2回 The Sixth Tuesday 第 3回 The Professor (II) 第 4回 The Seventh Tuesday 第 5回 The Eighth Tuesday 第 6回 The Ninth Tuesday 第 7回 The Tenth Tuesday 第 8回 Listening Test 3 第 9回 The Eleventh Tuesday 第10回 The Audiovisual (III) 第11回 The Twelfth Tuesday 第12回 The Thirteenth Tuesday 第13回 The Fourteenth Tuesday 第14回 Graduation/Conclusion 第15回 定期試験(Listeig Test 4)</p>
教科書	<p>テキスト名 Tuesdays with Morrie 著者 Mitch Albom 出版社 : Broadway; 10 Anv</p>
講義関連事項	<p>Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>映画を使ってリスニングの能力を養います。テキスト用に作られたものではないのでスラングもいっぱいですが、生の英語に近いと言う意味では実践的でしょう。たぶん最初はほとんど聴き取れない人もいますが、徐々に聴き取れるようになってきますから安心して下さい。今年是世界中で大評判になったMitch Albomの“Tuesdays with Morrie”をテキストを選びました。実話に基づいた心に響く映画です。テキストは洋書のペーパーバックですが、平易な英語で書かれていて読みやすいので安心して下さい。</p>
その他	<p>MDまたはカセットテープを必ず持ってきて下さい。</p>
ホームページタイトル	<p>{英語発音入門,http://http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/english/}</p>
URL	<p>http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/english/</p>

授業コード	M1203		
授業科目名	上級英語リスニング (3クラス)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	This course develops the skills learned through the intermediate level, using more complex and sophisticated spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.		
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ refine their ability to identify the main ideas and most important information in a variety of spoken texts ・ refine their ability to extract specific details from longer spoken texts 		

	<ul style="list-style-type: none"> refine their ability to produce the characteristic sounds, pronunciation, intonation, and rhythm patterns of English listen to and distinguish between a variety of Englishes 																																																								
講義方法	You will work individually and in pairs to actively interact with a variety of listenings. Using the listening textbook, you will take part in pre- and post-listening activities including vocabulary tasks and topic-related discussions. In addition to the listening textbook, you will listen to authentic news reports, academic lectures, and music.																																																								
準備学習	Complete unit preparation homework and self-study listening tasks.																																																								
成績評価	<table> <tr> <td>Participation</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Tests</td> <td>40%</td> </tr> </table>	Participation	30%	Homework	30%	Tests	40%																																																		
Participation	30%																																																								
Homework	30%																																																								
Tests	40%																																																								
講義構成	<p>Spring</p> <table> <tr> <td>Class 1</td> <td>Independent study, class registration</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Course Introduction; first-day listening activities</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Unit 1: Relationships</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Unit 2: Identity</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Unit 3: Advice</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Authentic News #1</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Unit 4: Family</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Unit 5: Decisions</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Academic Lecture #1</td> </tr> <tr> <td>Class 10</td> <td>Unit 6: Language</td> </tr> <tr> <td>Class 11</td> <td>Authentic News #2</td> </tr> <tr> <td>Class 12</td> <td>Academic Lecture #2</td> </tr> <tr> <td>Class 13</td> <td>Listening Test</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>End of semester listening activities</td> </tr> </table> <p>Fall</p> <table> <tr> <td>Class 1</td> <td>Authentic News # 3</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Unit 7: Personality</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Unit 8: Technology</td> </tr> <tr> <td>Class 4</td> <td>Unit 9: Living Situations</td> </tr> <tr> <td>Class 5</td> <td>Academic Lecture #3</td> </tr> <tr> <td>Class 6</td> <td>Unit 10: Survival</td> </tr> <tr> <td>Class 7</td> <td>Unit 11: Work</td> </tr> <tr> <td>Class 8</td> <td>Unit 12: Lifestyle</td> </tr> <tr> <td>Class 9</td> <td>Authentic News #4</td> </tr> <tr> <td>Class 10</td> <td>Unit 13: Travel</td> </tr> <tr> <td>Class 11</td> <td>Unit 14: Finances</td> </tr> <tr> <td>Class 12</td> <td>Academic Lecture #4</td> </tr> <tr> <td>Class 13</td> <td>Unit 15: Changes</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Listening Test</td> </tr> </table> <p>note: music is not listed above but will be included in many classes</p>	Class 1	Independent study, class registration	Class 2	Course Introduction; first-day listening activities	Class 3	Unit 1: Relationships	Class 4	Unit 2: Identity	Class 5	Unit 3: Advice	Class 6	Authentic News #1	Class 7	Unit 4: Family	Class 8	Unit 5: Decisions	Class 9	Academic Lecture #1	Class 10	Unit 6: Language	Class 11	Authentic News #2	Class 12	Academic Lecture #2	Class 13	Listening Test	Class 14	End of semester listening activities	Class 1	Authentic News # 3	Class 2	Unit 7: Personality	Class 3	Unit 8: Technology	Class 4	Unit 9: Living Situations	Class 5	Academic Lecture #3	Class 6	Unit 10: Survival	Class 7	Unit 11: Work	Class 8	Unit 12: Lifestyle	Class 9	Authentic News #4	Class 10	Unit 13: Travel	Class 11	Unit 14: Finances	Class 12	Academic Lecture #4	Class 13	Unit 15: Changes	Class 14	Listening Test
Class 1	Independent study, class registration																																																								
Class 2	Course Introduction; first-day listening activities																																																								
Class 3	Unit 1: Relationships																																																								
Class 4	Unit 2: Identity																																																								
Class 5	Unit 3: Advice																																																								
Class 6	Authentic News #1																																																								
Class 7	Unit 4: Family																																																								
Class 8	Unit 5: Decisions																																																								
Class 9	Academic Lecture #1																																																								
Class 10	Unit 6: Language																																																								
Class 11	Authentic News #2																																																								
Class 12	Academic Lecture #2																																																								
Class 13	Listening Test																																																								
Class 14	End of semester listening activities																																																								
Class 1	Authentic News # 3																																																								
Class 2	Unit 7: Personality																																																								
Class 3	Unit 8: Technology																																																								
Class 4	Unit 9: Living Situations																																																								
Class 5	Academic Lecture #3																																																								
Class 6	Unit 10: Survival																																																								
Class 7	Unit 11: Work																																																								
Class 8	Unit 12: Lifestyle																																																								
Class 9	Authentic News #4																																																								
Class 10	Unit 13: Travel																																																								
Class 11	Unit 14: Finances																																																								
Class 12	Academic Lecture #4																																																								
Class 13	Unit 15: Changes																																																								
Class 14	Listening Test																																																								
教科書	Harsch and Wolfe-Quintero: Impact Listening 3, Second Edition (Pearson Longman)																																																								
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts																																																								
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																																																								
担当者から一言	Active listening and speaking participation is important for your success in this course.																																																								

授業コード	M1204
授業科目名	上級英語リスニング (4クラス)
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)

配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	This course develops the skills learned through the intermediate level, using more complex and sophisticated spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.		
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ refine their ability to identify the main ideas and most important information in a variety of spoken texts ・ refine their ability to extract specific details from longer spoken texts ・ refine their ability to produce the characteristic sounds, pronunciation, intonation, and rhythm patterns of English ・ listen to and distinguish between a variety of Englishes 		
講義方法	The aim of this course is to improve your listening and speaking ability. You will be exposed to a variety of higher level audio and visual materials in this class. Working individually or with others, you will take part in pre-listening activities, general and specific listening exercises, and after-listening discussions. Regular attendance and active participation is expected from all members of the class.		
準備学習	Review the lesson from the previous week by listening to the CD in the textbook. Look up the new words in the upcoming chapter and learn the meanings in English.		
成績評価	(1)テスト50%(2)Report (15% each) 30% (4)出席点10%、 (5)授業への参加10%(上記以外の宿題を含む)		
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月日から12日) 第2回 Orientation Pre-Test 第3回 Unit 1 第4回 Unit 2 第5回 Pronunciation 1 第6回 Quiz #1 Listening Activity 第7回 Unit 3 第8回 Unit 4 第9回 Pronunciation 2 第10回 Quiz #2 Listening Activity 第11回 Unit 5 第12回 Unit 6 第13回 Pronunciation 3 第14回 Quiz #3 Listening Activity (後期) 第15回 Activity 1 第16回 Unit 7 第17回 Activity 2 第18回 Unit 8 第19回 Pronunciation 4 第20回 Quiz #4 Activity 3 第21回 Unit 9 第22回 Activity 4 第23回 Unit 10 第24回 Pronunciation 5 第25回 Quiz #5 第26回 Unit 11 第27回 Pronunciation 6 第28回 Quiz #6 Post-Test		
教科書	Impact Listening 3 Kenton Harsch, Kate Wolfe-Quintero(Pearson Longman)		
講義関連事項	Many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.		
担当者から一言	This course will focus not only on listening but also on pronunciation. We will have group and class discussions, so you will have to be willing to share your ideas and opinions in this course. We will have fun		

	activities using movies and American TV shows, See you in the class!
--	--

授業コード	M8101		
授業科目名	上級韓国語I (1クラス)		
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	韓国語の難度の高い様々な教材(新聞記事・学術論文・雑誌・詩・小説・随筆)を読解して、「読む・書く」の2技能に重点を置く学習を行う。そして、熟語や文型に基づく作文能力を養い、検定試験に備えて既出問題や対策問題も解く。
到達目標	「ハングル能力検定試験」3級、「韓国語能力試験」2級、「世界韓国語認証試験(KLPT)」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	韓国語に関する新聞記事・学術論文・雑誌・詩・小説・随筆などを取り扱って読解する。学生が自主的に読解できるように指導し、「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」・「世界韓国語認証試験(KLPT)」の既出・対策問題も解いていく。基本的な文法や語彙を復習しながら、「聞き取り」・「書き取り」の能力を養うため、必要に応じて音声・画像教材も活用する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(60%)、課題(40%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数：授業内容 1回目：クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2～4回目：新聞記事など多様な教材の読解(1) 5回目：熟語や文型に基づく作文(1) 6～8回目：「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」・「世界韓国語認証試験(KLPT)」の既出・対策問題の読解(1) 9回目：音声・画像教材による聞き取り・書き取りの練習(1) 10～13回目：新聞記事など多様な教材の読解(2) 14回目：熟語や文型に基づく作文(2)</p> <p><後期> 回数：授業内容 1～4回目：新聞記事など多様な教材の読解(3) 5回目：熟語や文型に基づく作文(3) 6～8回目：「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」・「世界韓国語認証試験(KLPT)」の既出・対策問題の読解(2) 9回目：音声・画像教材による聞き取り・書き取りの練習(2) 10～13回目：新聞記事など多様な教材の読解(4) 14回目：熟語や文型に基づく作文(4)、まとめ</p>
教科書	なし。毎回、講義資料を配布する。但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『ハングル能力検定試験 過去問題集』(ハングル能力検定協会) 『韓国語能力試験 過去問題集』(三修社) 『KLPT過去問題集』(世界韓国語認証試験委員会) 『KLPT韓国語能力対備書』(世界韓国語認証試験委員会) 『韓国語3』(高麗大学校民族文化研究所)
講義関連事項	http://www.hangul.or.jp/ http://klpt.jp/ http://www.kref.or.jp/ http://www.chosun.com/
担当者から一言	今まで学んできたことを活用して、より実践的な力にまとめていきましょう。 あいまいに覚えているものや、忘れてしまった内容も、続けて学習することで思い出し、力となっていきます。ぜひ、一緒に楽しく勉強しましょう。

授業コード	M8102		
授業科目名	上級韓国語I (2クラス)		
担当者名	金 泰虎(キム テホ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日 10時40分～12時10分(アポイント必要)		

講義の内容	韓国語の難度の高い様々な教材(新聞記事・学術論文・雑誌・詩・小説・随筆)を読解して、「読む・書く」の2技能を集中的に鍛えるとともに、熟語や文型に基づく作文の能力も養う。卒論・就職に役立つような内容の読解教材も取りあげて学習を行う。
到達目標	「ハングル能力検定試験」3級、「韓国語能力試験」2級、「世界韓国語認証試験(KLPT)」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	韓国に関する新聞記事・学術論文・雑誌・詩・小説・随筆などを読解し、熟語や文型に基づく作文も行うが、学習者が自主的に読解できるように指導する。必要に応じて、読解に関わるニュース・歌詞・映画の台本を活用する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(60%)、課題(40%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2～4回目 新聞記事など多様な教材の読解(1) 5回目 熟語や文型に基づく作文(1) 6～8回目 新聞記事など多様な教材の読解(2) 9回目 熟語や文型に基づく作文(2) 10～13回目 新聞記事など多様な教材の読解(3) 14回目 熟語や文型に基づく作文(3)</p> <p><後期> 回数 授業内容 1～3回目 新聞記事など多様な教材の読解(4) 4回目 熟語や文型に基づく作文(4) 5～7回目 新聞記事など多様な教材の読解(5) 8回目 熟語や文型に基づく作文(5) 9～10回目 新聞記事など多様な教材の読解(6) 12回目 熟語や文型に基づく作文(6) 13回目 語彙を埋めるパズル 14回目 まとめ</p>
教科書	なし。毎回、講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語3』(高麗大学校民族文化研究所)
講義関連事項	http://www.chosun.com/ http://www.monthly.chosun.com/

担当者から一言	<p>基礎韓国語・中級韓国語で学んできた韓国語の能力を、楽しみながらより高度なレベルへと向上させてみませんか。</p> <p>なお、『上級韓国語 I・II』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から12時50分まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p>
---------	--

	<p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 一定の科目を受講すれば、受賞できます。詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員にまで尋ねて下さい。</p> <p>⑤韓国語検定試験 甲南大学は2つの検定試験(「ハングル能力検定試験」・「世界韓国語認証試験(KLPT)」)の試験会場になっています。自分の実力を確認するためにも、ぜひ受けてみて下さい。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の4週間、韓国(ソウル)の漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p> <p>⑦長期留学 甲南大学と漢陽大学校は協定を結んでおり、毎年、1年間の長期留学生を交換しています。留学先の韓国では学費を払う必要はなく、無料で寮が提供されます。</p> <p>⑧秋の踏査 毎年11月中旬(日曜日)、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p>
--	---

授業コード	M8201		
授業科目名	上級韓国語II(1クラス)		
担当者名	朴 英珠(パク ヨンジュ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	韓国語の「聞く・話す」の2技能を重点に鍛えて、実質的な会話や「聞き取り」の能力を養成する。日常会話に加えて、様々な場に対応できる水準の高い言い回しや、早いスピードの「聞き取り」学習を行う。自由討論やテーマ別討論も行って臨機応変に対応できる会話力をつける。
到達目標	日韓交流の場で即座力となって活躍できる水準を目指しており、「ハングル能力検定試験」3級、「韓国語能力検定試験」2級、「世界韓国語認定試験(KLPT)」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	学生が積極的に参加するように導いて、参加者中心型の授業を展開し、ロールプレー(Role Play)、そして音声や画像資料を活用して、高レベルの表現、「聞き取り」が出来るように指導する。なお、ニュース・映画・ドラマを用いた表現の練習、自由討論、グループ別討論、テーマ別討論を行う。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、ロールプレー(30%)、課題(30%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 自己紹介 3回目 趣味 4回目 好きなこと(食べ物) 5回目 好きなこと(芸能) 6回目 提案 7回目 日常生活 8回目 注文 9回目 勧誘 10回目 予定(1) 11回目 予定(2) 12回目 可能 13回目 経験 14回目 尋ねる</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 日本と韓国文化(1) 2回目 日本と韓国文化(2)</p>

	3回目 天気 4回目 不可能 5回目 禁止命令 6回目 根拠 7回目 義務 8回目 理由 9回目 意図 10回目 推量 11回目 禁止 12回目 感激 13回目 許可 14回目 変化、まとめ
教科書	なし。毎回、講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語会話3』(高麗大学校文化研究所) 『もっとチャレンジ!韓国語』(白水社)
講義関連事項	社会の即戦力として活躍できるようにサポートするため、進路の相談や韓国に関する様々な質問に応じる時間を設けています。奮って活用して下さい。
担当者から一言	“好きこそ物の上手なれ!”私の好きな諺です。好きなところや伸ばしたいところは、個人個人が違わずです。このクラスでは、みなさんのニーズに答えながら、楽しく韓国語力をアップしていきたいと思っています。

授業コード	M8202		
授業科目名	上級韓国語II(2クラス)		
担当者名	鄭 貞美(チョン ジョンミ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	韓国語の「聞く・話す」の2技能を重点に鍛えて、実質的な会話や「聞き取り」の能力を養成する。日常会話に加えて、様々な場で対応できる水準の高い言い回しや、早いスピードの「聞き取り」学習を行う。自由討論やテーマ別討論も行って臨機応変に対応できる会話を身につける。
到達目標	日韓交流の場で即座力となって活躍できる水準を目指しており、「ハングル能力検定試験」3級、「韓国語能力検定試験」2級、「世界韓国語認証試験(KLPT)」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	学生が積極的に参加するように導いて、参加者中心型の授業を展開し、ロールプレー(Role Play)、そして音声や画像資料を活用して、高レベルの表現、「聞き取り」が出来るように指導する。なお、ニュース・映画・ドラマを用いた表現の練習、自由討論、グループ別討論、テーマ別討論も行う。
準備学習	予習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、ロールプレー(30%)、課題(30%)をもって評価する。
講義構成	<前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2回目 自己紹介 3回目 趣味 4回目 好きなこと(食べ物) 5回目 好きなこと(芸能) 6回目 提案 7回目 日常生活 8回目 注文

	<p>9回目 勧誘 10回目 予定(1) 11回目 予定(2) 12回目 可能 13回目 経験 14回目 尋ねる <後期> 回数 授業内容 1回目 日本と韓国文化(1) 2回目 日本と韓国文化(2) 3回目 天気 4回目 不可能 5回目 禁止命令 6回目 根拠 7回目 義務 8回目 理由 9回目 意図 10回目 推量 11回目 禁止 12回目 感激 13回目 許可 14回目 変化、まとめ</p>
教科書	なし。毎回、講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語会話3』(高麗大学校文化研究所) 『もっとチャレンジ!韓国語』(白水社)
講義関連事項	社会の即戦力として活躍できるようにサポートするため、進路の相談や韓国に関する様々な質問に応じえる時間を設けています。奮って活用して下さい。
担当者から一言	韓国語で日常会話ができるように、一緒に楽しく頑張りましょう!

授業コード	M7101		
授業科目名	上級中国語I(1クラス)		
担当者名	于 耀明(ウ ヨウメイ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	中級中国語で身に付けた中国語能力をさらに伸ばし、読解力や作文能力及び日中・中日の翻訳能力を高めて、自由自在に表現できる中国語能力の養成を目的とする。
到達目標	「中国語検定試験」3級、「HSK(中国語能力検定試験)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	本講義は文章(課文)の講読を通して、文脈に沿って言葉の意味を理解し、文もしくは長文及び段落全体の意味を正確に読み取る訓練を行い、そのうえ学生に意味を十分に理解した文章の大意を中国語で述べさせる練習を試みる。さらに、場面を設定し、会話の練習を行う。
準備学習	①事前に決められた範囲の予習をし、問題意識を持って授業に臨むこと。 ②習ったものをよく復習し、はっきり分からないものがあれば、メモを取って教師に教わるか自力で解決すること。 ③すすんで各課にある「確認テスト」を授業の前にやること。
成績評価	授業中での発表、宿題の提出、小テスト、出席率が5割で、学期末定期試験が5割の割合で評価する。但し、三分の二以上の出席が必要である。
講義構成	テキストは6つのユニットから構成されている。各ユニットは日常生活に必要な場面を設定し、会話の形式で口頭表現の力をつける会話文と、300字前後の閲読文章から構成されている。さらに「確認テスト」も用意されている。

	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自習学習(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 ユニット1 会話 I</p> <p>3回目 ユニット1 読読 I</p> <p>4回目 ユニット1 会話 II</p> <p>5回目 ユニット1 読読 II</p> <p>6回目 ユニット2 会話 I</p> <p>7回目 ユニット2 読読 I</p> <p>8回目 ユニット2 会話 II</p> <p>9回目 ユニット2 読読 II</p> <p>10回目 中国文化体験(ビデオを取り上げる)</p> <p>11回目 ユニット3 会話 I</p> <p>12回目 ユニット3 読読 I</p> <p>13回目 ユニット3 会話 II</p> <p>14回目 ユニット3 読読 II</p> <p>15回目 期末試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 ユニット4 会話 I</p> <p>2回目 ユニット4 読読 I</p> <p>3回目 ユニット4 会話 II</p> <p>4回目 ユニット4 読読 II</p> <p>5回目 中国文化体験(ビデオを取り上げる)</p> <p>6回目 ユニット5 会話 I</p> <p>7回目 ユニット5 読読 I</p> <p>8回目 ユニット5 会話 II</p> <p>9回目 ユニット5 読読 II</p> <p>10回目 ユニット6 会話 I</p> <p>11回目 ユニット6 読読 I</p> <p>12回目 ユニット6 会話 II</p> <p>13回目 ユニット6 会話 II</p> <p>14回目 期末総合復習</p> <p>15回目 期末試験</p>
教科書	関中研＝共著 中国語キャンパス 中級・実用編 朝日出版社

担当者から一言	会話文も長文も根気よく声を出して音読練習をしよう。語学は音声で覚えておかないと本格的な勉強にはならない。目標と自信をもって頑張ろう。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	M7102		
授業科目名	上級中国語I(2クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	中級中国語で身につけた中国語能力をさらに伸ばし、読解力や作文能力及び日中・中日の翻訳能力を高めて、自由自在に表現できる中国能力の養成を目的とする。
到達目標	「中国語検定試験」3級、「HSK(漢語水平考試)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	文章内容の難易度によって数段階に分けて、参加する皆さんの実力とニーズに合わせて、臨機応変に学習を進められるように配慮する。読解力も、翻訳力も、作文力も、実力を養っていく。
準備学習	必ず予習と復習をすること。予習して問題意識と本文についての疑問点を持って出席してください。
成績評価	平常点、出席率及び前、後期各テストの成績を総合して評価する。

講義構成	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自主学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 ガイダンス、履修学生の中国語能力・学習希望・学習目標調査</p> <p>3～4回目 北京事情(1)</p> <p>5～6回目 北京事情(2)</p> <p>7～8回目 北京事情(3)</p> <p>9回目 中文和訳の演習と小テスト</p> <p>10～11回目 中国人の感情について</p> <p>12～13回目 中国人のレジャーについて</p> <p>14回目 各種常用構文と類義詞のまとめ</p> <p>15回目 期末試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 中国今、現地で使用している学習材料や講演原稿を取り入れ、詳細な授業計画が説明するので、必ず出席すること。</p> <p>2～3回目 日中国際シポジウム論文集 1-1～2</p> <p>4～5回目 同上 1-3</p> <p>6～7回目 同上 2-1</p> <p>8～9回目 同上 2-2</p> <p>10～11回目 同上 2-3</p> <p>12回目 総合力完成講座(1)</p> <p>13回目 総合力完成講座(2)</p> <p>14回目 総合力完成講座(3)</p> <p>15回目 期末試験</p>
教科書	特定のテキストを使わず、随時文章をプリントして配る。但し、中日、日中辞書を必ず持参すること。
担当者から一言	コミュニケーションを取りながら、楽しく積極的にやっていきましょう。

授業コード	M7103		
授業科目名	上級中国語I(3クラス)		
担当者名	稲田清一(イナダ セイイチ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	月曜日12:20～13:00 木曜日12:20～13:00		

講義の内容	中級中国語で身に付けた中国語能力をさらに伸ばし、読解力や作文能力及び日中・中日の翻訳能力を高めて、自由自在に表現できる中国語能力の養成を目的とする。
到達目標	「中国語検定試験」3級、「HSK(中国語能力検定試験)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	(1)毎回、単語の聞き取り小テストを行なう。 (2)基礎的な時事単語を覚えた上で、録音テープによる中国語ニュースの聞き取り練習を行なう。 (3)中国語で書かれたニュースを読む。ここで読むとは「朗読すること」と「内容を理解すること」の両方を含む。 以上が基本的な流れだが、聞き取りの能力を向上させることに重点を置く。テープを聞いて、空欄をうめ、ニュースを完成させるという作業をやってもらう。授業には必ず中日辞典を持参すること。教科書は使用せず、事前に資料を配付する。
準備学習	事前に次回学習する分の資料を配付するので、必ず目を通してこよう。
成績評価	小テストをふくむ平常点(50%)と各学期末テスト(50%)を総合して評価する。ただし出席が3分の2に満たないものは評価の対象としない。
講義構成	<p>前期</p> <p>第1回 クラス編成のため、各自主学習(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回 イントロダクション</p> <p>第3～4回 基礎的な時事単語(固有名詞など)</p> <p>第5～6回 基礎的な時事用語</p> <p>第7回 インターネットで中国語を見る</p>

	第8～9回 ニュースの見出しを読む 第10～14回 ニュースを聞く・読む(選択肢付き) 第15回 前期試験 後期 第1～7回 ニュースを聞く・読む(単語の穴埋めが中心) 第8～14回 ニュースを聞く・読む(句を聞き取る) 第15回 後期試験
教科書	使用しない。逐次プリントを配布する。
参考書・資料	中日辞典 授業には毎回必ず持ってくる。出版社などは特に指定しないが、初めの講義で紹介する。
担当者から一言	最初はびっくりするでしょうが、ねばり強く続けることが一番です。チャレンジ精神を持って来てください。

授業コード	M7104		
授業科目名	上級中国語I(4クラス)		
担当者名	程 卓(テイ タク)、石井康一(イシイ コウイチ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(金曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	各担当者の授業終了後		

講義の内容	中級中国語で身に付けた中国語能力をさらに伸ばし、読解力や作文能力及び日中・中日の翻訳能力を高めて、自由自在に表現できる中国語能力の養成を目的とする。
到達目標	目標としては、「中国語検定試験」3級、「HSK(中国語能力検定試験)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	テキストは質・量ともに骨太なもの、授業時間以外に自分ひとりでも学習しやすいものを選んだ。まずテキストの例文を朗読・暗唱して身に付けていく。それは中国語で自己表現をする創造力の源となるだろう。練習問題で知識の定着を図る。テキスト以外にも多種多様な中国語に取り組んでいきたい。テキストをマスターして得られた力をもとに、多種多様な中国語に取り組んでいく。日本映画の中国語吹き替え版や中国のテレビドラマを見る(中国語字幕)。プリントを用いて台詞を学習し、実際に画面に合わせて朗読し、暗唱し、話す力・聴く力を鍛えていく。
準備学習	テキスト付属のCDをよく聴いて音に慣れ、授業終了時に課文はすべて暗唱できるようになっているレベルを目指してしっかり予習してほしい。
成績評価	普段の取り組み、年間を通しての自主的な努力を重視したい。前後期の試験を50パーセント、平常点を50パーセントとする。
講義構成	前期(石井) 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課「日本は桜の国」と言われるだけのことはあるね! 3回目 第1課の仕上げ及び関連教材の学習 4回目 第2課 本当になぎやかだね! 5回目 第2課の仕上げ及び関連教材の学習 6回目 第3課 唐招提寺はここから遠いかな? 7回目 第3課の仕上げ及び関連教材の学習 8回目 第4課 長崎の中華街はどんな感じ? 9回目 第4課の仕上げ及び関連教材の学習 10回目 第5課 それは良かった! 11回目 第5課の仕上げ及び関連教材の学習 12回目 第6課 一緒に見に行かない? 13回目 第6課の仕上げ及び関連教材の学習 14回目 前期のまとめ・中国語パフォーマンス特訓 15回目 前期試験 後期(程卓) 1回目 第7課 富士山の風景は本当に美しいね! 2回目 第7課の仕上げ及び関連教材の学習

	3回目 第8課 東京の街は本当に綺麗だね！ 4回目 第8課の仕上げ及び関連教材の学習 5回目 第9課 それは本当に珍しいね！ 6回目 第9課の仕上げ及び関連教材の学習 7回目 第10課 瀬戸内海の風景も本当に綺麗だね！ 8回目 第10課の仕上げ及び関連教材の学習 9回目 第11課 有名な古都と言われるだけのことはあるね！ 10回目 第11課の仕上げ及び関連教材の学習 11回目 第12課 本当に見に来る価値はあるね！ 12回目 第12課の仕上げ及び関連教材の学習 13回目 第13課 君も小説を読むのが好き？ 14回目 第13課の仕上げ及び関連教材の学習 15回目 後期試験
教科書	徐国玉 『話せる中国語は、「書き取り」でこそ身につく。』 国際語学社
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社
担当者から一言	予習・復習は毎回必須。授業は楽しく、そしてきびしくありたい。学生の積極的かつ主体的な参加を得て、中国語と中国文化の魅力を伝える授業にしたい。中国語をマスターし、異文化を知ること、自国の文化を知ることにもつながるだろう。
ホームページタイトル	胡金定. com
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	M7201		
授業科目名	上級中国語II (1クラス)		
担当者名	邱 立(キュウ リツ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	中級中国語で身につけた中国語能力をさらに伸ばし、聴く能力や話す能力及び日中・中日の通訳能力を高めて、中国語圏とのビジネスや文化交流などにおけるコミュニケーション能力の養成を目的とする。
到達目標	「中国語検定試験」3級、「HSK(漢語水平考試)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	話すと聞く方面に重点を置き、学生参加型の授業を進めていきたい。文章の朗読、ネイティブの先生との会話練習、書き取り練習を通じて、中国語を実際に使えるように指導していくつもりである。そして、中国語の話すと聞くことに役に立つ映像等も適切に利用して中国語の学習と同時に異文化にも触れてきたい。さらに、中国語検定試験にも対応できるように指導する。
準備学習	必ず予習と復習すること。常に問題意識をもつこと。
成績評価	出席率、平常点及び前、後期各テストの成績を総合的に評価する。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 ガイダンス 3～4回目 中国事情(1) 5～6回目 中国事情(2) 7～8回目 中国事情(3) 9回目 DVD観賞 10～11回目 中国事情(4) 12～13回目 中国事情(5) 14回目 前期授業内容のまとめ 15回目 前期試験 後期 1回目 復習・夏休み報告など

	2~3回目 ビジネス用語(1) 4~5回目 ビジネス用語(2) 6~7回目 ビジネス用語(3) 8回目 DVD観賞 9~10回目 上級会話トレーニング 11~12回目 上級リスニングトレーニング 13~14回目 上級総合力完成演習 15回目 後期試験
教科書	プリントを使用する。
担当者から一言	受講生のレベルに合わせて授業の内容を調整する場合がありますが、気楽に受講に来てください。そして受講の時に必ず中日・日中辞書を持参して下さい。

授業コード	M7202		
授業科目名	上級中国語II (2クラス)		
担当者名	吐山明月(ハマ マイゲツ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	中級中国語で身に付けた中国語能力をさらに伸ばし、聴く能力や話す能力及び日中・中日の通訳能力を高め、中国語圏とのビジネスや文化交流などにおけるコミュニケーション能力の養成を目的とする。
到達目標	「中国語検定試験」3級、「HSK(中国語能力検定試験)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	本講義は会話中心です。イントネーションの指導、重要語句、短文の暗誦と応用会話で、受講生一人一人に耳と口をフルに使ってもらいます。
準備学習	会話文の朗読、1分間スピーチの準備
成績評価	学習への意欲を大いに評価します。(出席状況60%、課題40%)
講義構成	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 授業の説明と基礎語句の復習</p> <p>3回目 第1課 趣味について</p> <p>4回目 第2課 誘いについて</p> <p>5回目 第3課 テレビの番組について</p> <p>6回目 第4課 天気について</p> <p>7回目 第5課 季節について</p> <p>8回目 総合練習</p> <p>9回目 第6課 性格について</p> <p>10回目 第7課 旅行について</p> <p>11回目 第8課 病気について</p> <p>12回目 第9課 パソコン・メール友について</p> <p>13回目 第10課 インターネットについて</p> <p>14回目 総合練習</p> <p>15回目 課題提出</p> <p>後期</p> <p>1回目 夏休みについて</p> <p>2回目 第11課 ホテルの予約について</p> <p>3回目 第12課 航空券の予約について</p> <p>4回目 第13課 レストランの予約について</p> <p>5回目 第14課 両替・銀行貯金について</p> <p>6回目 第15課 美容院と写真の現像について</p> <p>7回目 第16課 ビジネスフレーズ</p> <p>8回目 第16課 ビジネスフレーズ</p> <p>9回目 一問一答(リスニング)</p> <p>10回目 一問一答(リスニング)</p>

	11回目 長文聴解(リスニング) 12回目 長文聴解(リスニング) 13回目 総合練習(リスニング) 14回目 総合練習(リスニング) 15回目 課題提出
教科書	プリント配布
担当者から一言	中国語の会話をもっと楽しくしましょう。
ホームページタイトル	①胡金定.com(中国語学習サイト) http://kokintei.com/ ②中国語検定試験 http://www.chuken.gr.jp/ ③TECC(中国語コミュニケーション能力検定) http://www.tecc-web.jp/ ④HSK(漢語水平考試) http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm

授業コード	M7203		
授業科目名	上級中国語II(3クラス)		
担当者名	汪 暁京(オウ ギョウキョウ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎中国語」「中級中国語」を習得した学生を対象に設けたこの授業は、これまで皆さんに身につけた中国語能力をさらに伸ばし、聴く能力や話す能力及び日中・中日の通訳能力を高めて、中国語圏とのビジネスや文化交流などにおけるコミュニケーション能力の養成を目的とする。 テキストは12課の会話文からなっている。少し長めの会話でより豊富な語彙と豊かな中国語の表現を習う。各課にそれぞれ違う人物が登場し、家庭、学校、職場などさまざまな場所での会話を展開していく。一つ一つ現代中国人の暮らしの中からピックアップした物語を読みながら、楽しく中国語が学べる。
到達目標	「中国語検定試験」3級、「HSK(漢語水平考試)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	いままで身につけた中国語を応用しながら、新しい表現や会話によく使われる言い方などを説明しながら授業を進めていきます。 会話や文章を聴き、朗読し、中国語を声から馴染みます。質問に答えたり、会話の練習をしたり、学生の皆さんに中国語で発表する機会も作りたいと思います。
準備学習	授業内容の予習や復習をすること。 次の(新しい課)に入るたびに新出単語や本文にあらかじめ目を通すこと。
成績評価	出席状況・課題提出などを平常点とし、定期テストの成績と総合して成績評価を行います。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 3回目 第1課 4回目 第2課 5回目 第2課 6回目 第3課 7回目 第3課 8回目 第4課 9回目 第4課 10回目 第5課 11回目 第5課 12回目 第6課 13回目 第6課 14回目 第1課—第6課総復習・演習 15回目 前期試験 後期

	1回目 「前期の復習・後期の始めにあたり」 2回目 第7課 3回目 第7課 4回目 第8課 5回目 第8課 6回目 第9課 7回目 第9課 8回目 第10課 9回目 第10課 10回目 第11課 11回目 第11課 12回目 第12課 13回目 第12課 14回目 第7課—第12課総復習・演習 15回目 後期試験
教科書	黄 漢青・杉野 元子 著 「大学生のための現代中国12話・Ⅱ」(会話) 白帝社
参考書・資料	中日、日中辞書。 その他、必要に応じてプリントを配布する。
担当者から一言	出席は勿論、授業への積極的な参加こそ上達に繋がります。

授業コード	M7204		
授業科目名	上級中国語Ⅱ(4クラス)		
担当者名	島 由子(シマ ユウコ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	中級中国語で身につけた中国語能力をさらに伸ばし、聴く力や話す能力及び日中・中日の通訳能力を高めて、中国語圏とのビジネスや文化交流などにおけるコミュニケーション能力の養成を目的とする。
到達目標	「中国語検定試験」3級、「HSK(漢語水平考試)」3級、「中国語コミュニケーション能力検定」Eレベルに合格できる実力をつけることである。
講義方法	授業の前半は各自の学力と目標に合う教材をプリントで配布し、教員が一人ずつ添削して回る。 授業の後半はヒアリングの問題を全員で解いていく。具体的には、ヒアリング長文問題を朗読した後日本語に訳した上で、どのような問題が出題されるか、各自に考えてもらい、その予想をもとにヒアリング問題を解いていく。
準備学習	予習箇所を教員が指示する。
成績評価	定期試験60%、小テスト・課題40%
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～12日) 2回目 プリント(1)・ヒアリングプリント(1) 3回目 プリント(2)・ヒアリングプリント(2) 4回目 プリント(3)・ヒアリングプリント(3) 5回目 プリント(4)・ヒアリングプリント(4) 6回目 プリント(5)・ヒアリングプリント(5) 7回目 プリント(6)・ヒアリングプリント(6) 8回目 プリント(7)・ヒアリングプリント(7) 9回目 プリント(8)・ヒアリングプリント(8) 10回目 プリント(9)・ヒアリングプリント(9) 11回目 プリント(10)・ヒアリングプリント(10) 12回目 プリント(11)・ヒアリングプリント(11) 13回目 プリント(12)・ヒアリングプリント(12) 14回目 プリント(13)・ヒアリングプリント(13) 15回目 試験

	後期 1回目 プリント(14)・ヒアリングプリント(14) 2回目 プリント(15)・ヒアリングプリント(15) 3回目 プリント(16)・ヒアリングプリント(16) 4回目 プリント(17)・ヒアリングプリント(17) 5回目 プリント(18)・ヒアリングプリント(18) 6回目 プリント(19)・ヒアリングプリント(19) 7回目 プリント(20)・ヒアリングプリント(20) 8回目 プリント(21)・ヒアリングプリント(21) 9回目 プリント(23)・ヒアリングプリント(23) 10回目 プリント(24)・ヒアリングプリント(24) 11回目 プリント(25)・ヒアリングプリント(25) 12回目 プリント(26)・ヒアリングプリント(26) 13回目 プリント(27)・ヒアリングプリント(27) 14回目 プリント(28)・ヒアリングプリント(28) 15回目 試験
教科書	プリントを配布する。

授業コード	M5101		
授業科目名	上級ドイツ語I (1クラス)		
担当者名	柳原初樹(ヤナギハラ ハツキ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	隔週水曜日昼休み(12時20分から)652教室		

講義の内容	これまで培ってきたドイツ語力のみならず、日常生活の経験や興味、知識などを駆使してテキストを理解する読解力を育てる。テキストの構造・内容を理解してその要旨をすばやく的確にまとめられるようにする。つねに問題意識を持ってテキストに向かう読解力の養成をめざす。
到達目標	中級ドイツ語IIIに引き続き、「ドイツ語技能検定試験」3級以上の合格に必要なドイツ語力の養成と、ヨーロッパ共通参照枠のA2~B1レベルの総合力を養う。
講義方法	配布プリントに加え、Web上で公開されている語学教材や教材として利用できるWebサイトを有効に活用し、リーディング、ライティング、ヒアリングの練習を中心とする。 また、1年間をかけて、興味深いドイツ映画の台本も並行して読みすすめる。 3回に一回は、ドイツ語技能検定3級以上および「オーストリア政府公認ドイツ語検定試験」の過去問題を参考にしながら、ドイツ語試験合格に必要な総合的なドイツ語運用能力の獲得を目指す予定である。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。
成績評価	講義時の課題への取り組み状況と各学期末試験の成績、授業中の発表も考慮して評価する。 テスト: 50% 課題: 30% 授業での発表: 20%
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习【4月6日(火)～4月12日(月)】 2回目 映画の選定のためのあらすじ資料配布、授業中に映画の概観を把握し、協議の上決定する。 3回目 映画台本の音読、発音矯正、内容報告 4回目 同上 5回目 同上 6回目 読み進んで来た映画のストーリーをドイツ語で簡潔に表現し、添削し、質問もドイツ語で作成する。 7回目 映画台本の音読、発音矯正、内容報告 8回目 同上 9回目 同上

	<p>10回目 今回より、ドイツの文化・社会・観光などのWebマガジン Deutschland Onlineをその場で読み、内容を把握する練習を最初の20分間行う。 読み進んで来た映画のストーリーをドイツ語で簡潔に表現し、添削し、質問もドイツ語で作成する。</p> <p>11回目 Deutschland Online + 映画台本の音読、発音矯正、内容報告</p> <p>12回目 同上</p> <p>13回目 自分の弱点(読解、発音、作文、オーラル表現)の報告と対策</p> <p>14回目 自分の弱点の報告と対策</p> <p>15回目 試験</p> <p>夏休み</p> <p>1回目 夏休みの体験をドイツ語で表現する</p> <p>2回目 同上</p> <p>3回目 Deutschland Online + 映画台本の音読、発音矯正、内容報告</p> <p>4回目 同上</p> <p>5回目 同上</p> <p>6回目 読み進んで来た映画のストーリーをドイツ語で簡潔に表現し、添削し、質問もドイツ語で作成する。</p> <p>7回目 ドイツ語検定試験2級の聞き取り試験対策</p> <p>8回目 同上読解対策</p> <p>9回目 Deutschland Online + 映画台本の音読、発音矯正、内容報告</p> <p>10回目 同上</p> <p>11回目 同上</p> <p>12回目 読み進んで来た映画のストーリーをドイツ語で簡潔に表現し、添削し、質問もドイツ語で作成する。</p> <p>13回目 自分の弱点の報告と対策</p> <p>14回目 プレゼンテーション(内容については、12回目の授業で協議:例 ドイツの古城、ドイツの世界遺産、映画、音楽、食文化等)</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	ドイツ映画の台本をコピーで渡します。
参考書・資料	参考Web: {独検, http://www.dokken.or.jp/ } {ヨーロッパ共通参照枠準拠のドイツ語試験, http://www.goethe.de/Ins/jp/osa/jaindex.htm }
担当者から一言	ドイツの映画やWebなど、ドイツ人が接しているアクチュアルなものに取り組み、生のドイツに触れましょう。
その他	意欲的な人は、休みに映画で出てきたドイツ料理やスイーツのレシピにチャレンジしてください。美味しければ、あなたのドイツ語理解力は確実です。 { http://www.marions-kochbuch.de/ }
ホームページタイトル	{Deutschland Online, http://www.magazine-deutschland.de/de/ }
URL	http://www.magazine-deutschland.de/de/

授業コード	M5102		
授業科目名	上級ドイツ語I (2クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金2時間目および随時(アポイントをとってください。)		

講義の内容	これまで培ってきたドイツ語力のみならず、日常生活の経験や興味、知識などを駆使してテキストを理解する読解力を育てる。テキストの構造・内容を理解してその要旨をすばやく的確にまとめられるようにする。つねに問題意識を持ってテキストに向かう読解力の養成をめざす。
到達目標	中級ドイツ語Ⅲに引き続き、「ドイツ語技能検定試験」3級以上の合格に必要なドイツ語力の養成と、ヨーロッパ共通参照枠のA2~B1レベルの総合力を養う。
講義方法	教科書や配布プリントに加え、Web上で公開されている語学教材や教材として利用できるWebサイトを有効に活用し、リーディング、ライティング、ヒアリングの練習を中心とする。ドイツ語技能検定3級以上および「オーストリ

	ア政府公認ドイツ語検定試験」の過去問題を参考にしながら、ドイツ語試験合格に必要な総合的なドイツ語運用能力の獲得を目指す予定である。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。
成績評価	講義時の課題への取り組み状況と各学期末試験の成績、出席状況も考慮して総合的に評価する。 テスト:50% 課題: 30% 授業への積極的参加:20%
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习【4月6日(火)~4月12日(月)】 2回目 Lektion 1 3回目 同上 4回目 Lektion 2 5回目 同上 6回目 Lektion 3 7回目 同上 8回目 同上 9回目 Lektion 4 10回目 同上 11回目 Lektion 5 12回目 同上 13回目 Lektion 6 14回目 同上 15回目 試験 夏休み 1回目 Lektion 7 2回目 同上 3回目 同上 4回目 Lektion 8 5回目 同上 6回目 Lektion 9 7回目 同上 8回目 Lektion 10 9回目 同上 10回目 Lektion 11 11回目 同上 12回目 Lektion 12 13回目 同上 14回目 総復習 15回目 試験
教科書	問題発見のドイツ語 Modelle2およびプリント教材やWeb上の教材を利用する。
参考書・資料	参考Web: 独検: http://www.dokken.or.jp/ ヨーロッパ共通参照枠準拠のドイツ語試験: http://www.goethe.de/Ins/jp/osa/jaindex.htm
講義関連事項	6号館5階の学習指導室でドイツ(語圏)およびドイツ語に関する相談を受け付けています。有効に活用してください。日時は授業内でお知らせします。
担当者から一言	ドイツ語に関する国内の資格試験および国際的な評価基準に基づいた国際試験を目指し、自分のドイツ語能力を目に見える形で伸ばしていきましょう。サポートします。 ドイツ語検定(独検)およびオーストリア政府公認ドイツ語検定試験は、原則、甲南大学で受験できます。
ホームページタイトル	多言語学習コンテンツ http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/

授業コード	M5201		
授業科目名	上級ドイツ語Ⅱ(1クラス)		
担当者名	リングホーファー(リングホーファー マンフレッド)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語圏の文化、歴史、社会等を対象にするテキストを読み、それについての簡単な討論できるように努める。対話及びグループワークも行う。そのほかにテーマに準じてのビデオやDVD等の映像を使用する。		
到達目標	段階的に、自由に意思表示できることを目標とする。または、討論に必要な話術を身につけることを目指す。ドイツ語圏の文化、歴史及び社会だけでなく、コミュニケーション技術を通じて人間関係の理解を深めることを目指す。		
講義方法	学生が興味のあるテーマのプリントを配布する。その他に、ビデオやDVDの観賞によりさらに理解を深めることに努める。または、必要に応じて新聞や雑誌の記事も配布する。		
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。		
成績評価	出席が30%、授業中の参加、積極性が20%、試験が50%の評価をする。試験が前期と後期にある。独和辞典使用可！		
講義構成	<p>前期</p> <p>第1回 クラス編成のため、各自自主学习【4月6日(火)～4月12日(月)】</p> <p>第2回 オリエンテーション、皆の自己紹介を行う、学生が興味のあるテーマを把握する</p> <p>第3回～第14回 学生が選んだテーマ及び担当者がドイツ語圏の理解に必要な極めて重要なテーマに関するプリントを配布し、分析及び討論を行うことにする</p> <p>第15回 試験</p> <p>後期</p> <p>第1回～第14回 上記と同様に、皆で選んだテーマについてのプリントを使用する。</p> <p>第15回 試験</p>		
教科書	特定の教科書を使用しない。プリントを配布し、映像も使用する。		

授業コード	M5202		
授業科目名	上級ドイツ語Ⅱ(2クラス)		
担当者名	ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	【中級ドイツ語Ⅱ】で培ったドイツ語の「聞く」「話す」能力を、ドイツ語を母語とする教員の指導によって発展させる。コミュニケーション能力だけではなく、言葉を通じてドイツ語圏の文化に親しみ、異文化を理解する心の柔軟性を育てる。		
到達目標	1年間の中級ドイツ語の学習のよって、【ヨーロッパ共通参照枠】の A2/ B1 レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。		
講義方法	新しい言葉、文法と表現や発音を練習してから、適当な場面で応用の練習が行う。このクラスでは私生活、旅行と仕事用のドイツ語を身につける。今まで勉強してきたドイツ語を効果的に運用する練習して、新しい表現を加えて多様な場面で対応ができるようになる。国際コミュニケーション能力も身につける。 【聞く】練習のために音楽とビデオを使って、その上に毎回 Lesenovella (ラジオ ドラマみたいな小説)も聞き		

	ます。 ドイツ文化と社会の最近の情報も勉強する。ドイツから持ってきた最新の資料も使ってドイツという国をもっと深く理解できるようになる。 ドイツ語の勉強が少しだけでも楽なるために、効果的な学習方法を身につける。それはドイツ語だけではなくて英語などの外国語の勉強にも役に立っている。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストと課題および授業参加状況40%で評価する。
講義構成	<p>1回目 クラスの編成のため、各自自主学習【4月6日(火)～4月12日(月)】</p> <p>2回目 Kennenlernen und Smalltalk</p> <p>3回目 Wohnen/ Wortschatz und Beschreibung</p> <p>4回目 Wohnungssuche und Hinweise</p> <p>5回目 Termine machen/ Einladungen</p> <p>6回目 Hotel- Aktivitaeten</p> <p>7回目 Gesundheit und Koerperteile</p> <p>8回目 Ratschlaege geben/ beim Arzt</p> <p>9回目 Ueberreden und absagen</p> <p>10回目 Verhandeln im Beruf</p> <p>11回目 Unfall beschreiben/ Notruf</p> <p>12回目 Ein Erlebnis schildern</p> <p>13回目 Arbeit und Freizeit/ Testraining</p> <p>14回目 Ferien und Ferienplanung</p> <p>15回目 試験</p> <p>1回目 Berichte aus den Ferien</p> <p>2回目 Bitten und Anfragen</p> <p>3回目 Geruechte und Reaktionen</p> <p>4回目 Arbeitstag und Alltag</p> <p>5回目 Beschreibung eines Geschehens</p> <p>6回目 Staedte und Wegbeschreibung/ um Hilfe bitten</p> <p>7回目 Stadtrundfahrt in Berlin</p> <p>8回目 Geschenke</p> <p>9回目 Beschreiben von Sachen/ Verkauf</p> <p>10回目 Verkaufsgespraech im Beruf</p> <p>11回目 Testraining</p> <p>12回目 Lebensplan und Jobinterview</p> <p>13回目 Biographien und Lebenskauf</p> <p>14回目 Kreative Anwendung</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	自主教材
参考書・資料	電子辞書、ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業の望むこと。 Themen Aktuell 1 (持っている場合)
講義関連事項	ドイツ語技能検定試験は、6月 と 11月 にあります。甲南大学で受験できます。積極的にトライしてください。資格の取得は、将来の就職にも役に立つはずでず。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容と学習方法に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けています。積極的に活用してください。

授業コード	M6101		
授業科目名	上級フランス語I (1クラス)		
担当者名	中村典子(ナカムラ ノリコ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

オフィスアワー	木曜日15:00～16:30に研究室(673)へ来て下さい。 ただし、会議等で留守にすることも稀にあるので、できれば事前にメール等で連絡して下さい。
講義の内容	<p>実用フランス語＋フランス映画研究</p> <p>(1)前期は、CALL教室を使用するので、毎回パソコンの操作を行い、フランス語の打ち方、Web上のフランス語情報の扱い方など、実生活で接するフランス語に対処する練習を積極的に行う。</p> <p>(2)フランス映画のシナリオ教科書を用いて、字幕をつけたり、逐次通訳できるようにする。最終的には、「字幕なし」で映画の会話を聞き取る力の養成を目指す。</p> <p>(3)受講者の希望に応じて、仏検対策(3級・準2級・2級)も適宜行う。</p>
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の2級・準2級に合格するフランス語の運用能力を身につける。
講義方法	<p>(1)前期は、パソコン上でのフランス語の扱い方などをマスターし、各自がフランス文化に関する発表をPower Pointでプレゼンテーションする。</p> <p>(2)この授業では、文法の復習を行いながら、特に聞き取り能力を伸ばすために、フランスで発売されたDVDも活用する。フランス語や日本語の字幕を出したり、隠したりしながら、映画の会話を聞き取る練習をする。</p> <p>(3)仏検受験者のために、聞き取り問題を中心に過去問題を解き、対策を行う。また、希望者には、過去問題のプリントを配布する。</p>
準備学習	毎回出される課題をこなし、前回の学習内容を復習しておくこと。 次回進む予定の課を予習すること。
成績評価	<p>前期・後期とも定期試験は行わない。</p> <p>前期：平常点(50%)：課題への対応、小テスト、授業への積極的関与度を加味して算出する。 Power Pointによるプレゼンテーション(50%)、</p> <p>後期：平常点(50%)：課題への対応、小テスト、授業への積極的関与度を加味して算出する。 「30分間のフランス語の授業」の実践(50%)</p>
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回：クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回：現在形の復習、映画に特有の表現についての説明</p> <p>第3回：接続法現在(1)、仏検の過去問題を解く</p> <p>第4回：接続法現在(2)、パソコンでフランス語を打つ</p> <p>第5回：大過去、パソコンでフランス語の情報を探す</p> <p>第6回：単純未来、インターネット上の文法問題に挑戦</p> <p>第7回：条件法現在、仏検対策(聞き取り試験を中心に)</p> <p>第8回：条件法過去、仏検模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第9回：不定法、仏検模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第10回：同等比較、インターネット上のテストに挑戦</p> <p>第11回：フランス映画の聞き取り問題</p> <p>第12回：フランス文化に関する発表(1)</p> <p>第13回：フランス文化に関する発表(2)</p> <p>第14回：音読の小テスト、前期のまとめ</p> <p>夏休み</p> <p>(後期)</p> <p>第1回：夏休みの課題提出、フランス語のクロスワードパズル</p> <p>第2回：直接話法と間接話法、仏検の過去問題を解く</p> <p>第3回：命令法の復習、仏検の過去問題を解く</p> <p>第4回：強調構文、仏検対策(聞き取り試験を中心に)</p> <p>第5回：条件節を用いた比較の構文、仏検対策(聞き取り試験を中心に)</p> <p>第6回：疑問詞の復習、仏検模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第7回：受動態の復習、仏検模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第8回：現在分詞とジェロンディフ、時制のまとめ</p> <p>第9回：非人称構文、フランス映画の聞き取り問題</p> <p>第10回：関係代名詞の復習、フランス映画の聞き取り問題</p> <p>第11回：各自、発表：インターネット上のフランス語の情報等を用いた「30分間のフランス語の授業」</p> <p>第12回：各自、発表：インターネット上のフランス語の情報等を用いた「30分間のフランス語の授業」</p> <p>第13回：各自、発表：インターネット上のフランス語の情報等を用いた「30分間のフランス語の授業」</p> <p>第14回：後期のまとめ</p>
教科書	映画シナリオ教科書『リリィ』(CD付き)(早美出版社)

	* 仏和辞書は必ず携帯すること。
参考書・資料	毎回、USBメモリを持参すること。
講義関連事項	* 実用フランス語技能検定試験(仏検)は6月と11月に実施され、甲南大学での受験も可能です。検定試験を受けることにより、自分の実力がある程度わかるので、春季・秋季ともに積極的に仏検を受験してください。 * 仏検3級以上は、履歴書に掲載する意味があります。 * 仏検2級や準2級を取得すると、就職や進学において有利になることが多いようです。 2010 度仏検 春季日程: 一次試験 6月20日(日)(甲南大学6号館で受験可) 秋季日程: 一次試験 11月21日(日) <予定>(甲南大学6号館で受験可の予定)
担当者から一言	・フランス映画に興味がある人は、ぜひ受講してほしい。 ・パソコンでフランス語情報を扱うことに興味がある人も歓迎する。

授業コード	M6102		
授業科目名	上級フランス語I(2クラス)		
担当者名	中村典子(ナカムラ ノリコ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日15:00～16:30に研究室(673)へ来て下さい。 ただし、会議等で留守にすることも稀にあるので、できれば事前にメール等で連絡して下さい。		

講義の内容	検定対策＋フランス映画研究 「実用フランス語技能検定試験(仏検)」の3級・準2級・2級に挑戦し、合格するための実力を養う。具体的には、過去の試験問題などを解いて、試験の傾向を掴み、検定試験の対策を立てるが、本質的には、フランス語の総合力を高めることを目的とする。 <注意> 仏検対策を主眼とするので、受講者は仏検4級以上の取得者に限る。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の2級・準2級に合格するフランス語の運用能力を身につける。
講義方法	・前期は、映画のシナリオ教科書に沿って中級文法を徹底的に復習し、比較的易しい問題を数多く解き、語彙を増やす。 ・後期は、シナリオ教科書に沿って学習しつつも、できれば、映画に関する批評文を読んだり、映画監督や俳優たちへのインタビューの聞き取りなども行いたい。 * 仏検に関しては、各自のレベルに合った問題に取り組めるように工夫する。 * 語彙を増やすために『<仏検2級・3級対応>フランス語重要表現・熟語集』(駿河台出版社)を用いて、毎回、語彙の小テストとDICTEEを行う。
準備学習	授業の最初に行う小テストとDICTEEの準備をすること。 毎回出される課題をこなし、前回の学習内容を復習しておくこと。 次回進む予定の課を予習すること。
成績評価	前期： 平常点(50%)：毎回行う小テストとDICTEEへの対応、授業への積極的関与度を加味して算出する。 定期試験(50%) 後期： 平常点(50%)：毎回行う小テストとDICTEEへの対応、授業への積極的関与度を加味して算出する。 「30分間のフランス語の授業」の実践(50%)
講義構成	第1回：クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回：現在形の復習、映画に特有の表現についての説明 第3回：接続法現在(1)、仏検の過去問題を解く 第4回：接続法現在(2)、仏検の過去問題を解く 第5回：大過去、半過去、複合過去の復習 第6回：単純未来、前未来 第7回：条件法現在、仏検対策(聞き取り試験を中心に)

	<p>第8回: 条件法過去、仏検模擬試験(採点后、解説) 第9回: 不定法、仏検模擬試験(採点后、解説) 第10回: 同等比較、比較級、最上級の復習 第11回: フランス映画の聞き取り問題 第12回: フランス映画の聞き取り問題 第13回: シャンソンの聞き取り問題 第14回: 音読の小テスト、前期のまとめ 第15回: 定期試験</p> <p>夏休み</p> <p>第1回: 夏休みの課題提出、フランス語のクロスワードパズル 第2回: 直接話法と間接話法、仏検の過去問題を解く 第3回: 命令法の復習、仏検の過去問題を解く 第4回: 強調構文、仏検対策(聞き取り試験を中心に) 第5回: 条件節を用いた比較の構文、仏検対策(聞き取り試験を中心に) 第6回: 疑問詞の復習、仏検模擬試験(採点后、解説) 第7回: 受動態の復習、仏検模擬試験(採点后、解説) 第8回: 現在分詞とジェロンディフ、時制のまとめ 第9回: 非人称構文、フランス映画の聞き取り問題 第10回: 関係代名詞の復習、フランス映画の聞き取り問題 第11回: 各自、発表: インターネット上のフランス語の情報等を用いた「30分間のフランス語の授業」 第12回: 各自、発表: インターネット上のフランス語の情報等を用いた「30分間のフランス語の授業」 第13回: 各自、発表: インターネット上のフランス語の情報等を用いた「30分間のフランス語の授業」 第14回: 後期のまとめ</p>
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・『リリイ』(CD付き)早美出版社 ・『<仏検2級・3級対応>フランス語重要表現・熟語集』駿河台出版社 * 仏和辞書は必ず携帯すること。
参考書・資料	6号館のマルチメディア自習室に過去の仏検の問題集(CD付き)を揃えてあります。各自、マルチメディア自習室で利用してください。
講義関連事項	<ul style="list-style-type: none"> * 実用フランス語技能検定試験(仏検)は6月と11月に実施され、甲南大学での受験も可能です。検定試験を受けることにより、自分の実力がある程度わかるので、春季・秋季ともに積極的に仏検を受験してください。 * 仏検3級以上は、履歴書に掲載する意味があります。 * 仏検2級や準2級を取得すると、就職や進学において有利になることが多いようです。 <p>2010 度仏検 春季日程: 一次試験 6月20日(日)(甲南大学6号館で受験可) 秋季日程: 一次試験 11月21日(日)<予定>(甲南大学6号館で受験可の予定)</p>
担当者から一言	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス映画に興味がある人は、ぜひ受講してほしい。 ・毎週、DICTEEの小テストを行うので、自然に語彙力がつく。仏検の3級・準2級・2級を受ける人には、とくにお勧めする。
その他	フランスの提携大学(トゥール大学・リヨン第三大学)への長期留学を考えている人は早めに相談に来てほしい。

授業コード	M6201		
授業科目名	上級フランス語II (1クラス)		
担当者名	シッシュ(シッシュ ディディエ)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日5限 (不在のこともあるので、できれば事前に連絡して下さい)		
講義の内容	コミュニケーション(COMMUNICATION) フランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語圏の人々とコミュニケーションを行うのに必要なフランス語の力を養成する。		

到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の2級・準2級に合格するコミュニケーション能力を身につける。
講義方法	教材として開発されたのではない資料documents authentiques(新聞や雑誌の記事、インターネット上のサイトなど)を用いて、実際の生活の中で、すばやくフランス語を理解し、フランス語で適切なコミュニケーションが行えるように練習する。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~4月12日) 第2回: 「中級フランス語II」の総復習 第3回: ヒアリング演習(その1)短い会話 第4回: ヒアリング演習(その2)テレビコマーシャル 第5回: ヒアリング演習(その3)留守番電話のメッセージ <小テストNo.1> 第6回: 自分について話す(その1) 第7回: 自分について話す(その2) 第8回: 第三者について話す(その1) 第9回: 第三者について話す(その2) <小テスト No.2> 第10回: ある出来事や状況について話す(その1) 第11回: ある出来事や状況について話す(その2) 第12回: 聞いた話について質問する(その1) 第13回: 聞いた話について質問する(その2) <小テスト No.3> 第14回: 前期のまとめ 夏休み 後期: 第1回: 前期の総復習 第2回: ヒアリング演習(その1)短い会話(映画の台詞) 第3回: ヒアリング演習(その2)ラジオとテレビのニュース 第4回: ヒアリング演習(その3)映画の予告編 第5回: 討論に参加する(その1) <小テストNo.4> 第6回: 討論に参加する(その2) 第7回: 自分の意見や感情を伝える(その1) 第8回: 自分の意見や感情を伝える(その2) 第9回: 手紙やはがきを書く(入門) <小テストNo.5> 第10回: 手紙やはがきを書く(その1) 第11回: 手紙やはがきを書く(その2) 第12回: 新聞の短い記事を読み、意見交換を行う(その1) 第13回: 新聞の短い記事を読み、意見交換を行う(その2) <小テストNo.6> 第14回: 後期のまとめ
教科書	適宜、プリントを配付する。
参考書・資料	・辞書を持参すること。 ・「基礎フランス語 I」で使った『ZEPHYR フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。文法事項の説明の際に用いる。
講義関連事項	上級フランス語は2科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ2科目すべてを受講するようにしてください。
担当者から一言	フランス語を継続して学ぶことによって、視野を広げ、新しい世界観を得ることができるので、積極的に参加してください。 フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20~12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定しています。質問や相談等に積極的に活用してください。

授業コード	M6202		
授業科目名	上級フランス語Ⅱ(2クラス)		
担当者名	ポレ(ポレ ジャン-ノエル)		
配当年次	3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション(COMMUNICATION) フランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語圏の人々とコミュニケーションを行うのに必要なフランス語の力を養成する。
到達目標	修了時点で「仏検」(実用フランス語技能検定試験)の2級・準2級に合格するコミュニケーション能力を身につける。
講義方法	教科書『REFLETS 1』を用いて、以下のように授業を進める。 1) 教材のビデオ映像を見る前に、まず、語彙と表現方法を学習する。 2) ビデオ映像を見て、使われている表現方法を習得するとともに、ジェスチャー、声の抑揚やリズムも理解し、実際の行動や態度が、その言語文化と結びついていることを理解する。 3) 教室中でのロール・プレイにより、見たシーンを再現してもらい、ディスカッションする。 4) フランスで行われている習慣、文化に関わる行動について話し合い、日本のそれと比較する。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 第2回: VIDEO 1 : le nouveau locataire : 文法、語彙の学習 第3回: VIDEO 1 : le nouveau locataire : 映像を見て理解する、質問に答える 第4回: ロール・プレイ : Je cherche un colocataire 第5回: 文化学習: フランス語圏、フランス語が通じる国 第6回: VIDEO 1 についての小テスト(文法、語彙)、口頭テスト 第7回: VIDEO 2 : la maison et les taches menageres : 文法、語彙の学習 第8回: VIDEO 2 : on visite l'appartement : 映像を見て理解する、質問に答える 第9回: ロール・プレイ: enquetes sur les Japonais et les taches menageres 第10回: VIDEO 2 についての小テスト(文法、語彙)、口頭テスト 第11回: VIDEO 3 : les facons de payer : 文法、語彙の学習 第12回: VIDEO 3 : une cliente difficile : 映像を見て理解する、質問に答える 第13回: ロール・プレイ: acheter en francais, donner des conseils a l'imperatif 第14回: VIDEO 3 についての小テスト(文法、語彙)、口頭テスト 夏休み 後期: 第1回: 前期の総復習 第2回: VIDEO 4 : l'heure et le calendrier : 文法、語彙の学習 第3回: VIDEO 4 : bon anniversaire ! : 映像を見て理解する、質問に答える 第4回: 文化学習: フランスと日本のカレンダー、祝日を比較する 第5回: VIDEO 4 についての小テスト(文法、語彙)、口頭テスト 第6回: VIDEO 5 : les enquetes et les formes de questions : 文法、語彙の学習 第7回: VIDEO 5 : c'est pour une enquete : 映像を見て理解する、質問に答える 第8回: ロール・プレイ: faire des enquetes 第9回: 文化学習: フランスと日本における余暇の使い方 第10回: VIDEO 5 についての小テスト(文法、語彙)、口頭テスト 第11回: VIDEO 6 : les prepositions de lieu : 文法、語彙の学習 第12回: VIDEO 6 : on fete nos creations : 映像を見て理解する、質問に答える 第13回: ロール・プレイ: decrire une personne

	第14回:VIDEO 6 について的小テスト(文法、語彙)、口頭テスト
教科書	REFLETS 1 (Hachette)
参考書・資料	・辞書を持参すること。
講義関連事項	上級フランス語は2科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ2科目すべてを受講するようにしてください。
担当者から一言	フランス語を継続して学ぶことによって、視野を広げ、新しい世界観を得ることができるので、積極的に参加してください。 フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20~12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定しています。質問や相談等に積極的に活用してください。

授業コード	L1501		
授業科目名	中級英語TOEIC (1クラス)IM		
担当者名	浜田 悟(ハマダ サトル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回授業のはじめに文法を学習する。 TOEICレベルの文法のプリントを使い、それに基づきQUIZを行う。 • 毎回リスニングを行う。 授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1,2,3,4を順に行う。 • リーディングは前期はPart 5 (短文空所補充)と Part 6 (長文空所補充)を、後期はPart 6 と Part 7(読解)を行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • 各レッスンに出ているTOEICレベルの単語のプリントを調べる。 • 教科書の問題を解き、知らない単語を調べる。「やれば出来る」を実践。
成績評価	出席 10% 課題 10% Quizzes 30% Final Tests 30% 授業の参加態度 20% 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない。
講義構成	主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2. Reading Comprehension(文法と読解力) 第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第2回 シラバス確認

英語での自己紹介 プリント

- 第3回 Reading Practice Test 1 # 101-120
Listening Practice Test 1 #1-10
- 第4回 Reading Practice Test 1 # 121-140
Listening Practice Test 1 #11-20
- 第5回 Reading Practice Test 1 # 141-152
Listening Practice Test 1 #21-30
- 第6回 Reading Practice Test 1 # 153-164
Listening Practice Test 1 #31-40
- 第7回 Reading Practice Test 1 # 165-180
Listening Practice Test 1 #41-49
- 第8回 Reading Practice Test 1 # 181-190
Listening Practice Test 1 #50-58
- 第9回 Reading Practice Test 1 # 191-200
Listening Practice Test 1 #59-70
- 第10回 Reading Practice Test 2 # 101-120
Listening Practice Test 1 #71-79
- 第11回 Reading Practice Test 2 # 121-140
Listening Practice Test 1 #80-88
- 第12回 Reading Practice Test 2 # 141-152
Listening Practice Test 1 #89-100
- 第13回 Reading Practice Test 2 # 153-164
Listening Practice Test 2 #1-40
- 第14回 Reading Practice Test 2 # 165-180
Listening Practice Test 2 #41-100
- 第15回 前期試験
Summer Homework
Practice Test 2
Reading # 181-200
- 第16回 Reading Practice Test 3 # 101-120
Listening Practice Test 3 #1-10
- 第17回 Reading Practice Test 3 # 121-140
Listening Practice Test 3 #11-20
- 第18回 Reading Practice Test 3 # 141-152
Listening Practice Test 3 #21-30
- 第19回 Reading Practice Test 3 # 153-165
Listening Practice Test 3 #31-40
- 第20回 Reading Practice Test 3 # 166-180
Listening Practice Test 3 #41-49
- 第21回 Reading Practice Test 3 # 181-190
Listening Practice Test 3 #50-58
- 第22回 Reading Practice Test 3 # 191-200
Listening Practice Test 3 #59-70
- 第23回 Reading Practice Test 4 # 101-120
Listening Practice Test 3 #71-79
- 第24回 Reading Practice Test 4 # 121-140
Listening Practice Test 3 #80-88
- 第25回 Reading Practice Test 4 # 141-152
Listening Practice Test 3 #89-100
- 第26回 Reading Practice Test 4 # 153-164
Listening Practice Test 4 #1-20
- 第27回 Reading Practice Test 4 # 166-180
Listening Practice Test 4 #21-40
- 第28回 Reading Practice Test 4 # 181-190
Listening Practice Test 4 #41-70
- 第29回 Reading Practice Test 4 # 191-200
Listening Practice Test 4 #71-100
- 第30回 後期試験

教科書

Preparation Series for the new TOEIC Test
MORE PRACTICE TEST

著者: Lin Lougheed 出版社: Longman

講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEICに関して、またそれ以外でも英語のことならいつでも質問してください。 喜んでお話ししたいと思います。 使える英語は日々の努力によります。

授業コード	L1502		
授業科目名	中級英語TOEIC (2クラス)PI		
担当者名	平島晶子(ヒラシマ アキコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.		
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ become familiar with the format of the TOEIC exam ・ learn what kinds of questions regularly appear on the exams ・ become more comfortable and confident about taking the exam ・ improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading ・ practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class ・ regularly take practice TOEIC tests ・ learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes ・ learn how to use their time efficiently and effectively 		
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の問題を使いTOEICの試験形式に慣れる ・ リスニングの分析(何が聞こえやすいか、何が聞こえないか)を行う ・ サイト・トランスレーションの演習を重ね、読解とリスニングの両方に役立てる ・ 言語的予測につながる表現を学習する <p>以上の項目を組み合わせながら、演習中心の授業を行う</p>		
準備学習	毎週、当該ユニットの予習必須—特に新しい語彙は意味や派生語を調べて親しんでおく		
成績評価	出席と毎週のテスト(70%)、学年末TOEIC型テスト(30%) 定期試験試験は行わない		
講義構成	(前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第 2回 TOEIC模擬試験(短縮版) 第 3回 ユニット 1 第 4回 ユニット 1 第 5回 ユニット 2 第 6回 ユニット 2 第 7回 ユニット 3 第 8回 ユニット 3 第 9回 ユニット 4 第10回 ユニット 4 第11回 ユニット 5 第12回 ユニット 5 第13回 ユニット 6	(後期) 第16回 ユニット 7 第17回 ユニット 7 第18回 ユニット 8 第19回 ユニット 8 第20回 ユニット 9 第21回 ユニット 9 第22回 ユニット 10 第23回 ユニット 10 第24回 ユニット 11 第25回 ユニット 12 第26回 ユニット 13 第27回 ユニット 14 第28回 ユニット 15	

	第14回 ユニット 6 第15回 前期試験	第29回 TOEIC模擬試験(短縮版) 第30回 後期試験
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test (成美堂)	
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.	

授業コード	L1503		
授業科目名	中級英語TOEIC (3クラス)AV		
担当者名	神谷久美子(ミタニ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30-17:00 非常勤講師控室(3号館2F北[山]側)		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 教材を録音したMD/テープをクラス内や、自主学習で繰り返し聞く。また、それを使って問題を解く。リピーター・シャドウイングなど発話練習をしてリスニング力の向上を目指す。 2. Reading Comprehension(文法と読解力) 基礎的な文法の知識の習得度を練習問題を解きながら確認する。またインターネットを使って、英字新聞やその他英語で書かれた情報を取り出しskimmingやscanningの訓練をする。
準備学習	12月に実施される学内のカレッジTOEICで高得点の獲得を目指して、膨大な学習量を消化するため、課題をたくさんこなす必要があります。授業に欠席しないこと、予習・復習をすることが大切です。そのほかにも自分の弱点強化のため、コンスタントにコツコツやること。一夜漬けの学習法は役に立ちません。また自分なりに楽しめる学習方法を見つけることも大切です。たとえば英語のリスニング力を強化するために、洋楽のポップスを聴いたり、洋画を日本語字幕なしで観たりすると、気付かないうちに上達します。
成績評価	Exams & Quizzes: 70% Others(Preparation, Homework, Attitudes): 30%
講義構成	前期予定 第1回 クラス編成のため各自自主学習(2010年4月6日～12日) 第2回 Course Description & Self-introduction 第3回 Vocabulary Unit 1 / Grammar / Practice Test 1,Part 1

	<p>第 4回 Vocabulary Unit 2/ Grammar / Practice Test 1, Part 2 第 5回 Vocabulary Unit 3 / Grammar / Practice Test 1, Part 3 第 6回 Vocabulary Unit 4 / Grammar / Practice Test 1, Part 4 第 7回 Vocabulary Unit 5/ Grammar / Practice Test 1, Part 5 第 8回 Vocabulary Review Unit 1-5 / Grammar / Practice Test 1, Part 6 第 9回 Vocabulary Unit 6 / Grammar / Practice Test, 1, Part 7 第 10回 Vocabulary Unit 7 / Grammar / Practice Test 1, Part 7 第 11回 Vocabulary Unit 8 / Grammar / Practice Test 2, Part 1 第 12回 Vocabulary Unit 9 / Grammar / Practice Test 2, Part 2 第 13回 Vocabulary Unit 10 / Grammar / Practice Test 2, Part 3 第 14回 Vocabulary Review Unit 6-10 / Grammar / Practice Test 第 15回 Final Exam</p> <p>後期予定 第 1回 Vocabulary Unit 11&12 / Grammar / Practice Test 2, Part 4 第 2回 Vocabulary Unit 13&14 / Grammar / Practice Test 3 第 3回 Vocabulary Review Unit 11-14 / Grammar / Practice Test 3 第 4回 Vocabulary Unit 15&16 / Grammar / Practice Test 3 第 5回 Vocabulary Unit 17&18 / Grammar / Practice Test 3 第 6回 Vocabulary Review Unit 15-18 / Grammar / Practice Test 3 第 7回 Vocabulary Unit 19&20 / Grammar / Practice Test 4 第 8回 Vocabulary Review Unit 16-20 / Grammar / Practice Test 4 第 9回 Vocabulary Review Unit 11-15 / Grammar / Practice Test 4 第 10回 Vocabulary Review / Grammar / Practice Test 4 第 11回 Vocabulary / Grammar / Practice Test 4 第 12回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review 第 13回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review 第 14回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review 第 15回 Final Exam</p>
教科書	<p>1) Longman Preparation Series for the New TOEIC Test: More Practice Test 4th Edition / Lin Loughheed / Pearson Longman 2) TOEIC Vocabulary Practice: For Attaining 600 in TOEIC / 石田・入江他 / 英宝社</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>休まず出席すること。 課題をしっかりこなすこと。 積極的に参加すると授業が楽しくなります。 より高い点を獲得することをモチベーションにすることで脳はよい刺激を受けていい結果を生みます。 がんばってください！</p>
その他	各自入力

授業コード	L1504		
授業科目名	中級英語TOEIC (4クラス)IM		
担当者名	神谷久美子(ミタニ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<p>主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。</p> <p>1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 教材を録音したMD/テープをクラス内や、自主学習で繰り返し聞く。また、それを使って問題を解く。repeating・shadowingなど発話練習をしてリスニング力の向上を目指す。</p> <p>2. Reading Comprehension(文法と読解力) 基礎的な文法の知識の習得度を練習問題を解きながら確認する。またインターネットを使って、英字新聞やその他英語で書かれた情報を取り出しskimmingやscanningの訓練をする。</p>
準備学習	12月に実施される学内のカレッジTOEICで高得点の獲得を目指して、膨大な学習量を消化するため、課題をたくさんこなす必要があります。授業に欠席しないこと、予習・復習をすることが大切です。そのほかにも自分の弱点強化のため、コンスタントにコツコツやること。一夜漬けの学習法は役に立ちません。また自分なりに楽しめる学習方法を見つけることも大切です。たとえば英語のリスニング力を強化するために、洋楽のポップスを聴いたり、洋画を日本語字幕なしで観たりすると、気付かないうちに上達します。
成績評価	Exams & Quizzes: 70% Others(Preparation, Homework, Attitudes): 30%
講義構成	<p>前期予定</p> <p>第 1回 クラス編成のため各自自主学習(2010年4月6日～12日)</p> <p>第 2回 Course Description & Self-introduction</p> <p>第 3回 Vocabulary Unit 1 / Grammar / Practice Test 1, Part 1</p> <p>第 4回 Vocabulary Unit 2/ Grammar / Practice Test 1, Part 2</p> <p>第 5回 Vocabulary Unit 3 / Grammar / Practice Test 1, Part 3</p> <p>第 6回 Vocabulary Unit 4 / Grammar / Practice Test 1, Part 4</p> <p>第 7回 Vocabulary Unit 5/ Grammar / Practice Test 1, Part 5</p> <p>第 8回 Vocabulary Review Unit 1-5 / Grammar / Practice Test 1, Part 6</p> <p>第 9回 Vocabulary Unit 6 / Grammar / Practice Test, 1, Part 7</p> <p>第10回 Vocabulary Unit 7 / Grammar / Practice Test 1, Part 7</p> <p>第11回 Vocabulary Unit 8 / Grammar / Practice Test 2, Part 1</p> <p>第12回 Vocabulary Unit 9 / Grammar / Practice Test 2, Part 2</p> <p>第13回 Vocabulary Unit 10 / Grammar / Practice Test 2, Part 3</p> <p>第14回 Vocabulary Review Unit 6-10 / Grammar / Practice Test</p> <p>第15回 Final Exam</p> <p>後期予定</p> <p>第 1回 Vocabulary Unit 11&12 / Grammar / Practice Test 2, Part 4</p> <p>第 2回 Vocabulary Unit 13&14 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第 3回 Vocabulary Review Unit 11-14 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第 4回 Vocabulary Unit 15&16 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第 5回 Vocabulary Unit 17&18 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第 6回 Vocabulary Review Unit 15-18 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第 7回 Vocabulary Unit 19&20 / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第 8回 Vocabulary Review Unit 16-20 / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第 9回 Vocabulary Review Unit 11-15 / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第10回 Vocabulary Review / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第11回 Vocabulary / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第12回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review</p> <p>第13回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review</p> <p>第14回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review</p> <p>第15回 Final Exam</p>

教科書	1) Longman Preparation Series for the New TOEIC Test: More Practice Test 4th Edition / Lin Loughheed / Pearson Longman 2) TOEIC Vocabulary Practice: For Attaining 600 in TOEIC / 石田・入江他 / 英宝社
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	休まず出席すること。 課題をしっかりとこなすこと。 楽しむために授業に積極的に参加すること。 より高い点を獲得することをモチベーションにすることで脳はよい刺激を受けていい結果を生みます。 がんばってください！

授業コード	L1505		
授業科目名	中級英語TOEIC (5クラス)PI		
担当者名	坂本晴美(サカモト ハルミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高めます。
準備学習	単語を調べ予習復習をしっかりとる
成績評価	原則出席。出席率70%をキープすること。70%を下回るとテストの採点をしません。 TOEIC タイプ テスト 100点 x 3回 単語・熟語テスト 50点 x6 回
講義構成	予定 (前期) 第 1回 クラス編成の為に各自自主学習 第 2回 Introduction, Listening preview 第 3回 Reading preview(1)

- 第 4回 Reading preview(2)
- 第 5回 Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 6回 単語・熟語テスト
Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 7回 Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 8回 Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 9回 Part 2 会話応答問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第10回 単語・熟語テスト
Part 2 会話応答問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第11回 Part 2 会話応答問題
Part 6 穴埋め問題
- 第12回 Part 2 会話応答問題
Part 6 穴埋め問題
- 第13回 Part 2 会話応答問題
Part 6 穴埋め問題
- 第14回 Part 6 穴埋め問題
単語・熟語テスト
- 第15回 前期テスト(TOEIC タイプテスト)
(後期)
- 第16回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第17回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第18回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第19回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第20回 単語・熟語テスト
Part 3 会話問題
- 第21回 Part 4 アナウンス問題
Part 7 読解問題
- 第22回 Part 4 アナウンス問題
Part 7 読解問題
- 第23回 Part 4 アナウンス問題
Part 7 読解問題

	<p>第24回 単語・熟語テスト Part 4 アナウンス問題</p> <p>第25回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第26回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第27回 復習</p> <p>第28回 単語・熟語テスト 復習</p> <p>第29回 後期テスト(TOEICタイプテスト) 復習</p> <p>第30回 後期テスト(総合テスト。TOEICタイプテスト)</p>
教科書	LONGMAN PREPARATION SERIES FOR THE NEW TOEIC TEST Introductory Course 4th Edition By Pearson Longman
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>出席は不可欠です。必ず70%以上は出席してください。</p> <p>自分の出席率、テストの点数などは自分で管理してください。「何回休みましたか?」「今までの合計点は何点ですか」などの質問には答えられません。</p>

授業コード	L1506		
授業科目名	中級英語TOEIC (6クラス)IM		
担当者名	神谷久美子(ミタニ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes

	<ul style="list-style-type: none"> • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<p>主として、以下のTOEICの2セッションについて講義・指導する。</p> <p>1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 教材を録音したMD/テープをクラス内や、自主学習で繰り返し聞く。また、それを使って問題を解く。repeating・shadowingなど発話練習をしてリスニング力の向上を目指す。</p> <p>2. Reading Comprehension(文法と読解力) 基礎的な文法の知識の習得度を練習問題を解きながら確認する。またインターネットを使って、英字新聞やその他英語で書かれた情報を取り出しskimmingやscanningの訓練をする。</p>
準備学習	<p>12月に実施される学内のカレッジTOEICで高得点の獲得を目指して、膨大な学習量を消化するため、課題をたくさんこなす必要があります。授業に欠席しないこと、予習・復習をすることが大切です。そのほかにも自分の弱点強化のため、コンスタントにコツコツやること。一夜漬けの学習法は役に立ちません。また自分なりに楽しめる学習方法を見つけることも大切です。たとえば英語のリスニング力を強化するために、洋楽のポップスを聴いたり、洋画を日本語字幕なしで観たりすると、気付かないうちに上達します。</p>
成績評価	<p>Exams & Quizzes: 70%</p> <p>Others(Preparation, Homework, Attitudes): 30%</p>
講義構成	<p>前期予定</p> <p>第1回 クラス編成のため各自自主学習(2010年4月6日～12日)</p> <p>第2回 Course Description & Self-introduction</p> <p>第3回 Vocabulary Unit 1 / Grammar / Practice Test 1, Part 1</p> <p>第4回 Vocabulary Unit 2/ Grammar / Practice Test 1, Part 2</p> <p>第5回 Vocabulary Unit 3 / Grammar / Practice Test 1, Part 3</p> <p>第6回 Vocabulary Unit 4 / Grammar / Practice Test 1, Part 4</p> <p>第7回 Vocabulary Unit 5/ Grammar / Practice Test 1, Part 5</p> <p>第8回 Vocabulary Review Unit 1-5 / Grammar / Practice Test 1, Part 6</p> <p>第9回 Vocabulary Unit 6 / Grammar / Practice Test, 1, Part 7</p> <p>第10回 Vocabulary Unit 7 / Grammar / Practice Test 1, Part 7</p> <p>第11回 Vocabulary Unit 8 / Grammar / Practice Test 2, Part 1</p> <p>第12回 Vocabulary Unit 9 / Grammar / Practice Test 2, Part 2</p> <p>第13回 Vocabulary Unit 10 / Grammar / Practice Test 2, Part 3</p> <p>第14回 Vocabulary Review Unit 6-10 / Grammar / Practice Test</p> <p>第15回 Final Exam</p> <p>後期予定</p> <p>第1回 Vocabulary Unit 11&12 / Grammar / Practice Test 2, Part 4</p> <p>第2回 Vocabulary Unit 13&14 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第3回 Vocabulary Review Unit 11-14 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第4回 Vocabulary Unit 15&16 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第5回 Vocabulary Unit 17&18 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第6回 Vocabulary Review Unit 15-18 / Grammar / Practice Test 3</p> <p>第7回 Vocabulary Unit 19&20 / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第8回 Vocabulary Review Unit 16-20 / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第9回 Vocabulary Review Unit 11-15 / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第10回 Vocabulary Review / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第11回 Vocabulary / Grammar / Practice Test 4</p> <p>第12回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review</p> <p>第13回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review</p> <p>第14回 Vocabulary / Grammar / Practice Test Review</p> <p>第15回 Final Exam</p>
教科書	<p>1) Longman Preparation Series for the New TOEIC Test: More Practice Test 4th Edition / Lin Loughheed / Pearson Longman</p> <p>2) TOEIC Vocabulary Practice: For Attaining 600 in TOEIC / 石田・入江他 / 英宝社</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>

担当者から一言	休まず出席すること。 課題をしっかりとこなすこと。 楽しむために授業に積極的に参加すること。 より高い点を獲得することをモチベーションにすることで脳はよい刺激を受けていい結果を生みます。 がんばってください！
---------	--

授業コード	L1507		
授業科目名	中級英語TOEIC (7クラス)AV		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	Vocabularyのテキストから毎週20個の単語を学ぶ。前期は文法とReadingを中心に練習問題を通してTOEICのReading Section Part 5–7に慣れる。後期はリスニングに焦点を合わせてTOEIC Part 1–4に慣れる。前期も後期もレポートと宿題を通して、ReadingとListeningの力をつける。
準備学習	毎週、Vocabularyの教科書から20の単語を予習しておく。授業でやったテキストの部分を復習する。
成績評価	成績評価: (1)小テスト60% (2)課題 20% (3)出席点10%、(4)授業への参加10%(毎週のアサメント以外の宿題を含む)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日) 第2回 Orientation TOEIC 第3回 TOEIC PART V 第4回 TOEIC PART V 第5回 TOEIC PART V 第6回 TOEIC PART V 第7回 Quiz #1 Part VI 第8回 TOEIC Part VI 第9回 TOEIC Part VI 第10回 Quiz #2 Listening Activity 第11回 TOEIC Part VII 第12回 TOEIC Part VII 第13回 TOEIC Part VII 第14回 Quiz #3 Listening Activity (後期) 第15回 Listening Part I 第16回 Listening Part I 第17回 Listening Part I 第18回 Quiz #4 Listening Activity

	第19回 Listening Part II 第20回 Listening Part II 第21回 Listening Part III 第22回 Listening Part III 第23回 Quiz#5 Listening Activity 第24回 Listening Part IV 第25回 Listening Part IV 第26回 Listening Part IV 第27回 Review 第28回 Quiz#6 Listening Activity
教科書	Longman- Preparation Series for the TOEIC Test (Intermediate Course) TOEIC Vocabulary Practice (英宝社)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	このクラスを取ることにによりTOEICがどのようなものかよくわかるようになります。予習、レポートなど、忙しいクラスですが、確実に実力はつきます。よく生徒たちから「しんどい！」と言われますが、このクラスを取る生徒たちは、この10年間甲南大学のTOEIC平均点をいつも大きく上回っています。本気で英語を勉強したい生徒たちのためのクラスです。

授業コード	L1508		
授業科目名	中級英語TOEIC (8クラス)PI		
担当者名	坂本晴美(サカモト ハルミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜5限)、後期(月曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高めます。
準備学習	単語を調べ予習復習をしっかりとる
成績評価	原則出席。出席率70%をキープすること。70%を下回るとテストの採点をしません。 TOEIC タイプ テスト 100点 x 3回 単語・熟語テスト 50点 x6 回
講義構成	予定 (前期)

- 第 1回 クラス編成の為に各自自主学习
- 第 2回 Introduction, Listening preview
- 第 3回 Reading preview(1)
- 第 4回 Reading preview(2)
- 第 5回 Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 6回 単語・熟語テスト
Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 7回 Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 8回 Part 1 写真描写問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第 9回 Part 2 会話応答問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第10回 単語・熟語テスト
Part 2 会話応答問題
Part 5 文法 穴埋め問題
- 第11回 Part 2 会話応答問題
Part 6 穴埋め問題
- 第12回 Part 2 会話応答問題
Part 6 穴埋め問題
- 第13回 Part 2 会話応答問題
Part 6 穴埋め問題
- 第14回 Part 6 穴埋め問題
単語・熟語テスト
- 第15回 前期テスト(TOEIC タイプテスト)
(後期)
- 第16回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第17回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第18回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第19回 Part 3 会話問題
Part 6 穴埋め問題
- 第20回 単語・熟語テスト
Part 3 会話問題
- 第21回 Part 4 アナウンス問題
Part 7 読解問題
- 第22回 Part 4 アナウンス問題

	<p>Part 7 読解問題</p> <p>第23回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第24回 単語・熟語テスト Part 4 アナウンス問題</p> <p>第25回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第26回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第27回 復習</p> <p>第28回 単語・熟語テスト 復習</p> <p>第29回 後期テスト(TOEICタイプテスト) 復習</p> <p>第30回 後期テスト(総合テスト。TOEICタイプテスト)</p>
教科書	<p>LONGMAN PREPARATION SERIES FOR THE NEW TOEIC TEST Introductory Course 4th Edition By Pearson Longman</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>出席は不可欠です。必ず70%以上は出席してください。</p> <p>自分の出席率、テストの点数などは自分で管理してください。「何回休みましたか?」「今までの合計点は何点ですか」などの質問には答えられません。</p>

授業コード	L1509		
授業科目名	中級英語TOEIC (9クラス)PI		
担当者名	塩澤真由美(シオザワ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class

	<ul style="list-style-type: none"> regularly take practice TOEIC tests learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes learn how to use their time efficiently and effectively 		
講義方法	毎回の講義で主にテキストの問題を行うことにより、TOEIC形式に慣れるとともに解答、解説を通して、リスニング、文法、リーディング等の重要ポイントをおさえながら総合的に英語力の向上をめざします。		
準備学習	毎回レッスン時に課題を出します。しっかりその課題を消化してレッスンに参加してください。リスニング課題は各自CDを聴いて行うことになります。		
成績評価	<p>評価は以下の割合で行います。</p> <p>1. 出席 40% 2. 提出物 10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)</p> <p>3. 宿題 20% 4. 復習クイズ 10%</p> <p>5. カレッジTOEIC 20% (12月頃)</p> <p>年間を通じて欠席は5回まで。遅刻は3回で欠席1回の扱いとします。</p>		
講義構成	<p>講義構成(予定)</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編成の為に各自自主学习</p> <p>第 2回 コースアウトライン リスニングテスト</p> <p>第 3回 Unit 1 ①</p> <p>第 4回 Unit 1 ②</p> <p>第 5回 Unit 2 ①</p> <p>第 6回 Unit 2 ②</p> <p>第 7回 Unit 3 ①</p> <p>第 8回 Unit 3 ②</p> <p>第 9回 Unit 4 ①</p> <p>第10回 Unit 4 ②</p> <p>第11回 Unit 5 ①</p> <p>第12回 Unit 5 ②</p> <p>第13回 Unit 6 ①</p> <p>第14回 Unit 6 ②</p> <p>第15回</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <p>(後期)</p> <p>第16回 復習</p> <p>第17回 Unit 7 ①</p> <p>第18回 Unit 7 ②</p> <p>第19回 Unit 8 ①</p> <p>第20回 Unit 8 ②</p> <p>第21回 Unit 9 ①</p> <p>第22回 Unit 9 ②</p> <p>第23回 Unit 10 ①</p> <p>第24回 Unit 10 ②</p> <p>第25回 Unit 11 ①</p> <p>第26回 Unit 11 ②</p> <p>第27回 Unit 12 ①</p> <p>第28回 Unit 12 ②</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回</p> </td> </tr> </table> <p>* 上記の各Unitの①はテキストのVocabulary, Word Pairs, Listeningのセクションを示し ②はReadingのセクションを表します。</p>	<p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編成の為に各自自主学习</p> <p>第 2回 コースアウトライン リスニングテスト</p> <p>第 3回 Unit 1 ①</p> <p>第 4回 Unit 1 ②</p> <p>第 5回 Unit 2 ①</p> <p>第 6回 Unit 2 ②</p> <p>第 7回 Unit 3 ①</p> <p>第 8回 Unit 3 ②</p> <p>第 9回 Unit 4 ①</p> <p>第10回 Unit 4 ②</p> <p>第11回 Unit 5 ①</p> <p>第12回 Unit 5 ②</p> <p>第13回 Unit 6 ①</p> <p>第14回 Unit 6 ②</p> <p>第15回</p>	<p>(後期)</p> <p>第16回 復習</p> <p>第17回 Unit 7 ①</p> <p>第18回 Unit 7 ②</p> <p>第19回 Unit 8 ①</p> <p>第20回 Unit 8 ②</p> <p>第21回 Unit 9 ①</p> <p>第22回 Unit 9 ②</p> <p>第23回 Unit 10 ①</p> <p>第24回 Unit 10 ②</p> <p>第25回 Unit 11 ①</p> <p>第26回 Unit 11 ②</p> <p>第27回 Unit 12 ①</p> <p>第28回 Unit 12 ②</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回</p>
<p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編成の為に各自自主学习</p> <p>第 2回 コースアウトライン リスニングテスト</p> <p>第 3回 Unit 1 ①</p> <p>第 4回 Unit 1 ②</p> <p>第 5回 Unit 2 ①</p> <p>第 6回 Unit 2 ②</p> <p>第 7回 Unit 3 ①</p> <p>第 8回 Unit 3 ②</p> <p>第 9回 Unit 4 ①</p> <p>第10回 Unit 4 ②</p> <p>第11回 Unit 5 ①</p> <p>第12回 Unit 5 ②</p> <p>第13回 Unit 6 ①</p> <p>第14回 Unit 6 ②</p> <p>第15回</p>	<p>(後期)</p> <p>第16回 復習</p> <p>第17回 Unit 7 ①</p> <p>第18回 Unit 7 ②</p> <p>第19回 Unit 8 ①</p> <p>第20回 Unit 8 ②</p> <p>第21回 Unit 9 ①</p> <p>第22回 Unit 9 ②</p> <p>第23回 Unit 10 ①</p> <p>第24回 Unit 10 ②</p> <p>第25回 Unit 11 ①</p> <p>第26回 Unit 11 ②</p> <p>第27回 Unit 12 ①</p> <p>第28回 Unit 12 ②</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回</p>		
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test SEIBIDO * テキストは必ず必要です。		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.</p>		
担当者から一言	講義の最初にリスニング又は、復習クイズがあります。遅刻をしないように。		

授業コード	L1510		
授業科目名	中級英語TOEIC (10クラス)IM		
担当者名	塩澤真由美(シオザワ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.																																
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively 																																
講義方法	毎回の講義で主にテキストの問題を行うことにより、TOEIC形式に慣れるとともに解答、解説を通して、リスニング、文法、リーディング等の重要ポイントをおさえながら総合的に英語力の向上をめざします。																																
準備学習	毎回レッスン内で次週までの課題を出します。必ずその課題を消化した上でレッスンに参加してください。																																
成績評価	評価は以下の割合で行います。 <p>1. 出席 40% 2. 提出物 10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)</p> <p>3. 宿題 20% 4. 復習クイズ 10%</p> <p>5. カレッジTOEIC 20% (12月頃)</p> <p>欠席は年間を通じて5回まで。遅刻は3回で欠席1回扱いとします。</p>																																
講義構成	主として毎講義にリスニング、文法、リーディング別に問題を行いますが、前期は比較的リスニングに重点をおきます。ほぼ毎回復習クイズ及び家庭学習課題があります。 <p>講義構成(予定)</p> <table border="0"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>第 1回 クラス構成の為に各自自己学習</td> <td>第16回 復習</td> </tr> <tr> <td>第 2回 コースアウトライン リスニングテスト</td> <td>第17回 Practice Test 3 ①</td> </tr> <tr> <td>第 3回 Pracrice Test 1 ①</td> <td>第18回 Practice Test 3 ②</td> </tr> <tr> <td>第 4回 Practice Test 1 ②</td> <td>第19回 Practice Test 3 ③</td> </tr> <tr> <td>第 5回 Practice Test 1 ③</td> <td>第20回 Practice Test 3 ④</td> </tr> <tr> <td>第 6回 Practice Test 1 ④</td> <td>第21回 Practice Test 3 ⑤</td> </tr> <tr> <td>第 7回 Practice Test 1 ⑤</td> <td>第22回 Practice Test 3 復習</td> </tr> <tr> <td>第 8回 Practice Test 1 復習</td> <td>第23回 Practice Test 4 ①</td> </tr> <tr> <td>第 9回 Practice Test 2 ①</td> <td>第24回 Practice Test 4 ②</td> </tr> <tr> <td>第10回 Practice Test 2 ②</td> <td>第25回 Practice Test 4 ③</td> </tr> <tr> <td>第11回 Practice Test 2 ③</td> <td>第26回 Practice Test 4 ④</td> </tr> <tr> <td>第12回 Practice Test 2 ④</td> <td>第27回 Practice Test 4 ⑤</td> </tr> <tr> <td>第13回 Practice Test 2 ⑤</td> <td>第28回 Practice Test 4 復習</td> </tr> <tr> <td>第14回 Practice Test 2 復習</td> <td>第29回 総合復習</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>第30回</td> </tr> </table> <p>* 上記の各Practice Testの①②③④は以下の通りです。(テキスト参照)</p> <p>① Part 1 と Part 5 前半</p> <p>② Part 2 と Part 5 後半</p> <p>③ Part 3 前半 と Part 6</p> <p>④ Part 3 後半 と Part 7 前半</p> <p>⑤ Part 4 と Part 7 後半</p>	前期	後期	第 1回 クラス構成の為に各自自己学習	第16回 復習	第 2回 コースアウトライン リスニングテスト	第17回 Practice Test 3 ①	第 3回 Pracrice Test 1 ①	第18回 Practice Test 3 ②	第 4回 Practice Test 1 ②	第19回 Practice Test 3 ③	第 5回 Practice Test 1 ③	第20回 Practice Test 3 ④	第 6回 Practice Test 1 ④	第21回 Practice Test 3 ⑤	第 7回 Practice Test 1 ⑤	第22回 Practice Test 3 復習	第 8回 Practice Test 1 復習	第23回 Practice Test 4 ①	第 9回 Practice Test 2 ①	第24回 Practice Test 4 ②	第10回 Practice Test 2 ②	第25回 Practice Test 4 ③	第11回 Practice Test 2 ③	第26回 Practice Test 4 ④	第12回 Practice Test 2 ④	第27回 Practice Test 4 ⑤	第13回 Practice Test 2 ⑤	第28回 Practice Test 4 復習	第14回 Practice Test 2 復習	第29回 総合復習	第15回	第30回
前期	後期																																
第 1回 クラス構成の為に各自自己学習	第16回 復習																																
第 2回 コースアウトライン リスニングテスト	第17回 Practice Test 3 ①																																
第 3回 Pracrice Test 1 ①	第18回 Practice Test 3 ②																																
第 4回 Practice Test 1 ②	第19回 Practice Test 3 ③																																
第 5回 Practice Test 1 ③	第20回 Practice Test 3 ④																																
第 6回 Practice Test 1 ④	第21回 Practice Test 3 ⑤																																
第 7回 Practice Test 1 ⑤	第22回 Practice Test 3 復習																																
第 8回 Practice Test 1 復習	第23回 Practice Test 4 ①																																
第 9回 Practice Test 2 ①	第24回 Practice Test 4 ②																																
第10回 Practice Test 2 ②	第25回 Practice Test 4 ③																																
第11回 Practice Test 2 ③	第26回 Practice Test 4 ④																																
第12回 Practice Test 2 ④	第27回 Practice Test 4 ⑤																																
第13回 Practice Test 2 ⑤	第28回 Practice Test 4 復習																																
第14回 Practice Test 2 復習	第29回 総合復習																																
第15回	第30回																																
教科書	Longman Preparation Series for the New TOEIC Test More Practice Tests Longman *テキストは必ず必要です。																																
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not																																

	completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

担当者から一言	講義の最初にリスニング又は、復習クイズがあります。遅刻をしないように。
---------	-------------------------------------

授業コード	L1511		
授業科目名	中級英語TOEIC (11クラス)PI		
担当者名	山本路恵(ヤマモト ミチエ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.										
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively 										
講義方法	一年間でTOEIC試験で取り上げられやすい分野の英語表現と、コミュニケーション能力を向上させるために必要な課題を、15の Unit に分けて学習します。それぞれのUnit は、前半部分がリスニング力を養成するためのセクション、後半部分は読解力を養成するためのセクションで構成されています。授業では一つのUnit を2回の授業で学習してゆきます。前半の「リスニング」を1回目の授業で学習し、2回目の授業で後半の「読解力養成」の学習をします。「リスニング」では、特に語彙をしっかり覚え、聞き取る力を養成します。「読解力養成」では、速読・スキミング等のスキルや、基礎的な文法の運用を学習しながら、より早く正確に英文を理解することを目指します。										
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。授業で読む内容に目を通し、わからない単語を調べて授業に臨むことが望ましい。										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">定期試験(前期・後期2回)</td> <td style="text-align: right;">60%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table> <p>(授業中の私語、いねむり、教科書忘れ等は厳しく減点する。) (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を越える場合、評価は「欠席」とする。)</p>			定期試験(前期・後期2回)	60%	小テスト	20%	課題・レポート	10%	授業への参加態度	10%
定期試験(前期・後期2回)	60%										
小テスト	20%										
課題・レポート	10%										
授業への参加態度	10%										
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが、不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日)</p> <p>第 2回 Unit 1 “Arts & Amusement” 一音の変化に気をつけよう(1) – 「音の脱落」の学習</p> <p>第 3回 「名詞&代名詞」の学習</p> <p>第 4回 “Lunch & Parties” 一音の変化に気をつけよう(2) – 「子音と母音の連結(1)」の学習</p> <p>第 5回 「形容詞&冠詞」の学習</p> <p>第 6回 “Medicine & Health” 一音の変化に気をつけよう(3) – 「子音と母音の連結(2)」の学習 「副詞」の学習</p> <p>第 7回 “Traffic & Travel” 一音の変化に気をつけよう(4) – 「音の混合」の学習</p> <p>第 8回 「比較級」の学習</p> <p>第 9回 “Ordering & Shipping” 一音の変化に気をつけよう(5) – 「t 音の変化」の学習</p> <p>第10回 「動詞&時制」の学習</p>										

	第11回 “Factories & Production” —いろいろな数字に慣れよう 第12回 「未来表現など」の学習 第13回 “Research & Development” —カタカナ英語との発音の違いを知ろう 第14回 「主語と動詞の呼応&時制の一致」の学習 第15回 前期試験 第16回 “Computers & Technology” —トピックが何なのかを理解しよう 第17回 「能動態&受動態」の学習 第18回 “Employment & Promotions” —話の流れに注意を向けよう 第19回 「不定詞&動名詞」の学習 第20回 “Advertisements & Personnel” —場面をイメージしよう 第21回 「分詞」の学習 第22回 “Telephone & Messages” —英語の話の展開の特徴を知ろう 第23回 「助動詞」の学習 第24回 “Banking & Finance” —すべての語句を聞き取ろうとしない 「接続詞」の学習 第25回 “Office Work & Equipment” —くり返し出てくる語句に注意しよう 第26回 「関係代名詞」& 「関係副詞」の学習 第27回 “Housing & Properties” —頭の中で日本語に訳さない 「前置詞」の学習 第28回 “Business & Management” —最後まであきらめないで聞こう 第29回 「条件文など」の学習 第30回 後期試験
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test(成美堂)
参考書・資料	文法の参考書(これまで使用してきた文法書を、必要に応じて各自で参照すること)。語彙を増やすための参考書(授業中に指示する)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center’s Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	英語のリスニングの基礎的な訓練と、基本的な文法事項などを再確認することによって、総合的な英語運用力を高めるクラスです。少しずつ努力を重ねて、実用的な英語を身につけましょう。

授業コード	L1512		
授業科目名	中級英語TOEIC (12クラス)AV		
担当者名	津田信男(ツダ ノブオ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday 2:00-3:00 p.m. Thursday 2:00-3:00 p.m. (also by appointment)		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class

	<ul style="list-style-type: none"> regularly take practice TOEIC tests learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高める。練習問題を通して自信を養うと共に、受験者が犯しやすいミスや試験時間の効率的な使い方も合わせて指導する。
準備学習	前回の授業の学習を復習する。宿題・課題がある場合はそれを行う。小テストがある場合、教科書を復習し、プリント教材をよく読んで準備する。
成績評価	宿題 7% 小テスト（前期6回 後期6回） 75%（1回の小テストは、20分程度。この小テストの内容は、クラスで学んだ教科書の内容、プリント教材とリーディングのプリント。） TOEIC模擬テスト（前期1回、後期1回） 7% 読書レポート11%（前期1回、後期1回）
講義構成	<p>前期</p> <p>第1回 クラス編成のため各自自主学习（4月6日～12日）</p> <p>第2回 Introduction Part 5</p> <p>第3回 Part 1</p> <p>第4回 Part 3</p> <p>第5回 Part 4</p> <p>第6回 Part 6</p> <p>第7回 Part 1 & 5</p> <p>第8回 Part 1 & 5</p> <p>第9回 Part 2 & 6</p> <p>第10回 Part 2, 5 & 7</p> <p>第11回 Part 3</p> <p>第12回 Part 3 & 5</p> <p>第13回 Part 4</p> <p>第14回 Review</p> <p>後期</p> <p>第1回 Part 5</p> <p>第2回 Part 1 & 7</p> <p>第3回 Part 2 & Part 6</p> <p>第4回 Part 5</p> <p>第5回 Part 3</p> <p>第6回 Part 7</p> <p>第7回 Part 6</p> <p>第8回 Part 4</p> <p>第9回 Part 3</p> <p>第10回 Part 7</p> <p>第11回 Part 4</p> <p>第12回 Part 7</p> <p>第13回 Part 2</p> <p>第14回 Part 1 & 6</p>
教科書	Complete Guide to the TOEIC Test (Cengage)
参考書・資料	MacMillan Readers Level 5, TOEIC Test ベストプラスマガジン(模擬テスト用)、Reader's Digest
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Good grades are not given by the teacher. They are earned by the students.
その他	E-mail: nobuo@konan-u.ac.jp 詳しいスケジュール、小テスト、レポート等の期限については、1回目の授業で資料を配布する。

授業コード	L1513		
授業科目名	中級英語TOEIC (13クラス)AV		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 • 毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 • リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。 • 教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 以上を課題として出し、成績の一部とする。
成績評価	10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む) 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない
講義構成	[予定] * 単語の解説に時間がかかって、予定がずれていく可能性があります * 第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバスの確認 英語での自己紹介 プリントによる授業 第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Preview TestとExercise 1.1 Reading—Part 5 Preview Test 第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.2 Questions 1-7 Reading—Part 6 Preview Test 第 5回 単語—プリントL. 11 小テストの返却と解説・プリントL.12 意味の確認 Listening—Exercise 1.2 Questions 8-15 Reading—Part 7 Preview Test Questions 9-12 第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.3 Reading—Part 5 Exercise 5.1 第 7回 単語—プリントL. 12 小テストの返却と解説 Listening—Part 1 Exercise 1.4

	<p>Reading—Part 6 Exercise 6.1</p> <p>第 8回 単語—プリントL. 13 意味の確認</p> <p>Listening—Part 1 Review Test Questions 1–5</p> <p>Reading—Part 7 Exercise 7.1</p> <p>¥ Part 5 Exercise5.1 宿題</p> <p>第 9回 単語—プリントL. 13 小テスト</p> <p>Listening—Part 1 Review Test Questions 6–10</p> <p>Reading—Part 5 Exercise5.1 宿題の確認</p> <p>第10回 単語—プリントL.13 小テストの返却と解説・プリントL.14意味の確認</p> <p>Listening—Part 2 Preview Test Questions 1–6</p> <p>Reading—Part 6 Exercise 6.1 Questions 1–9</p> <p>第11回 単語—プリントL. 14 小テスト</p> <p>Listening—Part 2 Preview Test Questions 7–12</p> <p>Reading—Part 7 Preview Test Questions 13–19</p> <p>第12回 単語—プリントL. 15 意味の確認</p> <p>Listening—Part 2 Exercise 2.1</p> <p>Reading—Part 5 Exercise 5.5</p> <p>以降、第3回から第8回の流れで続けていく</p>
教科書	<p>Complete Guide to the TOEIC Test</p> <p>著者: Bruce Rogers</p> <p>出版社: CENGAGE Learning</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えます。</p> <p>週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。</p>

授業コード	L1514		
授業科目名	中級英語TOEIC (14クラス)IM		
担当者名	山本路恵(ヤマモト ミチエ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively

講義方法	一年間でTOEIC試験で取り上げられやすい分野の英語表現と、コミュニケーション能力を向上させるために必要な課題を、15のUnitに分けて学習します。それぞれのUnitは、前半部分がリスニング力を養成するためのセクション、後半部分は読解力を養成するためのセクションで構成されています。授業では一つのUnitを2回の授業で学習してゆきます。前半の「リスニング」を1回目の授業で学習し、2回目の授業で後半の「読解力養成」の学習をします。「リスニング」では、特に語彙をしっかり覚え、聞き取る力を養成します。「読解力養成」では、速読・スキミング等のスキルや、基礎的な文法の運用を学習しながら、より早く正確に英文を理解することを目指します。								
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。授業で読む内容に目を通し、わからない単語を調べて授業に臨むことが望ましい。								
成績評価	<table border="0"> <tr> <td>定期試験の成績(前期・後期2回)</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>課題・レポート</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td>10%</td> </tr> </table> <p>(授業中の私語、いねむり、教科書忘れ等は厳しく減点する。) (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>	定期試験の成績(前期・後期2回)	60%	小テスト	20%	課題・レポート	10%	授業への参加態度	10%
定期試験の成績(前期・後期2回)	60%								
小テスト	20%								
課題・レポート	10%								
授業への参加態度	10%								
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが、不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 Unit 1 "Arts & Amusement" 一音の変化に気をつけよう(1) - 「音の脱落」の学習</p> <p>第3回 「名詞&代名詞」の学習</p> <p>第4回 "Lunch & Parties" 一音の変化に気をつけよう(2) - 「子音と母音の連結(1)」の学習</p> <p>第5回 「形容詞&冠詞」の学習</p> <p>第6回 "Medicine & Health" 一音の変化に気をつけよう(3) - 「子音と母音の連結(2)」の学習 「副詞」の学習</p> <p>第7回 "Traffic & Travel" 一音の変化に気をつけよう(4) - 「音の混合」の学習</p> <p>第8回 「比較級」の学習</p> <p>第9回 "Ordering & Shipping" 一音の変化に気をつけよう(5) - 「t音の変化」の学習</p> <p>第10回 「動詞&時制」の学習</p> <p>第11回 "Factories & Production" - いろいろな数字に慣れよう</p> <p>第12回 「未来表現など」の学習</p> <p>第13回 "Research & Development" - カタカナ英語との発音の違いを知ろう</p> <p>第14回 「主語と動詞の呼応&時制の一致」の学習</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 "Computers & Technology" - トピックが何なのかを理解しよう</p> <p>第17回 「能動態&受動態」の学習</p> <p>第18回 "Employment & Promotions" - 話の流れに注意を向けよう</p> <p>第19回 「不定詞&動名詞」の学習</p> <p>第20回 "Advertisements & Personnel" - 場面をイメージしよう</p> <p>第21回 「分詞」の学習</p> <p>第22回 "Telephone & Messages" - 英語の話の展開の特徴を知ろう</p> <p>第23回 「助動詞」の学習</p> <p>第24回 "Banking & Finance" - すべての語句を聞き取ろうとしない 「接続詞」の学習</p> <p>第25回 "Office Work & Equipment" - くり返し出てくる語句に注意しよう</p> <p>第26回 「関係代名詞」& 「関係副詞」の学習</p> <p>第27回 "Housing & Properties" - 頭の中で日本語に訳さない 「前置詞」の学習</p> <p>第28回 "Business & Management" - 最後まであきらめないで聞こう</p> <p>第29回 「条件文など」の学習</p> <p>第30回 後期試験</p>								
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test(成美堂)								
参考書・資料	文法の参考書(これまで使用してきた文法書を、必要に応じて各自で参照すること)。語彙を増やすための参考書(授業中に指示する)								
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.								

	Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	英語のリスニングの基礎的な訓練と、基本的な文法事項などを再確認することによって、総合的な英語運用力を高めるクラスです。少しずつ努力を重ねて、実用的な英語を身につけましょう。

授業コード	L1515		
授業科目名	中級英語TOEIC (15クラス)IM		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)、吉田佳代(ヨシダ カヨ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火5限、水・木3限		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	Most of the lessons will cover grammar, reading and listening questions with Mini-TOEIC style. At the beginning of each class, vocabulary check test for the unit will be given.
準備学習	1) Prepare for vocabulary check tests 2) Answer the questions in Part 5 (Incomplete Sentences) and Part 6 (Text Completion)
成績評価	1) Review Test 1 & 2 (50%) 2) Vocabulary Check Test (20%) 3) Participation, Assignments & Homework (30%) (* 欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	1st semester Class 1: クラス編成のため各自自習学習(2010年4月6日－12日) Class 2: Unit 1 Arts & Amusement Class 3: Unit 2 Lunch & Parties Class 4: Unit 3 Medicine & Health Class 5: 公式問題 Part 1 Class 6: Mock Test 1 (模擬テスト&解説) Class 7: Unit 4 Traffic & Travel Class 8: Unit 5 Ordering & Shopping Class 9: Unit 6 Factories & Production Class 10: 公式問題 Part 2 Class 11: Mock Test 2 (模擬テスト&解説) Class 12: Unit 7 Research & Development Class 13: Unit 8 Computer & Technology Class 14: REVIEW TEST 1 2nd semester Class 1: Unit 9 Employment & Promotions Class 2: Unit 10 Advertisements & Personnel

	Class 3: 公式問題 Part 2 Class 4: Mock Test 3 (模擬テスト&解説) Class 5: Unit 11 Telephone & Messages Class 6: Unit 12 Banking & Finance Class 7: 公式問題 Part 3 Class 8: Unit 13 Office Work & Equipment Class 9: Unit 14 Housing & Properties Class 10: Mock Test 4 (模擬テスト&解説) Class 11: Unit 15 Business & Management Class 12: 公式問題 Part 4 Class 13: 公式問題 Part 5&6 Class 14: REVIEW TEST 2
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test (成美堂) 大須賀直子、他
参考書・資料	Necessary materials are provided in the class.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	毎回ミニ・TOEIC形式の問題を通して、テストの形式に慣れつつリスニング力・語彙力を伸ばしていきます。時には、公式問題やマークシートを使った模試も実施して、自分の実力を確認してもらいますので、目標スコアを設定し、自主的に授業時間以外にでも継続的に学習することをおすすめします！
その他	授業の最初に10分程度、各UNITに関するボキャブラリー・テストを行いますので、前もって学習してきてください。この小テストに間に合わなければ、遅刻とみなします。

授業コード	L1516		
授業科目名	中級英語TOEIC (16クラス)AV		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 • 毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 • リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	• TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。

	・教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 以上を課題として出し、成績の一部とする。
成績評価	10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む) 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない
講義構成	[予定] 第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバスの確認 英語での自己紹介 プリント 第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Preview TestとExercise 1.1 Reading—Part 5 Preview Test 第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.2 Reading—Part 6 Preview Test 第 5回 単語—プリントL.12 意味の確認 Listening—Exercise 1.3 Reading—Part 7 Preview Test 第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.4 Reading—Part 5 Exercise 5.1 第 7回 単語—プリントL. 13 意味の確認 Listening—Part 1 Review Test Reading—Part 6 Exercise 6.1 第 8回 単語—プリントL. 13 小テスト Listening—Part 2 Preview Reading—Part 7 Exercise 7.1 以降、第3回から第8回の流れで続けていく
教科書	Complete Guide to the TOEIC Test 著者:Bruce Rogers 出版社:CENGAGE Learning
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えます。 週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。

授業コード	L1517		
授業科目名	中級英語TOEIC (17クラス)PI		
担当者名	塩澤真由美(シオザワ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。												
講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.												
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively 												
講義方法	毎回の講義で主にテキストの問題を行うことにより、TOEIC形式に慣れるとともに解答、解説を通して、リスニング、文法、リーディング等の重要ポイントをおさえながら総合的に英語力の向上をめざします。												
準備学習	毎回レッスン時に課題を出します。しっかりその課題を消化してレッスンに参加してください。リスニング課題は各自CDを聴いて行うこととなります。												
成績評価	評価は以下の割合で行います。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 出席</td> <td style="width: 25%;">40%</td> <td style="width: 25%;">2. 提出物</td> <td style="width: 25%;">10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)</td> </tr> <tr> <td>3. 宿題</td> <td>20%</td> <td>4. 復習クイズ</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>5. カレッジTOEIC</td> <td>20% (12月頃)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>年間を通じて欠席は5回まで。遅刻は3回で欠席1回の扱いとします。</p>	1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)	3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%	5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)		
1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)										
3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%										
5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)												
講義構成	講義構成(予定) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (前期) 第 1回 クラス編成の為に各自自主学習 第 2回 コースアウトライン リスニングテスト 第 3回 Unit 1 ① 第 4回 Unit 1 ② 第 5回 Unit 2 ① 第 6回 Unit 2 ② 第 7回 Unit 3 ① 第 8回 Unit 3 ② 第 9回 Unit 4 ① 第10回 Unit 4 ② 第11回 Unit 5 ① 第12回 Unit 5 ② 第13回 Unit 6 ① 第14回 Unit 6 ② 第15回 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (後期) 第16回 復習 第17回 Unit 7 ① 第18回 Unit 7 ② 第19回 Unit 8 ① 第20回 Unit 8 ② 第21回 Unit 9 ① 第22回 Unit 9 ② 第23回 Unit 10 ① 第24回 Unit 10 ② 第25回 Unit 11 ① 第26回 Unit 11 ② 第27回 Unit 12 ① 第28回 Unit 12 ② 第29回 復習 第30回 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">* 上記の各Unitの①はテキストのVocabulary, Word Pairs, Listeningのセクションを示し ②はReadingのセクションを表します。</p>	(前期) 第 1回 クラス編成の為に各自自主学習 第 2回 コースアウトライン リスニングテスト 第 3回 Unit 1 ① 第 4回 Unit 1 ② 第 5回 Unit 2 ① 第 6回 Unit 2 ② 第 7回 Unit 3 ① 第 8回 Unit 3 ② 第 9回 Unit 4 ① 第10回 Unit 4 ② 第11回 Unit 5 ① 第12回 Unit 5 ② 第13回 Unit 6 ① 第14回 Unit 6 ② 第15回	(後期) 第16回 復習 第17回 Unit 7 ① 第18回 Unit 7 ② 第19回 Unit 8 ① 第20回 Unit 8 ② 第21回 Unit 9 ① 第22回 Unit 9 ② 第23回 Unit 10 ① 第24回 Unit 10 ② 第25回 Unit 11 ① 第26回 Unit 11 ② 第27回 Unit 12 ① 第28回 Unit 12 ② 第29回 復習 第30回										
(前期) 第 1回 クラス編成の為に各自自主学習 第 2回 コースアウトライン リスニングテスト 第 3回 Unit 1 ① 第 4回 Unit 1 ② 第 5回 Unit 2 ① 第 6回 Unit 2 ② 第 7回 Unit 3 ① 第 8回 Unit 3 ② 第 9回 Unit 4 ① 第10回 Unit 4 ② 第11回 Unit 5 ① 第12回 Unit 5 ② 第13回 Unit 6 ① 第14回 Unit 6 ② 第15回	(後期) 第16回 復習 第17回 Unit 7 ① 第18回 Unit 7 ② 第19回 Unit 8 ① 第20回 Unit 8 ② 第21回 Unit 9 ① 第22回 Unit 9 ② 第23回 Unit 10 ① 第24回 Unit 10 ② 第25回 Unit 11 ① 第26回 Unit 11 ② 第27回 Unit 12 ① 第28回 Unit 12 ② 第29回 復習 第30回												
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test SEIBIDO *テキストは必ず必要です。												
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.												
担当者から一言	講義の最初にリスニング又は、復習クイズがあります。遅刻をしないように。												

授業コード	L1518		
授業科目名	中級英語TOEIC (18クラス)IM		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(火曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	Vocabularyのテキストから毎週20個の単語を学ぶ。前期は文法とReadingを中心に練習問題を通してTOEICのReading Section Part 5–7に慣れる。後期はリスニングに焦点を合わせてTOEIC Part 1–4に慣れる。前期も後期もレポートと宿題を通して、ReadingとListeningの力をつける。
準備学習	毎週、Vocabularyの教科書から20の単語を予習しておく。授業でやったテキストの部分を復習する。
成績評価	成績評価:(1)小テスト60%(2)課題 20% (3)出席点10%、(4)授業への参加10%(毎週のアサイメント以外の宿題を含む)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月日から12日) 第 2回 Orientation TOEIC 第 3回 TOEIC PART V 第 4回 TOEIC PART V 第 5回 TOEIC PART V 第 6回 TOEIC PART V 第 7回 Quiz #1 PartVI 第 8回 TOEIC PartVI 第 9回 TOEIC PartVI 第10回 Quiz #2 Listening Activity 第11回 TOEIC PartVII 第12回 TOEIC PartVII 第13回 TOEIC PartVII 第14回 Quiz #3 Listening Activity (後期) 第15回 Listening Part I 第16回 Listening Part I 第17回 Listening Part I 第18回 Quiz #4 Listening Activity 第19回 Listening Part II 第20回 Listening Part II 第21回 Listening Part III 第22回 Listening Part III 第23回 Quiz#5 Listening Activity 第24回 Listening Part IV 第25回 Listening Part IV

	第26回 Listening Part IV 第27回 Review 第28回 Quiz#6 Listening Activity
教科書	Longman- Preparation Series for the TOEIC Test (Intermediate Course) TOEIC Vocabulary Practice (英宝社)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	このクラスを取るによりTOEICがどのようなものかよくわかるようになります。予習、レポートなど、忙しいクラスですが、確実に実力はつきます。よく生徒たちから「しんどい！」と言われるますが、このクラスを取る生徒たちは、この10年間甲南大学のTOEIC平均点をいつも大きく上回っています。本気で英語を勉強したい生徒たちのためのクラスです。

授業コード	L1519		
授業科目名	中級英語TOEIC (19クラス)IM		
担当者名	白木智士(シラキ サトシ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(火曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	Students will be assigned to answer many questions of TOEIC inside / outside the classroom, with given instruction. The instruction will be given in Japanese and about grammar, pronunciation, way to study and so on.
準備学習	Be familiar to basic English skills especially, reading and listening. Review what you learned in high-school and this university.
成績評価	授業内発表 30% 課題・レポート 30% 出席数 20% 授業への参加態度 20%
講義構成	第1回授業の説明 第2回Lesson 1 & 5 第3回Lesson 1 & 5 第4回Lesson 1 & 5 第5回Lesson 1 & 5 第6回Lesson 1 & 5 第7回Review Lesson 1 & 5

	第8回Lesson 2 & 6 第9回Lesson 2 & 6 第10回Lesson 2 & 6 第11回Lesson 2 & 6 第12回Lesson 2 & 6 第13回Review Lesson 2 & 6 第14回Review & Practice Test 1 第15回Lesson 3 & 7 第16回Lesson 3 & 7 第17回Lesson 3 & 7 第18回Lesson 3 & 7 第19回Lesson 3 & 7 第20回Review Lesson 3 & 5 第21回Lesson 4 & 8 第22回Lesson 4 & 8 第23回Lesson 4 & 8 第24回Lesson 4 & 8 第25回Lesson 4 & 8 第26回Review Lesson 4 & 8 第27回予備日 (Review & Question / Answer) 第28回Review & Practice Test 2
教科書	"Complete Guide to the TOEIC Test" Cengage Learning
参考書・資料	Having English-Japanese and English-English dictionaries in the classroom. It will be useful to have grammar references at home.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Taking TOEIC test is similar to playing games or sports. If you do exercise well, you can get high score. A great number of training gives you high score! Enjoy answering questions and discovering tricks of taking tests.

授業コード	L1520		
授業科目名	中級英語TOEIC (20クラス)AV		
担当者名	塩澤真由美(シオザワ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively

講義方法	毎回の講義で主にテキストの問題を行うことにより、TOEIC形式に慣れるとともに解答、解説を通して、リスニング、文法、リーディング等の重要ポイントをおさえながら総合的に英語力の向上をめざします。																																
準備学習	毎回レッスン内で次週までの課題を出します。必ずその課題を消化した上でレッスンに参加してください。																																
成績評価	<p>評価は以下の割合で行います。</p> <p>1. 出席 40% 2. 提出物 10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等) 3. 宿題 20% 4. 復習クイズ 10% 5. カレッジTOEIC 20% (12月頃)</p> <p>欠席は年間を通じて5回まで。遅刻は3回で欠席1回扱いとします。</p>																																
講義構成	<p>主として毎講義にリスニング、文法、リーディング別に問題を行います。前期は比較的リスニングに重点をおきます。ほぼ毎回復習クイズ及び家庭学習課題があります。</p> <p>講義構成(予定)</p> <table border="0"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>第1回 クラス構成の為に各自自己学習</td> <td>第16回 復習</td> </tr> <tr> <td>第2回 コースアウトライン リスニングテスト</td> <td>第17回 Practice Test 3 ①</td> </tr> <tr> <td>第3回 Pracrice Test 1 ①</td> <td>第18回 Practice Test 3 ②</td> </tr> <tr> <td>第4回 Practice Test 1 ②</td> <td>第19回 Practice Test 3 ③</td> </tr> <tr> <td>第5回 Practice Test 1 ③</td> <td>第20回 Practice Test 3 ④</td> </tr> <tr> <td>第6回 Practice Test 1 ④</td> <td>第21回 Practice Test 3 ⑤</td> </tr> <tr> <td>第7回 Practice Test 1 ⑤</td> <td>第22回 Practice Test 3 復習</td> </tr> <tr> <td>第8回 Practice Test 1 復習</td> <td>第23回 Practice Test 4 ①</td> </tr> <tr> <td>第9回 Practice Test 2 ①</td> <td>第24回 Practice Test 4 ②</td> </tr> <tr> <td>第10回 Practice Test 2 ②</td> <td>第25回 Practice Test 4 ③</td> </tr> <tr> <td>第11回 Practice Test 2 ③</td> <td>第26回 Practice Test 4 ④</td> </tr> <tr> <td>第12回 Practice Test 2 ④</td> <td>第27回 Practice Test 4 ⑤</td> </tr> <tr> <td>第13回 Practice Test 2 ⑤</td> <td>第28回 Practice Test 4 復習</td> </tr> <tr> <td>第14回 Practice Test 2 復習</td> <td>第29回 総合復習</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>第30回</td> </tr> </table> <p>* 上記の各Practice Testの①②③④は以下の通りです。(テキスト参照)</p> <p>① Part 1 と Part 5 前半 ② Part 2 と Part 5 後半 ③ Part 3 前半 と Part 6 ④ Part 3 後半 と Part 7 前半 ⑤ Part 4 と Part 7 後半</p>	前期	後期	第1回 クラス構成の為に各自自己学習	第16回 復習	第2回 コースアウトライン リスニングテスト	第17回 Practice Test 3 ①	第3回 Pracrice Test 1 ①	第18回 Practice Test 3 ②	第4回 Practice Test 1 ②	第19回 Practice Test 3 ③	第5回 Practice Test 1 ③	第20回 Practice Test 3 ④	第6回 Practice Test 1 ④	第21回 Practice Test 3 ⑤	第7回 Practice Test 1 ⑤	第22回 Practice Test 3 復習	第8回 Practice Test 1 復習	第23回 Practice Test 4 ①	第9回 Practice Test 2 ①	第24回 Practice Test 4 ②	第10回 Practice Test 2 ②	第25回 Practice Test 4 ③	第11回 Practice Test 2 ③	第26回 Practice Test 4 ④	第12回 Practice Test 2 ④	第27回 Practice Test 4 ⑤	第13回 Practice Test 2 ⑤	第28回 Practice Test 4 復習	第14回 Practice Test 2 復習	第29回 総合復習	第15回	第30回
前期	後期																																
第1回 クラス構成の為に各自自己学習	第16回 復習																																
第2回 コースアウトライン リスニングテスト	第17回 Practice Test 3 ①																																
第3回 Pracrice Test 1 ①	第18回 Practice Test 3 ②																																
第4回 Practice Test 1 ②	第19回 Practice Test 3 ③																																
第5回 Practice Test 1 ③	第20回 Practice Test 3 ④																																
第6回 Practice Test 1 ④	第21回 Practice Test 3 ⑤																																
第7回 Practice Test 1 ⑤	第22回 Practice Test 3 復習																																
第8回 Practice Test 1 復習	第23回 Practice Test 4 ①																																
第9回 Practice Test 2 ①	第24回 Practice Test 4 ②																																
第10回 Practice Test 2 ②	第25回 Practice Test 4 ③																																
第11回 Practice Test 2 ③	第26回 Practice Test 4 ④																																
第12回 Practice Test 2 ④	第27回 Practice Test 4 ⑤																																
第13回 Practice Test 2 ⑤	第28回 Practice Test 4 復習																																
第14回 Practice Test 2 復習	第29回 総合復習																																
第15回	第30回																																
教科書	Longman Preparation Series for the New TOEIC Test More Practice Tests Longman *テキストは必ず必要です。																																
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.</p>																																
担当者から一言	講義の最初にリスニング又は、復習クイズがあります。遅刻をしないように。																																

授業コード	L1521
授業科目名	中級英語TOEIC (21クラス)PI
担当者名	藤岡千伊奈(フジオカ チイナ)

配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ become familiar with the format of the TOEIC exam ・ learn what kinds of questions regularly appear on the exams ・ become more comfortable and confident about taking the exam ・ improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading ・ practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class ・ regularly take practice TOEIC tests ・ learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes ・ learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	トピックごとに構成された各ユニットを2時間かけて行います。一時間目の授業で、各ユニットのボキャブラリーを学習した後、リスニング・セクションを行います。そして、2時間目の授業で、文法のポイントを学習した後、文法及びリーディング・セクションを行います。
準備学習	各ユニットのVocabulary & Word Pairs、 文法問題の攻略のポイント、Expand your vocabulary、Vocabulary in context は授業前に各自で予習しておくこと。自宅で教科書のCDを聴き復習すること。
成績評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席 20% 2. 授業参加度と授業態度 20% 3. ユニット・小テスト 20% 4. 期末試験 20% 5. 宿題 20% <p>「欠席」評価:総合的に見て、学生が履修を放棄したと見なす場合。</p>
講義構成	<p>講義の予定は以下の通りであるが、教科書以外の教材を使用する、または、不測の事態で、予定がずれる可能性もある。その場合は、後期の第29回目の授業で調整する。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編集のために各自自主学習</p> <p>第 2回 Introduction</p> <p>第 3回 Unit 1</p> <p>第 4回 Unit 1</p> <p>第 5回 Unit 2</p> <p>第 6回 Unit 2</p> <p>第 7回 Unit 3</p> <p>第 8回 Unit 3</p> <p>第 9回 Unit 4</p> <p>第10回 Unit 4</p> <p>第11回 Unit 5</p> <p>第12回 Unit 5</p> <p>第13回 Unit 6</p> <p>第14回 Unit 6</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 お楽しみ授業</p> <p>第17回 Unit 7</p> <p>第18回 Unit 7</p> <p>第19回 Unit 8</p> <p>第20回 Unit 8</p> <p>第21回 Unit 9</p> <p>第22回 Unit 9</p> <p>第23回 Unit 10</p> <p>第24回 Unit 10</p> <p>第25回 Unit 11</p> <p>第26回 Unit 11</p>

	第27回 Unit 12 第28回 Unit 12 第29回 調整授業 第30回 後期試験
教科書	1. Essential Approach for the TOEIC Test (Seibido) 2. Word Master Approach for the TOEIC Test (Seibido)
参考書・資料	辞書(電子辞書可)は毎回持参すること。
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Feel free to ask me any questions about this class.

授業コード	L1522		
授業科目名	中級英語TOEIC (22クラス)AV		
担当者名	塩澤真由美(シオザワ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.														
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively 														
講義方法	毎回の講義で主にテキストの問題を行うことにより、TOEIC形式に慣れるとともに解答、解説を通して、リスニング、文法、リーディング等の重要ポイントをおさえながら総合的に英語力の向上をめざします。														
準備学習	毎回レッスン内で次週までの課題を出します。必ずその課題を消化した上でレッスンに参加してください。														
成績評価	評価は以下の割合で行います。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 出席</td> <td style="width: 25%;">40%</td> <td style="width: 25%;">2. 提出物</td> <td style="width: 25%;">10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)</td> </tr> <tr> <td>3. 宿題</td> <td>20%</td> <td>4. 復習クイズ</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>5. カレッジTOEIC</td> <td>20% (12月頃)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 欠席は年間を通じて5回まで。遅刻は3回で欠席1回扱いとします。			1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)	3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%	5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)		
1. 出席	40%	2. 提出物	10% (授業内で行うテスト問題の解答用紙等)												
3. 宿題	20%	4. 復習クイズ	10%												
5. カレッジTOEIC	20% (12月頃)														
講義構成	主として毎講義にリスニング、文法、リーディング別に問題を行います。前期は比較的リスニングに重点をおきます。ほぼ毎回復習クイズ及び家庭学習課題があります。 講義構成(予定) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td>第 1回 クラス構成の為に各自自己学習</td> <td>第16回 復習</td> </tr> </table>			前期	後期	第 1回 クラス構成の為に各自自己学習	第16回 復習								
前期	後期														
第 1回 クラス構成の為に各自自己学習	第16回 復習														

	<p>第 2回 コースアウトライン リスニングテスト</p> <p>第 3回 Pracrice Test 1 ①</p> <p>第 4回 Practice Test 1 ②</p> <p>第 5回 Practice Test 1 ③</p> <p>第 6回 Practice Test 1 ④</p> <p>第 7回 Practice Test 1 ⑤</p> <p>第 8回 Practice Test 1 復習</p> <p>第 9回 Practice Test 2 ①</p> <p>第10回 Practice Test 2 ②</p> <p>第11回 Practice Test 2 ③</p> <p>第12回 Practice Test 2 ④</p> <p>第13回 Practice Test 2 ⑤</p> <p>第14回 Practice Test 2 復習</p> <p>第15回</p> <p>第17回 Practice Test 3 ①</p> <p>第18回 Practice Test 3 ②</p> <p>第19回 Practice Test 3 ③</p> <p>第20回 Practice Test 3 ④</p> <p>第21回 Practice Test 3 ⑤</p> <p>第22回 Practice Test 3 復習</p> <p>第23回 Practice Test 4 ①</p> <p>第24回 Practice Test 4 ②</p> <p>第25回 Practice Test 4 ③</p> <p>第26回 Practice Test 4 ④</p> <p>第27回 Practice Test 4 ⑤</p> <p>第28回 Practice Test 4 復習</p> <p>第29回 総合復習</p> <p>第30回</p> <p>* 上記の各Practice Testの①②③④は以下の通りです。(テキスト参照)</p> <p>① Part 1 と Part 5 前半</p> <p>② Part 2 と Part 5 後半</p> <p>③ Part 3 前半 と Part 6</p> <p>④ Part 3 後半 と Part 7 前半</p> <p>⑤ Part 4 と Part 7 後半</p>
教科書	Longman Preparation Series for the New TOEIC Test More Practice Tests Longman *テキストは必ず必要です。
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

担当者から一言	講義の最初にリスニング又は、復習クイズがあります。遅刻をしないように。
---------	-------------------------------------

授業コード	L1523		
授業科目名	中級英語TOEIC (23クラス)IM		
担当者名	鷲尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30-17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests

	<ul style="list-style-type: none"> • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<p>毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高める。</p> <p>構成は主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2. Reading Comprehension(文法と読解力)</p>
準備学習	Vocabularyの予習・復習。講義中、もしくは事前に配布された音源を使つての聞き取り練習。Home Workがある場合は、その完成。その他、英語に関する自習。
成績評価	講義の課題への対応と小テストや試験などの成績、出席状況も考慮して総合的に評価する。 出席・講義への取り組み姿勢 30% Homework, Quizzes等 30% 前・後期試験 40%
講義構成	<p>講義構成(予定)</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自習学習(2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 Orientation // Part 1 [Pictures] & 5 [Grammar & Vocabulary]</p> <p>第3回 Part 1 & 2 [Question & Response] & 5</p> <p>第4回 Part 1 & 5 // Homework (1) 配布</p> <p>第5回 Part 2 & 5 // Homework (1) 提出 // Homework (2) 配布</p> <p>第6回 Part 1 & 5 // Homework (2) 提出</p> <p>第7回 Quiz 1 (Vocabulary) // Part 2 & 5 // Homework (3) 配布</p> <p>第8回 Part 1 & 5 // Homework (3) 提出 // Homework (4) 配布</p> <p>第9回 Part 2 & 6 [Grammar, Vocabulary & Reading] // Homework (4) 提出 // Homework(5) 配布</p> <p>第10回 Part 1 & 6 // Homework (5) 提出 // Homework (6) 配布</p> <p>第11回 Part 2 & 6 // Homework (6) 提出</p> <p>第12回 Quiz 2 (Vocabulary) // Part 1 & 6 // Homework (7) 配布</p> <p>第13回 Part 2 & 6 // Homework (7) 提出</p> <p>第14回 Part 2 & 6</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Part 3 [Conversation] & 7 [Reading Materials]</p> <p>第17回 Part 4 [Short Talk] & 7</p> <p>第18回 Part 3 & 7 // Homework (8) 配布</p> <p>第19回 Part 4 & 7 // Homework (8) 提出</p> <p>第20回 Quiz 3 (Vocabulary) // Part 3 & 7 // Homework (9) 配布</p> <p>第21回 Part 4 & 7 // Homework (9) 提出 // Homework (10) 配布</p> <p>第22回 Part 3 & 7 // Homework (10) 提出 // Homework (11) 配布</p> <p>第23回 Part 4 & 7 // Homework (11) 提出 // Homework (12) 配布</p> <p>第24回 Part 3 & 7 // Homework (12) 提出 // Homework (13) 配布</p> <p>第25回 Part 4 & 7 // Homework (13) 提出</p> <p>第26回 Quiz 4 (Vocabulary) // Part 3 & Reading Review // Homework (14) 配布</p> <p>第27回 Part 4 & Reading Review // Homework (14) 提出</p> <p>第28回 Listening Review</p> <p>第29回 Practice Test 1</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Longman Preparation Series for the New TOEIC Test Intermediate Course 4 th ed.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
その他	<p>欠席とみなされる行為</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を讀んだりすること <p>小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。</p> <p>忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。</p> <p>講義中、携帯電話の電源は必ず切つて下さい。</p>

授業コード	L1524		
授業科目名	中級英語TOEIC (24クラス)IM		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	リスニングは演習形式で行い実践力を養い、リーディングは問題を解きながら文法、語法、ストラテジーを説明し、理解を深めます。
準備学習	予定表に従い、該当する箇所の問題をといておくこと。単語プリントの該当範囲の単語を覚えてくること。
成績評価	授業中の演習(単語テストを含む) 70% 課題 20% 平常点 (授業への積極的参加) 10%
講義構成	前期 W 1 クラス編成のために各自自主学習 W 2 Introduction W 3 Part 5 / Part 1 W 4 Part 5 / Part 1 W 5 Part 6 / Part 1 W 6 Part 6 / Part 2 W 7 Part 6 / Part 2 / W 8 Part 5 / Part 2 W 9 Part 6 / Part 2 W 10 Part 5 / Part 2 W 11 Part 6 / Part 2 W 12 Part 5/Part 2 W 13 A djustment / Part 2 W 14 Grammar Review / Part 2 Reviiew 後期 W 15 Part 3 / Part 6 W 16 Part 3 / Part 6 W 17 Part 3 / Part 6 W 18 Part 3 / Part 7 W 19 Part 3 / Part 7 W 20 Part 4 / Part 7 W 21 Part 4 / Part 7 W 22 Part 4 / Part 7 W 23 Part 4 / Part 6/7 W 24 Part 4 / /Part 6/7 W 25 Part 4 / Part 7

	W 26 Part 3/4 /Part 7 W 27 Part 1/2/3/4 W 28 Part 5/6/7
教科書	Longman Preparation series for the TOEIC TEST Intermediate course
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	初回の授業時に詳しい授業予定、および単語プリントを配布します。授業の進め方、課題などについて説明します。

授業コード	L1525		
授業科目名	中級英語TOEIC (25クラス)IM		
担当者名	鷺尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日 16:30 – 17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高める。 構成は主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2. Reading Comprehension(文法と読解力)
準備学習	Vocabularyの予習・復習。講義中、もしくは事前に配布された音源を使つての聞き取り練習。Home Workがある場合は、その完成。その他、英語に関する自習。
成績評価	講義の課題への対応と小テストや試験などの成績、出席状況も考慮して総合的に評価する。 出席・講義への取り組み姿勢 30% Homework, Quizzes等 30% 前・後期試験 40%
講義構成	講義構成(予定) (前期) 第1回 クラス編成のために各自自習学習(2010年4月6日から12日) 第2回 Orientation // Part 1 [Pictures] & 5 [Grammar & Vocabulary] 第3回 Part 1& 2 [Question & Response] & 5

	第4回 Part 1 & 5 // Homework (1) 配布 第5回 Part 2 & 5 // Homework (1) 提出 // Homework (2) 配布 第6回 Part 1 & 5 // Homework (2) 提出 第7回 Quiz 1 (Vocabulary) // Part 2 & 5 // Homework (3) 配布 第8回 Part 1 & 5 // Homework (3) 提出 // Homework (4) 配布 第9回 Part 2 & 6 [Grammar, Vocabulary & Reading] // Homework (4) 提出 // Homework(5) 配布 第10回 Part 1 & 6 // Homework (5) 提出 // Homework (6) 配布 第11回 Part 2 & 6 // Homework (6) 提出 第12回 Quiz 2 (Vocabulary) // Part 1 & 6 // Homework (7) 配布 第13回 Part 2 & 6 // Homework (7) 提出 第14回 Part 2 & 6 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Part 3 [Conversation] & 7 [Reading Materials] 第17回 Part 4 [Short Talk] & 7 第18回 Part 3 & 7 // Homework (8) 配布 第19回 Part 4 & 7 // Homework (8) 提出 第20回 Quiz 3 (Vocabulary) // Part 3 & 7 // Homework (9) 配布 第21回 Part 4 & 7 // Homework (9) 提出 // Homework (10) 配布 第22回 Part 3 & 7 // Homework (10) 提出 // Homework (11) 配布 第23回 Part 4 & 7 // Homework (11) 提出 // Homework (12) 配布 第24回 Part 3 & 7 // Homework (12) 提出 // Homework (13) 配布 第25回 Part 4 & 7 // Homework (13) 提出 第26回 Quiz 4 (Vocabulary) // Part 3 & Reading Review // Homework (14) 配布 第27回 Part 4 & Reading Review // Homework (14) 提出 第28回 Listening Review 第29回 Practice Test 1 第30回 後期試験
教科書	Longman Preparation Series for the New TOEIC Test Intermediate Course 4 th ed.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
その他	<p>欠席とみなされる行為</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を読んだりすること <p>小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。 講義中、携帯電話の電源は必ず切ってください。</p>

授業コード	L1526		
授業科目名	中級英語TOEIC (26クラス)AV		
担当者名	鷺尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30－17:00 (三号館二階非常勤講師控室[北/山側突当り])		
講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course.The		

	IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高める。 構成は主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り)2. Reading Comprehension(文法と読解力)
準備学習	Vocabularyの予習・復習。講義中、もしくは事前に配布された音源を使つての聞き取り練習。Home Workがある場合は、その完成。その他、英語に関する自習。
成績評価	講義の課題への対応と小テストや試験などの成績、出席状況も考慮して総合的に評価する。 出席・講義への取り組み姿勢 30%Homework, Quizzes等 30% 前・後期試験 40%
講義構成	講義構成(予定) (前期) 第1回 クラス編成のために各自自習学習(2010年4月6日から12日) 第2回 Orientation // Part 1 [Pictures] & 5 [Grammar & Vocabulary] 第3回 Part 1 & 2 [Question & Response] & 5 第4回 Part 1 & 5 // Homework (1) 配布 第5回 Part 2 & 5 // Homework (1) 提出 // Homework (2) 配布 第6回 Part 1 & 5 // Homework (2) 提出 第7回 Quiz 1 (Vocabulary) // Part 2 & 5 // Homework (3) 配布 第8回 Part 1 & 5 // Homework (3) 提出 // Homework (4) 配布 第9回 Part 2 & 6 [Grammar, Vocabulary & Reading] // Homework (4) 提出 //Homework(5) 配布 第10回 Part 1 & 6 // Homework (5) 提出 // Homework (6) 配布 第11回 Part 2 & 6 // Homework (6) 提出 第12回 Quiz 2 (Vocabulary) // Part 1 & 6 // Homework (7) 配布 第13回 Part 2 & 6 // Homework (7) 提出 第14回 Part 2 & 6 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Part 3 [Conversation] & 7 [Reading Materials] 第17回 Part 4 [Short Talk] & 7 第18回 Part 3 & 7 // Homework (8) 配布 第19回 Part 4 & 7 // Homework (8) 提出 第20回 Quiz 3 (Vocabulary) // Part 3 & 7 // Homework (9) 配布 第21回 Part 4 & 7 // Homework (9) 提出 // Homework (10) 配布 第22回 Part 3 & 7 // Homework (10) 提出 // Homework (11) 配布 第23回 Part 4 & 7 // Homework (11) 提出 // Homework (12) 配布 第24回 Part 3 & 7 // Homework (12) 提出 // Homework (13) 配布 第25回 Part 4 & 7 // Homework (13) 提出 第26回 Quiz 4 (Vocabulary) // Part 3 & Reading Review // Homework (14) 配布 第27回 Part 4 & Reading Review // Homework (14) 提出 第28回 Listening Review 第29回 Practice Test 1 第30回 後期試験
教科書	Longman Preparation Series for the New TOEIC Test Intermediate Course 4 th ed.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

その他	欠席とみなされる行為 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を讀んだりすること 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。 講義中、携帯電話の電源は必ず切ってください。
-----	---

授業コード	L1527		
授業科目名	中級英語TOEIC (27クラス)IM		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜5限)、後期(水曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ become familiar with the format of the TOEIC exam ・ learn what kinds of questions regularly appear on the exams ・ become more comfortable and confident about taking the exam ・ improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading ・ practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class ・ regularly take practice TOEIC tests ・ learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes ・ learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	Vocabularyのテキストから毎週20個の単語を学ぶ。前期は文法とReadingを中心に練習問題を通してTOEICのReading Section Part 5-7に慣れる。後期はリスニングに焦点を合わせてTOEIC Part 1-4に慣れる。前期も後期もレポートと宿題を通して、ReadingとListeningの力をつける。
準備学習	毎週、Vocabularyの教科書から20の単語を予習しておく。授業でやったテキストの部分を復習する。
成績評価	成績評価:(1)小テスト60%(2)課題 20% (3)出席点10%、(4)授業への参加10%(毎週のアサイメント以外の宿題を含む)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月日から12日) 第2回 Orientation TOEIC 第3回 TOEIC PART V 第4回 TOEIC PART V 第5回 TOEIC PART V 第6回 TOEIC PART V 第7回 Quiz #1 Part VI 第8回 TOEIC Part VI 第9回 TOEIC Part VI 第10回 Quiz #2 Listening Activity 第11回 TOEIC Part VII 第12回 TOEIC Part VII 第13回 TOEIC Part VII 第14回 Quiz #3 Listening Activity (後期) 第15回 Listening Part I 第16回 Listening Part I

	第17回 Listening Part I 第18回 Quiz #4 Listening Activity 第19回 Listening Part II 第20回 Listening Part II 第21回 Listening Part III 第22回 Listening Part III 第23回 Quiz#5 Listening Activity 第24回 Listening Part IV 第25回 Listening Part IV 第26回 Listening Part IV 第27回 Review 第28回 Quiz#6 Listening Activity
教科書	Longman- Preparation Series for the TOEIC Test (Intermediate Course) TOEIC Vocabulary Practice (英宝社)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	このクラスを取ることにによりTOEICがどのようなものかよくわかるようになります。予習、レポートなど、忙しいクラスですが、確実に実力はつきます。よく生徒たちから「しんどい！」と言われますが、このクラスを取る生徒たちは、この10年間甲南大学のTOEIC平均点をいつも大きく上回っています。本気で英語を勉強したい生徒たちのためのクラスです。

授業コード	L1528		
授業科目名	中級英語TOEIC (28クラス)IM		
担当者名	井上英樹(イノウエ ヒデキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	教科書を中心に、問題のポイントを解説。 TOEICスコアアップを目指し、「単語」・「ヒアリング」・「スピード」・「文法」の4つのポイントを中心に、講義を実施。 「単語」 TOEIC必須単語を、オリジナルの単語リストにまとめ解説。 「ヒアリング」 ディクテーション、シャドーイング等、スキルアップのための手法を活用。 「スピード」 速読、速解のための手法を解説。

	「文法」 基礎、応用の文法項目及び、英語文法について体系的に解説。
準備学習	TOEIC学習に必要な単語、文法能力
成績評価	下記4つの観点から成績を評価。 「出席」25% 「授業貢献度」25% 「ミニテスト」25% 「課題提出」25% 定期テスト実施せず。
講義構成	第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法について 第3回 Lesson1 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 3 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 4 第10回 Lesson 4 第11回 Lesson 5 第12回 Lesson 5 第13回 Lesson 6 第14回 Lesson 6 第15回 Lesson 7 第16回 Lesson 7 第17回 Lesson 8 第18回 Lesson 8 第19回 Lesson 9 第20回 Lesson 9 第21回 Lesson 10 第22回 Lesson 10 第23回 Lesson 11 第24回 Lesson 11 第25回 Lesson 12 第26回 Lesson 12 第27回 Lesson 13 第28回 Lesson 13 第29回 Lesson 14 第30回 Practice Test
教科書	Total Strategy for the TOEIC Test (成美堂)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

授業コード	L1529		
授業科目名	中級英語TOEIC (29クラス)PI		
担当者名	堂村由香里(ドウムラ ユカリ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively

講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高める。リスニングはシャドーイングを取り入れ、リーディングは英英辞書を用いながら、進めていく。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。毎回、授業開始時に復習小テストを実施するので、準備すること。
成績評価	<p>定期テストの成績 30%</p> <p>小テストの成績 40%</p> <p>授業への参加態度 30%</p> <p>* 無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。</p> <p>* 遅刻は20分までとし、遅刻3回で欠席1回とする。</p> <p>* 電車の遅延などの場合は、延着証明書を受け取り、裏面に「氏名、日付、入室時間」を記入して提出すること。</p>
講義構成	<p>主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。</p> <p>1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り)</p> <p>2. Reading Comprehension(文法と読解力)</p> <p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>第 1回 クラス編成のために各自自主学习(2010年4月6日から12日)</p> <p>第 2回 ガイダンス</p> <p>第 3回 Unit 1</p> <p>第 4回 Unit 1</p> <p>第 5回 Unit 2</p> <p>第 6回 Unit 2</p> <p>第 7回 Unit 3</p> <p>第 8回 Unit 3</p> <p>第 9回 Unit 4</p> <p>第10回 Unit 4</p> <p>第11回 Unit 5</p> <p>第12回 Unit 5</p> <p>第13回 Unit 6</p> <p>第14回 Unit 6</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Unit 7</p> <p>第17回 Unit 7</p> <p>第18回 Unit 8</p> <p>第19回 Unit 8</p> <p>第20回 Unit 9</p> <p>第21回 Unit 9</p> <p>第22回 Unit 10</p> <p>第23回 Unit 10</p> <p>第24回 Unit 11</p> <p>第25回 Unit 11</p> <p>第26回 Unit 12</p> <p>第27回 Unit 13</p> <p>第28回 Unit 14</p> <p>第29回 Unit 15</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test(Seibido)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	毎回、辞書を持参のこと。

授業コード	L1530
-------	-------

授業科目名	中級英語TOEIC (30クラス)PI		
担当者名	井上英樹(イノウエ ヒデキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.		
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively 		
講義方法	<p>教科書を中心に、問題のポイントを解説。</p> <p>TOEICスコアアップを目指し、「単語」・「ヒアリング」・「スピード」・「文法」の4つのポイントを中心に、講義を実施。</p> <p>「単語」 TOEIC必須単語を、オリジナルの単語リストにまとめ解説。 「ヒアリング」 ディクテーション、シャドーイング等、スキルアップのための手法を活用。 「スピード」 速読、速解のための手法を解説。 「文法」 基礎、応用の文法項目及び、英語文法について体系的に解説。</p>		
準備学習	TOEIC学習に必要な単語、文法能力		
成績評価	<p>下記4つの観点から成績を評価。</p> <p>「出席」25% 「授業貢献度」25% 「ミニテスト」25% 「課題提出」25%</p> <p>定期テスト実施せず。</p>		
講義構成	第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 TOEIC学習方法について 第3回 Lesson1 第4回 Lesson 1 第5回 Lesson 2 第6回 Lesson 2 第7回 Lesson 3 第8回 Lesson 3 第9回 Lesson 4 第10回 Lesson 4 第11回 Lesson 5 第12回 Lesson 5 第13回 Lesson 6 第14回 Lesson 6 第15回 Lesson 7	第16回 Lesson 7 第17回 Lesson 8 第18回 Lesson 8 第19回 Lesson 9 第20回 Lesson 9 第21回 Lesson 10 第22回 Lesson 10 第23回 Lesson 11 第24回 Lesson 11 第25回 Lesson 12 第26回 Lesson 12 第27回 Lesson 13 第28回 Lesson 13 第29回 Lesson 14 第30回 Practice Test	
教科書	Total Strategy for the TOEIC Test (成美堂)		
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.		

	Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	--

授業コード	L1531		
授業科目名	中級英語TOEIC (31クラス)IM		
担当者名	堂村由香里(ドウムラ ユカリ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高める。リスニングはシャドーイングを取り入れ、リーディングは英英辞書を用いながら、進めていく。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。 毎回、授業開始時に復習小テストを実施するので、準備すること。
成績評価	定期テストの成績 30% 小テストの成績 40% 授業への参加態度 30% * 無断欠席が多い場合や、欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。 * 遅刻は20分までとし、遅刻3回で欠席1回とする。 * 電車の遅延などの場合は、延着証明書を受け取り、裏面に「氏名、日付、入室時間」を記入して提出すること。
講義構成	主として、以下のTOEICの2セクションについて講義・指導する。 1. Listening Comprehension(口語英語の聴き取り) 2. Reading Comprehension(文法と読解力) 講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日) 第 2回 ガイダンス 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 1 第 5回 Unit 2 第 6回 Unit 2 第 7回 Unit 3 第 8回 Unit 3 第 9回 Unit 4 第10回 Unit 4 第11回 Unit 5 第12回 Unit 5 第13回 Unit 6 第14回 Unit 6 第15回 前期試験

	第16回 Unit 7 第17回 Unit 7 第18回 Unit 8 第19回 Unit 8 第20回 Unit 9 第21回 Unit 9 第22回 Unit 10 第23回 Unit 10 第24回 Unit 11 第25回 Unit 11 第26回 Unit 12 第27回 Unit 13 第28回 Unit 14 第29回 Unit 15 第30回 後期試験
教科書	Total Strategy for the TOEIC Test(Seibido)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	毎時、辞書を持参のこと。

授業コード	L1532		
授業科目名	中級英語TOEIC (32クラス)AV		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 • 毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 • リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。 • 教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 <p>以上を課題として出し、成績の一部とする。</p>

成績評価	10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む) 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない
講義構成	[予定] 第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバスの確認 英語での自己紹介 プリント 第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Preview TestとExercise 1.1 Reading—Part 5 Preview Test 第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.2 Reading—Part 6 Preview Test 第 5回 単語—プリントL.12 意味の確認 Listening—Exercise 1.3 Reading—Part 7 Preview Test 第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.4 Reading—Part 5 Exercise 5.1 第 7回 単語—プリントL. 13 意味の確認 Listening—Part 1 Review Test Reading—Part 6 Exercise 6.1 第 8回 単語—プリントL. 13 小テスト Listening—Part 2 Preview Reading—Part 7 Exercise 7.1 以降、第3回から第8回の流れで続けていく
教科書	Complete Guide to the TOEIC Test 著者:Bruce Rogers 出版社:CENGAGE Learning
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えません。 週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。

授業コード	L1533		
授業科目名	中級英語TOEIC (33クラス)IM		
担当者名	坂本晴美(サカモト ハルミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・文法・リーディングを学習し、TOEIC形式に慣れ、総合的な英語力を高めます。
準備学習	単語を調べ予習復習をしっかりとる
成績評価	原則出席。出席率70%をキープすること。70%を下回るとテストの採点をしません。 TOEIC タイプ テスト 100点 x 3回 単語・熟語テスト 50点 x 5回 提出課題 10点 x 5回
講義構成	予定 (前期) 第 1回 クラス編成の為に各自自主学习 第 2回 Introduction, Listening preview 第 3回 Reading preview(1) 第 4回 Reading preview(2) 第 5回 Part 1 写真描写問題 Part 5 文法 穴埋め問題 第 6回 単語・熟語テスト Part 1 写真描写問題 Part 5 文法 穴埋め問題 第 7回 Part 1 写真描写問題 Part 5 文法 穴埋め問題 第 8回 Part 2 会話応答問題 Part 5 文法 穴埋め問題 第 9回 Part 2 会話応答問題 Part 5 文法 穴埋め問題 第10回 Part 2 会話応答問題 Part 5 文法 穴埋め問題 第11回 単語・熟語テスト Part 5 文法穴埋め問題 第12回 Part 2 会話応答問題 Part 6 穴埋め問題 第13回 Part 2 会話応答問題 Part 6 穴埋め問題 第14回 Part 2 会話応答問題 Part 6 穴埋め問題

	<p>第15回 前期テスト(TOEIC タイプテスト)</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 単語・熟語テスト Part 3 会話問題 Part 6 穴埋め問題</p> <p>第17回 Part 3 会話問題 Part 6 穴埋め問題</p> <p>第18回 Part 3 会話問題 Part 6 穴埋め問題</p> <p>第19回 Part 3 会話問題 Part 6 穴埋め問題</p> <p>第20回 Part 3 会話問題 Part 6 穴埋め問題</p> <p>第21回 単語・熟語テスト Part 3 会話問題</p> <p>第22回 Part 4 アナウンス問題 Part 6 穴埋め問題</p> <p>第23回 Part 4 アナウンス問題 Part 6 穴埋め問題</p> <p>第24回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第25回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第26回 単語・熟語テスト Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第27回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第28回 Part 4 アナウンス問題 Part 7 読解問題</p> <p>第29回 後期テスト(TOEICタイプテスト) 復習</p> <p>第30回 後期テスト(総合テスト。TOEICタイプテスト)</p>
教科書	LONGMAN PREPARATION SERIES FOR THE NEW TOEIC TEST By Pearson Longman
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	出席は不可欠です。必ず70%以上は出席してください。

	自分の出席率、テストの点数などは自分で管理してください。「何回休みましたか?」「今までの合計点は何点ですか」などの質問には答えられません。
--	---

授業コード	L1534		
授業科目名	中級英語TOEIC (34クラス)AV		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 • 毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 • リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。 • 教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 以上を課題として出し、成績の一部とする。
成績評価	10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む) 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない
講義構成	[予定] 第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバスの確認 英語での自己紹介 プリント 第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Preview TestとExercise 1.1 Reading—Part 5 Preview Test 第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.2 Reading—Part 6 Preview Test 第 5回 単語—プリントL.12 意味の確認 Listening—Exercise 1.3 Reading—Part 7 Preview Test 第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.4 Reading—Part 5 Exercise 5.1

	<p>第 7回 単語—プリントL. 13 意味の確認 Listening—Part 1 Review Test Reading—Part 6 Exercise 6.1</p> <p>第 8回 単語—プリントL. 13 小テスト Listening—Part 2 Preview Reading—Part 7 Exercise 7.1</p> <p>以降、第3回から第8回の流れで続けていく</p>
教科書	<p>Complete Guide to the TOEIC Test 著者: Bruce Rogers 出版社: CENGAGE Learning</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えます。</p> <p>週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。</p>

授業コード	L1535		
授業科目名	中級英語TOEIC (35クラス)IM		
担当者名	山本路恵(ヤマモト ミチエ)、吉田佳代(ヨシダ カヨ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜5限)、後期(木曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火5限、水・木3限		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<p>Most of the lessons will cover grammar, reading and listening questions with Mini-TOEIC style.</p> <p>At the beginning of each class, vocabulary check test for the unit will be given.</p>
準備学習	<p>1) Prepare for vocabulary check tests</p> <p>2) Answer the questions in Part 5 (Incomplete Sentences) and Part 6 (Text Completion)</p>
成績評価	<p>1) Review Test 1 & 2 (50%)</p> <p>2) Vocabulary Check Test (20%)</p> <p>3) Participation, Assignments & Homework (30%)</p> <p>(* 欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)</p>
講義構成	1st semester

	<p>Class 1: クラス編成のため各自自習学習(2010年4月6日-12日)</p> <p>Class 2: Unit 1 Arts & Amusement</p> <p>Class 3: Unit 2 Lunch & Parties</p> <p>Class 4: Unit 3 Medicine & Health</p> <p>Class 5: 公式問題 Part 1</p> <p>Class 6: Mock Test 1 (模擬テスト&解説)</p> <p>Class 7: Unit 4 Traffic & Travel</p> <p>Class 8: Unit 5 Ordering & Shopping</p> <p>Class 9: Unit 6 Factories & Production</p> <p>Class 10: 公式問題 Part 2</p> <p>Class 11: Mock Test 2 (模擬テスト&解説)</p> <p>Class 12: Unit 7 Research & Development</p> <p>Class 13: Unit 8 Computer & Technology</p> <p>Class 14: REVIEW TEST 1</p> <p>2nd semester</p> <p>Class 1: Unit 9 Employment & Promotions</p> <p>Class 2: Unit 10 Advertisements & Personnel</p> <p>Class 3: 公式問題 Part 2</p> <p>Class 4: Mock Test 3 (模擬テスト&解説)</p> <p>Class 5: Unit 11 Telephone & Messages</p> <p>Class 6: Unit 12 Banking & Finance</p> <p>Class 7: 公式問題 Part 3</p> <p>Class 8: Unit 13 Office Work & Equipment</p> <p>Class 9: Unit 14 Housing & Properties</p> <p>Class 10: Mock Test 4 (模擬テスト&解説)</p> <p>Class 11: Unit 15 Business & Management</p> <p>Class 12: 公式問題 Part 4</p> <p>Class 13: 公式問題 Part 5&6</p> <p>Class 14: REVIEW TEST 2</p>
教科書	Essential Approach for the TOEIC Test (成美堂) 大須賀直子、他
参考書・資料	Necessary materials are provided in the class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	毎回ミニ・TOEIC形式の問題を通して、テストの形式に慣れつつリスニング力・語彙力を伸ばしていきます。時には、公式問題やマークシートを使った模試も実施して、自分の実力を確認してもらいますので、目標スコアを設定し、自主的に授業時間以外にでも継続的に学習することをおすすめします！
その他	授業の最初の10分で、各UNITに関するボキャブラリー・テストを行いますので、前もって学習してきてください。この小テストに間に合わなければ、遅刻とします。

授業コード	L1536		
授業科目名	中級英語TOEIC (36クラス)PI		
担当者名	藤岡千伊奈(フジオカ チイナ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The		

	IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ become familiar with the format of the TOEIC exam ・ learn what kinds of questions regularly appear on the exams ・ become more comfortable and confident about taking the exam ・ improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading ・ practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class ・ regularly take practice TOEIC tests ・ learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes ・ learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	トピックごとに構成された各ユニットを2時間かけて行います。一時間目の授業で、各ユニットのボキャブラリーを学習した後、リスニング・セクションを行います。そして、2時間目の授業で、文法のポイントを学習した後、文法及びリーディング・セクションを行います。
準備学習	各ユニットのVocabulary & Word Pairs、文法問題の攻略のポイント、Expand your vocabulary、Vocabulary in context は授業前に各自で予習しておくこと。自宅で教科書のCDを聴き復習すること。
成績評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席 20% 2. 授業参加度と授業態度 20% 3. ユニット・小テスト 20% 4. 期末試験 20% 5. 宿題 20% <p>「欠席」評価:総合的に見て、学生が履修を放棄したと見なす場合。</p>
講義構成	<p>講義の予定は以下の通りであるが、教科書以外の教材を使用する、または、不測の事態で、予定がずれる可能性もある。その場合は、後期の第29回目の授業で調整する。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編集のために各自自主学习</p> <p>第 2回 Introduction</p> <p>第 3回 Unit 1</p> <p>第 4回 Unit 1</p> <p>第 5回 Unit 2</p> <p>第 6回 Unit 2</p> <p>第 7回 Unit 3</p> <p>第 8回 Unit 3</p> <p>第 9回 Unit 4</p> <p>第10回 Unit 4</p> <p>第11回 Unit 5</p> <p>第12回 Unit 5</p> <p>第13回 Unit 6</p> <p>第14回 Unit 6</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 お楽しみ授業</p> <p>第17回 Unit 7</p> <p>第18回 Unit 7</p> <p>第19回 Unit 8</p> <p>第20回 Unit 8</p> <p>第21回 Unit 9</p> <p>第22回 Unit 9</p> <p>第23回 Unit 10</p> <p>第24回 Unit 10</p> <p>第25回 Unit 11</p> <p>第26回 Unit 11</p> <p>第27回 Unit 12</p> <p>第28回 Unit 12</p> <p>第29回 調整授業</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. Essential Approach for the TOEIC Test (Seibido) 2. Word Master Approach for the TOEIC Test (Seibido)
参考書・資料	辞書(電子辞書可)は毎回持参すること。

講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--------	--

担当者から一言	Feel free to ask me any questions about this class.
---------	---

授業コード	L1537		
授業科目名	中級英語TOEIC (37クラス)AV		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 • 毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 • リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。 • 教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 以上を課題として出し、成績の一部とする。
成績評価	10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む) 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない
講義構成	[予定] 第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバスの確認 英語での自己紹介 プリント 第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Preview TestとExercise 1.1 Reading—Part 5 Preview Test 第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.2

	<p>Reading—Part 6 Preview Test 第 5回 単語—プリントL.12 意味の確認 Listening—Exercise 1.3 Reading—Part 7 Preview Test 第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.4 Reading—Part 5 Exercise 5.1 第 7回 単語—プリントL. 13 意味の確認 Listening—Part 1 Review Test Reading—Part 6 Exercise 6.1 第 8回 単語—プリントL. 13 小テスト Listeing—Part 2 Preview Reading—Part 7 Exercise 7.1</p> <p>以降、第3回から第8回の流れで続けていく</p>
教科書	<p>Complete Guide to the TOEIC Test 著者: Bruce Rogers 出版社: CENGAGE Learning</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えます。 週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。</p>

授業コード	L1538		
授業科目名	中級英語TOEIC (38クラス)IM		
担当者名	藤岡千伊奈(フジオカ チイナ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	<p>In each level, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	トピックごとに構成された各ユニットを2時間かけて行います。一時間目の授業で、各ユニットのボキャブラリーを学習した後、リスニング・セクションを行います。そして、2時間目の授業で、文法のポイントを学習した後、文法及びリーディング・セクションを行います。
準備学習	各ユニットのVocabulary & Word Pairs、 文法問題の攻略のポイント、Expand your vocabulary、Vocabulary in

	context は授業前に各自で予習しておくこと。自宅で教科書のCDを聴き復習すること。
成績評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席 20% 2. 授業参加度と授業態度 20% 3. ユニット・小テスト 20% 4. 期末試験 20% 5. 宿題 20% <p>「欠席」評価:総合的に見て、学生が履修を放棄したと見なす場合。</p>
講義構成	<p>講義の予定は以下の通りであるが、教科書以外の教材を使用する、または、不測の事態で、予定がずれる可能性もある。その場合は、後期の第29回目の授業で調整する。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編集のために各自自主学习 第 2回 Introduction 第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 1 第 5回 Unit 2 第 6回 Unit 2 第 7回 Unit 3 第 8回 Unit 3 第 9回 Unit 4 第10回 Unit 4 第11回 Unit 5 第12回 Unit 5 第13回 Unit 6 第14回 Unit 6 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 お楽しみ授業 第17回 Unit 7 第18回 Unit 7 第19回 Unit 8 第20回 Unit 8 第21回 Unit 9 第22回 Unit 9 第23回 Unit 10 第24回 Unit 10 第25回 Unit 11 第26回 Unit 11 第27回 Unit 12 第28回 Unit 12 第29回 調整授業 第30回 後期試験</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. Essential Approach for the TOEIC Test (Seibido) 2. Word Master Approach for the TOEIC Test (Seibido)
参考書・資料	辞書(電子辞書可)は毎回持参すること。
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Feel free to ask me any questions about this class.

授業コード	L1539
-------	-------

授業科目名	中級英語TOEIC (39クラス)AV		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400-450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450-500 points. The AV section aims for a score of at least 500-600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、授業の初めに単語を学習する。TOEICレベルの単語のプリントを使い、意味確認またはそれに基づく小テストを行う。 • 毎回、リスニングを行う。授業ではTOEIC Listening SectionのPart 1-2を中心に行う。 • リーディングはTOEIC Reading SectionのPart 5(短文空所補充)、Part 6(長文空所補充)、Part 7(読解)を順番に行う。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> • TOEICレベルの単語のプリントの各レッスンに出ている12個の単語を調べる。 • 教科書の問題を解く+知らない単語を調べる。 以上を課題として出し、成績の一部とする。
成績評価	10% 出席 15% 課題 30% 単語の小テストの成績 30% TOEIC レベルテスト(Listening+Reading)の成績 15% 授業への参加態度(上記以外のテストの成績を含む) 注意! 通年8回以上欠席すると成績を評価しない
講義構成	[予定] 第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバスの確認 英語での自己紹介 プリント 第 3回 単語—プリントL.11 意味の確認 Listening—Part 1 Preview TestとExercise 1.1 Reading—Part 5 Preview Test 第 4回 単語—プリントL. 11 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.2 Reading—Part 6 Preview Test 第 5回 単語—プリントL.12 意味の確認 Listening—Exercise 1.3 Reading—Part 7 Preview Test 第 6回 単語—プリントL. 12 小テスト Listening—Part 1 Exercise 1.4 Reading—Part 5 Exercise 5.1 第 7回 単語—プリントL. 13 意味の確認 Listening—Part 1 Review Test Reading—Part 6 Exercise 6.1 第 8回 単語—プリントL. 13 小テスト Listening—Part 2 Preview Reading—Part 7 Exercise 7.1

	以降、第3回から第8回の流れで続けていく
教科書	Complete Guide to the TOEIC Test 著者: Bruce Rogers 出版社: CENGAGE Learning
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	TOEIC・TOEFLに関してはもちろん、それ以外の英語や勉強方法に関する質問・疑問にはいつでも喜んで答えます。 週に一度の授業に出るだけで英語力を飛躍的に向上させるのは難しいので、実力をつけたい人は授業外でも勉強して下さい。

授業コード	L1540		
授業科目名	中級英語TOEIC (40クラス)IM		
担当者名	藤岡千伊奈(フジオカ テイナ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEIC course is divided into three levels. The PI section is for students with little or no experience with the TOEIC test and aims for a score of at least 400–450 points by the end of the course. The IM section aims for a score of at least 450–500 points. The AV section aims for a score of at least 500–600 points.
到達目標	In each level, students will: <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEIC exam • learn what kinds of questions regularly appear on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, and reading • practice answering questions for each of these areas (listening, grammar, and reading) in every class • regularly take practice TOEIC tests • learn what kinds of mistakes students often make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time efficiently and effectively
講義方法	トピックごとに構成された各ユニットを2時間かけて行います。一時間目の授業で、各ユニットのボキャブラリーを学習した後、リスニング・セクションを行います。そして、2時間目の授業で、文法のポイントを学習した後、文法及びリーディング・セクションを行います。
準備学習	各ユニットのVocabulary & Word Pairs、文法問題の攻略のポイント、Expand your vocabulary、Vocabulary in context は授業前に各自で予習しておくこと。自宅で教科書のCDを聴き復習すること。
成績評価	1. 出席 20% 2. 授業参加度と授業態度 20% 3. ユニット・小テスト 20% 4. 期末試験 20% 5. 宿題 20% 「欠席」評価: 総合的に見て、学生が履修を放棄したと見なす場合。
講義構成	講義の予定は以下の通りであるが、教科書以外の教材を使用する、または、不測の事態で、予定がずれる可能性もある。その場合は、後期の第29回目の授業で調整する。 (前期) 第 1回 クラス編集のために各自自主学习 第 2回 Introduction

	第 3回 Unit 1 第 4回 Unit 1 第 5回 Unit 2 第 6回 Unit 2 第 7回 Unit 3 第 8回 Unit 3 第 9回 Unit 4 第10回 Unit 4 第11回 Unit 5 第12回 Unit 5 第13回 Unit 6 第14回 Unit 6 第15回 前期試験 (後期) 第16回 お楽しみ授業 第17回 Unit 7 第18回 Unit 7 第19回 Unit 8 第20回 Unit 8 第21回 Unit 9 第22回 Unit 9 第23回 Unit 10 第24回 Unit 10 第25回 Unit 11 第26回 Unit 11 第27回 Unit 12 第28回 Unit 12 第29回 調整授業 第30回 後期試験
教科書	1. Essential Approach for the TOEIC Test (Seibido) 2. Word Master Approach for the TOEIC Test (Seibido)
参考書・資料	辞書(電子辞書可)は毎回持参すること。
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Feel free to ask me any questions about this class.

授業コード	L1001		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション(1クラス)IM		
担当者名	クック(クック ルイーズ ジェニファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations ・ express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest.

	<ul style="list-style-type: none"> ▪ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) ▪ learn new vocabulary, structures, and useful expressions ▪ practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	At the beginning of most classes, student pairs will have the opportunity to discuss various topics of their own choosing. After this, we will work from the textbook.
準備學習	Students should review the previous week's lesson, and complete any homework assignments before the following class.
成績評估	<p>Final grades will depend on: active class participation, punctual and complete homework assignments, quizzes and in-class tests, and regular attendance. (More than three times absent in one semester may result in a failing grade.)</p> <p>Class participation: 50%</p> <p>Homework: 20%</p> <p>Quizzes/test: 20%</p> <p>Attendance: 10%</p>
講義構成	<p>The following schedule may change according to the needs and abilities of the students. (However, it is expected that at least two weeks will be needed to cover each textbook unit.)</p> <p>Semester 1</p> <p>Week 1: Course and Teacher introductions</p> <p>Week 2: Getting-to-know-you activities</p> <p>Week 3: Unit 1, Making introductions/Using greetings</p> <p>Week 4: Unit 1</p> <p>Week 5: Unit 2, Expressing Emotions</p> <p>Week 6: Unit 2</p> <p>Week 7: Unit 3, Stating opinions/Describing personal experiences</p> <p>Week 8: Unit 3</p> <p>Week 9: Unit 4, Stating interests and opinions</p> <p>Week 10, Unit 4</p> <p>Week 11: Unit 5, Apologising/Giving reasons and excuses</p> <p>Week 12: Unit 5</p> <p>Week 13: Unit 6, Describing cultures</p> <p>Week 14: Unit 6</p> <p>Week 15: Summer activity lessons, review and feedback</p> <p>Semester 2</p> <p>Week 16: Review / Welcome-back activities</p> <p>Week 17: Unit 7, Talking about the past</p> <p>Week 18: Unit 7</p> <p>Week 19: Unit 8, Planning events/Making offers and requests</p> <p>Week 20: Unit 8</p> <p>Week 21: Unit 9, Asking for and giving advice</p> <p>Week 22: Unit 9</p> <p>Week 23: Unit 10, Telling and appreciating stories</p> <p>Week 24: Unit 10</p> <p>Week 25: Unit 11, Stating opinions/Agreeing and disagreeing</p> <p>Week 26: Unit 11</p> <p>Week 27: Unit 12, Talking about plans, goals and dreams</p> <p>Week 28: Unit 12</p> <p>Week 29: Review</p> <p>Week 30: Course review and feedback</p>
教科書	<p>'New English Firsthand, Gold Edition'</p> <p>Writer: Marc Helgesen</p> <p>Publisher: Pearson Longman</p> <p>Please note: There are many editions of this textbook. Please make sure yours is the GOLD EDITION.</p>
參考書·資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of

	<p>that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
--	---

授業コード	L1002		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (2クラス)AV		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.				
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 				
講義方法	You will have many chances to practice speaking with different partners every class. There will be some listening, reading and writing but the main focus will be on spoken English. The themes for pair discussion are based on unit themes in the textbook. You will receive many handouts which will supplement the textbook and give you a variety of speaking opportunities.				
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given before you come to class. Don't do it a few minutes before class! Also, don't work ahead in the textbook before class. It's more important to spend time reviewing what you learned in the previous lesson.				
成績評価	<p>Your grade will be based on your attendance, your participation in class activities, on homework assignments and on two written and two oral exams.</p> <ul style="list-style-type: none"> * The written exams are based on grammar and vocabulary but will have some listening, as well. * In the oral exams you must speak with a partner for three to five minutes on a selected topic with no notes or memorized phrases. <p>attendance 15% participation 15% Oral tests 40% Paper tests 30%</p> <p>(Absence and lateness will negatively affect your participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>				
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (Spring) Class 1 Introduction Class 2 Spring activities discussion Classes 3-5 People; childhood memories Classes 6-8 Transportation; city services Classes 9-11 Food; cooking; instructions Classes 12-13 Travel; vacations; plans Class 14 Oral exam </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (Fall) Class 1 Summer activities discussion Class 2 Spring review Classes 3-5 Houses, apartments; wishes Classes 6-8 Complaints; household chores; requests; apologies Class 9-10 Holidays; festivals; customs Class 11 Agreeing; and disagreeing Class 12 Landmarks and monuments Class 13 Entertainment; movies; books; </td> </tr> </table>			(Spring) Class 1 Introduction Class 2 Spring activities discussion Classes 3-5 People; childhood memories Classes 6-8 Transportation; city services Classes 9-11 Food; cooking; instructions Classes 12-13 Travel; vacations; plans Class 14 Oral exam	(Fall) Class 1 Summer activities discussion Class 2 Spring review Classes 3-5 Houses, apartments; wishes Classes 6-8 Complaints; household chores; requests; apologies Class 9-10 Holidays; festivals; customs Class 11 Agreeing; and disagreeing Class 12 Landmarks and monuments Class 13 Entertainment; movies; books;
(Spring) Class 1 Introduction Class 2 Spring activities discussion Classes 3-5 People; childhood memories Classes 6-8 Transportation; city services Classes 9-11 Food; cooking; instructions Classes 12-13 Travel; vacations; plans Class 14 Oral exam	(Fall) Class 1 Summer activities discussion Class 2 Spring review Classes 3-5 Houses, apartments; wishes Classes 6-8 Complaints; household chores; requests; apologies Class 9-10 Holidays; festivals; customs Class 11 Agreeing; and disagreeing Class 12 Landmarks and monuments Class 13 Entertainment; movies; books;				

	reactions and opinions Class 14 Oral exam
教科書	Interchange 2 (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge Univ. Press
参考書・資料	Please bring a dictionary, notebook and a folder for handouts.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As your teacher, I will provide learning materials and activities to help you, but you must come to class with a good attitude and a strong willingness to learn. Only then will real learning take place. Do your best every class!

授業コード	L1003		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (3クラス)PI		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	This course continues to turn the English knowledge that you have acquired into active conversational skills. The class builds on what has been learned in the previous year and focuses on language skills, functions and topics that are useful in everyday situations. While the emphasis is on listening and speaking skills, reading and writing may be an integral part of some activities. Through participation in communicative pair and group activities, as well as activities involving the whole class, you will acquire confidence in using English both to express yourself and learn from others.
準備学習	It is important to complete weekly listening and writing homework assignments – as these form the basis of class speaking activities.
成績評価	You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and final semester test. Participation: 25% Class activities: 25% Homework: 25% Test: 25%
講義構成	The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as lifestyle, personality, family and work. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired.

	<p>(Spring)</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Classes 3 & 4 Relationships</p> <p>Classes 5 & 6 Emotions</p> <p>Classes 7 & 8 Places and travel</p> <p>Classes 9 & 10 Opinions</p> <p>Classes 11 & 12 Reasons and excuses</p> <p>Classes 13 & 14 Cultural symbols and traditions</p> <p>(Fall)</p> <p>Classes 1 & 2 Personal experiences and past events</p> <p>Classes 3 & 4 Leisure time activities</p> <p>Classes 5 & 6 Personal problems</p> <p>Classes 7 & 8 Traditional and modern stories</p> <p>Classes 9 & 10 World issues</p> <p>Classes 11 & 12 Dreams and goals</p> <p>Class 13 Review Unit 1</p> <p>Class 14 Review Unit 2</p> <p>FINAL TEST</p>
教科書	<p>English Firsthand 2 (New English Firsthand Series), by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman)</p> <p>Student Book</p> <p>ISBN: 978-988-00-3060-4</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.
その他	There are three levels of the Intermediate Oral Communication course. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Each class is marked PI, IM or AV on the final schedule, so make sure to check the final schedule in order to find a class that is at a good level for you.

授業コード	L1004		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (4クラス)IM		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic

	expressions, pronunciation, and intonation) <ul style="list-style-type: none"> learn new vocabulary, structures, and useful expressions practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																																		
講義方法	There will be many opportunities for speaking and students will be encouraged to interact with their classmates. Some of the activities utilized in class will be exchanging personal information, taking class surveys, role-play situations, playing games, and discussing topics of personal interest. The goal is to help develop confidence in your ability to understand real-life English and to express yourself clearly and effectively.																																		
準備学習	Your positive attitude, effort, and participation in class is very important for this course.																																		
成績評価	<table> <tr> <td>Homework</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>50%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>	Homework	10%	Participation	20%	Bonus points	20%	Quizzes	50%																										
Homework	10%																																		
Participation	20%																																		
Bonus points	20%																																		
Quizzes	50%																																		
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the student abilities and interests.</p> <p>(Spring)</p> <table> <tr> <td>Class 1</td> <td>Independent study (class registration and placement during first week)</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Introduce your partner</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Introducing yourself & Using greetings</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Expressing emotions</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>Stating opinions & Describing personal experiences</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Stating interests and opinions</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Apologizing & Giving reasons and excuses</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Describing cultures</td> </tr> </table> <p>(Fall)</p> <table> <tr> <td>Class 1</td> <td>Summer vacation</td> </tr> <tr> <td>Class 2&3</td> <td>Talking about the past</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Planning events & Making offers and requests</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Asking for and giving advice</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>Telling and appreciating stories</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Stating opinions</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Agreeing and disagreeing</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Talking about plans, goals, and dreams</td> </tr> </table>	Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)	Class 2	Class introduction and orientation	Class 3	Introduce your partner	Class 4&5	Introducing yourself & Using greetings	Class 6&7	Expressing emotions	Class 8&9	Stating opinions & Describing personal experiences	Class 10&11	Stating interests and opinions	Class 12&13	Apologizing & Giving reasons and excuses	Class 14	Describing cultures	Class 1	Summer vacation	Class 2&3	Talking about the past	Class 4&5	Planning events & Making offers and requests	Class 6&7	Asking for and giving advice	Class 8&9	Telling and appreciating stories	Class 10&11	Stating opinions	Class 12&13	Agreeing and disagreeing	Class 14	Talking about plans, goals, and dreams
Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)																																		
Class 2	Class introduction and orientation																																		
Class 3	Introduce your partner																																		
Class 4&5	Introducing yourself & Using greetings																																		
Class 6&7	Expressing emotions																																		
Class 8&9	Stating opinions & Describing personal experiences																																		
Class 10&11	Stating interests and opinions																																		
Class 12&13	Apologizing & Giving reasons and excuses																																		
Class 14	Describing cultures																																		
Class 1	Summer vacation																																		
Class 2&3	Talking about the past																																		
Class 4&5	Planning events & Making offers and requests																																		
Class 6&7	Asking for and giving advice																																		
Class 8&9	Telling and appreciating stories																																		
Class 10&11	Stating opinions																																		
Class 12&13	Agreeing and disagreeing																																		
Class 14	Talking about plans, goals, and dreams																																		
教科書	English Firsthand 2 (Pearson)																																		
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.																																		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>																																		

授業コード	L1005		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (5クラス)IM		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ▪ improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations ▪ express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. ▪ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) ▪ learn new vocabulary, structures, and useful expressions ▪ practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	This course continues to turn the English knowledge that you have acquired into active conversational skills. The class builds on what has been learned in the previous year and focuses on language skills, functions and topics that are useful in everyday situations. While the emphasis is on listening and speaking skills, reading and writing may be an integral part of some activities. <p>Through participation in communicative pair and group activities, as well as activities involving the whole class, you will acquire confidence in using English both to express yourself and learn from others.</p>
準備学習	It is important to complete weekly listening and writing homework assignments – as these form the basis of class speaking activities.
成績評価	You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and final semester test. <p>Participation: 25%</p> <p>Class activities: 25%</p> <p>Homework: 25%</p> <p>Test: 25%</p>
講義構成	The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as lifestyle, personality, family and work. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired. <p>(Spring)</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Classes 3 & 4 Relationships</p> <p>Classes 5 & 6 Emotions</p> <p>Classes 7 & 8 Places and travel</p> <p>Classes 9 & 10 Opinions</p> <p>Classes 11 & 12 Reasons and excuses</p> <p>Classes 13 & 14 Cultural symbols and traditions</p> <p>(Fall)</p> <p>Classes 1 & 2 Personal experiences and past events</p> <p>Classes 3 & 4 Leisure time activities</p> <p>Classes 5 & 6 Personal problems</p> <p>Classes 7 & 8 Traditional and modern stories</p> <p>Classes 9 & 10 World issues</p> <p>Classes 11 & 12 Dreams and goals</p> <p>Class 13 Review Unit 1</p> <p>Class 14 Review Unit 2</p> <p style="text-align: center;">FINAL TEST</p>
教科書	English Firsthand 2 (New English Firsthand Series), by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman) <p>Student Book</p> <p>ISBN: 978-988-00-3060-4</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM

	(intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.
その他	There are three levels of the Intermediate Oral Communication course. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Each class is marked PI, IM or AV on the final schedule, so make sure to check the final schedule in order to find a class that is at a good level for you.

授業コード	L1006		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (6クラス)AV		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.																		
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																		
講義方法	You will have many chances to practice speaking with different partners every class. There will be some listening, reading and writing but the main focus will be on spoken English. The themes for pair discussion are based on unit themes in the textbook. You will receive many handouts which will supplement the textbook and give you a variety of speaking opportunities.																		
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given before you come to class. Don't do it a few minutes before class! Also, don't work ahead in the textbook before class. It's more important to spend time reviewing what you learned in the previous lesson.																		
成績評価	Your grade will be based on your attendance, your participation in class activities, on homework assignments and on two written and two oral exams. <ul style="list-style-type: none"> * The written exams are based on grammar and vocabulary but will have some listening, as well. * In the oral exams you must speak with a partner for three to five minutes on a selected topic with no notes or memorized phrases. <p>attendance 15%</p> <p>participation 15%</p> <p>Oral Tests 40%</p> <p>Paper tests 30%</p> <p>(Absence and lateness will negatively affect your participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>																		
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center;">(Spring)</td> <td></td> <td style="text-align:center;">(Fall)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Class 1</td> <td>Introduction</td> <td>Class 1</td> <td>Summer activities discussion</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Spring activities discussion</td> <td>Class 2</td> <td>Spring review</td> </tr> <tr> <td>Classes 3-5</td> <td>People; childhood memories</td> <td>Classes 3-5</td> <td>Houses, apartments; wishes</td> </tr> </table>			(Spring)		(Fall)		Class 1	Introduction	Class 1	Summer activities discussion	Class 2	Spring activities discussion	Class 2	Spring review	Classes 3-5	People; childhood memories	Classes 3-5	Houses, apartments; wishes
(Spring)		(Fall)																	
Class 1	Introduction	Class 1	Summer activities discussion																
Class 2	Spring activities discussion	Class 2	Spring review																
Classes 3-5	People; childhood memories	Classes 3-5	Houses, apartments; wishes																

	Classes 6-8 Transportation; city services Classes 9-11 Food; cooking; instructions Classes 12-13 Travel; vacations; plans Class 14 Oral exam	Classes 6-8 Complaints; household chores; requests; apologies Class 9-10 Holidays; festivals; customs Class 11 Agreeing; and disagreeing Class 12 Landmarks and monuments Class 13 Entertainment; movies; books; reactions and opinions Class 14 Oral exam
教科書	Interchange 2 (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge Univ. Press	
参考書・資料	Please bring a dictionary, notebook and a folder for handouts.	
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.	
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As your teacher, I will provide learning materials and activities to help you, but you must come to class with a good attitude and a strong willingness to learn. Only then will real learning take place. Do your best every class!	

授業コード	L1007		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (7クラス)PI		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.		
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 		
講義方法	Each lesson will start with an introduction to the topic and usually a listening exercise. This will be followed with pairwork or group work and a more open discussion.		
準備学習	No preparation for the lesson is necessary, but a review of previous lessons is a good idea		
成績評価	Participation 50%, Reports 30%, Tests 20%		
講義構成	Class 1 Independent study (class registration and placement during first week) Class 2 Get to know you activities Class 3 Unit 1 Class 4 Unit 1 Class 5 Unit 2 Class 6 Unit 2 Class 16 Summer activity lesson Class 17 Unit 7 Class 18 Unit 7 Class 19 Unit 8 Class 20 Unit 8 Class 21 Unit 9		

	Class 7 Unit 3 Class 8 Unit 3 Class 9 Unit 4 Class 10 Unit 4 Class 11 Unit 5 Class 12 Unit 5 Class 13 Unit 6 Class 14 Unit 6 Class 15 Group activity	Class 22 Unit 9 Class 23 Unit 10 Class 24 Unit 10 Class 25 Unit 11 Class 26 Unit 11 Class 27 Unit 12 Class 28 Unit 12 Class 29 Review Class 30 Test
教科書	English Firsthand 2 New Gold Edition(Pearson)	
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>	
担当者から一言	Please bring a dictionary	

授業コード	L1008		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (8クラス)AV		
担当者名	クック(クック ルイーズ ジェニファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	At the beginning of most classes, student pairs will have the opportunity to discuss various topics of their own choosing. After this, we will work from the textbook.
準備学習	Students should review the previous week's lesson, and complete any homework assignments before the following class.
成績評価	<p>Final grades will depend on: active class participation, punctual and complete homework assignments, quizzes and in-class tests, and regular attendance. (More than three times absent in one semester may result in a failing grade.)</p> <p>Class participation: 50% Homework: 20% Quizzes/test: 20% Attendance: 10%</p>
講義構成	<p>The following schedule may change according to the needs and abilities of the students. (However, it is expected that at least two weeks will be needed to cover each textbook unit.)</p> <p>Semester 1 Week 1: Course and Teacher introductions</p>

	<p>Week 2: Getting-to-know-you activities Week 3: Unit 1, Making introductions/Using greetings Week 4: Unit 1 Week 5: Unit 2, Expressing Emotions Week 6: Unit 2 Week 7: Unit 3, Stating opinions/Describing personal experiences Week 8: Unit 3 Week 9: Unit 4, Stating interests and opinions Week 10, Unit 4 Week 11: Unit 5, Apologising/Giving reasons and excuses Week 12: Unit 5 Week 13: Unit 6, Describing cultures Week 14: Unit 6 Week 15: Summer activity lessons, review and feedback</p> <p>Semester 2 Week 16: Review / Welcome-back activities Week 17: Unit 7, Talking about the past Week 18: Unit 7 Week 19: Unit 8, Planning events/Making offers and requests Week 20: Unit 8 Week 21: Unit 9, Asking for and giving advice Week 22: Unit 9 Week 23: Unit 10, Telling and appreciating stories Week 24: Unit 10 Week 25: Unit 11, Stating opinions/Agreeing and disagreeing Week 26: Unit 11 Week 27: Unit 12, Talking about plans, goals and dreams Week 28: Unit 12 Week 29: Review Week 30: Course review and feedback</p>
教科書	<p>'New English Firsthand 2, Gold Edition' Writer: Marc Helgesen Publisher: Pearson Longman</p> <p>Please note: There are many editions of this textbook. Please make sure yours is the GOLD EDITION.</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>

授業コード	L1009		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (9クラス)IM		
担当者名	LEECH(シェーン リーチ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.		
到達目標	In this course, students will:		

	<ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																												
講義方法	Each lesson will start with an introduction to the topic and usually a listening exercise. This will be followed with pairwork or group work and a more open discussion.																												
準備学習	No preparation for the lesson is necessary, but a review of previous lessons is a good idea.																												
成績評価	Participation 50%, Reports 30%, Tests 20%																												
講義構成	<p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p style="text-align: center;">Class 16 Summer activity lesson</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">Class 2 Get to know you activities</td> <td style="width: 50%;">Class 17 Unit 7</td> </tr> <tr> <td>Class 3 Unit 1</td> <td>Class 18 Unit 7</td> </tr> <tr> <td>Class 4 Unit 1</td> <td>Class 19 Unit 8</td> </tr> <tr> <td>Class 5 Unit 2</td> <td>Class 20 Unit 8</td> </tr> <tr> <td>Class 6 Unit 2</td> <td>Class 21 Unit 9</td> </tr> <tr> <td>Class 7 Unit 3</td> <td>Class 22 Unit 9</td> </tr> <tr> <td>Class 8 Unit 3</td> <td>Class 23 Unit 10</td> </tr> <tr> <td>Class 9 Unit 4</td> <td>Class 24 Unit 10</td> </tr> <tr> <td>Class 10 Unit 4</td> <td>Class 25 Unit 11</td> </tr> <tr> <td>Class 11 Unit 5</td> <td>Class 26 Unit 11</td> </tr> <tr> <td>Class 12 Unit 5</td> <td>Class 27 Unit 12</td> </tr> <tr> <td>Class 13 Unit 6</td> <td>Class 28 Unit 12</td> </tr> <tr> <td>Class 14 Unit 6</td> <td>Class 29 Review</td> </tr> <tr> <td>Class 15 Group activity</td> <td>Class 30 Test</td> </tr> </table>	Class 2 Get to know you activities	Class 17 Unit 7	Class 3 Unit 1	Class 18 Unit 7	Class 4 Unit 1	Class 19 Unit 8	Class 5 Unit 2	Class 20 Unit 8	Class 6 Unit 2	Class 21 Unit 9	Class 7 Unit 3	Class 22 Unit 9	Class 8 Unit 3	Class 23 Unit 10	Class 9 Unit 4	Class 24 Unit 10	Class 10 Unit 4	Class 25 Unit 11	Class 11 Unit 5	Class 26 Unit 11	Class 12 Unit 5	Class 27 Unit 12	Class 13 Unit 6	Class 28 Unit 12	Class 14 Unit 6	Class 29 Review	Class 15 Group activity	Class 30 Test
Class 2 Get to know you activities	Class 17 Unit 7																												
Class 3 Unit 1	Class 18 Unit 7																												
Class 4 Unit 1	Class 19 Unit 8																												
Class 5 Unit 2	Class 20 Unit 8																												
Class 6 Unit 2	Class 21 Unit 9																												
Class 7 Unit 3	Class 22 Unit 9																												
Class 8 Unit 3	Class 23 Unit 10																												
Class 9 Unit 4	Class 24 Unit 10																												
Class 10 Unit 4	Class 25 Unit 11																												
Class 11 Unit 5	Class 26 Unit 11																												
Class 12 Unit 5	Class 27 Unit 12																												
Class 13 Unit 6	Class 28 Unit 12																												
Class 14 Unit 6	Class 29 Review																												
Class 15 Group activity	Class 30 Test																												
教科書	English Firsthand 2 New Gold Edition(Pearson)																												
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>																												
担当者から一言	Please bring a dictionary																												

授業コード	L1010		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (10クラス)IM		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic

	expressions, pronunciation, and intonation) <ul style="list-style-type: none"> • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 								
講義方法	The main goal of this class is to develop your ability to understand real-life English and to express yourself clearly and effectively in every-day situations. You will have many chances to improve your English listening and conversation skills as you express your ideas and opinions on a variety of interesting topics. You will take part in a variety of individual, pair, small group activities that maximize your speaking time in class.								
準備学習	Students are expected to be active participants in class. They should come to class prepared and ready to make the best use of their time in class. All students are expected to buy a new copy of the textbook and bring it to every class. Students are also expected to complete all homework assignments before coming to class.								
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Presentations</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>	Participation and effort	30%	Quizzes	40%	Homework	10%	Presentations	20%
Participation and effort	30%								
Quizzes	40%								
Homework	10%								
Presentations	20%								
講義構成	<p>Composition of Classes Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week) Class 2 & 3 Unit 1 'A time to remember' Class 4 & 5 Unit 2 'Caught in the rush' Class 6 & 7 Unit 3 'Time for a change' Class 8 & 9 Unit 4 'I've never heard of that' Class 10 & 11 Unit 5 'Going places' Class 12 & 13 Unit 6 'OK. No problem' Class 14 Presentations</p> <p>Fall Term</p> <p>Class 1 Review of Spring term Class 2 & 3 Unit 9 'Back to the future' Class 4 & 5 Unit 10 'I don't like working on weekends!' Class 6 & 7 Unit 11 'It's really worth seeing!' Class 8 & 9 Unit 12 'It could happen to you!' Class 10 & 11 Unit 15 'What would you do?' Class 12 & 13 Unit 16 'What's your excuse?' Class 14 Presentations</p>								
教科書	Interchange 2, Third Edition (Cambridge)								
参考書・資料	Please bring a dictionary and a notebook to every class. A folder for handouts is also recommended.								
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>								
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together. Remember, what you get out of any course is in direct relation to the effort you put into it!								

授業コード	L1011
-------	-------

授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (11クラス)IM		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.																																				
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																																				
講義方法	There will be many opportunities for speaking and students will be encouraged to interact with their classmates. Some of the activities utilized in class will be exchanging personal information, taking class surveys, role-play situations, playing games, and discussing topics of personal interest. The goal is to help develop confidence in your ability to understand real-life English and to express yourself clearly and effectively.																																				
準備学習	Your positive attitude, effort, and participation in class is very important for this course.																																				
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>			Homework	10%	Participation	20%	Bonus points	20%	Quizzes	50%																										
Homework	10%																																				
Participation	20%																																				
Bonus points	20%																																				
Quizzes	50%																																				
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the student abilities and interests.</p> <p>(Spring)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Class 1</td> <td>Independent study (class registration and placement during first week)</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Class 3</td> <td>Introduce your partner</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Introducing yourself & Using greetings</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Expressing emotions</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>Stating opinions & Describing personal experiences</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Stating interests and opinions</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Apologizing & Giving reasons and excuses</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Describing cultures</td> </tr> </table> <p>(Fall)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Class 1</td> <td>Summer vacation</td> </tr> <tr> <td>Class 2&3</td> <td>Talking about the past</td> </tr> <tr> <td>Class 4&5</td> <td>Planning events & Making offers and requests</td> </tr> <tr> <td>Class 6&7</td> <td>Asking for and giving advice</td> </tr> <tr> <td>Class 8&9</td> <td>Telling and appreciating stories</td> </tr> <tr> <td>Class 10&11</td> <td>Stating opinions</td> </tr> <tr> <td>Class 12&13</td> <td>Agreeing and disagreeing</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Talking about plans, goals, and dreams</td> </tr> </table>			Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)	Class 2	Class introduction and orientation	Class 3	Introduce your partner	Class 4&5	Introducing yourself & Using greetings	Class 6&7	Expressing emotions	Class 8&9	Stating opinions & Describing personal experiences	Class 10&11	Stating interests and opinions	Class 12&13	Apologizing & Giving reasons and excuses	Class 14	Describing cultures	Class 1	Summer vacation	Class 2&3	Talking about the past	Class 4&5	Planning events & Making offers and requests	Class 6&7	Asking for and giving advice	Class 8&9	Telling and appreciating stories	Class 10&11	Stating opinions	Class 12&13	Agreeing and disagreeing	Class 14	Talking about plans, goals, and dreams
Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)																																				
Class 2	Class introduction and orientation																																				
Class 3	Introduce your partner																																				
Class 4&5	Introducing yourself & Using greetings																																				
Class 6&7	Expressing emotions																																				
Class 8&9	Stating opinions & Describing personal experiences																																				
Class 10&11	Stating interests and opinions																																				
Class 12&13	Apologizing & Giving reasons and excuses																																				
Class 14	Describing cultures																																				
Class 1	Summer vacation																																				
Class 2&3	Talking about the past																																				
Class 4&5	Planning events & Making offers and requests																																				
Class 6&7	Asking for and giving advice																																				
Class 8&9	Telling and appreciating stories																																				
Class 10&11	Stating opinions																																				
Class 12&13	Agreeing and disagreeing																																				
Class 14	Talking about plans, goals, and dreams																																				
教科書	English Firsthand 2 (Pearson)																																				
参考書・資料	Please bring a dictionary and some note paper.																																				
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not																																				

	completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

授業コード	L1012		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (12クラス)AV		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.										
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 										
講義方法	The main goal of this class is to develop your ability to understand real-life English and to express yourself clearly and effectively in every-day situations. You will have many chances to improve your English listening and conversation skills as you express your ideas and opinions on a variety of interesting topics. You will take part in a variety of individual, pair, small group activities that maximize your speaking time in class.										
準備学習	Students are expected to be active participants in class. They should come to class prepared and ready to make the best use of their time in class. All students are expected to buy a new copy of the textbook and bring it to every class. Students are also expected to complete all homework assignments before coming to class.										
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> <tr> <td>Presentations</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> </table> <p>(Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>			Participation and effort	30%	Quizzes	40%	Homework	10%	Presentations	20%
Participation and effort	30%										
Quizzes	40%										
Homework	10%										
Presentations	20%										
講義構成	<p>Composition of Classes</p> <p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 & 3 Unit 1 'A time to remember'</p> <p>Class 4 & 5 Unit 2 'Caught in the rush'</p> <p>Class 6 & 7 Unit 3 'Time for a change'</p> <p>Class 8 & 9 Unit 4 'I've never heard of that'</p> <p>Class 10 & 11 Unit 5 'Going places'</p> <p>Class 12 & 13 Unit 6 'OK. No problem'</p> <p>Class 14 Presentations</p> <p>Fall Term</p>										

	Class 1 Review of Spring term Class 2 & 3 Unit 9 'Back to the future' Class 4 & 5 Unit 10 'I don't like working on weekends!' Class 6 & 7 Unit 11 'It's really worth seeing!' Class 8 & 9 Unit 12 'It could happen to you!' Class 10 & 11 Unit 15 'What would you do?' Class 12 & 13 Unit 16 'What's your excuse?' Class 14 Presentations
教科書	Interchange 2, Third Edition (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and a notebook to every class. A folder for handouts is also recommended.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together. Remember, what you get out of any course is in direct relation to the effort you put into it!

授業コード	L1013		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (13クラス)PI		
担当者名	シニア(シニア. マーク)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	This course continues to turn the English knowledge that you have acquired into active conversational skills. The class builds on what has been learned in the previous year and focuses on language skills, functions and topics that are useful in everyday situations. While the emphasis is on listening and speaking skills, reading and writing may be an integral part of some activities. Through participation in communicative pair and group activities, as well as activities involving the whole class, you will acquire confidence in using English both to express yourself and learn from others.
準備学習	It is important to complete weekly listening and writing homework assignments – as these form the basis of class speaking activities.
成績評価	You will be assessed on the basis of participation, class activities, homework, and final semester test. Participation: 25% Class activities: 25% Homework: 25% Test: 25%

講義構成	<p>The textbook comprises a comprehensive communicative course, focusing on such topics as lifestyle, personality, family and work. Familiar vocabulary will be reviewed and useful new vocabulary and structures acquired.</p> <p>(Spring)</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 Introductions</p> <p>Classes 3 & 4 Relationships</p> <p>Classes 5 & 6 Emotions</p> <p>Classes 7 & 8 Places and travel</p> <p>Classes 9 & 10 Opinions</p> <p>Classes 11 & 12 Reasons and excuses</p> <p>Classes 13 & 14 Cultural symbols and traditions</p> <p>(Fall)</p> <p>Classes 1 & 2 Personal experiences and past events</p> <p>Classes 3 & 4 Leisure time activities</p> <p>Classes 5 & 6 Personal problems</p> <p>Classes 7 & 8 Traditional and modern stories</p> <p>Classes 9 & 10 World issues</p> <p>Classes 11 & 12 Dreams and goals</p> <p>Class 13 Review Unit 1</p> <p>Class 14 Review Unit 2</p> <p>FINAL TEST</p>
教科書	<p>English Firsthand 2 (New English Firsthand Series), by Helgesen, Brown, Wiltshier (Pearson/Longman)</p> <p>Student Book</p> <p>ISBN: 978-988-00-3060-4</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Enjoy speaking English in a fun, relaxed, informal class.
その他	There are three levels of the Intermediate Oral Communication course. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Each class is marked PI, IM or AV on the final schedule, so make sure to check the final schedule in order to find a class that is at a good level for you.

授業コード	L1014		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (14クラス)IM		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations

	<ul style="list-style-type: none"> • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	You will work with partners and in small groups as you improve your ability to understand and use spoken English. You will participate in role plays and discussions to practice what we study. You will also do regular homework to review and learn at your own pace.
準備学習	<p>If you want to be successful in this course, you should do these things:</p> <ul style="list-style-type: none"> * Bring your text, workbook and ClearBook to every class. * Do your homework well before class ? not in the few minutes before class starts. You need the time to think about it and be sure you have done it well. * Sometimes you will do a quiz for homework ? these quizzes are part of your grade for the course, so it is very important that you answer the questions carefully ? take your time and do a good job.
成績評価	<p>Participation 20%</p> <p>Speaking Assessments 40%</p> <p>Homework & other activities 40%</p>
講義構成	<p>Semester 1:</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 Orientation</p> <p>Class 3 Vacations</p> <p>Class 4 Vacations</p> <p>Class 5 Movies & music</p> <p>Class 6 Movies & music</p> <p>Class 7 Movies & music</p> <p>Class 8 Extreme sports</p> <p>Class 9 Extreme sports</p> <p>Class 10 Extreme sports</p> <p>Class 11 Around the world</p> <p>Class 12 Around the world</p> <p>Class 13 Around the world</p> <p>Class 14 Wrap-up</p> <p>Semester 2:</p> <p>Class 1 Shopping</p> <p>Class 2 Shopping</p> <p>Class 3 Shopping</p> <p>Class 4 Appearance & personality</p> <p>Class 5 Appearance & personality</p> <p>Class 6 Appearance & personality</p> <p>Class 7 Accidents & injuries</p> <p>Class 8 Accidents & injuries</p> <p>Class 9 Accidents & injuries</p> <p>Class 10 Places to live</p> <p>Class 11 Places to live</p> <p>Class 12 Places to live</p> <p>Class 13 Review</p> <p>Class 14 Wrap-up</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. Smart Choice Student Book 2, Wilson, K., Oxford 2. Smart Choice Workbook 2, Wilson, K., Oxford
参考書・資料	You will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マル</p>

	チメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.
---------	--

授業コード	L1015		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (15クラス)PI		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	Every week in this class students will work together with a partner or small groups as they improve their ability to use and understand spoken English. They will be involved in role plays or other activities. There will be a project where in Students will be able to use their own ideas in a creative way.
準備学習	Students must do any homework they are given
成績評価	Attendance and Participation 20% Homework 20% Final Project 60%
講義構成	(Spring) Class 1 Independent Study Class 2 Class policy, goal and interview with teacher Class 3 Group building activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 & 7 People; childhood and memories. Class 8 & 9 Transportation; problems; city services Class 10 & 11 Houses and apartments; lifestyle changes; wishes Class 12 & 13 Project design and preparation Class 14 Project Presentation (Fall) Class 1 Summer Vacation interviews Class 2 & 3 Travel; vacations; plans Class 4 & 5 Complaints; household chores; requests; excuses and apologies Class 6 & 7 Holidays; festivals; customs and celebrations Class 8 & 9 Life in the past, present and future; changes and contrasts; consequences Class 10 & 11 Abilities and skills; job preferences; personality traits; careers Class 12 & 13 Project work, design and preparation Class 14 Final project presentation
教科書	Interchange Student book 2

参考書・資料	Students are required to bring a dictionary to class.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	I hope all students will enjoy the class. Students will ample opportunity to improve their pronunciation in this class.

授業コード	L1016		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (16クラス)IM		
担当者名	ボーリグ (ボーリグ ランデル ウェイン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	The purpose of each class will be to develop your confidence and ability to express yourself in English. Therefore active participation is required. Most activities will be speaking and listening, but there will be some short reading and writing activities as well. We will work on pronunciation, grammar, meaning, use, and fluency using individual, pair, group, and full class work. Class time will be used for closely guided work as well as freer conversations expressing your own ideas, opinions, and feelings on different personal and social topics. I will be there to help when necessary, but you will also have to ask questions and discover answers for yourself and correct your own mistakes.
準備学習	All homework is to be prepared at home, not in class. If you are absent, it is your responsibility to find out what the homework is from the teacher or your classmates, and be prepared for the next class. Keep all your class work and homework as a reference for new words and for test preparation.
成績評価	Participation and homework 20% Mid-term exams 40% Final in-class exams 40%
講義構成	Note: Some changes may occur depending on students abilities and interests. Spring term Week 1 Independent study (class registration and placement). Week 2 Orientation Weeks 3-5 Unit 1 Weeks 6-8 Unit 3 Week 9-11 Unit 4 Week 12-13 Consolidation/extension/review

	<p>Week 14 Term assessment</p> <p>Fall term</p> <p>Week 1 Re-orientation</p> <p>Weeks 2-4 Unit 7</p> <p>Weeks 5-7 Unit 10</p> <p>Week 8 Review and mid-term assessment</p> <p>Weeks 9-11 Unit 11</p> <p>Weeks 12-13 Unit 12</p> <p>Week 14 Review and term assessment</p>
教科書	The New English Firsthand 2 (Pearson/Longman) new 2010 edition
参考書・資料	Come prepared to every class with a notebook or loose-leaf folder and of course pen/pencil. A dictionary would be useful.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Do your best. Try hard. Ask questions. Learn from your mistakes. Don't give up. Smile and enjoy learning English.

授業コード	L1017		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (17クラス)AV		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.						
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 						
講義方法	The main goal of this class is to develop your ability to understand real-life English and to express yourself clearly and effectively in every-day situations. You will have many chances to improve your English listening and conversation skills as you express your ideas and opinions on a variety of interesting topics. You will take part in a variety of individual, pair, small group activities that maximize your speaking time in class.						
準備学習	Students are expected to be active participants in class. They should come to class prepared and ready to make the best use of their time in class. All students are expected to buy a new copy of the textbook and bring it to every class. Students are also expected to complete all homework assignments before coming to class.						
成績評価	<table> <tr> <td>Participation and effort</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Quizzes</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>Homework</td> <td>10%</td> </tr> </table>	Participation and effort	30%	Quizzes	40%	Homework	10%
Participation and effort	30%						
Quizzes	40%						
Homework	10%						

	<p>Presentations 20%</p> <p>(Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>
講義構成	<p>Composition of Classes</p> <p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Spring Term</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 & 3 Unit 1 'A time to remember'</p> <p>Class 4 & 5 Unit 2 'Caught in the rush'</p> <p>Class 6 & 7 Unit 3 'Time for a change'</p> <p>Class 8 & 9 Unit 4 'I've never heard of that'</p> <p>Class 10 & 11 Unit 5 'Going places'</p> <p>Class 12 & 13 Unit 6 'OK. No problem'</p> <p>Class 14 Presentations</p> <p>Fall Term</p> <p>Class 1 Review of Spring term</p> <p>Class 2 & 3 Unit 9 'Back to the future'</p> <p>Class 4 & 5 Unit 10 'I don't like working on weekends!'</p> <p>Class 6 & 7 Unit 11 'It's really worth seeing!'</p> <p>Class 8 & 9 Unit 12 'It could happen to you!'</p> <p>Class 10 & 11 Unit 15 'What would you do?'</p> <p>Class 12 & 13 Unit 16 'What's your excuse?'</p> <p>Class 14 Presentations</p>
教科書	Interchange 2, Third Edition (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and a notebook to every class. A folder for handouts is also recommended.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together. Remember, what you get out of any course is in direct relation to the effort you put into it!

授業コード	L1018		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (18クラス)AV		
担当者名	ポーリグ (ポーリグ ランデル ウェイン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest.

	<ul style="list-style-type: none"> • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	The purpose of each class will be to develop your confidence and ability to express yourself in English in increasingly complex and sophisticated ways. Therefore active participation is required. Most activities will be speaking and listening, but there will be some short reading and writing activities as well. We will work on pronunciation, grammar, meaning, use, and fluency using individual, pair, group, and full class work. Class time will be used for closely guided work as well as freer conversations expressing your own ideas, opinions, and feelings on different personal and social topics. I will be there to help when necessary, but you will also have to ask questions and discover answers for yourself and correct your own mistakes.
準備学習	All homework is to be prepared at home, not in class. If you are absent, it is your responsibility to find out what the homework is from the teacher or your classmates, and be prepared for the next class. Keep all your class work and homework as a reference for new words and for test preparation.
成績評価	Participation and homework 20% Mid-term exams 40% Final in-class exams 40%
講義構成	<p>Note: Some changes may occur depending on students abilities and interests.</p> <p>Spring term</p> <p>Week 1 Independent study (class registration and placement).</p> <p>Week 2 Orientation</p> <p>Weeks 3-5 Unit 1</p> <p>Weeks 6-8 Unit 2</p> <p>Week 9 Review and mid-term assessment</p> <p>Week 10-11 Unit 5</p> <p>Week 12-13 Unit 6</p> <p>Week 14 Term assessment</p> <p>Fall term</p> <p>Week 1 Re-orientation</p> <p>Weeks 2-4 Unit 7</p> <p>Weeks 5-7 Unit 11</p> <p>Week 8 Review and mid-term assessment</p> <p>Weeks 9-11 Unit 10</p> <p>Weeks 12-13 Unit 12</p> <p>Week 14 Review and term assessment</p>
教科書	High Impact (Lingual House/Longman)
参考書・資料	Come prepared to every class with a notebook or loose-leaf folder and of course pen/pencil. A dictionary would be useful.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Do your best. Try hard. Ask questions. Learn from your mistakes. Don't give up. Smile and enjoy learning English.

授業コード	L1019
-------	-------

授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (19クラス)IM		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 		
講義方法	Every week in this course you will work with partners and small groups as you improve your ability to use and understand spoken English. For example you will do role plays and take part in discussions. Homework will allow you to review lesson content at home in your own time.		
準備学習	Complete whatever homework you are given. It is best to do this a few days before class rather than a few minutes before class!		
成績評価	Participation	50%	
	Homework	20%	
	Presentation	15%	
	Final exam	15%	
講義構成	<p>1st Semester</p> <p>Class 1 Independent study (class registration & placement during first week)</p> <p>Class 2 Introduction</p> <p>Classes 3&4 Vacations</p> <p>Classes 5&6 Movies & music</p> <p>Classes 7&8 Sport</p> <p>Class 9 Review</p> <p>Classes 10&11 Special events</p> <p>Casses 12&13 Giving advice</p> <p>Class 14 Review</p> <p>2nd Semester</p> <p>Class 1 Review and introduction</p> <p>Classes 2&3 Complaining</p> <p>Classes 4&5 Describing preferences</p> <p>Classes 6&7 Telling stories</p> <p>Classes 8&9 Making speculations</p> <p>Classes 10&11 The past</p> <p>Classes 12&13 Explaining possibilities</p> <p>Class 14 Review</p>		
教科書	Smart Choice 2 (Oxford)		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>		

授業コード	L1020		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (20クラス)IM		
担当者名	ボーリグ (ボーリグ ランデル ウェイン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	The purpose of each class will be to develop your confidence and ability to express yourself in English. Therefore, active participation is required. Most activities will be speaking and listening, but there will be some short reading and writing activities as well. We will work on pronunciation, grammar, meaning, use, and fluency using individual, pair, group, and full class work. Class time will be used for closely guided work as well as freer conversations expressing your own ideas, opinions, and feelings on different personal and social topics. I will be there to help when necessary, but you will also have to ask questions and discover answers for yourself and correct your own mistakes.
準備学習	All homework is to be prepared at home, not in class. If you are absent, it is your responsibility to find out what the homework is from the teacher or your classmates, and be prepared for the next class. Keep all your class work and homework as a reference for new words and for test preparation.
成績評価	Participation and homework 20% Mid-term exams 40% Final in-class exams 40%
講義構成	Note: Some changes may occur depending on students abilities and interests. Spring term Week 1 Independent study (class registration and placement). Week 2 Orientation Weeks 3-5 Unit 1 Weeks 6-8 Unit 3 Week 9-11 Unit 4 Week 12-13 Consolidation/extension/review Week 14 Term assessment Fall term Week 1 Re-orientation Weeks 2-4 Unit 7 Weeks 5-7 Unit 10 Week 8 Review and mid-term assessment Weeks 9-11 Unit 11 Weeks 12-13 Unit 12 Week 14 Review and term assessment
教科書	The New English Firsthand 2 (Pearson/Longman) new 2010 edition
参考書・資料	Come prepared to every class with a notebook or loose-leaf folder and of course pen/pencil. A dictionary

	would be useful.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Do your best. Try hard. Ask questions. Learn from your mistakes. Don't give up. Smile and enjoy learning English.

授業コード	L1021		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (21クラス)PI		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	Every week in this class students will work together with a partner or small groups as they improve their ability to use and understand spoken English. They will be involved in role plays or other activities. There will be a project where in Students will be able to use their own ideas in a creative way.
準備学習	Students must do any homework they are given
成績評価	Attendance and Participation 20% Homework 20% Final Project 60%
講義構成	(Spring) Class 1 Independent Study Class 2 Class policy, goal and interview with teacher Class 3 Group building activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 & 7 People; childhood and memories. Class 8 & 9 Transportation; problems; city services Class 10 & 11 Houses and apartments; lifestyle changes; wishes Class 12 & 13 Project design and preparation Class 14 Project Presentation (Fall) Class 1 Summer Vacation interviews Class 2 & 3 Travel; vacations; plans Class 4 & 5 Complaints; household chores; requests; excuses and apologies

	Class 6 & 7 Holidays; festivals; customs and celebrations Class 8 & 9 Life in the past, present and future; changes and contrasts; consequences Class 10 & 11 Abilities and skills; job preferences; personality traits; careers Class 12 & 13 Project work, design and preparation Class 14 Final project presentation
教科書	Interchange Student book 2
参考書・資料	Students are required to bring a dictionary to class.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	I hope all students will enjoy the class. Students will ample opportunity to improve their pronunciation in this class.

授業コード	L1022		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (22クラス)IM		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜5限)、後期(水曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	Every week in this class students will work together with a partner or small groups as they improve their ability to use and understand spoken English. They will be involved in role plays or other activities. There will be a project where in Students will be able to use their own ideas in a creative way.
準備学習	Students must do any homework they are given
成績評価	Attendance and Participation 20% Homework 20% Final Project 60%
講義構成	(Spring) Class 1 Independent Study Class 2 Class policy, goal and interview with teacher Class 3 Group building activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 & 7 People; childhood and memories. Class 8 & 9 Transportation; problems; city services Class 10 & 11 Houses and apartments; lifestyle changes; wishes Class 12 & 13 Project design and preparation

	<p>Class 14 Project Presentation</p> <p>(Fall)</p> <p>Class 1 Summer Vacation interviews Class 2 & 3 Travel; vacations; plans Class 4 & 5 Complaints; household chores; requests; excuses and apologies Class 6 & 7 Holidays; festivals; customs and celebrations Class 8 & 9 Life in the past, present and future; changes and contrasts; consequences Class 10 & 11 Abilities and skills; job preferences; personality traits; careers Class 12 & 13 Project work, design and preparation Class 14 Final project presentation</p>
教科書	Interchange Student book 2
参考書・資料	Students are required to bring a dictionary to class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	I hope all students will enjoy the class. Students will ample opportunity to improve their pronunciation in this class.

授業コード	L1023		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (23クラス)IM		
担当者名	クック(クック ルイーズ ジェニファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	At the beginning of most classes, student pairs will have the opportunity to discuss various topics of their own choosing. After this, we will work from the textbook.
準備学習	Students should review the previous week's lesson, and complete any homework assignments before the following class.
成績評価	<p>Final grades will depend on: active class participation, punctual and complete homework assignments, quizzes and in-class tests, and regular attendance. (More than three times absent in one semester may result in a failing grade.)</p> <p>Class participation: 50% Homework: 20% Quizzes/test: 20% Attendance: 10%</p>

講義構成	<p>The following schedule may change according to the needs and abilities of the students. (However, it is expected that at least two weeks will be needed to cover each textbook unit.)</p> <p>Semester 1 Week 1: Course and Teacher introductions Week 2: Getting-to-know-you activities Week 3: Unit 1, Making introductions/Using greetings Week 4: Unit 1 Week 5: Unit 2, Expressing Emotions Week 6: Unit 2 Week 7: Unit 3, Stating opinions/Describing personal experiences Week 8: Unit 3 Week 9: Unit 4, Stating interests and opinions Week 10, Unit 4 Week 11: Unit 5, Apologising/Giving reasons and excuses Week 12: Unit 5 Week 13: Unit 6, Describing cultures Week 14: Unit 6 Week 15: Summer activity lessons, review and feedback</p> <p>Semester 2 Week 16: Review / Welcome-back activities Week 17: Unit 7, Talking about the past Week 18: Unit 7 Week 19: Unit 8, Planning events/Making offers and requests Week 20: Unit 8 Week 21: Unit 9, Asking for and giving advice Week 22: Unit 9 Week 23: Unit 10, Telling and appreciating stories Week 24: Unit 10 Week 25: Unit 11, Stating opinions/Agreeing and disagreeing Week 26: Unit 11 Week 27: Unit 12, Talking about plans, goals and dreams Week 28: Unit 12 Week 29: Review Week 30: Course review and feedback</p>
教科書	<p>'New English Firsthand 2, Gold Edition' Writer: Marc Helgesen Publisher: Pearson Longman</p> <p>Please note: There are many editions of this textbook. Please make sure yours is the GOLD EDITION.</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>

授業コード	L1024		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (24クラス)PI		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。																																								
講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.																																								
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																																								
講義方法	You will have many chances to practice speaking with different partners every class. There will be some listening, reading and writing but the main focus will be on spoken English. The themes for pair discussion are based on unit themes in the textbook. You will receive many handouts which will supplement the textbook and give you a variety of speaking opportunities.																																								
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given before you come to class. Don't do it a few minutes before class! Also, don't work ahead in the textbook before class. It's more important to spend time reviewing what you learned in the previous lesson.																																								
成績評価	Your grade will be based on your attendance, your participation in class activities, on homework assignments and on two written and two oral exams. <ul style="list-style-type: none"> * The written exams are based on grammar and vocabulary but will have some listening, as well. * In the oral exams you must speak with a partner for three to five minutes on a selected topic with no notes or memorized phrases. <p>attendance 15%</p> <p>participation 15%</p> <p>Oral tests 40%</p> <p>Paper tests 30%</p> <p>(Absence and lateness will negatively affect your participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>																																								
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">(Spring)</th> <th colspan="2" style="text-align: left;">(Fall)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Class 1</td> <td>Introduction</td> <td>Class 1</td> <td>Summer activities discussion</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Spring activities discussion</td> <td>Class 2</td> <td>Spring review</td> </tr> <tr> <td>Classes 3-5</td> <td>People; childhood memories</td> <td>Classes 3-5</td> <td>Houses, apartments; wishes</td> </tr> <tr> <td>Classes 6-8</td> <td>Transportation; city services</td> <td>Classes 6-8</td> <td>Complaints; household chores; requests; apologies</td> </tr> <tr> <td>Classes 9-11</td> <td>Food; cooking; instructions</td> <td>Class 9-10</td> <td>Holidays; festivals; customs</td> </tr> <tr> <td>Classes 12-13</td> <td>Travel; vacations; plans</td> <td>Class 11</td> <td>Agreeing; and disagreeing</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Oral exam</td> <td>Class 12</td> <td>Landmarks and monuments</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>Class 13</td> <td>Entertainment; movies; books; reactions and opinions</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>Class 14</td> <td>Oral exam</td> </tr> </tbody> </table>	(Spring)		(Fall)		Class 1	Introduction	Class 1	Summer activities discussion	Class 2	Spring activities discussion	Class 2	Spring review	Classes 3-5	People; childhood memories	Classes 3-5	Houses, apartments; wishes	Classes 6-8	Transportation; city services	Classes 6-8	Complaints; household chores; requests; apologies	Classes 9-11	Food; cooking; instructions	Class 9-10	Holidays; festivals; customs	Classes 12-13	Travel; vacations; plans	Class 11	Agreeing; and disagreeing	Class 14	Oral exam	Class 12	Landmarks and monuments			Class 13	Entertainment; movies; books; reactions and opinions			Class 14	Oral exam
(Spring)		(Fall)																																							
Class 1	Introduction	Class 1	Summer activities discussion																																						
Class 2	Spring activities discussion	Class 2	Spring review																																						
Classes 3-5	People; childhood memories	Classes 3-5	Houses, apartments; wishes																																						
Classes 6-8	Transportation; city services	Classes 6-8	Complaints; household chores; requests; apologies																																						
Classes 9-11	Food; cooking; instructions	Class 9-10	Holidays; festivals; customs																																						
Classes 12-13	Travel; vacations; plans	Class 11	Agreeing; and disagreeing																																						
Class 14	Oral exam	Class 12	Landmarks and monuments																																						
		Class 13	Entertainment; movies; books; reactions and opinions																																						
		Class 14	Oral exam																																						
教科書	Interchange 2 (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge Univ. Press																																								
参考書・資料	Please bring a dictionary, notebook and a folder for handouts.																																								
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																																								
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As your																																								

	teacher, I will provide learning materials and activities to help you, but you must come to class with a good attitude and a strong willingness to learn. Only then will real learning take place. Do your best every class!
--	--

授業コード	L1025		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (25クラス)IM		
担当者名	クック(クック ルイーズ ジェニファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	At the beginning of most classes, student pairs will have the opportunity to discuss various topics of their own choosing. After this, we will work from the textbook.
準備学習	Students should review the previous week's lesson, and complete any homework assignments before the following class.
成績評価	Final grades will depend on: active class participation, punctual and complete homework assignments, quizzes and in-class tests, and regular attendance. (More than three times absent in one semester may result in a failing grade.) Class participation: 50% Homework: 20% Quizzes/test: 20% Attendance: 10%
講義構成	The following schedule may change according to the needs and abilities of the students. (However, it is expected that at least two weeks will be needed to cover each textbook unit.) Semester 1 Week 1: Course and Teacher introductions Week 2: Getting-to-know-you activities Week 3: Unit 1, Making introductions/Using greetings Week 4: Unit 1 Week 5: Unit 2, Expressing Emotions Week 6: Unit 2 Week 7: Unit 3, Stating opinions/Describing personal experiences Week 8: Unit 3 Week 9: Unit 4, Stating interests and opinions Week 10, Unit 4 Week 11: Unit 5, Apologising/Giving reasons and excuses Week 12: Unit 5 Week 13: Unit 6, Describing cultures Week 14: Unit 6 Week 15: Summer activity lessons, review and feedback Semester 2 Week 16: Review / Welcome-back activities Week 17: Unit 7, Talking about the past Week 18: Unit 7

	<p>Week 19: Unit 8, Planning events/Making offers and requests</p> <p>Week 20: Unit 8</p> <p>Week 21: Unit 9, Asking for and giving advice</p> <p>Week 22: Unit 9</p> <p>Week 23: Unit 10, Telling and appreciating stories</p> <p>Week 24: Unit 10</p> <p>Week 25: Unit 11, Stating opinions/Agreeing and disagreeing</p> <p>Week 26: Unit 11</p> <p>Week 27: Unit 12, Talking about plans, goals and dreams</p> <p>Week 28: Unit 12</p> <p>Week 29: Review</p> <p>Week 30: Course review and feedback</p>
教科書	<p>'New English Firsthand 2, Gold Edition'</p> <p>Writer: Marc Helgesen</p> <p>Publisher: Pearson Longman</p> <p>Please note: There are many editions of this textbook. Please make sure yours is the GOLD EDITION.</p>
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>

授業コード	L1026		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (26クラス)AV		
担当者名	クーパー(クーパー マシュー セバスチャン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	<p>This course will focus on further developing the students' communicative ability up from the introductory level.</p> <p>Each class will begin with a warm-up exercise and free conversation with the teacher. Students will be actively encouraged to speak freely and to be active participants and communicators. There will then be an oral practice and presentation of the previous week's language.</p> <p>Students will then learn about a new area grammatical point or linguistic function, and move on to practice this gradually until they can freely use it accurately.</p> <p>Each lesson will end with an exercise based on a song and occasionally singing.</p>
準備学習	Every week students must revise the language covered the previous week, fill in their vocabulary log, and prepare for the next class, by looking up any words they are not familiar with.

成績評価	Attendance 10% Class participation and effort 30% Homework and notebook 30% Class presentations 30%.
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the students abilities and interests. (Spring) (Fall) Class 1 : Class introduction Class 1: Review of Spring Class 2 & 3 : Talking about hobbies Class 2 & 3 : Appearances Class 3 & 4 : Asking questions about the T.V Class 3 & 4 : Asking for advice Class 5 & 6 : Describing things Class 5 & 6 : Expressing regret Class 7 & 8: Personality types Class 7 & 8: Review Class 9 & 10: Explaining how to use things Class 9 & 10: Talking about the past Class 11 & 12: Adjectives and Adverbs Class 11 & 12: Discoveries and inventions Class 13 & 14: Describing stories Class 13 & 14: Reported speech
教科書	AV (class 1): Smart Choice Book 3 (Oxford)
参考書・資料	Please bring a dictionary to class and notebook
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Please come to class regularly and enjoy studying together. I can help you whenever you need, but you must make a true effort.

授業コード	L1027		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (27クラス)AV		
担当者名	マニユエル(マニユエル ステラ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	The purpose of this course is to encourage students to develop confidence in speaking. listening and reading that are connected with topic. There will be number of topics from textbook which students will discuss in pairs and in groups.
準備学習	Riview your lessons. Do your homework.
成績評価	Grades will be based on attitude, attendance, participation in class activities and homework assignment. Pair

	work , Presentation 50% Homework 30% and Attendance 20%
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests. Spring Class 1 Registration and Placement during first week. Classes 2 & 3 Behavior and Personality Classes 4 & 5 Experiences Classes 6 & 7 Wonders Classes 8 & 9 Family life Classes 10 & 11 Food choices Classes 12 & 13 Future Plans. Class 14 Presentations. Class 15 Oral Exam. Fall Class 1 Review of Spring Classes 2 & 3 Relationships Classes 4 & 5 What if? Classes 6 & 7 Technology Classes 8 & 9 Social life Classes 10 & 11 Impressions. Classes 12 & 13 Current Events Class14 Presentations. Class 15 Final Exam
教科書	Touch Stone 3 Author – Michael McCarthy Publisher – Cambridge.
参考書・資料	Dictionary is a must, English / Japanese, Japanese / English.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must

授業コード	L1028		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (28クラス)PI		
担当者名	クック(クック ルイーズ ジェニファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations ・ express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) ・ learn new vocabulary, structures, and useful expressions ・ practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)

講義方法	At the beginning of most classes, student pairs will have the opportunity to discuss various topics of their own choosing. After this, we will work from the textbook.
準備学習	Students should review the previous week`s lesson, and complete any homework assignments before the following class.
成績評価	Final grades will depend on: active class participation, punctual and complete homework assignments, quizzes and in-class tests, and regular attendance. (More than three times absent in one semester may result in a failing grade.) Class participation: 50% Homework: 20% Quizzes/test: 20% Attendance: 10%
講義構成	The following schedule may change according to the needs and abilities of the students. (However, it is expected that at least two weeks will be needed to cover each textbook unit.) Semester 1 Week 1: Course and Teacher introductions Week 2: Getting-to-know-you activities Week 3: Unit 1, Making introductions/Using greetings Week 4: Unit 1 Week 5: Unit 2, Expressing Emotions Week 6: Unit 2 Week 7: Unit 3, Stating opinions/Describing personal experiences Week 8: Unit 3 Week 9: Unit 4, Stating interests and opinions Week 10, Unit 4 Week 11: Unit 5, Apologising/Giving reasons and excuses Week 12: Unit 5 Week 13: Unit 6, Describing cultures Week 14: Unit 6 Week 15: Summer activity lessons, review and feedback Semester 2 Week 16: Review / Welcome-back activities Week 17: Unit 7, Talking about the past Week 18: Unit 7 Week 19: Unit 8, Planning events/Making offers and requests Week 20: Unit 8 Week 21: Unit 9, Asking for and giving advice Week 22: Unit 9 Week 23: Unit 10, Telling and appreciating stories Week 24: Unit 10 Week 25: Unit 11, Stating opinions/Agreeing and disagreeing Week 26: Unit 11 Week 27: Unit 12, Talking about plans, goals and dreams Week 28: Unit 12 Week 29: Review Week 30: Course review and feedback
教科書	'New English Firsthand 2, Gold Edition' Writer: Marc Helgesen Publisher: Pearson Longman Please note: There are many editions of this textbook. Please make sure yours is the GOLD EDITION.
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center`s Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

授業コード	L1029		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (29クラス)PI		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	You will work with partners and in small groups as you improve your ability to understand and use spoken English. You will participate in role plays and discussions to practice what we study. You will also do regular homework to review and learn at your own pace.
準備学習	If you want to be successful in this course, you should do these things: <ul style="list-style-type: none"> * Bring your text, workbook and ClearBook to every class. * Do your homework well before class ? not in the few minutes before class starts. You need the time to think about it and be sure you have done it well. * Sometimes you will do a quiz for homework ? these quizzes are part of your grade for the course, so it is very important that you answer the questions carefully ? take your time and do a good job.
成績評価	Participation 20% Speaking Assessments 40% Homework & other activities40%
講義構成	Semester 1: Class 1Independent study (class registration and placement during first week) Class 2Orientation Class 3Vacations Class 4Vacations Class 5Movies & music Class 6Movies & music Class 7Movies & music Class 8Extreme sports Class 9Extreme sports Class 10Extreme sports Class 11Around the world Class 12Around the world Class 13Around the world Class 14Wrap-up Semester 2: Class 1Shopping Class 2Shopping Class 3Shopping Class 4Appearance & personality Class 5Appearance & personality

	Class 6 Appearance & personality Class 7 Accidents & injuries Class 8 Accidents & injuries Class 9 Accidents & injuries Class 10 Places to live Class 11 Places to live Class 12 Places to live Class 13 Review Class 14 Wrap-up
教科書	1. Smart Choice Student Book 2, Wilson, K., Oxford 2. Smart Choice Workbook 2, Wilson, K., Oxford
参考書・資料	You will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.

授業コード	L1030		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (30クラス)IM		
担当者名	マニユエル(マニユエル ステラ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	The purpose of this course is to encourage students to develop confidence in speaking, listening and reading that are connected with topic. There will be number of topics from textbook which students will discuss in pairs and in groups.
準備学習	Review your lessons and do your homework. It will be checked regularly.
成績評価	Grades will be based on attitude, attendance, participation in class activities and homework assignment. Pairwork & Presentation 50% Homework 30% and Attendance 20%
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests. Spring Class 1 Registration and Placement during first week. Classes 2 & 3 Behavior and Personality Classes 4 & 5 Experiences Classes 6 & 7 Wonders Classes 8 & 9 Family life Classes 10 & 11 Food choices

	<p>Classes 12 & 13 Future Plans. Class 14 Presentations. Class 15 Oral Exam.</p> <p>Fall Class 1 Review of Spring Classes 2 & 3 Relationships Classes 4 & 5 What if? Classes 6 & 7 Technology Classes 8 & 9 Social life Classes 10 & 11 Impressions. Classes 12 & 13 Current Events Class14 Presentations. Class 15 Final Exam</p>
教科書	<p>Touch Stone 3 Author – Michael McCarthy Publisher – Cambridge.</p>
参考書・資料	Dictionary is a must, English / Japanese, Japanese / English.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must

授業コード	L1031		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (31クラス)IM		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	You will work with partners and in small groups as you improve your ability to understand and use spoken English. You will participate in role plays and discussions to practice what we study. You will also do regular homework to review and learn at your own pace.
準備学習	<p>If you want to be successful in this course, you should do these things:</p> <ul style="list-style-type: none"> * Bring your text, workbook and ClearBook to every class. * Do your homework well before class ? not in the few minutes before class starts. You need the time to think about it and be sure you have done it well. * Sometimes you will do a quiz for homework ? these quizzes are part of your grade for the course, so it is very important that you answer the questions carefully ? take your time and do a good job.

成績評価	Participation 20% Speaking Assessments 40% Homework & other activities 40%
講義構成	Semester 1: Class 1 Independent study (class registration and placement during first week) Class 2 Orientation Class 3 Vacations Class 4 Vacations Class 5 Movies & music Class 6 Movies & music Class 7 Movies & music Class 8 Extreme sports Class 9 Extreme sports Class 10 Extreme sports Class 11 Around the world Class 12 Around the world Class 13 Around the world Class 14 Wrap-up Semester 2: Class 1 Shopping Class 2 Shopping Class 3 Shopping Class 4 Appearance & personality Class 5 Appearance & personality Class 6 Appearance & personality Class 7 Accidents & injuries Class 8 Accidents & injuries Class 9 Accidents & injuries Class 10 Places to live Class 11 Places to live Class 12 Places to live Class 13 Review Class 14 Wrap-up
教科書	1. Smart Choice Student Book 2, Wilson, K., Oxford 2. Smart Choice Workbook 2, Wilson, K., Oxford
参考書・資料	You will need an A4 size ClearBook for handouts and downloads. I will show you an example in our first class.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	A mind is like a parachute. It only works when it is open.

授業コード	L1032		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (32クラス)PI		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.																																								
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																																								
講義方法	You will have many chances to practice speaking with different partners every class. There will be some listening, reading and writing but the main focus will be on spoken English. The themes for pair discussion are based on unit themes in the textbook. You will receive many handouts which will supplement the textbook and give you a variety of speaking opportunities.																																								
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given before you come to class. Don't do it a few minutes before class! Also, don't work ahead in the textbook before class. It's more important to spend time reviewing what you learned in the previous lesson.																																								
成績評価	Your grade will be based on your attendance, your participation in class activities, on homework assignments and on two written and two oral exams. <ul style="list-style-type: none"> * The written exams are based on grammar and vocabulary but will have some listening, as well. * In the oral exams you must speak with a partner for three to five minutes on a selected topic with no notes or memorized phrases. <p>attendance 15%</p> <p>participation 15%</p> <p>Oral Tests 40%</p> <p>Paper tests 30%</p> <p>(Absence and lateness will negatively affect your participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>																																								
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(Spring)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(Fall)</td> </tr> <tr> <td>Class 1</td> <td>Introduction</td> <td>Class 1</td> <td>Summer activities discussion</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Spring activities discussion</td> <td>Class 2</td> <td>Spring review</td> </tr> <tr> <td>Classes 3-5</td> <td>People; childhood memories</td> <td>Classes 3-5</td> <td>Houses, apartments; wishes</td> </tr> <tr> <td>Classes 6-8</td> <td>Transportation; city services</td> <td>Classes 6-8</td> <td>Complaints; household chores; requests; apologies</td> </tr> <tr> <td>Classes 9-11</td> <td>Food; cooking; instructions</td> <td>Class 9-10</td> <td>Holidays; festivals; customs</td> </tr> <tr> <td>Classes 12-13</td> <td>Travel; vacations; plans</td> <td>Class 11</td> <td>Agreeing; and disagreeing</td> </tr> <tr> <td>Class 14</td> <td>Oral exam</td> <td>Class 12</td> <td>Landmarks and monuments</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>Class 13</td> <td>Entertainment; movies; books; reactions and opinions</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>Class 14</td> <td>Oral exam</td> </tr> </table>	(Spring)		(Fall)		Class 1	Introduction	Class 1	Summer activities discussion	Class 2	Spring activities discussion	Class 2	Spring review	Classes 3-5	People; childhood memories	Classes 3-5	Houses, apartments; wishes	Classes 6-8	Transportation; city services	Classes 6-8	Complaints; household chores; requests; apologies	Classes 9-11	Food; cooking; instructions	Class 9-10	Holidays; festivals; customs	Classes 12-13	Travel; vacations; plans	Class 11	Agreeing; and disagreeing	Class 14	Oral exam	Class 12	Landmarks and monuments			Class 13	Entertainment; movies; books; reactions and opinions			Class 14	Oral exam
(Spring)		(Fall)																																							
Class 1	Introduction	Class 1	Summer activities discussion																																						
Class 2	Spring activities discussion	Class 2	Spring review																																						
Classes 3-5	People; childhood memories	Classes 3-5	Houses, apartments; wishes																																						
Classes 6-8	Transportation; city services	Classes 6-8	Complaints; household chores; requests; apologies																																						
Classes 9-11	Food; cooking; instructions	Class 9-10	Holidays; festivals; customs																																						
Classes 12-13	Travel; vacations; plans	Class 11	Agreeing; and disagreeing																																						
Class 14	Oral exam	Class 12	Landmarks and monuments																																						
		Class 13	Entertainment; movies; books; reactions and opinions																																						
		Class 14	Oral exam																																						
教科書	Interchange 2 (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge Univ. Press																																								
参考書・資料	Please bring a dictionary, notebook and a folder for handouts.																																								
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																																								
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As your teacher, I will provide learning materials and activities to help you, but you must come to class with a good																																								

attitude and a strong willingness to learn. Only then will real learning take place. Do your best every class!

授業コード	L1033		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (33クラス)AV		
担当者名	マニユエル(マニユエル ステラ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	The purpose of this course is to encourage students to develop confidence in speaking, listening and reading that are connected with topic. There will be number of topics from textbook which students will discuss in pairs and in groups.
準備学習	Riview your lessons and do your homework.It will be checked regularly.
成績評価	Grades will be based on attitude, attendance, participation in class activities and homework assignment. Pairwork & Presentation 50% Homework 30% and Attendance 20%
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests. Spring Class 1 Registration and Placement during first week. Classes 2 & 3 Behavior and Personality Classes 4 & 5 Experiences Classes 6 & 7 Wonders Classes 8 & 9 Family life Classes 10 & 11 Food choices Classes 12 & 13 Future Plans. Class 14 Presentations. Class 15 Oral Exam. Fall Class 1 Review of Spring Classes 2 & 3 Relationships Classes 4 & 5 What if? Classes 6 & 7 Technology Classes 8 & 9 Social life Classes 10 & 11 Impressions. Classes 12 & 13 Current Events Class14 Presentations. Class 15 Final Exam .
教科書	Touch Stone 3 Author – Michael McCarthy Publisher – Cambridge.
参考書・資料	Dictionary is a must, English / Japanese, Japanese / English.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!

	Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must
---------	--

授業コード	L1034		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (34クラス)IM		
担当者名	マニュエル(マニュエル ステラ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations • express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. • practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) • learn new vocabulary, structures, and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 		
講義方法	The purpose of this course is to encourage students to develop confidence in speaking, listening and reading that are connected with topic. There will be number of topics from textbook which students will discuss in pairs and in groups.		
準備学習	Review your lessons and do your homework. It will be checked regularly		
成績評価	Grades will be based on attitude, attendance, participation in class activities and homework assignment.		
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with students abilities and interests.</p> <p>Spring</p> <p>Class 1 Registration and Placement during first week.</p> <p>Classes 2 & 3 Behavior and Personality</p> <p>Classes 4 & 5 Experiences</p> <p>Classes 6 & 7 Wonders</p> <p>Classes 8 & 9 Family life</p> <p>Classes 10 & 11 Food choices</p> <p>Classes 12 & 13 Future Plans.</p> <p>Class 14 Presentations.</p> <p>Class 15 Oral Exam.</p> <p>Fall</p> <p>Class 1 Review of Spring</p> <p>Classes 2 & 3 Relationships</p> <p>Classes 4 & 5 What if?</p> <p>Classes 6 & 7 Technology</p> <p>Classes 8 & 9 Social life</p> <p>Classes 10 & 11 Impressions.</p> <p>Classes 12 & 13 Current Events</p> <p>Class 14 Presentations.</p> <p>Class 15 Final Exam</p>		
教科書	Touch Stone 3 Author – Michael McCarthy		

	Publisher – Cambridge.
参考書・資料	Dictionary is a must, English / Japanese, Japanese / English.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Japanese/English, English/ Japanese Dictionary is a must

授業コード	L1035		
授業科目名	中級英語オーラル・コミュニケーション (35クラス)IM		
担当者名	ウエスト(ジェイムズ F. ウエスト)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills acquired at the introductory level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to participate in longer, more complex conversations in a variety of situations ・ express their ideas and opinions about topics that are familiar and related to personal experience and interests, and begin to talk about more complex issues of social and global interest. ・ practice using language fluently, accurately, and appropriately (including grammar, vocabulary, idiomatic expressions, pronunciation, and intonation) ・ learn new vocabulary, structures, and useful expressions ・ practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	You will have many chances to practice speaking with different partners every class. There will be some listening, reading and writing but the main focus will be on spoken English. The themes for pair discussion are based on unit themes in the textbook. You will receive many handouts which will supplement the textbook and give you a variety of speaking opportunities.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given before you come to class. Don't do it a few minutes before class! Also, don't work ahead in the textbook before class. It's more important to spend time reviewing what you learned in the previous lesson.
成績評価	Your grade will be based on your attendance, your participation in class activities, on homework assignments and on two written and two oral exams. <ul style="list-style-type: none"> * The written exams are based on grammar and vocabulary but will have some listening, as well. * In the oral exams you must speak with a partner for three to five minutes on a selected topic with no notes or memorized phrases. <p>attendance 15%</p> <p>participation 15%</p> <p>Oral tests 40%</p> <p>Paper tests 30%</p> <p>(Absence and lateness will negatively affect your participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for the course.)</p>
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. (Spring) (Fall)

	<p>Class 1 Introduction</p> <p>Class 2 Spring activities discussion</p> <p>Classes 3-5 People; childhood memories</p> <p>Classes 6-8 Transportation; city services</p> <p>Classes 9-11 Food; cooking; instructions</p> <p>Classes 12-13 Travel; vacations; plans</p> <p>Class 14 Oral exam</p>	<p>Class 1 Summer activities discussion</p> <p>Class 2 Spring review</p> <p>Classes 3-5 Houses, apartments; wishes</p> <p>Classes 6-8 Complaints; household chores; requests; apologies</p> <p>Class 9-10 Holidays; festivals; customs</p> <p>Class 11 Agreeing; and disagreeing</p> <p>Class 12 Landmarks and monuments</p> <p>Class 13 Entertainment; movies; books; reactions and opinions</p> <p>Class 14 Oral exam</p>
教科書	Interchange 2 (Third Edition) Jack C. Richards Cambridge Univ. Press	
参考書・資料	Please bring a dictionary, notebook and a folder for handouts.	
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>	
担当者から一言	The goal of university education is to help you become independent and find your own path in life. As your teacher, I will provide learning materials and activities to help you, but you must come to class with a good attitude and a strong willingness to learn. Only then will real learning take place. Do your best every class!	

授業コード	L1101		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (1クラス)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	You will take part in a variety of pair- and small-group activities designed to help you develop, practice, and give experiential and informative speech presentations of a variety of topics, lengths, and purposes. Through a system of self- and peer-review and feedback, you will develop and improve your speech skills and help to improve those of your classmates.
準備学習	Complete homework and speech preparation. Homework is important for the development of your speeches and is required for participation in following class' activities.
成績評価	Participation 30%

	Homework 30% Speech presentations 40%
講義構成	Spring Class 1 Independent study, registration Class 2 Course introduction; Unit 0: Getting ready Classes 3, 4, 5, 6 Unit 1: A new club member Classes 7, 8, 9, 10 Unit 2: A favorite place Classes 11, 12, 13, 14 Unit 3: A prized possession Fall Classes 1, 2, 3, 4, 5 Unit 4: A memorable experience Classes 6, 7, 8, 9, 10 Unit 5: Show me how. Classes 11, 12, 13, 14 Unit 6: Movie magic
教科書	Gershon: Present Yourself 1: Experiences (Cambridge)
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Student participation, cooperation, and effort is necessary for individual and class-wide success.

授業コード	L1102		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (2クラス)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	You will take part in a variety of pair- and small-group activities designed to help you develop, practice, and give experiential and informative speech presentations of a variety of topics, lengths, and purposes. Through a system of self- and peer-review and feedback, you will develop and improve your speech skills and help to improve those of your classmates.
準備学習	Complete homework and speech preparation. Homework is important for the development of your speeches and is required for participation in following class' activities.
成績評価	Participation 30% Homework 30% Speech presentations 40%

講義構成	<p>Spring</p> <p>Class 1 Independent study, registration</p> <p>Class 2 Course introduction; Unit 0: Getting ready</p> <p>Classes 3, 4, 5, 6 Unit 1: A new club member</p> <p>Classes 7, 8, 9, 10 Unit 2: A favorite place</p> <p>Classes 11, 12, 13, 14 Unit 3: A prized possession</p> <p>Fall</p> <p>Classes 1, 2, 3, 4, 5 Unit 4: A memorable experience</p> <p>Classes 6, 7, 8, 9, 10 Unit 5: Show me how.</p> <p>Classes 11, 12, 13, 14 Unit 6: Movie magic</p>
教科書	Gershon: Present Yourself 1: Experiences (Cambridge)
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Student participation, cooperation, and effort is necessary for individual and class-wide success.

授業コード	L1103		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (3クラス)		
担当者名	野村和宏(ノムラ カズヒロ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	非常勤講師で授業のある火曜日だけ出講するため、甲南大学でのオフィスアワーはありません。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	授業は担当教員による講義部分と参加学生による実践部分とに分かれ、前半では指定教科書を用いてスピーチ・コミュニケーションの理論的枠組やさまざまな発表の方法を「知識」として学び、後半ではそれらをスピーチの形で教室で発表することで「実践」しながら体得していく。授業は全て英語で行う。
準備学習	<p>Speech Sessionの中でLeaderやFormal Speakerを担当する学生は次週の発表に向けて十分な準備が必要である。Leaderはどのように司会進行するか、他のSpeakerを紹介するか、など原稿を用意して口頭でも練習しておくことが望まれる。またFormal Speakerは3分から4分の範囲のスピーチの原稿を書いて推敲し、実際に声を出しながらの練習を通して自分のスピーチを準備し、当日の発表中に原稿にかじりつくことなく聴衆とアイコンタクトができるように発表することが期待される。</p> <p>こうした役割は順番に回していくために、毎週この授業前の準備が必要となるわけではない。それ以外の学生は当日のSpeech Sessionで即席スピーチや論評スピーチを発表する。</p>

成績評価	<p>成績は毎回の授業中のスピーチ発表(40%)、期末筆記テスト(40%)、出欠状況(10%)、宿題レポート課題(10%)をパソコンによるグレードブック(成績管理ソフト)を用いて管理・評価していく。</p> <p>毎時間、各自がスピーチセッションで役割を分担し発表する。この発表がそのままスコアとして加算されていく。欠席を補うための特別な課題は出さないが、正当な理由での欠席については点数は0点ではなく調整して加算する。</p>
講義構成	<p>授業は教科書を用いてスピーチについて学ぶEducational Session(約40分)の後、Speech Sessionを行う。Educational Sessionでは教科書のユニットを追いながら、前期15回、後期15回の授業でテキストの全体をカバーする。取り上げるテキストの内容は次のようなものであるが、学習の状況によって進度を調整する。</p> <p>●前期</p> <p>第1回はクラス編成のため各自自習学習期間となる(2010年4月6日から12日)。</p> <p>第2回 Introduction to Speech Presentation</p> <p>第3回 The Physical Message</p> <p>第4回 Posture and Eye Contact</p> <p>第5回 Informative Speech</p> <p>第6回 What Are Gestures?</p> <p>第7回 Practice Using Gesturers</p> <p>第8回 Layout Speech</p> <p>第9回 Voice Inflection</p> <p>第10回 Inflection Pairwork</p> <p>第11回 Demonstration Speech</p> <p>第12回 The Visual Message</p> <p>第13回 What Are Visuals?</p> <p>第14回 How to Make Visuals</p> <p>第15回 前期筆記試験</p> <p>●後期</p> <p>第16回 Explaining Visuals</p> <p>第17回 How to Explaining a Chart</p> <p>第18回 What Is a Story Message?</p> <p>第19回 How to Use Presentation Structure</p> <p>第20回 Practice Using a Presentation Structure</p> <p>第21回 How to Make Introductory Phrases</p> <p>第22回 What Is the Body?</p> <p>第23回 Why Is Evidence in the Body Important?</p> <p>第24回 Practice Using Evidence in the Body</p> <p>第25回 What Are Transitions and Sequencers?</p> <p>第26回 Transitions and Sequencers Pairwork</p> <p>第27回 The Conclusion</p> <p>第28回 Practice Conclusion</p> <p>第29回 Final Performance</p> <p>第30回 後期筆記試験</p> <p>授業後半のSpeech Sessionは、Table Topic Session、Formal Speech Session、Evaluation Sessionで構成される。ここではそれぞれ1分半の即席スピーチ、あらかじめ準備してきたスピーチ、そして評価のスピーチを発表する。これらの司会進行も学生によるLeader of the Meetingが担当する。スピーチ発表は指定された時間内に収めるために、全体を通してTime Keeperによる時間管理を行う。なお Table Topics Session, Formal Speech Session, Evaluation Sessionのそれぞれにおいて学生同士による投票を行い、毎回、3名のBest Speakerを選び表彰する。授業の最後に担当教員により各学生の発表に対して講評が行われる。</p>
教科書	<p>中級スピーチ・コミュニケーション指定教科書の一つである以下のものを使用する。このテキストには多くのイラストと共にモデルとなる発表の映像がDVDにて添付されている。履修者は教科書を必ず授業に持参すること。</p> <p>David Harrington & Charles LeBeau, Speaking of Speech New Edition. Macmillan (ISBN 978-4-7773-6271-4)</p>
参考書・資料	<p>JACETオーラル・コミュニケーション研究会編『オーラル・コミュニケーションの理論と実践』三修社 (ISBN 4-384-01183-0)</p> <p>この参考図書は必ずしも履修者が個人的に購入する必要はない。図書館等で参照してほしい。</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>スピーチを発表するため基本的な英語を構成する力が求められる。また原稿を書いたり事前に練習したりとい</p>

	<p>う地道な学習も必要である。授業に参加すれば自動的に上達するものではないことを忘れないでほしい。</p> <p>しかし講義型ではなく「口の字」型に机を配置し、友好的な雰囲気の中で同じ目的に向かって積極的に学ぼうとする履修者のお互いの学びの姿勢が刺激になり、すぐに協同学習者としての授業の中での自分の「場」を見つけることができる。毎回の授業の中でのベストスピーカーを選んだり、学習途中段階での成績評価、授業の成果を残すものとしてスピーチ発表を収録したDVD(CD)など、積極的に取り組んだ分だけ手応えが得られるはずである。</p>
その他	<p>担当教員へ連絡が必要な場合は次のメールアドレス(神戸市外国語大学 野村和宏研究室)へ送信してください。 kaz_nomura@inst.kobe-cufs.ac.jp</p>

授業コード	L1104		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション(4クラス)		
担当者名	野村和宏(ノムラ カズヒロ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	非常勤講師で授業のある火曜日だけ出講するため、甲南大学でのオフィスアワーはありません。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) ・ learn how to prepare various types of speeches ・ regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences ・ give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned ・ gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest ・ learn how to listen actively and ask questions as audience members ・ learn new vocabulary and useful expressions ・ practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 		
講義方法	<p>授業は担当教員による講義部分と参加学生による実践部分とに分かれ、前半では指定教科書を用いてスピーチ・コミュニケーションの理論的枠組やさまざまな発表の方法を「知識」として学び、後半ではそれらをスピーチの形で教室で発表することで「実践」しながら体得していく。授業は全て英語で行う。</p>		
準備学習	<p>Speech Sessionの中でLeaderやFormal Speakerを担当する学生は次週の発表に向けて十分な準備が必要である。Leaderはどのように司会進行するか、他のSpeakerを紹介するか、など原稿を用意して口頭でも練習しておくことが望まれる。またFormal Speakerは3分から4分の範囲のスピーチの原稿を書いて推敲し、実際に声を出しながらの練習を通して自分のスピーチを準備し、当日の発表中に原稿にかじりつくことなく聴衆とアイコンタクトができるように発表することが期待される。</p> <p>こうした役割は順番に回していくために、毎週この授業前の準備が必要となるわけではない。それ以外の学生は当日のSpeech Sessionで即席スピーチや論評スピーチを発表する。</p>		
成績評価	<p>成績は毎回の授業中のスピーチ発表(40%)、期末筆記テスト(40%)、出欠状況(10%)、宿題レポート課題(10%)をパソコンによるグレードブック(成績管理ソフト)を用いて管理・評価していく。</p> <p>毎時間、各自がスピーチセッションで役割を分担し発表する。この発表がそのままスコアとして加算されていく。欠席を補うための特別な課題は出さないが、正当な理由での欠席については点数は0点ではなく調整して加算する。</p>		
講義構成	<p>授業は教科書を用いてスピーチについて学ぶEducational Session(約40分)の後、Speech Sessionを行う。</p> <p>Educational Sessionでは教科書のユニットを追いながら、前期15回、後期15回の授業でテキストの全体をカバーする。取り上げるテキストの内容は次のようなものであるが、学習の状況によって進度を調整する。</p> <p>●前期</p> <p>第1回はクラス編成のため各自自習学習期間となる(2010年4月6日から12日)。</p> <p>第2回 Introduction to Speech Presentation</p> <p>第3回 The Physical Message</p> <p>第4回 Posture and Eye Contact</p> <p>第5回 Informative Speech</p> <p>第6回 What Are Gestures?</p>		

	<p>第7回 Practice Using Gestuers 第8回 Layout Speech 第9回 Voice Inflection 第10回 Inflection Pairwork 第11回 Demonstration Speech 第12回 The Visual Message 第13回 What Are Visuals? 第14回 How to Make Visuals 第15回 前期筆記試験 ●後期 第16回 Explaining Visuals 第17回 How to Explaing a Chart 第18回 What Is a Story Message? 第19回 How to Use Presentation Structure 第20回 Practice Using a Presentation Structure 第21回 How to Make Introductory Phrases 第22回 What Is the Body? 第23回 Why Is Evidence in the Body Important? 第24回 Practice Using Evidence in the Body 第25回 What Are Transitions and Sequencers? 第26回 Transitions and Sequencers Pairwork 第27回 The Conclusion 第28回 Practice Conclusion 第29回 Final Performance 第30回 後期筆記試験</p> <p>授業後半のSpeech Sessionは、Table Topic Session、Formal Speech Session、Evaluation Sessionで構成される。ここではそれぞれ1分半の即席スピーチ、あらかじめ準備してきたスピーチ、そして評価のスピーチを発表する。これらの司会進行も学生によるLeader of the Meetingが担当する。スピーチ発表は指定された時間内に収めるために、全体を通してTime Keeperによる時間管理を行う。なお Table Topics Session, Formal Speech Session, Evaluation Sessionのそれぞれにおいて学生同士による投票を行い、毎回、3名のBest Speakerを選び表彰する。授業の最後に担当教員により各学生の発表に対して講評が行われる。</p>
教科書	<p>中級スピーチ・コミュニケーション指定教科書の一つである以下のものを使用する。このテキストには多くのイラストと共にモデルとなる発表の映像がDVDにて添付されている。履修者は教科書を必ず授業に持参すること。 David Harrington & Charles LeBeau, Speaking of Speech New Edition. Macmillan (ISBN 978-4-7773-6271-4)</p>
参考書・資料	<p>JACETオーラル・コミュニケーション研究会編『オーラル・コミュニケーションの理論と実践』三修社 (ISBN 4-384-01183-0) この参考図書は必ずしも履修者が個人的に購入する必要はない。図書館等で参照してほしい。</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>スピーチを発表するため基本的な英語を構成する力が求められる。また原稿を書いたり事前に練習したりという地道な学習も必要である。授業に参加すれば自動的に上達するものではないことを忘れないでほしい。 しかし講義型ではなく「口の字」型に机を配置し、友好的な雰囲気の中で同じ目的に向かって積極的に学ぼうとする履修者のお互いの学びの姿勢が刺激になり、すぐに協同学習者としての授業の中での自分の「場」を見つけることができる。毎回の授業の中でのベストスピーカーを選んだり、学習途中段階での成績評価、授業の成果を残すものとしてスピーチ発表を収録したDVD(CD)など、積極的に取り組んだ分だけ手応えが得られるはずである。</p>
その他	<p>担当教員へ連絡が必要な場合は次のメールアドレス(神戸市外国語大学 野村和宏研究室)へ送信してください。 kaz_nomura@inst.kobe-cufs.ac.jp</p>

授業コード	L1105
-------	-------

授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (5クラス)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.																		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																		
講義方法	Every week in this course you will work with partners and in small groups as you learn how to improve your presentation skills in English. This will involve choosing a suitable topic for your audience and deciding what you want to say. We will look at how to organize your ideas into an attention-getting introduction, a clear body, and a memorable conclusion. Furthermore, using your voice, gestures, posture, and eye contact will help you connect with your audience. We will study and practice all of these skills with the aim of becoming a better presenter.																		
準備学習	Your positive attitude, effort, and participation in class is very important for this course.																		
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Homework</td> <td style="width: 30%;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Presentations</td> <td>60%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for this course.)</p>			Homework	10%	Participation	10%	Bonus points	20%	Presentations	60%								
Homework	10%																		
Participation	10%																		
Bonus points	20%																		
Presentations	60%																		
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>(Spring)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">Class 1</td> <td style="width: 75%;">Independent study (class registration and placement during first week)</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Classes 3-5</td> <td>Getting ready</td> </tr> <tr> <td>Classes 6-10</td> <td>A new club member</td> </tr> <tr> <td>Classes 11-14</td> <td>A favorite place</td> </tr> </table> <p>(Fall)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">Classes 1-5</td> <td style="width: 75%;">A prized possession</td> </tr> <tr> <td>Classes 6-10</td> <td>A memorable experience</td> </tr> <tr> <td>Classes 11-14</td> <td>Show me how</td> </tr> </table>			Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)	Class 2	Class introduction and orientation	Classes 3-5	Getting ready	Classes 6-10	A new club member	Classes 11-14	A favorite place	Classes 1-5	A prized possession	Classes 6-10	A memorable experience	Classes 11-14	Show me how
Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)																		
Class 2	Class introduction and orientation																		
Classes 3-5	Getting ready																		
Classes 6-10	A new club member																		
Classes 11-14	A favorite place																		
Classes 1-5	A prized possession																		
Classes 6-10	A memorable experience																		
Classes 11-14	Show me how																		
教科書	Present Yourself 1: Experiences (Cambridge)																		
参考書・資料	Please bring a dictionary.																		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>																		

授業コード	L1106		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (6クラス)		
担当者名	バスカヴィル(ブライアン L. バスカヴィル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	(Classroom Procedure) A variety of individual, pair and group activities will provide students with many chances for speaking practice. However, the focus of this class, is on more formal and prepared speaking as opposed to casual daily conversation. Students will learn how to prepare and confidently deliver a logical and coherent speech before an audience. Active student participation will be a significant part of the class as students will be asked to use English as much as possible. Students will be encouraged to listen critically to speeches by fellow students or other speaking examples by native speakers and to engage in discussions.
準備学習	It is essential that you complete all homework assignments before class begins. Don't do your homework in the classroom a few minutes before class starts. You must prepare and practice speeches before you come to class.
成績評価	(Evaluation) Evaluation will be based on: attendance (including homework and class participation/activities) – 40% prepared speeches (not only the final speech delivery but also various steps in the preparation process) – 60% Please note that attendance and participation are very important for this class. Also note that successful speeches require a lot of practice and preparation time outside of class.
講義構成	(Contents) Generally, students will be encouraged to choose their own topics. The following types of speeches will be included: -demonstration speech -informative speech -comparative speech -persuasive speeches Current events of interest to students will be used to practice basic skills in discussion in English. The following schedule, subject to revision, shows the basic plan of topics to be covered during the course: (Spring) Week 1: Independent study (class registration and placement during first week) Week 2: Introductions/classroom language Week 3: Impromptu speeches Weeks 4-5: Posture and Eye Contact Weeks 6-7: Gestures Weeks 8-9: Informative Speeches Weeks 10-11: Voice Inflection

	<p>Weeks 12–14: Demonstration Speeches</p> <p>(Fall)</p> <p>Week 1: Review of classroom language/first semester topics</p> <p>Weeks 2–3: Effective Visuals</p> <p>Weeks 4–5: Explaining Visuals</p> <p>Weeks 6–7: Comparative Speeches</p> <p>Weeks 8–9: Story Message/Introduction</p> <p>Weeks 10–11: Story Message/Body</p> <p>Week 12: Story Message/Conclusion</p> <p>Weeks 13–14: Persuasive Speeches</p>
教科書	<p>(Textbooks)</p> <p>”Speaking of Speech–New Edition” by David Harrington and Charles LeBeau (MacMillan Language House)</p>
参考書・資料	<p>In every class, in addition to the textbook, students must have:</p> <ul style="list-style-type: none"> – a dictionary (Japanese/English, English/Japanese) – basic supplies (paper, pencil, and eraser).
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center’s Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>Especially in this speech class, please be considerate of other students. If you come in late, for example, you interrupt the class and perhaps interrupt someone who is trying to give a speech.</p> <p>I want to help you improve your English and learn how to give a good speech in English. However, I cannot do this by myself. You must work hard and do your part, too. It takes time and effort to make a good speech, but you can do it.</p>

授業コード	L1107		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (7クラス)		
担当者名	バスカヴィル(ブライアン L. バスカウヰル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students’ confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	<p>(Classroom Procedure)</p> <p>A variety of individual, pair and group activities will provide students with many chances for speaking practice. However, the focus of this class, is on more formal and prepared speaking as opposed to casual daily conversation. Students will learn how to prepare and confidently deliver a logical and coherent speech before</p>

	<p>an audience. Active student participation will be a significant part of the class as students will be asked to use English as much as possible. Students will be encouraged to listen critically to speeches by fellow students or other speaking examples by native speakers and to engage in discussions.</p>
準備学習	<p>It is essential that you complete all homework assignments before class begins. Don't do your homework in the classroom a few minutes before class starts. You must prepare and practice speeches before you come to class.</p>
成績評価	<p>(Evaluation) Evaluation will be based on: attendance (including homework and class participation/activities) – 40% prepared speeches (not only the final speech delivery but also various steps in the preparation process) – 60%</p> <p>Please note that attendance and participation are very important for this class. Also note that successful speeches require a lot of practice and preparation time outside of class.</p>
講義構成	<p>(Contents) Generally, students will be encouraged to choose their own topics. The following types of speeches will be included: –demonstration speech –informative speech –comparative speech –persuasive speeches Current events of interest to students will be used to practice basic skills in discussion in English. The following schedule, subject to revision, shows the basic plan of topics to be covered during the course:</p> <p>(Spring) Week 1: Independent study (class registration and placement during first week) Week 2: Introductions/classroom language Week 3: Impromptu speeches Weeks 4–5: Posture and Eye Contact Weeks 6–7: Gestures Weeks 8–9: Informative Speeches Weeks 10–11: Voice Inflection Weeks 12–14: Demonstration Speeches</p> <p>(Fall) Week 1: Review of classroom language/first semester topics Weeks 2–3: Effective Visuals Weeks 4–5: Explaining Visuals Weeks 6–7: Comparative Speeches Weeks 8–9: Story Message/Introduction Weeks 10–11: Story Message/Body Week 12: Story Message/Conclusion Weeks 13–14: Persuasive Speeches</p>
教科書	<p>(Textbooks) "Speaking of Speech–New Edition" by David Harrington and Charles LeBeau (MacMillan Language House)</p>
参考書・資料	<p>In every class, in addition to the textbook, students must have: – a dictionary (Japanese/English, English/Japanese) – basic supplies (paper, pencil, and eraser).</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>Especially in this speech class, please be considerate of other students. If you come in late, for example, you interrupt the class and perhaps interrupt someone who is trying to give a speech.</p> <p>I want to help you improve your English and learn how to give a good speech in English. However, I cannot do this by myself. You must work hard and do your part, too. It takes time and effort to make a good speech,</p>

	but you can do it.
--	--------------------

授業コード	L1108		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (8クラス)		
担当者名	カラガタ(カラガタ ジョーウエン エリザベス)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	In this class you will use a process approach or step by step way of learning. First, you will learn the language and construction. Next, you will study examples of presentations. After that you will prepare your own presentation on the topic and using the style speech learned. Finally, you will perform and present. You will use pairs and small groups to learn about using your voice, gestures, posture, and eye contact to connect with your audience.
準備学習	<p>*In order to get the most out of this class, it will be important for your to complete your homework and project tasks in advance. Some of your speeches will be done in front of the whole class, but most will be done in front of small groups of your classmates. In either case, in addition to presenting, you will be given the chance to listen to speeches, ask questions based on the content presented in the speeches, and then give advice to the presenter based on the information learned in class.</p> <p>*Remember that timing and practice are important for presentations but also in life. All of these skills will be learned through study and practice “practice makes perfect” in class and in assignments. You are expected to attend classes regularly and to be active participants in order to maximize your speaking and presentation abilities.</p>
成績評価	<p>Grades will be based on a variety speeches / presentations (planned and unplanned) throughout the year, as well as on ongoing class participation, attendance, quizzes, and homework assignments.</p> <p>*Class Participation (Attendance, Attitude and Activity) ~ 20%</p> <p>*Presentations, Assignments, Peer /Self Evaluations, Quizzes ~ 80%</p>
講義構成	<p>week SPRING:</p> <p>1 ORIENTATION DAY</p> <p>2 THE PHYSICAL MESSAGE 1.1 Posture/Eye contact</p> <p>3 THE PHYSICAL MESSAGE 1.2 The Informative Speech</p> <p>4 THE PHYSICAL MESSAGE 1.3 Performance of Informative Speeches</p> <p>5 THE PHYSICAL MESSAGE 2.1 Gestures</p> <p>6 THE PHYSICAL MESSAGE 2.2 The Layout Speech</p> <p>7 THE PHYSICAL MESSAGE 2.3 Performance of Layout Speeches</p> <p>8 THE PHYSICAL MESSAGE 3.1 Voice Inflection</p> <p>9 THE PHYSICAL MESSAGE 3.2 The Demonstration Speech</p> <p>10 THE PHYSICAL MESSAGE 3.3 Performance of Demonstration Speeches</p> <p>11 THE VISUAL MESSAGE 1.1 Effective Visuals</p> <p>12 THE VISUAL MESSAGE 1.2 Explaining Visuals</p> <p>13/14 THE VISUAL MESSAGE 1.3 Performance of Country Comparison Speech</p>

	<p>weekFall</p> <p>1 REVIEW OF THE PHYSICAL AND VISUAL MESSAGES THE STORY MESSAGE OVERVIEW 1.1</p> <p>2 THE STORY MESSAGE OVERVIEW 1.2 Performance of Favorite Restaurant Speech</p> <p>3 THE STORY MESSAGE INTRODUCTION 1.1</p> <p>4 THE STORY MESSAGE INTRODUCTION 1.2</p> <p>5.THE STORY MESSAGE INTRODUCTION 1.3 Performance of Introductions of Product Comparisons</p> <p>6 THE STORY MESSAGE BODY 2.1 The importance of evidence</p> <p>7 THE STORY MESSAGE BODY 2.2 Transitions</p> <p>8 THE STORY MESSAGE BODY 2.3</p> <p>9 THE STORY MESSAGE BODY 2.4 Performance of The Body of Product Comparisons</p> <p>10 THE STORY MESSAGE CONCLUSION 3.1 How to make a conclusion;</p> <p>11 THE STORY MESSAGE CONCLUSION 3.2</p> <p>12 THE STORY MESSAGE CONCLUSION 3.3 Performance of The Conclusions of Product Comparisons</p> <p>13/14Final Performance</p> <p>Topics may change to meet the class' interests and or timing.</p>
教科書	Speaking of Speech New Edition Student' s Book Pack, David Harrington & Charles LeBeau, Macmillan – ISBN 978 0230 72601 7
参考書・資料	Drawing Block Book (artist sketch book) 32cm long x 43cmwide (or larger) maruman F6 S86 ISBN: 4979093000227
	ClearBook ? A4 size multi-pocket (30 or 48 pages) for handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center' s Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	<p>*OFFICE HOURS: Since I do not have an office, please contact me using email with your questions and concerns or check your classpage to use for more details.</p> <p>*You will be expected to review and study your vocabulary and skills from each week' s class. In addition to this you will have online activities and other projects to prepare which will also mean outside the class work too.</p> <p>*The class goal is English only in the classroom. All students are encouraged to participate and follow this goal.</p>

授業コード	L1109		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (9クラス)		
担当者名	カラガタ(カラガタ ジョーウエン エリザベス)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches

	<ul style="list-style-type: none"> • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	In this class you will use a process approach or step by step way of learning. First, you will learn the language and construction. Next, you will study examples of presentations. After that you will prepare your own presentation on the topic and using the style speech learned. Finally, you will perform and present. You will use pairs and small groups to learn about using your voice, gestures, posture, and eye contact to connect with your audience.
準備学習	<p>*In order to get the most out of this class, it will be important for your to complete your homework and project tasks in advance. Some of your speeches will be done in front of the whole class, but most will be done in front of small groups of your classmates. In either case, in addition to presenting, you will be given the chance to listen to speeches, ask questions based on the content presented in the speeches, and then give advice to the presenter based on the information learned in class.</p> <p>*Remember that timing and practice are important for presentations but also in life. All of these skills will be learned through study and practice “practice makes perfect” in class and in assignments. You are expected to attend classes regularly and to be active participants in order to maximize your speaking and presentation abilities.</p>
成績評価	<p>Grades will be based on a variety speeches / presentations (planned and unplanned) throughout the year, as well as on ongoing class participation, attendance, quizzes, and homework assignments.</p> <p>*Class Participation (Attendance, Attitude and Activity) ~ 20%</p> <p>*Presentations, Assignments, Peer /Self Evaluations, Quizzes ~ 80%</p>
講義構成	<p>week SPRING:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ORIENTATION DAY 2 THE PHYSICAL MESSAGE 1.1 Posture/Eye contact 3 THE PHYSICAL MESSAGE 1.2 The Informative Speech 4 THE PHYSICAL MESSAGE 1.3 Performance of Informative Speeches 5 THE PHYSICAL MESSAGE 2.1 Gestures 6 THE PHYSICAL MESSAGE 2.2 The Layout Speech 7 THE PHYSICAL MESSAGE 2.3 Performance of Layout Speeches 8 THE PHYSICAL MESSAGE 3.1 Voice Inflection 9 THE PHYSICAL MESSAGE 3.2 The Demonstration Speech 10 THE PHYSICAL MESSAGE 3.3 Performance of Demonstration Speeches 11 THE VISUAL MESSAGE 1.1 Effective Visuals 12 THE VISUAL MESSAGE 1.2 Explaining Visuals 13/14 THE VISUAL MESSAGE 1.3 Performance of Country Comparison Speech <p>weekFall</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 REVIEW OF THE PHYSICAL AND VISUAL MESSAGES THE STORY MESSAGE OVERVIEW 1.1 2 THE STORY MESSAGE OVERVIEW 1.2 Performance of Favorite Restaurant Speech 3 THE STORY MESSAGE INTRODUCTION 1.1 4 THE STORY MESSAGE INTRODUCTION 1.2 5.THE STORY MESSAGE INTRODUCTION 1.3 Performance of Introductions of Product Comparisons 6 THE STORY MESSAGE BODY 2.1 The importance of evidence 7 THE STORY MESSAGE BODY 2.2 Transitions 8 THE STORY MESSAGE BODY 2.3 9 THE STORY MESSAGE BODY 2.4 Performance of The Body of Product Comparisons 10 THE STORY MESSAGE CONCLUSION 3.1 How to make a conclusion; 11 THE STORY MESSAGE CONCLUSION 3.2 12 THE STORY MESSAGE CONCLUSION 3.3 Performance of The Conclusions of Product Comparisons 13/14Final Performance <p>Topics may change to meet the class’ interests and or timing.</p>
教科書	Speaking of Speech New Edition Student’ s Book Pack, David Harrington & Charles LeBeau, Macmillan – ISBN 978 0230 72601 7

参考書・資料	Drawing Block Book (artist sketch book) 32cm long x 43cmwide (or larger) maruman F6 S86 ISBN: 4979093000227 ClearBook ? A4 size multi-pocket (30 or 48 pages) for handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	OFFICE HOURS: Since I do not have an office, please contact me using email with your questions and concerns or check your classpage to use for more details. *You will be expected to review and study your vocabulary and skills from each week's class. In addition to this you will have online activities and other projects to prepare which will also mean outside the class work too. *The class goal is English only in the classroom. All students are encouraged to participate and follow this goal.

授業コード	L1110		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (10クラス)		
担当者名	松村優子(マツムラ ユウコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	年間を通じて基本的に以下のような項目について学習します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵・写真の説明(絵・写真を使って人物や観光地など紹介) 2. ストーリーの説明(英検2級・準1級の2次試験にあるような絵の説明) 3. 手順の説明(料理のrecipeなどの説明) 4. データの説明(グラフ、表などを利用したデータの提示、説明) 5. スピーチの構成やアウトラインの組み立て 6. パワーポイントを使ったプレゼンテーション練習(希望者対象) 7. テキスト付属DVDや名演説などの視聴 8. 授業内ミニプレゼンテーションと最終の仕上げプレゼンテーション
準備学習	ミニプレゼンテーションや最終プレゼンテーションに向けて、トピック選択、必要に応じて資料収集、原稿など具体的に準備すること。指定があった場合、テキストのDVDを事前に視聴すること。
成績評価	最終プレゼンテーション:30% ミニプレゼンテーション30% 授業への参加態度30%

	課題提出、quiz等 10%
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、学習進捗状況により変更の可能性もあります。</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学习(2010年4月6日～12日)</p> <p>第2回 オリエンテーション</p> <p>第3回 自己紹介、友人紹介、Physical Message</p> <p>第4回 同上</p> <p>第5回 Oral Message</p> <p>第6回 同上</p> <p>第7回 ミニプレゼンテーション1(人物紹介)</p> <p>第8回 Visual Message</p> <p>第9回 同上</p> <p>第10回 同上</p> <p>第11回 ミニプレゼンテーション2(観光地紹介)</p> <p>第12回 同上</p> <p>第13回 同上</p> <p>第14回 ミニプレゼンテーション3(表・グラフの説明)</p> <p>注:Physical Message:スピーチをする時の姿勢、視線等を学習 Oral Message:発音・音読練習。話すスピード・抑揚など音声面を学習 Visual Message:絵・写真等の説明、OHP, PowerPoint等、視聴覚ツールの援用等を学習</p> <p>後期</p> <p>第16回 Story Message</p> <p>第17回 同上</p> <p>第18回 同上</p> <p>第19回 同上</p> <p>第20回 ミニプレゼンテーション4(料理のレシピ紹介)</p> <p>第21回 Story Message</p> <p>第22回 同上</p> <p>第23回 同上</p> <p>第24回 ミニプレゼンテーション5(後日決定)</p> <p>第25回 Story Message</p> <p>第26回 同上</p> <p>第27回 復習</p> <p>第28回 リハーサル(最終プレゼンテーション)</p> <p>第29回 最終プレゼンテーション</p> <p>注:Story Message:スピーチ全体の組み立て方、構成(序論、本論、結論)について学習</p>
教科書	Speaking of Speech New Edition著者Harrington & LeBeau マクミラン・ランゲージハウス
参考書・資料	授業内で必要に応じて紹介します。
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	積極的に討論、発言、発表することに意欲のある受講生であれば学部、経験を問いません。プレゼンテーションの結果だけでなく過程も重視し、努力が報われるように評価します。
その他	必要に応じて授業中にプリントなどを配布しますので、日付を明記してファイルして下さい。

授業コード	L1111		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (11クラス)		
担当者名	松村優子(マツムラ ユウコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)

特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	年間を通じて基本的に以下のような項目について学習します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵・写真の説明(絵・写真を使って人物や観光地など紹介) 2. ストーリーの説明(英検2級・準1級の2次試験にあるような絵の説明) 3. 手順の説明(料理のrecipeなどの説明) 4. データの説明(グラフ、表などを利用したデータの提示、説明) 5. スピーチの構成やアウトラインの組み立て 6. パワーポイントを使ったプレゼンテーション練習(希望者対象) 7. テキスト付属DVDや名演説などの視聴 8. 授業内ミニプレゼンテーションと最終の仕上げプレゼンテーション
準備学習	ミニプレゼンテーションや最終プレゼンテーションに向けて、トピック選択、必要に応じて資料収集、原稿など具体的に準備すること。指定があった場合、テキストのDVDを事前に視聴すること。
成績評価	最終プレゼンテーション:30% ミニプレゼンテーション30% 授業への参加態度30% 課題提出、quiz等 10%
講義構成	講義の構成は以下の通りですが、学習進捗状況により変更の可能性もあります。 <p>第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日～12日)</p> <p>第2回 オリエンテーション</p> <p>第3回 自己紹介、友人紹介、Physical Message</p> <p>第4回 同上</p> <p>第5回 Oral Message</p> <p>第6回 同上</p> <p>第7回 ミニプレゼンテーション1(人物紹介)</p> <p>第8回 Visual Message</p> <p>第9回 同上</p> <p>第10回 同上</p> <p>第11回 ミニプレゼンテーション2(観光地紹介)</p> <p>第12回 同上</p> <p>第13回 同上</p> <p>第14回 ミニプレゼンテーション3(表・グラフの説明)</p> <p>注:Physical Message:スピーチをする時の姿勢、視線等を学習 Oral Message:発音・音読練習。話すスピード・抑揚など音声面を学習 Visual Message:絵・写真等の説明、OHP, PowerPoint等、視聴覚ツールの援用等を学習</p> <p>後期</p> <p>第16回 Story Message</p> <p>第17回 同上</p> <p>第18回 同上</p> <p>第19回 同上</p> <p>第20回 ミニプレゼンテーション4(料理のレシピ紹介)</p> <p>第21回 Story Message</p> <p>第22回 同上</p> <p>第23回 同上</p> <p>第24回 ミニプレゼンテーション5(後日決定)</p> <p>第25回 Story Message</p> <p>第26回 同上</p> <p>第27回 復習</p>

	第28回 リハーサル(最終プレゼンテーション) 第29回 最終プレゼンテーション 注: Story Message: スピーチ全体の組み立て方、構成(序論、本論、結論)について学習
教科書	Speaking of Speech New Edition 著者 Harrington & LeBeau マクミラン・ランゲージハウス
参考書・資料	授業内で必要に応じて紹介します。
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	積極的に討論、発言、発表することに意欲のある受講生であれば学部、経験を問いません。プレゼンテーションの結果だけでなく過程も重視し、努力が報われるように評価します。
その他	必要に応じて授業中にプリントなどを配布しますので、日付を明記してファイルして下さい。

授業コード	L1112		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (12クラス)		
担当者名	プレット(バーナード W. プレット)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	Every week in this class students will interact with classmates as they improve their ability in public speaking or presentation skills. They will learn to express themselves and their ideas to an audience in English. Students will give presentations and will be able to use their own ideas in a creative way.
準備学習	Students must complete any homework assignments they are given
成績評価	Attendance and participation 20% Homework or assignments 20% Presentations and Speeches 60%
講義構成	(Spring) Class 1 Independent Study Class 2 Class policy, goal and interview with teacher Class 3 Group building activity Class 4 Pronunciation Training Class 5 Mini Presentation Class 6 & 7 Personal Profiles.

	<p>Class 8 & 9 Describing Places Class 10 & 11 Discussing Possessions Class 12 & 13 Project design and preparation Class 14 Project Presentation</p> <p>(Fall)</p> <p>Class 1 Unplanned speech Class 2 & 3 Describing experiences Class 4 Presentation Class 5-6 Discussing skills and talents Class 7 Presentation Class 8-10 Talking about Movies Class 11-12 Final Project work Class 13-14 Final Project Presentations</p>
教科書	Present Yourself 1 by Steven Gershon MACMILLAN
参考書・資料	Students are required to bring a dictionary to class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	I encourage all students to be creative and use your own ideas, follow your interests and see where they may take you.

授業コード	L1113		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (13クラス)		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)、吉田佳代(ヨシダ カヨ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火5限、水・木3限		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	In this class, you will have a variety of individual, pair and group activities in order to improve your discussion and speech skills. You will have a lot of opportunities not only to make presentations in front of the whole class but also to ask questions and give advice to speeches by your classmates. You will also learn logical and

	coherent thinking through a system of self-reflection, peer-evaluation and feedback. ペア・グループワークなどを通して、ディスカッションやスピーチのスキルを伸ばしていきます。 個人で発表するだけでなく、クラスメートの発表に対して意見を述べる機会をもうけ、論理的かつ筋道の通った物事の考え方を養っていきます。教科書だけでなく、映像(DVD/VIDEO)を見て、そのトピックに関して、ディスカッション、スピーチも行います。
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given.
成績評価	1) Class participation:30% 2) Assignments and homework:30% 3) Projects and presentations:40% (* 欠席が年間授業の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	<p>■ 1st semester</p> <p>Class1: Independent Study (class registration and placement during first week) Class2: Course introduction (Introducing your hometown & favorite city) Class3: Aspects of effective speech (eye contact, posture, gesture) Class4: Speech type 1: Informative speech Class5: Speech type 2: Layout speech Class6: Speech type 3: Demonstration speech Class7: Speech type 4: Persuasive speech Class8: Presentation ① Class9: Structure Class10 & 11: Procedural format Class12 & 13: Problem-solving format Class14: Presentation ②</p> <p>■ 2nd semester</p> <p>Class1: Review of 1st semester Class2 & 3: Visual aids (Explaining graphs & charts) Class4: Speech 1: Entertainment (Suggestion) Class5: Speech 2: Business (Advertisement) Class6: Speech 3: Culture (Comparison) Class7: Speech 4: Social issues (Problem-solving) Class8: Survey presentation ① Class9: Communication strategies Class10: Discussion 1: Educational matters Class11: Discussion 2: Environment & Health Class12: Discussion 3: Legal issues & Human rights Class13: Discussion 4: International matters Class14: Survey presentation ②</p>
教科書	Speaking of Speech (マクミラン・ランゲージハウス) David Harrington & Charles LeBeau
参考書・資料	Necessary materials are provided in the class. Please bring a dictionary and a folder for handouts.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	様々なトピックに関して、自分の意見を明確かつ論理的に述べる練習を通して、効果的なプレゼンテーションのスキルを身につけます。英語力だけでなく、論理的な思考を養って、将来へのキャリアUPに活かしましょう！

授業コード	L1114		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (14クラス)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)

特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	You will take part in a variety of pair- and small-group activities designed to help you develop, practice, and give experiential and informative speech presentations of a variety of topics, lengths, and purposes. Through a system of self- and peer-review and feedback, you will develop and improve your speech skills and help to improve those of your classmates.
準備学習	Complete homework and speech preparation. Homework is important for the development of your speeches and is required for participation in following class' activities.
成績評価	Participation 30% Homework 30% Speech presentations 40%
講義構成	Spring Class 1 Independent study, registration Class 2 Course introduction; Unit 0: Getting ready Classes 3, 4, 5, 6 Unit 1: A new club member Classes 7, 8, 9, 10 Unit 2: A favorite place Classes 11, 12, 13, 14 Unit 3: A prized possession Fall Classes 1, 2, 3, 4, 5 Unit 4: A memorable experience Classes 6, 7, 8, 9, 10 Unit 5: Show me how. Classes 11, 12, 13, 14 Unit 6: Movie magic
教科書	Gershon: Present Yourself 1: Experiences (Cambridge)
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Student participation, cooperation, and effort is necessary for individual and class-wide success.

授業コード	L1115		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (15クラス)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 		
講義方法	You will take part in a variety of pair- and small-group activities designed to help you develop, practice, and give experiential and informative speech presentations of a variety of topics, lengths, and purposes. Through a system of self- and peer-review and feedback, you will develop and improve your speech skills and help to improve those of your classmates.		
準備学習	Complete homework and speech preparation. Homework is important for the development of your speeches and is required for participation in following class' activities.		
成績評価	Participation	30%	
	Homework	30%	
	Speech presentations	40%	
講義構成	<p>Spring</p> <p>Class 1 Independent study, registration</p> <p>Class 2 Course introduction; Unit 0: Getting ready</p> <p>Classes 3, 4, 5, 6 Unit 1: A new club member</p> <p>Classes 7, 8, 9, 10 Unit 2: A favorite place</p> <p>Classes 11, 12, 13, 14 Unit 3: A prized possession</p> <p>Fall</p> <p>Classes 1, 2, 3, 4, 5 Unit 4: A memorable experience</p> <p>Classes 6, 7, 8, 9, 10 Unit 5: Show me how.</p> <p>Classes 11, 12, 13, 14 Unit 6: Movie magic</p>		
教科書	Gershon: Present Yourself 1: Experiences (Cambridge)		
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>		
担当者から一言	Student participation, cooperation, and effort is necessary for individual and class-wide success.		

授業コード	L1171		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (留P 文経 1クラス)(後)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限 水曜1限
特記事項	<p>後期に集中して週2回開講される。</p> <p>履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。</p> <p>TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。</p>		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	The activities that you do in class are intended to help guide you through the steps involved in planning, writing, and delivering effective presentations. Some of these activities are done individually or in pairs while others are done in small or large groups. The speaking, listening, and discussion activities you will practice will introduce important functional language, useful sentence patterns and key vocabulary you will need to successfully complete each speech assignment. Some of the speech skills we cover include: speech organization, eye contact and gestures, word stress and intonation, creating and using effective visual aids, and creating effective note cards.
準備学習	Students are expected to come to class on time and to be prepared. This means that your homework must be fully completed before class so that you can make the best use of your time in class.
成績評価	Participation and effort 30% In-class presentations 70% (Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the term will not receive credit for this course.)
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the abilities and interests of the students. Composition of Classes Fall Term Classes 1 & 2 Course introduction and self-introductions Classes 3 to 7 Unit 1 'A new club member' Classes 8 to 12 Unit 2 'A favorite place' Classes 13 to 17 Unit 3 'A prized possession' Classes 18 to 22 Unit 4 'A memorable experience' Classes 23 to 28 Unit 5 'Show me how'
教科書	Present Yourself 1, Experiences (Cambridge)
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts to every class.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	As your teacher, I will do everything I can to help you improve. However, how well you do in this class will depend on how seriously you apply yourself. Good luck in this demanding but rewarding class!

授業コード	L1172
-------	-------

授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (留P 文経 2クラス)(後)		
担当者名	ベイリー (ベイリー モーリ J.)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限 木曜3限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.						
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 						
講義方法	<p>The activities that you do in class are intended to help guide you through the steps involved in planning, writing, and delivering effective presentations. Some of these activities are done individually or in pairs while others are done in small or large groups.</p> <p>The speaking, listening, and discussion activities you will practice will introduce important functional language, useful sentence patterns and key vocabulary you will need to successfully complete each speech assignment.</p> <p>Some of the speech skills we cover include: speech organization, eye contact and gestures, word stress and intonation, creating and using effective visual aids, and creating effective note cards.</p>						
準備学習	Students are expected to come to class on time and to be prepared. This mean that your homework must be fully completed before class so that you can make the best use of your time in class.						
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">Participation and effort</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>In-class presentations</td> <td style="text-align: right;">70%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the term will not receive credit for this course.)</p>			Participation and effort	30%	In-class presentations	70%
Participation and effort	30%						
In-class presentations	70%						
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the abilities and interests of the students.</p> <p>Composition of Classes</p> <p>Fall Term</p> <p>Classes 1 & 2 Course introduction and self-introductions</p> <p>Classes 3 to 7 Unit 1 'A new club member'</p> <p>Classes 8 to 12 Unit 2 'A favorite place'</p> <p>Classes 13 to 17 Unit 3 'A prized possession'</p> <p>Classes 18 to 22 Unit 4 'A memorable experience'</p> <p>Classes 23 to 28 Unit 5 'Show me how'</p>						
教科書	Present Yourself 1, Experiences (Cambridge)						
参考書・資料	Please bring a dictionary and a folder for handouts to every class.						
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th</p>						

	floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

担当者から一言	As your teacher, I will do everything I can to help you improve. However, how well you do in this class will depend on how seriously you apply yourself. Good luck in this demanding but rewarding class!
---------	---

授業コード	L1173		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (留P 文経 3クラス)(後)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限 水曜1限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials)
講義方法	Every week in this course, you will work with partners and in small groups as you improve your ability to make a speech. You will be also involved in activities such as role plays and discussion. Homework that allows you to review what we are learning at your own pace is also a regular feature of this course.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. Please take time to complete it.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Homework 20% Speech 60%
講義構成	Class 1 Getting ready/ Introduction Class 2. 3. 4. 5. 6 Unit 1 A new club member Class 7. 8. 9.10.11 Unit 2 A favorite place Class 12. 13. 14. 15.16 Unit 3 A prized possession Class 17 Review Class 18. 19. 20. 21.22 Unit 4 A memorable experience Class 23. 24. 25. 26. 27 Unit 5 Show me how Class 28 Review
教科書	Present Yourself 1 Experiences (Cambridge) Steven Gershon
参考書・資料	N/A
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

授業コード	L1181		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション (留P 法営 1クラス)(後)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限 土曜2限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.																		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																		
講義方法	Every week in this course you will work with partners and in small groups as you learn how to improve your presentation skills in English. This will involve choosing a suitable topic for your audience and deciding what you want to say. We will look at how to organize your ideas into an attention-getting introduction, a clear body, and a memorable conclusion. Furthermore, using your voice, gestures, posture, and eye contact will help you connect with your audience. We will study and practice all of these skills with the aim of becoming a better presenter.																		
準備学習	Your positive attitude, effort, and participation in class is very important for this course.																		
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Homework</td> <td style="width: 30%;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Presentations</td> <td>60%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences will not receive credit for this course.)</p>			Homework	10%	Participation	10%	Bonus points	20%	Presentations	60%								
Homework	10%																		
Participation	10%																		
Bonus points	20%																		
Presentations	60%																		
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">Class 1</td> <td style="width: 80%;">Independent study (class registration and placement during first week)</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Classes 3-5</td> <td>Getting ready</td> </tr> <tr> <td>Classes 6-10</td> <td>A new club member</td> </tr> <tr> <td>Classes 11-14</td> <td>A favorite place</td> </tr> <tr> <td>Classes 15-19</td> <td>A prized possession</td> </tr> <tr> <td>Classes 20-24</td> <td>A memorable experience</td> </tr> <tr> <td>Classes 25-28</td> <td>Show me how</td> </tr> </table>			Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)	Class 2	Class introduction and orientation	Classes 3-5	Getting ready	Classes 6-10	A new club member	Classes 11-14	A favorite place	Classes 15-19	A prized possession	Classes 20-24	A memorable experience	Classes 25-28	Show me how
Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)																		
Class 2	Class introduction and orientation																		
Classes 3-5	Getting ready																		
Classes 6-10	A new club member																		
Classes 11-14	A favorite place																		
Classes 15-19	A prized possession																		
Classes 20-24	A memorable experience																		
Classes 25-28	Show me how																		
教科書	Present Yourself 1: Experiences (Cambridge)																		
参考書・資料	Please bring a dictionary.																		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>																		

授業コード	L1182		
授業科目名	中級英語スピーチ・コミュニケーション(留P 法営 2クラス)(後)		
担当者名	オーエン(リチャード C. オーエン)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限 土曜1限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of speeches.																		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • learn basic presentation skills (e.g. effective organizational patterns and body language) • learn how to prepare various types of speeches • regularly present short speeches in front of their classmates about familiar topics such as their own interests and experiences • give speeches that are planned in advance, but also present some that are semi-planned and unplanned • gain some experience in making speeches about issues of general social and global interest • learn how to listen actively and ask questions as audience members • learn new vocabulary and useful expressions • practice skills for becoming successful, independent language learners (for example, using a dictionary, taking notes, and using the Internet and other materials) 																		
講義方法	Every week in this course you will work with partners and in small groups as you learn how to improve your presentation skills in English. This will involve choosing a suitable topic for your audience and deciding what you want to say. We will look at how to organize your ideas into an attention-getting introduction, a clear body, and a memorable conclusion. Furthermore, using your voice, gestures, posture, and eye contact will help you connect with your audience. We will study and practice all of these skills with the aim of becoming a better presenter.																		
準備学習	Your positive attitude, effort, and participation in class is very important for this course.																		
成績評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">Homework</td> <td style="width: 30%;">10%</td> </tr> <tr> <td>Participation</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>Bonus points</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Presentations</td> <td>60%</td> </tr> </table> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences will not receive credit for this course.)</p>			Homework	10%	Participation	10%	Bonus points	20%	Presentations	60%								
Homework	10%																		
Participation	10%																		
Bonus points	20%																		
Presentations	60%																		
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">Class 1</td> <td style="width: 80%;">Independent study (class registration and placement during first week)</td> </tr> <tr> <td>Class 2</td> <td>Class introduction and orientation</td> </tr> <tr> <td>Classes 3-5</td> <td>Getting ready</td> </tr> <tr> <td>Classes 6-10</td> <td>A new club member</td> </tr> <tr> <td>Classes 11-14</td> <td>A favorite place</td> </tr> <tr> <td>Classes 15-19</td> <td>A prized possession</td> </tr> <tr> <td>Classes 20-24</td> <td>A memorable experience</td> </tr> <tr> <td>Classes 25-28</td> <td>Show me how</td> </tr> </table>			Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)	Class 2	Class introduction and orientation	Classes 3-5	Getting ready	Classes 6-10	A new club member	Classes 11-14	A favorite place	Classes 15-19	A prized possession	Classes 20-24	A memorable experience	Classes 25-28	Show me how
Class 1	Independent study (class registration and placement during first week)																		
Class 2	Class introduction and orientation																		
Classes 3-5	Getting ready																		
Classes 6-10	A new club member																		
Classes 11-14	A favorite place																		
Classes 15-19	A prized possession																		
Classes 20-24	A memorable experience																		
Classes 25-28	Show me how																		
教科書	Present Yourself 1: Experiences (Cambridge)																		
参考書・資料	Please bring a dictionary.																		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>																		

授業コード	L1301		
授業科目名	中級英語TOEFL (1クラス)AV		
担当者名	鈴木憲子(スズキ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜5限)、後期(木曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEFL course is intended for students with little or no experience with the exam and aims for a score of at least 500-530 (iBT61) by the end of the course.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ become familiar with the format of the TOEFL exam ・ learn what kinds of questions to expect on the exams ・ become more comfortable and confident about taking the exam ・ improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, reading, vocabulary, and writing ・ regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, reading, vocabulary, and writing) ・ regularly take practice TOEFL tests ・ learn what kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes ・ learn how to use their time effectively and efficiently
講義方法	Internet-based TOEFL形式に慣れ、総合的な英語力をつけるために、リスニング・リーディング・スピーキング・エッセイライティングの各セッションを講義・指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・以下は毎回行う Listening 英語を母国語とする話者による口語英語を聞き取る Reading パッセージを読み、設問に答える ・以下は順番に行う Speaking アメリカの大学での授業を想定し、自分の意見や講義の内容のまとめを述べる Essay Writing 与えられた主題に対する自分の意見を論理的に書く
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	10% 出席 30% 課題(リーディングは毎回、スピーキングとエッセイライティングは適宜) 20% スピーキング(原稿提出と授業内の発表) 20% エッセイライティング(下書きと原稿提出) 20% テスト(pop quiz<予告なしの小テスト>を含む)
講義構成	〔予定〕 第 1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日-12日) 第 2回 シラバス確認 英語での自己紹介 プリント 第 3回 Reading Diagnostic Pre-Test Listening Diagnostic Pre-Test Questions 1-6 Speaking Diagnostic Pre-Test Questions 1-2 第 4回 Reading Exercise 1 Passages One and Two Listening Diagnostic Pre-Test Questions 7-12 Speaking Diagnostic Pre-Test Question 3 (解説) 第 5回 Reading Exercise 1 Passage Three・Exercise 2 Passage One Listening Exercise 1 Passage One Speaking Diagnostic Pre-Test Question 3 (実践) 第 6回 Reading Exercise 2 Passages Two and Three Listening Exercise 1 Passage Two Speaking Diagnostic Pre-Test Question 6 (解説・実践) 第 7回 Reading Exercise (Skills 1-2)・Reading Exercise 3 Passage One Listening Exercise 1 Passage Three

	<p>Writing Diagnostic Pre-Test Question 1 (解説)</p> <p>第 8回 Reading Exercise 3 Passages Two and Three Listening Exercise 2 Passage One Writing Diagnostic Pre-Test Question 1 (実践)</p> <p>第 9回 Reading Exercise 4 Passages One and Two Listening Exercise 2 Passage Two Writing Diagnostic Pre-Test Question 2 (Essay Writingの解説・準備)</p> <p>第10回 Reading Exercise 4 Passage Three・Reading Exercise (Skills 3-4) Listening Exercise 2 Passage Three Writing Diagnostic Pre-Test Question 2 (Essay Writingの解説・準備・原稿提出)</p> <p>第 3回から第10回の流れで続けていく</p>
教科書	<p>Longman Introductory Course for the TOEFL Test 著者: Deborah Phillips 出版社: Longman</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>Internet-based TOEFLでは、日本人が苦手な論理的に話すこと・書くことが要求されます。この授業ではかなりの勉強量が必要になると思います。それを分かった上で登録して下さい。</p>

授業コード	L1302		
授業科目名	中級英語TOEFL (2クラス)IM・PI		
担当者名	坂本晴美(サカモト ハルミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜5限)、後期(木曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The Intermediate TOEFL course is intended for students with little or no experience with the exam and aims for a score of at least 500-530 (iBT61) by the end of the course.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • become familiar with the format of the TOEFL exam • learn what kinds of questions to expect on the exams • become more comfortable and confident about taking the exam • improve their proficiency in the areas tested on the exam: listening, grammar, reading, vocabulary, and writing • regularly practice answering questions for each of the areas (listening, grammar, reading, vocabulary, and writing) • regularly take practice TOEFL tests • learn what kinds of mistakes students commonly make on the exams and how to avoid those mistakes • learn how to use their time effectively and efficiently
講義方法	毎回の講義で各セクションにある、リスニング・リーディング・スピーキング・エッセイライティングを学習し、新しいTOEFL形式に慣れ、総合的な英語力を高める。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	単語・熟語 50% テスト(提出課題を含む) 50%
講義構成	予定 (前期)

- 第 1回 クラス編成の為に各自自主学習
- 第 2回 Introduction, Listening Pre-test
- 第 3回 Reading Pre-Test
- 第 4回 Speaking Pre-Test
- 第 5回 単語・熟語テスト
Listening
- 第 6回 Listening & Reading
- 第 7回 Listening & Reading
- 第 8回 Listening & Reading
- 第 9回 Listening & Reading
- 第10回 単語・熟語テスト
Listening
- 第11回 Listening & Reading
- 第12回 Listening & Reading
- 第13回 Test
Speaking
- 第14回 単語・熟語テスト
Speaking
- 第15回 予備日
(後期)
- 第16回 単語・熟語テスト
Reading
- 第17回 Listening & Reading
- 第18回 Listening & Reading
- 第19回 Listening & Reading
- 第20回 Listening & Reading
- 第21回 単語・熟語テスト
Speaking & Writing
- 第22回 Speaking & Writing
- 第23回 Speaking & Writing
- 第24回 Speaking & Writing
- 第25回 Speaking & Writing
- 第26回 単語・熟語テスト
復習
- 第27回 復習

	<p>第28回 復習</p> <p>第29回 単語・熟語テスト 復習</p> <p>第30回 テスト</p>
教科書	<p>LONGMAN Introductory Course for the TOEFL Test Internet-based Test</p> <p>著者: Deborah Phillips</p> <p>出版社: Longman</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>出席は不可欠です。必ず70%以上は出席してください。</p> <p>自分の出席率、テストの点数などは自分で管理してください。「何回休みましたか?」「今までの合計点は何点ですか」などの質問には答えられません。</p>

授業コード	L1601		
授業科目名	中級英語ライティング (1クラス)		
担当者名	クック(クック ルイーズ ジェニファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	<p>At the beginning of every class, students will do free writing to develop speed and confidence in writing English. Thereafter, there will be a variety of vocabulary, editing and grammar activities — often about the reading passages (see below) — helping students to move from controlled practice activities to the production of their own texts.</p> <p>In class, we will plan, write, and revise our paragraphs, working closely with classmates to peer-review, edit and proofread. Throughout the year, there will be occasional quizzes to test for acquisition of new vocabulary and/or grammar rules.</p> <p>Reading: Good writing requires good models, so there is a strong reading component in the textbook for this class. Such reading passages will usually be set as homework (along with related comprehension and vocabulary questions).</p>
準備学習	Most homework assignments will involve writing drafts of their paragraphs, from the first draft to the final

	draft. However, the reading passages and associated textbook activities will also usually be set as homework.
成績評価	<p>Final grades will depend on: punctual and complete paragraph assignments; punctual and complete homework assignments; active class participation; and regular attendance.</p> <p>Written assignments: 50% Homework/quizzes: 20% Class participation: 20% Attendance: 10%</p>
講義構成	<p>Spring semester (The following timetable may change according to the needs of the students.)</p> <p>Class 1: Independent study Class 2: Course introduction/explanation Class 3: Unit 1, Chapter 1, `Right Brain or Left Brain?`,` writing personal information Classes 4 & 5: paragraph form; punctuation; capitalization; titles Class 6: Unit 1, Chapter 2, `The Shape of the Face`,` joining compound sentences Class 7: writing personal information (continued) Class 8: Unit 2, Chapter 3, `Potatoes`,` writing about a basic food Classes 9 & 10: writing topic sentences; writing supporting sentences Class 11: Unit 2, Chapter 4, `Delicacies`,` writing about a delicacy Class 12: writing topic sentences and supporting sentences Classes 13: Unit 3, Chapter 5, `The Persian New Year`,` writing about a special celebration Class 14: punctuation, the use of commas Class 15: review and feedback</p> <p>Winter semester (The following timetable may change according to the needs of the students.)</p> <p>Class 1: Review Class 2: Unit 3, Chapter 6, `Celebrating Fifteen`,` writing about a special occasion Classes 3 & 4: adverbial time clauses, describing steps in preparing for a celebration. Class 5: Unit 4, Chapter 7, `Louis Braille`,` writing about a person or an animal Classes 6 & 7: unity in a paragraph; irrelevant sentences Class 8: Unit 4, Chapter 8, `The World`s Most Unusual Millionaire`,` writing about personality Classes 9 & 10: giving examples, deep-level support Class 11: Unit 5, Chapter 9, `Lightning`,` writing a narrative about an unusual day Class 12 & 13: punctuation; giving reasons Class 14: workshop; finishing up Class 15: review and feedback</p>
教科書	<p>Weaving it Together 2</p> <p>Author: Milada Broukal Publisher: Thomson Heinle</p>
参考書・資料	A dictionary is recommended. Yours should allow you easily to check English words IN English (as well as have the standard English-Japanese and Japanese-English functions).
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center`s Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>Absences: If you think you will be absent more than three times in one semester, please talk to the teacher before going over the limit. Where possible, please give advance notice of absence.</p> <p>Homework: Late assignments lose points, and cause the student to fall behind. Absentees should therefore contact</p>

	classmates about missed homework and classwork and complete it in time for their next class.
--	--

授業コード	L1602		
授業科目名	中級英語ライティング (2クラス)		
担当者名	神谷久美子(ミタニ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	This course will give students experience with different kinds of writing (i.e. journals, letters, reviews, and essays) based on a variety of organizational patterns (descriptions, process, narration, comparison & contrast, etc). In the first semester, emphasis will be placed on pre-writing techniques (brainstorming, listing), organization (outlines, transitions, conjunctions), paragraph development (topic sentences, supporting, concluding sentences) and revision (critical analysis, peer feedback). In the second semester, students will write and orally present full length essays. ☆前期はたくさん書いて英語で自分の考えを表現することに慣れること、後期は正確にまとまりのあるエッセイを書くことに重点を置きます。
準備学習	英語で書く力をつけるために日常から心がけておくことが2つあります。ひとつ目は英語で書かれたもの、新聞や雑誌、インターネットの情報などを読むこと。それによって自然な英語がインプットされ、自分が書こうとする英語に反映します。その上、いろいろな情報もインプットされるので、トピックに窮することがありません。ふたつ目は周りの状況、人物、物、風景などときどき注意深く観察することです。気がついたことをメモするのもいいでしょう。面白い材料が集まります。書くときに役立ちますよ。
成績評価	Grades will be based on quantity of your writing in the first semester and quality in the second semester. In addition, signs of strong improvement will raise your final grade. Attendance is important. * 前期は<量>を後期は<質>を評価します。また、一人一人の努力と向上の度合いを評価します。出席はとても大切です。 【前期】 Journal 50% Quizzes 30% Oral presentation 10% Others 10% 【後期】 Three essays on different topics 50% Quizzes 30% Oral presentation 10% Others 10%
講義構成	* Introduce how to write journals. * Introduce the basic writing techniques of sentence structure, paragraph format, topic sentences, letter formats, and others. * Explain paragraph organization through comparison, contrast, key connecting words, combining sentences, and

	<p>process writing. * Develop writing style through speculation,persuasion,supporting opinions,introductions, and conclusions. * Review vocabulary skills and understanding of the writing methods introduced throughout the course.</p> <p>前期予定 第1回 クラス編成のため各自自主学習(2010年4月6日～12日) 第2回 Course Description & Self-introduction 第3回 Unit 1 第4回 Unit 1 第5回 Unit 2 第6回 Unit 2 第7回 Unit 3 第8回 Unit 3 第9回 Unit 4 第10回 Unit 4 第11回 Unit 5 第12回 Unit 5 第13回 Unit 6 第14回 Unit 6 第15回 Presentation & Peer Evaluation</p> <p>後期予定 第1回 Unit 7 第2回 Unit 7 第3回 Unit 8 第4回 Unit 8 第5回 Unit 9 第6回 Unit 9 第7回 Unit 10 第8回 Unit 10 第9回 Unit 11 第10回 Unit 11 第11回 Unit 12 第12回 Unit 12 第13回 Review Session 第14回 Review Session 第15回 Presentation & Peer Evaluation</p>
教科書	* Paragraph Writing / D. E. Zemach & C.Islam (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE) * 日本人に共通する英語のミス151[151 Common Mistakes of Japanese Students of English] (The Japan Times)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	英語で文章を書くのが得意な人はさらに磨きをかけるために、苦手な人は英語で書く楽しみを発見するために、英語で自分の考えを書く経験をしたことがない人は「とにかく始めてみよう」のチャレンジ精神で、トライしてみてくださいませんか？

授業コード	L1603		
授業科目名	中級英語ライティング (3クラス)		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)

特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising ・ read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) ・ learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) ・ improve the grammatical accuracy of their writing ・ learn how to connect sentences and paragraphs smoothly ・ work with classmates to develop and discuss writing topics ・ learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing ・ revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	(1) 添削答案の返却及び講評。 添削答案は必ず、訂正や加筆をして再提出を義務付ける。時間内にできなければ、宿題となる。 (2) テキストの新出事項の説明。 (3) 新出事項の演習を、内容に応じて、個人・ペア・グループ単位で実施。 (4) 新出事項の演習解答を個別に作成し提出。作成中に個別に質問に対応。 (5) 小テスト(前・後期ともに、初回授業時に予定表配布)
準備学習	小テストは復習テストです。 6号館5階の英語学習指導室のチューター制度(授業時に紹介予定)も積極的に利用してください。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 小テストの成績 50% 課題 36% 授業への参加態度 14% 定期試験は実施しない。 無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。 小テスト、課題を問わず、不正行為は例外なく単位不認定とする。
講義構成	講義構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日から12日) 第2回 Introduction & Chapter 1 第3回 Chapter 1 第4回 Chapter 2 第5回 Chapter 2 第6回 Chapter 3 第7回 Chapter 3 第8回 Review (Part 1) 第9回 Chapter 4 第10回 Chapter 4 第11回 Chapter 5 第12回 Chapter 5 第13回 Chapter 6 第14回 Chapter 6 (後期) 第15回 Review (Chapter 4~6) & Chapter 7 第16回 Chapter 7 第17回 Chapter 8 第18回 Chapter 8 第19回 Review (Part 2) 第20回 Chapter 9 第21回 Chapter 9 第22回 Chapter 10 第23回 Chapter 10 第24回 Chapter 11

	第25回 Chapter 11 第26回 Chapter 12 第27回 Chapter 12 第28回 Review (Part 3)
教科書	Writing to Communicate 2 3/E (Longman)
参考書・資料	英和辞典、和英辞典(できれば英英辞典も)必携。
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

授業コード	L1604		
授業科目名	中級英語ライティング (4クラス)		
担当者名	神谷久美子(ミタニ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	This course will give students experience with different kinds of writing (i.e. journals, letters, reviews, and essays) based on a variety of organizational patterns (descriptions, process, narration, comparison & contrast, etc). In the first semester, emphasis will be placed on pre-writing techniques (brainstorming, listing), organization (outlines, transitions, conjunctions), paragraph development (topic sentences, supporting, concluding sentences) and revision (critical analysis, peer feedback). In the second semester, students will write and orally present full length essays. ☆前期はたくさん書いて英語で自分の考えを表現することに慣れること、後期は正確にまとまりのあるエッセイを書くことに重点を置きます。
準備学習	英語で書く力をつけるために日常から心がけておくことが2つあります。ひとつ目は英語で書かれたもの、新聞や雑誌、インターネットの情報などを読むこと。それによって自然な英語がインプットされ、自分が書こうとする英語に反映します。その上、いろいろな情報もインプットされるので、トピックに窮することがありません。ふたつ目は周りの状況、人物、物、風景などときどき注意深く観察することです。気がついたことをメモするのもいいでしょう。面白い材料が集まります。書くときに役立ちますよ。
成績評価	Grades will be based on quantity of your writing in the first semester and quality in the second semester. In addition, signs of strong improvement will raise your final grade. Attendance is important. * 前期は「量」を後期は「質」を評価します。また、一人一人の努力と向上の度合いを評価します。出席はと

	<p>でも大切です。</p> <p>【前期】</p> <p>Journal 50%</p> <p>Quizzes 30%</p> <p>Oral presentation 10%</p> <p>Others 10%</p> <p>【後期】</p> <p>Three essays on different topics 50%</p> <p>Quizzes 30%</p> <p>Oral presentation 10%</p> <p>Others 10%</p>
<p>講義構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> * Introduce how to write journals. * Introduce the basic writing techniques of sentence structure, paragraph format, topic sentences, letter formats, and others. * Explain paragraph organization through comparison, contrast, key connecting words, combining sentences, and process writing. * Develop writing style through speculation, persuasion, supporting opinions, introductions, and conclusions. * Review vocabulary skills and understanding of the writing methods introduced throughout the course. <p>前期予定</p> <p>第 1回 クラス編成のため各自自主学習(2010年4月6日～12日)</p> <p>第 2回 Course Description & Self-introduction</p> <p>第 3回 Unit 1</p> <p>第 4回 Unit 1</p> <p>第 5回 Unit 2</p> <p>第 6回 Unit 2</p> <p>第 7回 Unit 3</p> <p>第 8回 Unit 3</p> <p>第 9回 Unit 4</p> <p>第 10回 Unit 4</p> <p>第 11回 Unit 5</p> <p>第 12回 Unit 5</p> <p>第 13回 Unit 6</p> <p>第 14回 Unit 6</p> <p>第 15回 Presentation & Peer Evaluation</p> <p>後期予定</p> <p>第 1回 Unit 7</p> <p>第 2回 Unit 7</p> <p>第 3回 Unit 8</p> <p>第 4回 Unit 8</p> <p>第 5回 Unit 9</p> <p>第 6回 Unit 9</p> <p>第 7回 Unit 10</p> <p>第 8回 Unit 10</p> <p>第 9回 Unit 11</p> <p>第 10回 Unit 11</p> <p>第 11回 Unit 12</p> <p>第 12回 Unit 12</p> <p>第 13回 Review Session</p> <p>第 14回 Review Session</p> <p>第 15回 Presentation & Peer Evaluation</p>
<p>教科書</p>	<ul style="list-style-type: none"> * Paragraph Writing / D. E. Zemach & C. Islam (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE) * 日本人に共通する英語のミス151[151 Common Mistakes of Japanese Students of English] (The Japan Times)
<p>講義関連事項</p>	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th</p>

	floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	英語で文章を書くのが得意な人はさらに磨きをかけるために、苦手な人は英語で書く楽しみを発見するために、英語で自分の考えを書く経験をしたことがない人は「とにかく始めてみよう」のチャレンジ精神で、トライしてみてくださいませんか？

授業コード	L1605		
授業科目名	中級英語ライティング (5クラス)		
担当者名	芦田利恵子(アシダ リエコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	テキストの演習問題をこなして英作文のルール、レトリック、表現を習得する。実際に段階を踏んで英文を書く。下書き、推敲、添削を経て、清書を作り、課題提出する。
準備学習	テキストの該当箇所目を通し、練習問題を解いておく。
成績評価	提出課題 (授業中に指示する) 70% 平常点(授業への積極的参加) 30%
講義構成	前期 第1回 クラス編成のために各自自主学習 第2回 Introduction 第3回 What is a paragraph? 第4回 What is a paragraph? 第5回 Developing ideas for writing a paragraph. 第6回 Developing ideas for writing a paragraph. 第7回 The topic sentence 第8回 The topic sentence 第9回 Supporting and concluding sentences 第10回 Supporting and concluding sentences 第11回 Supporting and concluding sentences 第12回 Paragraph review 第13回 Paragraph review 第14回 Paragraph review 後期 第15回 Definition paragraphs 第16回 Definition paragraphs 第17回 Definition paragraphs 第18回 Process paragraphs 第19回 Process paragraphs 第20回 Process paragraphs 第21回 Descriptive paragraphs 第22回 Descriptive paragraphs 第23回 Descriptive paragraphs

	第24回 Opinion paragraphs 第25回 Opinion paragraphs 第26回 Opinion paragraphs 第27回 Narrative paragraphs 第28回 Narrative paragraphs
教科書	Great Writing 2 – Great Paragraphs Cengage
参考書・資料	英英辞典 (Oxford, Longman等)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	英語の論理に基づいて、文章を書くことは才能の問題ではなく、訓練によって習得できるものです。何を伝えたいのかを考え、言語化することから始めます。英語の得手不得手にかかわらず、1年間の努力は必ず結果を伴います。少しの忍耐力をもって、英語を書き始めましょう。

授業コード	L1606		
授業科目名	中級英語ライティング (6クラス)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	1. 授業の始めに宿題のチェックをする。 2. テキストからライティングの原則を学ぶ。 3. 練習問題で原則をマスターする。 4. Activityなどでさらに練習し、いろんなWritingに適應できるよう実力をつける。
準備学習	毎週出される宿題と授業でやったテキストの章を復習すること。
成績評価	小テスト50%、宿題とレポート30%、出席点と平常点(授業への参加)20%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第 1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月日から12日) 第 2回 Orientation Chapter 1 第 3回 Chapter 2 第 4回 Chapter 2 第 5回 Chapter 3 第 6回 Chapter 4 第 7回 Chapter 5 第 8回 Quiz#1 Writing Activity

	<p>第 9回 Chapter 6 第10回 Chapter 6 第11回 Chapter 7 第12回 Chapter 7 第13回 Review 第14回 Quiz #2 Writing Activity</p> <p>(後期) 第15回 Chapter 8 第16回 Chapter 8 第17回 Chapter 9 第18回 Chapter 9 第19回 Chapter 10 第20回 Chapter 10 第21回 Quiz #3 Writing Activity 第22回 Chapter 11 第23回 Chapter 12 第24回 Chapter 13 第25回 Chapter 14 第26回 Chapter 14 第27回 Review 第28回 Quiz#4 Writing Activity</p>
教科書	教科書 Ready To Write by Karen Blanchard & Christine Root (Longman社)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	毎年このクラスは宿題が多くしんどいと言われていますが、最後には頑張って良かった、実力がついたらと生徒達の満足そうな笑顔を見るのが喜びです。本気で英語を勉強したい生徒達を待っています！

授業コード	L1607		
授業科目名	中級英語ライティング (7クラス)		
担当者名	石田久美子 (イシダ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates

講義方法	ワークブック形式のテキストに従って、文法事項の再確認と英文作成をおこないます。 またIntroduction~Body~Conclusionからなる、英文のパラグラフを作成します。
準備学習	前回の授業の学習内容を復習し、テキスト等を用い次回の授業の予習を行なう。課題が出ている場合は課題を行なう。
成績評価	授業での提出物(英作文等) 60% 期末テスト 40%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 前期 第1回 オリエンテーション1 第2回 オリエンテーション2 第3回 Unit 1 Self-introduction be動詞、一般動詞 第4回 Unit 2 My Family, My Friends 名詞の単数・複数、冠詞、形容詞 第5回 Unit 3 My Room there構文、前置詞 第6回 Unit 4 Everyday Activities 現在形、現在進行形 第7回 Unit 5 Recipes 他動詞、自動詞 第8回 Unit 6 Buying a Computer 副詞、比較級、最上級 第9回 Unit 7 Asking Questions wh疑問詞 第10回 Unit 8 Diary 5文型、過去形 第11回 Unit 9 Making a Reservation 未来型 第12回 Unit 10 Writing a Postcard 受動態 第13回 Unit 11 Job-hunting 助動詞 第14回 Unit 12 Writing a Letter 不定詞 第15回 Unit 13 Giving Advice 助動詞 後期 第1回 Unit14 Invitation 助動詞 Unit15 Notice 使役 第2回 Unit16 My History 完了形 Unit17 Introducing Japanese Culture 関係代名詞 第3回 Unit18 If I were 仮定法 Unit19 Expressing Your Opinion 間接疑問文 第4回 Unit20 Directions 接続詞 第5回 試験 第6回 Conclusions/Reasons 理由で押し切る！ 第7回 Analysis プームを考える 第8回 Theory/Proof 説得は実験で 第9回 Controversy 賛成？反対？ 第10回 Comparison/Contrast 比べてみよう 第11回 Classification きちんと分類 第12回 Instructions アドバイスを与える 第13回 Process 手順を説明する 第14回 試験 第15回 試験
教科書	English Composition Workbook Second Edition Kazuyo Murata他著(マクミラン) プリント教材
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	はじめをつけた上で、楽しい授業にしていきたいと思います。
その他	注意事項 * 欠席は全授業回数の1/3まで。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。欠席の多い人のみ、期末に申し出て下さい。 * 理由の無い遅刻(出席を取ったあとの入室)は、欠席とみなされます。ただし証明書がある場合のみ、考慮します。早めに申し出て下さい。

	<p>* 以下にあてはまる場合、欠席となり、提出物の点数も削除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻。 ・忘れ物(テキスト(コピー可)・辞書)。 ・授業中の私語、居眠り、携帯使用、ペアワークへの不参加その他、迷惑行為。
--	---

授業コード	L1608		
授業科目名	中級英語ライティング (8クラス)		
担当者名	ウイリス(ウイリス テレンス D.)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising ・ read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) ・ learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) ・ improve the grammatical accuracy of their writing ・ learn how to connect sentences and paragraphs smoothly ・ work with classmates to develop and discuss writing topics ・ learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing ・ revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	As this is a writing course, you will do some writing in almost all of the classes. You will also have reading to do. The reading will demonstrate the patterns of organization, sentence structure, etc., that is taught in each unit of the textbook.
準備学習	It is a good idea to pre-read the sections of the textbook we will be covering in class. That way you will likely understand the material better and we will be able to move through the textbook more efficiently.
成績評価	<p>Participation 20%</p> <p>Textbook completion 30%</p> <p>Writing assignments 50%</p> <p>The number of times a student is absent will negatively affect the participation grade. In most cases, students who are absent 6 times or more will not receive credit for the course.</p>
講義構成	<p>Class 1 Orientation. Academic Writing Introduction.</p> <p>Class 2 Paragraph Organization. Capitalization Rules. Practice.</p> <p>Class 3 Sentence Structure. Practice. Overview of Writing Process. Simple Outline.</p> <p>Class 4 Writing Assignment.</p> <p>Class 5 Organization of Narrative Paragraphs.</p> <p>Class 6 Sentence Structure. Practice.</p> <p>Class 7 Punctuation. Freewriting, revising and editing.</p> <p>Class 8 Paragraph Organization.</p> <p>Class 9 Paragraph Organization. Practice.</p> <p>Class 10 Punctuation. Writing Assignment.</p> <p>Class 11 Organization of Descriptive Paragraphs.</p> <p>Class 12 Sentence Structure. Clustering.</p> <p>Class 13 Writing Assignment.</p> <p>Class 14 Logical Division of Ideas.</p> <p>Class 15 Sentence Structure. Writing Assignment.</p> <p>Class 16 Orientation. Review. Short Writing Assignment.</p> <p>Class 17 Process Paragraph Organization.</p> <p>Class 18 Sentence Structure.</p> <p>Class 19 Writing Assignment.</p>

	Class 20 Comparison/Contrast Paragraph Organization. Class 21 Sentence Structure. Class 22 Writing Assignment. Class 23 Definition Paragraph Organization. Class 24 Sentence Structure. Class 25 Writing Assignment. Class 26 Essay Organization Class 27 Essay Organization and Outlining. Class 28 Planning an Essay. Class 29 Opinion Essay Organization. Writing Assignment. Class 30 Writing Assignment.
教科書	Introduction to Academic Writing, Third Edition, Level 3 (Pearson/Longman)
参考書・資料	Please bring a dictionary and several sheets of A4 paper to each class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>Research indicates that students write more effectively when they revise and rewrite at each stage of the writing process. The writing process is also found to be more enjoyable when it is shared and discussed with others. Furthermore, it is believed that your writing will become better as you look at your own compositions as a reader and you analyze the writing of other students. Are these three points correct? We will see.</p>

授業コード	L1609		
授業科目名	中級英語ライティング (9クラス)		
担当者名	ストーリー(ストーリー クリストファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	Every week in this course you will work on writing assignments. Using the writing process you will learn how to brainstorm writing ideas, write a first draft, edit and revise your writing, and write an improved second draft. You will share ideas and advice with other students. Most assignments will be completed over 2 or 3 weeks.
準備学習	Complete writing assignments at home.
成績評価	Participation 35% Assignments 50% Final exam 15%

講義構成	<p>1st Semester</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 Introduction</p> <p>Classes 3&4 Beginning to write</p> <p>Classes 5&6 Giving & receiving presents</p> <p>Classes 7&8 A favourite place</p> <p>Classes 9&10 A movie report</p> <p>Classes 11&12 An exceptional person</p> <p>Classes 13&14 Trends & fads</p> <p>2nd Semester</p> <p>Classes 1&2 White lies</p> <p>Classes 3&4 Explanations & excuses</p> <p>Classes 5&6 Problems</p> <p>Classes 7&8 Strange stories</p> <p>Classes 9&10 Differences</p> <p>Classes 11&12 Difficult decisions</p> <p>Classes 13&14 Fate or choice?</p>
教科書	Paragraph Writing (Macmillan)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>

授業コード	L1610		
授業科目名	中級英語ライティング (10クラス)		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	<p>(1) 添削答案の返却及び講評。 添削答案は必ず、訂正や加筆をして再提出を義務付ける。時間内にできなければ宿題となる。</p> <p>(2) テキストの新出事項の説明。</p> <p>(3) 新出事項の演習を、内容に応じて、個人・ペア・グループ単位で実施。</p> <p>(4) 新出事項の演習解答を個別に作成し提出。作成中に個別に質問に対応。</p>

	(5)小テスト(前・後期ともに、初回授業時に予定表配布)
準備学習	小テストは復習テストです。 6号館5階の英語学習指導室のチューター制度(授業時に紹介予定)も、積極的に利用してください。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通り。 小テストの成績 50% 課題 36% 授業への参加態度 14% 定期試験は実施しない。 無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。 小テスト、課題を問わず、不正行為は例外なく単位不認定とする。
講義構成	講義構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 (前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第2回 Introduction & Chapter 1 第3回 Chapter 1 第4回 Chapter 2 第5回 Chapter 2 第6回 Chapter 3 第7回 Chapter 3 第8回 Review (Part 1) 第9回 Chapter 4 第10回 Chapter 4 第11回 Chapter 5 第12回 Chapter 5 第13回 Chapter 6 第14回 Chapter 6 (後期) 第15回 Review (Chapter 4~6) & Chapter 7 第16回 Chapter 7 第17回 Chapter 8 第18回 Chapter 8 第19回 Review (Part 2) 第20回 Chapter 9 第21回 Chapter 9 第22回 Chapter 10 第23回 Chapter 10 第24回 Chapter 11 第25回 Chapter 11 第26回 Chapter 12 第27回 Chapter 12 第28回 Review (Part 3)
教科書	Writing to Communicate 2 3/E (Longman)
参考書・資料	英和辞典、和英辞典(できれば英英辞典も)必携。
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

授業コード	L1611
-------	-------

授業科目名	中級英語ライティング (11クラス)		
担当者名	スミス(ランディ L. スミス)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	A variety of activities will introduce students to the idea of writing as a series of steps (process) leading to a finished product. Students will also learn about such basic principles of paragraph writing as topic development, coherence, and organization. Applying these principles, students will practice various models of paragraph and essay writing such as description, narration, process, and so on. Some writing tasks will be completed in class, though there will be regular homework assignments as well. Problems of grammar and usage will be addressed as they arise during the course of the year.
準備学習	All homework assignments should be completed outside of class. Also, in some cases students will be expected to review textbook lessons a week in advance.
成績評価	Short written assignments: 40% Essays: 40% Quizzes and Tests: 20% Absence and lateness will not be permitted in this class. In most cases, students with more than 6 absences during the year will not receive credit for the course.
講義構成	Some changes and adjustments to this schedule are likely depending on students' abilities and needs. (Spring) Class 1: Independent study (class registration and placement during first week) Class 2: Writing a letter of introduction Class 3: Interview a partner and write a report Class 4: Introduction of prewriting Class 5: Understanding paragraphs Class 6: Topic sentences Class 7: Supporting and concluding sentences Class 8: Writing about a memorable vacation Classes 9 & 10: Writing an order of importance paragraph Class 11: Writing a process paragraph Classes 12 & 14: Introduction to essay writing Class 15: Review (Fall) Class 1: Review of paragraph writing Classes 2 & 3: Writing about personality Classes 4 & 5: Writing descriptions Classes 6 & 7: Writing opinion paragraphs Classes 8 & 9: Writing comparison/contrast paragraphs Classes 10 - 14: Writing an essay

	Class 15: Review
教科書	Ready to Write (3rd Edition) Karen Blanchard & Christine Root Longman
参考書・資料	It is very important to bring a dictionary to this class. An electronic dictionary is fine. You will also need a folder to keep handouts and assignments.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	The ultimate aim of this course is to increase the confidence and ability of students to express their ideas and thoughts in written English. For this to happen requires practice, and in this class you will have the opportunity to practice a variety of written tasks.

授業コード	L1612		
授業科目名	中級英語ライティング (12クラス)		
担当者名	クーパー(クーパー マシュー セバスチャン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	In the classroom students will work together in pairs or in groups on the topics for the written exercises. You will be asked to encourage each other in developing your ideas and also to correct and evaluate each other's work. Classroom time will be spent practicing essay organization and written accuracy through a number of varied activities. Students must always bring with them a dictionary and notebook. Written work will be primarily based on expressing opinion on topical social themes, with the focus being on the presentation of a logical argument supported by examples and opinion. However, students will also learn how to write letters, advertisements and e-mails. Students will also be asked to keep a daily journal in English in order to improve their written fluency, and in which they should focus on self-expression and reported events.
準備学習	Students must come prepared to class having reviewed the previous class and done all the homework.
成績評価	Assignments: 60% Journals: 20% Blogs: 20%
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with the students abilities and

	interests. (Spring) (Fall) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">Class 1 : Class introduction</td> <td style="width: 50%; border: none;">Class 1: Review of Spring</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 2 & 3 : Sentence structure</td> <td style="border: none;">Class 2 & 3 : Brainstorming</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 3 & 4 : Paragraph format; writing about family</td> <td style="border: none;">Class 3 & 4 : Writing about people</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 5 & 6 : Topic sentences</td> <td style="border: none;">Class 5 & 6 : Writing a lesson plan</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 7 & 8: Writing about school life</td> <td style="border: none;">Class 7 & 8: Conclusion paragraphs</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 9 & 10: Supporting sentences</td> <td style="border: none;">Class 9 & 10: Critical thinking</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 11 & 12: Writing about Hobbies</td> <td style="border: none;">Class 11 & 12: Writing introduction paragraphs</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 13 & 14: Conclusion sentences</td> <td style="border: none;">Class 13 & 14: Logical organisation</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">Class 15: Review</td> <td style="border: none;">Class 15: Unity and coherence</td> </tr> </table>	Class 1 : Class introduction	Class 1: Review of Spring	Class 2 & 3 : Sentence structure	Class 2 & 3 : Brainstorming	Class 3 & 4 : Paragraph format; writing about family	Class 3 & 4 : Writing about people	Class 5 & 6 : Topic sentences	Class 5 & 6 : Writing a lesson plan	Class 7 & 8: Writing about school life	Class 7 & 8: Conclusion paragraphs	Class 9 & 10: Supporting sentences	Class 9 & 10: Critical thinking	Class 11 & 12: Writing about Hobbies	Class 11 & 12: Writing introduction paragraphs	Class 13 & 14: Conclusion sentences	Class 13 & 14: Logical organisation	Class 15: Review	Class 15: Unity and coherence
Class 1 : Class introduction	Class 1: Review of Spring																		
Class 2 & 3 : Sentence structure	Class 2 & 3 : Brainstorming																		
Class 3 & 4 : Paragraph format; writing about family	Class 3 & 4 : Writing about people																		
Class 5 & 6 : Topic sentences	Class 5 & 6 : Writing a lesson plan																		
Class 7 & 8: Writing about school life	Class 7 & 8: Conclusion paragraphs																		
Class 9 & 10: Supporting sentences	Class 9 & 10: Critical thinking																		
Class 11 & 12: Writing about Hobbies	Class 11 & 12: Writing introduction paragraphs																		
Class 13 & 14: Conclusion sentences	Class 13 & 14: Logical organisation																		
Class 15: Review	Class 15: Unity and coherence																		
教科書	Paragraph Writing: From Sentence to Paragraph (Macmillan)																		
参考書・資料	Please bring a dictionary to every class																		
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.																		
担当者から一言	Let`s go slowly, enjoy learning and be proud of what you achieve. I can help you whenever you want , but you have to make the effort required.																		

授業コード	L1613		
授業科目名	中級英語ライティング (13クラス)		
担当者名	ALTHAUS(アルタス デイヴィッド)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜5限)、後期(木曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	The aim of this course is to improve the accuracy and fluency of your written English, focussing on both informal and formal genres. You will learn to assess the strengths and weaknesses of your own writing as well as your classmates and use this information to develop your skills. Class time will be spent preparing, discussing and analysing written work while assignments themselves will normally be completed in your own time. A 'portfolio' of work will be collected over the year and used for the final assessment.
準備学習	Keep all written work – homework, assignments, letters, peer review essay etc... for your 'portfolio' to be handed in at the end of the year. Keep your diary up to date with weekly entries and make sure you bring your diary to every class. Think about topics of interest to write about.

成績評価	1. Attendance 10%. 2. Classwork 20% (how well and how hard you try in class). 3. Homework 10%. 4. Diary 20%. 5. Assignments 20%. 6. Portfolio 20%. Absence and lateness negatively affect the participation/classwork grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for this course.
講義構成	(Spring) Class 1 Introduction and write self introduction Class 2 & 3 Understanding Process writing and writing exercise Class 4 & 5 Choosing and narrowing a topic and writing exercise Class 6 & 7 Gathering ideas, editing ideas and writing exercise Class 8 & 9 Definition of a paragraph and writing exercise Class 10 & 11 Parts of a paragraph and writing exercise Class 12 & 13 Identifying and writing Topic Sentences and writing exercise Class 14 Review (Fall) Class 1 Review of Spring Class 2 & 3 Paragraph Support and Development and writing exercise Class 4 & 5 Writing Concluding Sentences and writing exercise Class 6 & 7 Peer editing and writing exercise Class 8 & 9 Descriptive Paragraphs and writing exercise Class 10 & 11 Using Adjectives and prepositions and writing exercise Class 12 Process Paragraphs and writing exercise Class 13 Transition Words and writing exercise Class 14 Review and portfolio submission Final Exam Writing Test
教科書	「Success with College writing (Zemach & Rumisek) MacMillan (ISBN 4-89585-44-2 C3082)」(2,500円)
参考書・資料	Bring one folder for classwork, homework, and assignments and one B5 notebook for a diary.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Come to class and don't be late. Try hard and do your best. Listen and ask questions. Bring one folder for classwork, homework, and assignments and one B5 notebook for a diary. Relax, don't be shy, have fun learning, and enjoy the class.

授業コード	L1614		
授業科目名	中級英語ライティング (14クラス)		
担当者名	ステイヴンズ (ステイヴンズ クリストファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding

	<p>sentence)</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	Along with in-class writing related to each chapter in the textbook, you will work with a partner or small group to discuss and collectively generate texts on a variety of topics. As writing requires time and consideration, you will also be expected to keep a journal, do weekly homework assignments, and write eight typed essays over the year. With the exception of a few short quizzes, there will be no tests in the class.
準備学習	You will be expected to read passages in the book and be ready to discuss their content in class. It is essential that you do this and that you submit your homework on time each week in order to improve your writing and understand the development of the course.
成績評価	<p>Typed essays 30%</p> <p>Homework 30%</p> <p>Attendance 20%</p> <p>Participation 20%</p> <p>A cooperative attitude and a willingness to communicate in English are essential to receiving a passing grade in this class as is regular attendance (no more than eight absences during the entire year). Students arriving more than five minutes late will not be allowed to enter the classroom and will be marked absent.</p>
講義構成	<p>The class is structured around the textbook, with four units planned for the spring semester and four for the fall. In general, we will spend three weeks on each unit and conclude each with a typed essay.</p> <p>Spring</p> <p>Class 1: Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Classes 2, 3 & 4: Unit 1: Getting Acquainted</p> <p>Classes 5, 6 & 7: Unit 2: Who is a Hero?</p> <p>Classes 8, 9 & 10: Unit 3: Weathering the Storm</p> <p>Classes 11, 12, & 13: Unit 4: The Baby Jessica Story</p> <p>Class 14: Review activities</p> <p>Fall</p> <p>Class 1: Review activities</p> <p>Classes 2, 3 & 4: Unit 5: Inventions</p> <p>Classes 5, 6 & 7: Unit 6: Home Sweet Home</p> <p>Classes 8, 9 & 10: Unit 8: The Crime That Didn't Happen</p> <p>Classes 11, 12, & 13: Unit 9: Fables of Our Time</p> <p>Class 14: Unit 10: What I Have Lived For</p>
教科書	Reason to Write (Low Intermediate; Oxford University Press) by Judy L. Miller and Robert F. Cohen
参考書・資料	Please bring paper, a notebook, your textbook, a dictionary, and something to write with to every lesson.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Writing isn't an easy task in any language, even one's own, but through this class, I hope you will become more familiar with some of the basic concepts of expressing yourself in English. I do not expect perfection, but giving each topic the necessary amount of thought and trying your best to communicate through the written word is an absolute requirement.

授業コード	L1615		
授業科目名	中級英語ライティング (15クラス)		
担当者名	ステイヴンズ(ステイヴンズ クリストファー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4

開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates 		
講義方法	Along with in-class writing related to each chapter in the textbook, you will work with a partner or small group to discuss and collectively generate texts on a variety of topics. As writing requires time and consideration, you will also be expected to keep a journal, do weekly homework assignments, and write eight typed essays over the year. With the exception of a few short quizzes, there will be no tests in the class.		
準備学習	You will be expected to read passages in the book and be ready to discuss their content in class. It is essential that you do this and that you submit your homework on time each week in order to improve your writing and understand the development of the course.		
成績評価	<p>Typed essays 30% Homework 30% Attendance 20% Participation 20%</p> <p>A cooperative attitude and a willingness to communicate in English are essential to receiving a passing grade in this class as is regular attendance (no more than eight absences during the entire year). Students arriving more than five minutes late will not be allowed to enter the classroom and will be marked absent.</p>		
講義構成	<p>The class is structured around the textbook, with four units planned for the spring semester and four for the fall. In general, we will spend three weeks on each unit and conclude each with a typed essay.</p> <p>Spring</p> <p>Class 1: Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Classes 2, 3 & 4: Unit 1: Getting Acquainted</p> <p>Classes 5, 6 & 7: Unit 2: Who is a Hero?</p> <p>Classes 8, 9 & 10: Unit 3: Weathering the Storm</p> <p>Classes 11, 12, & 13: Unit 4: The Baby Jessica Story</p> <p>Class 14: Review activities</p> <p>Fall</p> <p>Class 1: Review activities</p> <p>Classes 2, 3 & 4: Unit 5: Inventions</p> <p>Classes 5, 6 & 7: Unit 6: Home Sweet Home</p> <p>Classes 8, 9 & 10: Unit 8: The Crime That Didn't Happen</p> <p>Classes 11, 12, & 13: Unit 9: Fables of Our Time</p> <p>Class 14: Unit 10: What I Have Lived For</p>		
教科書	Reason to Write (Low Intermediate; Oxford University Press) by Judy L. Miller and Robert F. Cohen		
参考書・資料	Please bring paper, a notebook, your textbook, a dictionary, and something to write with to every lesson.		
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>		
担当者から一言	Writing isn't an easy task in any language, even one's own, but through this class, I hope you will become more familiar with some of the basic concepts of expressing yourself in English. I do not expect perfection, but		

	giving each topic the necessary amount of thought and trying your best to communicate through the written word is an absolute requirement.
--	--

授業コード	L1616		
授業科目名	中級英語ライティング (16クラス)		
担当者名	J. ブルックス(ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	Throughout the course you will learn, practice and use the steps of the writing process to develop your writing skills. You will work with your classmates to help each other develop ideas, review, revise and improve your writing. You will practice sentence and paragraph development skills in Semester 1 to help achieve greater fluency and clarity in your writing. In Semester 2, you will develop short, multi-paragraph essays in a variety of styles. Writing, peer review and revision will all take place in class as well as for homework. You will also write regular journals to help you improve your writing fluency.
準備学習	You will need to spend time outside of class working on your writing assignments, reviewing and sometimes reading to prepare for the next class. Bring all of your materials with you to every class. Keep completed writing assignments for review.
成績評価	Participation 20% Writing activities (Paragraphs, essays, journals, etc.) 80% Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for this course.
講義構成	Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Semester 1 Class 1 Independent study (class registration and placement during first week) Class 2Orientation Class 3Beginning to work; common paragraph features Class 4Beginning to work; common paragraph features Class 5 Describing things Class 6Describing things Class 7 Describing places Class 8 Describing places Class 9 Describing people Class 10Describing people Class 11Review Class 12Opinions

	<p>Class 13 Opinions Class 14 Wrap-up</p> <p>Semester 2</p> <p>Class 1 Review of Semester 1 Class 2 Cause & Effect Class 3 Cause & Effect Class 4 Cause & effect Class 5 Narrative Class 6 Narrative Class 7 Narrative Class 8 Compare & Contrast Class 9 Compare & Contrast Class 10 Compare & Contrast Class 11 Workshop ? final project Class 12 Workshop ? final project Class 13 Review Class 14 Wrap-up</p>
教科書	Paragraph Writing: From Sentence to Paragraph Dorothy E. Zemach & Carlos Islam Macmillan, 2005
参考書・資料	You will need an A4 size ClearBook for your writing and other papers. You will also need a Report Pad for your journals. I will show you examples of both in our first class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	This class is conducted entirely in English. Writing homework is required every week.

授業コード	L1617		
授業科目名	中級英語ライティング (17クラス)		
担当者名	J. ブルックス (ブルックス ジョアン ビクトリア)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing

	<ul style="list-style-type: none"> • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	<p>Throughout the course you will learn, practice and use the steps of the writing process to develop your writing skills. You will work with your classmates to help each other develop ideas, review, revise and improve your writing.</p> <p>You will practice sentence and paragraph development skills in Semester 1 to help achieve greater fluency and clarity in your writing. In Semester 2, you will develop short, multi-paragraph essays in a variety of styles. Writing, peer review and revision will all take place in class as well as for homework.</p> <p>You will also write regular journals to help you improve your writing fluency.</p>
準備学習	You will need to spend time outside of class working on your writing assignments, reviewing and sometimes reading to prepare for the next class. Bring all of your materials with you to every class. Keep completed writing assignments for review.
成績評価	<p>Participation 20%</p> <p>Writing activities (Paragraphs, essays, journals, etc.) 80%</p> <p>Absences and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for this course.</p>
講義構成	<p>Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.</p> <p>Semester 1</p> <p>Class 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2 Orientation</p> <p>Class 3 Beginning to work; common paragraph features</p> <p>Class 4 Beginning to work; common paragraph features</p> <p>Class 5 Describing things</p> <p>Class 6 Describing things</p> <p>Class 7 Describing places</p> <p>Class 8 Describing places</p> <p>Class 9 Describing people</p> <p>Class 10 Describing people</p> <p>Class 11 Review</p> <p>Class 12 Opinions</p> <p>Class 13 Opinions</p> <p>Class 14 Wrap-up</p> <p>Semester 2</p> <p>Class 1 Review of Semester 1</p> <p>Class 2 Cause & Effect</p> <p>Class 3 Cause & Effect</p> <p>Class 4 Cause & effect</p> <p>Class 5 Narrative</p> <p>Class 6 Narrative</p> <p>Class 7 Narrative</p> <p>Class 8 Compare & Contrast</p> <p>Class 9 Compare & Contrast</p> <p>Class 10 Compare & Contrast</p> <p>Class 11 Workshop ? final project</p> <p>Class 12 Workshop ? final project</p> <p>Class 13 Review</p> <p>Class 14 Wrap-up</p>
教科書	<p>Paragraph Writing: From Sentence to Paragraph</p> <p>Dorothy E. Zemach & Carlos Islam</p> <p>Macmillan, 2005</p>
参考書・資料	You will need an A4 size ClearBook for your writing and other papers. You will also need a Report Pad for your journals. I will show you examples of both in our first class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not</p>

	completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

担当者から一言	This class is conducted entirely in English. Writing homework is required every week.
---------	--

授業コード	L1671		
授業科目名	中級英語ライティング (留P 文経 1クラス)(後)		
担当者名	入江伸光(イリエ ノブアキ)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限 木曜3限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	英語の文の基本から始め、次に段落について学び、最終的には与えられたテーマについて自分の考えをエッセイに書けるようになるのが目的。日本語英語から離れ、英語的な表現を学ぶ。テキストからライティングの原則を学び、練習問題を通してそれらを実際にできるようになるまで練習する。エッセイ以外にも、日記、手紙、ビジネスFaxなど、さまざまなWritingに挑戦する。
準備学習	毎週出される宿題と授業でやったテキストの章を復習すること。
成績評価	小テスト50%、宿題とレポート30%、Academic Vocabulary 10%、平常点(授業への参加)10%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 第 1回 Orientation Chapter 1 第 2回 Chapter 1 第 3回 Chapter 2 第 4回 Chapter 2 第 5回 Chapter 3 第 6回 Chapter 4 第 7回 Chapter 5 第 8回 Writing Activity 第 9回 Chapter 6 第10回 Chapter 6 第11回 Chapter 7 第12回 Chapter 7 第13回 Review 第14回 Quiz #1 Writing Activity 第15回 Chapter 8 第16回 Chapter 8 第17回 Chapter 9 第18回 Chapter 9

	第19回 Chapter 10 第20回 Chapter 10 第21回 Writing Activity 第22回 Chapter 11 第23回 Chapter 12 第24回 Chapter 13 第25回 Chapter 14 第26回 Chapter 14 第27回 Review 第28回 Quiz#2 Writing Activity
教科書	Ready To Write by Karen Blanchard & Christine Root (Longman社)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	毎週出されるアサイメントを通して、英語の文と段落を書けるように力をつけます。クラスの中ではペワーク、グループワークがありますので、協力して学び合うことを期待しています。もう高校生ではありませんので、自分の意見や考えを発表するように努力してください。英語でディスカッションもします。積極的に参加するよう期待しています。Be proactive and share your ideas and opinions. You won't get a good grade if you are quiet and don't share your opinions! I'm looking forward to seeing you soon

授業コード	L1672		
授業科目名	中級英語ライティング (留P 文経 2クラス)(後)		
担当者名	津田信男(ツダ ノブオ)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限 水曜1限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday 2:00-3:00 p.m. Thursday 2:00-3:00 p.m. (also by appointment)		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	In this course, you will first learn the basics of paragraph writing and then move on to write short, multi-paragraph essays. In class you will prepare your writing by discussing with your classmates and brainstorm some ideas for a topics and the content of your essay. In addition to becoming a more critical writer, this course aims to improve your written fluency and grammatical accuracy. You will practice writing in every class and for homework.

準備学習	毎回宿題があるので遅れないように提出すること。
成績評価	1. Homework (Essays) 42% 2. Quizzes 22% 3. TOEFL Criterion Essays 36%
講義構成	Writing assignments will be both personal experience-based and reading-based, so sometimes you will first read a short text and then write your ideas and opinions about the subject. The writing process will be explored fully, which includes developing ideas before you write, trying different approaches to writing an essay, revising essay content for clarity, and self-editing for better grammatical accuracy. The writing notebook is a place for you to both practice writing regularly and to prepare for class essays. You will write on a wide variety of topics and complete many writing skills exercises in your notebook.
教科書	Ready to Write: A First Composition Text (Pearson/Longman)
参考書・資料	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, ETS TOEFL Criterion
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Good grades are not given by the teacher. They are earned by the students.
その他	E-mail: nobuo@konan-u.ac.jp 詳しいスケジュール、小テスト、宿題、TOEFL Criterion課題の期限については、1回目のシラバスで資料を配布する。

授業コード	L1673		
授業科目名	中級英語ライティング (留P 文経 3クラス)(後)		
担当者名	小西幸男(コニシ ユキオ)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜2限 木曜3限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	毎月の目標を定め、2週間に1回のペースで課題を小論文にまとめる。
準備学習	毎回の目標と課題に準じて、事前に資料を熟読しておくこと。
成績評価	提出を課した小論文、サマリーライティングなどの課題(全体の40%) 英語でのプレゼンテーションおよび論文作成(全体の40%) 出席およびクラスでのパフォーマンス(全体20%)

講義構成	<p>テキストの課題を毎週1課づつ 英語による論説文の作成を行い、2週間に1度の割合で発表を行う。英作文の添削指導</p> <p>第1週 Chapter 1 Organization 第2週 Chapter 2 understanding Paragraphs 第3週 Chapter 3 Organizing Information by time 第4週 Organizing Information by Order of Importance 第5週 Organizing Information by Space 第6週 The Writing Process 第7週 Supporting the Main Idea 第8週 Giving Instructions 第9週 Writing Descriptions 第10週 Expressing and Opinion 第11週 Comparing and Contrasting 第12週 Writing about Causes and Effects 第13週 Writing Personal and Business Letters 第14週 Writing Summaries 第15週 Essay Writing</p>
教科書	Ready to Write (Longman)
参考書・資料	必要な課題資料は授業中に配布する。
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	自分で悩むのではなく、難しいと思ったら即！相談に来てください。

授業コード	L1681		
授業科目名	中級英語ライティング (留P 法営 1クラス)(後)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜5限 土曜1限
特記事項	<p>後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。</p>		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising • read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) • learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) • improve the grammatical accuracy of their writing • learn how to connect sentences and paragraphs smoothly • work with classmates to develop and discuss writing topics • learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing • revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	Each class, you will use the textbook and other handouts to read and analyze paragraphs, and review or learn the grammar, language, and organizational language necessary in academic writing. In addition, you will often work in pairs or small groups to provide comments and advice on your classmates' paragraph drafts.

準備学習	Complete homework and paragraph drafts
成績評価	Participation 30% Homework 30% Paragraph final drafts 40%
講義構成	Class 1 Course introduction Class 2 Introduction Classes 3, 4 Unit 1: Beginning to work Classes 5, 6, 7, 8 Unit 2: Giving and receiving presents Classes 9, 10, 11 Unit 3: A favorite place Classes 12, 13, 14 Unit 4: An exceptional person Classes 15, 16, 17, 18 Unit 6: White lies Classes 19, 20, 21, 22 Unit 7: Explanations and excuses Classes 23, 24, 25 Unit 10: Differences Classes 26, 27, 28 Unit 12: Fate or choice? note: The schedule will be adjusted according class size and performance in class and on assignments.
教科書	Zemach and Islam: Paragraph Writing (Macmillan)
参考書・資料	A4 paper and a binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

授業コード	L1682		
授業科目名	中級英語ライティング (留P 法営 2クラス)(後)		
担当者名	カーク(カーク スタンレー)		
配当年次	1年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	火曜4限 土曜2限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday and Wednesday 12:15-12:50		

講義の内容	The main purpose of this class is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then short, multi-paragraph essays.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> regularly practice the three steps involved in writing: planning, writing, and revising read and write a variety of text types (e.g. description, cause-effect, and comparison/contrast) and a variety of genres (e.g. letters and short essays) learn about the major features of paragraphs and essays (e.g. topic sentence, supporting details, concluding sentence) improve the grammatical accuracy of their writing learn how to connect sentences and paragraphs smoothly work with classmates to develop and discuss writing topics learn to evaluate their classmates' assignments and advise each other about improving their writing revise their writing based on advice from their teacher and classmates
講義方法	In the lessons for this course we will emphasize the process of good writing and a cooperative approach to improving our writing skills. To this end, we will spend some time in each class sharing and discussing about our writing (in pairs and small groups) at each stage of the writing process. There will also be regular error correction exercises and peer checks of each other's writing.

準備学習	As this is a writing course, there will be quite a lot of homework. Therefore, if you take this class you should plan on making time for your writing homework each week. Each class will also have some speaking activities based on the homework, so it is very important to finish the homework on time and to prepare to talk about it with your classmates in the following class
成績評価	Attitude, effort, and participation: 20% Regular assignments, quizzes: 80%
講義構成	<p>SPRING SEMESTER</p> <p>Class 1 CASEC Placement Test</p> <p>Class 2 Class Orientation</p> <p>Class 3 Introduction to Timed Free Writing</p> <p>Class 4 Organizing your writing</p> <p>Class 5 Understanding Paragraphs</p> <p>Class 6 Organizing Information by Time (introduction)</p> <p>Class 7 Organizing Information by Time (peer check, editing)</p> <p>Class 8 Organizing Information by Time (error correction, final draft)</p> <p>Class 9 Organizing Information by Order of Importance (introduction)</p> <p>Class 10 Organizing Information by Order of Importance (peer check, editing)</p> <p>Class 11 Organizing Information by Order of Importance (error correction, final draft)</p> <p>Class 12 Organizing Information by Space (introduction)</p> <p>Class 13 Organizing Information by Space (peer check, editing)</p> <p>Class 14 Organizing Information by Space (error correction, final draft)</p> <p>AUTUMN SEMESTER</p> <p>Class 1 The Writing Process (introduction)</p> <p>Class 2 The Writing Process (peer check)</p> <p>Class 3 The Writing Process (final draft)</p> <p>Class 4 Supporting the Main Idea (introduction)</p> <p>Class 5 Supporting the Main Idea (editing)</p> <p>Class 6 Supporting the Main Idea (final draft)</p> <p>Class 7 From Paragraph to Essay</p> <p>Class 8 Giving Instructions (introduction)</p> <p>Class 9 Giving Instructions (editing)</p> <p>Class 10 Giving Instructions (final draft)</p> <p>Class 11 Writing Descriptions (introduction)</p> <p>Class 12 Writing Descriptions (editing)</p> <p>Class 13 Writing Descriptions (final draft)</p> <p>Class 14 Review and Evaluation</p>
教科書	Ready To Write
参考書・資料	Please bring your dictionary to class.
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	As this is an intensive writing course, there will be a lot of homework. Please make enough time to complete the homework for each class.

授業コード	L1401		
授業科目名	中級英語リーディング(1クラス)IM		
担当者名	要素子(カナメ モトコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	各ユニットのリーディング・スキルを説明し、ウォーミング・アップをして、テキストを指示に従って読みます。説明の場合に応じて教科書以外のプリントを配り、その実践練習をすることがあります。 授業時間内で各自の進度で読み進んでいくことを中心にします。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	通年で 定期試験の成績 60% (前期試験の30%+後期試験の30%=60%) 課題・レポート 20% (提出期限を守り、要求を満たした場合20%) 授業への参加(態度) 20% (無断欠席が多い場合や年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	(前期) 第 1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日から12日) 第 2回 授業方針について説明 Unit 1 Skimming and Scanning 第 3回 Unit 1の実践練習 第 4回 Unit 2 Predicting, inferring, interpreting, and deducing meaning 第 5回 Unit 2の実践練習 第 6回 Unit 3 Visuarizing, associating, judging, and summarizing 第 7回 Unit 3の実践練習 第 8回 Unit 4 Understanding prupose and tone 第 9回 Unit 4の実践練習 第10回 Unit 5 Separating fact from opinion 第11回 Unit 5の実践練習 第12回 Unit 6 Understanding references

	<p>第13回 Unit 6の実践練習</p> <p>第14回 Review</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Unit 7 Highlighting and annotating</p> <p>第17回 Unit 7の実践練習</p> <p>第18回 Unit 8 Recognizing main ideas</p> <p>第19回 Unit 8の実践練習</p> <p>第20回 Unit 9 Recognizing supporting ideas</p> <p>第21回 Unit 9の実践練習</p> <p>第22回 Review</p> <p>第23回 Unit 10 Recognizing text organization–time order and process</p> <p>第24回 Unit 10の実践練習</p> <p>第25回 Unit 11 Recognizing text organization–compare and contrast</p> <p>第26回 Unit 11の実践練習</p> <p>第27回 Unit 12 Recognizing text organization–cause and effect</p> <p>第28回 Unit 12の実践練習</p> <p>第29回 Review</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	<p>A Good Read 2: Developing Strategies for Effective Reading By Carlos Islam and Carrie Steenburgh (Gengage Learning)</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center’s Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>語学の学習はコツコツやるしかありません。実際に自分でやって行くことが大切です。短期的には力がついたかどうかわかりませんが、読書課題をこなし、授業での指示に従ってリーディング・スキルを獲得していくと力がついてきます。</p> <p>学習者が自分からやるかどうかだけです。毎年後半に力をつけたことがわかる学生が何人もいます。わからないことはそのままにしないで、必ず聞いてください。喜んで相談にのります。</p>

授業コード	L1402
-------	-------

授業科目名	中級英語リーディング(2クラス)AV		
担当者名	野谷啓二(ノタニ ケイジ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty ・ read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages ・ continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) ・ improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary ・ refine English outlining and summarizing skills ・ improve reading speed ・ increase vocabulary ・ evaluate a writer's ideas and opinions ・ express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	受講者には、まずパラグラフ単位で音読してもらい、発音、イントネーション等をチェックします。リーディングの授業ではありますが、音読によってどれだけ文章が読めているか、おおよそ理解できるからです。次に音読したパラグラフのKey Ideaを述べていただきます。受講者人数にも制限されるが、各自、必ず一回以上は指名されるはずである。1つの文章を読み終えた段階で、教科書のExercisesに取り組み、理解度をチェックします。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	小テストの成績 30% 読書レポート 20% 授業への参加度 20% 定期試験の成績 30% なお、欠席回数が年間授業時間数の3分の1を超える場合、最終成績評価は「欠席」となります。
講義構成	(前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学习(2010年4月6日から12日) 第2回 座席指定 イン트로ダクション Longevity: La Dolce Vita 第3回 La Dolce Vita続き Building Vocabulary その他のExercises 第4回 小テスト Having Our Say 第5回 The Longevity Code 第6回 Building Academic Vocabulary その他のExercises 第7回 小テスト The Greatest Job in the World 第8回 The Greatest Job in the World続き Building Vocabulary その他のExercises 第9回 小テスト Tender at the Bone 第10回 Becoming Yourself 第11回 Becoming Yourself続き Building Vocabulary その他のExercises 第12回 小テスト Two Yahoos 第13回 Two Yahoos続き Building Academic Vocabulary その他のExercises 第14回 小テスト Calm in Crisis is in My Blood 第15回 前期定期(期末)試験 (後期) 第16回 Geeks 第17回 Geeks続き Building Vocabulary その他のExercises 第18回 小テスト Shipmates and Soul Mates 第19回 Shipmates and Soul Mates続き Building Vocabulary その他のExercises

	第20回 What are You Looking for in a Spouse? 第21回 Who Wants to Marry a Soul Mate? 第22回 Who Wants to Marry a Soul Mate?続き 第23回 Building Vocabulary その他のExercises 第24回 小テスト A Sixth Sense 第25回 A Sixth Sense続き 第26回 Building Vocabulary その他のExercises 第27回 小テスト A Parents' Sixth Sense 第28回 When Not to Use Your Head 第29回 Building Academic Vocabulary その他のExercises 第30回 後期定期(期末)試験
教科書	Sandra Heyer, Beyond True Stories: A High-Intermediate Reader (Longman)
参考書・資料	特にありません。
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>とにかく英語にできるだけ触れるようにしましょう。言語活動を活発に。日本語で読まない人は英語も読みません。ですから日本語でも本を読みましょう。いや、本だけではありません。ネットの時代ですから、無料で優良なニュースを提供しているサイトを訪問するのも英語学習の面だけではなく、大変役立ちます。オススメはイギリスのBBCのホームページです。毎日一回は訪問してみてください。</p>

授業コード	L1403		
授業科目名	中級英語リーディング (3クラス)IM		
担当者名	要素子(カナメ モトコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	<p>各ユニットのリーディング・スキルを説明し、ウォーミング・アップをして、テキストを指示に従って読みます。説明の場合に応じて教科書以外のプリントを配り、その実践練習をすることがあります。</p> <p>授業時間内で各自の進捗で読み進んでいくことを中心にします。</p>

準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	<p>通年で</p> <p>定期試験の成績 60% (前期試験の30%+後期試験の30%=60%)</p> <p>課題・レポート 20% (提出期限を守り、要求を満たした場合20%)</p> <p>授業への参加(態度) 20%</p> <p>(無断欠席が多い場合や年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は[欠席]とする。)</p>
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第 2回 授業方針について説明 Unit 1 Skimming and Scanning</p> <p>第 3回 Unit 1の実践練習</p> <p>第 4回 Unit 2 Predicting, inferring, interpreting, and deducing meaning</p> <p>第 5回 Unit 2の実践練習</p> <p>第 6回 Unit 3 Visuarizing, associating, judging, and summarizing</p> <p>第 7回 Unit 3の実践練習</p> <p>第 8回 Unit 4 Understanding prupose and tone</p> <p>第 9回 Unit 4の実践練習</p> <p>第10回 Unit 5 Separating fact from opinion</p> <p>第11回 Unit 5の実践練習</p> <p>第12回 Unit 6 Understanding references</p> <p>第13回 Unit 6の実践練習</p> <p>第14回 Review</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Unit 7 Highlighting and annotating</p> <p>第17回 Unit 7の実践練習</p> <p>第18回 Unit 8 Recognizing main ideas</p> <p>第19回 Unit 8の実践練習</p> <p>第20回 Unit 9 Recognizing supporting ideas</p> <p>第21回 Unit 9の実践練習</p> <p>第22回 Review</p> <p>第23回 Unit 10 Recognizing text organization-time order and process</p> <p>第24回 Unit 10の実践練習</p>

	<p>第25回 Unit 11 Recognizing text organization—compare and contrast</p> <p>第26回 Unit 11の実践練習</p> <p>第27回 Unit 12 Recognizing text organization—cause and effect</p> <p>第28回 Unit 12の実践練習</p> <p>第29回 Review</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	A Good Read 2: Developing Strategies for Effective Reading By Carlos Islam and Carrie Steenburgh (Cengage Learning)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>語学の学習はこつこつやるしかありません。実際に自分でやってみることが大切です。短期的には力がついたらどうかかわからないでしょうが、読書課題をこなし、授業での指示に従ってリーディング・スキルを獲得していくと力がついてきます。</p> <p>学習者が自分からやるかどうかだけです。毎年後半に力をつけたことがわかる学生が何人もいます。わからないことはそのままにしないで、必ず聞いてください。喜んで相談にのります。</p>

授業コード	L1404		
授業科目名	中級英語リーディング(4クラス)AV		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Monday 1:00-2:00		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions

	<ul style="list-style-type: none"> express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	We will read various articles and improve reading skills, such as scanning and skimming. The class will also introduce different readings, such as newspaper and magazine articles and novels.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Reports 30% Quizzes 50%
講義構成	<p>Spring</p> <p>Class 1 Independent Study (class registration and placement during first week)</p> <p>Class 2.3.4 Cross-Cultural Connections</p> <p>Class 5. 6. 7 Mysteries from the Past</p> <p>Class 8 Review</p> <p>Class 9. 10. 11 Music to my Ears</p> <p>Class 12. 13 Getting Down to Business</p> <p>Class 14 Review</p> <p>Fall</p> <p>Class 16 Giving a grade</p> <p>Class 17. 18 Tune in to TV</p> <p>Class 19. 20. 21 Superstitions</p> <p>Class 22. Review</p> <p>Class 23. 24. 25 Our Fragile Planet</p> <p>Class 26. 27 Living a Long Life</p> <p>Class 28 Review</p>
教科書	For Your Information 3: Reading and Vocabulary Skills (Longman) Karen Blanchard and Christine Root
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Do you like reading? Do you want to improve your English skills? Well, if your answer is yes, please take this class! Reading can greatly enhance your English skills, such as vocabulary, grammar and writing skills!

授業コード	L1405		
授業科目名	中級英語リーディング (5クラス)IM		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages

	<ul style="list-style-type: none"> ▪ continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) ▪ improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary ▪ refine English outlining and summarizing skills ▪ improve reading speed ▪ increase vocabulary ▪ evaluate a writer's ideas and opinions ▪ express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion 						
講義方法	<p>テキストにしたがって下記の要領で実施。課題に応じて個人、ペア、グループ、クラス単位で演習。</p> <p>(1) Reading Strategy 演習 (2) 本文読解 (3) 語彙の増強 (4) 小テスト（前・後期ともに、初回授業時に予定表配布）</p>						
準備学習	<p>詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。</p>						
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下のとおり。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">小テストの成績</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> <tr> <td>課題及び口頭発表</td> <td style="text-align: right;">36%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">14%</td> </tr> </table> <p>定期試験は実施しない。 無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。 小テスト、課題を問わず、不正行為は例外なく単位不認定とする。</p>	小テストの成績	50%	課題及び口頭発表	36%	授業への参加態度	14%
小テストの成績	50%						
課題及び口頭発表	36%						
授業への参加態度	14%						
講義構成	<p>講義構成は以下のとおりであるが、不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 Unit 1 第3回 Unit 1 第4回 Unit 2 第5回 Unit 2 第6回 Unit 3 第7回 Unit 3 & Review 1 第8回 Unit 4 第9回 Unit 4 第10回 Unit 5 第11回 Unit 5 第12回 Unit 6 第13回 Unit 6 第14回 Review 2</p> <p>(後期)</p> <p>第15回 Unit 7 第16回 Unit 7 第17回 Unit 8 第18回 Unit 8 第19回 Unit 9 第20回 Unit 9 第21回 Review 3 第22回 Unit 10 第23回 Unit 10 第24回 Unit 11 第25回 Unit 11 第26回 Unit 12 第27回 Unit 12 第28回 Review 4</p>						
教科書	A Good Read 2 (Cengage)						
参考書・資料	英和辞典(できれば英英辞典も)必携。						
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM						

	<p>(intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
--	---

授業コード	L1406		
授業科目名	中級英語リーディング (6クラス)AV		
担当者名	津田信男(ツダ ノブオ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday 2:00-3:00 p.m. Thursday 2:00-3:00 p.m. (also by appointment)		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.		
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion 		
講義方法	リーディングに必要なスキル(scanning, previewing and predicting, getting vocabulary knowledge in context, getting main ideas, skimming, making inferences, summarizing, etc.)を養成し、総合的にリーディング能力をレベルアップする。 (授業では和訳や辞書などに頼らず、リーディングの内容を英語で理解できるように指導する。)		
準備学習	毎回の授業の学習を復習する。宿題、レポートがある場合それを行う。小テストがある場合、教科書を復習し、プリント教材をよく読んで準備する。		
成績評価	宿題 11% 小テスト(前期5回、後期5回) 50% 読書レポート(前期3回、後期3回) 39%		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回クラス編成のために各自自主学習(4月6日～12日)</p> <p>第2回 Unit 2 Scanning</p> <p>第3回 Unit 2 Scanning</p> <p>第4回 Unit 2 Scanning</p> <p>第5回 Unit 2 Scanning</p> <p>第6回 Unit 1 Previewing & Predicting</p> <p>第7回 Unit 1 Previewing & Predicting</p> <p>第8回 Unit 3 Skimming</p> <p>第9回 Unit 3 Skimming</p> <p>第10回 Unit 4 Using Vocabulary Knowledge for Effective Reading</p>		

	<p>第11回 Unit 4 Using Vocabulary Knowledge for Effective Reading 第12回 Unit 4 Using Vocabulary Knowledge for Effective Reading 第13回 Unit 4 Synonyms 第14回 Unit 5 Making Inferences</p> <p>(後期) 第1回 Unit 5 Making Inferences 第2回 Unit 5 Making Inferences 第3回 Unit 7 Topics of Paragraphs 第4回 Unit 7 Topics of Paragraphs 第5回 Unit 7 Topics of Paragraphs 第6回 Unit 8 Understanding Main Ideas 第7回 Unit 8 Understanding Main Ideas 第8回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第9回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第10回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第11回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第12回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第13回 Unit 10 Summarizing 第14回 Unit 10 Summarizing</p>
教科書	More Reading Power(ロングマン)
参考書・資料	MacMillan Readers Level 5, Reader's Digest
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	Good grades are not given by the teacher. They are earned by the students.
その他	E-mail: nobuo@konan-u.ac.jp 詳しいスケジュール、小テスト、レポート等の期限については、1回目の授業で資料を配布する。

授業コード	L1407		
授業科目名	中級英語リーディング(7クラス)IM		
担当者名	山田孝子(ヤマダ タカコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	<p>In this course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed

	<ul style="list-style-type: none"> • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion 						
講義方法	<p>テキストにしたがって下記の要領で実施。課題に応じて、個人、ペア、グループ、クラス単位で演習。</p> <p>(1) Reading Strategy 演習 (2) 本文読解 (3) 語彙の増強 (4) 小テスト (前・後期ともに、初回授業時に予定表配布)</p>						
準備学習	<p>詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。</p>						
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">小テストの成績</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> <tr> <td>課題及び口頭発表</td> <td style="text-align: right;">36%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">14%</td> </tr> </table> <p>定期試験は実施しない。 無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。 小テスト、課題を問わず、不正行為は例外なく単位不認定とする。</p>	小テストの成績	50%	課題及び口頭発表	36%	授業への参加態度	14%
小テストの成績	50%						
課題及び口頭発表	36%						
授業への参加態度	14%						
講義構成	<p>講義構成は以下の通りであるが、不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 Unit 1 第3回 Unit 1 第4回 Unit 2 第5回 Unit 2 第6回 Unit 3 第7回 Unit 3 & Review 1 第8回 Unit 4 第9回 Unit 4 第10回 Unit 5 第11回 Unit 5 第12回 Unit 6 第13回 Unit 6 第14回 Review 2</p> <p>(後期)</p> <p>第15回 Unit 7 第16回 Unit 7 第17回 Unit 8 第18回 Unit 8 第19回 Unit 9 第20回 Unit 9 第21回 Review 3 第22回 Unit 10 第23回 Unit 10 第24回 Unit 11 第25回 Unit 11 第26回 Unit 12 第27回 Unit 12 第28回 Review 4</p>						
教科書	A Good Read 2 (Cengage)						
参考書・資料	英和辞典(できれば英英辞典も)必携。						
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p>						

	Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	--

授業コード	L1408		
授業科目名	中級英語リーディング(8クラス)PI		
担当者名	甲把 昭(ガツバ アキラ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ・ read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty ・ read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ・ refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages ・ continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) ・ improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary ・ refine English outlining and summarizing skills ・ improve reading speed ・ increase vocabulary ・ evaluate a writer's ideas and opinions ・ express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	ペアワーク、グループワークを中心に問題に取り組む。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	テスト 30点 出席 20点 クイズ 15点 宿題 5点 発表 10点 読書課題 20点
講義構成	第1回 クラス編成の為に各自自主学习 第2回 Introduction 第3回 Chapter 1 第4回 同上 第5回 Chapter 2 第6回 小テスト 第7回 Chapter 2 第8回 発表準備 第9回 発表 第10回 小テスト 第11回 Chapter 2 第12回 Chapter 3 第13回 Chapter 3 第14回 Review for the test 速読テスト 第15回 前期テスト 第16回 Introduction 2 第17回 Chapter 4

	第18回 Chapter 4 第19回 Chapter 5 第20回 小テスト 第21回 Chapter 5 第22回 Chapter 6 第23回 Chapter 6 第24回 小テスト 第25回 Chapter 7 第26回 Chapter 7 第27回 Chapter 8 第28回 Chapter 8 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期テスト
教科書	Ready to Read Now (Longman)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	一年間英語と触れ合っていきましょう。
その他	授業構成は予定であり、変更が生じる場合には指示をする。

授業コード	L1409		
授業科目名	中級英語リーディング (9クラス)PI		
担当者名	甲把 昭(ガツパ アキラ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	ペアワーク、グループワークを中心に問題に取り組む。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。

成績評価	テスト 30点 出席 20点 クイズ 15点 宿題 5点 発表 10点 読書課題 20点
講義構成	第1回 クラス編成の為に各自自主学習 第2回 Introduction 第3回 Chapter 1 第4回 同上 第5回 Chapter 2 第6回 小テスト 第7回 Chapter 2 第8回 発表準備 第9回 発表 第10回 小テスト 第11回 Chapter 2 第12回 Chapter 3 第13回 Chapter 3 第14回 Review for the test 速読テスト 第15回 前期テスト 第16回 Introduction 2 第17回 Chapter 4 第18回 Chapter 4 第19回 Chapter 5 第20回 小テスト 第21回 Chapter 5 第22回 Chapter 6 第23回 Chapter 6 第24回 小テスト 第25回 Chapter 7 第26回 Chapter 7 第27回 Chapter 8 第28回 Chapter 8 第29回 Review for the test 速読テスト 第30回 後期テスト
教科書	Ready to Read Now (Longman)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	一年間英語と触れ合ってください。
その他	授業構成は予定であり、変更が生じる場合には指示をする。

授業コード	L1410		
授業科目名	中級英語リーディング (10クラス)AV(後)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜4限 水曜4限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
オフィスアワー	Monday 1:00-2:00
講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> ▪ read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty ▪ read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) ▪ refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages ▪ continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) ▪ improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary ▪ refine English outlining and summarizing skills ▪ improve reading speed ▪ increase vocabulary ▪ evaluate a writer's ideas and opinions ▪ express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	We will read various articles and improve reading skills, such as scanning and skimming. The class will also introduce different readings, such as newspaper and magazine articles and novels.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Reports 30 % Quizzes 50%
講義構成	Class 1 Independent Study (class registration and placement during first week) Class 2.3.4 Cross-Cultural Connections Class 5. 6. 7 Mysteries from the Past Class 8 Review Class 9. 10. 11 Music to my Ears Class 12. 13. 14 Getting Down to Business Class 15 Review Class 16. 17. 18 Tune in to TV Class 19. 20. 21 Superstitions Class 22. Review Class 23. 24. 25 Our Fragile Planet Class 26. 27 Living a Long Life Class 28 Review
教科書	For Your Information 3: Reading and Vocabulary Skills (Longman) Karen Blanchard and Christine Root
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Do you like reading? Do you want to improve your English skills? Well, if your answer is yes, please take this class! Reading can greatly enhance your English skills, such as vocabulary, grammar and writing skills!

授業コード	L1471
-------	-------

授業科目名	中級英語リーディング(留P 文経 1クラス)(前)		
担当者名	津田信男(ツダ ノブオ)		
配当年次	2年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜5限 金曜3限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Tuesday 2:00-3:00 p.m. Thursday 2:00-3:00 p.m. (also by appointment)		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	リーディングに必要なスキル(scanning, previewing and predicting, getting vocabulary knowledge in context, getting main ideas, skimming, making inferences, summarizing, etc.)を養成し、総合的にリーディング能力をレベルアップする。 (授業では和訳や辞書などに頼らず、リーディングの内容を英語で理解できるように指導する。)
準備学習	毎回の授業の学習を復習する。宿題、レポートがある場合それを行う。小テストがある場合、教科書を復習し、プリント教材をよく読んで準備する。
成績評価	宿題 11% 小テスト(10回) 50% 読書レポート(6回) 39%
講義構成	第1回 クラス編成のために各自自主学习(4月6日~12日) 第2回 Unit2 Scanning 第3回 Unit 2 Scanning 第4回 Unit 2 Scanning 第5回 Unit 1 Previewing & Predicting 第6回 Unit 1 Previewing & Predicting 第7回 Unit 3 Skimming 第8回 Unit 3 Skimming 第9回 Unit 4 Using Vocabulary Knowledge for Effective Reading 第10回 Unit 4 Using Vocabulary Knowledge for Effective Reading 第11回 Unit 4 Using Vocabulary Knowledge for Effective Reading 第12回 Unit 4 Synonyms 第13回 Unit 5 Making Inferences 第14回 Unit 5 Making Inferences 第15回 Review 第16回 Unit 5 Making Inferences 第17回 Unit 5 Making Inferences 第18回 Unit 7 Topics of Paragraphs 第19回 Unit 7 Topics of Paragraphs 第20回 Unit 7 Topic Sentence

	第21回 Unit 8 Understanding Main Ideas 第22回 Unit 8 Understanding Main Ideas 第23回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第24回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第25回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第26回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第27回 Unit 9 Identifying Patterns of Organization 第28回 Unit 10 Summarizing 第29回 Unit 10 Summarizing
教科書	More Reading Power(ロングマン)
参考書・資料	MacMillan Readers Level 5, Reader's Digest
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Good grades are not given by the teacher. They are earned by the students.
その他	E-mail: nobuo@konan-u.ac.jp 詳しいスケジュール、小テスト、レポート等の期限については、1回目の授業で資料を配布する。

授業コード	L1472		
授業科目名	中級英語リーディング(留P 文経 2クラス)(前)		
担当者名	バードナ(バードナ デービッド アラン)		
配当年次	2年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜1限 水曜4限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	During each class, you will work individually, in pairs, and in small groups to complete vocabulary, skills-building and pre-reading activities in preparation for readings on a variety of topics and of a range of styles and lengths. In addition, you will take part in post-reading tasks and discussions.
準備学習	Complete homework and outside readings as review and/or in preparation for the next class. Homework is important for your development as well as the overall success of the class.

成績評価	Participation 40% Homework 30% Tests 30%
講義構成	Classes 1, 2 Independent study Class 3 Course introduction Classes 4, 5, 6 Unit 1: Cross-cultural connections Classes 7, 8, 9 Unit 2: Mysteries from the past Classes 10, 11, 12 Unit 3: Music to my ears Classes 13, 14, 15 Unit 4: Getting down to business Classes 16, 17, 18 Unit 5: Tune in to TV Classes 19, 20, 21 Unit 6: Superstitions Classes 22, 23, 24 Unit 7: Our fragile planet Classes 25, 26, 27 Unit 8: Living a long life Class 28 Course review and wrap-up
教科書	Blanchard and Root: For Your Information 3, Second Edition (Pearson Longman)
参考書・資料	A4 binder, folder, or file for class handouts
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	Reading is important for the development of your language skills and world knowledge. Effort and active participation are important for your success in this reading course.

授業コード	L1481		
授業科目名	中級英語リーディング(留P 法営)(前)		
担当者名	ベイリー(ベイリー モーリ J.)		
配当年次	2年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	木曜2限 土曜1限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course continues to develop the skills learned at the introductory level, but students will read longer, more sophisticated passages. In addition, emphasis is placed on helping students express their reactions to and opinions about what they have read.
到達目標	In this course, students will: <ul style="list-style-type: none"> • read a large number of passages and full texts varying in length and difficulty • read a variety of text types, especially expository writing (e.g. description, cause-effect, comparison/contrast) • refine their ability to identify the main idea, most important information, and supporting details of passages • continue to practice skimming (quickly identifying the main idea of a passage) and scanning (quickly identifying specific information) • improve the skills needed to read successfully, such as predicting, inferencing, and using the context to understand unknown vocabulary • refine English outlining and summarizing skills • improve reading speed • increase vocabulary • evaluate a writer's ideas and opinions • express their own opinions about and reactions to the passages they read, both in writing and in discussion
講義方法	In this class you will practice reading both extensively and intensively. You will read a variety of material,

	ranging from short passages to longer texts and work on such skills as identifying the main idea and most important information of a passage, scanning for specific information, summarizing the main points, etc. You will also do timed reading activities to increase your reading speed, take notes as you read, and write about topics related to the text. There will be a special focus on gaining reading fluency through guided readers and you will have opportunities to express your opinions and reactions to what you read, both in writing and in discussions.
準備学習	You are expected to attend regularly and participate actively in class. You should come to class prepared and ready to make the best use of your time in class.
成績評価	Participation and effort 30% Quizzes 40% Guided reader reports 30% (Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the term will not receive credit for this course.)
講義構成	Composition of Classes Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests. Spring Term Classes 1& 2 Independent study (class registration and placement during first week) Class 3 Course introduction Classes 4, 5 & 6 Unit 1 'Cross-cultural Connections' Classes 7, 8 & 9 Unit 2 'Mysteries from the Past' Classes 10, 11 & 12 Unit 3 'Music to My Ears' Classes 13, 14 & 15 Unit 4 'Getting Down to Business' Classes 16, 17 & 18 Unit 5 'Tune in to TV' Classes 19, 20 & 21 Unit 6 'Superstitions' Classes 22, 23, & 24 Unit 7 'Our Fragile Planet' Classes 25, 26 & 27 Unit 8 'Living a Long Life' Class 28 Review and wrap-up
教科書	For Your Information 3 (Pearson Longman)
参考書・資料	Please bring a dictionary to every class.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	I'm looking forward to starting our new course together. I hope you enjoy this course and find it to be a valuable learning experience!

授業コード	L1201		
授業科目名	中級英語リスニング (1クラス)IM		
担当者名	平島晶子(ヒラシマ アキコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts ・ improve their ability to catch specific information in longer spoken texts ・ refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken

	<p>messages</p> <ul style="list-style-type: none"> listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners practice the major features of English intonation and rhythm 																														
講義方法	<ul style="list-style-type: none"> リスニングの分析(何が聞こえやすいか、何が聞こえないか) シンクロ・リスニング サイト・トランスレーション(聞こえた順に理解するのを助ける) 通訳式演習(能動的リスニング) 言語的予測につながる表現の学習 語彙を増やす演習 復習小テスト <p>以上の項目を様々な組み合わせながらペア・プラクティスを多用した、参加型の授業を行います</p>																														
準備学習	テキストの予習、プリント類の予習。																														
成績評価	<p>出席・授業への貢献度(50%)、ほぼ毎回行うテスト(50%) 演習中心・参加型の授業を行いますので出席・受講態度が重要です ほぼ毎回 Unit テストを行いますので予習は必須です 遅刻3回＝欠席1回です 定期試験は行いません</p>																														
講義構成	<p>指定した教科書と付録のDVDを縦軸に、その他の素材及びサイト・トランスレーションや通訳などの演習を横軸に、能動的に聴く術を身につけるための授業をします</p> <p>第01回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">第02回 Unit 1</td> <td style="width: 50%;">第16回 Unit 7</td> </tr> <tr> <td>第03回 Unit 1</td> <td>第17回 Unit 7</td> </tr> <tr> <td>第04回 Unit 2</td> <td>第18回 Unit 8</td> </tr> <tr> <td>第05回 Unit 2</td> <td>第19回 Unit 8</td> </tr> <tr> <td>第06回 Unit 3</td> <td>第20回 Unit 9</td> </tr> <tr> <td>第07回 Unit 3</td> <td>第21回 Unit 9</td> </tr> <tr> <td>第08回 Unit 4</td> <td>第22回 Unit 10</td> </tr> <tr> <td>第09回 Unit 4</td> <td>第23回 Unit 10</td> </tr> <tr> <td>第10回 Unit 5</td> <td>第24回 Unit 11</td> </tr> <tr> <td>第11回 Unit 5</td> <td>第25回 Unit 11</td> </tr> <tr> <td>第12回 Unit 6</td> <td>第26回 Unit 12</td> </tr> <tr> <td>第13回 Unit 6</td> <td>第27回 Unit 12</td> </tr> <tr> <td>第14回 Unit 1~6</td> <td>第28回 Unit 7~12</td> </tr> <tr> <td>第15回 前期試験</td> <td>第29回 Unit 1~12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第30回 後期試験</td> </tr> </table>	第02回 Unit 1	第16回 Unit 7	第03回 Unit 1	第17回 Unit 7	第04回 Unit 2	第18回 Unit 8	第05回 Unit 2	第19回 Unit 8	第06回 Unit 3	第20回 Unit 9	第07回 Unit 3	第21回 Unit 9	第08回 Unit 4	第22回 Unit 10	第09回 Unit 4	第23回 Unit 10	第10回 Unit 5	第24回 Unit 11	第11回 Unit 5	第25回 Unit 11	第12回 Unit 6	第26回 Unit 12	第13回 Unit 6	第27回 Unit 12	第14回 Unit 1~6	第28回 Unit 7~12	第15回 前期試験	第29回 Unit 1~12		第30回 後期試験
第02回 Unit 1	第16回 Unit 7																														
第03回 Unit 1	第17回 Unit 7																														
第04回 Unit 2	第18回 Unit 8																														
第05回 Unit 2	第19回 Unit 8																														
第06回 Unit 3	第20回 Unit 9																														
第07回 Unit 3	第21回 Unit 9																														
第08回 Unit 4	第22回 Unit 10																														
第09回 Unit 4	第23回 Unit 10																														
第10回 Unit 5	第24回 Unit 11																														
第11回 Unit 5	第25回 Unit 11																														
第12回 Unit 6	第26回 Unit 12																														
第13回 Unit 6	第27回 Unit 12																														
第14回 Unit 1~6	第28回 Unit 7~12																														
第15回 前期試験	第29回 Unit 1~12																														
	第30回 後期試験																														
教科書	World Link Video Course Workbook Book 3 (Thomson)																														
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>																														

授業コード	L1202		
授業科目名	中級英語リスニング(2クラス)AV		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
オフィスアワー	Monday 1:00-2:00pm
講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	By using a movie called Truman show, we will learn how to understand spoken American English. We will also listen to a variety of music from all over the world to improve listening skills.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Report/Project 30% Quizzes 50%
講義構成	Spring Semester <ol style="list-style-type: none"> 1. Study on your own 2. Meeting Truman/ Only time 3. Meeting Truman/ Top of the World 4. Fear of the Ocean/ Stand by Me 5. Fear of the Ocean/ Your Song 6. Lauren and Sylvia/ I don't Want to Miss a Thing 7. Lauren and Sylvia/ Hero 8. Review 9. Something Strange is Going on/ I Want it That Way 10. Something Strange is Going on/ Bye, Bye, Bye 11. Truman Tries to Leave/ Life 12. Truman Tries to Leave/ I Just Called to Say I Love You 13. Truman and Meryl Go for a Ride/ Yesterday Once More 14. Truman and Meryl Go for a Ride/ Review Fall Semester <ol style="list-style-type: none"> 15. The Reunion/ I Will Always Love You 16. The Reunion/ If We Hold On Together 17. Truman's Past Revealed/ Woman 18. Truman's Past Revealed/ To Love You More 19. Review 20. Truman Disappears/ Change the World 21. Truman Disappears/ When a Man Loves a Woman 22. Truman Finds Out/ Save the Best for Last 23. Truman Finds Out/ Hotel California 24. Heal the World/ Wrap Up 25. Project 26. Project 27. Project 28. Final Quiz
教科書	The Truman Show by Kumiko Mikitani and Kim Kanel from Shohakusha Hit Parade Listening by Nobuhiro Kumai from Macmillan Languagehouse
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not

	completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
--	---

担当者から一言	For those who want to learn AUTHENTIC ENGLISH spoken by native speakers, please come to this class! We will use music and movies to work on listening and other skills. I hope we all have a great time together!
---------	---

授業コード	L1203		
授業科目名	中級英語リスニング (3クラス)PI		
担当者名	鷺尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30-17:00 非常勤講師控室(3号館2F北[山]側)		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	watching DVDs and videos, listening cassette tapes (or MDs), and various kinds of listening sources (1) previewing (vocabulary and phrases) (2) watching videos (3) comprehension questions/exercises (4) transcript/fill in the blanks exercises (5) post-viewing
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Quiz scores 25% Class attendance and participation 25% Homework, etc. 20% Routine tests 30% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。)
講義構成	講義構成(予定) (前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日) 第2回 Unit 1 All About Me 第3回 HW (1) 配布 // Unit 1 All About Me 第4回 HW (1) 回収 // Unit 1 Review // Unit 2 Let's Eat! 第5回 Quiz 1 (Unit 1) // HW (2) 配布 // Unit 2 Let's Eat! 第6回 HW (2) 回収 // Unit 2 Review // Unit 3 Unsolved Mysteries 第7回 Quiz 2 (Unit 2) // HW (3) 配布 // Unit 3 Unsolved Mysteries 第8回 HW (3) 回収 // Review Unit 3 // Unit 4 Today's Trends 第9回 Quiz 3 (Unit 3) // HW (4) 配布 // Unit 4 Today's Trends 第10回 HW (4) 回収 // Review Unit 4 // Unit 5 In the Neighborhood 第11回 Quiz 4 (Unit 4) // HW (5) 配布 // Unit 5 In the Neighborhood 第12回 HW (5) 回収 // Review Unit 5 // Unit 6 Student Life 第13回 Quiz 5 (Unit 5) // Unit 6 Student Life 第14回 Units 1-6 Review 第15回 前期試験 第16回 Unit 7 Let's Celebrate! 第17回 Unit 7 Let's Celebrate! 第18回 Unit 7 Review // Unit 8 Fables and Fairy Tales 第19回 Quiz 6 (Unit 7) // HW (6) 配布 // Unit 8 Fables and Fairy Tales 第20回 HW (6) 回収 // Unit 8 Review // Unit 9 The World of Work

	第21回 Quiz 7 (Unit 8) // HW (7) 配布 // Unit 9 The World of Work 第22回 HW (7) 回収 // Unit 9 Review // Unit 10 Telecommunications 第23回 Quiz 8 (Unit 9) // HW (8) 配布 // Unit 10 Telecommunications 第24回 HW (8) 回収 // Unit 10 Review // Unit 11 Technology Today 第25回 Quiz 9 (Unit 10) // HW (9) 配布 // Unit 11 Technology Today 第26回 HW (9) 回収 // Unit 11 Review // Unit 12 Let's Go Somewhere! 第27回 Quiz 10 (Unit 11) // HW (10) 配布 // Unit 12 Let's Go Somewhere! 第28回 HW (10) 回収 // Units 7-12 Review 第29回 Units 7-12 Review 第30回 後期試験
教科書	World Link Video Course Workbook Book 2 Cengage (Thomson)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	必ず毎週カセットテープ(もしくはMD)を用意して下さい。
その他	* 欠席とみなされる行為 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。) 2. 講義中の居眠り 3. 私語等による講義への不参加 4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を読んだりすること * 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。 * 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。 * 講義中、携帯電話の電源は必ず切して下さい。

授業コード	L1204		
授業科目名	中級英語リスニング(4クラス)PI		
担当者名	鷲尾順子(ワシオ ジュンコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日16:30-17:00 非常勤講師控室(3号館2F北[山]側)		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	watching DVDs and videos, listening cassette tapes (or MDs), and various kinds of listening sources (1) previewing (vocabulary and phrases) (2) watching videos (3) comprehension questions/exercises (4) transcript/fill in the blanks exercises (5) post-viewing
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Quiz scores 25% Class attendance and participation 25% Homework, etc. 20% Routine tests 30% (無断欠席が多い場合や欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。)

講義構成	<p>講義構成(予定)</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 Unit 1 All About Me</p> <p>第3回 HW (1) 配布 // Unit 1 All About Me</p> <p>第4回 HW (1) 回収 // Unit 1 Review // Unit 2 Let's Eat!</p> <p>第5回 Quiz 1 (Unit 1) // HW (2) 配布 // Unit 2 Let's Eat!</p> <p>第6回 HW (2) 回収 // Unit 2 Review // Unit 3 Unsolved Mysteries</p> <p>第7回 Quiz 2 (Unit 2) // HW (3) 配布 // Unit 3 Unsolved Mysteries</p> <p>第8回 HW (3) 回収 // Review Unit 3 // Unit 4 Today's Trends</p> <p>第9回 Quiz 3 (Unit 3) // HW (4) 配布 // Unit 4 Today's Trends</p> <p>第10回 HW (4) 回収 // Review Unit 4 // Unit 5 In the Neighborhood</p> <p>第11回 Quiz 4 (Unit 4) // HW (5) 配布 // Unit 5 In the Neighborhood</p> <p>第12回 HW (5) 回収 // Review Unit 5 // Unit 6 Student Life</p> <p>第13回 Quiz 5 (Unit 5) // Unit 6 Student Life</p> <p>第14回 Units 1-6 Review</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>第16回 Unit 7 Let's Celebrate!</p> <p>第17回 Unit 7 Let's Celebrate!</p> <p>第18回 Unit 7 Review // Unit 8 Fables and Fairy Tales</p> <p>第19回 Quiz 6 (Unit 7) // HW (6) 配布 // Unit 8 Fables and Fairy Tales</p> <p>第20回 HW (6) 回収 // Unit 8 Review // Unit 9 The World of Work</p> <p>第21回 Quiz 7 (Unit 8) // HW (7) 配布 // Unit 9 The World of Work</p> <p>第22回 HW (7) 回収 // Unit 9 Review // Unit 10 Telecommunications</p> <p>第23回 Quiz 8 (Unit 9) // HW (8) 配布 // Unit 10 Telecommunications</p> <p>第24回 HW (8) 回収 // Unit 10 Review // Unit 11 Technology Today</p> <p>第25回 Quiz 9 (Unit 10) // HW (9) 配布 // Unit 11 Technology Today</p> <p>第26回 HW (9) 回収 // Unit 11 Review // Unit 12 Let's Go Somewhere!</p> <p>第27回 Quiz 10 (Unit 11) // HW (10) 配布 // Unit 12 Let's Go Somewhere!</p> <p>第28回 HW (10) 回収 // Units 7-12 Review</p> <p>第29回 Units 7-12 Review</p> <p>第30回 後期試験</p>
教科書	World Link Video Course Workbook Book 2 Cengage (Thomson)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	必ず毎週カセットテープ(もしくはMD)を用意して下さい。
その他	<p>* 欠席とみなされる行為 1. 5分以上の遅刻(交通機関による場合は遅延証明書を見せて下さい。)</p> <p>2. 講義中の居眠り</p> <p>3. 私語等による講義への不参加</p> <p>4. 講義中他の教科の予習・宿題等をしたり、雑誌等を讀んだりすること</p> <p>* 小テスト等のカンニング、他人や解答から宿題等の丸写しをした者には単位を認めません。</p> <p>* 忌引、病欠の場合は必ず証明するものを見せて下さい。</p> <p>* 講義中、携帯電話の電源は必ず切して下さい。</p>

授業コード	L1205		
授業科目名	中級英語リスニング(5クラス)PI		
担当者名	竹中美奈子(タケナカ ミナコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	本クラスでは、身近なトピックを取り扱ったビデオ教材を利用します。繰り返し聴き取り練習を行うことによって、基本的な英語の聞き取りの規則を習得し、確実に聴き取り能力を高めていくことを目標にします。同時に、できる限り単語や慣用表現を覚えていつでも使用できるようにしたいと思っています。 なお、慣用表現等に関しては、確認のための小テストを予定しています。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	評価の目安は原則として以下の通りです。 定期試験の成績 25% 小テストの成績 65% 授業への参加態度 10% 但し、以下の点に注意して下さい 1. 欠席が年間授業時間の3分の1を超える場合評価は「欠席」とします。 2. 10時45分出席をとります。その時点で欠席であれば、欠席となります。遅刻は認めません 但し、体調不良等の時は申し出て下さい
講義構成	講義の構成は以下の予定であるが、場合によっては変更する可能性があります。 (前期) 第1回クラス編成のために各自自習学習 第16回Unit 6(1) (2010年4月6日から12日) 第17回Unit 6(2) 第2回オリエンテーション、基本的な聞こえ方の確認(1) 第18回Unit 7(1) 第3回基本的な聞こえ方の確認(2) 第19回Unit 7(2) 第4回基本的な聞こえ方の確認(3) 第20回Unit 8(1) 第5回基本的な聞こえ方の確認(4) 第21回Unit 8(2) 第6回Unit 1(1) 第22回Unit 9(1) 第7回Unit 1(2) 第23回Unit 9(2) 第8回Unit 2(1) 第24回Unit 10(1) 第9回Unit 2(2) 第25回Unit 10(2) 第10回Unit 3(1) 第26回Unit 11(1) 第11回Unit 3(2) 第27回Unit 11(2) 第12回Unit 4(1) 第28回Unit 12(1) 第13回Unit 4(2) 第29回Unit 12(2) 第14回Unit 5 第30回後期試験 第15回前期試験
教科書	World Link Video Course Workbook book2 (Cengage Learning) 授業ではテープかMDを使用しますので、必ずいずれかを持って来て下さい
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	授業の最初の頃に今までに学習してきている、聞こえや連続音のルールを確認していきます。その後ゆっくりと

	授業を進めていきます。真摯な気持ちで臨めば結果はついてくると思います。間違えることを恐れずに積極的な姿勢を見せてください。能力向上の決め手は皆さんの継続する努力です。期待していますので、頑張ってください。
--	--

授業コード	L1206		
授業科目名	中級英語リスニング (6クラス)IM		
担当者名	加藤裕子(カトウ ヨウコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts ・ improve their ability to catch specific information in longer spoken texts ・ refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages ・ listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles ・ refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	リスニング能力を伸ばすにはCDなどから流れ出る音声を集中して聴き、書き取るdictationという作業が非常に大切です。このdictationを柱とし、授業を進めていきます。初めは、ひと塊にしか聞き取れなかったフレーズが時間を惜しまず何度も聴き取りを重ねていくうちに、必ず理解できるようになります。文法事項の確認、単語を増やす、スラッシュリーディングなども交えながら、リスニング力を高めていきましょう。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	1) 授業への参加態度 20% (欠席が授業時間の3分の1を越えると評価は「欠席」とします。) 2) 予習課題のディクテーション等の提出物 40% 3) 定期試験 40%
講義構成	前期 1 発音の仕方 2 unit 1 The Olympics 3 unit 1 The Olympics 4 Unit 2 International Marriage 5 Unit 2 International Marriage 6 Companion Animals 7 Companion Animals 8 Aging Society 9 Aging Society 10 Sports and Invention 11 Sports and Invention 12 Learning Languages 13 Learning Languages 14 UNESCO 15 定期試験 後期 1 Choosing a Career 2 Choosing a Career 3 New Media 4 New Media 5 Alternative Medicine 6 Alternative Medicine 7 Marketing to Kids 8 Marketing to Kids 9 Oil and Energy 10 Oil and Energy

	11 Pop Culture 12 Pop Culture 13 Teaching Our Children 14 Teaching Our Children 15 定期試験
教科書	Global Ways, Building Better Communication Skills, Intermediate
参考書・資料	NHK ニュースで英会話
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	各ユニットに入る前にAural & Oral Activities の部分のCDをしっかりと聞き、ディクテーションしてやる必要があります。欠席しがちな人はこの授業の単位取得は難しいでしょう。しかし、時間をかけて前向きに課題にとり組んだ人は、一年後を楽しみにしておいてください。

授業コード	L1207		
授業科目名	中級英語リスニング (7クラス)AV		
担当者名	伊庭 緑(イバ ミドリ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日および木曜日昼休み その他の時間でも適宜応じます。一度内線5742で確認してください。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	<p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	アメリカのニュース番組を題材にしたテキストを使用し、毎回チャプターごとの映像を見た後、各自のブースに取り込んだ音声を聞き取ってワークシートに書き取っていく作業を中心に行います。聞き取りのポイントを指摘し、各自の発音矯正も行ないます。テキストのほかにも英語の映画、歌、インタビューなども取り入れる予定です。英語らしいリズムやイントネーション、日本人に難しいとされている音の聞き取りと発音の習得に重点をおくのでテキスト付属のDVD、または教室で録音したMDを聴いてくる課題をかなり出します。
準備学習	1) 毎回授業の最初に新しいUnitの単語テストを行なうので、その準備をすること 2) 新しいUnitのNews storyを読んで分からない表現は調べておくこと 3) 指定された問題の答を準備すること
成績評価	<p>評価の目安は原則として以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> - リスニング試験の成績(定期試験含) 40% - 小テストの成績 20% - 課題 20% - 授業への参加態度 20%

	(無断欠席が多い場合や欠席が授業回数全体の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とする。)
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、不測の事態により変更の可能性もあります。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 CASEC受験(2010年4月6~12日)のため自主学習 第2回 Guidance/Unit 1. Speech Patterns 4/13 第3回 Unit 1. Speech Patterns 4/20 第4回 Unit 2.Taxing Soda? 4/27 第5回 Listening Test 1 5/11 第6回 Unit 3. Lifting the Ban 5/18 第7回 Unit 4. Dress Down Days 5/25 第8回 Listening Test 2 6/1 第9回 Unit 5. Help wanted Radio 6/8 第10回 Unit 6.Person of the Week6/15 第11回 Listening Test 3 6/22 第12回 Unit7. First Lady 6/29 第13回 Unit 8. Job Swap 7/6 第14回 Review 7/13 第15回 定期試験(Listeing Test 4) 7/20</p> <p>(後期)</p> <p>第1回 Unit 9. Person of the Week 第2回 Unit 10. Blue Eyes, Blond Hair 第3回 Listeing Test 5 第4回 Unit 11. A Girl's Best Friend 第5回 Unit 12.Coountry in Crisis 第6回 Listeing Test 6 第7回 Unit 13. Mysty Donor 第8回 Unit 14. Shock Value 第9回 Listeing Test 7 第10回 Unit 15. In Search of Shelter 第11回 Other materials (1) 第12回 Other materials (2) 第13回 Other materials (3) 第14回 Review 第15回 定期試験(Listeing Test 8)</p>
教科書	ABC World News 12(金星堂: 山根繁/ Kathleen Yamane 著)
参考書・資料	100万語聴破CDシリーズ8 ゆっくりニュース・ダイジェスト (朝日出版社)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	英語のニュースはボキャブラリーさえしっかり把握していれば、明瞭な発音なので案外早く聞き取れるようになります。自信のない人もこの機会にチャレンジしてみたいはかがでしょうか。リスニングは苦手だったけれどこのコースを取ってTOEICのスコアが上がったと報告する人が(全員とは言えませんが)、毎年たくさんいます。中には100点以上のアップという人も…。4月は英語のニュースがまったく聞き取れなかった人も後期の終わるころにはかなり聞き取れるようになります。もちろん教室外の課題をこなしてリスニングを習慣にしないと無理な話ですが。
その他	MDを各自持ってきてください。
ホームページタイトル	{英語発音入門, http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/english/ }
URL	http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/english/

授業コード	L1208		
授業科目名	中級英語リスニング(8クラス)IM		
担当者名	小橋 薫(コバシ カオル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	<p>Music of the Heartという上質な映画を鑑賞することにより、アメリカの映画で話されている自然な英語の発音、スピード、また慣用表現などに慣れ、各学習者が今後の自己学習において、映画を活用できる知識と能力の習得を目指します。</p> <p>テキストは12課で構成され、各課は映画の10分前後のエピソードを学ぶようにデザインされています。基本的には、各課を2回の講義において扱う予定です。1回目の講義はリスニングを中心に進め、2回目の講義では前回鑑賞したエピソードの意味や発音などに関し、より深く学習していきます。</p> <p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編成のための各自自主学习(2010年4月6日から12日)</p> <p>第 2回 授業方針説明と映画のリスニング実践</p> <p>第 3回 Unit 1 リスニングタスクを中心に</p> <p>第 4回 Unit 1 発表による内容確認</p> <p>第 5回 Unit 2 リスニングタスクを中心に</p> <p>第 6回 Unit 2 発表による内容確認</p> <p>第 7回 Unit 3 リスニングタスクを中心に</p> <p>第 8回 Unit 3 発表による内容確認</p> <p>第 9回 Unit 4 リスニングタスクを中心に</p> <p>第10回 Unit 4 発表による内容確認</p> <p>第11回 Unit 5 リスニングタスクを中心に</p> <p>第12回 Unit 5 発表による内容確認</p> <p>第13回 Unit 6 リスニングと内容理解</p> <p>第14回 Unit 7 リスニングと内容理解</p> <p>第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 前期の復習</p> <p>第17回 Unit 8 リスニングタスクを中心に</p> <p>第18回 Unit 8 発表による内容確認</p> <p>第19回 Unit 9 リスニングタスクを中心に</p> <p>第20回 Unit 9 発表による内容確認</p> <p>第21回 Unit 10 リスニングタスクを中心に</p> <p>第22回 Unit 10 発表による内容確認</p> <p>第23回 Unit 11 リスニングタスクを中心に</p> <p>第24回 Unit 11 発表による内容確認</p> <p>第25回 Unit 12 リスニングタスクを中心に</p> <p>第26回 Unit 12 発表による内容確認</p> <p>第27回 リスニング実践 1</p> <p>第28回 リスニング実践 2</p> <p>第29回 リスニング実践 3</p>

	第30回 後期試験
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	講義への出席回数・授業態度および定期テストの結果などをもとに総合的に評価します。また各講義において、提出物・口頭発表など、評価対象となるタスクを課すこととなりますので、それらのタスクの達成度も非常に重要な評価項目となります。 評価の目安 定期試験の成績 50% 提出物、発表などの平常点 50%
講義構成	各課を2回の講義に分けて学びます。1回目の講義はリスニング中心に進めます。始めにwords & phrasesを学び、次にエピソード全体を鑑賞しますが、ここでは大まかな話の流れをつかむことを目標とします。その後、英語を聞き取る時の留意点などを紹介し、dictationをととし、細かな英語の音の聞き分けができるようになることを目指します。最後にもう一度エピソード全体を鑑賞します(この時点でスクリプトを配布します)。2回目の講義では、前回鑑賞したエピソードをスクリプトを使いより深く学習します。グループに分かれて、映画のセリフの日本語訳を考え、また配役を決めてロール・プレイを行い、英語の発話能力の向上も目指します。最後にはグループごとにロール・プレイの成果を発表して貰います。
教科書	『ミュージック・オブ・ハート ー映画・音楽・リスニングー』 沖野泰子他 編著 英宝社
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	私が初めて英語で映画を見たのは16才の時、シアトルのホーム・ステイ先でした。その当時の英語力を考えると不思議ですが、とても感動してホスト・ファミリーと一緒に泣きながら見たことを覚えています。それからもたくさん映画を見ましたが、映画を見るたびに、新しい単語やフレーズ、それらの的確な使い方など多くのことを学び、そして深く記憶に留めることができました。皆さんにもこの講義で扱う映画をとおして、多くのことを学びとって欲しいと思います。

授業コード	L1209		
授業科目名	中級英語リスニング (9クラス)PI		
担当者名	沖野泰子(オキノ ヤスコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	映像を用いた教材を使って、聞き取り練習を中心に授業を進めます。前期はN.Y.の若者たちを題材にしたテキストWorld Link Video Course Book 2を主に使用し、各ユニットのCity Living, Global Viewpoints 両パートとも、

	While You Watchの部分を重点的に扱います。たとえば音がどうつながって、どう変化しているのかなどリスニングのポイントを確認しながら、内容の理解も深めていきます。後期は生の英語、映画Music of the Heartを鑑賞しながら、さまざまなタスクを通して内容を捉え、さらにリスニングのポイントを確認します。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	<p>評価の方法は原則として以下のとおり。</p> <p>前期、後期とも</p> <p>出席点(ボキャブラリー・クイズを含む) 30%</p> <p>課題 (Listening Log) 30%</p> <p>小テスト 40%</p> <p>前期と後期の成績の平均が最終評価になります。詳しくは最初の授業で再度指示します。 (欠席回数が授業回数の3分の1になった場合、成績評価の対象外となります)。</p>
講義構成	<p>前期</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自習</p> <p>第2回 オリエンテーション</p> <p>第3回 Unit 1 All About Me</p> <p>第4回 Unit 2 Let's Eat!</p> <p>第5回 Unit 3 Unsolved Mysteries</p> <p>第6回 Unit 4 Today's Trends 小テスト</p> <p>第7回 Unit 5 In the Neighborhood</p> <p>第8回 Unit 6 Student Life</p> <p>第9回 Unit 7 Let's Celebrate!</p> <p>第10回 Unit 8 Fables and Fairy Tales 小テスト</p> <p>第11回 Unit 9 The World of Work</p> <p>第12回 Unit 10 Telecommunications</p> <p>第13回 Unit 11 Technology Today</p> <p>第14回 Unit 12 Let's Go Somewhere! 小テスト</p> <p>後期</p> <p>第15回 Unit 1 ロベルタ実家に戻る</p> <p>第16回 Unit 2 職探しに奮闘</p> <p>第17回 Unit 3 NYでの再スタート</p> <p>第18回 Unit 4 心で立つのよ 小テスト</p> <p>第19回 Unit 5 僕は先生好きだよ</p> <p>第20回 Unit 6 家族はどうなる？</p> <p>第21回 Unit 7 初めてのコンサート</p> <p>第22回 Review 小テスト</p> <p>第23回 Unit 8 11年目のクラス</p> <p>第24回 Unit 9 新しい出会い</p> <p>第25回 Unit 10 まさか、職がなくなる！？</p> <p>第26回 Unit 11 コンサート開催がピンチ！</p> <p>第27回 Unit 12 さあ、チャリティー・コンサート</p> <p>第28回 Review 小テスト</p>
教科書	Susan Stempleski, World Link Video Course Book 2 (センテージ・ラーニング) 沖野、南條、森岡、山科、横山, Music of the Heart (英宝社)
参考書・資料	Listening Logを行ってもらうための参考資料を開講時に詳しく説明します。
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>

担当者から一言	リスニングの勉強もしてみたいけど、苦手だからなあ、と不安に思っている人、たくさんいるのではないのでしょうか。成績評価の中で出席点や課題(Listening Log)の配分が大きいのは、そういう人たちにもリスニング・クラスにトライしてもらうためです。もちろん聞き取りのコツはありますが、やはり聞いた量に比例してリスニングは伸びますから、普段英語を自分でどれだけ聞いたかを評価する課題を出します。何よりもコツコツと続けられる方を待っています。
---------	---

授業コード	L1210		
授業科目名	中級英語リスニング (10クラス)IM		
担当者名	神谷久美子(ミタニ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	映画スクリプトを用いて、日常の自然な会話を聞き取る学習をする。 英語の音の特徴・日本語の音との違い・英語の発話に表れる短縮や省略の形態を理解し、イントネーションやリズムにも注意を払いながら、基本的な聞き取りと発音の練習から始める。 映画を見る前に日常よく使われる語彙や慣用句の意味を把握する。 映画を字幕なしで見てどのくらい理解できたかを、T/F・Q&A・Cloze testなどの練習問題で確かめる。 内容について英語で要約したり簡単なディスカッションをする。 英語の字幕つきで場面を見ながら登場人物にあわせて発音してみる。 各自、テープやMDに映画の音声を録音して自宅で練習し、教室内でその成果を発表したり、短い会話をペアやグループで演じるなどのアクティビティを行う。 時間に余裕があれば、様々なジャンルの映画を部分的に見て、難易度など違いを比べてみたい。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	小テスト(30%) 復習テスト(40%) 出席・受講態度(20%) 発表(10%)
講義構成	前期予定 第1回 クラス編成のため各自自主学习(2010年4月6日～12日) 第2回 Course Description & Self-introduction 第3回 Unit 1 第4回 Unit 1 第5回 Unit 2 第6回 Unit 2 第7回 Unit 3 第8回 Unit 3 第9回 Unit 4 第10回 Unit 4 第11回 Unit 5 第12回 Unit 5 第13回 Review Session 第14回 Performance & Peer Evaluation 第15回 Final Exam

	後期予定 第1回 Unit 6 第2回 Unit 6 第3回 Unit 7 第4回 Unit 7 第5回 Unit 8 第6回 Unit 8 第7回 Unit 9 第8回 Unit 9 第9回 Unit 10 第10回 Unit 10 第11回 Review Session 第12回 Review Session 第13回 Review Session 第14回 Performance & Peer Evaluation 第15回 Final Exam
教科書	The Devil Wears Prada / 神谷久美子 & Kim Kanel 編著 / 松柏社
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	聞き取りは繰り返しの練習で必ず上達します。努力すれば1年後には字幕なしでも映画が理解できると信じて、積極的に授業に参加しましょう。

授業コード	L1211		
授業科目名	中級英語リスニング (11クラス)IM		
担当者名	榎本恭弘(エノモト ヤスヒロ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(火曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.		
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	テープ、ビデオ教材を併用して英語表現を学んでいく。 講義は聞き取り中心の授業運営を行なうが、文法、英作の要素も加味する。時々、英語で自分の意見を述べる練習もする。また、テキストの各章が終わる毎に本文の内容に関する簡単なリスニングテストがある。TV Program script の訳語、発表が求められる。		
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。		

成績評価	(1)テキストの予習と発表 10% (2)授業への参加度 10% (3)小テストの成績 10% (4)課題レポート 10% (5)期末試験結果 60%
講義構成	(前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習(2010年4月6日から12日) 第2回 オリエンテーション 第3回 Speech Patterns: Obama Workshops in Japan[オバマ大統領が英語の先生] Part1 第4回 Speech Patterns: Obama Workshops in Japan[オバマ大統領が英語の先生] Part2 第5回 Taxing Soda?[ソーダの飲み過ぎに注意] Part1 第6回 Taxing Soda?[ソーダの飲み過ぎに注意] Part2 第7回 Lifting the Ban: Stem Cells[万能細胞の研究に大きな期待] Part1 第8回 Lifting the Ban: Stem Cells[万能細胞の研究に大きな期待] Part2 第9回 Dress Down Days[スーツできめるイギリス人] Part1 第10回 Dress Down Days[スーツできめるイギリス人] Part2 第11回 Help Wanted Radio[就職先を見つけてくれる人気DJ] Part1 第12回 Help Wanted Radio[就職先を見つけてくれる人気DJ] Part2 第13回 Person of the Week: Greg Mortenson[パキスタンの子供達のためにもっと学校を] Part1 第14回 Person of the Week: Greg Mortenson[パキスタンの子供達のためにもっと学校を] Part2 第15回 前期試験 (後期) 第16回 First Lady: First Impressions[イギリスで人気のオバマ夫人] Part1 第17回 First Lady: First Impressions[イギリスで人気のオバマ夫人] Part2 第18回 Job Swap: Retraining Auto Employees[新しい仕事に挑もう] Part1 第19回 Job Swap: Retraining Auto Employees[新しい仕事に挑もう] Part2 第20回 Person of the Week: Prom Shop Project[素敵なドレスでプロムへ] Part1 第21回 Person of the Week: Prom Shop Project[素敵なドレスでプロムへ] Part2 第22回 Blue Eyes, Blond Hair[遺伝子操作は許されても良いのか] Part1 第23回 Blue Eyes, Blond Hair[遺伝子操作は許されても良いのか] Part2 第24回 A Girl's Best Friend: Peanut Sniffing Dog[少女の命を守る犬] Part1 第25回 A Girl's Best Friend: Peanut Sniffing Dog[少女の命を守る犬] Part2 第26回 Country in Crisis: Zimbabwe[ジンバブエの現状] 第27回 Mystery Donor: Money to College Campuses[キャンパスにうれしい謎の寄付] 第28回 Shock Value: Going Too Far?[インパクトの強いコマーシャル] 第29回 in Search of Shelter: Tent Cities[不況で増えるテント村] 第30回 後期試験
教科書	『ABC World News 12』山根 繁 (金星堂) 2,415円
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.

授業コード	L1212		
授業科目名	中級英語リスニング(12クラス)IM		
担当者名	石田久美子(イシダ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	授業での提出物(訳、会話作成、その他) 60% 期末テスト 40%
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>前期</p> <p>第 1回 オリエンテーション1 第 2回 オリエンテーション2 第 3回 Chapter1 英語の歌 聞き取りのコツ(Enya/Only Time) 第 4回 Chapter2 短縮形の音1(Carpenters/Top of the World) 第 5回 Chapter3 短縮形の音2(Ben E. King/Stand by Me) 第 6回 Chapter4 短縮形の音3(Elton John/Your Song) 第 7回 Chapter5 ひとつになる音1(Aerosmith/I Don't Wanna Miss a Thing) 第 8回 Chapter6 ひとつになる音2(Mariah Carey/Hero) 第 9回 Chapter7 ひとつになる音3(Backstreet Boys/I Want It That Way) 第10回 Chapter8 ひとつになる音4(*NSYNC/Bye Bye Bye) 第11回 Chapter9 聞こえなくなる音1(Desree/Life) 第12回 Chapter10 聞こえなくなる音2(Stevie Wonder/I Just Called to Say I Love You) 第13回 Chapter11 聞こえなくなる音3(Carpenters/Yesterday Once More) Chapter12 聞こえなくなる音4(Eric Clapton/Change the World) 第14回 Chapter13 つながる音1(Whitney Houston/I Will Always Love You) Chapter14 つながる音2(Diana Ross/If We Hold on Together) 第15回 Chapter15 つながる音3(John Lennon/Woman) Chapter16 つながる音4(Celine Dion/To Love You More)</p> <p>後期</p> <p>第 1回 Chapter17 弱くなる音1(Micheal Bolton/When a Man Loves a Woman) 第 2回 Chapter18 弱くなる音2(Vanessa Williams/Save the Best for Last) 第 3回 Chapter19 弱くなる音3(The Eagles/Hotel California) 第 4回 Chapter20 やわらかくなる音(Micheal Jackson/Heal the World) 第 5回 試験 第 6回 Unit 1 ミランダの面接 第 7回 Unit 2 アンディ、ランウェイに初出勤 第 8回 Unit 3 すべてはミランダの手の中に 第 9回 Unit 4 アンディの劇的な変身 第10回 Unit 5 アンディ奇跡を起こす 第11回 Unit 6 アンディ株上昇 第12回 Unit 7 アンディのジレンマ 第13回 Unit 8 パリでの初日 第14回 Unit9/10 陰謀/最後の選択 第15回 試験</p>
教科書	Nobuhiro Kumai/Stephen Timson 'Hit Parade Listening Second Edition' (マクミラン) 神谷 久美子「ブラダを着た悪魔」(松拍社)

講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	自分の発音を通じるものになりたい人、リスニング力を本気で伸ばしたい受講者は、特に歓迎します。ペアワーク等、クラスメートとともにやる作業が多いので、積極的にクラスに参加できる人を望みます。また遅刻、欠席には厳しい態度で臨みますので、きちんと時間の守れる受講者を希望します。

授業コード	L1213		
授業科目名	中級英語リスニング (13クラス)IM		
担当者名	石田久美子 (イシダ クミコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. マルチメディア教室の機器を活用する。臨場感のある様々な状況で話される英語を聞き、話された英語の概要や要旨をつかむ練習をする。 2. 実際に英語が話されるときに音がどう変化するか、ディクテーションなどの活動を行う。 3. 個別の単語レベルの聞き取りだけではなく、文やフレーズに現れる英語のリズム、イントネーション等に精通させる。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	授業での提出物(訳、会話作成、その他) 60% 期末テスト 40%
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 前期 第 1回 オリエンテーション1 第 2回 オリエンテーション2 第 3回 Chapter1 英語の歌 聞き取りのコツ (Enya/Only Time) 第 4回 Chapter2 短縮形の音1 (Carpenters/Top of the World) 第 5回 Chapter3 短縮形の音2 (Ben E. King/Stand by Me) 第 6回 Chapter4 短縮形の音3 (Elton John/Your Song) 第 7回 Chapter5 ひとつになる音1 (Aerosmith/I Don't Wanna Miss a Thing) 第 8回 Chapter6 ひとつになる音2 (Mariah Carey/Hero) 第 9回 Chapter7 ひとつになる音3 (Backstreet Boys/I Want It That Way) 第10回 Chapter8 ひとつになる音4 (*NSYNC/Bye Bye Bye) 第11回 Chapter9 聞こえなくなる音1 (Desree/Life) 第12回 Chapter10 聞こえなくなる音2 (Stevie Wonder/I Just Called to Say I Love You) 第13回 Chapter11 聞こえなくなる音3 (Carpenters/Yesterday Once More)

	<p>Chapter12 聞こえなくなる音4 (Eric Clapton/Change the World)</p> <p>第14回 Chapter13 つながる音1 (Whitney Houston/I Will Always Love You)</p> <p>Chapter14 つながる音2 (Diana Ross/If We Hold on Together)</p> <p>第15回 Chapter15 つながる音3 (John Lennon/Woman)</p> <p>Chapter16 つながる音4 (Celine Dion/To Love You More)</p> <p>後期</p> <p>第 1回 Chapter17 弱くなる音1 (Micheal Bolton/When a Man Loves a Woman)</p> <p>第 2回 Chapter18 弱くなる音2 (Vanessa Williams/Save the Best for Last)</p> <p>第 3回 Chapter19 弱くなる音3 (The Eagles/Hotel California)</p> <p>第 4回 Chapter20 やわらかくなる音 (Micheal Jackson/Heal the World)</p> <p>第 5回 試験</p> <p>第 6回 Unit 1 ミランダの面接</p> <p>第 7回 Unit 2 アンディ、ランウエイに初出勤</p> <p>第 8回 Unit 3 すべてはミランダの手の中に</p> <p>第 9回 Unit 4 アンディの劇的な変身</p> <p>第10回 Unit 5 アンディ奇跡を起こす</p> <p>第11回 Unit 6 アンディ株上昇</p> <p>第12回 Unit 7 アンディのジレンマ</p> <p>第13回 Unit 8 パリでの初日</p> <p>第14回 Unit9/10 陰謀/最後の選択</p> <p>第15回 試験</p>
教科書	Nobuhiro Kumai/Stephen Timson 'Hit Parade Listening Second Edition' (マクミラン) 神谷 久美子「プラダを着た悪魔」(松拍社)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	自分の発音を通じるものになりたい人、リスニング力を本気で伸ばしたい受講者は、特に歓迎します。ペアワーク等、クラスメートとともに行う作業が多いので、積極的にクラスに参加できる人を望みます。また遅刻、欠席には厳しい態度で臨みますので、きちんと時間の守れる受講者を希望します。

授業コード	L1214		
授業科目名	中級英語リスニング (14クラス)AV		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts ・ improve their ability to catch specific information in longer spoken texts ・ refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages ・ listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles ・ refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. Improve students' ability to understand the main idea and important details in longer, more complex spoken

	<p>texts.</p> <p>2. Improve students' ability to catch specific information in longer spoken texts.</p> <p>3. Refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages.</p> <p>4. Listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles.</p> <p>5. Refine students' ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners.</p> <p>6. Practice the major features of English intonation and rhythm.</p>								
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.								
成績評価	<table> <tr> <td>Semester examination</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Each Unit Review Test</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Class participation</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>Attendance</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>(One third of class absences will be regarded as dropping out, that is, no credit.)</p>	Semester examination	30%	Each Unit Review Test	30%	Class participation	20%	Attendance	20%
Semester examination	30%								
Each Unit Review Test	30%								
Class participation	20%								
Attendance	20%								
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第 1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第 2回 Orientation 第 3回 Pronunciation(1) 第 4回 Pronunciation(2) 第 5回 Pronunciation(3) 第 6回 Pronunciation(4) 第 7回 Pronunciation (5) 第 8回 TVニュース英語とは 第 9回 I. アメリカ国内テレビニュース英語の特徴 第10回 II. テレビニュースの表現 第11回 最近のTVニュースに現れた略語 第12回 SELECTION UNIT 第13回 SELECTION UNIT 第14回 SELECTION UNIT 第15回 前期試験</p> <p>(後期)</p> <p>第16回 Pronunciation(review) 第17回 SELECTION UNIT 第18回 SELECTION UNIT 第19回 SELECTION UNIT 第20回 SELECTION UNIT 第21回 SELECTION UNIT 第22回 SELECTION UNIT 第23回 SELECTION UNIT 第24回 SELECTION UNIT 第25回 SELECTION UNIT 第26回 SELECTION UNIT 第27回 SELECTION UNIT 第28回 SELECTION UNIT 第29回 SELECTION UNIT 第30回 後期試験</p>								
教科書	ABC World News 12								
参考書・資料	Make a good use of other English news such as CNN and BBC, and students should watch news on TV or listen to news on radio stations in Japan.								
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>								

担当者から一言	The short cut of acquiring listening natural and authentic English is watching and listening to English news as often as possible and again and again. Let's get listening ability together!
---------	--

授業コード	L1215		
授業科目名	中級英語リスニング (15クラス)PI		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.		
到達目標	<p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts ・ improve their ability to catch specific information in longer spoken texts ・ refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages ・ listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles ・ refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice the major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<p>本クラスでは、基礎英語Ⅱ(A)で培われたリスニング力をさらに伸ばし、自然な英語を聞き取れるようになることを目標とします。</p> <p>授業では、ビデオで見ながら、全体の内容を把握することからスタートします。まずは個々の音の詳細にこだわらずに、重要な語句を聞き出し、正確にストーリーを捉えることを心がけます。全体の内容が把握できたら、次に個々の単語の発音や、音声現象にも注目して聞くこととなります。カセットテープに毎回音声を録音し、繰り返し聞いて、耳を慣らしていきます。この時、英語の音声現象や個々の母音や子音の発音(調音)の仕方についても随時説明していきます。これは聞き取りの面だけでなく、自分で発音する際にも役立ちます。</p> <p>次の項目を目標とし、講義・指導します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意味の把握 <ol style="list-style-type: none"> a. 全体としてのストーリーを正確に捉える b. 重要な単語および詳細な情報を聞き取る 2. 様々な英語の音声現象の聞き取り <ol style="list-style-type: none"> a. 単音のレベル[音素の聞き分け] b. 語・句などのレベル[音の脱落、融合など] c. イントネーション、リズムなど <p>カセットテープ等の準備、予習・復習の方法、その他授業に関する詳細は第1回目の授業の時に改めて説明します。</p>		
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。		
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに総合的に評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は半期で2回(通算4回)行う予定です。配点は以下の通りです。</p> <p>出席・平常点 40～50% 試験 50～60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(目安20回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第2回授業時に改めて説明します。</p>		
講義構成	(前期) 第1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第2回 ガイダンス、Unit 1: All about me (1)	(後期) 第15回 Unit 7: Let's celebrate! (1) 第16回 Unit 7: Let's celebrate! (2) 第17回 Unit 8: Fables and fairy tales (1)	

	第3回 Unit 1: All about me (2) 第4回 Unit 2: Let's eat! (1) 第5回 Unit 2: Let's eat! (2) 第6回 Unit 3: Unsolved mysteries (1) 第7回 Unit 3: Unsolved mysteries (2) 第8回 第1回試験 第9回 Unit 4: Today's trends (1) 第10回 Unit 4: Today's trends (2) 第11回 Unit 5: In the neighborhood (1) 第12回 Unit 6: Student life (1) 第13回 Unit 6: Student life (2) 第14回 第2回試験	第18回 Unit 8: Fables and fairy tales (2) 第19回 Unit 9: The world of work (1) 第20回 Unit 9: The world of work (2) 第21回 第3回試験 第22回 Unit 10: Telecommunications (1) 第23回 Unit 10: Telecommunications (2) 第24回 Unit 11: Technology today (1) 第25回 Unit 11: Technology today (2) 第26回 Unit 12: Let's go somewhere! (1) 第27回 Unit 12: Let's go somewhere (2) 第29回 第4回試験
教科書	書名: World Link Video Course Workbook: Book 2 著者: Susan Stempleski 出版社: Thomson	
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)	
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.	
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。	
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。	

授業コード	L1216		
授業科目名	中級英語リスニング (16クラス)IM		
担当者名	竹田 園(タケダ ソノ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts ・ improve their ability to catch specific information in longer spoken texts ・ refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages ・ listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles ・ refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	1. Improve students' ability to understand the main idea and important details in longer, more complex spoken texts. 2. Improve students' ability to catch specific information in longer spoken texts. 3. Refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages. 4. Listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles. 5. Refine students' ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for

	Japanese learners. 6. Practice the major features of English intonation and rhythm.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Semester examination 30% Each Unit Review Test 30% Class participation 20% Attendance 20% (One third of class absences will be regarded as dropping out, that is, no credit.)
講義構成	(前期) 第 1回 クラス編成のために各自自主学習 (2010年4月6日から12日) 第 2回 Orientation 第 3回 Pronunciation(1) 第 4回 Pronunciation(2) 第 5回 Pronunciation(3) 第 6回 Pronunciation(4) 第 7回 Pronunciation (5) 第 8回 TVニュース英語とは 第 9回 I. アメリカ国内テレビニュース英語の特徴 第10回 II. テレビニュースの表現 第11回 最近のTVニュースに現れた略語 第12回 SELECTION UNIT 第13回 SELECTION UNIT 第14回 SELECTION UNIT 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Pronunciation(review) 第17回 SELECTION UNIT 第18回 SELECTION UNIT 第19回 SELECTION UNIT 第20回 SELECTION UNIT 第21回 SELECTION UNIT 第22回 SELECTION UNIT 第23回 SELECTION UNIT 第24回 SELECTION UNIT 第25回 SELECTION UNIT 第26回 SELECTION UNIT 第27回 SELECTION UNIT 第28回 SELECTION UNIT 第29回 SELECTION UNIT 第30回 後期試験
教科書	ABC World News 12
参考書・資料	Make a good use of other English news such as CNN and BBC, and students should watch news on TV or listen to news on radio stations in Japan.
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	The short cut of acquiring listening natural and authentic English is watching and listening to English news as often as possible and again and again. Let's get listening ability together!

授業コード	L1217		
授業科目名	中級英語リスニング (17クラス)IM		
担当者名	田中紀子(タナカ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	ソーダ飲料への課税、オバマ大統領夫人、遺伝子操作など様々なトピックを取り上げた2009年のアメリカABCニュースを題材にしたテキストとDVDを使用します。テキストに従い、Vocabularyに関する問題、Dictation、True/False問題、内容の要約などを進めてゆきます。 また、最新のニュースや映画を見て、それに関連したプリント教材を配布し、Dictationなどの作業を行います。
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	定期試験の成績 30% 小テストの成績 20% 課題 25% 授業への参加態度 25%
講義構成	テキストの各章を2回ずつの授業でこなし、また最新のニュースと映画の中の会話のいくつかの部分のdictationや内容把握の練習を毎回取り入れる予定です。 (前期) 第1回 クラス編成のために各自自己学習 (2010年4月6日から12日) 第2回 Unit 1 : Speech Patterns: Obama Workshops in Japan 第3回 Unit 1 前回の続き 第4回 Unit 2: Taxing Soda? 第5回 Unit 2 前回の続き 第6回 Unit 3: Lifting the Ban: Stem Cells 第7回 Unit 3 前回の続き 第8回 Unit 4: Dress Down Days 第9回 Unit 4 前回の続き 第10回 Unit 5: Help Wanted Radio 第11回 Unit 5 前回の続き 第12回 Unit 6: Person of the Week 第13回 Unit 6 前回の続き & Unit 7 First Lady: First Impressions 第14回 Unit 7 前回の続き 第15回 前期試験 (後期) 第16回 Unit 8: Job Swap: Retraining Auto Employees 第17回 Unit 8 前回の続き 第18回 Unit 9: Person of the Week: Prom Shop Project 第19回 Unit 9 前回の続き 第20回 Unit 10: Blue Eyes, Blond Hair 第21回 Unit 10 前回の続き 第22回 Unit 11: A Girl's Best Friend: Peanut Sniffing Dog 第23回 Unit 11 前回の続き 第24回 Unit 12: Country in Crisis: Zimbabwe

	第25回 Unit 12 前回の続き 第26回 Unit 14: Shock Value: Going Too Far? 第27回 Unit 14 前回の続き 第28回 Unit 15: In Search of Shelter: Tent Cities 第29回 Unit 15 前回の続き 第30回 後期試験
教科書	ABC World News 12 (金星堂: 山根 繁 & Kathleen Yamane著)
参考書・資料	授業中に適宜紹介します。
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	ニュースにおいては、標準的な英語が用いられますので、Vocabularyと基本的な文法事項をおさえておけば案外スムーズに理解することができます。初めはスピードが速いと思われるかもしれませんが、繰り返し聞くことで徐々に慣れるはず。時事英語や英会話のテレビ番組や市販の教材も多くありますので、英語を耳にする機会を増やして理解できる楽しみを味わっていただきたいと思います。
その他	毎回カセットテープまたはMDを持参して下さい。

授業コード	L1218		
授業科目名	中級英語リスニング (18クラス)AV		
担当者名	伊庭 緑(イバ ミドリ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(木曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	火曜日および木曜日昼休み その他の時間でも適宜応じます。一度内線5742で確認してください。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	アメリカのニュース番組を題材にしたテキストを使用し、毎回チャプターごとの映像を見た後、各自のブースに取り込んだ音声を聴き取ってワークシートに書き取っていく作業を中心に行います。聴き取りのポイントを指摘し、各自の発音矯正も行ないます。テキストのほかにも英語の映画、歌、インタビューなども取り入れる予定です。英語らしいリズムやイントネーション、日本人に難しいとされている音の聴き取りと発音の習得に重点をおくのでテキスト付属のDVD、または教室で録音したMDを聴いてくる課題をかなり出します。
準備学習	1) 毎回授業の最初に新しいUnitの単語テストを行なうので、その準備をすること 2) 新しいUnitのNews storyを読んで分からない表現は調べておくこと 3) 指定された問題の答を準備すること
成績評価	[評価の目安は原則として以下の通りです。 - リスニング試験の成績(定期試験含) 40%

	<ul style="list-style-type: none"> - 小テストの成績 20% - 課題 20% - 授業への参加態度 20% <p>(無断欠席が多い場合や欠席が授業回数全体の3分の1を超える場合、評価は「欠席」とします。)</p>
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りですが、不測の事態により変更の可能性もあります。</p> <p>(前期)</p> <p>第1回 CASEC受験(2010年4月6~12日)</p> <p>第2回 Guidance/Unit 1. Speech Patterns 4/15</p> <p>第3回 Unit 1. Speech Patterns 4/22</p> <p>第4回 Unit 2.Taxing Soda? 5/6</p> <p>第5回 Listening Test 15/13</p> <p>第6回 Unit 3. Lifting the Ban 5/20</p> <p>第7回 Unit 4. Dress Down Days 5/27</p> <p>第8回 Listening Test 2 6/3</p> <p>第9回 Unit 5. Help wanted Radio 6/10</p> <p>第10回 Unit 6.Person of the Week 6/17</p> <p>第11回 Listening Test 3 6/24</p> <p>第12回 Unit7. First Lady 7/1</p> <p>第13回 Unit 8. Job Swap 7/8</p> <p>第14回 Review 7/15</p> <p>第15回 定期試験(Listeing Test 4) 7/22</p> <p>(後期)</p> <p>第1回 Unit 9. Person of the Week</p> <p>第2回 Unit 10. Blue Eyes, Blond Hair</p> <p>第3回 Listening Test 5</p> <p>第4回 Unit 11. A Girl's Best Friend</p> <p>第5回 Unit 12.Coountry in Crisis</p> <p>第6回 Listeing Test 6</p> <p>第7回 Unit 13. Mysty Donor</p> <p>第8回 Unit 14. Shock Value</p> <p>第9回 Listening Test 7</p> <p>第10回 Unit 15. In Search of Shelter</p> <p>第11回 Other materials (1)</p> <p>第12回 Other materials (2)</p> <p>第13回 Other materials (3)</p> <p>第14回 Review</p> <p>第15回 定期試験(Listeing Test 8)</p>
教科書	ABC World News 12(金星堂: 山根繁/ Kathleen Yamane 著)
参考書・資料	100万語聴破CDシリーズ8 ゆっくりニュース・ダイジェスト (朝日出版社)
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources - they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>英語のニュースはボキャブラリーさえしっかり把握していれば、明瞭な発音なので案外早く聞き取れるようになります。自信のない人もこの機会にチャレンジしてみたいかがでしょうか。リスニングは苦手だったけれどこのコースを取ってTOEICのスコアが上がったと報告する人が(全員とは言えませんが)、毎年たくさんいます。中には100点以上のアップという人も…。4月は英語のニュースがまったく聞き取れなかった人も後期の終わるころにはかなり聞き取れるようになります。もちろん教室外の課題をこなしてリスニングを習慣にしないと無理な話ですが。</p>
その他	MDを各自持ってきてください。
ホームページタイトル	{英語発音入門, http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/english/ }
URL	http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/english/

授業コード	L1219		
授業科目名	中級英語リスニング (19クラス)PI		
担当者名	豊島庸二(トヨシマ ヨウジ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.		
到達目標	<p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts ・ improve their ability to catch specific information in longer spoken texts ・ refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages ・ listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles ・ refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice the major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	<p>本クラスでは、基礎英語Ⅱ(A)で培われたリスニング力をさらに伸ばし、自然な英語を聞き取れるようになることを目標とします。</p> <p>授業では、ビデオで見ながら、全体の内容を把握することからスタートします。まずは個々の音の詳細にこだわらずに、重要な語句を聞き出し、正確にストーリーを捉えることを心がけます。全体の内容が把握できたら、次に個々の単語の発音や、音声現象にも注目して聞くこととなります。カセットテープに毎回音声を録音し、繰り返し聞いて、耳を慣らしていきます。この時、英語の音声現象や個々の母音や子音の発音(調音)の仕方についても随時説明していきます。これは聞き取りの面だけでなく、自分で発音する際にも役立ちます。</p> <p>次の項目を目標とし、講義・指導します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意味の把握 <ol style="list-style-type: none"> a. 全体としてのストーリーを正確に捉える b. 重要な単語および詳細な情報を聞き取る 2. 様々な英語の音声現象の聞き取り <ol style="list-style-type: none"> a. 単音のレベル[音素の聞き分け] b. 語・句などのレベル[音の脱落、融合など] c. イントネーション、リズムなど <p>カセットテープ等の準備、予習・復習の方法、その他授業に関する詳細は第1回目の授業の時に改めて説明します。</p>		
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。		
成績評価	<p>出席状況、平常点、テストの成績などをもとに評価します。平常点には、課題の提出や授業に取り組む姿勢などが含まれます。試験は半期で2回(通算4回)行う予定です。配点は以下の通りです。</p> <p>出席・平常点 40～50% 試験 50～60%</p> <p>* 出席回数が全授業回数の3分の2(目安20回)に満たない場合は単位を認めない。</p> <p>詳細は第2回授業時に改めて説明します。</p>		
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回 クラス編成のために各自自主学习 (2010年4月6日から12日)</p> <p>第2回 ガイダンス、Unit 1: All about me (1)</p> <p>第3回 Unit 1: All about me (2)</p> <p>第4回 Unit 2: Let's eat! (1)</p> <p>第5回 Unit 2: Let's eat! (2)</p>	<p>(後期)</p> <p>第15回 Unit 7: Let's celebrate! (1)</p> <p>第16回 Unit 7: Let's celebrate! (2)</p> <p>第17回 Unit 8: Fables and fairy tales (1)</p> <p>第18回 Unit 8: Fables and fairy tales (2)</p> <p>第19回 Unit 9: The world of work (1)</p> <p>第20回 Unit 9: The world of work (2)</p>	

	第6回 Unit 3: Unsolved mysteries (1) 第7回 Unit 3: Unsolved mysteries (2) 第8回 第1回試験 第9回 Unit 4: Today's trends (1) 第10回 Unit 4: Today's trends (2) 第11回 Unit 5: In the neighborhood (1) 第12回 Unit 6: Student life (1) 第13回 Unit 6: Student life (2) 第14回 第2回試験	第21回 第3回試験 第22回 Unit 10: Telecommunications (1) 第23回 Unit 10: Telecommunications (2) 第24回 Unit 11: Technology today (1) 第25回 Unit 11: Technology today (2) 第26回 Unit 12: Let's go somewhere! (1) 第27回 Unit 12: Let's go somewhere (2) 第29回 第4回試験
教科書	書名: World Link Video Course Workbook: Book 2 著者: Susan Stempleski 出版社: Thomson	
参考書・資料	山田恒夫(他)『英語リスニング科学的上達法』講談社(ブルーバックス)	
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.	
担当者から一言	英語の音声に慣れるために、普段から英語を聞く時間を増やすよう心掛けて下さい。	
その他	【注意事項】 ・欠席を報告する場合は、理由を証明する文書等を用意すること。 ・遅刻は原則として認めない。 ・テキスト、テープを持参しない者は出席を認めない。	

授業コード	L1220		
授業科目名	中級英語リスニング (20クラス)AV		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	Monday 1:00-2:00pm		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts improve their ability to catch specific information in longer spoken texts refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	By using a movie called Truman show, we will learn how to understand spoken American English. We will also listen to a variety of music from all over the world to improve listening skills.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Report/ Project 30%

	Quizzes 50%
講義構成	<p>Spring Semester</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Study on your own 2. Meeting Truman/ Only time 3. Meeting Truman/ Top of the World 4. Fear of the Ocean/ Stand by Me 5. Fear of the Ocean/ Your Song 6. Lauren and Sylvia/ I don't Want to Miss a Thing 7. Lauren and Sylvia/ Hero 8. Review 9. Something Strange is Going on/ I Want it That Way 10. Something Strange is Going on/ Bye, Bye, Bye 11. Truman Tries to Leave/ Life 12. Truman Tries to Leave/ I Just Called to Say I Love You 13. Truman and Meryl Go for a Ride/ Yesterday Once More 14. Truman and Meryl Go for a Ride/ Review <p>Fall Semester</p> <ol style="list-style-type: none"> 15. The Reunion/ I Will Always Love You 16. The Reunion/ If We Hold On Together 17. Truman's Past Revealed/ Woman 18. Truman's Past Revealed/ To Love You More 19. Review 20. Truman Disappears/ Change the World 21. Truman Disappears/ When a Man Loves a Woman 22. Truman Finds Out/ Save the Best for Last 23. Truman Finds Out/ Hotel California 24. Heal the World/ Wrap Up 25. Project 26. Project 27. Project 28. Final Quiz
教科書	The Truman Show by Kumiko Mikitani and Kim Kanel from Shohakusha Hit Parade Listening by Nobuhiro Kumai from Macmillan Languagehouse
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	For those who want to learn REAL ENGLISH spoken by native speakers, please come to this class! We will use music and movies to work on listening and other skills. I hope we all have a great time together!

授業コード	L1221		
授業科目名	中級英語リスニング (21クラス)IM		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	月曜日 午後 または 水曜日 午後 3号館2階の講師控室で尋ねてください。		
講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on		

	understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	Using videos, cassette tapes, and DVDs, students will have ample opportunities to practice their listening skills.
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	Quiz scores(50%), attendance and participation (50%)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 <p>前期</p> 第 1回 前期受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 2回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験 <p>後期</p> 第 1回 後期受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 2回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 後期試験 <p>Each lesson will consist of:</p> <ul style="list-style-type: none"> •preview activity •vocabulary and phrases •listening exercise •postview activity •comprehension questions <p>前期はユニットごとに文法、トピックを盛り込んだ語学用DVD教材を用いてリスニングの基礎力を高める練習をする。既知の単語と実際に聴こえてくる英語の音とのギャップを実感してより積極的な学習姿勢を持ってほしい。</p>

	後期に入ると、映画を見て活きた英語の会話の流れやストーリー展開を追う訓練になる。授業のテンポが相当に速くなるので、そのつもりで参加してほしい。
教科書	前期: Top Notch TV Video Course 3 (Longman) 後期: Notting Hill (Shohakusha)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.

担当者から一言	<p>前期で出席回数が講義回数の3分の2に満たない者は単位を認めない。 同じく後期でも出席回数が講義回数の3分の2に満たない者は単位を認めない。</p> <p>授業では頻繁にリスニングテストを行なう。各テストの累積点が成績算出の材料になるので、欠席は大きな損失になることを了解しておくこと。</p> <p>前期では毎回カセットテープを使ってリスニング練習を行なう。 授業用に60分カセットテープを用意し、毎回持参のこと。</p> <p>理解できる理由のない遅刻、テキスト忘れ、テープを持って来ないなどは出席とは認めない。</p>
---------	--

授業コード	L1222		
授業科目名	中級英語リスニング (22クラス)AV		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	Using videos, cassette tapes, and CDs, students will have ample opportunities to practice their listening skills.
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	Quiz scores(50%), attendance and participation (50%)
講義構成	<p>講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。</p> <p>前期</p> <p>第 1回 前期受講上の注意・授業内容説明、初回授業</p> <p>第 2回 テキストに基づくリスニングレッスン</p> <p>第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン</p> <p>第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン</p> <p>第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン</p> <p>第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン</p>

	<p>第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験</p> <p>後 期 第 1回 後期受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 2回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 後期試験</p> <p>Each lesson will consist of: •preview activity •vocabulary and phrases •listening exercise •postview activity •comprehension questions</p> <p>前期はユニットごとに文法、トピックを盛り込んだ語学用DVD教材を用いてリスニングの基礎力を高める練習をする。既知の単語と実際に聴こえてくる英語の音とのギャップを実感してより積極的な学習姿勢を持ってほしい。</p> <p>後期に入ると、映画を見て活きた英語の会話の流れやストーリー展開を追う訓練になる。授業のテンポが相当に速くなるので、そのつもりで参加してほしい。</p>
教科書	前期: Top Notch TV Video Course 3 (Longman) 後期: Music of the Heart (Eihosha)
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
担当者から一言	前期で出席回数が講義回数の3分の2に満たない者は単位を認めない。 同じく後期でも出席回数が講義回数の3分の2に満たない者は単位を認めない。

授業コード	L1223		
授業科目名	中級英語リスニング (23クラス)AV		
担当者名	市川郁子(イチカワ イクコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	月曜日 午後 または 水曜日 午後 3号館2階 講師控室で尋ねて下さい。		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	In this course, students will use a multimedia classroom to: <ul style="list-style-type: none"> ・ improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts ・ improve their ability to catch specific information in longer spoken texts ・ refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages ・ listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles ・ refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners ・ practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	Using videos, cassette tapes, and DVDs, students will have ample opportunities to practice their listening skills.
準備学習	詳しくは毎回の授業で教員が指示するが、原則として前回の授業内容の復習、次回進む予定のテキストの予習を行なう。指定された課題があればその課題を行なう。
成績評価	Quiz scores(50%), attendance, participation(50%)
講義構成	講義の構成は以下の通りであるが不測の事態により変更の可能性もある。 前期 第 1回 前期受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 2回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン 第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 前期試験 後期 第 1回 後期受講上の注意・授業内容説明、初回授業 第 2回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 3回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 4回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 5回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 6回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 7回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 8回 テキストに基づくリスニングレッスン 第 9回 テキストに基づくリスニングレッスン 第10回 テキストに基づくリスニングレッスン 第11回 テキストに基づくリスニングレッスン 第12回 テキストに基づくリスニングレッスン

	<p>第13回 テキストに基づくリスニングレッスン 第14回 テキストに基づくリスニングレッスン 第15回 後期試験</p> <p>Each lesson will consist of:</p> <ul style="list-style-type: none"> •preview activity •vocabulary and phrases •listening exercise •postview activity •comprehension questions <p>前期はユニットごとに文法、トピックを盛り込んだ語学用DVD教材を用いてリスニングの基礎力を高める練習をする。既知の単語と実際に聴こえてくる英語の音とのギャップを実感してより積極的な学習姿勢を持ってほしい。</p> <p>後期に入ると、映画を見て活きた英語の会話の流れやストーリー展開を追う訓練になる。授業のテンポが相当に速くなるので、そのつもりで参加してほしい。</p>
教科書	<p>前期: Top Notch TV Video Course 3 (Longman) 後期: Music of the Heart (Eihosha)</p>
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
担当者から一言	<p>前期で出席回数が講義回数の3分の2に満たない者は単位を認めない。 同じく後期でも出席回数が講義回数の3分の2に満たない者は単位を認めない。</p> <p>授業では頻繁にリスニングテストを行なう。各テストの累積点が成績算出の材料になるので、欠席は大きな損失になることを了解しておくこと。</p> <p>前期では毎回カセットテープを使ってリスニング練習を行なう。 授業用に60分カセットテープを用意し、毎回持参のこと。</p> <p>理解できる理由のない遅刻、テキスト忘れ、テープを持って来ないなどは出席とは認めない。</p>

授業コード	L1271		
授業科目名	中級英語リスニング (留P 文経 1クラス)(前)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜1限 水曜4限
特記事項	<p>前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。</p>		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	<p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm

講義方法	This course will help you to improve your listening skills and also your overall English ability by listening often, by checking your understanding of what you listen to, and by discussing the topics you listen to with classmates and the teacher. The passages we listen to will vary from easy to difficult, and we will adjust our listening strategies to match the materials.
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.
成績評価	Attendance 10% Participation 10% Report/Project 30% Quizzes 50%
講義構成	<ol style="list-style-type: none"> 1. Independent study (class registration and placement during first week) 2. Meeting Truman/ Only time 3. Meeting Truman/ Top of the World 4. Fear of the Ocean/ Stand by Me 5. Fear of the Ocean/ Your Song 6. Lauren and Sylvia/ I don't Want to Miss a Thing 7. Lauren and Sylvia/ Hero 8. Review 9. Something Strange is Going on/ I Want it That Way 10. Something Strange is Going on/ Bye, Bye, Bye 11. Truman Tries to Leave/ Life 12. Truman Tries to Leave/ I Just Called to Say I Love You 13. Truman and Meryl Go for a Ride/ Yesterday Once More 14. Truman and Meryl Go for a Ride/ Review 15. The Reunion/ I Will Always Love You 16. The Reunion/ If We Hold On Together 17. Truman's Past Revealed/ Woman 18. Truman's Past Revealed/ To Love You More 19. Review 20. Truman Disappears/ Change the World 21. Truman Disappears/ When a Man Loves a Woman 22. Truman Finds Out/ Save the Best for Last 23. Truman Finds Out/ Hotel California 24. Heal the World/ Wrap Up 25. Project 26. Project 27. Project 28. Final Quiz
教科書	The Truman Show by Kumiko Mikitani and Kim Kanel from Shohakusha Hit Parade Listening by Nobuhiro Kumai from Macmillan Languagehouse
講義関連事項	<p>Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!</p> <p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>

授業コード	L1272		
授業科目名	中級英語リスニング (留P 文経 2クラス)(前)		
担当者名	浅羽真由美(アサバ マユミ)		
配当年次	2年次	単位数	4

開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜5限 金曜3限
特記事項	<p>前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。</p>		
講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.		
到達目標	<p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm 		
講義方法	This course will help you to improve your listening skills and also your overall English ability by listening often, by checking your understanding of what you listen to, and by discussing the topics you listen to with classmates and the teacher. The passages we listen to will vary from easy to difficult, and we will adjust our listening strategies to match the materials.		
準備学習	Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class! Keep corrected homework in order to study for the final exam.		
成績評価	<p>Attendance 10% Participation 10% Report/Project 30% Quizzes 50%</p>		
講義構成	<ol style="list-style-type: none"> 1. Study on your own 2. Meeting Truman/ Only time 3. Meeting Truman/ Top of the World 4. Fear of the Ocean/ Stand by Me 5. Fear of the Ocean/ Your Song 6. Lauren and Sylvia/ I don't Want to Miss a Thing 7. Lauren and Sylvia/ Hero 8. Review 9. Something Strange is Going on/ I Want it That Way 10. Something Strange is Going on/ Bye, Bye, Bye 11. Truman Tries to Leave/ Life 12. Truman Tries to Leave/ I Just Called to Say I Love You 13. Truman and Meryl Go for a Ride/ Yesterday Once More 14. Truman and Meryl Go for a Ride/ Review 15. The Reunion/ I Will Always Love You 16. The Reunion/ If We Hold On Together 17. Truman's Past Revealed/ Woman 18. Truman's Past Revealed/ To Love You More 19. Review 20. Truman Disappears/ Change the World 21. Truman Disappears/ When a Man Loves a Woman 22. Truman Finds Out/ Save the Best for Last 23. Truman Finds Out/ Hotel California 24. Heal the World/ Wrap Up 25. Project 26. Project 27. Project 28. Final Quiz 		
教科書	<p>The Truman Show by Kumiko Mikitani and Kim Kanel from Shohakusha Hit Parade Listening by Nobuhiro Kumai from Macmillan Languagehouse</p>		
講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you!		

	<p>Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first.</p> <p>Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.</p>
--	--

授業コード	L1281		
授業科目名	中級英語リスニング (留P 法営)(前)		
担当者名	マック(マック トーマス M.)		
配当年次	2年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	火曜1限 木曜3限
特記事項	<p>前期に集中して週2回開講される。</p> <p>履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。</p> <p>TOEIC・TOEFLの検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。</p>		

講義の内容	This course develops the skills learned at the introductory level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.
到達目標	<p>In this course, students will use a multimedia classroom to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • improve their ability to understand the main ideas and important details in longer, more complex spoken texts • improve their ability to catch specific information in longer spoken texts • refine and expand on listening strategies that will improve their ability to understand various kinds of spoken messages • listen to a variety of English accents, pronunciation patterns, and intonation styles • refine their ability to recognize and produce the English sounds that are especially difficult for Japanese learners • practice the major features of English intonation and rhythm
講義方法	Our listening activities will vary in topic, type, and level of difficulty. Besides our textbook, we will use listening passages from Youtube and other Internet sources. You will speak often in class during activities that help us to prepare for and then check our understanding of everything we listen to, so not only your listening skills but also your general English ability will improve.
準備学習	<p>Complete whatever homework assignments you are given. It is best to do homework a few days before class rather than a few minutes before class!</p> <p>Keep corrected homework in order to study for tests.</p>
成績評価	<p>Participation 20%</p> <p>Class activities and homework 30%</p> <p>Presentation 20%</p> <p>Quizzes 10%</p> <p>Final exam 20%</p> <p>(Absence and lateness negatively affect the participation grade. In most cases, students with more than 6 absences during the entire year will not receive credit for this course.)</p>
講義構成	<p>Week 1 Independent study (class registration and placement during first week)</p> <p>Weeks 2-4 Units 1~4</p> <p>Weeks 5-7 Units 5~8</p> <p>Weeks 8-10 Units 9~12</p> <p>Weeks 11-13 Units 13~16</p> <p>Week 14 Final presentations</p> <p>FINAL EXAM</p> <p>(Some changes to the schedule are likely as the teacher becomes familiar with student abilities and interests.)</p>
教科書	Active Listening 3 (Cambridge)

講義関連事項	Some Intermediate courses are divided into three levels. From low to high, they are PI (pre-intermediate), IM (intermediate), and AV (advanced). Make sure to choose a class that is at a good level for you! Also, when taking an Advanced (上級) course, it is better to have completed the Intermediate (中級) level of that same course first. For example, Advanced Writing will probably be too difficult for students who have not completed Intermediate Writing first. Finally, many extra English materials are available at the Genbun Center's Multimedia Self-Study Room (マルチメディア自習室) on the 3rd floor of Building 6. Also, you can visit and chat with English tutors on the 5th floor of Building 6. Use these resources – they are free! More information will be provided in class.
ホームページタイトル	Mach's Website
URL	http://www.kilc.konan-u.ac.jp/~mach

授業コード	L8101		
授業科目名	中級韓国語I (1クラス)		
担当者名	金 泰虎(キム テホ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日 10時40分～12時10分(アポイント必要)		

講義の内容	「基礎韓国語 I・II」で学習した内容をもとにして、「読む・書く」技能に重点を置きながら、主に韓国語エッセイや短文を取りあげて読解し、内容と関わる文法事項を並行して学習する。さらに、作文能力を身につけるため、熟語と文型、そして漢字語の学習をするとともに、最終的には学習者にスピーチの原稿を書いてもらう。
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	予習を前提として学習者が主体となって読解ができるように指導し、熟語や文型に基づいて作文をする。期末には、学生自身が主体となってスピーチの原稿を書き、指導を加えた上でスピーチコンテストを行う。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は行わず、講義時の対応(50%)、課題(25%)、スピーチの原稿作成(25%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、講義資料(読解1)丁寧</p> <p>3回目 尊敬、謙譲、漢字語①</p> <p>4回目 講義資料(読解2)助詞、漢字語②</p> <p>5回目 講義資料(読解3)数詞、母音縮約、漢字語③</p> <p>6回目 講義資料(読解4)過去形、連用形、漢字語④</p> <p>7回目 講義資料(読解5)否定、用言の副詞化、変則活用(1)、漢字語⑤</p> <p>8回目 熟語と文型の学習と作文(1)</p> <p>9回目 講義資料(読解6)連体形(現在)、変則活用(2)、漢字語⑥</p> <p>10回目 講義資料(読解7)可能、仮定、変則活用(3)、漢字語⑦</p> <p>11回目 講義資料(読解8)用言の名詞化、不可能、現在進行形、漢字語⑧</p> <p>12回目 講義資料(読解9)複数、推測・推量、漢字語⑨</p> <p>13回目 講義資料(読解10)連体形(過去)、義務、変則活用(4)、漢字語⑩</p> <p>14回目 熟語と文型の学習と作文(2)</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 熟語と文型の学習と作文(3)</p> <p>2回目 講義資料(読解11)連体形(未来)、逆接、漢字語⑪</p> <p>3回目 講義資料(読解12)連体形(まとめ)、強調、漢字語⑫</p> <p>4回目 講義資料(読解13)ぞんざい体(平叙文)、漢字語⑬</p> <p>5回目 講義資料(読解14)引用文・伝聞、禁止、継続、漢字語⑭</p> <p>6回目 講義資料(読解15)受動、漢字語⑮</p> <p>7回目 講義資料(読解16)状態、漢字語⑯</p> <p>8回目 熟語と文型の学習と作文(4)</p>

	9回目 講義資料(読解17)自動詞、他動詞、漢字語⑰ 10回目 講義資料(読解18)様々な語尾、使役、漢字語⑱ 11回目 講義資料(読解19)授受動詞、漢字語⑲ 12回目 講義資料(読解20)主語・助詞の縮約、漢字語⑳ 13回目 講義資料(読解20)語句・熟語 14回目 スピーチコンテスト、まとめ
教科書	なし。講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語読本(中級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『上級韓国語 I』に繋がるように指導する。

担当者から一言	<p>「基礎韓国語」で学習した内容をベースにして、楽しみながら更なる実力アップを図りましょう。 なお、『中級韓国語 I・II・III・IV』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から12時50分まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応えています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 一定の科目を受講すれば、受賞できます。詳しくはゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員にまで尋ねて下さい。</p> <p>⑤韓国語検定試験 甲南大学の2つの検定試験(「ハングル能力検定試験」・「世界韓国語認証試験(KLPT)」)の試験会場になっています。自分の実力を確認するためにも、ぜひうけてみて下さい。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p> <p>⑦長期留学 甲南大学と漢陽大学校は協定を結んでおり、毎年、1年間の長期留學生を交換しています。留学先では学費を払う必要はなく、無料で寮が提供されます。</p> <p>⑧秋の踏査 毎年11月中旬(日曜日)、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p>
---------	---

授業コード	L8102		
授業科目名	中級韓国語I(2クラス)		
担当者名	李 源京(リ ウォンキョン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎韓国語 I・II」で学習した内容をもとにして、「読む・書く」技能に重点を置きながら、主に韓国のエッセイや短文を取り上げて読解し、内容と関わる文法事項を並行して学習する。さらに、作文能力を身につけるため、熟語と文型、そして漢字語の学習をするとともに、最終的には学習者にスピーチの原稿を書いてもらう。
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	予習を前提として学習者が主体となって読解ができるように指導し、熟語や文型に基づいて作文をする。期末には、学生自身が主体となってスピーチの原稿を書き、指導を加えた上でスピーチコンテストを行う。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は行わず、講義時の対応(50%)、課題(25%)、スピーチの原稿作成(25%)をもって評価する。
講義構成	<後期>

	<p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2回目 導入、講義資料(読解1)丁寧</p> <p>3回目 尊敬、謙譲、漢字語①</p> <p>4回目 講義資料(読解2)助詞、漢字語②</p> <p>5回目 講義資料(読解3)数詞、母音縮約、漢字語③</p> <p>6回目 講義資料(読解4)過去形、連用形、漢字語④</p> <p>7回目 講義資料(読解5)否定、用言の副詞化、変則活用(1)、漢字語⑤</p> <p>8回目 熟語と文型の学習と作文(1)</p> <p>9回目 講義資料(読解6)連体形(現在)、変則活用(2)、漢字語⑥</p> <p>10回目 講義資料(読解7)可能、仮定、変則活用(3)、漢字語⑦</p> <p>11回目 講義資料(読解8)用言の名詞化、不可能、現在進行形、漢字語⑧</p> <p>12回目 講義資料(読解9)複数、推測・推量、漢字語⑨</p> <p>13回目 講義資料(読解10)連体形(過去)、義務、変則活用(4)、漢字語⑩</p> <p>14回目 熟語と文型の学習と作文(2)</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 熟語と文型の学習と作文(3)</p> <p>2回目 講義資料(読解11)連体形(未来)、逆接、漢字語⑪</p> <p>3回目 講義資料(読解12)連体形(まとめ)、強調、漢字語⑫</p> <p>4回目 講義資料(読解13)ぞんざい体(平叙文)、漢字語⑬</p> <p>5回目 講義資料(読解14)引用文・伝聞、禁止、継続、漢字語⑭</p> <p>6回目 講義資料(読解15)受動、漢字語⑮</p> <p>7回目 講義資料(読解16)状態、漢字語⑯</p> <p>8回目 熟語と文型の学習と作文(4)</p> <p>9回目 講義資料(読解17)自動詞・他動詞、漢字語⑰</p> <p>10回目 講義資料(読解18)様々な語尾、使役、漢字語⑱</p> <p>11回目 講義資料(読解19)授受動詞、漢字語⑲</p> <p>12回目 講義資料(読解20)主語・助詞の縮約、漢字語⑳</p> <p>13回目 講義資料(読解20)語句・熟語</p> <p>14回目 スピーチコンテスト、まとめ</p>
教科書	なし。講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語読本(中級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『上級韓国語 I』に繋がるように指導する。
担当者から一言	<p>韓国語と日本語は、(1)語順がほぼ同じである。(2)語尾の活用や助詞がある。(3)敬語、丁寧語もあるが、そうでない言い方がある。(4)漢字に由来する言葉(漢字語)が多く、一部、漢字を混ぜて書くことができ、日本語で発音してもそのまま通じる単語もある。</p> <p>このような共通点があるので、韓国語と日本語の類似性を活かし、1回生の時に学習した韓国語能力にもう少しの努力があれば、「読む・書く」能力がだいぶ伸びると思います。大切なのは講師と学生と一緒に楽しく続けることです。皆さん、一緒に頑張りましょう。</p>

授業コード	L8103		
授業科目名	中級韓国語I(3クラス)		
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎韓国語 I・II」で学習した内容をもとにして、「読む・書く」技能に重点を置きながら、主に韓国のエッセイや短文を取り上げて読解し、内容と関わる文法事項を並行して学習する。さらに、作文能力を身につけるため、熟語と文型、そして漢字語の学習をするとともに、最終的には学習者にスピーチの原稿を書いてもらう。
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。

講義方法	予習を前提として、学習者が主体となって読解ができるように指導し、熟語や文型に基づいて作文をする。期末には学生自身が主体となってスピーチの原稿を書き、指導を加えた上でスピーチコンテストを行う。
準備学習	予習と復習を行うことや、課せられた課題を提出すること。
成績評価	定期試験は行わず、講義時の対応(50%)、課題(25%)、スピーチの原稿作成(25%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数: 授業内容 1回目: クラス編成のため、各自学習(4月6日~12日) 2回目: 導入、講義資料(読解1) 丁寧 3回目: 尊敬、謙譲、漢字語① 4回目: 講義資料(読解2) 助詞、漢字語② 5回目: 講義資料(読解3) 数詞、母音縮約、漢字語③ 6回目: 講義資料(読解4) 過去形、連用形、漢字語④ 7回目: 講義資料(読解5) 否定、用言の副詞化、変則活用(1)、漢字語⑤ 8回目: 熟語と文型の学習と作文(1) 9回目: 講義資料(読解6) 連体形(現在)、変則活用(2)、漢字語⑥ 10回目: 講義資料(読解7) 可能、否定、変則活用(3)、漢字語⑦ 11回目: 講義資料(読解8) 用言の名詞化、不可能、現在進行形、漢字語⑧ 12回目: 講義資料(読解9) 複数、推測・推量、漢字語⑨ 13回目: 講義資料(読解10) 連体形(過去)、義務、変則活用(4)、漢字語⑩ 14回目: 熟語と文型の学習と作文(2)</p> <p><後期> 回数: 授業内容 1回目: 熟語と文型の学習と作文(3) 2回目: 講義資料(読解11) 連体形(未来)、逆接、漢字語⑪ 3回目: 講義資料(読解12) 連体形(まとめ)、強調、漢字語⑫ 4回目: 講義資料(読解13) ぞんざい体(平叙文)、漢字語⑬ 5回目: 講義資料(読解14) 引用文・伝聞、禁止、継続、漢字語⑭ 6回目: 講義資料(読解15) 受動、漢字語⑮ 7回目: 講義資料(読解16) 状態、漢字語⑯ 8回目: 熟語と文型の学習と作文(4) 9回目: 講義資料(読解17) 自動詞・他動詞、漢字語⑰ 10回目: 講義資料(読解18) 様々な語尾、使役、漢字語⑱ 11回目: 講義資料(読解19) 授受動詞、漢字語⑲ 12回目: 講義資料(読解20) 主語・助詞の縮約、漢字語⑳ 13回目: 講義資料(読解20) 語句、熟語 14回目: スピーチコンテスト、まとめ</p>
教科書	なし。講義資料を配布する。但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語読本(中級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『上級韓国語 I』に繋がるように指導する。
担当者から一言	基礎韓国語で学んだ内容を、実際に使える韓国語として高めていきましょう。練習を重ねることで、力がついていきます。ぜひ、一緒に楽しく勉強しましょう。

授業コード	L8104		
授業科目名	中級韓国語I(4クラス)		
担当者名	鄭 東憲(チョン トンホン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	「基礎韓国語 I・II」で学習した内容をもとにして、「読む・書く」機能に重点を置きながら、主に韓国のエッセイ短文を取り上げて読解し、内容と関わる文法事項を並行して学習する。さらに作文能力を身につけるため、熟語や文型、そして漢字語の学習をするとともに、最終的には学習者にスピーチの原稿をかいてもらう。		
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。		

講義方法	予習を前提として学習者が主体となった読解が出来るように指導し、熟語や文型に基づいて作文をする。学期末には、学生自身が主体となってスピーチの原稿を書き、指導を加えた上でスピーチコンテストを行う。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(50%)、課題(25%)、スピーチの原稿作成(25%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日~12日) 2回目 導入、講義資料(読解1)丁寧 3回目 尊敬、謙讓、漢字語① 4回目 講義資料(読解2)助詞、漢字語② 5回目 講義資料(読解3)数詞、母音縮約、漢字語③ 6回目 講義資料(読解4)過去形、連用形、漢字語④ 7回目 講義資料(読解5)否定、用言の副詞化、変則活用(1)、漢字語⑤ 8回目 熟語と文型の学習と作文(1) 9回目 講義資料(読解6)連体形(現在)、変則活用(2)、漢字語⑥ 10回目 講義資料(読解7)可能、假定、変則活用(3)、漢字語⑦ 11回目 講義資料(読解8)用言の名詞化、不可能、現在可能形、漢字語⑧ 12回目 講義資料(読解9)複数、推測・推量、漢字語⑨ 13回目 講義資料(読解10)連体形(過去)、義務、変則活用(4)、漢字語⑩ 14回目 熟語と文型の学習と作文(2)</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 熟語と文型の学習と作文(3) 2回目 講義資料(読解11)連体形(未来)、逆接、漢字語⑪ 3回目 講義資料(読解12)連体形(まとめ)、強調、漢字語⑫ 4回目 講義資料(読解13)ぞんざい体(平叙文)、漢字語⑬ 5回目 講義資料(読解14)引用文・伝聞、禁止、継続、漢字語⑭ 6回目 講義資料(読解15)受動、漢字語⑮ 7回目 講義資料(読解16)状態、漢字語⑯ 8回目 熟語と文型の学習と作文(4) 9回目 講義資料(読解17)自動詞、他動詞、漢字語⑰ 10回目 講義資料(読解18)様々な語尾、使役、漢字語⑱ 11回目 講義資料(読解19)授受動詞、漢字語⑲ 12回目 講義資料(読解20)主語・助詞の縮約、漢字語⑳ 13回目 講義資料(読解20)語句・熟語 14回目 スピーチコンテスト、まとめ</p>
教科書	なし。講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語読本(中級)』(延世大学出版部)
講義関連事項	『上級韓国語 I』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国語をもっと具体的に学び、身に付けましょう

授業コード	L8105		
授業科目名	中級韓国語I(5クラス)(後)		
担当者名	朴 英珠(パク ヨンジュ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜4限 金曜5限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	「基礎韓国語 I・II」で学習した内容をもとにして、「読む・書く」技能に重点を置きながら、主に韓国のエッセイや短文を取り上げて読解し、内容と関わる文法事項を並行して学習する。さらに、作文能力を身につけるため、		

	熟語と文型、そして漢字語の学習をするとともに、最終的には学習者にスピーチの原稿を書いてもらう。
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	予習を前提として学習者が主体となって読解ができるように指導し、熟語や文型に基づいて作文をする。学期末には、学生自身が主体となってスピーチの原稿を書き、指導を加えた上でスピーチコンテストを行う。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は行わず、講義時の対応(50%)、課題(25%)、スピーチの原稿作成(25%)をもって評価する。
講義構成	<p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 導入、講義資料(読解1)丁寧</p> <p>2回目 尊敬、謙譲、漢字語①</p> <p>3回目 講義資料(読解2)助詞、漢字語②</p> <p>4回目 講義資料(読解3)数詞、母音縮約、漢字語③</p> <p>5回目 講義資料(読解4)過去形、連用形、漢字語④</p> <p>6回目 講義資料(読解5)否定、用言の副詞化、変則活用(1)、漢字語⑤</p> <p>7回目 熟語と文型の学習と作文(1)</p> <p>8回目 講義資料(読解6)連体形(現在)、変則活用(2)、漢字語⑥</p> <p>9回目 講義資料(読解7)可能、假定、変則活用(3)、漢字語⑦</p> <p>10回目 講義資料(読解8)用言の名詞化、不可能、現在進行形、漢字語⑧</p> <p>11回目 講義資料(読解9)複数、推測・推量、漢字語⑨</p> <p>12回目 講義資料(読解10)連体形(過去)、義務、変則活用(4)、漢字語⑩</p> <p>13回目 熟語と文型の学習と作文(2)</p> <p>14回目 講義資料(読解11)連体形(未来)、逆接、漢字語⑪</p> <p>15回目 講義資料(読解12)連体形(まとめ)、強調、漢字語⑫</p> <p>16回目 講義資料(読解13)ぞんざい体(平叙文)、漢字語⑬</p> <p>17回目 講義資料(読解14)引用文・伝聞、禁止、継続、漢字語⑭</p> <p>18回目 講義資料(読解15)受動、漢字語⑮</p> <p>19回目 熟語と文型の学習と作文(3)</p> <p>20回目 講義資料(読解16)状態、漢字語⑯</p> <p>21回目 講義資料(読解17)自動詞・他動詞、漢字語⑰</p> <p>22回目 講義資料(読解18)様々な語尾、使役、漢字語⑱</p> <p>23回目 講義資料(読解19)授受動詞、漢字語⑲</p> <p>24回目 講義資料(読解20)主語・助詞の縮約、漢字語⑳</p> <p>25回目 熟語と文型の学習と作文(4)</p> <p>26回目 講義資料(読解20)語句・熟語</p> <p>27回目 時事資料の読解</p> <p>28回目 スピーチコンテスト、まとめ</p>
教科書	なし。講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『韓国語読本(中級)』(延世大学校出版部)
講義関連事項	『上級韓国語Ⅰ』に繋がるように指導する。
担当者から一言	読解に少しプレッシャーを感じる人がいるかもしれませんが、続けることで読み書き能力は驚くほど向上します。プレッシャーを楽しんで、一年前とは違うちょっぴり大人の自分に会ってみてください。

授業コード	L8201		
授業科目名	中級韓国語Ⅱ(1クラス)		
担当者名	鄭 貞美(チョン ジョンミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	「基礎Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法や発音に基づいて、「話す・聞く」技能に重点を置きながら日常生活ができるレベルの会話を養成し、その会話力に相応しい聞き取り能力を備える。会話パターンや熟語を用いた表現の練習、ロールプレーをする。最終的に学習者に台本を書いてもらい、寸劇を行う。		

到達目標	日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、それに相応しい聞き取り能力も備えることを目指す。「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力検定試験」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	音声や画像教材を活用して会話の「聞き取り・書き取り」練習を行い、会話のパターンや熟語を使って、ロールプレー(Role Play)をする。期末には、学生自身が主体となって台本を書き、指導を加えた上で寸劇を行う。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、ロールプレー(20%)、課題(20%)、台本作成(20%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1 回目 クラスの編成のため、各自学習 (4月6日～12日)</p> <p>2 回目 韓国語の字母と発音</p> <p>3 回目 第1. 挨拶 (初対面)</p> <p>4 回目 第1. 挨拶 (久しぶり)</p> <p>5 回目 第2. 家族紹介 (親・兄弟)</p> <p>6 回目 第2. 家族紹介 (職業)</p> <p>7 回目 第3. 空港 (出国手続き)</p> <p>8 回目 第3. 空港 (入国手続き)</p> <p>9 回目 第4. 交通 (乗るとき)</p> <p>10 回目 第4. 交通 (降りるとき)</p> <p>11 回目 第5. 道を探ねる (1)</p> <p>12 回目 第5. 道を探ねる (2)</p> <p>13 回目 第6. ホテル (予約)</p> <p>14 回目 第6. ホテル (問い合わせ)</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1 回目 第7. 電話 (1)</p> <p>2 回目 第7. 電話 (2)</p> <p>3 回目 第8. 食堂 (注文)</p> <p>4 回目 第8. 食堂 (勘定)</p> <p>5 回目 第9. 薬局 (症状)</p> <p>6 回目 第9. 薬局 (処方)</p> <p>7 回目 第10. 約束と時間 (1)</p> <p>8 回目 第10. 約束と時間 (2)</p> <p>9 回目 第11. 日にちと天気 (1)</p> <p>10 回目 第11. 日にちと天気 (2)</p> <p>11 回目 第12. 買い物 (1)</p> <p>12 回目 第12. 買い物 (2)</p> <p>13 回目 第13. 観光</p> <p>14 回目 寸劇、まとめ</p>
教科書	『改訂版 コミュニケーション韓国語』(第三書房) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社) または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『韓国語会話2』(高麗大学校民族文化研究所)
講義関連事項	『上級韓国語Ⅱ』に繋がるように指導する。
担当者から一言	韓国の人と会った時や、韓国で買い物をする時、韓国語でコミュニケーションが取れるように、楽しく頑張りましょう!

授業コード	L8202		
授業科目名	中級韓国語II (2クラス)		
担当者名	金 明珉(キム ミョンミン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法や発音に基づいて、「話す・聞く」技能に重点を置きながら日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、その会話能力に相応しい聞き取り能力も備える。会話パターンや熟語を用いた表現の練習、ロールプレーをする。最終的に学習者に台本を書いてもらい、寸劇を行う。																																																												
到達目標	日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、それに相応しい聞き取り能力も備えることを目指す。「ハンゲル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。																																																												
講義方法	音声・画像教材を活用して会話の「聞き取り」・「書き取り」練習を行い、会話のパターンや熟語を使って、ロールプレー(Role Play)をする。期末には、学生自身が主体となって台本を書き、指導を加えた上で寸劇を行う。																																																												
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること																																																												
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、ロールプレー(20%)、課題(20%)、台本作成(20%)をもって評価する。																																																												
講義構成	<p>< 前期 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>韓国語の字母と発音</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>第1. 挨拶 (初対面)</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>第1. 挨拶 (久しぶり)</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>第2. 家族紹介 (親・兄弟)</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>第2. 家族紹介 (職業)</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>第3. 空港 (出国手続き)</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>第3. 空港 (入国手続き)</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>第4. 交通 (乗るとき)</td></tr> <tr><td>10回目</td><td>第4. 交通 (降りるとき)</td></tr> <tr><td>11回目</td><td>第5. 道を尋ねる (1)</td></tr> <tr><td>12回目</td><td>第5. 道を尋ねる (2)</td></tr> <tr><td>13回目</td><td>第6. ホテル (予約)</td></tr> <tr><td>14回目</td><td>第6. ホテル (問い合わせ)</td></tr> </tbody> </table> <p>< 後期 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>第7. 電話 (1)</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>第7. 電話 (2)</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>第8. 食堂 (注文)</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>第8. 食堂 (勘定)</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>第9. 薬局 (症状)</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>第9. 薬局 (処方)</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>第10. 約束と時間 (1)</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>第10. 約束と時間 (2)</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>第11. 日にちと天気 (1)</td></tr> <tr><td>10回目</td><td>第11. 日にちと天気 (2)</td></tr> <tr><td>11回目</td><td>第12. 買い物 (1)</td></tr> <tr><td>12回目</td><td>第12. 買い物 (2)</td></tr> <tr><td>13回目</td><td>第13. 観光</td></tr> <tr><td>14回目</td><td>寸劇、まとめ</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業内容	1回目	クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)	2回目	韓国語の字母と発音	3回目	第1. 挨拶 (初対面)	4回目	第1. 挨拶 (久しぶり)	5回目	第2. 家族紹介 (親・兄弟)	6回目	第2. 家族紹介 (職業)	7回目	第3. 空港 (出国手続き)	8回目	第3. 空港 (入国手続き)	9回目	第4. 交通 (乗るとき)	10回目	第4. 交通 (降りるとき)	11回目	第5. 道を尋ねる (1)	12回目	第5. 道を尋ねる (2)	13回目	第6. ホテル (予約)	14回目	第6. ホテル (問い合わせ)	回数	授業内容	1回目	第7. 電話 (1)	2回目	第7. 電話 (2)	3回目	第8. 食堂 (注文)	4回目	第8. 食堂 (勘定)	5回目	第9. 薬局 (症状)	6回目	第9. 薬局 (処方)	7回目	第10. 約束と時間 (1)	8回目	第10. 約束と時間 (2)	9回目	第11. 日にちと天気 (1)	10回目	第11. 日にちと天気 (2)	11回目	第12. 買い物 (1)	12回目	第12. 買い物 (2)	13回目	第13. 観光	14回目	寸劇、まとめ
回数	授業内容																																																												
1回目	クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)																																																												
2回目	韓国語の字母と発音																																																												
3回目	第1. 挨拶 (初対面)																																																												
4回目	第1. 挨拶 (久しぶり)																																																												
5回目	第2. 家族紹介 (親・兄弟)																																																												
6回目	第2. 家族紹介 (職業)																																																												
7回目	第3. 空港 (出国手続き)																																																												
8回目	第3. 空港 (入国手続き)																																																												
9回目	第4. 交通 (乗るとき)																																																												
10回目	第4. 交通 (降りるとき)																																																												
11回目	第5. 道を尋ねる (1)																																																												
12回目	第5. 道を尋ねる (2)																																																												
13回目	第6. ホテル (予約)																																																												
14回目	第6. ホテル (問い合わせ)																																																												
回数	授業内容																																																												
1回目	第7. 電話 (1)																																																												
2回目	第7. 電話 (2)																																																												
3回目	第8. 食堂 (注文)																																																												
4回目	第8. 食堂 (勘定)																																																												
5回目	第9. 薬局 (症状)																																																												
6回目	第9. 薬局 (処方)																																																												
7回目	第10. 約束と時間 (1)																																																												
8回目	第10. 約束と時間 (2)																																																												
9回目	第11. 日にちと天気 (1)																																																												
10回目	第11. 日にちと天気 (2)																																																												
11回目	第12. 買い物 (1)																																																												
12回目	第12. 買い物 (2)																																																												
13回目	第13. 観光																																																												
14回目	寸劇、まとめ																																																												
教科書	『改正版 コミュニケーション韓国語』(第三書房) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること																																																												
参考書・資料	『韓国語会話2』(高麗大学校民族文化研究所)																																																												
講義関連事項	『上級韓国語Ⅱ』に繋がるように指導する。																																																												
担当者から一言	基礎で勉強して来た韓国語を生かし、さらに日常生活で活用できるような会話を身につけるように、積極的になりましょう。語学を続けるためには自分が少しでも楽しく思える何かが必要です。音楽やドラマ、旅行、芸能人、食べ物、政治、経済、など、自分が興味がある分野の一つでも見つけ、一緒に楽しく続けましょう。 1回目の授業には必ず出席してください。																																																												

授業コード	L8203		
授業科目名	中級韓国語Ⅱ(3クラス)		
担当者名	李 源京(リ ウォンキョン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4

開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法や発音に基づいて、「話す・聞く」技能に重点を置きながら、日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、その会話能力に相応しい聞き取り能力も備える。会話パターンや熟語を用いた表現の練習、ロールプレーをする。最終的に学習者に台本を書いてもらい、寸劇を行う。		
到達目標	日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、それに相応しい聞き取り能力も備えることを目指す。「ハングル語能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。		
講義方法	音声や画像教材を活用して会話の「聞き取り」・「書き取り」練習を行い、会話のパターンや熟語を使って、ロールプレー(Role Play)をする。期末には、学生自身が主体となって台本を書き、指導を加えた上で寸劇を行う。		
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること		
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、ロールプレー(20%)、課題(20%)、台本作成(20%)をもって評価する。		
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1 回目 クラスの編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2 回目 韓国語の字母と発音 3 回目 第1. 挨拶(初対面) 4 回目 第1. 挨拶(久しぶり) 5 回目 第2. 家族紹介(親・兄弟) 6 回目 第2. 家族紹介(職業) 7 回目 第3. 空港(出国手続き) 8 回目 第3. 空港(入国手続き) 9 回目 第4. 交通(乗るとき) 10 回目 第4. 交通(降りるとき) 11 回目 第5. 道を尋ねる(1) 12回目 第5. 道を尋ねる(2) 13 回目 第6. ホテル(予約) 14 回目 第6. ホテル(問い合わせ)</p> <p><後期> 回数 授業内容 1 回目 第7. 電話(1) 2 回目 第7. 電話(2) 3 回目 第8. 食堂(注文) 4 回目 第8. 食堂(勘定) 5 回目 第9. 薬局(症状) 6 回目 第9. 薬局(処方) 7 回目 第10. 約束と時間(1) 8 回目 第10. 約束と時間(2) 9 回目 第11. 日にちと天気(1) 10回目 第11. 日にちと天気(2) 11回目 第12. 買い物(1) 12回目 第12. 買い物(2) 13回目 第13. 観光 14 回目 寸劇、まとめ</p>		
教科書	『改訂版 コミュニケーション韓国語』(第三書房) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること		
参考書・資料	『韓国語会話2』(高麗大学校民族文化研究所)		
講義関連事項	『上級韓国語Ⅱ』に繋がるように指導する。		
担当者から一言	韓国語と日本語は隣同士の国であり、言葉と文化、風習もとてもよく似ています。そして、韓国語と日本語の語順や文法を比べてみても、共通点が多いのは皆さんも知っていると思います。その理由で、1回生の時に学習した韓国語能力にもう少しの努力を掛けたら、コミュニケーション能力はだいぶ伸びると思います。大切なのはたくさん話してみても、たくさん聞いてみることですね。皆さん、韓国語でコミュニケーションができる楽しさを体験してみませんか。ご一緒に頑張りましょう。		

授業コード	L8204																																																														
授業科目名	中級韓国語Ⅱ(4クラス)																																																														
担当者名	金 明珉(キム ミョンミン)																																																														
配当年次	2・3・4年次	単位数	4																																																												
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)																																																												
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。																																																														
講義の内容	「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法や発音に基づいて、「話す・聞く」技能に重点を置きながら日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、その会話能力に相応しい聞き取り能力も備える。会話パターンや熟語を用いた表現の練習、ロールプレーをする。最終的に学習者に台本を書いてもらい、寸劇を行う。																																																														
到達目標	日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、それに相応しい聞き取り能力も備えることを目指す。「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。																																																														
講義方法	音声・画像教材を活用して会話の「聞き取り」・「書き取り」練習を行い、会話のパターンや熟語を使って、ロールプレー(Role Play)をする。期末には、学生自身が主体となって台本を書き、指導を加えた上で寸劇を行う。																																																														
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること																																																														
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、ロールプレー(20%)、課題(20%)、台本作成(20%)をもって評価する。																																																														
講義構成	<p>< 前期 ></p> <table border="0"> <tr> <td>回数</td> <td>授業内容</td> </tr> <tr> <td>1回目</td> <td>クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>韓国語の字母と発音</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>第1. 挨拶(初対面)</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>第1. 挨拶(久しぶり)</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>第2. 家族紹介(親・兄弟)</td> </tr> <tr> <td>6回目</td> <td>第2. 家族紹介(職業)</td> </tr> <tr> <td>7回目</td> <td>第3. 空港(出国手続き)</td> </tr> <tr> <td>8回目</td> <td>第3. 空港(入国手続き)</td> </tr> <tr> <td>9回目</td> <td>第4. 交通(乗るとき)</td> </tr> <tr> <td>10回目</td> <td>第4. 交通(降りるとき)</td> </tr> <tr> <td>11回目</td> <td>第5. 道を尋ねる(1)</td> </tr> <tr> <td>12回目</td> <td>第5. 道を尋ねる(2)</td> </tr> <tr> <td>13回目</td> <td>第6. ホテル(予約)</td> </tr> <tr> <td>14回目</td> <td>第6. ホテル(問い合わせ)</td> </tr> </table> <p>< 後期 ></p> <table border="0"> <tr> <td>回数</td> <td>授業内容</td> </tr> <tr> <td>1回目</td> <td>第7. 電話(1)</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>第7. 電話(2)</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>第8. 食堂(注文)</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>第8. 食堂(勘定)</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>第9. 薬局(症状)</td> </tr> <tr> <td>6回目</td> <td>第9. 薬局(処方)</td> </tr> <tr> <td>7回目</td> <td>第10. 約束と時間(1)</td> </tr> <tr> <td>8回目</td> <td>第10. 約束と時間(2)</td> </tr> <tr> <td>9回目</td> <td>第11. 日にちと天気(1)</td> </tr> <tr> <td>10回目</td> <td>第11. 日にちと天気(2)</td> </tr> <tr> <td>11回目</td> <td>第12. 買い物(1)</td> </tr> <tr> <td>12回目</td> <td>第12. 買い物(2)</td> </tr> <tr> <td>13回目</td> <td>第13. 観光</td> </tr> <tr> <td>14回目</td> <td>寸劇、まとめ</td> </tr> </table>			回数	授業内容	1回目	クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)	2回目	韓国語の字母と発音	3回目	第1. 挨拶(初対面)	4回目	第1. 挨拶(久しぶり)	5回目	第2. 家族紹介(親・兄弟)	6回目	第2. 家族紹介(職業)	7回目	第3. 空港(出国手続き)	8回目	第3. 空港(入国手続き)	9回目	第4. 交通(乗るとき)	10回目	第4. 交通(降りるとき)	11回目	第5. 道を尋ねる(1)	12回目	第5. 道を尋ねる(2)	13回目	第6. ホテル(予約)	14回目	第6. ホテル(問い合わせ)	回数	授業内容	1回目	第7. 電話(1)	2回目	第7. 電話(2)	3回目	第8. 食堂(注文)	4回目	第8. 食堂(勘定)	5回目	第9. 薬局(症状)	6回目	第9. 薬局(処方)	7回目	第10. 約束と時間(1)	8回目	第10. 約束と時間(2)	9回目	第11. 日にちと天気(1)	10回目	第11. 日にちと天気(2)	11回目	第12. 買い物(1)	12回目	第12. 買い物(2)	13回目	第13. 観光	14回目	寸劇、まとめ
回数	授業内容																																																														
1回目	クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)																																																														
2回目	韓国語の字母と発音																																																														
3回目	第1. 挨拶(初対面)																																																														
4回目	第1. 挨拶(久しぶり)																																																														
5回目	第2. 家族紹介(親・兄弟)																																																														
6回目	第2. 家族紹介(職業)																																																														
7回目	第3. 空港(出国手続き)																																																														
8回目	第3. 空港(入国手続き)																																																														
9回目	第4. 交通(乗るとき)																																																														
10回目	第4. 交通(降りるとき)																																																														
11回目	第5. 道を尋ねる(1)																																																														
12回目	第5. 道を尋ねる(2)																																																														
13回目	第6. ホテル(予約)																																																														
14回目	第6. ホテル(問い合わせ)																																																														
回数	授業内容																																																														
1回目	第7. 電話(1)																																																														
2回目	第7. 電話(2)																																																														
3回目	第8. 食堂(注文)																																																														
4回目	第8. 食堂(勘定)																																																														
5回目	第9. 薬局(症状)																																																														
6回目	第9. 薬局(処方)																																																														
7回目	第10. 約束と時間(1)																																																														
8回目	第10. 約束と時間(2)																																																														
9回目	第11. 日にちと天気(1)																																																														
10回目	第11. 日にちと天気(2)																																																														
11回目	第12. 買い物(1)																																																														
12回目	第12. 買い物(2)																																																														
13回目	第13. 観光																																																														
14回目	寸劇、まとめ																																																														
教科書	『改正版 コミュニケーション韓国語』(第三書房) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること																																																														
参考書・資料	『韓国語会話2』(高麗大学校民族文化研究所)																																																														
講義関連事項	『上級韓国語Ⅱ』に繋がるように指導する。																																																														
担当者から一言	基礎で勉強して来た韓国語を生かし、さらに日常生活で活用できるような会話を身につけるように、積極的に																																																														

	<p>なりましょう。語学を続けるためには自分が少しでも楽しく思える何かが必要です。音楽やドラマ、旅行、芸能人、食べ物、政治、経済、など、自分が興味がある分野の一つでも見つけ、一緒に楽しく続けましょう。</p> <p>1回目の授業には必ず出席してください。</p>
--	---

授業コード	L8205		
授業科目名	中級韓国語Ⅱ(5クラス)(前)		
担当者名	朴 英珠(パク ヨンジュ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜4限 金曜5限
特記事項	<p>前期に集中して週2回開講される。</p> <p>履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。</p> <p>ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。</p>		

講義の内容	「基礎Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法や発音に基づいて、「話す・聞く」技能に重点を置きながら、日常生活ができる会話能力を養成し、それに相応しい聞き取り能力も備える。会話パターンや熟語を用いた表現の練習、ロールプレーをする。最終的に学習者に台本を書いてもらい、寸劇を行う。
到達目標	日常生活ができるレベルの会話能力を養成し、それに相応しい聞き取り能力も備えることを目指す。「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力検定試験」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	音声や画像教材を活用して会話の「聞き取り」・「書き取り」練習を行い、会話のパターンや熟語を使って、ロールプレー(Role Play)をする。学期末には、学生自身が主体となって台本を書き、指導を加えた上で寸劇を行う。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、ロールプレー(20%)、課題(20%)、台本作成(20%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1～2回目 クラスの編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>3回目 第1. 挨拶(初対面)</p> <p>4回目 第1. 挨拶(久しぶり)</p> <p>5回目 第2. 家族紹介(親・兄弟)</p> <p>6回目 第2. 家族紹介(職業)</p> <p>7回目 第3. 空港(出国手続き)</p> <p>8回目 第3. 空港(入国手続き)</p> <p>9回目 第4. 交通(乗るとき)</p> <p>10回目 第4. 交通(降りるとき)</p> <p>11回目 第5. 道を尋ねる(1)</p> <p>12回目 第5. 道を尋ねる(2)</p> <p>13回目 第6. ホテル(予約)</p> <p>14回目 第6. ホテル(問い合わせ)</p> <p>15回目 第7. 電話(1)</p> <p>16回目 第7. 電話(2)</p> <p>17回目 第8. 食堂(注文)</p> <p>18回目 第8. 食堂(勘定)</p> <p>19回目 第9. 薬局(症状)</p> <p>20回目 第9. 薬局(処方)</p> <p>21回目 第10. 約束と時間(1)</p> <p>22回目 第10. 約束と時間(2)</p> <p>23回目 第11. 日にちと天気(1)</p> <p>24回目 第11. 日にちと天気(2)</p> <p>25回目 第12. 買い物(1)</p> <p>26回目 第12. 買い物(2)</p> <p>27回目 第13. 観光</p> <p>28回目 寸劇、まとめ</p>
教科書	『改訂版 コミュニケーション韓国語』(第三書房) そして、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること
参考書・資料	『韓国語会話2』(高麗大学校民族文化研究所)
講義関連事項	後期の『中級韓国語Ⅰ』、ひいては『上級韓国語Ⅱ』に繋がるように指導する。

担当者から一言	今、あなたが知っている表現だけでも、コミュニケーションは可能です。しかし、頭で理解するだけで実際に使わないと、いつまで経っても会話は上達しません。このクラスでは、新しい文型を覚えたら、文を見なくても話せるように、全身を使って会話の練習をします。ここで韓国語が通じる楽しさを体験してみてください。
---------	---

授業コード	L8301		
授業科目名	中級韓国語Ⅲ(1クラス)		
担当者名	呉 賢欄(オ ヒョンラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」の知識をベースにして、「話す・聞く・書く・読む」の4技能を、総合的にバランスよく鍛える。検定試験に備えて、問題集を解きながら文法・語彙・慣用句を学習し、検定試験用単語リストを使って作文の練習を行う。
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出・対策問題集を解き、それと関わる文法を復習する。さらに、ビデオ・カセットテープを活用して検定試験に必要な「聞き取り」・「書き取り」も行う。常に、学生自身が主体となって問題を解き、自ら訓練・思考して積極的に学習に参加できるように指導する。
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた問題を提出すること。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(60%)、課題(40%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2～4回目 導入、「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(1)</p> <p>5回目 聞き取り・書き取り</p> <p>6回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>7～9回目 「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(2)</p> <p>10回目 聞き取り・書き取り</p> <p>11回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>12～14回目 検定試験対策の総合学習(1)</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1～3回目 「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(3)</p> <p>4回目 聞き取り・書き取り</p> <p>5回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>6～8回目 「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(4)</p> <p>9回目 聞き取り・書き取り</p> <p>10回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>11～13回目 検定試験対策の総合学習(2)</p> <p>14回目 まとめ</p>
教科書	なし。毎回、講義資料を配布する。 但し、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	『ハングル能力検定試験 過去問題集』(ハングル能力検定協会) 『韓国語能力試験 過去問題集』(三修社)
講義関連事項	なるべく検定試験を受けるよう、お勧めします。 http://www.hangul.or.jp/ http://klpt.jp/ http://www.kref.or.jp/

担当者から一言	<p>検定試験に関心のある学生の参加を求めます。資格の獲得と言う一つの目標に向かって一緒に専念してみませんか。「基礎韓国語」で学んだことをベースにして、楽しみながら資格獲得に頑張りましょう。</p> <p>なお「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の受講生に対するお知らせです。</p> <p>① 学習相談アワー: 毎週水曜日、12時20分から12時50分まで、韓国語指導室(6号館653室)で専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。ぜひ、訪ねてみてください。</p>
---------	--

<p>②. 韓国語チューター制度: 前期10回、後期10回(月曜日15:00~17:00、金曜日12:00~14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で皆さんの質問に答えています。</p> <p>③. 韓国語合宿: 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で、2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加してください。韓国語や韓国文化の勉強はもとより皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④. 語学優秀賞制度: 詳しくは、ゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化センター、もしくは専任教員にまで尋ねてください。</p> <p>⑤. 韓国語検定試験: 甲南大学は、2つの検定試験(ハングル能力試験、世界韓国語認定試験(KLPT))の試験会場になっています。自分の実力を確認するためにも、ぜひ受けてみてください。</p> <p>⑥. 夏期講座: 毎年夏休みの間の4週間、ソウルの漢陽大学校で実施しております。</p> <p>⑦. 長期留学: 甲南大学と漢陽大学校は協定を結んでおり、毎年、一年間の長期留学生を交換しています。留学生の韓国では学費を払う必要はなく、無料で寮が提供されます。夏期講座と長期留学についての詳しいことは、国際交流センター、または専任教員にまで尋ねてください。</p> <p>⑧. 毎年11月第3週目の日曜日、韓国語受講生を引率して日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。去年は鶴橋だったのですが、楽しかったという高い評価です。一緒に回ってみませんか。</p>

授業コード	L8302		
授業科目名	中級韓国語III (2クラス)		
担当者名	李 雨洲(イ ウジュ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(月曜5限)、後期(月曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎韓国語 I・II」の知識をベースにして、「話す・聞く・書く・読む」の4技能を、総合的にバランスよく鍛える。検定試験に備えて、問題集を解きながら文法・語彙・慣用句を学習し、検定試験用単語リストを使って作文の練習を行う。
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。
講義方法	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出・対策問題集を解き、それと関わる文法を復習する。さらに、ビデオ・カセットテープを活用して検定試験に必要な「聞き取り」・「書き取り」も行う。常に、学生自身が主体となって問題を解き、自ら訓練・思考して積極的に学習に参加できるように指導する。
準備学習	予習や復習を行うことや課せられた課題を提出すること。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(60%)、課題(40%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習 (4月6日~12日)</p> <p>2~4回目 導入、「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集 (1)</p> <p>5回目 聞き取り・書き取り</p> <p>6回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>7~9回目 「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集 (2)</p> <p>10回目 聞き取り・書き取り</p> <p>11回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>12~14回目 検定試験対策の総合学習 (1)</p> <p><後期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1~3回目 「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集 (3)</p> <p>4回目 聞き取り・書き取り</p> <p>5回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>6~8回目 「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集 (4)</p> <p>9回目 聞き取り・書き取り</p> <p>10回目 作文の練習、語句・慣用句の学習</p> <p>11~13回目 検定試験対策の総合学習 (2)</p> <p>14回目 まとめ</p>
教科書	なし。毎回、プリントを配布する。但し、『日韓・韓日辞書』、あるいはこれに相当する電子辞書などを用意すること
参考書・資料	『ハングル能力検定試験 過去問題集』(ハングル能力検定協会)

	『韓国語能力試験 過去問題集』（三修社）
講義関連事項	なるべく検定試験を受けるよう、お勧めします。 http://www.hangul.or.jp/ http://klpt.jp/ http://www.kref.or.jp/
担当者から一言	基礎の授業で学んだ韓国語を土台にして、自分の実力を伸ばし確かめるため、また大学生活の目標の一つとして外国語の資格獲得はどうでしょうか。資格獲得は将来のためにも役に立ちます。一緒に頑張ってお楽しみに行きましょう。

授業コード	L8303		
授業科目名	中級韓国語Ⅲ（3クラス）		
担当者名	金 眞(キム ジン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	この授業では検定試験に備えて、「基礎韓国語I・II」の内容を復習しながら「読む・書く・聞く・話す」をバランスよく総合的に学習します。問題集を用いて、文法・語彙・慣用句などを学習し、検定試験用単語リストを使って作文の練習を行います。
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」2級に合格できるレベルを目標とします。
講義方法	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出・対策問題集を解きながら、文法事項を復習し、新しい文法事項を学習していきます。音源を用いて、検定試験に必要な「聞き取り」・「書き取り」も練習します。
準備学習	予習や復習のために課題の提出があります。
成績評価	定期試験は実施せず、出席(10%)講義中の参加などの平常点(30%)、小テスト30%、課題(30%)で総合的に評価します。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回クラス編成のため、各自学習 2回～4回イントロダクション、「ハングル能力試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(1) 5回聞き取り・書き取り 6回作文の練習、語句・慣用句の学習 7回～9回「ハングル能力試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(2) 10回聞き取り・書き取り 11回作文の練習、語句・慣用句の学習 12回～14回検定試験対策の総合学習(1)</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回～3回「ハングル能力試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(3) 4回聞き取り・書き取り 5回作文の練習、語句・慣用句の学習 6回～8回「ハングル能力試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(4) 9回聞き取り・書き取り 10回作文の練習、語句・慣用句の学習 11回～13回検定試験対策の総合学習(2) 14回まとめ</p>
教科書	なし。随時資料を配布します。但し、「日韓・韓日事典」または電子辞書を用意すること。
参考書・資料	「はじめてのハングル能力検定試験5級・4級」(アルク) 「能力検定試験過去 問題集」(ハングル能力検定協会)
講義関連事項	http://www.hangul.or.jp/ http://klpt.jp http://www.kref.or.jp/

担当者から一言	勉強した成果をぜひ形として残しておきましょう！
---------	-------------------------

授業コード	L8304		
授業科目名	中級韓国語Ⅲ(4クラス)		
担当者名	金 秉基(キム ビョンキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」の知識をベースにして、「話す・聞く・書く・読む」の4技能を、総合的にバランスよく鍛える。検定試験に備えて、問題集を解きながら文法・語彙・慣用句を学習し、検定試験用単語リストを使って作文の練習を行う。																																				
到達目標	「ハングル能力検定試験」4級、「韓国語能力試験」1級に合格できるレベルを目標とする。																																				
講義方法	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出・対策問題集を解き、それと関わる文法を復習する。さらに、ビデオ・カセットテープを活用して検定試験に必要な「聴き取り」・「書き取り」も行う。常に、学生自身が主体となって問題を解き、自ら訓練・思考して積極的に学習に参加できるように指導する。																																				
準備学習	予習と復習を行うことや課せられた課題を提出すること。																																				
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(60%)、課題(40%)をもって評価する。																																				
講義構成	<p><前期></p> <table border="0"> <tr> <td>回数</td> <td>授業内容</td> </tr> <tr> <td>1回目</td> <td>クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</td> </tr> <tr> <td>2～4回目</td> <td>導入、「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(1)</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>聴き取り・書き取り</td> </tr> <tr> <td>6回目</td> <td>作文の練習、語句・慣用句の学習</td> </tr> <tr> <td>7～9回目</td> <td>「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(2)</td> </tr> <tr> <td>10回目</td> <td>聴き取り・書き取り</td> </tr> <tr> <td>11回目</td> <td>作文の練習、語句・慣用句の学習</td> </tr> <tr> <td>12～14回目</td> <td>検定試験対策の総合学習(1)</td> </tr> </table> <p><後期></p> <table border="0"> <tr> <td>回数</td> <td>授業内容</td> </tr> <tr> <td>1～3回目</td> <td>「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(3)</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>聴き取り・書き取り</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>作文の練習、語句・慣用句の学習</td> </tr> <tr> <td>6～8回目</td> <td>「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(4)</td> </tr> <tr> <td>9回目</td> <td>聴き取り・書き取り</td> </tr> <tr> <td>10回目</td> <td>作文の練習、語句・慣用句の学習</td> </tr> <tr> <td>11～13回目</td> <td>検定試験対策の総合学習(2)</td> </tr> <tr> <td>14回目</td> <td>まとめ</td> </tr> </table>	回数	授業内容	1回目	クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)	2～4回目	導入、「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(1)	5回目	聴き取り・書き取り	6回目	作文の練習、語句・慣用句の学習	7～9回目	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(2)	10回目	聴き取り・書き取り	11回目	作文の練習、語句・慣用句の学習	12～14回目	検定試験対策の総合学習(1)	回数	授業内容	1～3回目	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(3)	4回目	聴き取り・書き取り	5回目	作文の練習、語句・慣用句の学習	6～8回目	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(4)	9回目	聴き取り・書き取り	10回目	作文の練習、語句・慣用句の学習	11～13回目	検定試験対策の総合学習(2)	14回目	まとめ
回数	授業内容																																				
1回目	クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)																																				
2～4回目	導入、「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(1)																																				
5回目	聴き取り・書き取り																																				
6回目	作文の練習、語句・慣用句の学習																																				
7～9回目	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(2)																																				
10回目	聴き取り・書き取り																																				
11回目	作文の練習、語句・慣用句の学習																																				
12～14回目	検定試験対策の総合学習(1)																																				
回数	授業内容																																				
1～3回目	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(3)																																				
4回目	聴き取り・書き取り																																				
5回目	作文の練習、語句・慣用句の学習																																				
6～8回目	「ハングル能力検定試験」・「韓国語能力試験」の既出問題や対策問題集(4)																																				
9回目	聴き取り・書き取り																																				
10回目	作文の練習、語句・慣用句の学習																																				
11～13回目	検定試験対策の総合学習(2)																																				
14回目	まとめ																																				
教科書	なし。毎回、講義資料を配布する。 ただし、『日韓・韓日辞典』(三修社)、または電子辞書を用意すること。																																				
講義関連事項	なるべく検定試験を受けるよう、お勧めします。 http://www.hangul.or.jp/ http://klpt.jp/ http://www.kref.or.jp/																																				

担当者から一言	実用的な韓国語を身につけると共に資格を取得し、将来の仕事の選択幅を広げる。
---------	---------------------------------------

授業コード	L8401
授業科目名	中級韓国語Ⅳ(1クラス)
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)

配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	韓国の政治・経済・社会・文化を正確に把握して、急な経済成長を成し遂げた、変貌の著しい現代韓国社会の諸事情を、社会史や文化史の側面から追究する。特に、韓国の映画やドラマを通して韓国文化を幅広く学習し、その理解を深める。
到達目標	グローバル化時代に相応しい他文化理解、とりわけ現代韓国社会に関する様々なことを学び、相互理解を目指す。
講義方法	韓国の歴史・政治・経済・社会はもとより、映画・音楽・ファッション・女性の化粧・食文化などのサブカルチャーも取り上げて、日本語でわかりやすく講義する。必要に応じてCD・テープ・ビデオ・インターネット・DVD(映画・音楽・ドラマ)を用いて授業を行う。学生にはテーマを与えて発表も行ってもらい、積極的に授業に取り組むように指導する。
準備学習	講義構成に基づいて、事前に講義に関する内容を、文献やインターネットで調べること。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、発表(30%)、課題(30%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数: 授業内容 1回目: クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2～3回目: 韓国の地理、観光地 4回目: 交通 5～7回目: 食文化 8～9回目: 整形 10回目: 女性の化粧 11回目: ファッション 12～14回目: 映画・ドラマ</p> <p><後期> 回数: 授業内容 1回目: IP事情 2～3回目: 軍隊・南北関係 4～5 回目: 若者の恋愛観 6回目: 教育 7～8回目: 音楽 9～10回目: 日本との関係 11～12回目: 住宅 13～14回目: 社会の諸問題、まとめ</p>
教科書	『韓国百科』(大修館書店)
参考書・資料	『現代韓国を知るキーワード』(大修館書店) 『食文化の中の日本と朝鮮』(講談社現代新書) 『大好きな韓国』(NHK人間講座) 『韓国現代政治』(東京大学出版会) 『もっと知ろう朝鮮』(岩波新書)
講義関連事項	韓国文化に親しんでもらえるように、サポート室には韓国に関する映像・音楽・ドラマ・映画などを揃えています。積極的にこの教材を利用して学習して下さい。

担当者から一言	日本の隣国である韓国について知ることは、他文化理解につながるだけでなく、日本文化の理解、再発見にも大いにつながります。「韓国」という対象を通じて、自分を取り巻く環境、文化についても考察してみてください。
---------	---

授業コード	L8402		
授業科目名	中級韓国語IV(2クラス)		
担当者名	金 泰虎(キム テホ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)

特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
オフィスアワー	金曜日 10時40分～12時10分(アポイント必要)
講義の内容	韓国の政治・経済・社会・文化を正確に把握して、急な経済成長を成し遂げた、変貌の著しい現代韓国社会の諸事情を、社会史や文化史の側面から追究する。特に、韓国の映画やドラマを通して韓国文化を幅広く学習し、その理解を深める。
到達目標	グローバル化時代に相応しい他文化理解、とりわけ現代韓国社会に関する様々なことを学び、相互理解を目指す。
講義方法	韓国の歴史・政治・経済・社会はもとより、映画・音楽・ファッション・女性の化粧・食文化などのサブカルチャーも取り上げて、日本語でわかりやすく講義する。必要に応じてCD・テープ・ビデオ・インターネット・DVD(映画・音楽・ドラマ)を用いて授業を行う。学生にはテーマを与えて発表も行ってもらい、積極的に授業に取り組むように指導する。
準備学習	講義構成に基づいて、事前に講義に関する内容を、文献やインターネットで調べること。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、発表(30%)、課題(30%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数 授業内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2～3回目 韓国の地理、観光地 4回目 交通 5～7回目 食文化 8～9回目 整形 10回目 女性の化粧 11回目 ファッション 12～14回目 映画・ドラマ</p> <p><後期> 回数 授業内容 1回目 IP事情 2～3回目 軍隊・南北関係 4～5回目 若者の恋愛観 6回目 教育 7～8回目 音楽 9～10回目 日本との関係 11～12回目 住宅 13～14回目 社会の諸問題、まとめ</p>
教科書	『韓国百科(第2版)』(大修館書店)
参考書・資料	『現代韓国を知るキーワード』(大修館書店) 『食文化の中の日本と朝鮮』(講談社現代新書) 『大好きな韓国』(NHK人間講座) 『韓国現代政治』(東京大学出版会) 『もっと知ろう朝鮮』(岩波新書)
講義関連事項	韓国文化に親しんでもらえるように、サポート室には韓国に関する映像・音楽・ドラマ・映画などを揃えています。積極的にこの教材を利用して学習して下さい。
担当者から一言	<p>一度、韓国へ渡って授業の中で学習したことを直接体験・確認して、大学生生活の最高の思い出を作ってみて下さい。</p> <p>なお、『中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』の受講生に対するお知らせです。</p> <p>①学習相談アワー 毎週水曜日、12時20分から12時50分まで、韓国語指導室(6号館653号室)で、専任教員が皆さんの相談に応じています。どのような相談でも結構です。ぜひ、訪ねてみて下さい。</p> <p>②韓国語チューター制度 前期10回・後期10回(月曜日15:00～17:00、金曜日12:00～14:00)にわたって、チューターが韓国語指導室(6号館653号室)で、皆さんの質問に応じています。</p> <p>③韓国語合宿 毎年、韓国語受講生を対象に平生記念館(御影)で2泊3日の合宿(開催時期は毎年異なる)を行っていますので、奮って参加して下さい。韓国語や韓国文化の勉強はもとより、皆さんが交流を深める良い機会になると思います。</p> <p>④語学優秀賞制度 一定の科目を受講すれば、受賞できます。詳しくはゼフィールを参考にするか、あるいは国際言語文化セン</p>

	<p>ター、もしくは専任教員にまで尋ねて下さい。</p> <p>⑤韓国語検定試験 甲南大学の2つの検定試験(「ハングル能力検定試験」・「世界韓国語認証試験(KLPT)」)の試験会場になっています。自分の実力を確認するためにも、ぜひうけてみて下さい。</p> <p>⑥夏期講座 毎年、夏休みの間(8月)の約4週間、ソウルの漢陽大学校で語学研修を実施しています。</p> <p>⑦長期留学 甲南大学と漢陽大学校は協定を結んでおり、毎年、1年間の長期留学生を交換しています。留学先では学費を払う必要はなく、無料で寮が提供されます。</p> <p>⑧秋の踏査 毎年11月中旬(日曜日)、韓国語受講生を対象に日韓交流ゆかりの場所を訪ねる日帰りの踏査を行っています。</p>
--	---

授業コード	L8403		
授業科目名	中級韓国語IV (3クラス)		
担当者名	朴 永炅(パク ヨンギョン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜5限)、後期(水曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	韓国の政治・経済・社会・文化を正確に把握して、急な経済成長を成し遂げた、変貌の著しい現代韓国社会の諸事情を、社会史や文化史の側面から追求する。特に、韓国の映画やドラマを通して韓国文化を幅広く学習し、その理解を深める。
到達目標	グローバル化時代に相応しい他文化理解、とりわけ現代韓国社会に関する様々なことを学び、相互理解を目指す。
講義方法	韓国の歴史・政治・経済・社会はもとより、映画・音楽・ファッション・女性の化粧・食文化などのサブカルチャーも取り上げて、日本語でわかりやすく講義する。必要に応じてCD・テープ・ビデオ・インターネット・DVD(映画・音楽・ドラマ)を用いて授業を行う。学生にはテーマを与えて発表を行ってもらい、積極的に授業に取り組むように指導する。
準備学習	講義構成に基づいて、事前に講義に関する内容を、文献やインターネットで調べること。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、発表(30%)、課題(30%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期></p> <p>回数 授業内容</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日)</p> <p>2～3回目 韓国の地理、観光地</p> <p>4回目 交通</p> <p>5～7回目 食文化</p> <p>8～9回目 整形</p> <p>10回目 女性の化粧</p> <p>11回目 ファッション</p> <p>12～14回目 映画・ドラマ</p> <p><後期></p> <p>1回目 IP事情</p> <p>2～3回目 軍隊・南北関係</p> <p>4～5回目 若者の恋愛観</p> <p>6回目 教育</p> <p>7～8回目 音楽</p> <p>9～10回目 日本との関係</p> <p>11～12回目 住宅</p> <p>13～14回目 社会の諸問題、まとめ</p>
教科書	『韓国百科』(大修館書店)
参考書・資料	『現代韓国を知るキーワード』(大修館書店) 『食文化の中の日本と朝鮮』(講談社現代新書) 『大好きな韓国』(NHK人間講座) 『現代韓国を知るキーワード』(大修館書店)

	『韓国現代政治』（東京大学出版会） 『もっと知ろう朝鮮』（岩波新書）
講義関連事項	韓国文化に親しんでもらえるように、サポート室には韓国に関する映像、音楽・ドラマ・映画などを揃えています。積極的にこの教材を利用して学習してください。
担当者から一言	韓国の伝統的な文化とダイナミックな国際社会への変化を知るために、音楽・映画・ドラマ等を通して楽しい授業を味わいましょう。

授業コード	L8404		
授業科目名	中級韓国語IV（4クラス）		
担当者名	鄭 東憲(チョン トンホン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	韓国の政治・社会・文化を正確に把握して、急な経済達成を成し遂げた、変貌の着しい現代韓国社会の諸事情を、社会史や文化史の側面から追求する。特に、韓国の映画やドラマを通して韓国文化を幅広く学習し、その理解を深める。
到達目標	グローバル化時代に相応しい他文化理解、とりわけ現代韓国社会に関する様々なことを学び、相互理解を示す。
講義方法	韓国の歴史・政治・経済・社会はもとより、映画・音楽・ファッション・女性の化粧・食文化などのサブカルチャーも取り上げて、日本語でわかりやすく講義する。必要に応じてCD・テープ・ビデオ・インターネット・DVD・(映画・音楽・ドラマ)を用いて授業を行う。学生にはテーマを与えて発表を行ってもらい、積極的に授業に取り組むように指導する。
準備学習	講義構成に基づいて、事前に講義に関する内容を、文献やインターネットで調べる。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、発表(30%)、課題(30%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数 講義内容 1回目 クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2～3回目 韓国の地理、観光地 4回目 交通 5～7回目 食文化 8～9回目 整形 10回目 女性の化粧 11回目 ファッション 12～14回目 映画・ドラマ</p> <p><後期> 回数 講義内容 1回目 IP事情 2～3回目 軍隊・南北関係 4～5回目 若者の恋愛感 6回目 教育 7～8回目 音楽 9～10回目 日本との関係 11～12回目 住宅 13～14回目 社会の諸問題、まとめ</p>
教科書	『韓国百科』（大修館書店）
参考書・資料	『現代韓国を知るキーワード』（大修館書店） 『食文化の中の日本と朝鮮』（講談社現代新書） 『大好きな韓国』（NHK人間講座） 『韓国現代政治』（東京大学出版会） 『もっと知ろう朝鮮』（岩波新書）
講義関連事項	韓国文化に親しんでもらえるように、サポート室には韓国に関する映像、音楽・ドラマ・映画などを揃えています。

	す。積極的にこの教材を利用して学習してください。
--	--------------------------

担当者から一言	似ているようで違う韓国のあれこれ！それが結構、面白いんです。実は、そこから一味違った日本が見えてきたりするのは。普段思っていた素朴な疑問や自分の好きなテーマについて一緒に探ってみましょう。
---------	--

授業コード	L8405		
授業科目名	中級韓国語IV (5クラス)		
担当者名	高 潤香(コウ ユンヒャン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ハングル語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	韓国の政治・経済・社会・文化を正確に把握して、急な経済成長を成し遂げた、変貌の著しい現代韓国社会の諸事情を、社会史や文化史の側面から追究する。特に、韓国の映画やドラマを通して韓国文化を幅広く学習し、その理解を深める。
到達目標	グローバル化時代に相応しい他文化理解、とりわけ現代韓国社会に関する様々なことを学び、相互理解を目指す。
講義方法	韓国の歴史・政治・経済・社会はもとより、映画・音楽・ファッション・女性の化粧・食文化などのサブカルチャーも取り上げて、日本語でわかりやすく講義する。必要に応じてCD・テープ・ビデオ・インターネット・DVD(映画・音楽・ドラマ)を用いて授業を行う。学生にはテーマを与えて発表も行ってもらい、積極的に授業に取り組むように指導する。
準備学習	講義構成に基づいて、事前に講義に関する内容を、文献やインターネットで調べる。
成績評価	定期試験は実施せず、講義時の対応(40%)、発表(30%)、課題(30%)をもって評価する。
講義構成	<p><前期> 回数：授業内容 1回目：クラス編成のため、各自学習(4月6日～12日) 2～3回目：韓国の地理、観光地 4回目：交通 5～7回目：食文化 8～9回目：整形 10回目：女性の化粧 11回目：ファッション 12～14回目：映画・ドラマ</p> <p><後期> 回数：授業内容 1回目：IP事情 2～3回目：軍隊・南北関係 4～5 回目：若者の恋愛観 6回目：教育 7～8回目：音楽 9～10回目：日本との関係 11～12回目：住宅 13～14回目：社会の諸問題、まとめ</p>
教科書	『韓国百科』(大修館書店)
参考書・資料	『現代韓国を知るキーワード』(大修館書店) 『食文化の中の日本と朝鮮』(講談社現代新書) 『大好きな韓国』(NHK人間講座) 『韓国現代政治』(東京大学出版会) 『もっと知ろう朝鮮』(岩波新書)
講義関連事項	韓国文化に親しんでもらえるように、サポート室には韓国に関する映像・音楽・ドラマ・映画などを揃えています。積極的にこの教材を利用して学習して下さい。

担当者から一言	日本の隣国である韓国について知ることは、他文化理解につながるだけでなく、日本文化の理解、再発見にも大いにつながります。「韓国」という対象を通じて、
---------	---

自分を取り巻く環境、文化についても考察してみてください。

授業コード	L7101		
授業科目名	中級中国語I (1クラス)		
担当者名	陳 於華(チン オカ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 中国(1) 3回目 第1課 中国(2) 4回目 第2課 方言(1) 5回目 第2課 方言(2) 6回目 第3課 北京的胡同(1) 7回目 第3課 北京的胡同(2) 8回目 第4課 西安(1) 9回目 第4課 西安(2) 10回目 第5課 上海(1) 11回目 第5課 上海(2) 12回目 第6課 大学生生活(1) 13回目 第6課 大学生生活(2) 14回目 総合復習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 茶(1) 2回目 第7課 茶(2) 3回目 第7課 餃子(1) 4回目 第8課 餃子(2) 5回目 第9課 紅白喜事(1) 6回目 第9課 紅白喜事(2) 7回目 第10課 忌諱(1) 8回目 第10課 忌諱(2) 9回目 第11課 端午節(1) 10回目 第11課 端午節(2) 11回目 第12課 春節(1) 12回目 第12課 春節(2) 13回目 総合復習 14回目 一年の総まとめ演習 15回目 試験

教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7102		
授業科目名	中級中国語I(2クラス)		
担当者名	王 大龍(オウ ダイリュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようにします。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 中国(1) 3回目 第1課 中国(2) 4回目 第2課 方言(1) 5回目 第2課 方言(2) 6回目 第3課 北京的胡同(1) 7回目 第3課 北京的胡同(2) 8回目 第4課 西安(1) 9回目 第4課 西安(2) 10回目 第5課 上海(1) 11回目 第5課 上海(2) 12回目 第6課 大学生活(1) 13回目 第6課 大学生活(2) 14回目 総合復習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 茶(1) 2回目 第7課 茶(2) 3回目 第7課 餃子(1) 4回目 第8課 餃子(2) 5回目 第9課 紅白喜事(1) 6回目 第9課 紅白喜事(2)

	7回目 第10課 忌諱(1) 8回目 第10課 忌諱(2) 9回目 第11課 端午節(1) 10回目 第11課 端午節(2) 11回目 第12課 春節(1) 12回目 第12課 春節(2) 13回目 総合復習 14回目 一年の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7103		
授業科目名	中級中国語I (3クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(火曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(60%)に、前後期試験の成績(40%)を加えて評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 中国(1) 3回目 第1課 中国(2) 4回目 第2課 方言(1) 5回目 第2課 方言(2) 6回目 第3課 北京的胡同(1) 7回目 第3課 北京的胡同(2) 8回目 第4課 西安(1) 9回目 第4課 西安(2) 10回目 第5課 上海(1) 11回目 第5課 上海(2) 12回目 第6課 大学生活(1) 13回目 第6課 大学生活(2)

	14回目 総合復習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 茶(1) 2回目 第7課 茶(2) 3回目 第7課 餃子(1) 4回目 第8課 餃子(2) 5回目 第9課 紅白喜事(1) 6回目 第9課 紅白喜事(2) 7回目 第10課 忌諱(1) 8回目 第10課 忌諱(2) 9回目 第11課 端午節(1) 10回目 第11課 端午節(2) 11回目 第12課 春節(1) 12回目 第12課 春節(2) 13回目 総合復習 14回目 一年の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7104		
授業科目名	中級中国語I(4クラス)		
担当者名	衛 榕群(エイ ヨウグン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 中国(1) 3回目 第1課 中国(2) 4回目 第2課 方言(1)

	5回目 第2課 方言(2) 6回目 第3課 北京的胡同(1) 7回目 第3課 北京的胡同(2) 8回目 第4課 西安(1) 9回目 第4課 西安(2) 10回目 第5課 上海(1) 11回目 第5課 上海(2) 12回目 第6課 大学生生活(1) 13回目 第6課 大学生生活(2) 14回目 総合復習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 茶(1) 2回目 第7課 茶(2) 3回目 第7課 餃子(1) 4回目 第8課 餃子(2) 5回目 第9課 紅白喜事(1) 6回目 第9課 紅白喜事(2) 7回目 第10課 忌諱(1) 8回目 第10課 忌諱(2) 9回目 第11課 端午節(1) 10回目 第11課 端午節(2) 11回目 第12課 春節(1) 12回目 第12課 春節(2) 13回目 総合復習 14回目 一年の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7105		
授業科目名	中級中国語I (5クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。

準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。
講義構成	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 第1課 中国(1)</p> <p>3回目 第1課 中国(2)</p> <p>4回目 第2課 方言(1)</p> <p>5回目 第2課 方言(2)</p> <p>6回目 第3課 北京的胡同(1)</p> <p>7回目 第3課 北京的胡同(2)</p> <p>8回目 第4課 西安(1)</p> <p>9回目 第4課 西安(2)</p> <p>10回目 第5課 上海(1)</p> <p>11回目 第5課 上海(2)</p> <p>12回目 第6課 大学生生活(1)</p> <p>13回目 第6課 大学生生活(2)</p> <p>14回目 総合復習</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 第7課 茶(1)</p> <p>2回目 第7課 茶(2)</p> <p>3回目 第7課 餃子(1)</p> <p>4回目 第8課 餃子(2)</p> <p>5回目 第9課 紅白喜事(1)</p> <p>6回目 第9課 紅白喜事(2)</p> <p>7回目 第10課 忌諱(1)</p> <p>8回目 第10課 忌諱(2)</p> <p>9回目 第11課 端午節(1)</p> <p>10回目 第11課 端午節(2)</p> <p>11回目 第12課 春節(1)</p> <p>12回目 第12課 春節(2)</p> <p>13回目 総合復習</p> <p>14回目 一年の総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7106		
授業科目名	中級中国語I(6クラス)		
担当者名	荊 乗月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和		

	訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 中国(1) 3回目 第1課 中国(2) 4回目 第2課 方言(1) 5回目 第2課 方言(2) 6回目 第3課 北京的胡同(1) 7回目 第3課 北京的胡同(2) 8回目 第4課 西安(1) 9回目 第4課 西安(2) 10回目 第5課 上海(1) 11回目 第5課 上海(2) 12回目 第6課 大学生活(1) 13回目 第6課 大学生活(2) 14回目 総合復習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 茶(1) 2回目 第7課 茶(2) 3回目 第7課 餃子(1) 4回目 第8課 餃子(2) 5回目 第9課 紅白喜事(1) 6回目 第9課 紅白喜事(2) 7回目 第10課 忌諱(1) 8回目 第10課 忌諱(2) 9回目 第11課 端午節(1) 10回目 第11課 端午節(2) 11回目 第12課 春節(1) 12回目 第12課 春節(2) 13回目 総合復習 14回目 一年の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7107
授業科目名	中級中国語I(7クラス)
担当者名	汪 暁京(オウ ギョウキョウ)

配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。		
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。		
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。		
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 中国(1) 3回目 第1課 中国(2) 4回目 第2課 方言(1) 5回目 第2課 方言(2) 6回目 第3課 北京的胡同(1) 7回目 第3課 北京的胡同(2) 8回目 第4課 西安(1) 9回目 第4課 西安(2) 10回目 第5課 上海(1) 11回目 第5課 上海(2) 12回目 第6課 大学生活(1) 13回目 第6課 大学生活(2) 14回目 総合復習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 茶(1) 2回目 第7課 茶(2) 3回目 第7課 餃子(1) 4回目 第8課 餃子(2) 5回目 第9課 紅白喜事(1) 6回目 第9課 紅白喜事(2) 7回目 第10課 忌諱(1) 8回目 第10課 忌諱(2) 9回目 第11課 端午節(1) 10回目 第11課 端午節(2) 11回目 第12課 春節(1) 12回目 第12課 春節(2) 13回目 総合復習 14回目 一年の総まとめ演習 15回目 試験		
教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)		
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク		
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。		
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。		
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)		

URL	http://www.kokintei.com/
-----	--------------------------

授業コード	L7108		
授業科目名	中級中国語I (8クラス)		
担当者名	金 路(キン ロ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 中国(1) 3回目 第1課 中国(2) 4回目 第2課 方言(1) 5回目 第2課 方言(2) 6回目 第3課 北京的胡同(1) 7回目 第3課 北京的胡同(2) 8回目 第4課 西安(1) 9回目 第4課 西安(2) 10回目 第5課 上海(1) 11回目 第5課 上海(2) 12回目 第6課 大学生活(1) 13回目 第6課 大学生活(2) 14回目 総合復習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 茶(1) 2回目 第7課 茶(2) 3回目 第7課 餃子(1) 4回目 第8課 餃子(2) 5回目 第9課 紅白喜事(1) 6回目 第9課 紅白喜事(2) 7回目 第10課 忌諱(1) 8回目 第10課 忌諱(2) 9回目 第11課 端午節(1) 10回目 第11課 端午節(2) 11回目 第12課 春節(1) 12回目 第12課 春節(2) 13回目 総合復習 14回目 一年の総まとめ演習 15回目 試験

教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7109		
授業科目名	中級中国語I(9クラス)(後)		
担当者名	程 卓(テイ タク)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜4限 金曜2限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リーディング 基礎中国語で身につけた学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことをとおして、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていきます。中文和訳・和文中訳の練習の積み重ねによって日中両言語の表現の違いを捉えられるようになります。学生のみなさんが興味を持つジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけています。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. 辞書を使って予習した読みが正しいかどうかを確認し、文章を朗読して中味を正しく捉えられるように授業を進めます。朗読による中国語のリズムの把握も重視します。 2. 中国語の慣用表現や語順のルールをしっかり把握するとともに自己表現や作文能力を高めるように練習を行います。新しい単語や構文も覚えてもらいます。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	課題提出・小テスト・授業中の取り組む姿勢などの平常点(30%)に、前後期試験の成績(70%)を加えて評価します。
講義構成	1回目 第1課 中国(1) 2回目 第1課 中国(2) 3回目 第2課 方言(1) 4回目 第2課 方言(2) 5回目 第3課 北京的胡同(1) 6回目 第3課 北京的胡同(2) 7回目 第4課 西安(1) 8回目 第4課 西安(2) 9回目 第5課 上海(1) 10回目 第5課 上海(2) 11回目 第6課 大学生活(1) 12回目 第6課 大学生活(2) 13回目 第7課 茶(1) 14回目 第7課 茶(2) 15回目 第7課 餃子(1) 16回目 第8課 餃子(2) 17回目 第9課 紅白喜事(1) 18回目 第9課 紅白喜事(2) 19回目 第10課 忌諱(1) 20回目 第10課 忌諱(2) 21回目 第11課 端午節(1) 22回目 第11課 端午節(2)

	23回目 第12課 春節(1) 24回目 第12課 春節(2) 25回目 第1課～第3課まとめの復習と演習 26回目 第4課～第6課まとめの復習と演習 27回目 第7課～第9課まとめの復習と演習 28回目 第10課～第12課まとめの復習と演習 29回目 試験
教科書	胡金定監修『中国文化散歩』白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	小川郁夫『中国語文法・完成マニュアル』白帝社 本間史『CD付き 中国語の文法 ポイント整理』アルク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	出席重視。必ず予習と復習をして、授業に積極的に参加して下さい。予習は単に辞書を引くだけでなく、ノートに日本語訳を書いてみることを。読解力をつけるためには必須です。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7201		
授業科目名	中級中国語Ⅱ(1クラス)		
担当者名	程 卓(テイ タク)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験

	後期 1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7202		
授業科目名	中級中国語Ⅱ(2クラス)		
担当者名	吐山明月(ハマメ イゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。

	<p>9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。</p> <p>10回目 会話スキット9 お待たせしました。</p> <p>11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。</p> <p>12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？</p> <p>13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。</p> <p>14回目 総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ</p> <p>2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。</p> <p>3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。</p> <p>4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。</p> <p>5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。</p> <p>6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！</p> <p>7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。</p> <p>8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。</p> <p>9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。</p> <p>10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。</p> <p>11回目 会話スキット23 父と母です。</p> <p>12回目 会話スキット24 また北京に来ます。</p> <p>13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習</p> <p>14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7203		
授業科目名	中級中国語Ⅱ(3クラス)		
担当者名	于 耀明(ウ ヨウメイ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。		
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。		
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)		

	<p>2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはありますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習 15回目 試験</p>
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7204		
授業科目名	中級中国語Ⅱ(4クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>コミュニケーション</p> <p>日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。</p>
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。

準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	<p>想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。</p> <p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。</p> <p>3回目 会話スキット2 ご紹介します。</p> <p>4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。</p> <p>5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。</p> <p>6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。</p> <p>7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。</p> <p>8回目 会話スキット7 乗り換えはありますか。</p> <p>9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。</p> <p>10回目 会話スキット9 お待たせしました。</p> <p>11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。</p> <p>12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？</p> <p>13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。</p> <p>14回目 総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ</p> <p>2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。</p> <p>3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。</p> <p>4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。</p> <p>5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。</p> <p>6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！</p> <p>7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。</p> <p>8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。</p> <p>9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。</p> <p>10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。</p> <p>11回目 会話スキット23 父と母です。</p> <p>12回目 会話スキット24 また北京に来ます。</p> <p>13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習</p> <p>14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7205		
授業科目名	中級中国語Ⅱ(5クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜2限)、後期(火曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	<p>コミュニケーション</p> <p>日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。</p>		

到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしております。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験 後期 1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7206		
授業科目名	中級中国語II(6クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)

特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしております。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験 後期 1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7207
-------	-------

授業科目名	中級中国語Ⅱ(7クラス)		
担当者名	范 紫江(ハン シコウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。		
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。		
講義構成	<p>想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。</p> <p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。</p> <p>3回目 会話スキット2 ご紹介します。</p> <p>4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。</p> <p>5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。</p> <p>6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。</p> <p>7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。</p> <p>8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。</p> <p>9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。</p> <p>10回目 会話スキット9 お待たせしました。</p> <p>11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。</p> <p>12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は?</p> <p>13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。</p> <p>14回目 総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ</p> <p>2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。</p> <p>3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。</p> <p>4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。</p> <p>5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。</p> <p>6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯!</p> <p>7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。</p> <p>8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。</p> <p>9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。</p> <p>10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。</p> <p>11回目 会話スキット23 父と母です。</p> <p>12回目 会話スキット24 また北京に来ます。</p> <p>13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習</p> <p>14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p>		
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)		
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。		
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。		

ホームページタイトル	[胡金定.com,http://www.kokintei.com](中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7208		
授業科目名	中級中国語II (8クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜5限)、後期(水曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験 後期 1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習

	15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7209		
授業科目名	中級中国語Ⅱ(9クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験 後期 1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。

	8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語 I・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7210		
授業科目名	中級中国語II (10クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)、石井康一(イシイ コウイチ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は? 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験 後期

	1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7211		
授業科目名	中級中国語Ⅱ(11クラス)		
担当者名	林 修三(ハヤシ シュウゾウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。 3回目 会話スキット2 ご紹介します。 4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 8回目 会話スキット7 乗り換えはいりますか。 9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。

	10回目 会話スキット9 お待たせしました。 11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。 14回目 総まとめ演習 15回目 試験 後期 1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 11回目 会話スキット23 父と母です。 12回目 会話スキット24 また北京に来ます。 13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習 14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7212		
授業科目名	中級中国語II(12クラス)(前)		
担当者名	程 卓(テイ タク)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜4限 金曜2限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。		
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。		
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。		
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。 1・2回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 3回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。		

	4回目 会話スキット2 ご紹介します。 5回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。 6回目 会話スキット4 専攻は何ですか。 7回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。 8回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。 9回目 会話スキット7 乗り換えはありますか。 10回目 会話スキット8 家賃は高いですか。 11回目 会話スキット9 お待たせしました。 12回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。 13回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？ 14回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。 15回目 会話スキット13 ようこそ北京へ 16回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。 17回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。 18回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。 19回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。 20回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！ 21回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。 22回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。 23回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。 24回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。 25回目 会話スキット23 父と母です。 26回目 会話スキット24 また北京に来ます。 27・28回目 会話スキット 総まとめ演習 29回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7213		
授業科目名	中級中国語II (13クラス)		
担当者名	桂 小蘭(ケイ ショウラン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(金曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	コミュニケーション 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターします。テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努めます。1年間の学習後、自己紹介や日常会話ができるようにして、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにしていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	言語能力の4技能(聴く、話す、読む、書く)のうち、本授業では「話す」と「聴く」ことに重点を置きます。大学生活や中国旅行でのさまざまな場面を想定し、簡単な会話からやや複雑な言葉のやり取りへと練習を繰り返します。発音・イントネーションをチェックしながら、表情のある中国語が話せるように指導します。グループ会話と一人でのスピーチを併用します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・発表・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	想定場面にあわせて、日常会話の基本を学びます。

	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 会話スキット1 春休みはどうでしたか。</p> <p>3回目 会話スキット2 ご紹介します。</p> <p>4回目 会話スキット3 コーヒーを下さい。</p> <p>5回目 会話スキット4 専攻は何ですか。</p> <p>6回目 会話スキット5 これは僕の携帯番号です。</p> <p>7回目 会話スキット6 毎日インターネットをしていますか。</p> <p>8回目 会話スキット7 乗り換えはありますか。</p> <p>9回目 会話スキット8 家賃は高いですか。</p> <p>10回目 会話スキット9 お待たせしました。</p> <p>11回目 会話スキット10 雨が小降りになりました。</p> <p>12回目 会話スキット11 中国語試験の出来具合は？</p> <p>13回目 会話スキット12 北京でお待ちしています。</p> <p>14回目 総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 会話スキット13 ようこそ北京へ</p> <p>2回目 会話スキット14 宿泊シートの記入をお願いします。</p> <p>3回目 会話スキット15 いくら両替なさいますか。</p> <p>4回目 会話スキット16 日本円を人民元に両替しました。</p> <p>5回目 会話スキット17 北京ダックをご馳走します。</p> <p>6回目 会話スキット18 北京での再会を祝して、乾杯！</p> <p>7回目 会話スキット19 王府井大通りは賑やかですね。</p> <p>8回目 会話スキット20 どんなチャイナドレスをお買い求めですか。</p> <p>9回目 会話スキット21 記念写真を撮りましょう。</p> <p>10回目 会話スキット22 スケジュールを話しましょう。</p> <p>11回目 会話スキット23 父と母です。</p> <p>12回目 会話スキット24 また北京に来ます。</p> <p>13回目 会話スキット 後期の総まとめ演習</p> <p>14回目 会話スキット 年間の総まとめ演習</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	胡金定・吐山明月『中級中国語 新・会話スキット24』同学社 2600円(税別)
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅲ・Ⅳを履修することをおすすめします。教科書はweb上でも学習できます(下記参照)。
担当者から一言	CD付の教科書なので、予習と復習にCDを十分に活用してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7301		
授業科目名	中級中国語Ⅲ(1クラス)		
担当者名	邱 立(キュウ リツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	このクラスは「リスニング」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	リスニング 中国文化を理解する手段の一つとしては、中国語で製作された音声教材、映像、放送等の材料をテキストにして学習することです。これらの材料を十分に活用して、中国語圏の社会、文化を体得しながら、中国語社会での仕事や生活に関する知識、常識等を学習することにより、異文化への理解の自覚を高めていきます。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	「基礎中国語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ発音と文法の基礎事項の復習から始めて、テキストをしっかりとマスターすることで、検定試験にも対応できる聴く力の養成を目指します。正しく朗読することが聴いてわかることにつながるの

	で、授業では朗読練習を重視します。そしてテキストで学んだものを土台にして、多種多様な中国語に取り組んでいきます。教科書以外にもテレビ番組など様々な音声教材を用い、朗読・暗誦等の手段で学習します。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと。
成績評価	普段の取り組む姿勢、年間を通しての自主的な努力を重視したい。前後期の試験(60%)に、授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等の平常点(40%)を加えて評価する。
講義構成	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 第1課 自己紹介(1)</p> <p>3回目 第1課 自己紹介(2)</p> <p>4回目 第2課 私達の大学(1)</p> <p>5回目 第2課 私達の大学(2)</p> <p>6回目 第3課 学生生活(1)</p> <p>7回目 第3課 学生生活(2)</p> <p>8回目 第4課 親友(1)</p> <p>9回目 第4課 親友(2)</p> <p>10回目 第5課 私の趣味(1)</p> <p>11回目 第5課 私の趣味(2)</p> <p>12回目 第6課 留学計画(1)</p> <p>13回目 第6課 留学計画(2)</p> <p>14回目 プリントによるリスニング演習</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 第7課 朝の運動(1)</p> <p>2回目 第7課 朝の運動(2)</p> <p>3回目 第8課 中国の食事(1)</p> <p>4回目 第8課 中国の食事(2)</p> <p>5回目 第9課 誕生日の贈物選び(1)</p> <p>6回目 第9課 誕生日の贈物選び(2)</p> <p>7回目 第10課 祝日(1)</p> <p>8回目 第10課 祝日(2)</p> <p>9回目 第11課 方言(1)</p> <p>10回目 第11課 方言(2)</p> <p>11回目 第12課 内モンゴルの旅(1)</p> <p>12回目 第12課 内モンゴルの旅(2)</p> <p>13回目 総合復習</p> <p>14回目 プリントによるリスニング演習</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	洪潔清・劉郷英「中国語中級テキスト 聴聴説説(ティンティン・シュオシュオ)」白帝社 2500円(税別)
参考書・資料	相原茂ほか「Why?にこたえるはじめての中国語の文法書」同学社 中川正之「はじめての人の中国語」くろしお出版 高木百合子・胡興智「はじめての中国語会話表現600」語研 洪潔清「中検4級・3級完全攻略中国語単語2000」白帝社
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅳを履修することをおすすめします。
担当者から一言	予習・復習は毎回必須。学生の積極的かつ主体的な参加を得て、中国語と中国文化の魅力を伝える授業にしたい。授業は楽しく、そして厳しく進めたい。マスターしたときの充実感を楽しみに、お互い助け合って力を高めていこう!
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://kokintei.com/

授業コード	L7302		
授業科目名	中級中国語Ⅲ(2クラス)		
担当者名	荊 秉月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	このクラスは「実用中国語」です。		

	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	「実用中国語」 基礎中国語で培われた語学力をもとに、とりわけ「読む」「書く」「聞く」に重点を置いた学習をすることにより、「中国語検定試験」の3級または4級の合格に必要な実力をつけていきます。また、商業・貿易・時事問題やニュースなどを題材としながら、一定の語彙や表現パターンも学習します。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. テキストの本文の朗読、復習と会話文の練習 2. 重要語句と文型の習得 3. 本文の読解 4. 練習問題を通して中国語の表現をマスターします。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 自我介绍(1) 3回目 第1課 自我介绍(2) 4回目 第2課 大学(1) 5回目 第2課 大学(2) 6回目 第3課 談愛好(1) 7回目 第3課 談愛好(2) 8回目 第4課 我的一天(1) 9回目 第4課 我的一天(2) 10回目 第5課 我的朋友(1) 11回目 第5課 我的朋友(2) 12回目 第6課 旅遊(1) 13回目 第6課 旅遊(2) 14回目 総合練習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 做客(1) 2回目 第7課 做客(2) 3回目 第8課 中国菜(1) 4回目 第8課 中国菜(2) 5回目 第9課 購物(1) 6回目 第9課 購物(2) 7回目 第10課 北京的四合院(1) 8回目 第10課 北京的四合院(2) 9回目 第11課 春節(1) 10回目 第11課 春節(2) 11回目 第12課 学漢語(1) 12回目 第12課 学漢語(2) 13回目 総合練習 14回目 年間総まとめ演習 15回目 試験
教科書	陳浩 梁月軍『中国語会話ステップアップ』CD付 郁文堂 2300円
参考書・資料	長谷川正時『通訳メソッドを応用した中国語短文会話800』スリーエーネットワーク 長谷川正時『通訳メソッドを応用したシャドウイングで学ぶ中国語文法』スリーエーネットワーク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅳを履修することをおすすめします。
担当者から一言	予習・復習をしっかりと、授業には積極的に参加して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7303
-------	-------

授業科目名	中級中国語Ⅲ(3クラス)		
担当者名	王 大龍(オウ ダイリュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	このクラスは「実用中国語」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「実用中国語」 基礎中国語で培われた語学力をもとに、とりわけ「読む」「書く」「聞く」に重点を置いた学習をすることにより、「中国語検定試験」の3級または4級の合格に必要な実力をつけていきます。また、商業・貿易・時事問題やニュースなどを題材としながら、一定の語彙や表現パターンも学習します。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. テキストの本文の朗読、復習と会話文の練習 2. 重要語句と文型の習得 3. 本文の読解 4. 練習問題を通して中国語の表現をマスターします。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 自我介绍(1) 3回目 第1課 自我介绍(2) 4回目 第2課 大学(1) 5回目 第2課 大学(2) 6回目 第3課 談愛好(1) 7回目 第3課 談愛好(2) 8回目 第4課 我的一天(1) 9回目 第4課 我的一天(2) 10回目 第5課 我的朋友(1) 11回目 第5課 我的朋友(2) 12回目 第6課 旅遊(1) 13回目 第6課 旅遊(2) 14回目 総合練習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 做客(1) 2回目 第7課 做客(2) 3回目 第8課 中国菜(1) 4回目 第8課 中国菜(2) 5回目 第9課 購物(1) 6回目 第9課 購物(2) 7回目 第10課 北京的四合院(1) 8回目 第10課 北京的四合院(2) 9回目 第11課 春節(1) 10回目 第11課 春節(2) 11回目 第12課 学漢語(1) 12回目 第12課 学漢語(2) 13回目 総合練習 14回目 年間総まとめ演習 15回目 試験
教科書	陳浩 梁月軍『中国語会話ステップアップ』CD付 郁文堂 2300円
参考書・資料	長谷川正時『通訳メソッドを応用した中国語短文会話800』スリーエーネットワーク 長谷川正時『通訳メソッドを応用したシャドウイングで学ぶ中国語文法』スリーエーネットワーク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅳを履修することをおすすめします。
担当者から一言	予習・復習をしっかりと、授業には積極的に参加して下さい。

ホームページタイトル	[胡金定.com,http://www.kokintei.com](中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7304		
授業科目名	中級中国語III (4クラス)		
担当者名	范 紫江(ハン シコウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	このクラスは「実用中国語」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「実用中国語」 基礎中国語で培われた語学力をもとに、とりわけ「読む」「書く」「聞く」に重点を置いた学習をすることにより、「中国語検定試験」の3級または4級の合格に必要な実力をつけていきます。また、商業・貿易・時事問題やニュースなどを題材としながら、一定の語彙や表現パターンも学習します。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. テキストの本文の朗読、復習と会話文の練習 2. 重要語句と文型の習得 3. 本文の読解 4. 練習問題を通して中国語の表現をマスターします。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 自我介绍(1) 3回目 第1課 自我介绍(2) 4回目 第2課 大学(1) 5回目 第2課 大学(2) 6回目 第3課 談愛好(1) 7回目 第3課 談愛好(2) 8回目 第4課 我的一天(1) 9回目 第4課 我的一天(2) 10回目 第5課 我的朋友(1) 11回目 第5課 我的朋友(2) 12回目 第6課 旅遊(1) 13回目 第6課 旅遊(2) 14回目 総合練習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 做客(1) 2回目 第7課 做客(2) 3回目 第8課 中国菜(1) 4回目 第8課 中国菜(2) 5回目 第9課 購物(1) 6回目 第9課 購物(2) 7回目 第10課 北京的四合院(1) 8回目 第10課 北京的四合院(2) 9回目 第11課 春節(1) 10回目 第11課 春節(2) 11回目 第12課 学漢語(1) 12回目 第12課 学漢語(2) 13回目 総合練習 14回目 年間総まとめ演習 15回目 試験

教科書	陳浩 梁月軍『中国語会話ステップアップ』CD付 郁文堂 2300円
参考書・資料	長谷川正時『通訳メソッドを応用した中国語短文会話800』スリーエーネットワーク 長谷川正時『通訳メソッドを応用したシャドウイングで学ぶ中国語文法』スリーエーネットワーク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅳを履修することをおすすめします。
担当者から一言	予習・復習をしっかりと、授業には積極的に参加して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7305		
授業科目名	中級中国語Ⅲ(5クラス)		
担当者名	金路(キン ロ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	このクラスは「実用中国語」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「実用中国語」 基礎中国語で培われた語学力をもとに、とりわけ「読む」「書く」「聞く」に重点を置いた学習をすることにより、「中国語検定試験」の3級または4級の合格に必要な実力をつけていきます。また、商業・貿易・時事問題やニュースなどを題材としながら、一定の語彙や表現パターンも学習します。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	1. テキストの本文の朗読、復習と会話文の練習 2. 重要語句と文型の習得 3. 本文の読解 4. 練習問題を通して中国語の表現をマスターします。
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	平常点(授業に取り組む姿勢・小テスト・課題等)40%、前期後期の学期末試験の成績60%で評価します。
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 第1課 自我介绍(1) 3回目 第1課 自我介绍(2) 4回目 第2課 大学(1) 5回目 第2課 大学(2) 6回目 第3課 談愛好(1) 7回目 第3課 談愛好(2) 8回目 第4課 我的一天(1) 9回目 第4課 我的一天(2) 10回目 第5課 我的朋友(1) 11回目 第5課 我的朋友(2) 12回目 第6課 旅遊(1) 13回目 第6課 旅遊(2) 14回目 総合練習 15回目 試験 後期 1回目 第7課 做客(1) 2回目 第7課 做客(2) 3回目 第8課 中国菜(1) 4回目 第8課 中国菜(2) 5回目 第9課 購物(1) 6回目 第9課 購物(2) 7回目 第10課 北京的四合院(1) 8回目 第10課 北京的四合院(2)

	9回目 第11課 春節(1) 10回目 第11課 春節(2) 11回目 第12課 学漢語(1) 12回目 第12課 学漢語(2) 13回目 総合練習 14回目 年間総まとめ演習 15回目 試験
教科書	陳浩 梁月軍『中国語会話ステップアップ』CD付 郁文堂 2300円
参考書・資料	長谷川正時『通訳メソッドを応用した中国語短文会話800』スリーエーネットワーク 長谷川正時『通訳メソッドを応用したシャドウイングで学ぶ中国語文法』スリーエーネットワーク
講義関連事項	同時に中級中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅳを履修することをおすすめします。
担当者から一言	予習・復習をしっかりと、授業には積極的に参加して下さい。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://www.kokintei.com}(中国語学習サイト)
URL	http://www.kokintei.com/

授業コード	L7306		
授業科目名	中級中国語Ⅲ(6クラス)		
担当者名	山添秀子(ヤマゾエ ヒデコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	このクラスは「中国語検定準備コース」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	中国語検定準備コース 21世紀はアジアの時代、とりわけ中国の発展に世界の注目が集まっています。“中国語もできる人材”のニーズがますます高まっています。この授業は実用中国語で、中国語検定4級・3級への合格、中国語コミュニケーション能力検定試験(TECC)500点以上の獲得を目指して、検定対策などを含める総合的な学習を行う予定です。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	授業は、語彙・リスニング・文法事項・読解という四つの方面を取り上げ、講義と演習の二本立てで進めていきます。主として、次のような内容構成を予定しています。 1. リスニング(毎回20分間 一問一答・内容理解) 2. 基礎文法の固めと学習 3. 文章の読解 4. 中国語の検定に関する紹介と模擬試験
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	授業に取り組む姿勢・小テスト(60%)と前期・後期の期末試験(40%)により評価します。(但し中検3級合格者またはTECC500点以上の獲得者は後期の期末試験免除で、秀と評価されます)
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 検定試験とは・基本文型 3回目 疑問文のパターン 4回目 アスペクト 5回目 日時・時間・回数・数量の表現の語順 6回目 “在”と“有” 7回目 比較表現の文(1) 8回目 比較表現の文(2) 9回目 “(是)～的”の構文 10回目 疑問詞の用法 11回目 前置詞(1) 12回目 前置詞(2) 13回目 助動詞

	14回目 助詞 15回目 試験 後期 1回目 副詞(1) 2回目 副詞(2) 3回目 程度補語 4回目 方向補語 5回目 結果補語 6回目 可能補語 7回目 連動文・存現文 8回目 処置文・受動文・兼語文(1) 9回目 処置文・受動文・兼語文(2) 10回目 複文(1) 11回目 複文(2) 12回目 長文読解(1) 13回目 長文読解(2) 14回目 年間総まとめ 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月「中国語基礎文法トレーニング」白帝社 2700円(税別)
参考書・資料	辞書 中日辞典第2版(北京商務印書館・小学館共同編集) 文法書 Whyにこたえるはじめての中国語の文法書(同学社) 検定用 中検4級問題集2010年版(光生館) 中検3級問題集2010年版(光生館) TECCにチャレンジ (東方書店) TECC実践過去問題集(東方書店)
講義関連事項	中国語の検定について詳しく知りたい方は以下のURLを検索してください。
担当者から一言	中国語検定3級への合格を目指しているならば、リスニング能力を高めなければなりません。同時に中級中国語Ⅱ(コミュニケーション)を履修するか、またはNHKラジオ中国語講座応用編を聞くのがより一層効果的です。
ホームページタイトル	①中国語検定試験 { http://www.chuken.gr.jp/ } ②TECC(中国語コミュニケーション能力検定){ http://www.tecc-web.jp/ } ③HSK(漢語水平考試){ http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm } ④胡金定.com(中国語学習サイト){ http://kokintei.com/ }

授業コード	L7307		
授業科目名	中級中国語Ⅲ(7クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	このクラスは「中国語検定準備コース」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	中国語検定準備コース 21世紀はアジアの時代、とりわけ中国の発展に世界の注目が集まっています。“中国語もできる人材”のニーズがますます高まっています。この授業は実用中国語で、中国語検定4級・3級への合格、中国語コミュニケーション能力検定試験(TECC)500点以上の獲得を目指して、検定対策などを含める総合的な学習を行う予定です。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。		
講義方法	授業は、語彙・リスニング・文法事項・読解という四つの方面を取り上げ、講義と演習の二本立てで進めていきます。主として、次のような内容構成を予定しています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. リスニング(毎回20分間 一問一答・内容理解) 2. 基礎文法の固めと学習 		

	3. 文章の読解 4. 中国語の検定に関する紹介と模擬試験
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	授業に取り組む姿勢・小テスト(60%)と前期・後期の期末試験(40%)により評価します。(但し中検3級合格者またはTECC500点以上の獲得者は後期の期末試験免除で、秀と評価されます)
講義構成	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 検定試験とは・基本文型</p> <p>3回目 疑問文のパターン</p> <p>4回目 アスペクト</p> <p>5回目 日時・時間・回数・数量の表現の語順</p> <p>6回目 “在”と“有”</p> <p>7回目 比較表現の文(1)</p> <p>8回目 比較表現の文(2)</p> <p>9回目 “(是)～的”の構文</p> <p>10回目 疑問詞の用法</p> <p>11回目 前置詞(1)</p> <p>12回目 前置詞(2)</p> <p>13回目 助動詞</p> <p>14回目 助詞</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 副詞(1)</p> <p>2回目 副詞(2)</p> <p>3回目 程度補語</p> <p>4回目 方向補語</p> <p>5回目 結果補語</p> <p>6回目 可能補語</p> <p>7回目 連動文・存現文</p> <p>8回目 処置文・受動文・兼語文(1)</p> <p>9回目 処置文・受動文・兼語文(2)</p> <p>10回目 複文(1)</p> <p>11回目 複文(2)</p> <p>12回目 長文読解(1)</p> <p>13回目 長文読解(2)</p> <p>14回目 年間総まとめ</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	胡金定・吐山明月「中国語基礎文法トレーニング」白帝社 2700円(税別)
参考書・資料	<p>辞書 中日辞典第2版(北京商務印書館・小学館共同編集)</p> <p>文法書 Whyにこたえるはじめての中国語の文法書(同学社)</p> <p>検定用 中検4級問題集2010年版(光生館)</p> <p>中検3級問題集2010年版(光生館)</p> <p>TECCにチャレンジ(東方書店)</p> <p>TECC実践過去問題集(東方書店)</p>
講義関連事項	中国語の検定について詳しく知りたい方は以下のURLを検索してください。
担当者から一言	中国語検定3級への合格を目指しているならば、リスニング能力を高めなければなりません。同時に中級中国語Ⅱ(コミュニケーション)を履修するか、またはNHKラジオ中国語講座応用編を聞くのがより一層効果的です。
ホームページタイトル	<p>①中国語検定試験 {http://www.chuken.gr.jp/}</p> <p>②TECC(中国語コミュニケーション能力検定){http://www.tecc-web.jp/}</p> <p>③HSK(漢語水平考試){http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm}</p> <p>④胡金定.com(中国語学習サイト){http://kokintei.com/}</p>

授業コード	L7308
-------	-------

授業科目名	中級中国語Ⅲ(8クラス)		
担当者名	吐山明月(ハヤマ メイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	このクラスは「中国語検定準備コース」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	中国語検定準備コース 21世紀はアジアの時代、とりわけ中国の発展に世界の注目が集まっています。“中国語もできる人材”のニーズがますます高まっています。この授業は実用中国語で、中国語検定4級・3級への合格、中国語コミュニケーション能力検定試験(TECC)500点以上の獲得を目指して、検定対策などを含める総合的な学習を行う予定です。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。		
講義方法	授業は、語彙・リスニング・文法事項・読解という四つの方面を取り上げ、講義と演習の二本立てで進めていきます。主として、次のような内容構成を予定しています。 1. リスニング(毎回20分間 一問一答・内容理解) 2. 基礎文法の固めと学習 3. 文章の読解 4. 中国語の検定に関する紹介と模擬試験		
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと		
成績評価	授業に取り組む姿勢・小テスト(60%)と前期・後期の期末試験(40%)により評価します。(但し中検3級合格者またはTECC500点以上の獲得者は後期の期末試験免除で、秀と評価されます)		
講義構成	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 検定試験とは・基本文型</p> <p>3回目 疑問文のパターン</p> <p>4回目 アスペクト</p> <p>5回目 日時・時間・回数・数量の表現の語順</p> <p>6回目 “在”と“有”</p> <p>7回目 比較表現の文(1)</p> <p>8回目 比較表現の文(2)</p> <p>9回目 “(是)～的”の構文</p> <p>10回目 疑問詞の用法</p> <p>11回目 前置詞(1)</p> <p>12回目 前置詞(2)</p> <p>13回目 助動詞</p> <p>14回目 助詞</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 副詞(1)</p> <p>2回目 副詞(2)</p> <p>3回目 程度補語</p> <p>4回目 方向補語</p> <p>5回目 結果補語</p> <p>6回目 可能補語</p> <p>7回目 連動文・存現文</p> <p>8回目 処置文・受動文・兼語文(1)</p> <p>9回目 処置文・受動文・兼語文(2)</p> <p>10回目 複文(1)</p> <p>11回目 複文(2)</p> <p>12回目 長文読解(1)</p> <p>13回目 長文読解(2)</p> <p>14回目 年間総まとめ</p> <p>15回目 試験</p>		
教科書	胡金定・吐山明月「中国語基礎文法トレーニング」白帝社 2700円(税別)		

参考書・資料	辞書 中日辞典第2版(北京商務印書館・小学館共同編集) 文法書 Whyにこたえるはじめての中国語の文法書(同学社) 検定用 中検4級問題集2010年版(光生館) 中検3級問題集2010年版(光生館) TECCにチャレンジ (東方書店) TECC実践過去問題集(東方書店)
講義関連事項	中国語の検定について詳しく知りたい方は以下のURLを検索してください。
担当者から一言	中国語検定3級への合格を目指しているならば、リスニング能力を高めなければなりません。同時に中級中国語Ⅱ(コミュニケーション)を履修するか、またはNHKラジオ中国語講座応用編を聞くのがより一層効果的です。
ホームページタイトル	①中国語検定試験 { http://www.chuken.gr.jp/ } ②TECC(中国語コミュニケーション能力検定){ http://www.tecc-web.jp/ } ③HSK(漢語水平考試){ http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm } ④胡金定.com(中国語学習サイト){ http://kokintei.com/ }

授業コード	L7309		
授業科目名	中級中国語Ⅲ(9クラス)		
担当者名	山添秀子(ヤマゾエ ヒデコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜1限)、後期(金曜1限)
特記事項	このクラスは「中国語検定準備コース」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	中国語検定準備コース 21世紀はアジアの時代、とりわけ中国の発展に世界の注目が集まっています。“中国語もできる人材”のニーズがますます高まっています。この授業は実用中国語で、中国語検定4級・3級への合格、中国語コミュニケーション能力検定試験(TECC)500点以上の獲得を目指して、検定対策などを含める総合的な学習を行う予定です。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。
講義方法	授業は、語彙・リスニング・文法事項・読解という四つの方面を取り上げ、講義と演習の二本立てで進めていきます。主として、次のような内容構成を予定しています。 1. リスニング(毎回20分間 一問一答・内容理解) 2. 基礎文法の固めと学習 3. 文章の読解 4. 中国語の検定に関する紹介と模擬試験
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	授業に取り組む姿勢・小テスト(60%)と前期・後期の期末試験(40%)により評価します。(但し中検3級合格者またはTECC500点以上の獲得者は後期の期末試験免除で、秀と評価されます)
講義構成	前期 1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 2回目 検定試験とは・基本文型 3回目 疑問文のパターン 4回目 アスペクト 5回目 日時・時間・回数・数量の表現の語順 6回目 “在”と“有” 7回目 比較表現の文(1) 8回目 比較表現の文(2) 9回目 “(是)～的”の構文 10回目 疑問詞の用法 11回目 前置詞(1) 12回目 前置詞(2) 13回目 助動詞 14回目 助詞

	15回目 試験 後期 1回目 副詞(1) 2回目 副詞(2) 3回目 程度補語 4回目 方向補語 5回目 結果補語 6回目 可能補語 7回目 連動文・存現文 8回目 処置文・受動文・兼語文(1) 9回目 処置文・受動文・兼語文(2) 10回目 複文(1) 11回目 複文(2) 12回目 長文読解(1) 13回目 長文読解(2) 14回目 年間総まとめ 15回目 試験
教科書	胡金定・吐山明月「中国語基礎文法トレーニング」白帝社 2700円(税別)
参考書・資料	辞書 中日辞典第2版(北京商務印書館・小学館共同編集) 文法書 Whyにこたえるはじめての中国語の文法書(同学社) 検定用 中検4級問題集2010年版(光生館) 中検3級問題集2010年版(光生館) TECCにチャレンジ (東方書店) TECC実践過去問題集(東方書店)
講義関連事項	中国語の検定について詳しく知りたい方は以下のURLを検索してください。
担当者から一言	中国語検定3級への合格を目指しているならば、リスニング能力を高めなければなりません。同時に中級中国語Ⅱ(コミュニケーション)を履修するか、またはNHKラジオ中国語講座応用編を聞くのがより一層効果的です。
ホームページタイトル	①中国語検定試験 { http://www.chuken.gr.jp/ } ②TECC(中国語コミュニケーション能力検定){ http://www.tecc-web.jp/ } ③HSK(漢語水平考試){ http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm } ④胡金定.com(中国語学習サイト){ http://kokintei.com/ }

授業コード	L7310		
授業科目名	中級中国語Ⅲ(10クラス)		
担当者名	陳 敏(チン ミン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	このクラスは「中国語検定準備コース」です。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	中国語検定準備コース 21世紀はアジアの時代、とりわけ中国の発展に世界の注目が集まっています。“中国語もできる人材”のニーズがますます高まっています。この授業は実用中国語で、中国語検定4級・3級への合格、中国語コミュニケーション能力検定試験(TECC)500点以上の獲得を目指して、検定対策などを含める総合的な学習を行う予定です。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。		
講義方法	授業は、語彙・リスニング・文法事項・読解という四つの方面を取り上げ、講義と演習の二本立てで進めていきます。主として、次のような内容構成を予定しています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. リスニング(毎回20分間 一問一答・内容理解) 2. 基礎文法の固めと学習 3. 文章の読解 		

	4. 中国語の検定に関する紹介と模擬試験
準備学習	予習・復習・課題・小テストの準備は欠かさず行なうこと
成績評価	授業に取り組む姿勢・小テスト(60%)と前期・後期の期末試験(40%)により評価します。(但し中検3級合格者またはTECC500点以上の獲得者は後期の期末試験免除で、秀と評価されます)
講義構成	<p>前期</p> <p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>2回目 検定試験とは・基本文型</p> <p>3回目 疑問文のパターン</p> <p>4回目 アスペクト</p> <p>5回目 日時・時間・回数・数量の表現の語順</p> <p>6回目 “在”と“有”</p> <p>7回目 比較表現の文(1)</p> <p>8回目 比較表現の文(2)</p> <p>9回目 “(是)～的”の構文</p> <p>10回目 疑問詞の用法</p> <p>11回目 前置詞(1)</p> <p>12回目 前置詞(2)</p> <p>13回目 助動詞</p> <p>14回目 助詞</p> <p>15回目 試験</p> <p>後期</p> <p>1回目 副詞(1)</p> <p>2回目 副詞(2)</p> <p>3回目 程度補語</p> <p>4回目 方向補語</p> <p>5回目 結果補語</p> <p>6回目 可能補語</p> <p>7回目 連動文・存現文</p> <p>8回目 処置文・受動文・兼語文(1)</p> <p>9回目 処置文・受動文・兼語文(2)</p> <p>10回目 複文(1)</p> <p>11回目 複文(2)</p> <p>12回目 長文読解(1)</p> <p>13回目 長文読解(2)</p> <p>14回目 年間総まとめ</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	胡金定・吐山明月「中国語基礎文法トレーニング」白帝社 2700円(税別)
参考書・資料	<p>辞書 中日辞典第2版(北京商務印書館・小学館共同編集)</p> <p>文法書 Whyにこたえるはじめての中国語の文法書(同学社)</p> <p>検定用 中検4級問題集2010年版(光生館)</p> <p>中検3級問題集2010年版(光生館)</p> <p>TECCにチャレンジ(東方書店)</p> <p>TECC実践過去問題集(東方書店)</p>
講義関連事項	中国語の検定について詳しく知りたい方は以下のURLを検索してください。
担当者から一言	中国語検定3級への合格を目指しているならば、リスニング能力を高めなければなりません。同時に中級中国語Ⅱ(コミュニケーション)を履修するか、またはNHKラジオ中国語講座応用編を聞くのがより一層効果的です。
ホームページタイトル	<p>①中国語検定試験 {http://www.chuken.gr.jp/}</p> <p>②TECC(中国語コミュニケーション能力検定){http://www.tecc-web.jp/}</p> <p>③HSK(漢語水平考試) {http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm}</p> <p>④胡金定.com(中国語学習サイト) {http://kokintei.com/}</p>

授業コード	L7401
-------	-------

授業科目名	中級中国語Ⅳ(1クラス)		
担当者名	胡 金定(コ キンテイ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日昼(12:15~12:55)		

講義の内容	主として日本語で講義を行う。日本人と中国人のものの見方、考え方、衣食住、風俗習慣、家庭状況、教育問題、環境問題など幅広い分野にわたり、日本と中国の違いを明らかにすることを通して、中国語はもちろんのこと、中国文化ないし日本文化の習得も出来るように工夫していく。中国の変化に注目しながら、自分の判断力による中国像を完成する。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。 「中級中国語Ⅳ」は、日中両国のさまざまな分野における交流が深まっている今日、言葉だけではなく、広く中国についての一般的知識を習得し、中国人のものの見方や考え方を理解する必要がある。取り扱うテーマは、衣・食・住・風俗習慣・人情・家庭・教育・思考方法・価値観など幅広い分野にわたり、中国文化についての知識の習得と中国語の学習が一度にできるように工夫する。中国の知識の習得を楽しみながら、中国語表現能力も高めるのが到達目標です。
講義方法	授業は、できるだけ学習者の興味が長続きするようにバラエティに富んだ題材を取り上げ、上記の「講義目的」に到達するために、講義には日中両国の文化・習慣の違いに焦点を当て、異文化に対する「認識」を深める。中国の一般常識的な知識の習得にも踏み込んだ授業をも目指す。これらの知識を習得して、さらに「実用」へのステップに繋げる。
準備学習	前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を予習しておくこと。
成績評価	予習・復習の状況、出席回数、授業に取り組む態度を平常点として40%、前・後期の学期末試験の成績は60%です。
講義構成	中国語の語彙や文法や表現などの習得だけではなく、幅広い知識をマスターしてもらうために、次のような講義構成になる。 前期 1回目: 授業内容、成績評価などについての説明、中国概論 2回目: 中国大学生の生活(前半) 3回目: 中国大学生の生活(後半) 4回目: 中国の一人っ子(前半) 5回目: 中国の一人っ子(後半) 6回目: 中国人の家庭(前半) 7回目: 中国人の家庭(後半) 8回目: 中国の女性(前半) 9回目: 中国の女性(後半) 10回目: 中国人の交友(前半) 11回目: 中国人の交友(後半) 12回目: 中国人のバカンス(前期) 13回目: 中国人のバカンス(後期) 14回目: 前期の総復習 15回目: 前期試験 後期 1回目: 前期授業内容及び試験について説明 2回目: 中国人の生活の中のIT(前半) 3回目: 中国人の生活の中のIT(後半) 4回目: 中国の出稼ぎ労働者(前半) 5回目: 中国の出稼ぎ労働者(後半) 6回目: 中国人の環境意識(前半) 7回目: 中国人の環境意識(後半) 8回目: 中国人の飲食(前半) 9回目: 中国人の飲食(後半) 10回目: 中国人の住宅(前半) 11回目: 中国人の住宅(後半) 12回目: 中国人のホワイトカラー(前期)

	13回目: 中国人のホワイトカラー(後期) 14回目: 後期の総復習 15回目: 後期試験
教科書	テキスト:『アクティブ中国』 著者:胡金定 荊秉月 衛榕群 鄭萍 陳傑中 出版社:朝日出版社 定価:2200円+税別
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	できるだけ学生が関心のある中国関係の話題を提供していきたいです。関心のある話題をどんどん出してください。
担当者から一言	コキンちゃん(胡金定の愛称)と楽しく、より多くの中国のことを理解して、将来の人生に役立つようにしていきます。
その他	楽しく、身につく授業の雰囲気を出していきたいです。ぜひご期待してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	L7402		
授業科目名	中級中国語IV (2クラス)		
担当者名	鄭萍(テイ ヒョウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日昼(12:15~12:55)		

講義の内容	主として日本語で講義を行う。日本人と中国人のものの見方、考え方、衣食住、風俗習慣、家庭状況、教育問題、環境問題など幅広い分野にわたり、日本と中国の違いを明らかにすることを通して、中国語はもちろんのこと、中国文化ないし日本文化の習得も出来るように工夫していく。中国の変化に注目しながら、自分の判断力による中国像を完成する。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。 「中級中国語IV」は、日中両国のさまざまな分野における交流が深まっている今日、言葉だけではなく、広く中国についての一般的知識を習得し、中国人のものの見方や考え方を理解する必要がある。取り扱うテーマは、衣・食・住・風俗習慣・人情・家庭・教育・思考方法・価値観など幅広い分野にわたり、中国文化についての知識の習得と中国語の学習が一度にできるように工夫する。中国の知識の習得を楽しみながら、中国語表現能力も高めるのが到達目標です。
講義方法	授業は、できるだけ学習者の興味が長続きするようにバラエティに富んだ題材を取り上げ、上記の「講義目的」に到達するために、講義には日中両国の文化・習慣の違いに焦点を当て、異文化に対する「認識」を深める。中国の一般常識的な知識の習得にも踏み込んだ授業をも目指す。これらの知識を習得して、さらに「実用」へのステップに繋げる。
準備学習	前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を予習しておくこと。
成績評価	予習・復習の状況、出席回数、授業に取り組む態度を平常点として40%、前・後期の学期末試験の成績は60%です。
講義構成	中国語の語彙や文法や表現などの習得だけではなく、幅広い知識をマスターしてもらうために、次のような講義構成になる。 前期 1回目: 授業内容、成績評価などについての説明、中国概論 2回目: 中国大学生の生活(前半)

	<p>3回目: 中国大学生の生活(後半) 4回目: 中国の一人っ子(前半) 5回目: 中国の一人っ子(後半) 6回目: 中国人の家庭(前半) 7回目: 中国人の家庭(後半) 8回目: 中国の女性(前半) 9回目: 中国の女性(後半) 10回目: 中国人の交友(前半) 11回目: 中国人の交友(後半) 12回目: 中国人のバカンス(前期) 13回目: 中国人のバカンス(後期) 14回目: 前期の総復習 15回目: 前期試験</p> <p>後期 1回目: 前期授業内容及び試験について説明 2回目: 中国人の生活の中のIT(前半) 3回目: 中国人の生活の中のIT(後半) 4回目: 中国の出稼ぎ労働者(前半) 5回目: 中国の出稼ぎ労働者(後半) 6回目: 中国人の環境意識(前半) 7回目: 中国人の環境意識(後半) 8回目: 中国人の飲食(前半) 9回目: 中国人の飲食(後半) 10回目: 中国人の住宅(前半) 11回目: 中国人の住宅(後半) 12回目: 中国人のホワイトカラー(前期) 13回目: 中国人のホワイトカラー(後期) 14回目: 後期の総復習 15回目: 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『アクティブ中国』 著者:胡金定 荊秉月 衛榕群 鄭萍 陳傑中 出版社:朝日出版社 定価:2200円+税別</p>
参考書・資料	<p>書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税</p>
講義関連事項	<p>できるだけ学生が関心のある中国関係の話題を提供していきたいです。関心のある話題をどんどん出してください。</p>
担当者から一言	<p>コキンちゃん(胡金定の愛称)と楽しく、より多くの中国のことを理解して、将来の人生に役立つようにしていきます。</p>
その他	<p>楽しく、身につく授業の雰囲気を出していきたいです。ぜひご期待してください。</p>
ホームページタイトル	<p>{胡金定.com,http://kokintei.com}</p>
URL	<p>http://www.kokintei.com</p>

授業コード	L7403		
授業科目名	中級中国語IV (3クラス)		
担当者名	衛 榕群(エイ ヨウグン)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日昼(12:15~12:55)		

講義の内容	主として日本語で講義を行う。日本人と中国人のものの見方、考え方、衣食住、風俗習慣、家庭状況、教育問題、環境問題など幅広い分野にわたり、日本と中国の違いを明らかにすることを通して、中国語はもちろんのこと、中国文化ないし日本文化の習得も出来るように工夫していく。中国の変化に注目しながら、自分の判断力による中国像を完成する。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。 「中級中国語Ⅳ」は、日中両国のさまざまな分野における交流が深まっている今日、言葉だけではなく、広く中国についての一般的知識を習得し、中国人のものの見方や考え方を理解する必要がある。取り扱うテーマは、衣・食・住・風俗習慣・人情・家庭・教育・思考方法・価値観など幅広い分野にわたり、中国文化についての知識の習得と中国語の学習が一度にできるように工夫する。中国の知識の習得を楽しみながら、中国語表現能力も高めるのが到達目標です。
講義方法	授業は、できるだけ学習者の興味が長続きするようにバラエティに富んだ題材を取り上げ、上記の「講義目的」に到達するために、講義には日中両国の文化・習慣の違いに焦点を当て、異文化に対する「認識」を深める。中国の一般常識的な知識の習得にも踏み込んだ授業をも目指す。これらの知識を習得して、さらに「実用」へのステップに繋げる。
準備学習	前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を予習しておくこと。
成績評価	予習・復習の状況、出席回数、授業に取り組む態度を平常点として40%、前・後期の学期末試験の成績は60%です。
講義構成	中国語の語彙や文法や表現などの習得だけではなく、幅広い知識をマスターしてもらうために、次のような講義構成になる。 前期 1回目: 授業内容、成績評価などについての説明、中国概論 2回目: 中国大学生の生活(前半) 3回目: 中国大学生の生活(後半) 4回目: 中国の一人っ子(前半) 5回目: 中国の一人っ子(後半) 6回目: 中国人の家庭(前半) 7回目: 中国人の家庭(後半) 8回目: 中国の女性(前半) 9回目: 中国の女性(後半) 10回目: 中国人の交友(前半) 11回目: 中国人の交友(後半) 12回目: 中国人のバカンス(前期) 13回目: 中国人のバカンス(後期) 14回目: 前期の総復習 15回目: 前期試験 後期 1回目: 前期授業内容及び試験について説明 2回目: 中国人の生活の中のIT(前半) 3回目: 中国人の生活の中のIT(後半) 4回目: 中国の出稼ぎ労働者(前半) 5回目: 中国の出稼ぎ労働者(後半) 6回目: 中国人の環境意識(前半) 7回目: 中国人の環境意識(後半) 8回目: 中国人の飲食(前半) 9回目: 中国人の飲食(後半) 10回目: 中国人の住宅(前半) 11回目: 中国人の住宅(後半) 12回目: 中国人のホワイトカラー(前期) 13回目: 中国人のホワイトカラー(後期) 14回目: 後期の総復習 15回目: 後期試験
教科書	テキスト:『アクティブ中国』 著者:胡金定 荆秉月 衛榕群 鄭萍 陳傑中 出版社:朝日出版社 定価:2200円+税別
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版)

	著者:北京・商務印書館／小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円＋税
講義関連事項	できるだけ学生が関心のある中国関係の話題を提供していきたいです。関心のある話題をどんどん出してください。
担当者から一言	コキンちゃん(胡金定の愛称)と楽しく、より多くの中国のことを理解して、将来の人生に役立つようにしていきますよ。
その他	楽しく、身につく授業の雰囲気を出していきたいです。ぜひご期待してください。
ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	L7404		
授業科目名	中級中国語Ⅳ(4クラス)		
担当者名	陳 傑中(チン ケツチュウ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日昼(12:15~12:55)		

講義の内容	主として日本語で講義を行う。日本人と中国人のものの見方、考え方、衣食住、風俗習慣、家庭状況、教育問題、環境問題など幅広い分野にわたり、日本と中国の違いを明らかにすることを通して、中国語はもちろんのこと、中国文化ないし日本文化の習得も出来るように工夫していく。中国の変化に注目しながら、自分の判断力による中国像を完成する。
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。 「中級中国語Ⅳ」は、日中両国のさまざまな分野における交流が深まっている今日、言葉だけではなく、広く中国についての一般的知識を習得し、中国人のものの見方や考え方を理解する必要がある。取り扱うテーマは、衣・食・住・風俗習慣・人情・家庭・教育・思考方法・価値観など幅広い分野にわたり、中国文化についての知識の習得と中国語の学習が一度にできるように工夫する。中国の知識の習得を楽しみながら、中国語表現能力も高めるのが到達目標です。
講義方法	授業は、できるだけ学習者の興味が長続きするようにバラエティに富んだ題材を取り上げ、上記の「講義目的」に到達するために、講義には日中両国の文化・習慣の違いに焦点を当て、異文化に対する「認識」を深める。中国の一般常識的な知識の習得にも踏み込んだ授業をも目指す。これらの知識を習得して、さらに「実用」へのステップに繋げる。
準備学習	前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を予習しておくこと。
成績評価	予習・復習の状況、出席回数、授業に取り組む態度を平常点として40%、前・後期の学期末試験の成績は60%です。
講義構成	中国語の語彙や文法や表現などの習得だけではなく、幅広い知識をマスターしてもらうために、次のような講義構成になる。 前期 1回目: 授業内容、成績評価などについての説明、中国概論 2回目: 中国大学生の生活(前半) 3回目: 中国大学生の生活(後半) 4回目: 中国の一人っ子(前半) 5回目: 中国の一人っ子(後半) 6回目: 中国人の家庭(前半) 7回目: 中国人の家庭(後半) 8回目: 中国の女性(前半) 9回目: 中国の女性(後半) 10回目: 中国人の交友(前半) 11回目: 中国人の交友(後半) 12回目: 中国人のバカンス(前期)

	<p>13回目: 中国人のバカンス(後期) 14回目: 前期の総復習 15回目: 前期試験</p> <p>後期 1回目: 前期授業内容及び試験について説明 2回目: 中国人の生活の中のIT(前半) 3回目: 中国人の生活の中のIT(後半) 4回目: 中国の出稼ぎ労働者(前半) 5回目: 中国の出稼ぎ労働者(後半) 6回目: 中国人の環境意識(前半) 7回目: 中国人の環境意識(後半) 8回目: 中国人の飲食(前半) 9回目: 中国人の飲食(後半) 10回目: 中国人の住宅(前半) 11回目: 中国人の住宅(後半) 12回目: 中国人のホワイトカラー(前期) 13回目: 中国人のホワイトカラー(後期) 14回目: 後期の総復習 15回目: 後期試験</p>
教科書	<p>テキスト:『アクティブ中国』 著者:胡金定 荊秉月 衛榕群 鄭萍 陳傑中 出版社:朝日出版社 定価:2200円+税別</p>
参考書・資料	<p>書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税</p>
講義関連事項	<p>できるだけ学生が関心のある中国関係の話題を提供していきたいです。関心のある話題をどんどん出してください。</p>
担当者から一言	<p>コキンちゃん(胡金定の愛称)と楽しく、より多くの中国のことを理解して、将来の人生に役立つようにしていきたいです。</p>
その他	<p>楽しく、身につく授業の雰囲気を出していきたいです。ぜひご期待してください。</p>
ホームページタイトル	<p>{胡金定.com,http://kokintei.com}</p>
URL	<p>http://www.kokintei.com</p>

授業コード	L7405		
授業科目名	中級中国語IV (5クラス)		
担当者名	荊 秉月(ケイ ハイゲツ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 中国語検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金曜日昼(12:15~12:55)		
講義の内容	主として日本語で講義を行う。日本人と中国人のものの見方、考え方、衣食住、風俗習慣、家庭状況、教育問題、環境問題など幅広い分野にわたり、日本と中国の違いを明らかにすることを通して、中国語はもちろんのこと、中国文化ないし日本文化の習得も出来るように工夫していく。中国の変化に注目しながら、自分の判断力による中国像を完成する。		
到達目標	「中国語検定試験」4級、「HSK(漢語水平考試)」2級、「中国語コミュニケーション能力検定」Fレベルに合格できる実力をつけることです。 「中級中国語IV」は、日中両国のさまざまな分野における交流が深まっている今日、言葉だけではなく、広く中国についての一般的知識を習得し、中国人のものの見方や考え方を理解する必要がある。取り扱うテーマは、		

	衣・食・住・風俗習慣・人情・家庭・教育・思考方法・価値観など幅広い分野にわたり、中国文化についての知識の習得と中国語の学習が一度にできるように工夫する。中国の知識の習得を楽しみながら、中国語表現能力も高めるのが到達目標です。
講義方法	授業は、できるだけ学習者の興味が長続きするようにバラエティに富んだ題材を取り上げ、上記の「講義目的」に到達するために、講義には日中両国の文化・習慣の違いに焦点を当て、異文化に対する「認識」を深める。中国の一般常識的な知識の習得にも踏み込んだ授業をも目指す。これらの知識を習得して、さらに「実用」へのステップに繋げる。
準備学習	前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を予習しておくこと。
成績評価	予習・復習の状況、出席回数、授業に取り組む態度を平常点として40%、前・後期の学期末試験の成績は60%です。
講義構成	中国語の語彙や文法や表現などの習得だけではなく、幅広い知識をマスターしてもらうために、次のような講義構成になる。 前期 1回目: 授業内容、成績評価などについての説明、中国概論 2回目: 中国大学生の生活(前半) 3回目: 中国大学生の生活(後半) 4回目: 中国の一人っ子(前半) 5回目: 中国の一人っ子(後半) 6回目: 中国人の家庭(前半) 7回目: 中国人の家庭(後半) 8回目: 中国の女性(前半) 9回目: 中国の女性(後半) 10回目: 中国人の交友(前半) 11回目: 中国人の交友(後半) 12回目: 中国人のパカンス(前期) 13回目: 中国人のパカンス(後期) 14回目: 前期の総復習 15回目: 前期試験 後期 1回目: 前期授業内容及び試験について説明 2回目: 中国人の生活の中のIT(前半) 3回目: 中国人の生活の中のIT(後半) 4回目: 中国の出稼ぎ労働者(前半) 5回目: 中国の出稼ぎ労働者(後半) 6回目: 中国人の環境意識(前半) 7回目: 中国人の環境意識(後半) 8回目: 中国人の飲食(前半) 9回目: 中国人の飲食(後半) 10回目: 中国人の住宅(前半) 11回目: 中国人の住宅(後半) 12回目: 中国人のホワイトカラー(前期) 13回目: 中国人のホワイトカラー(後期) 14回目: 後期の総復習 15回目: 後期試験
教科書	テキスト:『アクティブ中国』 著者:胡金定 荆秉月 衛榕群 鄭萍 陳傑中 出版社:朝日出版社 定価:2200円+税別
参考書・資料	書名:『中日辞典』(第2版) 著者:北京・商務印書館/小学館—共同編集 出版社:小学館 定価:6300円+税
講義関連事項	できるだけ学生が関心のある中国関係の話題を提供していきたいです。関心のある話題をどんどん出してください。
担当者から一言	コキンちゃん(胡金定の愛称)と楽しく、より多くの中国のことを理解して、将来の人生に役立つようにしていきます。
その他	楽しく、身につく授業の雰囲気を出していきたいです。ぜひご期待してください。

ホームページタイトル	{胡金定.com,http://kokintei.com}
URL	http://www.kokintei.com

授業コード	L5101		
授業科目名	中級ドイツ語I (1クラス)		
担当者名	山口 勝(ヤマグチ マサル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	様々なジャンルのドイツ語テキストの講読トレーニングを行う科目である。このために、「基礎ドイツ語」で学んだ文法知識を復習し、補完する。文学作品だけでなく、時事的なテーマの文章を講読することによって、筆者の意図を読み取る能力・思考力を養う。精読によってドイツ語の文構造の正確な把握を目指すと同時に、速読、大意把握等の練習も行う。
到達目標	前期では「ドイツ語技能検定試験」の4級程度、後期では3級程度の語学力をつける。また、1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	1年時の「基礎ドイツ語」で学習した文法事項の復習をいつも念頭において、未習の文法事項に関しては適宜、プリントで解説をして、各自でそれに関する練習問題をしてもらいます。そして、ドイツ語の文構造を見通すことができるように、様々な文章を精読していきます。
準備学習	授業に臨むに当たり、課題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加すること。
成績評価	学年末のテスト60%、課題提出状況や授業時の発表状況40%で評価する。
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习 (4月12日) 2回目 「基礎ドイツ語」で学習した文法事項の復習 3回目 未習の文法事項の導入と練習問題 4回目 未習の文法事項の導入と練習問題 5回目 Lektion 1 6回目 Lektion 1 7回目 Lektion 1 8回目 Lektion 2 9回目 Lektion 2 10回目 Lektion 2 11回目 Lektion 3 12回目 Lektion 3 13回目 Lektion 4 14回目 Lektion 4 15回目 試験 夏休み 1回目 前期に学習した文法項目の確認・復習・補足 2回目 1回目について文法項目の確認・復習・補足 3回目 Lektion 5 4回目 Lektion 5 5回目 Lektion 6 6回目 Lektion 6 7回目 Lektion 7 8回目 Lektion 7 9回目 Lektion 8 10回目 Lektion 8 11回目 Lektion 9 12回目 Lektion 9 13回目 Lektion 10 14回目 Lektion 10 15回目 試験
教科書	Andrea Raab,石井 寿子共著:『時事ドイツ語 09年トピックス』(朝日出版社) 未習の文法項目については、プリントで配布予定

参考書・資料	ドイツ語の文法を体系的に理解するための参考書については、必要になったときに担当教師に尋ねてください。また、長文を精読していくうえで、特にペーパーの辞書を丁寧に引く習慣をつけて、ドイツ語の豊富な語彙や表現方法の多様さに親しんでください。
講義関連事項	中級ドイツ語は4科目あります。是非、すべての科目を履修するような学習計画を立ててください。ドイツ語検定試験は、6月と11月にあります。甲南大学で受験できます。積極的にトライしてください。資格の取得は、将来の就職にも役に立つはずです。
担当者から一言	新しい語学を学習しているという常に新鮮な気持ちを持って、積極的に授業に参加してください。わからないことがある時には、躊躇せずに授業中でも担当教員に質問してください。予習・復習をおこない、特に予習に際しては、辞書を粘り強く引いて、テキストの内容に最適の意味を探り出すようにしてください。その反復作業が語学学習の楽しさにつながります。 また、ドイツ語学習をサポートするために、ドイツ語やドイツ語圏の事柄に関する質問、あるいは留学などについて専任教員と相談できる時間が設けられています。同年代のドイツ人の学習サポートをしてくれるチューターとのコンタクトも積極的に取って、ドイツ語の総合的な技能の習熟に向けて頑張ってください。

授業コード	L5102		
授業科目名	中級ドイツ語I (2クラス)		
担当者名	柳原初樹(ヤナギハラ ハツキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	隔週水曜日昼休み(12時20分から)652教室		

講義の内容	様々なジャンルのドイツ語テキストの講読トレーニングを行う科目である。このために、「基礎ドイツ語」で学んだ文法知識を復習し、補完する。文学作品だけでなく、時事的なテーマの文章を講読することによって、筆者の意図を読み取る能力・思考力を養う。精読によってドイツ語の文構造の正確な把握を目指すと同時に、速読、大意把握等の練習も行う。
到達目標	前期では「ドイツ語技能検定試験」の4級程度、後期では3級程度の語学力をつける。また、1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	前期は、1年次で学んでいないドイツ語の文章構造や文法事項を中心に講義するとともに、様々な文章や練習問題に触れる。また、ドイツ語作文に取り組むことによって、ドイツ語を生み出す力の養成にも重点を置く。 後期は、えられたテキストを精読するとともに、そのテキストの情報を取り出し、ドイツ語で伝える練習を行う。 主体は学習者で、教員は疑問に答え、学習者の自立学習を支援する教授方法を行うつもりである。
準備学習	毎回出される宿題を行うこと。 辞書を持参すること。 ドイツ語で表現する力が身につくように、常に質問を持って臨むこと。
成績評価	定期試験60%+授業中の小テスト20%+宿題10%+発表10%
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习【4月6日(火)～4月12日(月)】 第2回 1年次の復習 発音を中心に 第3回 1年次の復習 動詞を中心に 第4回 受動態の文章(食品関係) 第5回 受動態の文章(食品関係) 第6回 関係代名詞を使った文章 第7回 関係代名詞を使った文章 第8回 比較級、最上級、分詞の用法 第9回 分詞の用法+zu不定詞 第10回 ドイツ語テキスト(国土・人口)に関するを読んでドイツ語での回答作成練習 第11回 ドイツ語テキストを読んでドイツ語での回答作成練習 第12回 ドイツ語テキストを読んでドイツ語での回答作成練習 第13回 統計資料の読み方 数字、平方キロ、分数など

	<p>第14回 接続詞を使って、複文を作ろう 定期試験</p> <p>後期（後期は毎回少しずつドイツ語作文の練習も行う）</p> <p>第1回 前期試験の返却、説明 第2回 夏休みの体験をメールで書いてみよう 第3回 ドイツ人の学生の夏休みの体験を読んで、質問してみよう 第4回 ドイツのニュースをWebで読んでみよう 第5回 ドイツのニュースをWebで読んでみよう 第6回 ドイツのニュースをWebで読んで、内容をまとめてみよう 第7回 ドイツへの旅行計画をドイツ語で書いてみよう 第8回 ドイツへの旅行計画をドイツ語で書いてみよう 第9回 日本のことをドイツ語で紹介してみよう 第10回 接続法の文章 第11回 接続法の文章 第12回 ドイツLiedの鑑賞 第13回 ドイツ料理のレシピを読んで、冬休みに作ってみよう 第14回 まとめ</p>
教科書	文法のコピー資料は、最初の時間に指示するので、生協で購入すること。
参考書・資料	随時、有益なLINKを My KonanにUPしていく。 z.B. { Goethehaus, http://www.goethe.de/ins/jp/pro/goethe-haus/ }
講義関連事項	意欲的な人は、休みにドイツ料理やスイーツのレシピにチャレンジしてください。美味しければ、あなたのドイツ語理解力は確実です。

担当者から一言	<p>楽しく、ゆつくりと、しかし継続して学習して行きましょう。</p> <p>是非、海外語学講座への参加を検討してください。</p>
ホームページタイトル	{多言語学習コンテンツ, http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/ } {Start frei listening, http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=61 } {ドイツ料理やスイーツのレシピ, http://www.marions-kochbuch.de/ }
URL	http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/

授業コード	L5103		
授業科目名	中級ドイツ語I (3クラス)		
担当者名	森田昌美(モリタ マサミ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	様々なジャンルのドイツ語テキストの講読トレーニングを行う科目である。このために、「基礎ドイツ語」で学んだ文法知識を復習し、補完する。文学作品だけでなく、時事的なテーマの文章を講読することによって、筆者の意図を読み取る能力・思考力を養う。精読によってドイツ語の文構造の正確な把握を目指すと同時に、速読、大意把握等の練習も行う。
到達目標	前期では「ドイツ語技能検定試験」の4級程度、後期では3級程度の語学力をつける。また、1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	ドイツ語圏の文化事情を紹介するビデオやDVDなどの視聴覚教材を使いながら、読解テキストに取り組む。ペア・ワーク、グループ・ワークを取り入れ、ペアやグループで課題について発表する形式も取る。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題を済ませていることを前提として、授業を進める場合が多いので、注意すること。予習よりも、むしろ前回の学習内容を復習しておくことが重要である。
成績評価	前期・後期の学期末テスト60%、課題提出状況や授業中の発表、および授業参加状況40%で評価する。
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习 (4月7日)

	2回目 ◆Ferien und Urlaub“「休暇」 3回目 ◆Ferien und Urlaub“「休暇」 4回目 ◆Berlin 1“「ベルリン1」 5回目 ◆Berlin 2“「ベルリン2」 6回目 ◆Jugendliche“「若者たち」 7回目 ◆Jugendliche“「若者たち」 8回目 ◆Lebenslauf und Schulsystem“「履歴と学校制度」 9回目 ◆Lebenslauf und Schulsystem“「履歴と学校制度」 10回目 ◆Lehre und Beruf“「修行と職業」 11回目 ◆Lehre und Beruf“「修行と職業」 12回目 ◆Start Deutsch 1“ 読解・模擬練習問題 13回目 「独検」4級読解・模擬練習問題 14回目 「独検」4級読解・模擬練習問題 15回目 試験 夏休み 1回目 ◆Essen und Trinken“「食べ物と飲み物」 2回目 ◆Essen und Trinken“「食べ物と飲み物」 3回目 ◆Freizeit“「余暇」 4回目 ◆Freizeit“「余暇」 5回目 ◆Frauen und Männer“「女性と男性」 6回目 ◆Frauen und Männer“「女性と男性」 7回目 ◆Feste und Feiern“「祝祭」 8回目 ◆Feste und Feiern“「祝祭」 9回目 ◆Feste und Feiern“「祝祭」 10回目 ◆Deutschland-Außenansichten“「外から見たドイツ」 11回目 ◆Deutschland-Außenansichten“「外から見たドイツ」 12回目 ◆Start Deutsch 2“ 読解・模擬練習問題 13回目 「独検」3級読解・模擬練習問題 14回目 「独検」3級読解・模擬練習問題 15回目 試験
教科書	教科書は使用しません。授業中に使うプリントは、こちらで用意します。ただし、補助教材として、1年次に使用した教科書“Start frei!“を持って来てください。
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	「中級ドイツ語」は4科目あるので、複数の科目を履修できるように、学習計画を立ててください。ドイツ語技能検定試験が、6月と11月に実施されます。甲南大学で受験できますので、積極的にトライしてください。「独検」の資格を取得することは、将来の就職にも役に立つはずです。
担当者から一言	専任教員2名が、ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けています。積極的に活用してください。日程表は授業の際、配布します。

授業コード	L5104		
授業科目名	中級ドイツ語I (4クラス)		
担当者名	長澤麻子(ナガサワ アサコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	様々なジャンルのドイツ語テキストの講読トレーニングを行う科目です。このために、「基礎ドイツ語」で学んだ文法知識を復習し、補完します。文学作品だけでなく、時事的なテーマの文章を講読することによって、筆者の意図を読み取る能力・思考力を養います。精読によってドイツ語の文構造の正確な把握を目指すと同時に、大意把握等の練習も行います。
到達目標	前期では、「ドイツ語技能検定試験」の4級程度、後期では3級程度の語学力をつける。また、1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1/A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	テキストの朗読、大意把握、意味の確認、重要な文法項目の確認や練習が中心となります。また内容についてクラス内で意見交換する時間も設けたいと考えています。

準備学習	授業に臨むにあたり、復習や予習をしておきましょう。教科書付属のCDは聞くだけでなく、復唱やシャドウイングなど、発音練習にも大いに活用してください。
成績評価	学期末のテスト60%、授業参加状況および課題提出状況40%で評価します。
講義構成	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラス編成のため、各自自主学習【4月6日(火)~4月12日(月)】 2. Lektion 1 Feste und Feiern (Text) 3. Lektion 1 Feste und Feiern (・bungen) 4. Lektion 2 Hotel Mama ist immer beliebter (Text) 5. Lektion 2 Hotel Mama ist immer beliebter (・bungen) 6. Lektion 3 Deutsche Schüler sind aktiv! (Text) 7. Lektion 3 Deutsche Schüler sind aktiv! (・bungen) 8. Lektion 4 Einmal darf man durchfallen! (Text) 9. Lektion 4 Einmal darf man durchfallen! (・bungen) 10. Lektion 5 Privatsache? (Text) 11. Lektion 5 Privatsache? (・bungen) 12. Zeitungsartikel 13. Zeitungsartikel 14. 前期のまとめ、試験の準備 15. 前期試験 <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Lektion 6 Zielgerichtet! (Text) 2. Lektion 6 Zielgerichtet! (・bungen) 3. Lektion 7 Verwirrend! (Text) 4. Lektion 7 Verwirrend! (・bungen) 5. Artikel zum Thema "Fall der Berliner Mauer" 6. Artikel zum Thema "Fall der Berliner Mauer" 7. Lektion 8 Wie war doch gleich Ihr Name? (Text) 8. Lektion 8 Wie war doch gleich Ihr Name? (Text) 9. Lektion 8 Wie war doch gleich Ihr Name? (・bungen) 10. Lektion 9 Mensch und Tier (Text) 11. Lektion 9 Mensch und Tier (・bungen) 12. Lektion 10 Gesetz und die Deutschen (Text) 13. Lektion 10 Gesetz und die Deutschen (・bungen) 14. 後期のまとめ、試験準備 15. 後期試験
教科書	ドイツ人を知る9章+1 大谷弘道著 三修社 2,500円+税
参考書・資料	特になし。必要に応じて随時配布します。
講義関連事項	独和辞典は必ず毎回持参してください。
担当者から一言	様々な内容のテキストを読むことによって、ドイツ語力だけでなく、知識や新たな視点を獲得していきましょう。 Viel Spass!

授業コード	L5105		
授業科目名	中級ドイツ語I (5クラス)(後)		
担当者名	新宮 潔(シングウ キヨシ)、須摩 肇(スマ ハジメ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	月曜4限 木曜4限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	様々なジャンルのドイツ語のテキストの講読トレーニングを行う科目です。このために、「基礎ドイツ語」で学んだ文法知識を復習し、補完します。文学作品だけでなく、時事的なテーマの文章を講読することによって、筆者の		

	意図を読み取る能力・思考力を養います。精読によってドイツ語の文構造の正確な把握を目指すと同時に、速読、大意把握等の練習も行います。
到達目標	2人の教員が週2回行う授業により、「ドイツ語技能検定試験」の4～3級程度の語学力を付けます。また、中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身に付けます。
講義方法	読本部分をまず中心にし、CDによる発音確認、その後、それを訳出してから、練習問題をこなしていきます。そしてその過程で、様々な文法表現を学習します。その際にまだ未習の文法事項があれば、文法プリントで確認をしていきます。これにより既習の文法事項を定着させ、確かなものにすることが出来ます。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題と共に前回の学習内容を復習しておいてください。また、予習して授業に参加することが望ましいです。
成績評価	筆記試験50%、発音などの試験30%、小テストや授業への参加度など20%を考慮して評価します。試験がある場合は必ず予告します。
講義構成	1・2回目ガイダンス、文法事項の確認など 3・4回目Kapitel 1, Sport: Traumsieg auf dem Eis 5・6回目同 7・8回目Kapitel 2, Sport: VfL Wolfsburg ist Deutscher Meister 9・10回目同 10・11回目Kapitel 3, Kultur: Die Venus von der Schwäbischer Alb 12・13回目同 14・15回目Kapitel 4, Kultur: Einsturz des Kölner Stadtarchives 16・17回目同 18・19回目Kapitel 5, Wirtschaft: Komasaufen 20・21回目Kapitel 6, Wirtschaft: Wird die Impfung gegen die Schweinegrippe in Deutschland ein Flop ? 22・23回目Kapitel 7, Politik: Hansa Stavanger 24・25回目Kapitel 8, Politik: Grünes Licht fuer zweites Konjunkturpaket 26・27回目Kapitel 9, Wahlen: Historischer Machtwechsel in Japan 28・29回目Kapitel 10, Wahlen: Bundestagswahl bringt Mehrheit fuer Schwarz-Gelb 30回目テスト
教科書	「時事ドイツ語＜’09年トピックス＞」Andrea Raab/石井寿子 朝日出版社 1900円
参考書・資料	文法プリント(授業中に説明します)。電子辞書・ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業に臨んでください。
講義関連事項	中級ドイツ語は4科目あります。是非、全ての科目を履修するような学習計画を立ててください。ドイツ語技能検定試験は、6月と11月にあります。甲南大学で受験できますので、積極的にトライしてください。資格の取得は、将来の就職にも役に立つはずで。

担当者から一言	とにかく楽しくしましょう！質問があれば、どんどんしてください！
---------	---------------------------------

授業コード	L5201		
授業科目名	中級ドイツ語II (1クラス)		
担当者名	ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜1限)、後期(月曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語を【話し】、【聞く】、実績的な運用能力を磨く科目である。この学習目標のために、ドイツ語を母語とする教員の指導によるコミュニカティブな学習環境の中で、相手の意向を理解し、基礎的なドイツ語で自分の考えを相手に伝えるトレーニングを行う。
到達目標	1年間の中級ドイツ語の学習のよって、『ヨーロッパ共通参照枠』の A1、A2 レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	新しい言葉、文法と表現や発音を練習してから、適当な場面で応用の練習が行う。教科書の内容を将来の職場で運用する能力も身につける。国際コミュニケーションにも役に立っている。 ドイツのことがもっと近く感じるためにドイツから持ってきた教科書以外の資料もたくさん使っている。 【聞く】練習する場合には音楽とビデオも使っている。その上に、教科書の内容がもっと深く理解ができるためにドイツの文化と社会の情報も勉強する。

	ドイツ語の勉強少しだけでも楽するために効果的な学習方法も身につける。それはドイツ語だけではなくて英語などの外国語の勉強にも役に立っている。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストと課題および授業参加状況40%で評価する。
講義構成	<p>1回目 クラスの編成のため、各自自主学習【4月6日(火)~4月12日(月)】</p> <p>2回目 Start frei! の補足</p> <p>3回目 Start frei! の補足</p> <p>4回目 Start frei! の補足</p> <p>5回目 Lektion 1 Reise und Verkehr</p> <p>6回目 Lektion 1</p> <p>7回目 Lektion 2 Im Restaurant und im Hotel</p> <p>8回目 Lektion 2</p> <p>9回目 Lektion 3 In der Stadt</p> <p>10回目 Lektion 3</p> <p>11回目 Lektion 4 Wetter</p> <p>12回目 Lektion 4</p> <p>13回目 Lektion 5 Koerper und Koerperpflege</p> <p>14回目 Lektion 5</p> <p>15回目 試験</p> <p>夏休み</p> <p>1回目 Lektion 6 Geschenke und Einladung</p> <p>2回目 Lektion 6 (Start Deutsch対策)</p> <p>3回目 Lektion 7 Personenbeschreibung</p> <p>4回目 Lektion 7 (Start Deutsch対策)</p> <p>5回目 Lektion 8 Muell und Umwelt</p> <p>6回目 Lektion 8 (Start Deutsch対策)</p> <p>7回目 Lektion 9 Verbote und Gebote</p> <p>8回目 Lektion 9 (Start Deutsch対策)</p> <p>9回目 Lektion 10 Lebenslauf und Schulsystem</p> <p>10回目 Lektion 10 (Start Deutsch対策)</p> <p>11回目 Lektion 11 Feste und Feiertage</p> <p>12回目 Lektion 11 (Start Deutsch対策)</p> <p>13回目 Lektion 12 Jahresende und -anfang</p> <p>14回目 Lektion 12</p> <p>15回目 試験</p>
教科書	Szenen 2 integriert (三修社)
参考書・資料	電子辞書、ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業の望むこと。
講義関連事項	中級ドイツ語は4科目あります。是非、すべての科目を履修するような学習計画を立てください。ドイツ語技能検定試験は、6月と11月にあります。甲南大学で受験できます。積極的にトライしてください。資格の取得は、将来の就職にも役に立つはずです。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容と学習方法に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けています。積極的に活用してください。

授業コード	L5202		
授業科目名	中級ドイツ語II (2クラス)		
担当者名	ツァイトラー(ツァイトラー ローランド E.)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	ドイツ語を「話し」・「聞く」、実践的な運用能力を磨く科目である。この学習目標のために、ドイツ語を母語とする教員の指導によるコミュニケーション学習環境の中で、相手の意向を理解し、基礎的なドイツ語で自分の考えを		

	相手に伝えるトレーニングを行う。
到達目標	1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	各課の重要な点を、ペアあるいはグループで練習すると同時に、実際のコミュニケーション場面でも使用できるように応用練習も行う。 ビデオなどを通して、ドイツの生活や文化についても紹介する。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。 【自由・但し学期末の試験を行うこと、また、評価は学期末の試験でのみでは判断しない】
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习【4月12日(月)】 2回目 Start frei!の補足 3回目 Start frei!の補足 4回目 Start frei!の補足 5回目 Lektion 1 Reise und Verkehr 6回目 Lektion 1 7回目 Lektion 2 Im Restaurant und im Hotel 8回目 Lektion 2 9回目 Lektion 3 In der Stadt 10回目 Lektion 3 11回目 Lektion 4 Wetter 12回目 Lektion 4 13回目 Lektion 5 Krankheit und Körperpflege 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み 1回目 Lektion 6 Geschenke und Einladung 2回目 Lektion 6 (Start Deutsch対策) 3回目 Lektion 7 Personenbeschreibung 4回目 Lektion 7 (Start Deutsch対策) 5回目 Lektion 8 M・II und Umwelt 6回目 Lektion 8 (Start Deutsch対策) 7回目 Lektion 9 Verbote und Gebote 8回目 Lektion 9 (Start Deutsch対策) 9回目 Lektion 10 Lebenslauf und Schulsystem 10回目 Lektion 10 (Start Deutsch対策) 11回目 Lektion 11 Feste und Feiertage 12回目 Lektion 11 (Start Deutsch対策) 13回目 Lektion 12 Jahresende und -anfang 14回目 Lektion 12 15回目 試験
教科書	Szene 2 integriert(三修社)
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、準備して授業に臨むこと。
講義関連事項	中級ドイツ語は4科目あります。是非、すべての科目を履修するような学習計画を立ててください。 ドイツ語技能検定試験は、6月と11月にあります。甲南大学で受験できます。積極的にトライしてください。資格の取得は、将来の就職にも役に立つはずです。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けています。積極的に活用してください。

授業コード	L5203		
授業科目名	中級ドイツ語II (3クラス)		
担当者名	ライヒャート(ライヒャート . マティーアス)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜4限)、後期(水曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。		

	ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。
講義の内容	ドイツ語を「話し」・「聞く」、実践的な運用能力を磨く科目である。この学習目標のために、ドイツ語を母語とする教員の指導によるコミュニケーションな学習環境の中で、相手の意向を理解し、基礎的なドイツ語で自分の考えを相手に伝えるトレーニングを行う。
到達目標	1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	各課の重要な点を、ペアあるいはグループで練習すると同時に、実際のコミュニケーション場面でも使用できるように応用練習も行う。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。
成績評価	学期末のテスト(筆記、口答)50%、課題提出状況10%、授業中の小テスト10%、授業参加状況30%で評価する。
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习。(4月7日) 2回目 Start frei!の補足 3回目 Start frei!の補足 4回目 Start frei!の補足 5回目 Lektion 1 Reise und Verkehr 6回目 Lektion 1 7回目 Lektion 2 Im Restaurant und im Hotel 8回目 Lektion 2 9回目 Lektion 3 In der Stadt 10回目 Lektion 3 11回目 Lektion 4 Wetter 12回目 Lektion 4 13回目 Lektion 5 Krankheit und Körperpflege 14回目 Lektion 5 15回目 試験 夏休み 1回目 Lektion 6 Geschenke und Einladung 2回目 Lektion 6 (Start Deutsch対策) 3回目 Lektion 7 Personenbeschreibung 4回目 Lektion 7 (Start Deutsch対策) 5回目 Lektion 8 M・II und Umwelt 6回目 Lektion 8 (Start Deutsch対策) 7回目 Lektion 9 Verbote und Gebote 8回目 Lektion 9 (Start Deutsch対策) 9回目 Lektion 10 Lebenslauf und Schulsystem 10回目 Lektion 10 (Start Deutsch対策) 11回目 Lektion 11 Feste und Feiertage 12回目 Lektion 11 (Start Deutsch対策) 13回目 Lektion 12 Jahresende und -anfang 14回目 Lektion 12 15回目 試験
教科書	Szenen 2 integriert(三修社)
参考書・資料	電子辞書・ペーパー辞書どちらも構わないので、復習の為に準備すること。授業に臨むことは禁止でもないが、少ないめに使うこと。分からない単語は、全体のテキストの読み取りに大切か考えながら、先ずパートナーに、次に先生に聞いて望ましい。憶えてないことが多くて、習った所を教えることにする。辞書はコミュニケーションの敵になること分かって欲しい。
講義関連事項	中級ドイツ語は4科目あります。是非、すべての科目を履修するような学習計画を立ててください。ドイツ語技能検定試験は、6月と11月にあります。甲南大学で受験できます。積極的にトライしてください。資格の取得は、将来の就職にも役に立つはずです。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間が設定されています。時間は授業中に連絡します。積極的に活用してください。
授業コード	L5204

授業科目名	中級ドイツ語II (4クラス)		
担当者名	スイタ(スイタ バーバラ ドロテア)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	授業終了後		

講義の内容	<p>各テーマに基づいて、場面にふさわしい会話を学びます。授業では、ドイツ語でロールプレイを行い、それを通じてドイツ語を習得します。</p> <p>①質問をし、聞いたことを理解し、そしてそれが復唱できること ②テーマに沿った会話練習 ③対話において自由に話す ④文法理解を通しての明瞭な会話文作成</p> <p>Freie Kommunikation in der deutschen Sprache wird erreicht durch Themen orientierte Rollenspiele im Unterricht.</p> <p>①Fragen stellen,Gehoertes verstehen und wiedergeben koennen ②Themengebundene Sprechuebungen ③ In Dialogen frei sprechen ④Gut verstaendlicher Satzbau, durch grammatisches Verstaendnis</p>
到達目標	1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	会話練習とロールプレイを通して言語知識を深める。 Durch Uebungen und Rollenspiel spielerisch zum Sprachwissen gelangen.
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。
成績評価	宿題、テスト、授業への積極的な参加、学習した対話を場面に応じて演じ、自由に話す。 Hausaufgaben, Tests, aufmerksame Mitarbeit, einstudierte Dialoge spielen, frei spechen
講義構成	<p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习 【4月8日(木)】</p> <p>2回目 Start frei!の補足</p> <p>3回目 Start frei!の補足</p> <p>4回目 Start freiの補足</p> <p>5回目 Lektion 1 Reise und Verkehr</p> <p>6回目 Lektion 1</p> <p>7回目 Lektion 2 Im Restaurant und im Hotel</p> <p>8回目 Lektion 2</p> <p>9回目 Lektion 3 In der Stadt</p> <p>10回目 Lektion 3</p> <p>11回目 Lektion 4 Wetter</p> <p>12回目 Lektion 4</p> <p>13回目 Lektion 5 Krankheit und K?rperpflege</p> <p>14回目 Lektion 5</p> <p>15回目 試験</p> <p>夏休み</p> <p>1回目 Lektion 6 Geschenke und Einladung</p> <p>2回目 Lektion 6 (Start Deutsch対策)</p> <p>3回目 Lektion 7 Personenbeschreibung</p> <p>4回目 Lektion 7 (Start Deutsch対策)</p> <p>5回目 Lektion 8 M?ll und Umwelt</p> <p>6回目 Lektion 8 (Start Deutsch対策)</p> <p>7回目 Lektion 9 Verbote und Gebote</p> <p>8回目 Lektion 9 (Start Deutsch対策)</p> <p>9回目 Lektion 10 Lebenslauf und Schulsystem</p> <p>10回目 Lektion 10 (Start Deutsch対策)</p> <p>11回目 Lektion 11 Feste und Feiertage</p> <p>12回目 Lektion 11 (Start Deutsch対策)</p> <p>13回目 Lektion 12 Jahresende und -anfang</p> <p>14回目 Lektion 12</p> <p>15回目 試験</p>

	※変更することもあります
教科書	Szenen 2 integriert
担当者から一言	皆さんの必要に応じて、個別に相談に乗ります。 皆さんの興味を授業に生かしていきたいと思えます。 楽しく学んで、目標を達成しましょう。 Bei Bedarf individuelle Beratung. Mit Uebung und Spass zum Erfolg !

授業コード	L5205		
授業科目名	中級ドイツ語II (5クラス)(前)		
担当者名	スイタ(スイタ バーバラ ドロテア)、ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	月曜4限 木曜4限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語を【話し】、【聞く】、実績的な運用能力を磨く科目である。この学習目標のために、ドイツ語を母語とする教員の指導によるコミュニカティブな学習環境の中で、相手の意向を理解し、基礎的なドイツ語で自分の考えを相手に伝えるトレーニングを行う。
到達目標	半年間の中級ドイツ語の学習のよって、[ヨーロッパ共通参照枠] の A1、A2 レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	新しい言葉、文法と表現や発音を練習してから、適当な場面で応用の練習が行う。教科書の内容を将来の職場で運用する能力も身につける。国際コミュニケーションにも役に立っている。 ドイツのことがもっと近く感じるためにドイツから持ってきた教科書以外な資料もたくさん使っている。 【聞く】練習する場合には音楽とビデオも使っている。その上に、教科書の内容がもっと深く理解ができるためにドイツの文化と社会の情報も勉強する。 ドイツ語の勉強少しだけでも楽するために効果的な学習方法も身につける。それはドイツ語だけではなくて英語などの外国語の勉強にも役に立っている。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストと課題および授業参加状況40%で評価する。
講義構成	1回目・2回目 クラスの編成のため、各自自主学习【4月6日(火)~4月12日(月)】 3回目 Start frei! の補足 4回目 Start frei! の補足 5回目 Lektion 1 Reise und Verkehr 6回目 Lektion 1 7回目 Lektion 2 Im Restaurant und im Hotel 8回目 Lektion 2 9回目 Lektion 3 In der Stadt 10回目 Lektion 3 11回目 Lektion 4 Wetter 12回目 Lektion 4 13回目 Lektion 5 Koerper und Koerperpflege 14回目 Lektion 5 15回目 テスト 16回目 Lektion 6 Geschenke und Einladung 17回目 Lektion 6 (Start Deutsch対策) 18回目 Lektion 7 Personenbeschreibung 19回目 Lektion 7 (Start Deutsch対策) 20回目 Lektion 8 Muell und Umwelt 21回目 Lektion 8 (Start Deutsch対策) 22回目 Lektion 9 Verbote und Gebote 23回目 Lektion 9 (Start Deutsch対策) 24回目 Lektion 10 Lebenslauf und Schulsystem 25回目 Lektion 10 (Start Deutsch対策)

	26回目 Lektion 11 Feste und Feiertage 27回目 Lektion 11 (Start Deutsch対策) 28回目 Lektion 12 Jahresende und -anfang 29回目 Lektion 12 30回目 試験
教科書	Szenen 2 integriert (三修社)
参考書・資料	電子辞書、ペーパー辞書どちらでも構わないので、準備して授業の望むこと。
講義関連事項	中級ドイツ語は4科目あります。是非、すべての科目を履修するような学習計画を立ててください。 ドイツ語技能検定試験は、6月と11月にあります。甲南大学で受験できます。積極的にトライしてください。 資格の取得は、将来の就職にも役に立つはずでず。
担当者から一言	ドイツ語学習をサポートするために、授業内容と学習方法に関する質問やドイツ語圏に関する質問、あるいは留学などについて相談する時間を設けています。積極的に活用してください。

授業コード	L5301		
授業科目名	中級ドイツ語Ⅲ(1クラス)		
担当者名	長澤麻子(ナガサワ アサコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	【実用ドイツ語】 この授業は、「ドイツ語技能検定試験」の3級または4級、および国際的なドイツ語試験のA1・A2レベルの資格取得を目指す科目です。そのために、基礎ドイツ語で学習した文法知識の補い、「読む」「書く」「聞く」の3技能のバランス良い養成を目指します。さらに、実用的な手紙文の書き方の指導などにより、ドイツ語の国際的な試験合格のための基礎づくりを行います。
到達目標	前期では「ドイツ語技能検定試験」の4級程度、後期では3級程度の語学力をつけることを、また、1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につけることを目標とします。
講義方法	前期は、1年次で学習した内容の重点的な復習と新しい文法事項の学習を中心に行います。聞き取り練習や、基本語彙を確実に身につけるための単語テストも、原則毎時間行う予定です。後期は、新しい文法事項の学習に加えて、ドイツ語技能検定試験4級・3級の過去問題やStart Deutschの練習問題を通じて、試験に向けた応用力を養います。
準備学習	年間の予定表を授業時に配布しますので、それにしたがって、宿題のほかに、予習復習をしてください。少なくとも分からない単語は事前に下調べをしてください。
成績評価	検定試験の合格と平常点および学期末の試験で、総合的に評価します。とくに独語検定試験の結果は重要です。
講義構成	<前期> (検定試験: 6月27日(日)) 1回目 各自自習学習 2回目 Start frei! の補足(第14課 動詞の3基本形) 3回目 Start frei! の補足(第15課 現在完了形) 4回目 表記と発音 5回目 第1課動詞の現在人称変化 6回目 第2課規則変化動詞 7回目 第3課不規則変化動詞(1)・名詞類の格変化 8回目 第4課不規則変化動詞(2)・人称代名詞 9回目 第5課不規則変化動詞(3)・定冠詞と不定冠詞 10回目 第6課名詞の格変化と複数形 11回目 第7課不定冠詞類・話法の助動詞の変化 12回目 第8課命令形・話法の助動詞の用法 13回目 第9課定冠詞類・前置詞の各支配 14回目 第10課3・4格支配の前置詞・融合形 15回目 試験 <後期> (検定試験: 11月23日(祝)、Start Deutsch: 12月中旬)

	<p>1回目 第11課不定代名詞・所有冠詞の名詞的用法 2回目 第12課形容詞の格変化と名詞的用法 3回目 第13課分離動詞と非分離動詞 4回目 第17課 再帰動詞・非人称動詞 5回目 第18課 定動詞の位置・接続詞(1) 6回目 第19課 接続詞(2) 7回目 第20課 形容詞と副詞の比較表現 8回目 長文読解 【模擬試験】 9回目 長文読解(独検過去問題) 10回目 長文読解 (独検過去問題) 11回目 第14課過去人称変化・Start Deutsch対策 12回目 第15課完了不定詞・過去完了・Start Deutsch対策 13回目 第16課未来と未来完了・Start Deutsch対策 14回目 まとめ 15回目 試験</p>
教科書	岸孝信著『コンパクトドイツ語文法一わかる！つかえる！(Deutsche Grammatik-kompakt!+praktisch!)』(郁文堂)
参考書・資料	<p>1) 辞書:必ず用意してください。 『クラウン独和辞典』(三省堂) 『新アクセス独和辞典』(三修社) 『新アポロン独和辞典』(同学社)などの中辞典以上の辞書、 または電子辞書。</p> <p>2) 独検参考書:在間進・亀ヶ谷昌秀著『独検合格4週間4級』(第三書房) 在間進・亀ヶ谷昌秀著『独検合格4週間3級』(第三書房)</p> <p>3) 自習用文法参考書:『ドイツ語のスタートライン』(在間進著、三修社) 『ドイツ語文法』(平山令二著、中央大学出版部) 『マイスタードイツ語コース<文法>』(関ロー郎著、大修館書店) 『ドイツ語の基本』(第二版)(モニカ・ライマン著、三修社) 『必携ドイツ文法総まとめ』(改訂版)(中島悠爾ほか著、白水社)</p>
講義関連事項	<p>1) 独検についての情報 独検Online (http://www.dokken.or.jp/)</p> <p>2) ドイツ語学習サイト ゲーテ・インスティテュート http://www.goethe.de/Ins/jp/osa/jaindex.htm (ドイツ語で学ぶ、オンラインで学ぶドイツ語)</p> <p>ドイチェ・ヴェレ http://www.dw-world.de/ (DeutschkurseまたはGerman Courses)</p>
担当者から一言	独語検定試験は甲南大学で受験できます。確実に合格するためには、他の中級科目(とくに中級1)を平行して選択することをおすすめします。また、検定は大学を卒業してからも有効な技能証明になります。是非チャレンジしてください。

授業コード	L5302		
授業科目名	中級ドイツ語Ⅲ(2クラス)		
担当者名	柳原初樹(ヤナギハラ ハツキ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(火曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	隔週水曜日昼休み(12:20から)652教室		
講義の内容	【実用ドイツ語】 「ドイツ語技能検定試験」の3級または4級、および国際的なドイツ語試験のA1・A2レベルの資格取得を目指す科		

	目である。このため、基礎ドイツ語で学習した文法知識の補完、「読む」「書く」「聞く」の3技能のバランス良い養成を目指す。さらに、実用的な手紙文の書き方の指導などにより、ドイツ語の国際的な試験合格のための基礎づくりを行う。
到達目標	前期では「ドイツ語技能検定試験」の4級程度、後期では3級程度の語学力をつける。また、1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。
講義方法	前期の講義では、一年次で学習した内容の重点的な復習と新しい文法事項の学習を中心とする。聞き取り練習や、基本語彙を確実に身につけるための単語テストも、原則毎時間行う予定である。後期は、ドイツ語技能検定試験4級・3級の過去問題やStart Deutschの練習問題を通じて、試験に向けて応用力も養う。
準備学習	授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。特に聞き取りは、各自授業以外でもiPodnなどを使用して、慣れておくこと。 My Konanwを活用するので、定期的に確認しておくこと。
成績評価	学期末のテスト60%、課題提出状況や授業中の小テストおよび授業参加状況40%で評価する。ただし、3級合格者は特別加算がなされる。
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习【4月6日(火)～4月12日(月)】 2回目 Start frei!の補足 3回目 Start frei!の補足 4回目 Start freiの補足 5回目 過去問題での模擬試験 6回目 聞き取り試験への対応 単語のアクセントや文章のイントネーション等 7回目 4級で求められる文法事項(前置詞のイディオムと格変化を中心に) 8回目 ドイツ文化センターのWebを使つての聞き取り 9回目 ドイツ文化センターのWebを使つての聞き取り (http://www.goethe.de/ins/jp/pro/goethe-haus/) 10回目 接続詞を使った作文練習 11回目 読解問題 12回目 読解問題 13回目 読解問題 14回目 まとめ 15回目 試験 夏休み 1回目 前期試験の解答 2回目 現在完了形を使って夏休みの体験を表現しよう 3回目 現在完了形を使って夏休みの体験を表現しよう 4回目 3級試験の聞き取り (+Start Deutsch対策) 5回目 3級試験で求められる文法事項 (+Start Deutsch対策) 6回目 読解 (http://www.goethe.de/ins/jp/pro/goethe-haus/) 7回目 読解 (http://www.goethe.de/ins/jp/pro/goethe-haus/) 8回目 読解 (http://www.goethe.de/ins/jp/pro/goethe-haus/) 9回目 数字、年代の聞き取り 10回目 イディオム (+Start Deutsch対策) 11回目 イディオム 12回目 ドイツ語のWebを読む (+Start Deutsch対策) 13回目 ドイツ語のWebを読む 14回目 Start Deutsch対策のまとめ 15回目 試験
教科書	『独検合格らくらく30日』 飯島一泰著 2100円
講義関連事項	{ http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=61 }
担当者から一言	自分の実力を検定試験で形に残しましょう。 検定試験受検費用の一部が、父母の会から援助されます！
ホームページタイトル	{多言語学習コンテンツ, http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/ }
URL	http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/

授業コード	L5303
-------	-------

授業科目名	中級ドイツ語Ⅲ(3クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	金2時間目および随時(アポイントをとってください。)		

講義の内容	<p>実用ドイツ語 「ドイツ語技能検定試験」の3級または4級、および国際的なドイツ語試験のA1・A2レベルの資格取得を目指す科目である。このため、基礎ドイツ語で学習した文法知識の補完、「読む」「書く」「聞く」の3技能のバランス良い養成を目指す。さらに、実用的な手紙文の書き方の指導などにより、ドイツ語の国際的な試験合格のための基礎づくりを行う。</p>
到達目標	<p>前期では「ドイツ語技能検定試験」の4級程度、後期では3級程度の語学力をつける。また、1年間の中級ドイツ語の学習によって、『ヨーロッパ共通参照枠』のA1・A2レベルの総合的コミュニケーション能力を身につける。</p>
講義方法	<p>前期の講義では、一年次で学習した内容の重点的な復習と新しい文法事項の学習を中心とする。聞き取り練習や、基本語彙を確実に身につけるための単語テストも、原則毎時間行う予定である。後期は、ドイツ語技能検定試験4級・3級の過去問題やStart Deutschの練習問題を通じて、試験に向けて応用力も養う。</p>
準備学習	<p>授業に臨むに当たり、宿題とともに前回の学習内容を復習しておくこと。また、予習して授業に参加することが望ましい。</p>
成績評価	<p>講義時の課題への取り組み状況と各学期末試験の成績、ドイツ語技能検定試験の結果、授業での小テストの結果も考慮して以下のように評価する。</p> <p>学期末テスト: 60% 課題(および小テスト): 20% 授業への積極的参加など: 20%</p>
講義構成	<p>1回目 クラス編成のため、各自自主学习 【4月6日(火)～4月12日(月)】 2回目 Start frei!の補足 3回目 Start frei!の補足 4回目 Start freiの補足 5回目 Modelle 1 Lektion 1 6回目 同上 7回目 Modelle 1 Lektion 2 8回目 同上 9回目 Modelle 1 Lektion 3 10回目 同上 11回目 Modelle 1 Lektion 4 12回目 同上 13回目 Modelle 1 Lektion 5 14回目 同上 15回目 試験 夏休み 1回目 Modelle 1 Lektion 6 2回目 同上 (+Start Deutsch対策) 3回目 Modelle 1 Lektion 7 4回目 同上 (+Start Deutsch対策) 5回目 Modelle 1 Lektion 8 6回目 同上 (+Start Deutsch対策) 7回目 Modelle 1 Lektion 9 8回目 同上 (+Start Deutsch対策) 9回目 Modelle 1 Lektion 10 10回目 同上 (+Start Deutsch対策) 11回目 同上 12回目 Modelle 1 Lektion 11 13回目 同上 14回目 同上 15回目 試験</p>
教科書	<p>問題発見のドイツ語 Modelle1ー改訂版ー及び</p>

	適宜、プリント教材を配布する。
講義関連事項	6号館の学習指導室でドイツ語関連の質問を受け付けています。是非、有効に活用してください。日時は、授業内でお知らせします。
担当者から一言	ドイツ語技能検定試験は、6月と11月にあります。甲南大学で受験できます。積極的にトライしてください。資格の取得は、将来の就職にも役に立つはず。オーストリア政府公認ドイツ語検定試験も甲南大学で受験できるように調整しています。
ホームページタイトル	国際言語文化科目の概要 http://www.konan-u.ac.jp/center/kokusai/index.htm 多言語学習コンテンツ http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/msc/

授業コード	L5401		
授業科目名	中級ドイツ語Ⅳ(1クラス)		
担当者名	リングホーファー(リングホーファー マンフレッド)、本出保史(ホンデ ヤスフミ)、伊藤麻希子(イトウ マキコ)、長澤麻子(ナガサワ アサコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	ドイツ語圏おもにドイツの社会的・文化的な実情を学ぶ科目である。テキストやビデオ映像、インターネット情報などを活用しながら幅広く学習する。生きたドイツの実情に触れながら、ドイツ語力の向上を図るとともに、多角的な視野からドイツ語圏の人々を理解し、その社会が抱える問題への洞察を深め、異文化理解を促す。また、日本の事情と対比することで、異文化だけでなく自文化についての理解を深める。
到達目標	ドイツ語圏に関する社会的、文化的知識を得ることができる。異文化に対する意識を高めることにより、世界の多様性に対する開かれた態度を養うこと、それによってステレオタイプに基づいた他者理解を乗り越える力を身につけることを目指す。
講義方法	教員の講義とテーマごとの学生の発表 受講者は、それぞれの担当教員と最初の時間に発表テーマを打ち合わせ、発表日を決定するように。 本出、伊藤の担当授業においては発表は予定していないが、正確なテキストの朗読や課題提出が求められる。
準備学習	リングホーファー: 祭りについて、参考文献やインターネットで調べておくことが望ましい。 本出: 中級ドイツ語の講義故、基礎ドイツ語で未習得の韻文の読解力を養う事とする。授業では担当者作成のプリントを使用。成績判定はレポートによるものとする。 長澤: ヨーロッパユダヤ人の歴史や文化的貢献に関して、参考文献を読むことが望ましい。 伊藤: 日常からクラシック音楽に触れてください。
成績評価	レポートの内容(75%)と授業中の発言、質疑応答(25%) 成績の最終評定は長澤が行う。
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习 【4月6日(火)～4月12日(月)】 リングホーファー担当 2回目 ヨーロッパ(ドイツ語圏)の祭りについて 復活祭I (Palmsonntag/Karfreitag) 3回目 復活祭II(Ostermontag) 4回目 Fronleichnam, Samson等 5回目 収穫感謝祭(Erntedankfest,Almabtrieb)等 6回目 クリスマスI (Nikolaus) 7回目 クリスマスII (Advent) 8回目 クリスマスIII(Weihnachten 24.12 -26.12)

	<p>9回目 大晦日、新年(Silvester/Neujahr) 10回目 Karneval,Fasching (レポート提出)</p> <p>本出担当: ウィーン古典派以来育まれてきたdeutsche Lieder=ドイツ(芸術)歌曲の伝統は、所謂ロマン派の作曲家シューベルトによって大きく花開くに至った。限られた講義回数の中で、彼を中心にやがてシューマンやブラームスに引き継がれてゆく伝統を見据えながら、歌詞と楽曲の稀有な結びつきを考察し、鑑賞する。</p> <p>11回目 シューベルトについて 12回目 シューベルトのLiedについて 13回目 シューベルトの音楽の特色について 14回目 シューベルトが後世に与えた影響について (レポート提出)</p> <p>後期</p> <p>長澤担当;ドイツ語圏文化におけるユダヤ人の歴史</p> <p>1回目 イントロダクション:ドイツ語圏文化におけるユダヤ人の歴史 2回目 キリスト教世界におけるユダヤ 3回目 中世・近世のユダヤ人共同体の発展とヨーロッパの経済的流通 4回目 啓蒙時代とメンデルスゾーン一族:政治、銀行、音楽を舞台に。 5回目 ベルリンとパリ:芸術サロンとユダヤ人ジャーナリスト(ラーエル、ハイネ、ベルネ) 6回目 近代ユダヤ誕生:ドイツとの誤った友情、フランクフルトのユダヤ人企業家オープンハイム 7回目 帝政オーストリアとユダヤ人:フロイト、ヨーゼフ・ロート、カフカ 8回目 世紀末ウィーン:芸術の都とユダヤ人(マーラー、ホフマンスタールほか) 9回目 反ユダヤ主義とシオニズム運動、ナチス・ドイツの人種政策へ 10回目 亡命ユダヤ人の歴史的遺産:アインシュタイン、トーマス・マン、クルト・ヴァイル 11回目 イスラエル建国とパレスチナ問題</p> <p>伊藤担当</p> <p>12回目 ドイツのクリスマスソング 13回目 ドイツのクリスマスソング</p> <p>長澤 14回目 総括 (レポート提出)</p>
教科書	授業中に資料を配布する。
参考書・資料	<p>『ヨーロッパの祭りたち』 浜本隆志/柏木治著 明石書店 『クリスマスおもしろ事典』 日本キリスト教団出版局</p> <p>一連のシューベルト歌曲集(全音楽譜出版社)、 Dietrich Fischer-Dieskau 『シューベルトの歌曲をたどって』(白水社)など。</p> <p>『ユダヤ人の「ドイツ」』ジョージ・L.モッセ(講談社選書メチエ)。その他は授業時に、随時、指示します。</p>
担当者から一言	<p>楽しく、ゆっくりと、しかし確実にドイツ語圏の文化や歴史に触れましょう。 歴史的に、また、現代でも、ドイツ語圏の国々は、文化だけでなく政治や経済の領域においても、ヨーロッパ社会で重要な役割を果たしています。ドイツ語圏文化を学ぶことで、みなさんのヨーロッパ理解、異文化理解も深まることでしょう。</p> <p>中級ドイツ語Iを並行して履修することが望ましい。</p>
ホームページタイトル	Yahooの「ジオシティーズ」ヨーロッパの歴史地図
URL	http://www.geocities.jp/europiap/

授業コード	L5402
-------	-------

授業科目名	中級ドイツ語Ⅳ (2クラス)		
担当者名	柳原初樹(ヤナギハラ ハツキ)、ゲッシュ(ベッティーナ B. ゲッシュ)、伊藤麻希子(イトウ マキコ)、高坂純子(コウサカ ジュンコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜3限)、後期(火曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	隔週水曜日12時20分から652教室		

講義の内容	ドイツ語圏おもにドイツの社会的・文化的な実情を学ぶ科目である。テキストやビデオ映像、インターネット情報などを活用しながら幅広く学習する。生きたドイツの実情に触れながら、ドイツ語力の向上を図るとともに、多角的な視野からドイツ語圏の人々を理解し、その社会が抱える問題への洞察を深め、異文化理解を促す。また、日本の事情と対比することで、異文化だけでなく自文化についての理解を深める。
到達目標	ドイツ語圏に関する社会的、文化的知識を得ることができる。異文化に対する意識を高めることにより、世界の多様性に対する開かれた態度を養うこと、それによってステレオタイプに基づいた他者理解を乗り越える力を身につけることを目指す。
講義方法	前期は、教員の講義と受講者のテーマごとの発表。 後期は、主に教員の講義 後期は、発表が無くても、与えられた課題をリサーチすることが求められる。
準備学習	指定された参考文献の該当箇所や配布された資料を事前に読んでおくこと。また、課された問題を提出すること。 My Konanで指定されたURL LINK などにも事前に触れてもらう。
成績評価	レポート(70%)+発表(20%)+授業での質疑応答(10%)
講義構成	1回目 クラス編成のため、各自自主学习【4月6日(火)～4月12日(月)】 柳原担当 (ドイツ語圏の歴史と文化) 2回目 現代ドイツとEU、 3回目 戦後ドイツの軌跡(ドイツの犯罪と謝罪) 4回目 ドイツ語、ドイツ人、ドイツ語圏の起源(9世紀から12世紀) 5回目 十字軍とは何だったのか 皇帝と教皇の関係(13世紀から16世紀) 6回目 ドイツ語圏の音楽 中世キリスト教音楽と建築・美術 7回目 宗教改革から30年戦争 8回目 ハプスブルクとプロイセン 9回目 ドイツ語圏の音楽 バロック、ロココの音楽 10回目 ドイツ語圏の音楽 古典主義とロマン派の音楽 11回目 ナポレオンとドイツ 12回目 蘇るカントの平和思想 13回目 ドイツ帝国成立から第二次大戦まで 14回目 明治以降の日本とドイツの関係 後期 柳原担当 1回目 ドイツの環境産業 2回目 移民国家ドイツにおける外国人との共生 (レポート提出) ゲッシュ担当 3回目 ドイツ語圏の美術・建築 4回目 ドイツ語圏の美術・建築 5回目 ドイツ語圏の美術・建築 6回目 ドイツ語圏の美術・建築

	<p>(レポート提出)</p> <p>高坂担当</p> <p>7回目 戦争の20世紀と芸術家たち (ケーテ・コルビッツ) 8回目 戦争の20世紀と芸術家たち (ケーテ・コルビッツ) 9回目 戦争の20世紀と芸術家たち (エルンスト・バルラハ) 10回目 戦争の20世紀と芸術家たち (オットー・ディックス)</p> <p>(レポート提出)</p> <p>伊藤担当</p> <p>11回目 ドイツの歌曲 12回目 ドイツのクリスマスソング 13回目 ドイツのクリスマスソング</p> <p>14回目 総括 柳原</p>
教科書	<p>岩波新書『ドイツ史10講』 坂井栄八郎著 (777円)</p> <p>その他資料を配布する。</p>
参考書・資料	<p>『最新ドイツ事情を知るための50章』 柳原初樹著 明石書店</p> <p>図説『ドイツの歴史』 石田勇治著</p> <p>Immanuel Kant (池内紀訳)『永遠平和のために』 総合社発行</p> <p>『十字軍の思想』ちくま新書</p> <p>『神聖ローマ帝国』 講談社現代新書</p> <p>『ヨーロッパ中世象徴史』 ミシェル・パストゥロー [著]: 篠田勝英訳.</p> <p>『フリードリヒへの旅』 小笠原洋子著</p> <p>『戦うハプスブルク家: 近代の序章としての三十年戦争』 菊池良生著. -- 講談社, 1995. -- (講談社現代新書).</p> <p>岩波ブックレットNo.767 『荒れ野の40年』</p> <p>『国際理解に役立つEUの大研究: しくみ・政策から加盟国まで』 EUインスティテュート関西監修.</p> <p>『ケーテ・コルヴィッツー死・愛・共苦ー』 清真人・高坂純子著(御茶の水書房)</p> <p>『人間を彫る人生ーエルンスト・バルラハの人と芸術』 (宮下啓三著 国際文化出版社)</p>
講義関連事項	<p>発表はPPFで行ってもらいます。参考資料や画像などもMy Konanに出来るだけ(容量内で)Upしていきます。</p>
担当者から一言	<p>楽しく、ゆっくりと、しかし確実にドイツ語圏の歴史や文化に触れていきましょう。</p> <p>中級ドイツ語Iを並行して履修することが望ましい。</p> <p>夏の海外語学講座に関心のある方、是非積極的に参加してください。</p> <p>甲南大学に来ているドイツ人留学生もゲストスピーカーで授業に招待する予定です。仲良くなってください。</p>
ホームページタイトル	ドイツOnline
URL	http://www.magazine-deutschland.de/jp/

授業コード	L5403		
授業科目名	中級ドイツ語Ⅳ (3クラス)		
担当者名	藤原三枝子(フジワラ ミエコ)、高橋 憲(タカハシ マモル)、光末紀子(ミツスエ ノリコ)、伊藤麻希子(イトウ マキコ)、エルリッヒ(エルリッヒ スウェン マーティン)、白井宏美(シライ ヒロミ)、スイタ(スイタ パーバラ ドロテア)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 ドイツ語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	(藤原)金曜日2時間目および随時(アポイントをとってください)		

講義の内容	ドイツ事情 ドイツ語圏おもにドイツの社会的・文化的な実情を学ぶ科目である。テキストやビデオ映像、インターネット情報などを活用しながら幅広く学習する。生きたドイツの実情に触れながら、ドイツ語力の向上を図るとともに、多角的な視野からドイツ語圏の人々を理解し、その社会が抱える問題への洞察を深め、異文化理解を促す。また、日本の事情と対比することで、異文化だけでなく自文化についての理解を深める。
到達目標	ドイツ語圏に関する社会的、文化的知識を得ることができる。異文化に対する意識を高めることにより、世界の多様性に対する開かれた態度を養うこと、それによってステレオタイプに基づいた他者理解を乗り越える力を身につけることを目指す。
講義方法	テキストを中心にビデオ映像や統計資料などを活用して、幅広く学習する。テーマによっては、ドイツ語圏出身者をゲストスピーカーとして招く場合もある。ドイツ語圏に住む人々とその生活文化を身近に感じることができる講座である。
準備学習	授業に臨むに当たり、扱うテーマに関して予め調べておくことが望ましい。また、自分の担当テーマについては、十分な時間をとって調査しておくこと。
成績評価	前期は講義への積極的参加状況と発表、レポートおよび学習記録により評価する。後期はテーマごとに提出するレポートにより評価する。
講義構成	以下のテーマについて学習する予定である(ただし、受講者の要望によって変更の可能性がある): 前期: 担当者 藤原三枝子 1回目(4月7日)クラス編成のため、各自自主学習 2回目(4月14日)私のドイツ像(コラージュ作成) 3回目(4月21日)EUの拡大と単一通貨ユーロの導入 4回目(4月28日)古代ローマにみるEUの理念: 多様性の中の統合 5回目(5月12日)統一前後のドイツ 6回目(5月19日)ドイツの学校 7回目(5月26日)ドイツ「平和村」 8回目(6月2日)ドイツの中の外国人・難民・帰国移民 9回目(6月9日)ドイツの若者 10回目(6月16日)大学教育・大学生活 11回目(6月23日)ゲストスピーカー予定 12回目(6月30日)仕事観と休日・休暇 13回目(7月7日)ドイツの環境保護対策 14回目(7月14日)予備日 後期 テーマごとに担当者が変わるオムニバス形式となる 1回目(9月22日)高橋憲 『映画から見るドイツの諸相ー労働と余暇などー』 2回目(9月29日)同上 3回目(10月6日)同上 (レポート提出期限: 10月20日) 4回目(10月13日)白井宏美 『ドイツの若者文化と若者ことばーマンガ・ドイツ語になった日本語・J-Musicー』 5回目(10月20日)同上 6回目(10月27日)同上 (レポート提出: 11月10日)

	<p>7回目 (11月10日)光末紀子 『ゲーテの「ファウスト」における恋愛』</p> <p>8回目 (11月17日)同上 9回目 (11月24日)同上 (レポート提出: 12月8日)</p> <p>10回目 (12月1日)Sven Ehrlich 『ヨーロッパの歴史』</p> <p>11回目 (12月8日) 同上 (レポート提出: 12月22日)</p> <p>12回目 (12月15日)伊藤麻希子 『ドイツのクリスマスソング』 (12回目のレポート提出の必要なし)</p> <p>13回目 (12月22日) バーバラ・吹田 『ドイツ民族の古代文化』</p> <p>14回目 (1月12日)同上 (レポート提出:1月19日)</p>
教科書	適宜、プリント教材を配布する。
参考書・資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『ドイツ感覚』岩村偉史著 (三修社) ・『外国人労働者』細見卓 (河合出版) ・『統一ドイツの苦悩』田村光彰 (技術と人間) ・『ヨーロッパ統合と文化・民族問題』西川他 (人文書院) ・『ドイツの実情』連邦政府新聞情報庁編纂(ソシエテーツ出版) ・『10人の環境パイオニア』今泉みね子 (白水社) ・『ドイツの教育』天野正治 (東信堂)
講義関連事項	6号館の学習指導室でドイツ語(圏)およびドイツ語関連の相談を受け付けています。是非、有効活用してください。日時は授業内でお知らせします。
担当者から一言	教師の一方的な講義ではなく、ペアワークやグループワークによる作業を多く取り入れます。積極的な授業参加を期待します。

授業コード	L6101		
授業科目名	中級フランス語I (1クラス)		
担当者名	酒詰洋子(サカヅメ ヨウコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎フランス語 I」で学んだ文法知識を復習し、補完しながら、ゆっくりとフランス語の文章を読む。辞書の引き方に習熟することから始め、文の構造を正確に理解し、内容を把握する練習を行う。また、発音の矯正や簡単な作文練習も適宜行う。さまざまなジャンルのフランス語に触れることで、フランス語の読解力を総合的に養成する。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	「時事フランス語2010年度版」のCDをよく聴き、文章を読む練習を行う。適宜プリントを使い文法事項の解説、ついで各文の内容の把握、最後に練習問題を解く。 毎回出席すること。3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	各課あらかじめ単語を調べておくこと。
成績評価	前期・後期とも定期試験は行わず、平常点70%、読解の実力テスト30%で評価する。 平常点は、授業への積極的関与度、課題の達成度、小テスト等から算出する。
講義構成	第1回 : クラス編成のため各自自主学習 (4月6日～12日) 第2回 : フランス社会、文化の簡単な紹介。1課「ブーム! 日本文化」、フランス語に入った日本語、

	<p>日本語に入ったフランス語、複合過去。</p> <p>第3回 : 1課つづき。</p> <p>第4回 : 2課『エッフェル塔120歳』、受動態。</p> <p>第5回 : 2課つづき。</p> <p>第6回 : 3課「ルノワール、あくなき探求者」、複合過去と半過去の使い分け。</p> <p>第7回 : 3課つづき。</p> <p>第8回 : 4課「点字の発明者、ブラーユ」、婉曲語法、単純未来。</p> <p>第9回 : 4課つづき。</p> <p>第10回 : 5課「くず屋のシスター」、人名、条件法現在。</p> <p>第11回 : 5課つづき。</p> <p>第12回 : 6課「ハートのレストラン」、おなじ語を避け別の語で言い換える技法、中性代名詞。</p> <p>第13回 : 6課つづき。</p> <p>第14回 : 前期のまとめ。</p> <p>夏休み</p> <p>第1回 : 7課「フランスも当たり年、ノーベル賞」、形容詞の比較級、最上級、強勢形人称代名詞。</p> <p>第2回 : 7課つづき。</p> <p>第3回 : 8課「ベタンクはいかが?」、現在分詞、ジェロンディフ。</p> <p>第4回 : 8課つづき。</p> <p>第5回 : 9課「太平洋の楽園」、略語、特別な形の優等比較級。</p> <p>第6回 : 9課つづき。</p> <p>第7回 : 10課「シャンパーニュとシャンペン」、歴史的現在、代名詞on。</p> <p>第8回 : 10課つづき。11課「よみがえる巡礼」、仏仏辞典が使えるれば、大過去。</p> <p>第9回 : 11課つづき。</p> <p>第10回 : 12課「パックスって?」、現在反実。</p> <p>第11回 : 12課つづき。13課「母の名はX...」、目的語代名詞。</p> <p>第12回 : 13課つづき。</p> <p>第13回 : 14課「石の値段」、代名動詞の複合過去。</p> <p>第14回 : 14課つづき。後期のまとめ。</p>
教科書	時事フランス語2010年度版 (朝日出版社)
参考書・資料	仏和辞書、1年次で使った『ゼフィール フランス語文法の基礎』を持参のこと。
講義関連事項	* 中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。

授業コード	L6102		
授業科目名	中級フランス語I (2クラス)		
担当者名	久田原泰子(クダワラ ヤスコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎フランス語 I」で学んだ文法知識を復習し、補完しながら、ゆっくりとフランス語の文章を読む。辞書の引き方に習熟することから始め、文の構造を正確に理解し、内容を把握する練習を行う。また、発音の矯正や簡単な作文練習も適宜行う。さまざまなジャンルのフランス語に触れることで、フランス語の読解力を総合的に養成する。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	できるだけ最新の、また我々に関連の深いニュースを選んで、さまざまな報道文を読みこなす力をつけます。教員による必要な文法事項の説明をふまえて、参加者はあらかじめ予習をしてくることを前提とし、語彙の選択の仕方、文の構造の理解など、実践的な翻訳のスキルを身につけます。前期は易しいフランス語のニュース記事を読みながら、ゼフィールの第二部を使ってフランス語の基礎的な文法事項を確認します。後期は各受講者が関心をもっているトピックをインターネットなどから取り込み、それに関する記事を紹介し、参加者全員で討論しながら、現代フランスの実情に触れ、フランスに対する理解を深めます。またそれぞれのトピックに関連の深い映

	像、音声、文字資料を時宜使用し、その背景や場所、状況等への理解を深めていきます。
準備学習	各回に読む予定の課をしっかりと予習しておくこと。付属のCDをよく聞いておくこと。
成績評価	全回出席を前提とし、前期の筆記試験を50パーセント、後期の発表を30パーセント、レポートを20パーセントで評価をします。
講義構成	<p>前期</p> <p>第一回: クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日)</p> <p>第二回: 文法知識の再確認と読解のための基礎テクニック</p> <p>第三回: 第一課</p> <p>第四回: 第二課</p> <p>第五回: 第三課</p> <p>第六回: 第四課</p> <p>第七回: 第五課</p> <p>第八回: 第六課</p> <p>第九回: 第七課</p> <p>第十回: 第八課</p> <p>第十一回: 第九課</p> <p>第十二回: 第十課</p> <p>第十三回: 第十一課</p> <p>第十四回: 第十二課</p> <p>第十五回: 実力テスト</p> <p>後期</p> <p>第一回: 前期のテストの結果確認</p> <p>第二回: 第一三課</p> <p>第三回: 第一四課</p> <p>第四回: 第一五課</p> <p>第五回: 第一六課</p> <p>第六回: 第一七課</p> <p>第七回: 第一八課</p> <p>第八回: 第一九課</p> <p>第九回: 第二十課</p> <p>第十回: 第二十一課</p> <p>第十一回: 第二十二課</p> <p>第十二回: 第二十三課</p> <p>第十三回: 第二十四課</p> <p>第十四回: 第二十五課</p> <p>第十五回: 全体の総括</p>
教科書	『ア・ラ・パージュ 時事フランス語 2010年度版』 朝日出版社
参考書・資料	ゼフィール
講義関連事項	* 中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。
担当者から一言	じっくりフランス語を勉強したい人、積極的に参加してください。
その他	参加者は必ず、ゼフィールと仏和辞書を持参のこと。

授業コード	L6103		
授業科目名	中級フランス語I (3クラス)		
担当者名	神山すみ江(コウヤマ スミエ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜2限)、後期(木曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	「基礎フランス語I」で学んだ文法知識を復習し、補完しながら、ゆっくとフランス語の文章を読む。辞書の引き方		

	に習熟することから始め、文の構造を正確に理解し、内容を把握する練習を行う。また、発音の矯正や簡単な作文練習も適宜行う。さまざまなジャンルのフランス語に触れることで、フランス語の読解力を総合的に養成する。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	<p>1. 発音の徹底 2. 一幕を3回程度で終了するスピードで読み進める。 3. 文法説明、練習問題など適宜行う。</p> <p>戯曲を読みます。部隊はブルターニュの古城、老いた伯父の死を機にそれまでは寄り付きもしなかった遠い縁者たちが、その遺産をめあてに集まります。いよいよ遺言書を開く段になって次々と奇怪な事件が起きます。最後は如何に。</p> <p>全部で8幕なので、前期に4幕、後期に4幕の予定で読み進めてゆければよいと考えています。必要に応じて、文法的な説明をしたり、練習問題を課したりします。</p> <p>正しく発音できることは、読むクラスでも重要です。綴り字と発音の対応を徹底しましょう。</p> <p>戯曲なので、最終的にはそれぞれの役割を決めて演じ、テープに録音したいと考えています。</p>
準備学習	宿題は必ずやってくる。前回の学習内容を復習する。欠席した場合は、他の参加者から情報を得て、準備する。次回の分のテキストに少なくとも一度は目を通してこること。
成績評価	前期と後期の定期試験を中心にして評価する。 (定期試験 90%、授業への積極的参加度10%)
講義構成	<p>前期</p> <p>第一回： クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 第二回： 綴り字の読み方と発音の徹底。 第三回： Episode 1 Le testament 第四回： Episode 1 Le testament 第五回： Episode 1 Le testament 第六回： Episode 2 Le mystere commence 第七回： Episode 2 Le mystere commence 第八回： Episode 2 Le mystere commence 第九回： Episode 3 Le mystere commence 第十回： Episode 3 Le mystere commence 第十一回： Episode 3 Le mystere commence 第十二回： Episode 4 On nous epie 第十三回： Episode 4 On nous epie 第十四回： Episode 4 On nous epie 第十五回： 定期試験</p> <p>後期</p> <p>第一回： 前期の総合復習。定期試験の返却。 第二回： Episode 5 Dans la chambre de la peur 第三回： Episode 5 Dans la chambre de la peur 第四回： Episode 5 Dans la chambre de la peur 第五回： Episode 6 Les couloirs de la nuit 第六回： Episode 6 Les couloirs de la nuit 第七回： Episode 6 Les couloirs de la nuit 第八回： Episode 7 L'apparition 第九回： Episode 7 L'apparition 第十回： Episode 7 L'apparition 第十一回： Episode 8 Le mystere est eclairci 第十二回： Episode 8 Le mystere est eclairci 第十三回： Episode 8 Le mystere est eclairci 第十四回： 総合復習 第十五回： 定期試験</p>
教科書	丸山圭三郎、Nicolas Bataille著 『悲劇的な遺産相続』、駿河台出版社。
参考書・資料	『ゼフィール』

講義関連事項	中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。
担当者から一言	積極的に参加してください。

授業コード	L6104		
授業科目名	中級フランス語I (4クラス)		
担当者名	饗庭千代子(アイバ チヨコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(火曜4限)、後期(火曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎フランス語 I」で学んだ文法知識を復習し、補完しながら、ゆっくりとフランス語の文章を読む。辞書の引き方に習熟することから始め、文の構造を正確に理解し、内容を把握する練習を行う。また、発音の矯正や簡単な作文練習も適宜行う。さまざまなジャンルのフランス語に触れることで、フランス語の読解力を総合的に養成する。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	フランス社会、文化を平易なフランス語文で紹介している教科書《La societe francaise - lecture et civilisation-》に沿ってフランス語の読解力を養成する。以下の方法で授業を進める。 1. 基礎フランス語 I で習得した文法を復習し、未習の文法事項については解説を加えながら、基礎フランス語に比べて長めの文を読み進める。グループで読解を行なって発表する形式も取り入れる。 2. CDを用いて正しい発音で読めるよう練習する。 3. 内容理解を確かめるための正誤問題、応答問題、知識を深めるためのクイズも取り入れる。 4. 内容に関連のある映像資料を適宜援用する。 5. できるだけ多様なフランス語に触れる目的で、教科書以外に映画『キリクと魔女』のシナリオの一部もプリントと映像で取り上げる予定。 * 習熟度を高めるため、既習事項について小テスト(音読テスト、語彙表現テスト、作文テスト)、課題提出を年6～7回行なう。 * 毎回出席することが前提で、全講義回数の3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価になる。ただし特別の事情がある場合は申し出ること。状況に応じて対応する。
準備学習	課題を期限内に提出すること。前回の学習内容を復習しておくこと。次回のテキスト文について大まかに調べておくこと。発表するグループは特に詳細に調べておくこと。小テストの準備を行なうこと。音源を利用して繰り返し聴くこと。
成績評価	前期・後期とも、定期試験は行わず、平常点70%、読解実力テスト30%で評価し、平均値を最終の評価点とする。 * 平常点は、小テストの点数、課題提出、グループ発表、授業への積極的参加度を加味して算出する * 読解実力テストは各学期末の授業中20～30分間に辞書持ち込みで行なう。平常の授業に積極的に参加し、準備学習をしっかり行なっていればこのテストの結果に反映するようやり方で行なう。
講義構成	第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～12日) 第2回: 授業のオリエンテーリング。基礎フランス語の復習を兼ねて、フランス語で自己紹介、フランス語のクロスワードパズルなど。ビデオを用いて教科書への導入。 第3回: 「フランスの国土」文法一関係代名詞 第4回: 「フランスの国土」テキスト文の読解、内容理解の正誤問題。グループ発表割り当て。課題1。 第5回: 「フランス各地の特色」文法一指示代名詞、中性代名詞(en)単純未来形、音読テスト。 第6回: 「フランス各地の特色」テキスト文の読解、内容理解の正誤問題。クイズ。 第7回: 「四季の暮らし」文法一中性代名詞(le)受動態。グループ発表。課題1解説。 第8回: 「四季の暮らし」グループ発表。内容理解正誤問題。課題2。語彙表現テスト。 第9回: 「フランスの大学」文法一現在分詞、ジェロンディフ。グループ発表。 第10回: 「フランスの大学」グループ発表、内容理解応答問題。 第11回: 「バカンスの季節」文法一中性代名詞(y)、最上級。グループ発表。作文テスト。課題2解説。 第12回: 映画『キリクと魔女』聞き取り、複合過去。課題3。 第13回: 映画『キリクと魔女』近接未来と単純未来。読解実力テスト。 第14回: 映画『キリクと魔女』作文練習。課題3解説。前期のまとめ。夏休み課題。 夏休み

	<p>第1回: 映画『キリクと魔女』聞き取り。複合過去と半過去。夏休み課題提出。</p> <p>第2回: 映画『キリクと魔女』接続法過去、目的語代名詞。</p> <p>第3回: 映画『キリクと魔女』所有代名詞、条件法現在(仮定の表現)。課題1。</p> <p>第4回: 「フランスの美食料理」接続法現在、代名動詞。グループ発表。作文テスト。夏休み課題解説。</p> <p>第5回: 「フランスの美食料理」グループ発表。</p> <p>第6回: 「フランス人と政治」テキスト文の読解。課題1解説。</p> <p>第7回: 「フランス人と政治」内容理解正誤問題。大統領演説のビデオを用いて聞き取り練習。課題2。</p> <p>第8回: 社会、文化について現実に即した応答練習(これまで取り上げたテーマを中心に日本の状況などをフランス語で考える)。語彙表現テスト。</p> <p>第9回: 「雇用と失業」「割合」などさまざまな数字を読む。グループ発表(履修人数によって、残っていれば)課題2解説。</p> <p>第10回: 「雇用と失業」テキスト文の読解。内容理解の正誤問題。クイズ。</p> <p>第11回: 「社会における男性と女性」テキスト文の読解。</p> <p>第12回: 「社会における男性と女性」内容理解正誤問題。この課のテーマを身近な問題としてフランス語で応答練習。</p> <p>第13回: 「フランス人のマナー」。テキスト読解。読解実力テスト。</p> <p>第14回: 「フランス人のマナー」内容理解正誤問題。クイズ。後期のまとめ。</p>
教科書	La societe francaise - lecture et civilisation(ラ・ソスイエテ・フランセーズ) アルマ出版
参考書・資料	仏和辞書、文法教科書『ゼフィール』必携。
講義関連事項	実用フランス語技能検定試験(仏検)は6月と11月に実施され、甲南大学での受験も可能です。資格の取得は、将来の就職にも役に立ちます。また、フランスへの長期留学を希望する人は、公的な検定試験のスコア票が必要となります。仏検なら「3級合格」は必要ですので、3級は早いうちに受験しておいてください。
担当者から一言	この授業では、フランス語で書かれた文章を読むことによって、読解力を身につけるとともに、異文化社会を知り、外国語を学ぶ真の楽しさ、喜びを共有したいと思っています。受講生の皆さんの積極的な授業参加を望みます。

授業コード	L6105		
授業科目名	中級フランス語I (5クラス)		
担当者名	安田晋也(ヤスダ シンヤ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜4限)、後期(金曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎フランス語I」で学んだ文法知識を復習し、補完しながら、ゆっくりとフランス語の文章を読む。辞書の引き方に習熟することから始め、文の構造を正確に理解し、内容を把握する練習を行う。また、発音の矯正や簡単な作文練習も適宜行う。さまざまなジャンルのフランス語に触れることで、フランス語の読解力を総合的に養成する。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	著名なフランス人アニメーション監督の代表作、『アジュールとアスマール』、『キリクと魔女』を見て、重要な項目についてフランス語の聞き取りを行う。1年で学んだ、動詞の活用から、複合過去や半過去を復習し、1年次では未習の中性代名詞、条件法、接続法など主だった文法項目はほぼ、網羅して学んでいく。 前期、後期には作品に応じた文章の翻訳をレポートとして提出してもらう。
準備学習	前回の文法内容を復習し、学んだ文法については、書けるようにしておくこと。また、授業中に与えられた課題については、調べておくこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、レポートの採点50%で評価し、平均値を最終の評価点とする。(平常点は、書き取り能力、授業への関与度似て判断する。また、もともと能力の低い学生であっても、最終的には一定の能力を満たすようになれば、それなりに評価する)
講義構成	<p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习 (4月6日～12日)</p> <p>第2回: アジュールとアスマールの誕生、命令文、etre, avoir, 規則動詞の活用。</p> <p>第3回: ジンの妖精の話。単純未来。</p> <p>第4回: アジュールの訓練。受動態、中性代名詞。</p> <p>第5回: 馬術の訓練。接続法。</p> <p>第6回: 乳母の追放。半過去。</p>

	<p>第7回: 異国の地に独り。条件法。 第8回: クラブーと野出会い。人称代名詞。 第9回: 秘密のかぎ。比較級。 第10回: 再会。関係代名詞。 第12回: 賢者。単純未来。 第13回: 王女。疑問代名詞。 第14回: 逃走。さまざまな否定。課題の出題。</p> <p>夏休み</p> <p>第1回: 出発。代名動詞。非人称構文。課題の回収。 第2回: 試練。代名動詞の複合過去。 第3回: 目的地へ。半過去と複合過去。 第4回: 後日談。条件法。 第5回: キリクの誕生。人称代名詞。単純未来。 第6回: 魔法の舟。さまざまな命令文。 第7回: 魔法の木。大過去。 第8回: 泉の水。接続法。 第9回: 地下へ。倒置形。 第10回: 賢者。条件法過去。 第11回: 魔女の秘密。さまざまな疑問文。 第12回: 戦いへ。人称代名詞。 第13回: 魔女との対決。代名動詞。課題の出題。 第14回: 後日談。否定文。複合過去、半過去。課題の回収。</p>
教科書	プリントを用いる。
参考書・資料	仏和辞書、1年次で使った『ゼフィール フランス語文法の基礎』を持参のこと。
講義関連事項	中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。

授業コード	L6106		
授業科目名	中級フランス語I (6クラス)(後)		
担当者名	安田晋也(ヤスダ シンヤ)、村尾嘉男(ムラオ ヨシオ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 後期	曜日・時限	水曜5限 金曜5限
特記事項	後期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	「基礎フランス語I」で学んだ文法知識を復習し、補完しながら、ゆっくりとフランス語の文章を読む。辞書の引き方に習熟することから始め、文の構造を正確に理解し、内容を把握する練習を行う。また、発音の矯正や簡単な作文練習も適宜行う。さまざまなジャンルのフランス語に触れることで、フランス語の読解力を総合的に養成する。
到達目標	前半は「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後半には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	文法の復習を行いながら、時事フランス語を読む。フランスの社会・政治・文化に関する平易なテキストを用いる。また、受講者の希望に応じた内容のテキストも扱う予定である。
準備学習	担当者の指示に基づき、次の回の授業に備えて単語の意味を調べておくなど、予習に努めること。各回の授業で出された課題をこなすこと。
成績評価	次の基準に従って評価する： 定期試験50%、授業中の積極的関与度25%、小テスト・課題・レポートの達成度25%
講義構成	水曜日 講義構成 第1回: オリエンテーション。 第2回: 「ブーム! 日本文化」

	<p>第3回:「ブーム! 日本文化」 第4回:「ルノワール あくなき探求者」 第5回:「ルノワール あくなき探求者」 第6回:「くず屋のシスター」 第7回:「くず屋のシスター」 第8回:「フランスも当たり年 ノーベル賞」 第9回:「太平洋の楽園」 第10回:「よみがえる巡礼」 第11回:「母の名はX…」 第12回:「フランス名物ストライキ?」 第13回:「国歌侮辱罪?」 第14回:「デルデデル」 第15回:試験 (各回とも、教科書の内容と受講生の理解度に即した文法の学習および復習を行う予定)</p> <p>金曜日 講義構成 第1回:オリエンテーション。「エッフェル塔120歳」。複合過去と半過去。 第2回:「エッフェル塔120歳」。受動態 第3回:「点字の発明者ブラーユ」。代名動詞。分詞構文。 第4回:「点字の発明者ブラーユ」。単純未来。 第5回:「ハートのレストラン」。非人称構文。 第6回:「ハートのレストラン」。中性代名詞。 第7回:「ペタンクはいかが?」。最上級。 第8回:「ペタンクはいかが?」。ジェロンディフ。 第9回:「シャンパーニュとシャンペン」。非人称のon。 第10回:「パックスって」。動詞pouvoir。 第11回:「石の値段」。代名動詞の複合過去。 第12回:「是か非か国外退去」。条件法。 第13回:「原発大国フランス」複合過去。 第14回:「EUの牽引車フランス」半過去。 第15回:試験</p>
教科書	時事フランス語2010年度版 ミシェル・サガズ、加藤晴久著 朝日出版社 1900円+税
参考書・資料	『ゼフィールーフランス語文法の基礎』(早美出版社)、仏和辞書
講義関連事項	中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。
担当者から一言	授業には毎回、教科書以外に必ず仏和辞典と『ゼフィールーフランス語文法の基礎』を持参してください。また、授業への積極的な参加を心掛けてください。

授業コード	L6201		
授業科目名	中級フランス語II (1クラス)		
担当者名	デーズ(デーズ ブリジット)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜2限)、後期(月曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
講義の内容	原則としてフランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語のコミュニケーション能力を養う。日常会話でよく用いられる表現の習得から始めるが、単に相手の問いに答えるだけでなく、自分の意見をフランス語で表現する「発信型」の学習を取り入れ、フランス語での自己表現能力を育成する。		
到達目標	「基礎フランス語II」で習得した知識をより確実なものとし、コミュニケーション能力を高めることを目指す。前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する聞き取り能力、後期には3級に合格する聞き取り能力を身につける。		
講義方法	1年次に使用した共通教科書『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語A・ラ・カルト』の後半部分を前期に使用し、後期からは、補助プリントを使用する。教科書で学習した表現を応用して、実際のコミュニケーションで活用できるように練習する。また、ペアやグループでの会話練習も行う。		

	* 毎回出席することが前提で、3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学習 (4月6日～4月12日) 『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』のLECON 1～ LECON 4のDIALOGUESをWEB上で聞いて復習すること (WEB上のアドレスは、講義関連事項を参照のこと) 第2回: LECON 8 予定と希望について話す 第3回: LECON 8 天候について話す 第4回: LECON 8 時間の表現 第5回: LECON 9 過去にした事を語る (1) <小テストNo.1> 第6回: LECON 9 過去にした事を語る (2) 第7回: LECON 9 人にものを依頼する 第8回: LECON 10 人や物について尋ねる (1) 第9回: LECON 10 人や物について尋ねる (2) <小テストNo.2> 第10回: LECON 10 場所について尋ねる 第11回: LECON 11 一日の過ごし方について語る 第12回: LECON 11 「いつもすること」を話す 第13回: LECON 11 「昨日したこと」を話す <小テスト No.3> 第14回: まとめ (後期) 第1回: LECON 12 身長や体重の表現のしかた 第2回: LECON 12 洋服や靴のサイズについて話す 第3回: LECON 12 健康状態について話す 第4回: LECON 13 夏休みについて話す 第5回: LECON 13 過去の出来事を説明する <小テスト No.4> 第6回: LECON 13 将来について語る 第7回: LECON 14 自分の意見を述べる 第8回: LECON 14 相手の意見を聞く 第9回: LECON 14 相手に依頼するときの表現 <小テスト No.5 > 第10回: LECON 14 受動態で表現する 第11回: LECON 15 クリスマスとお正月について語る 第12回: LECON 15 冬休みの計画を話す 第13回: LECON 15 食文化について話す <小テスト No.6 > 第14回: まとめ
教科書	2009年度に1年次の「基礎フランス語II」で使用した教科書: 甲南大学EEFLEUK編『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2009年度版』甲南大学生協発行 * 後半の授業では、プリントを配布する。 * 上記の教科書を持っていない場合は、『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2010年度版』を生協で購入すること。
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYR フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	・中級フランス語は4科目ある。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講することが望ましい。 ・教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/
担当者から一言	フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20～12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定している。質問や相談等に積極的に活用することが望ましい。

授業コード	L6202
-------	-------

授業科目名	中級フランス語Ⅱ(2クラス)		
担当者名	ポレ(ポレ ジャン-ノエル)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜3限)、後期(月曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	原則としてフランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語のコミュニケーション能力を養う。日常会話でよく用いられる表現の習得から始めるが、単に相手の問いに答えるだけでなく、自分の意見をフランス語で表現する「発信型」の学習を取り入れ、フランス語での自己表現能力を育成する。
到達目標	「基礎フランス語Ⅱ」で習得した知識をより確実なものとし、コミュニケーション能力を高めることを目指す。前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する聞き取り能力、後期には3級に合格する聞き取り能力を身につける。
講義方法	1年次に使用した共通教科書『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』の後半部分を前期に使用し、後期からは、補助プリントを使用する。教科書で学習した表現を応用して、実際のコミュニケーションで活用できるように練習する。また、ペアやグループでの会話練習も行う。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日) 『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』のLECON 1～LECON 4のDIALOGUESをWEB上で聞いて復習すること (WEB上のアドレスは、講義関連事項を参照のこと)</p> <p>第2回: LECON 8 予定と希望について話す 第3回: LECON 8 天候について話す 第4回: LECON 8 時間の表現 第5回: LECON 9 過去にした事を語る(1) <小テストNo.1> 第6回: LECON 9 過去にした事を語る(2) 第7回: LECON 9 人にものを依頼する 第8回: LECON 10 人や物について尋ねる(1) 第9回: LECON 10 人や物について尋ねる(2) <小テストNo.2> 第10回: LECON 10 場所について尋ねる 第11回: LECON 11 一日の過ごし方について語る 第12回: LECON 11 「いつもすること」を話す 第13回: LECON 11 「昨日したこと」を話す <小テスト No.3> 第14回: まとめ</p> <p>(後期)</p> <p>第1回: LECON 12 身長や体重の表現のしかた 第2回: LECON 12 洋服や靴のサイズについて話す 第3回: LECON 12 健康状態について話す 第4回: LECON 13 夏休みについて話す 第5回: LECON 13 過去の出来事を説明する <小テスト No.4> 第6回: LECON 13 将来について語る 第7回: LECON 14 自分の意見を述べる 第8回: LECON 14 相手の意見を聞く 第9回: LECON 14 相手に依頼するときの表現 <小テスト No.5 > 第10回: LECON 14 受動態で表現する 第11回: LECON 15 クリスマスとお正月について語る 第12回: LECON 15 冬休みの計画を話す 第13回: LECON 15 食文化について話す <小テスト No.6 ></p>

	第14回:まとめ
教科書	2009年度に1年次の「基礎フランス語II」で使用した教科書: 甲南大学EEFLEUK編『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2009年度版』甲南大学生協発行 * 後半の授業では、プリントを配布する。 * 上記の教科書を持っていない場合は、『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2010年度版』を生協で購入すること。
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYR フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	・中級フランス語は4科目ある。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講することが望ましい。 ・教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/
担当者から一言	フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20~12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定している。質問や相談等に積極的に活用することが望ましい。

授業コード	L6203		
授業科目名	中級フランス語II (3クラス)		
担当者名	シッシュ(シッシュ ディディエ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期~後期	曜日・時限	前期(水曜3限)、後期(水曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日5限 (不在のこともあるので、できれば事前に連絡して下さい)		

講義の内容	原則としてフランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語のコミュニケーション能力を養う。日常会話でよく用いられる表現の習得から始めるが、単に相手の問いに答えるだけでなく、自分の意見をフランス語で表現する「発信型」の学習を取り入れ、フランス語での自己表現能力を育成する。
到達目標	「基礎フランス語II」で習得した知識をより確実なものとし、コミュニケーション能力を高めることを目指す。前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する聞き取り能力、後期には3級に合格する聞き取り能力を身につける。
講義方法	1年次に使用した共通教科書『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』の後半部分を前期に使用し、後期からは、補助プリントを使用する。教科書で学習した表現を応用して、実際のコミュニケーションで活用できるように練習する。また、ペアやグループでの会話練習も行う。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	(前期) 第1回: クラス編成のため、各自自主学習(4月6日~4月12日) 『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』のLECON 1~ LECON 4のDIALOGUESをWEB上で聞いて復習すること (WEB上のアドレスは、講義関連事項を参照のこと) 第2回: LECON 8 予定と希望について話す 第3回: LECON 8 天候について話す 第4回: LECON 8 時間の表現 第5回: LECON 9 過去にした事を語る(1) <小テストNo.1> 第6回: LECON 9 過去にした事を語る(2) 第7回: LECON 9 人にものを依頼する 第8回: LECON 10 人や物について尋ねる(1) 第9回: LECON 10 人や物について尋ねる(2) <小テストNo.2> 第10回: LECON 10 場所について尋ねる 第11回: LECON 11 一日の過ごし方について語る

	<p>第12回:LECON 11 「いつもすること」を話す 第13回:LECON 11 「昨日したこと」を話す <小テスト No.3> 第14回:まとめ</p> <p>(後期)</p> <p>第1回:LECON 12 身長や体重の表現のしかた 第2回:LECON 12 洋服や靴のサイズについて話す 第3回:LECON 12 健康状態について話す 第4回:LECON 13 夏休みについて話す 第5回:LECON 13 過去の出来事を説明する <小テスト No.4> 第6回:LECON 13 将来について語る 第7回:LECON 14 自分の意見を述べる 第8回:LECON 14 相手の意見を聞く 第9回:LECON 14 相手に依頼するときの表現 <小テスト No.5 > 第10回:LECON 14 受動態で表現する 第11回:LECON 15 クリスマスとお正月について語る 第12回:LECON 15 冬休みの計画を話す 第13回:LECON 15 食文化について話す <小テスト No.6 > 第14回:まとめ</p>
教科書	<p>2009年度に1年次の「基礎フランス語II」で使用した教科書: 甲南大学EEFLEUK編『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2009年度版』甲南大学生協発行 * 後半の授業では、プリントを配布する。 * 上記の教科書を持っていない場合は、『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2010年度版』を生協で購入すること。</p>
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYR フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	<p>・中級フランス語は4科目ある。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講することが望ましい。 ・教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/</p>
担当者から一言	フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20~12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定している。質問や相談等に積極的に活用することが望ましい。

授業コード	L6204		
授業科目名	中級フランス語II (4クラス)		
担当者名	シッシュ(シッシュ デイディエ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜4限)、後期(木曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日5限 (不在のこともあるので、できれば事前に連絡して下さい)		

講義の内容	原則としてフランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語のコミュニケーション能力を養う。日常会話でよく用いられる表現の習得から始めるが、単に相手の問いに答えるだけでなく、自分の意見をフランス語で表現する「発信型」の学習を取り入れ、フランス語での自己表現能力を育成する。
到達目標	「基礎フランス語II」で習得した知識をより確実なものとし、コミュニケーション能力を高めることを目指す。前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する聞き取り能力、後期には3級に合格する聞き取り能力を身につける。
講義方法	1年次に使用した共通教科書『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』の後半部分を前期に使用し、後期からは、補助プリントを使用する。教科書で学習した表現を応用して、実際のコミュニケーションで活用できるように練習する。また、ペアやグループでの会話練習も行う。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価となる。

準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习 (4月6日~4月12日) 『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』のLECON 1~ LECON 4のDIALOGUESをWEB上で聞いて復習すること (WEB上のアドレスは、講義関連事項を参照のこと)</p> <p>第2回: LECON 8 予定と希望について話す 第3回: LECON 8 天候について話す 第4回: LECON 8 時間の表現 第5回: LECON 9 過去にした事を語る (1) <小テストNo.1> 第6回: LECON 9 過去にした事を語る (2) 第7回: LECON 9 人にものを依頼する 第8回: LECON 10 人や物について尋ねる (1) 第9回: LECON 10 人や物について尋ねる (2) <小テストNo.2> 第10回: LECON 10 場所について尋ねる 第11回: LECON 11 一日の過ごし方について語る 第12回: LECON 11 「いつもすること」を話す 第13回: LECON 11 「昨日したこと」を話す <小テスト No.3> 第14回: まとめ</p> <p>(後期)</p> <p>第1回: LECON 12 身長や体重の表現のしかた 第2回: LECON 12 洋服や靴のサイズについて話す 第3回: LECON 12 健康状態について話す 第4回: LECON 13 夏休みについて話す 第5回: LECON 13 過去の出来事を説明する <小テスト No.4> 第6回: LECON 13 将来について語る 第7回: LECON 14 自分の意見を述べる 第8回: LECON 14 相手の意見を聞く 第9回: LECON 14 相手に依頼するときの表現 <小テスト No.5> 第10回: LECON 14 受動態で表現する 第11回: LECON 15 クリスマスとお正月について語る 第12回: LECON 15 冬休みの計画を話す 第13回: LECON 15 食文化について話す <小テスト No.6 > 第14回: まとめ</p>
教科書	2009年度に1年次の「基礎フランス語II」で使用した教科書: 甲南大学EEFLEUK編『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2009年度版』甲南大学生協発行 * 後半の授業では、プリントを配布する。 * 上記の教科書を持っていない場合は、『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2010年度版』を生協で購入すること。
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYR フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	・中級フランス語は4科目ある。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講することが望ましい。 ・教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/
担当者から一言	フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20~12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定している。質問や相談等に積極的に活用することが望ましい。

授業コード	L6205
-------	-------

授業科目名	中級フランス語Ⅱ (5クラス)		
担当者名	ポワトー(パトリス ポワトー)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	原則としてフランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語のコミュニケーション能力を養う。日常会話でよく用いられる表現の習得から始めるが、単に相手の問いに答えるだけでなく、自分の意見をフランス語で表現する「発信型」の学習を取り入れ、フランス語での自己表現能力を育成する。
到達目標	「基礎フランス語Ⅱ」で習得した知識をより確実なものとし、コミュニケーション能力を高めることを目指す。前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する聞き取り能力、後期には3級に合格する聞き取り能力を身につける。
講義方法	1年次に使用した共通教科書『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』の後半部分を前期に使用し、後期からは、補助プリントを使用する。教科書で学習した表現を応用して、実際のコミュニケーションで活用できるように練習する。また、ペアやグループでの会話練習も行う。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回: クラス編成のため、各自自主学習 (4月6日～4月12日) 『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』のLECON 1～ LECON 4のDIALOGUESをWEB上で聞いて復習すること (WEB上のアドレスは、講義関連事項を参照のこと)</p> <p>第2回: LECON 8 予定と希望について話す 第3回: LECON 8 天候について話す 第4回: LECON 8 時間の表現 第5回: LECON 9 過去にした事を語る (1) <小テストNo.1> 第6回: LECON 9 過去にした事を語る (2) 第7回: LECON 9 人にものを依頼する 第8回: LECON 10 人や物について尋ねる (1) 第9回: LECON 10 人や物について尋ねる (2) <小テストNo.2> 第10回: LECON 10 場所について尋ねる 第11回: LECON 11 一日の過ごし方について語る 第12回: LECON 11 「いつもすること」を話す 第13回: LECON 11 「昨日したこと」を話す <小テスト No.3> 第14回: まとめ</p> <p>(後期)</p> <p>第1回: LECON 12 身長や体重の表現のしかた 第2回: LECON 12 洋服や靴のサイズについて話す 第3回: LECON 12 健康状態について話す 第4回: LECON 13 夏休みについて話す 第5回: LECON 13 過去の出来事を説明する <小テスト No.4> 第6回: LECON 13 将来について語る 第7回: LECON 14 自分の意見を述べる 第8回: LECON 14 相手の意見を聞く 第9回: LECON 14 相手に依頼するときの表現 <小テスト No.5 > 第10回: LECON 14 受動態で表現する 第11回: LECON 15 クリスマスとお正月について語る 第12回: LECON 15 冬休みの計画を話す 第13回: LECON 15 食文化について話す <小テスト No.6 ></p>

	第14回:まとめ
教科書	2009年度に1年次の「基礎フランス語II」で使用した教科書: 甲南大学EEFLEUK編『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2009年度版』甲南大学生協発行 * 後半の授業では、プリントを配布する。 * 上記の教科書を持っていない場合は、『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2010年度版』を生協で購入すること。
参考書・資料	「基礎フランス語 I」の教科書『ZEPHYR フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	・中級フランス語は4科目ある。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講することが望ましい。 ・教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/
担当者から一言	フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20~12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定している。質問や相談等に積極的に活用することが望ましい。

授業コード	L6206		
授業科目名	中級フランス語II (6クラス)(前)		
担当者名	中村典子(ナカムラ ノリコ)、シッシュ(シッシュ ディディエ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期	曜日・時限	水曜2限 木曜2限
特記事項	前期に集中して週2回開講される。 履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日15時~16時30分(中村:673研究室); 木曜日 5限(シッシュ:672研究室) (不在のこともあるので、できれば事前に連絡して下さい)		

講義の内容	原則としてフランス語を母語とする教員の指導のもとで、フランス語のコミュニケーション能力を養う。日常会話でよく用いられる表現の習得から始めるが、単に相手の問いに答えるだけでなく、自分の意見をフランス語で表現する「発信型」の学習を取り入れ、フランス語での自己表現能力を育成する。
到達目標	「基礎フランス語II」で習得した知識をより確実なものとし、コミュニケーション能力を高めることを目指す。前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する聞き取り能力、後期には3級に合格する聞き取り能力を身につける。
講義方法	週に2回授業を行う前期集中授業で、フランス人教員と日本人教員が授業を担当する。1年次に使用した共通教科書『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』の後半部分を第14回まで使用し、第15回からは、補助プリントを使用する。教科書で学習した表現を応用して、実際のコミュニケーションで活用できるように練習する。また、ペアやグループでの会話練習も行う。 * 毎回出席することが前提で、3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価となる。
準備学習	毎回出される課題を行うこと。WEB上の音声教材を活用して、前回の復習と次回の予習を行うこと。
成績評価	平常点40%、講義中に実施する6回の小テストを60%で評価する。 (平常点は、課題の達成度、授業への積極的関与度により算出される)
講義構成	第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月7日) 『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』のLECON 1~ LECON 4のDIALOGUESをWEB上で聞いて復習すること(WEB上のアドレスは、講義関連事項を参照のこと) 第2回: クラス編成のため、各自自主学习(4月8日) 『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト』のLECON 5~ LECON 7のDIALOGUESをWEB上で聞いて復習すること 第3回: LECON 8 予定と希望について話す 第4回: LECON 8 天候について話す 第5回: LECON 8 時間の表現 第6回: LECON 9 過去にした事を語る(1) 第7回: LECON 9 過去にした事を語る(2) 第8回: LECON 9 人にものを依頼する 第9回: LECON 10 人や物について尋ねる(1) <小テストNo.1 担当:シッシュ> 第10回: LECON 10 人や物について尋ねる(2)

	<p>第11回:LECON 10 場所について尋ねる 第12回:LECON 11 一日の過ごし方について語る <小テストNo.2 担当:中村> 第13回:LECON 11 「いつもすること」を話す 第14回:LECON 11 「昨日したこと」を話す 第15回:LECON 12 身長や体重の表現のしかた <小テスト No.3 担当:シツシュ> 第16回:LECON 12洋服や靴のサイズについて話す 第17回:LECON 12 健康状態について話す 第18回:LECON 13 夏休みについて話す <小テスト No.4 担当:中村> 第19回:LECON 13 過去の出来事を説明する 第20回:LECON 13 将来について語る 第21回:LECON 14 自分の意見を述べる 第22回:LECON 14 相手の意見を聞く 第23回:LECON 14 相手に依頼するときの表現 <小テスト No.5 担当:シツシュ > 第24回:LECON 14 受動態で表現する 第25回:LECON 15 クリスマスとお正月について語る 第26回:LECON 15 冬休みの計画を話す <小テスト No.6 担当:中村> 第27回:LECON 15 食文化について話す 第28回:まとめ</p>
教科書	<p>2009年度に1年次の「基礎フランス語Ⅱ」で使用した教科書: 甲南大学EEFLEUK編『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2009年度版』甲南大学生協発行 * 後半の授業では、プリントを配布する。 * 上記の教科書を持っていない場合は、『LE FRAN・AIS A LA CARTE フランス語ア・ラ・カルト2010年度版』を生協で購入すること。</p>
参考書・資料	「基礎フランス語Ⅰ」の教科書『ZEPHYR フランス語文法の基礎』を毎回持参すること。
講義関連事項	<p>・中級フランス語は4科目ある。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講することが望ましい。 ・教科書に準拠した音声教材が、言文センターのサイト上にあるので利用すること。ダウンロードも可能。 http://www.kilc.konan-u.ac.jp/sf/</p>
担当者から一言	フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20～12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定している。質問や相談等に積極的に活用することが望ましい。

授業コード	L6301		
授業科目名	中級フランス語Ⅲ(1クラス)		
担当者名	久田原泰子(クダワラ ヤスコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜1限)、後期(水曜1限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語を「読む」「書く」「聞く」の3つの面から総合的に学習することにより、実用的なフランス語能力を養成する。「基礎フランス語Ⅰ」で習得した文法知識を復習しながら、文部科学省認定の「実用フランス語技能検定試験」(仏検)の3級または4級に合格するための実力をつける。また、インターネット上のフランス語情報の扱い方など、実生活で接するフランス語に対処する練習も行う。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力をつける。
講義方法	前期で仏検4級、後期で3級～準2級レベルの実力を養います。初級文法を全体的に把握し、検定試験に必要なレベルのフランス語力を養うために、様々な練習にできるだけ数多く積極的に取り組んでいきます。また年2回の仏検に合わせて、聞き取りやディクテを随時行い、フランス語力を多面的に高めていきます。。またフランス語の知識だけでなく、フランスの実情や生活に関する基礎知識を深めていく。基礎的な語彙力と文法力の強化を図りながら、テキストに沿ってさまざまなシチュエーションに応じた自然な会話の流れの中で実用的な表現を学ぶ。また表現力を高めるために必要な文法知識を確認していく。聞き取りや書き取り問題に対応するためにスペルと発音の関連性についても詳しく扱う。

	さらに春、秋の検定期間に合わせて、過去の検定問題を使いながら実戦的な試験対応テクニックの習得と応用能力の強化を目指します。
準備学習	課題をこなし、前回の学習内容を復習しておくこと。テキスト添付のCDをよく聞いておくこと。
成績評価	全回出席を前提として、前後期の試験55パーセント、平常の授業への積極的参加度を45パーセントで評価します。
講義構成	<p>前期</p> <p>第一回：クラス編成のため、各自学習(4月6日～4月12日)</p> <p>第二回：講義方針説明 自己紹介する、注文する。</p> <p>第三回：実力判断テスト(仏検5級レベル)</p> <p>第四回：過去形。冠詞の復習</p> <p>第五回：形容詞、目的語</p> <p>第六回：近接未来と近接過去</p> <p>第七回：人やものに対してコメントする。 検定過去問題。</p> <p>第八回：代名動詞の活用</p> <p>第九回：比較、単純未来</p> <p>第十回：接続詞を使って文をつなげる。</p> <p>第十一回：電話の表現、自然な話し方</p> <p>第十二回：意思や感情を表現する</p> <p>第十三回：アドバイスをする</p> <p>第十四回：意見や印象を述べる</p> <p>第十五回：定期試験</p> <p>後期</p> <p>第一回：定期試験結果確認</p> <p>第二回：必要性を述べる。接続法。、</p> <p>第三回：接続詞を使う。</p> <p>第四回：現在分詞を使う。</p> <p>第五回：大過去を使う。</p> <p>第六回：関係詞を使う。</p> <p>第七回： 検定過去問題。</p> <p>第八回：条件法過去を学ぶ。</p> <p>第九回：関係詞を極める。</p> <p>第十回：強調構文を学ぶ。</p> <p>第十一回：関節語法を学ぶ。</p> <p>第十二回：正確なフランス語を話す。</p> <p>第十三回：中性代名詞のまとめ</p> <p>第十四回：全体の総括</p> <p>第十五回：定期試験</p>
教科書	『たっぷり聞いてしっかり話せる！ フランス語の上達法教えます』 駿河台出版社
参考書・資料	ゼフィール、仏和辞書
講義関連事項	<p>* 中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。</p> <p>* 実用フランス語技能検定試験(仏検)は6月と11月に実施され、甲南大学での受験も可能です。検定試験を受けることにより、自分の実力がある程度わかるので、春季・秋季ともに積極的に仏検を受験してください。仏検3級以上は、履歴書に掲載する意味があります。</p> <p>* フランスの大学(トゥール大学またはリヨン第三大学)への留学を希望する人は、公的な検定試験のスコア票が必要となります。仏検なら「3級合格」は必要ですので、3級は早いうちに受験しておいてください。</p> <p>2010 度仏検</p> <p>春季日程：一次試験 6月20日(日)(甲南大学6号館で受験可)</p> <p>秋季日程：一次試験 11月21日(日) <予定>(甲南大学6号館で受験可の予定)</p>
担当者から一言	一年間通して朝早いのは大変ですが、定期的に学習し続けると必ずその効果は上がります。一年後には、継続は力であることを実感できるはずですので、受講者の皆さんは是非出席率100パーセントを目指してください。

授業コード	L6302
-------	-------

授業科目名	中級フランス語Ⅲ(2クラス)		
担当者名	中村典子(ナカムラ ノリコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(木曜3限)、後期(木曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		
オフィスアワー	木曜日15:00～16:30に研究室(673)へ来て下さい。 ただし、会議等で留守にすることも稀にあるので、できれば事前にメール等で連絡して下さい。		

講義の内容	<p>実用フランス語</p> <p>フランス語を「読む」「書く」「聞く」の3つ面から総合的に学習することにより、実用的なフランス語能力を養成する。「基礎フランス語Ⅰ」で習得した文法知識を復習しながら、「実用フランス語技能検定試験」(仏検)の3級または4級に合格するための実力をつける。また、インターネット上のフランス語情報の扱い方など、実生活で接するフランス語に対処する練習も行う。</p>
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	フランスの食文化に注目し、フランスの地方料理とその地方の特色を紹介している教科書『彼女は食いしん坊2』に沿って、文法事項の解説を行い、練習問題を解くことで、フランス語の文法の仕組みを理解してもらう。前期に「仏検4級」、後期に「仏検3級」に合格できるように、隔週で補助プリントを配布し、課題とする。仏検4級および3級で出題される「聞き取り問題」の対策を兼ねて、映画やシャンソンなどを活用しつつ、いろいろなフランス語の聞き取り練習を随時、行う。
準備学習	毎週出される課題をこなし、前回の学習内容を復習しておくこと。 また、年4回行う小テスト(書き取りテスト2回、音読テスト2回)の準備を行うこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均値を最終の評価点とする。 (平常点は、書き取りテスト、音読テストの点数に、授業への積極的関与度を加味して算出する) * 毎回出席することが前提であり、3分の1以上、欠席した場合は「欠席」という評価となる。
講義構成	<p>第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～4月12日)</p> <p>第2回: 現在形、複合過去の復習、仏検5級の過去問題に挑戦(採点后、解説する)</p> <p>第3回: 半過去、100までの数字を聞き取る練習</p> <p>第4回: 大過去、仏検4級の過去問題に挑戦(採点后、解説する)</p> <p>第5回: 関係代名詞、仏検4級の過去問題に挑戦(採点后、解説する)</p> <p>第6回: 補語人称代名詞、仏検4級対策問題(聞き取り試験を中心に)</p> <p>第7回: 現在分詞、ジェロンディフ、仏検4級対策問題(聞き取り試験を中心に)</p> <p>第8回: 疑問代名詞の復習、仏検4級模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第9回: 受動態、比較級、最上級、仏検4級模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第10回: 中性代名詞、仏検4級模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第11回: 小テスト(書き取りテスト)、単純未来</p> <p>第12回: 強調構文、フランス映画の聞き取り問題</p> <p>第13回: 補語人称代名詞の総復習、フランス映画の聞き取り問題</p> <p>第14回: 音読の小テスト、前期のまとめ</p> <p>第15回: 定期試験</p> <p>夏休み</p> <p>第1回: 前期の定期試験結果の講評、夏休みの課題提出、単純未来の復習</p> <p>第2回: 条件法現在、仏検3級の過去問題に挑戦(採点后、解説する)</p> <p>第3回: 条件法過去、仏検3級の過去問題に挑戦(採点后、解説する)</p> <p>第4回: 条件法の使い方、仏検3級対策問題(聞き取り試験を中心に)</p> <p>第5回: 接続法現在、仏検3級対策問題(聞き取り試験を中心に)</p> <p>第6回: 接続法過去、仏検3級模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第7回: 接続法の使い方、仏検3級模擬試験(採点后、解説)</p> <p>第8回: 小テスト(書き取りテスト)、フランス映画の聞き取り問題</p> <p>第9回: 時制のまとめ、フランス映画の聞き取り問題</p>

	<p>第10回:間接話法、フランス映画の聞き取り問題 第11回:時制の一致、シャンソンの聞き取り問題 第12回:前置詞と接続詞、シャンソンの聞き取り問題 第13回:フランスの地方料理について、文法の総まとめ 第14回:音読の小テスト、後期のまとめ 第15回:定期試験</p>
教科書	<p>『彼女は食いしん坊！2』(CD付き)朝日出版社</p> <p>* 仏和辞書は必ず携帯すること。</p>
参考書・資料	<p>1年次で使用した次の共通教科書2冊を必ず、持参のこと。適宜、参照する。 『ZEPHYR フランス語文法の基礎』 『LE FRANCAIS A LA CARTE フランス語コミュニケーションの基礎』</p>
講義関連事項	<p>* 中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。 * 実用フランス語技能検定試験(仏検)は6月と11月に実施され、甲南大学での受験も可能です。検定試験を受けることにより、自分の実力がある程度わかるので、春季・秋季ともに積極的に仏検を受験してください。仏検3級以上は、履歴書に掲載する意味があります。 * フランスの大学(トゥール大学またはリヨン第三大学)への留学を希望する人は、公的な検定試験のスコア票が必要となります。仏検なら「3級合格」は必要ですので、3級は早いうちに受験しておいてください。 2010度仏検 春季日程:一次試験 6月20日(日)(甲南大学6号館で受験可) 秋季日程:一次試験 11月21日(日)<予定>(甲南大学6号館で受験可の予定)</p>
担当者から一言	<p>フランス語学習をサポートするために、授業開講中の毎週木曜日の昼休み(12:20~12:50)に6号館652「ドイツ語・フランス語学習指導室」にて、「学習相談アワー」を設定しています。質問や相談等に積極的に活用してください。また、フランスの協定校(トゥール大学、リヨン第三大学)への長期留学に興味がある人は、早目に相談に来て下さい。</p>

授業コード	L6303		
授業科目名	中級フランス語III(3クラス)		
担当者名	神山すみ江(コウヤマ スミエ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜2限)、後期(金曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス後を「読む」「書く」「聞く」の3つの面から総合的に学習することにより、実用的なフランス語能力を養成する。「基礎フランス語I」で習得した文法知識を復習しながら、「実用フランス語技能検定試験」の3級または4級に合格するための実力をつける。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	1) 発音の復習と徹底練習をします。 2) 各課を1回～2回程度で終了する予定。(ヒヤリング、作文を含む) 3) 必要に応じて、仏検4級および3級の問題を配布する。
準備学習	宿題は必ずやってくる。前回の学習内容(発音も含む)を復習する。欠席した場合は、他の学習者から情報を得て、授業に臨むこと。
成績評価	前期と後期の定期試験を中心にして評価する。 (定期試験 90%、授業への積極的参加度10%)
講義構成	前期 第一回: クラス編成のため、各自自主学習(4月6日～4月12日) 第二回: 綴り字の読み方と発音の徹底(第一部第一課)と、動詞の活用 (直説法現在、第一部第三課)

	<p>第三回: 綴り字の読み方と発音の徹底(第一部第一課)と、動詞の活用 (直説法現在第一部第三課)</p> <p>第四回: 綴り字の読み方と発音の徹底(第一部第三課)と、動詞の活用 (直説法現在、第一部第四課)</p> <p>第五回: 綴り字の読み方と発音の徹底(第一部第一課)と、動詞の活用 (近接過去と近接現在、第一部第三課)と第一部第十課)</p> <p>第六回: 綴り字の読み方と発音の徹底(第一部第一課)と、動詞の活用 (直説法複合過去、第一部第三課)</p> <p>第七回: 綴り字の読み方と発音の徹底(第一部第一課)と、動詞の活用 (直説法単純未来、第一部第三課)</p> <p>第八回: 綴り字の読み方と発音の徹底(第一部第一課)と、動詞の活用 (直説法前未来、第一部第十課)</p> <p>第九回: 限定詞(第一部第二課)</p> <p>第十回: 代名詞(1)(第一部第五課)</p> <p>第十一回: 疑問詞(第一部第六課)</p> <p>第十二回: 比較級・最上級(第一部第八課)</p> <p>第十三回: 性・数の一致(第一部九課)</p> <p>第十四回: 非人称表現、命令形(第一部第三課、第一部第十課)</p> <p>第十五回: 定期試験</p> <p>後期</p> <p>第一回: 前期の総合復習、定期試験返却。</p> <p>第二回: 直説法半過去(第二部第一課)</p> <p>第三回: 関係代名詞(第二部第二課)</p> <p>第四回: 直説法複合過去と半過去・直説法代過去(第二部第三課)</p> <p>第五回: 代名詞(2)(第二部第四課)</p> <p>第六回: 代名詞(3)(第二部第五課)</p> <p>第七回: 現在分詞・ジェロンディフ・受動態(第二部第六課)</p> <p>第八回: 接続法現在・過去(第二部第七課)</p> <p>第九回: 条件法現在・過去(第二部第八課)</p> <p>第十回: 直接話法・間接話法(第二部第九課)</p> <p>第十一回: 直説法単純過去・強調構文(第二部第十課)</p> <p>第十二回: 総合復習(1)</p> <p>第十三回: 総合復習(2)</p> <p>第十四回: 総合復習(3)</p> <p>第十五回: 定期試験</p> <p>仏検4級および3級の問題も適宜、プリントして配布する。</p>
教科書	中村敦子、加藤行男著 『クリック！ クリケ！ 二年目のフランス語』、第三書房。
参考書・資料	『ゼフィール』
講義関連事項	<p>中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。</p> <p>2010 度仏検 春季日程: 一次試験 6月20日(日)(甲南大学6号館で受験可) 秋季日程: 一次試験 11月21日(日) <予定>(甲南大学6号館で受験可の予定)</p>
担当者から一言	積極的に参加してください。

授業コード	L6304
-------	-------

授業科目名	中級フランス語Ⅲ(4クラス)		
担当者名	饗庭千代子(アイバ チヨコ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜3限)、後期(金曜3限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス語を「読む」「書く」「聞く」の3つの面から総合的に学習することにより、実用的なフランス語能力を養成する。「基礎フランス語Ⅰ」で習得した文法知識を復習しながら、「実用フランス語技能検定試験(仏検)」の3級または4級に合格するための実力をつける。また、インターネット上のフランス語情報の扱い方など、実生活で接するフランス語に対処する練習も行う。
到達目標	前期には「実用フランス語技能検定試験」の4級に合格する語学力、後期には3級に合格する語学力を身につける。
講義方法	フランス人女性が日本人の友達にメールを送るというスタイルで、フランスの地方と地方料理を紹介している教科書『彼女は食いしん坊2』に沿って授業を進める。テキスト部分のフランス語の音読練習、および読解、文法説明、練習問題、聞き取り問題を行なう。既習の文法事項については復習を中心に、また未習の文法事項については丁寧に解説し、プリントで練習問題を補足するなどして習熟度を高める。 教科書の聞き取り問題は原則として課題とする。 前期に仏検4級、後期に仏検3級に合格できるよう、仏検対策問題、仏検過去問題をプリントして配布し、課題とした上、授業中に解説する。仏検の聞き取り問題も随時行なう。 習熟度を高めるため、既習事項について小テスト(音読テスト、語彙表現テスト、聞き取りテストなど)を年5～6回行なう。 * 毎回出席をすることが前提で、3分の1以上欠席した場合は「欠席」という評価になる。ただし特別な事情がある場合は申し出ること。状況に応じて対応する。
準備学習	課題を期限内に提出すること。前回の学習内容を復習しておくこと。小テストの準備を行なうこと。CDを繰り返し聴くこと。
成績評価	前期・後期とも、平常点50%、定期試験50%で評価し、平均値を最終の評価点とする。 (平常点は、音読テスト、語彙表現テスト、聞き取りテストの点数、課題提出、授業への積極的参加度を加味して算出する)
講義構成	第1回: クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～12日) 第2回: 授業のオリエンテーリング。0課を使って基礎フランス語1, 2の復習および中級の導入。 第3回: 1課「アルザス地方1」—複合過去、代名動詞の復習。過去分詞の一致解説。練習問題。 第4回: 1課ビデオを見ながらテキスト文の読解。音読小テスト。 第5回: 2課「アルザス地方2」—半過去と大過去。複合過去も含めて過去時制の総括。練習問題。 第6回: 2課テキスト文の読解。ビデオ併用。仏検4級対策問題プリント1を課題に。 第7回: 対策問題答え合わせと解説。「料理を作ろう」のページをビデオを見ながら読解。 第8回: 3課「ブルゴーニュ地方1」関係代名詞、命令形、補語人称代名詞。練習問題。仏検4級対策問題プリント2を課題に。 第9回: 仏検対策問題プリント2答え合わせと解説。仏検4級過去問題。 第10回: 3課テキスト文の読解。語彙表現小テスト。 第11回: 4課: 「ブルゴーニュ地方2」現在分詞、ジェロンディフ、疑問代名詞。練習問題。 第12回: 4課テキスト文読解。時間があれば「料理を作ろう」を読解。 第13回: 5課「ロース・アルプ地方」受動態、最上級。聞き取り小テスト。 第14回: 5課テキスト文、ビデオを見ながら読解。前期のまとめ。夏休み課題。 第15回: 定期試験。 夏休み 第1回: 前期定期試験結果の講評。夏休み課題提出。ビデオを使って聞き取り練習。 第2回: 6課「ロース・アルプ地方2」強調構文、中性代名詞。練習問題。 第3回: 6課テキスト文の読解。仏検3級対策問題1のプリントを課題に。 第4回: 仏検3級対策問題の答え合わせと解説。聞き取り練習。 第5回: 7課「プロヴァンス地方1」条件法現在、過去。練習問題。音読テスト。 第6回: 7課テキスト文の読解。仏検3級対策問題2のプリントを課題に。 第7回: 対策問題の答え合わせと解説。仏検3級の過去問題。 第8回: 8課「プロヴァンス地方2」接続法現在、過去。練習問題。 第9回: 8課テキスト文の読解。語彙表現テスト。「料理を作ろう」読解。 第10回: 9課「ブルターニュ地方1」間接話法、時制の一致。練習問題。 第11回: 9課テキスト文の読解。聞き取り練習。 第12回: 10課「ブルターニュ地方2」前置詞と接続詞。聞き取りテスト。 第13回: 10課テキスト文の読解。文法練習問題。「料理を作ろう」読解。

	第14回:後期まとめ。映画。 第15回:定期試験。
教科書	Elle est gourmande!2(彼女は食いしん坊2) 朝日出版社
参考書・資料	仏和辞書必携。
講義関連事項	・実用フランス語技能検定試験(仏検)は6月と11月に実施され、甲南大学での受験も可能です。資格の取得は、将来の就職にも役に立ちます。また、フランスへの長期留学を希望する人は、公的な検定試験のスコア票が必要となります。仏検なら「3級合格」は必要ですので、3級は早いうちに受験しておいてください。
担当者から一言	単に講義の内容をノートに書き写すのではなく、積極的にさまざまな言語活動に参加することを望みます。そうすることで必ず高度なフランス語運用能力が身につく、仏検3級以上合格の目標に近づきましょう。

授業コード	L6401		
授業科目名	中級フランス語Ⅳ(1クラス)		
担当者名	中村典子(ナカムラ ノリコ)、港道 隆(ミナトミチ タカシ)、大嶋 優(オオシマ マサル)、谷 恭子(タニ キョウコ)、デーズ(デーズ ブリジット)、グルシェフスキ(グルシェフスキ アンドレ アンジェイ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(月曜4限)、後期(月曜4限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス事情 フランスを中心としたフランス語圏の社会・文化的な背景を幅広い視野から理解するための講座である。フランス語圏の社会状況についての知識を習得し、芸術(美術・音楽・映画)や文学への関心を深めることを目指す。
到達目標	フランス語圏の社会の仕組みや文化についての知識を深めることにより、「異文化理解」「国際理解」を深め、「21世紀における市民」としての教養を身につける。フランス語圏に滞在する時、フランス語圏の人々とコミュニケーションする時に活用できる具体的な知識を習得し、フランス語での情報収集の方法も体得する。
講義方法	6人の担当者が映像や資料を活用しながら、テーマに沿って(フランス語も交えて)日本語でわかりやすく講義する。 各担当者が、テーマに沿ったフランス語のテキストや資料を適宜コピーで配布する。フランス語での情報収集を学ぶ講義では、各自パソコンを用いるため、633(CALL)教室を使用するので、教室変更に注意すること。 ◎大嶋・・・インターネットを使って、フランスの美術館(博物館)の特徴および所蔵作品について調べる。日本語のサイトだけでなくフランス語のサイトも参照する。 ◎グルシェフスキ・・・歴史的、社会経済的、宗教的、文化的背景から、フランス建築・彫刻・インテリアの発展と変遷を分析する。 ◎港道・・・サン・テクジュベリ作『星の王子様』からテキストをセレクトして読む。その際、CD-ROM 教材の映像を参考にする。 ◎谷・・・ペローの昔話『サンドリヨン』を読み、「ガラスの靴論争」について考える。 ◎デーズ・・・現代のフランス社会のいくつかの様相を紹介する。「家族のあり方」「教育」といったテーマを扱う予定。 ◎中村・・・①パソコンでフランス語を打ち、フランス語の履歴書を作成する。②WEB上のフランス語の情報の集め方、読み方を理解する(飛行機や列車の予約、ホテルの予約、地図から町の様子を検索する方法など)③フランス映画のいくつかの場面を通して、日仏社会の違いについて考える。
準備学習	各テーマごとに、自分が興味を持っている事柄、知りたい事項について、考えをまとめておいてほしい。各テーマの初回に、担当者からテーマに関連するアンケートまたは質問を実施し、できる限り、学習者の興味を考慮した内容を講義に取り入れる。
成績評価	授業への積極的関与度40%、6回のミニ・レポートをそれぞれ10%(合計60%)で評価する。

	<p>レポートの提出について:各担当者の講義終了後、2週間以内</p> <p>【レポート提出場所:国際言語文化センター事務室 6号館3階】</p> <p>【注意】</p> <p>MY KONANからダウンロードできる「所定の表紙」を、レポートに必ずつけること。所定の表紙がないものは、採点できないので注意すること。</p>
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~12日)</p> <p>第2回~第5回「ネットで美術館巡り」(担当:大嶋) 633教室 4月19日 (パリ)ルーヴル、オルセー、ポンピドゥー・センター 4月26日 (パリ)ピカソ、ロダン、モロー、カルナヴァレ 5月10日 (パリ近郊)ヴェルサイユ、マルメゾン 5月17日 (地方)コンデ、シャガール、ロートレック、マチス、レジェ *レポート提出期限.....5月31日(月)</p> <p>第6回~第10回「フランスの建築」(担当:グルシェフスキ) 633教室 5月24日 ギリシャ・ローマ建築の遺産 5月31日 ガロ・ロマン建築 6月 7日 カロリング朝とロマネスク建築 6月14日 ゴシック建築 *レポート提出期限..... 6月28日(月)</p> <p>第11回~第14回「オーディオヴィジュアルで『星の王子様』」(担当:港道) 633教室 6月21日 発音ルールの徹底的習得 6月29日 発音ルールの徹底的習得 7月 5日 時制の系统的理解 7月12日 時制の系统的理解 7月16日(金) 発音と聞き取り能力との関係理解 *レポート提出期限..... 7月30日(金)</p> <p>(後期)</p> <p>第1回~第5回:「フランスの児童文学」(担当:谷) 632教室 9月20日(祝) ペローのサンドリオン 9月27日 ガラスの靴論争第1期 10月 4日 ガラスの靴論争第2期 10月11日(祝) ディズニーの影響 10月18日 ガラスの靴論争第3期 *レポート提出期限.....11月 1日(月)</p> <p>第6回~第9回「現在のフランス社会」(担当:デーズ) 632教室 10月25日 フランスの教育制度:小学校、中学校 11月 1日 フランスの教育制度:高校、大学、グランド・ゼコール 11月 8日 フランスの家族像:結婚、離婚 11月15日 フランスの家族像:その他の生活形態 *レポート提出期限..... 11月 29日(月)</p> <p>第10回~第14回「パソコンと映画でフランス語」(担当:中村) 633教室 11月22日 パソコンでフランス語を打つ 11月29日 フランス語のサイトを利用して情報を収集する 12月 6日 フランス語の履歴書を作成する 12月13日 フランス映画を通してみるフランス社会:「お客様は神様」ではない 12月20日 フランス映画を通してみるフランス社会:仕事中でも、友人とおしゃべり優先? *レポート提出期限..... 1月 7日(金)</p>
教科書	適宜、プリントを配布する。
参考書・資料	フランス語の資料を読むので、仏和辞書を持参すること。
講義関連事項	* 中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。

授業コード	L6402		
授業科目名	中級フランス語Ⅳ(2クラス)		
担当者名	シッシュ(シッシュ ディディエ)、久田原泰子(クダワラ ヤスコ)、林 秀治(ハヤシ シュウジ)、村尾嘉男(ムラオ ヨシオ)、山本正二(ヤマモト ショウジ)、カトリッセ(ベルナルド カトリッセ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(水曜2限)、後期(水曜2限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	フランス事情 フランスを中心としたフランス語圏の社会・文化的な背景を幅広い視野から理解するための講座である。フランス語圏の社会状況についての知識を習得し、芸術(美術・音楽・映画)や文学への関心を深めることを目指す。
到達目標	フランス語圏の社会の仕組みや文化についての知識を深めることにより、「異文化理解」「国際理解」を深め、「21世紀における市民」としての教養を身につける。フランス語圏に滞在する時、フランス語圏の人々とコミュニケーションする時に活用できる具体的な知識を習得し、フランス語での情報収集の方法も体得する。
講義方法	6人の担当者が映像や資料を活用しながら、テーマに沿って(フランス語も交えて)日本語でわかりやすく講義する。 各担当者が、テーマに沿ったフランス語のテキストや資料を適宜コピーで配布する。フランス語での情報収集を学ぶ講義では、各自パソコンを用いるため、633(CALL)教室を使用するので、教室変更に注意すること。 ◎林・・・これまで何度か映画化され、最近ではミュージカルにもなった『レ・ミゼラブル』の「一部」を、ドラマを観ながら「フランス語でゆっくりと読む」。これを機会に、和訳で全篇を読んで欲しい。 ◎カトリッセ・・・ベルギーとフランダースの地理的、歴史的、社会的、経済的側面について講義し、欧州におけるベルギーとフランダースの文化や芸術の歴史的な位置付けにも触れる。講義を通じてベルギーとフランダースを身近に感じてほしい。また同時に、多文化社会への造詣を深めてほしい。 ◎村尾・・・インターネットを利用して、フランスでの移動や宿泊など観光・勉学に役立つ実用的な情報の検索・収集法を実地に習得する。 ◎久田原・・・フランスの食文化を日本の食文化と比較検討しながら、多面的に考察する。 ◎山本・・・フランスの首都であり、ヨーロッパの中心的都市として発展してきたパリについてその歴史、そして現在の見所を説明する。 ◎シッシュ・・・19世紀から現代までのシャンソンの変遷を文学的・政治的背景と共に解説する。
準備学習	各テーマごとに、自分が興味を持っている事柄、知りたい事項について、考えをまとめておいてほしい。各テーマの初回に、担当者からテーマに関連するアンケートまたは質問を実施し、できる限り、学習者の興味を考慮した内容を講義に取り入れる。
成績評価	授業への積極的関与度40%、6回のミニ・レポートをそれぞれ10%(合計60%)で評価する。 レポートの提出について:各担当者の講義終了後、2週間以内 【レポート提出場所:国際言語文化センター事務室 6号館3階】 【注意】 MY KONANからダウンロードできる「所定の表紙」を、レポートに必ずつけること。所定の表紙がないものは、採点できないので注意すること。
講義構成	(前期) 第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日～12日) 第2回～第5回 『レ・ミゼラブル』を読む・観る(担当:林) 631教室 4月14日 フランス人のどんな本を読んでいるのか?—作者の紹介 4月21日 『レ・ミゼラブル』を読む—簡単な小説の歴史 4月28日 『レ・ミゼラブル』を読む—ビデオを観ながら 5月12日 『レ・ミゼラブル』を読む—ビデオを観ながら

	<p>*レポート提出期限……5月26日(水)</p> <p>第6回～第10回「ベルギーの歴史と文化」(担当:カトリッセ) 631教室 5月19日 現代欧州の概略:歴史、政治、経済の状況 5月26日 欧州におけるベルギーとフランダースの立場 6月2日 ベルギーとフランダースの芸術と文化について 6月9日 ベルギーとオランダの比較について (パート1) 6月16日 ベルギーとオランダの比較について (パート2) *レポート提出期限……6月30日(水)</p> <p>第11回～第14回「インターネットで訪れるフランス」(担当:村尾) 633教室 6月23日 フランス到着、空港からパリ市内へ — パリ市観光局とRATP 6月30日 パリ郊外とイル・ド・フランス — RERとTER 7月7日 地方を訪れる — SNCFと各地のOffice de tourisme 7月14日 計画の仕上げと学習情報(フランス政府留学局) *レポート提出期限……7月28日(水)</p> <p>(後期) 第1回～第5回:「日仏比較食文化」(担当:久田原) 633教室 9月22日 日本における洋食の発展とフランス食文化の発展の歴史的経緯 9月29日 家庭料理と地方料理 伝統料理と現代料理 10月6日 フランス人の食生活の変化とその現状 10月13日 食育の現状 10月20日 パンとチーズとワイン *レポート提出期限……11月10日(水)</p> <p>第6回～第9回:「パリの歴史と見どころ」(担当:山本) 631教室 10月27日 パリの歴史について 11月10日 ルーブル宮について 11月17日 フランス革命とバステューユ 11月24日 パリ万国博覧会とオルセー駅 *レポート提出期限……12月8日(水)</p> <p>第10回～第14回「シャンソンの傾向について」(担当:シツシュ) 631教室 12月1日 シャンソンと詩:テーマ、リズム、韻、作詩法など、シャンソンと歴史 12月8日 1945年以後のシャンソン:流行歌、シャンソンとアンガージュマン 12月15日 シャンソンと文学 12月22日 トレネからルノーまで:シンガーソングライターの時代 1月12日 フランス語圏のシャンソン:ベルギー、カナダなど *レポート提出期限……1月21日(金)(通常より早いので注意)</p>
教科書	適宜、プリントを配布する。
参考書・資料	フランス語の資料を読むので、仏和辞書を持参すること。
講義関連事項	*中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。

授業コード	L6403		
授業科目名	中級フランス語Ⅳ(3クラス)		
担当者名	饗庭千代子(アイバ チヨコ)、大嶋 優(オオシマ マサル)、加藤憲正(カトウ ノリマサ)、ポワトー(パトリス ポワトー)、安田晋也(ヤスダ シンヤ)、松島 征(マツシマ タダシ)		
配当年次	2・3・4年次	単位数	4
開講期別	2010年度 前期～後期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(金曜5限)
特記事項	履修要項の「国際言語文化科目の概要」を参照。 実用フランス語技能検定試験の検定料の半額(上限3千円)が父母の会から補助される。年2回限り。		

講義の内容	<p>フランス事情</p> <p>フランスを中心としたフランス語圏の社会・文化的な背景を幅広い視野から理解するための講座である。フランス語圏の社会状況についての知識を習得し、芸術(美術・音楽・映画)や文学への関心を深めることを目指す。</p>
-------	---

到達目標	フランス語圏の社会の仕組みや文化についての知識を深めることにより、「異文化理解」「国際理解」を深め、「21世紀における市民」としての教養を身につける。フランス語圏に滞在する時、フランス語圏の人々とコミュニケーションする時に活用できる具体的な知識を習得し、フランス語での情報収集の方法も体得する。
講義方法	<p>6人の担当者が映像や資料を活用しながら、テーマに沿って(フランス語も交えて)日本語でわかりやすく講義する。</p> <p>各担当者が、テーマに沿ったフランス語のテキストや資料を適宜コピーで配布する。フランス語での情報収集を学ぶ講義では、各自パソコンを用いるため、633(CALL)教室を使用するので、教室変更に注意すること。</p> <p>◎ポワトリー…映画は、製作時の技術、産業、美術、表現方法など多様な事柄が結びついている。主に文学と劇と深い関わりのあった映画の特徴を、フランス語の専門用語を解説しながら分析する。また映画の現代性を追求し、フランス映画と観客のつながりについて考えたい。</p> <p>◎安田…フランス国内にある数多くの世界遺産のうち、主なものをビデオとインターネットなどを用いて紹介し、フランス語で書かれた資料を読み、理解を深める。</p> <p>◎松島…20世紀の民衆派詩人ジャック・プレヴェールの詩を鑑賞し、〈枯れ葉〉〈バルバラ〉などジョゼ フ・コスマが作曲したシャンソンを鑑賞する。プレヴェールがシナリオを書いた映画の場面のいくつかを見る。</p> <p>◎大嶋… インターネットを使って、フランスの美術館(博物館)の特徴および所蔵作品について調べる。日本語のサイトだけでなくフランス語のサイトも参照する。</p> <p>◎加藤…フランスの歌は最も敏感な自己主張の場である。そこでヒットチャートに従って大ヒット曲を点描しながら、その成功が時代背景と密接に連結していることを分析する。</p> <p>◎饗庭…60年代から現代まで、異なったジャンルの5作品を、別れのシーンを中心に鑑賞、解説し、短い台詞をフランス語で読む。</p>
準備学習	各テーマごとに、自分が興味を持っている事柄、知りたい事項について、考えをまとめておいてほしい。各テーマの初回に、担当者からテーマに関連するアンケートまたは質問を実施し、できる限り、学習者の興味を考慮した内容を講義に取り入れる。
成績評価	<p>授業への積極的関与度40%、6回のミニ・レポートをそれぞれ10%(合計60%)で評価する。</p> <p>レポートの提出について:各担当者の講義終了後、2週間以内</p> <p>【レポート提出場所:国際言語文化センター事務室 6号館3階】</p> <p>【注意】</p> <p>MY KONANからダウンロードできる「所定の表紙」を、レポートに必ずつけること。所定の表紙がないものは、採点できないので注意すること。</p>
講義構成	<p>(前期)</p> <p>第1回:クラス編成のため、各自自主学习(4月6日~12日)</p> <p>第2回~第5回「フランス映画:由来、伝統、現代性をめぐって」(担当:ポワトリー) 632教室</p> <p>4月16日 映画とは何か?</p> <p>4月23日 フランス映画と世界の映画の由来と伝統</p> <p>4月30日 現代性の追求 その1</p> <p>5月7日 現代性の追求 その2</p> <p>*レポート提出期限……5月21日(金)</p> <p>第6回~第10回「フランスにおける世界遺産」(担当:安田) 633教室</p> <p>5月14日 パリのセーヌ河岸</p> <p>5月21日 ヴェルサイユ宮殿とシャルトル大聖堂</p> <p>5月28日 モン・サン・ミシェルとその湾</p> <p>6月4日 南フランスのローマ遺跡</p> <p>6月11日 リヨン歴史地区</p> <p>*レポート提出期限……6月25日(金)</p> <p>第11回~第14回「プレヴェールの詩とシャンソン」(担当:松島)632教室</p> <p>6月18日 プレヴェールと映画</p> <p>6月25日 プレヴェールとシュルレアリズム運動</p>

	<p>7月 2日 プレヴェールと言語遊戯 7月 9日 プレヴェールとシャンソン *レポート提出期限・・・・・・ 7月23日(金)</p> <p>(後期) 第1回～第5回 :「ネットで美術館巡り」(担当:大嶋) 633教室 9月24日 (パリ) ルーヴル、オルセー、ポンピドゥー・センター 10月 1日 (パリ) ピカソ、ロダン、モロー、カルナヴァレ 10月 8日 (パリ近郊)ヴェルサイユ、マルメゾン 10月15日 (地方)コンデ、シャガール、ロートレック、マチス、レジェ 10月22日 一風変わった美術館(博物館) *レポート提出期限・・・・・・11月12日(金)</p> <p>第6回～第9回 :「2000年～2009年間のフレンチ・ポップス史」(担当:加藤) 632教室 10月29日 00～01年:〈アイドル作り〉を担うテレビ番組の出現 11月12日 02～04年:フランスの極右化と孤立化の危機の時期 11月19日 05～07年:郊外の暴動後の移民系音楽の状況 11月26日 08～09年:金融危機と〈世界の終焉〉を歌う歌手 *レポート提出期限・・・・・・12月10日(金)</p> <p>第11回～第14回 「フランス映画の別れのシーンを読む」(担当:饗庭) 632教室 12月 3日 恋人たちの別れ・再会・別れ・・・『シェルブールの雨傘』 12月10日 愛すればこそその別れ・・・『ニキータ』 12月17日 自分の本当の心が見えた時・・・『冬物語』 12月24日 熟年女性が離婚宣言・・・『女と男の危機』 1月 7日 問題児たちと音楽教師の感動の別れ・・・『コーラス』 *レポート提出期限・・・・・・ 1月19日(水)(通常より早いので注意)</p>
教科書	適宜、プリントを配布する。
参考書・資料	フランス語の資料を読むので、仏和辞書を持参すること。
講義関連事項	* 中級フランス語は4科目あります。総合的な力をつけるため、できるだけ4科目すべてを受講するようにしてください。